

# LIXIL スタイルコートL 1500タイプ・3000タイプ (スタイブ)

## 標準・縦延長・横延長・縦横延長

(1500タイプのみ)

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 戸建住宅専用商品です。マンションや集合住宅などの高頻度に開閉する場所への設置はできません。
- 桁や折板屋根材は重量物です。必要人数の確保をお願いします。
- 折板屋根材の作業は、必ず手袋を着用してください。端部が鋭利なため、重大なケガを起こす危険性があります。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 設置場所の確認をしてください。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
  - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 住宅等、建築物の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 強風が屋根を吹上げるおそれがある場所への設置はしないでください。
- 冬季アルミシャッター表面に付着した水分が凍結した場合、正常な動作ができませんので溶けてから開閉作業をしてください。故障や異音発生の原因になります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- スプレー式シリコーン系潤滑剤は、現場で手配してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- ポリカ折板屋根材を使用するときは、屋根材に接触する部分へ使用するシーリング材は、弊社指定の脱アルコール型シーリング材を現場で手配してください。指定のシーリング材は下記になります。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

- 施工終了後、シリンダー錠は必ず施主様にお渡しください。
- 消防法により誘導標識の貼付けを指導された場合は、市販を購入して貼付けてください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、シャッター・パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

## <電気配線工事について>

### ⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管、電線ケーブル、アース棒が必要になりますので、用意してください。
- 電源用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 電動シャッターには必ず、アース(D種接地工事)をとってください。
- 次のような場所には単機能リモコンを設置しないでください。
  - ・シャッターの開閉が見えない場所
  - ・湿気が多い場所、屋外など直接雨に濡れるおそれがある場所
  - ・直射日光があたる場所、暖房近くなどの高温になる可能性がある場所
  - ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生する場所、薬品を常時使用する場所

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 基礎部分の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 基礎部分のコンクリートは、「設計基準強度」が確保できるよう、コンクリート打設時の気温に合わせて、温度補正等により、十分な「呼び強度」にて打設してください。
- 多雪地域など、寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- 設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。

# INDEX

1	施工前の重要確認事項	7
1	1. 施工の前にご確認ください	7
2	梱包明細表	14
3	基本寸法	32
1	1. 基本寸法図	32
2	2. 断面納まり図	44
4	本体の施工	61
1	1. 施工前確認	61
2	2. 柱の位置出しとベース材の配置	62
3	3. 基礎の施工	94
4	4. 桁・梁（前後梁・中間梁）の配置確認	97
5	5. 補強桁の取付けと桁の連結	104
6	6. 桁の組立て	110
7	7. タイトフレームの取付け	114
8	8. 横樋桁用の取付け	117
9	9. 柱・桁の取付けと建ておこし	119
10	10. ベース材の取付け	121
11	11. 前後梁の取付け	126
12	12. 中間梁の取付け	128
13	13. 母屋の取付け（3000タイプ（Sタイプ）W34・W38のみ）	130
14	14. 幕板梁用・横樋梁用の取付け	132
15	15. 換気面戸・端部面戸の取付け	137
16	16. 屋根材の取付け	140
17	17. 幕板桁用の取付け	148
18	18. 縦樋の取付け	150
5	コンクリートの打設	156
1	1. コンクリートの打設	156
2	2. 土間仕上げ高さの確認	157
3	3. シャッター部の土間仕上げの確認	158
6	目隠材の取付け	159
1	1. 施工前確認	159
2	2. 目隠材の納まり	160
3	3. 目隠材上枠前の取付け	163
4	4. 目隠材側枠の取付け	164
5	5. 目隠端部材A・目隠材の取付け	165
6	6. 目隠端部材A・FIX中間パネル（換気扇中間パネル <b>オプション</b> ）の取付け	166
7	7. 目隠端部材Bの取付け	167
8	8. 目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け	168
9	9. 目隠オプションの取付け <b>オプション</b>	169
10	10. 換気扇の取付け <b>オプション</b>	170

7	上げ下げ窓の取付け <b>オプション</b>	171
1.	施工前確認	171
2.	目隠材上枠前の取付け	172
3.	側枠上げ下げ窓の取付け	173
4.	上げ下げ窓パネルの取付け	174
5.	上枠後上げ下げ窓の取付け	176
8	折戸レールの取付け	177
1.	施工前確認	177
2.	下レール連結材の取付け	178
3.	吊元枠・戸当枠SBの取付け	178
4.	上レールA・上レール戸袋用の取付け	180
5.	スモーカーの取付け	181
6.	上レールBの取付け	182
7.	下レール（戸袋用）の取付け	183
8.	下レール直線用の取付け	185
9.	戸当り枠・連結枠・吊元枠の吊込み	186
10.	戸当枠SAの取付け	187
11.	下レールのシーリング	188
9	折戸パネルの取付け	189
1.	施工前確認	189
2.	錠の取付け	190
3.	折戸パネルの吊込み	191
4.	パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け	192
5.	吊元ストッパーの取付け	192
6.	戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け	193
7.	上棧カバーと枠カバーの取付け	194
8.	折戸パネルの調整	195
10	シャッター取付用部材の取付け	196
1.	施工前確認	196
2.	シャッター取付用横部材の取付け	197
3.	シャッター取付用縦部材の取付け	199

# INDEX

11 シャッター本体の取付け	200
1. 施工前確認	200
2. 化粧まぐさの取付け	201
3. ガイドレールと外枠の加工	202
4. 外枠の取付け	203
5. シャッター本体の取付け	204
6. ガイドレールの取付け	205
7. 操作ハンドルの取付け	206
8. スラットの横ズレ確認	207
9. シャッターの結線	208
10. 単機能リモコン・ホルダーの取付け	208
11. 単機能リモコンの操作方法・初期設定	209
12. プレッシャーリターンセンサーの作動確認	210
13. ケースの取付け	211
14. 停電時開閉機構の使い方	212
15. 追加リモコンの登録 <b>オプション</b>	213
16. 施工完了確認チェックリスト	214
12 雪下ろしシールの貼付け	215
13 棚の取付け <b>オプション</b>	216
1. 施工前確認	216
2. 基本寸法図	217
3. 棚受け柱キャップの取付け	217
4. 棚受け金具の取付け	218
5. 棚受け材の取付け	219
6. 棚板の取付け	220
14 カウンターテーブルの取付け <b>オプション</b>	222
1. 施工前確認	222
2. テーブル腰壁取付台座の取付け	223
3. テーブル取付金具の取付け	225
4. 天板の取付け	225
5. テーブル脚、テーブルアジャスターの組立て	226
6. テーブル脚の取付け	226
15 内装パネルの取付け <b>オプション</b>	227
1. 施工前確認	227
2. 基本寸法図	229
3. 内装パネル横（天井用）の取付け	229
4. 内装パネル縦（壁付け）の取付け	234
16 配線カバーの取付け <b>オプション</b>	237
1. 桁配線カバーの取付け	237

# 1 施工前の重要確認事項

## 1. 施工の前にご確認ください

※取付け説明書内の図は、すべて右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

### 1-1 部材の水平・垂直

※主柱、袖・中間柱、桁、前後梁、ベース材の「水平」「垂直」に注意して施工してください。

#### ポイント

- 目隠材の取付けや折戸パネル・シャッターの開閉およびオプション類の取付けに支障が出る場合があります。
- 特に、桁と柱桁取付金具・前後梁固定金具の取付けに注意してください。

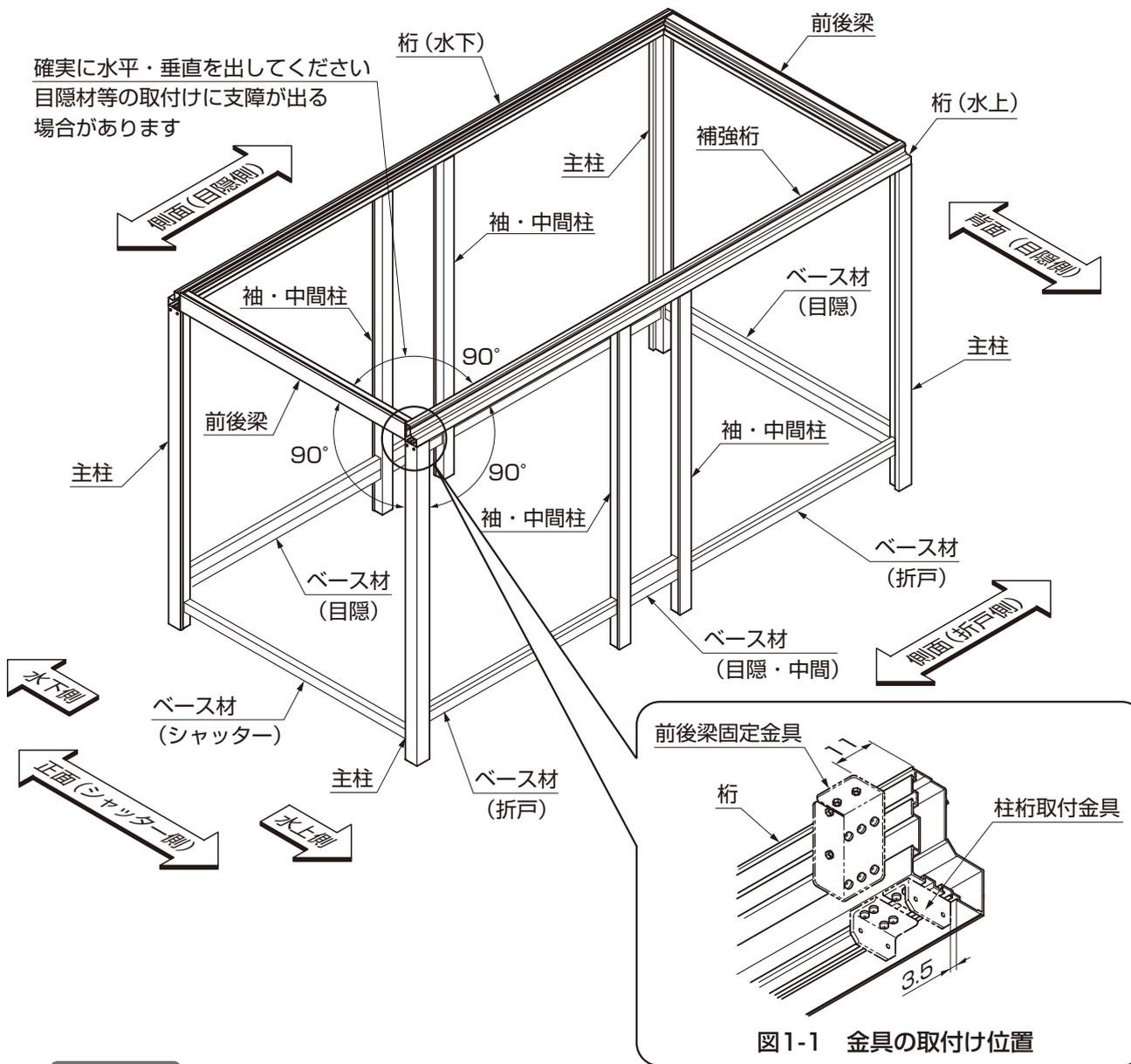


図1-1 金具の取付け位置

#### 補足

- 柱桁取付金具、前後梁固定金具の取付け位置には、下穴があいています。

# 1. (つづき)

## 1-2 シーリング処理

※指定の箇所に必ず **シーリング** し、ヘラで押さえてください。

### ポイント

●シーリングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。

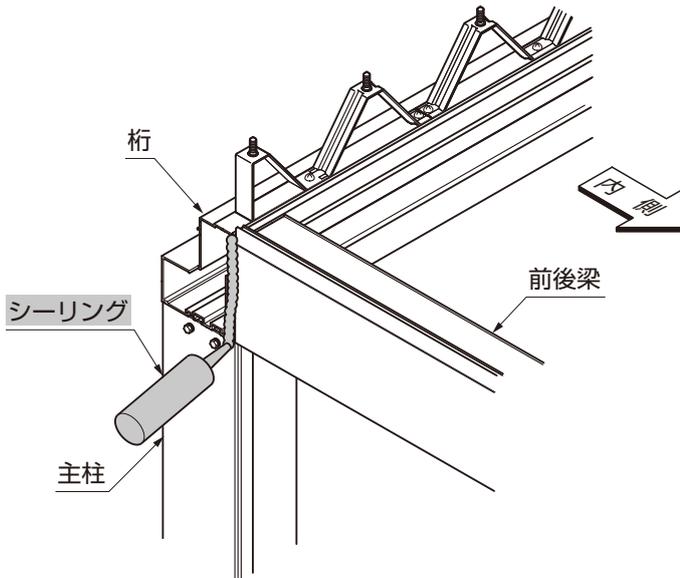


図1-2 桁・前後梁

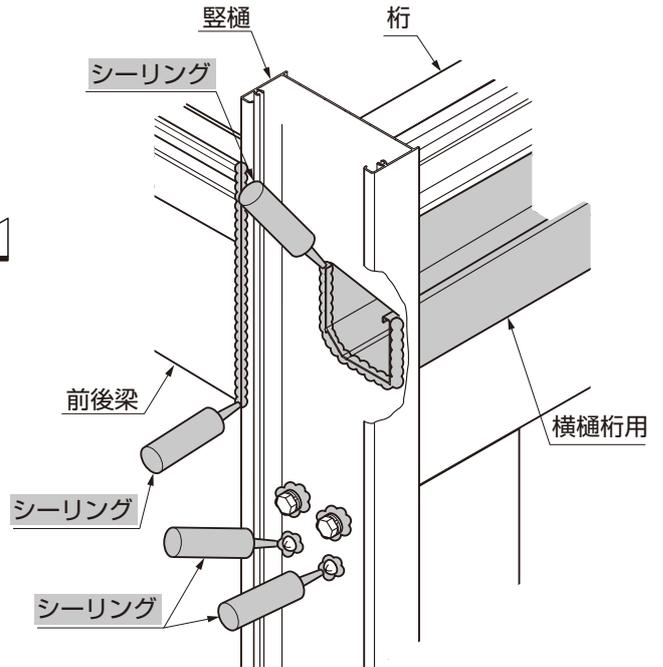


図1-3 縦樋

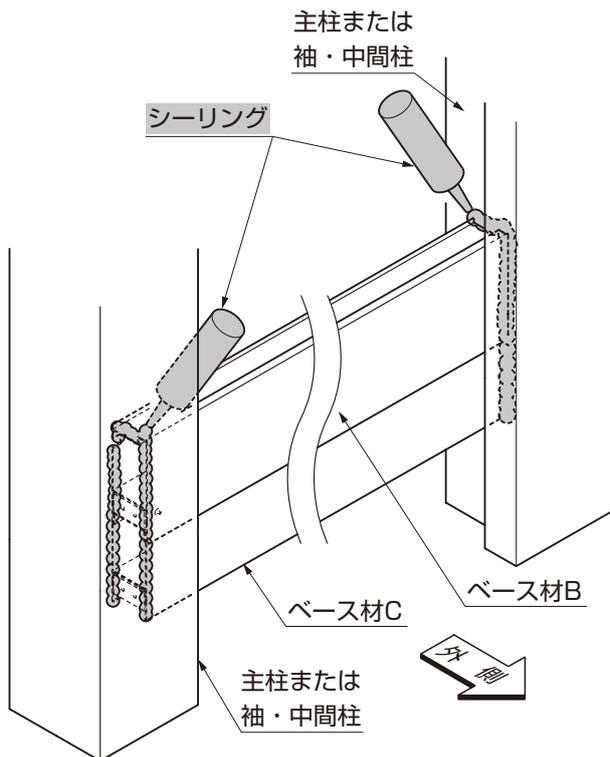


図1-4 ベース材 (目隠)

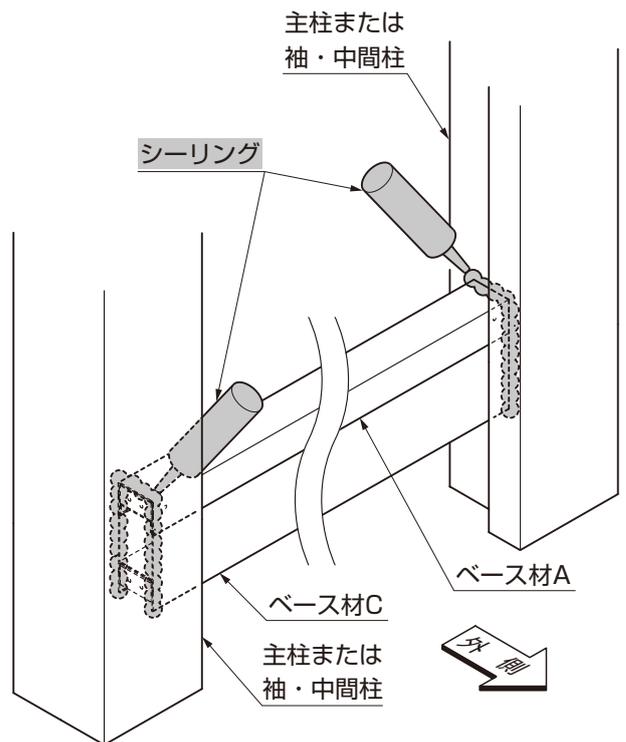


図1-5 ベース材 (折戸)

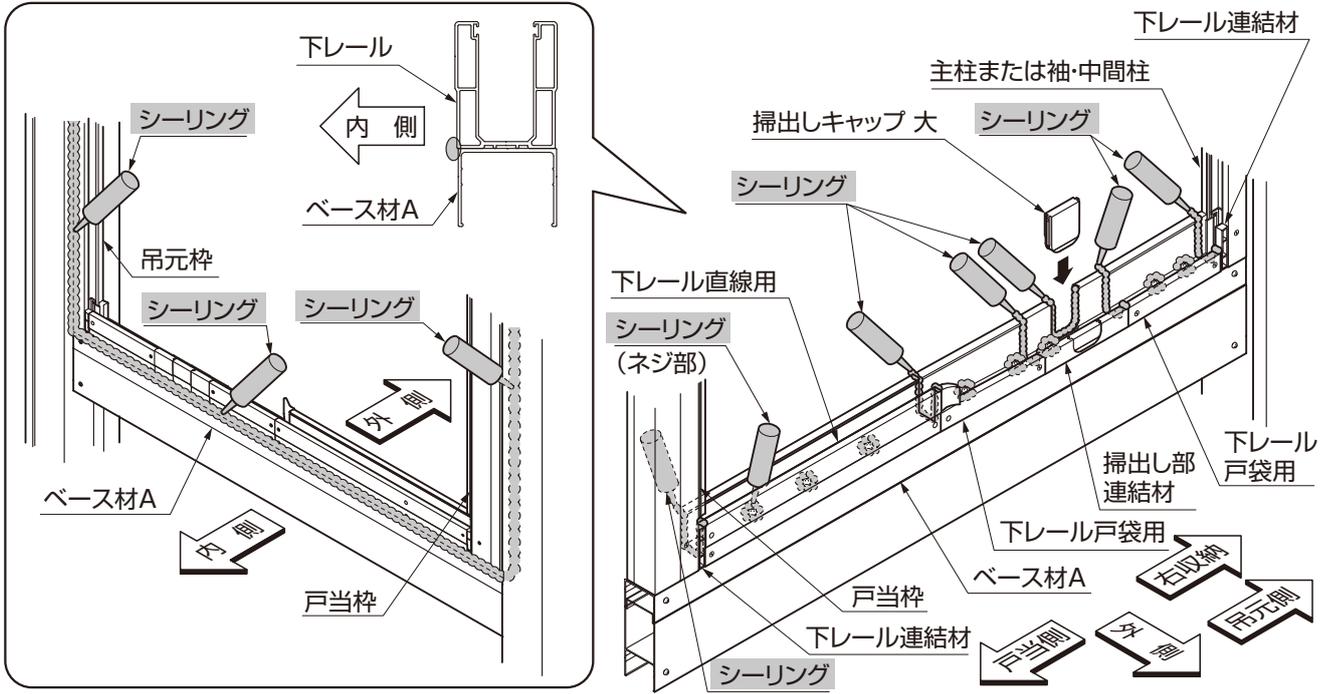


図1-6 下レール (側面：折戸側)

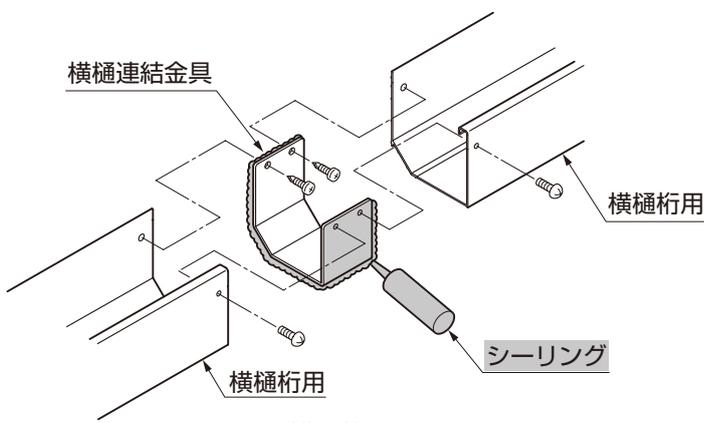


図1-7 横樋桁用 (縦延長・縦横延長の場合)

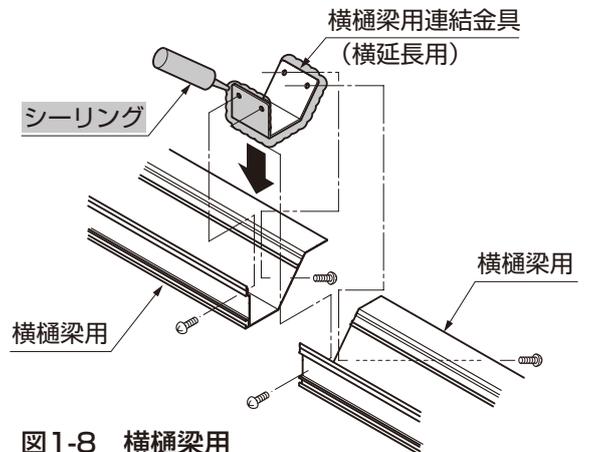


図1-8 横樋梁用 (横延長・縦横延長の場合)

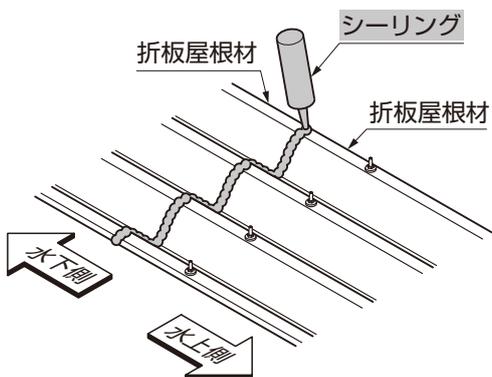


図1-9 (横延長) 折板屋根材重ね部分

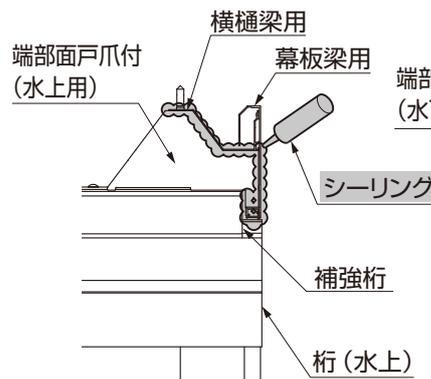


図1-10 (水上側) 端部面戸

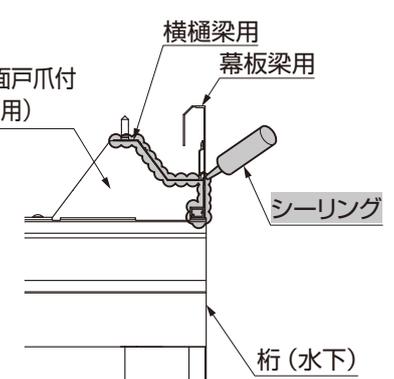


図1-11 (水下側) 端部面戸

# 1. (つづき)

## 1-3 (折戸)下レールの取付け

※レールの各部材の取付けにあたって、下記の部所には必ず指定のネジを使用してください。

### ポイント

●指定のネジ以外で取付けた場合、レール変形等の不具合が生じる場合があります。

### (1) $\phi 4 \times 8$ 特サラタッピンネジ3種使用箇所

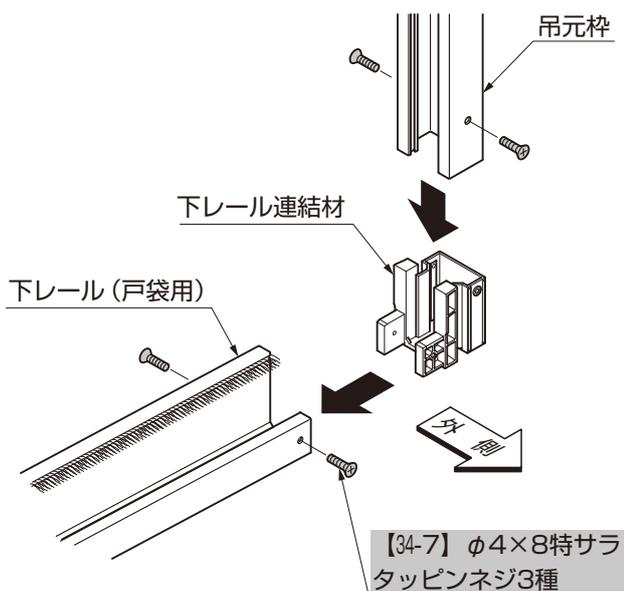


図1-12 吊元棒と下レール (戸袋用) の取付け

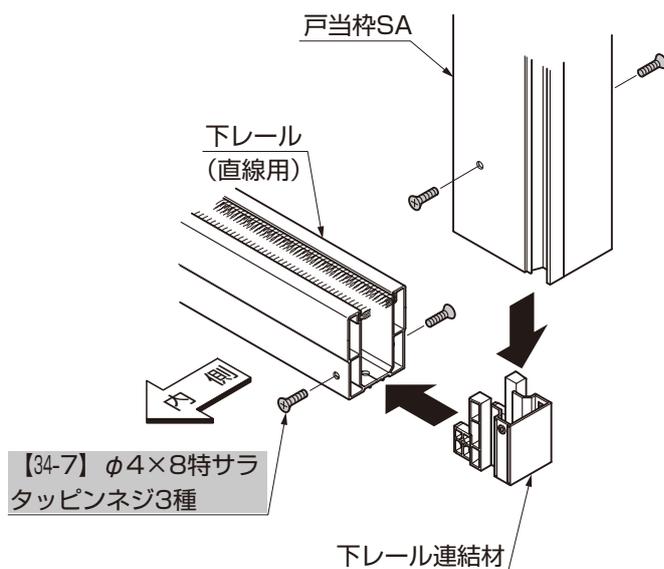


図1-13 戸当棒SAと下レール (直線用) の取付け

### (2) $\phi 4 \times 8$ トラスタッピンネジ3種 (D=8) 使用箇所

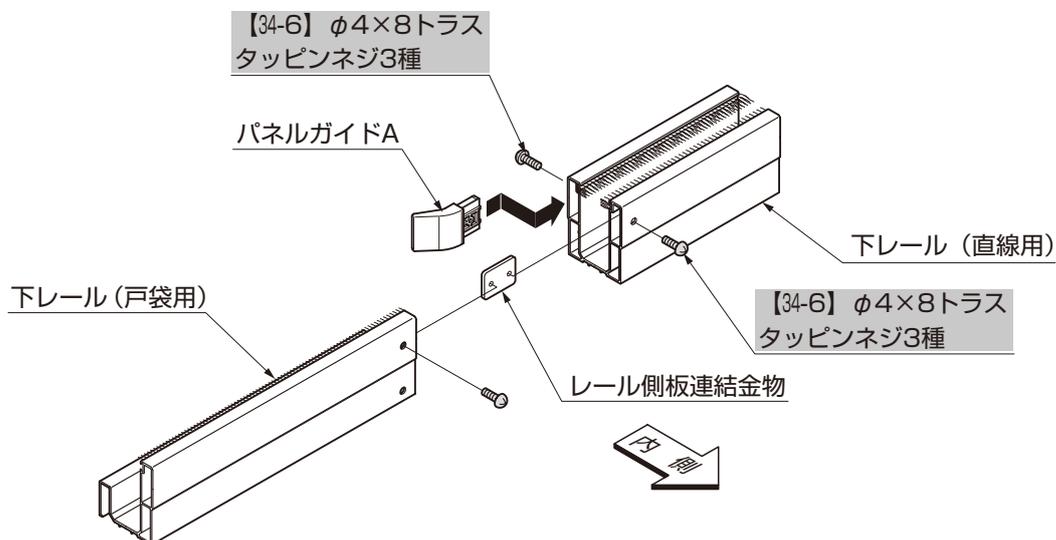


図1-14 下レール (戸袋用) と下レール (直線用) の取付け

## 1-4 折戸パネルの吊込み

※パネルセットの吊込み時は、パネル縦框の上端(※1)と、連結框(または戸当り框・吊元框)の上端(※2)をそろえてから、パネルセットを引掛け用穴に挿入し、下へスライドしてください。  
このとき、パネルの3ヶ所の引掛け用ネジの頭が引掛け用穴に完全に引掛かっていることを確認してください。

### ⚠ 注意

●パネルの吊込みの引掛かりが不完全な場合、パネルが脱落したり破損したりすると、事故につながるおそれがあります。

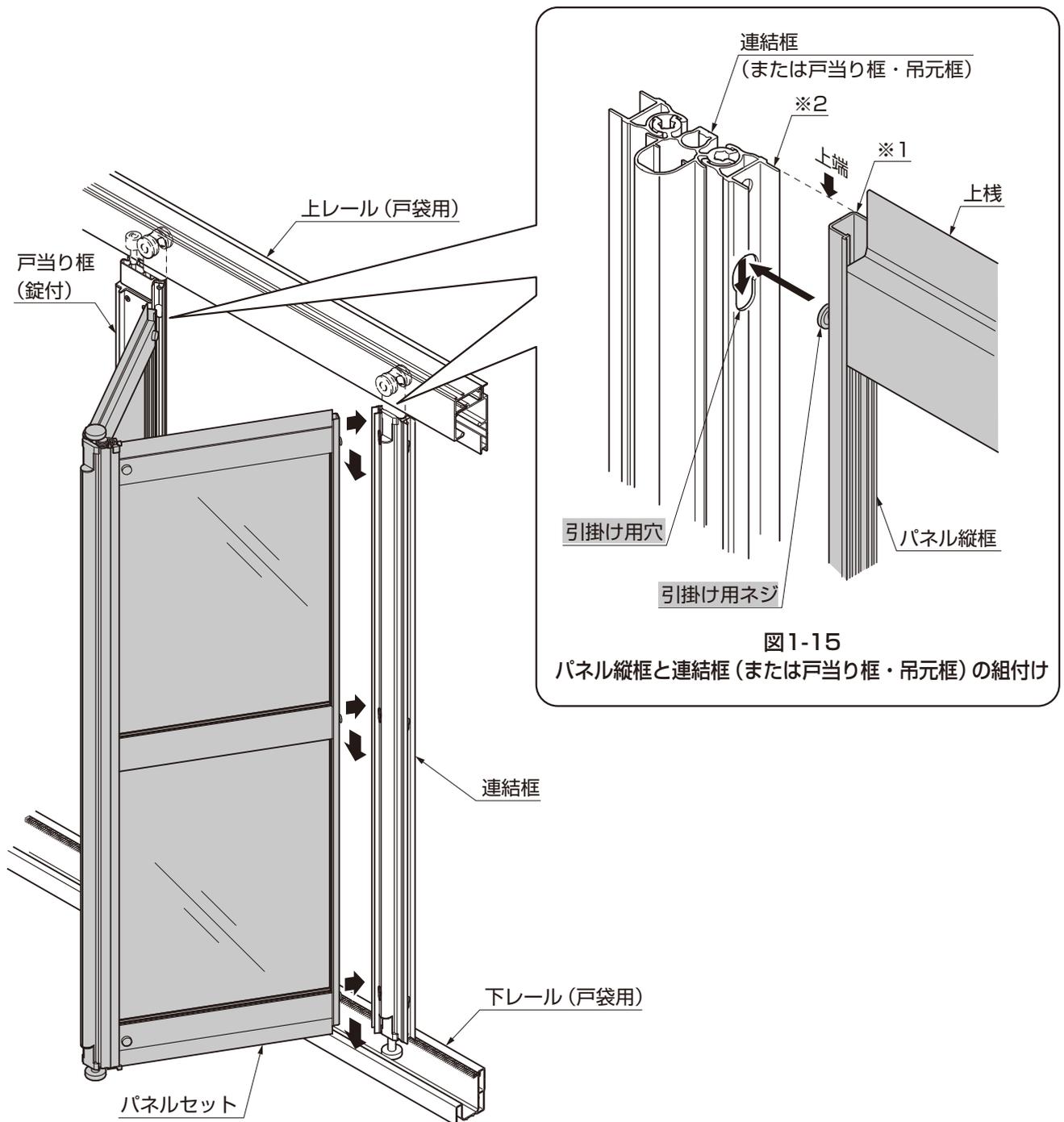


図1-15  
パネル縦框と連結框(または戸当り框・吊元框)の組付け

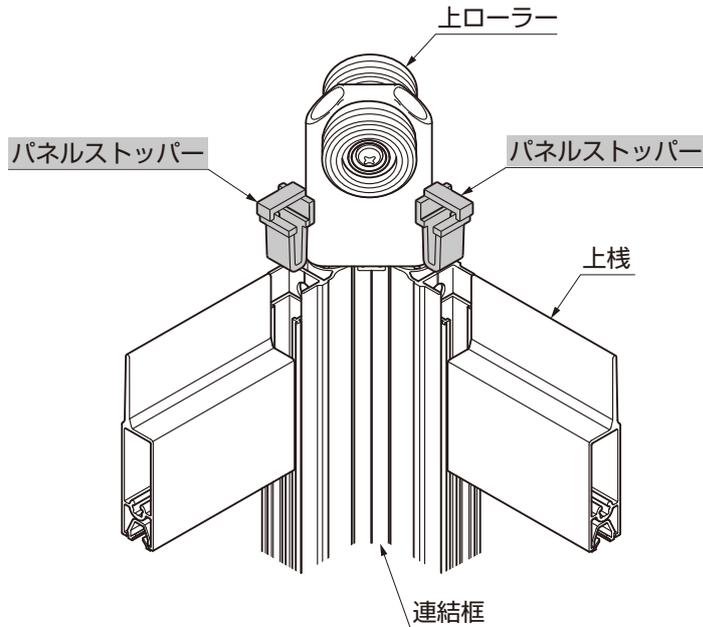
# 1. (つづき)

## 1-5 パネルストッパーの取付け

※すべてのパネルの吊込み完了後、連結框上部に **パネルストッパー** を取付けてください。

### ⚠ 注意

●パネルストッパーを取付けていない場合、開閉時や強風時にパネルが脱落し、事故につながるおそれがあります。

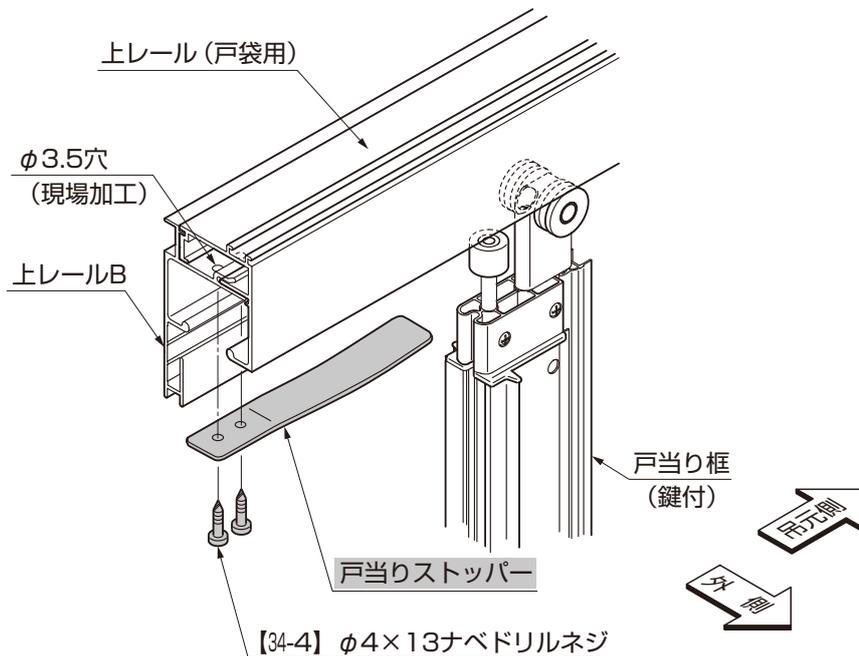


## 1-6 戸当りストッパーの取付け

※すべてのパネル吊込み後、**戸当りストッパー** を必ず所定の位置に取付けてください。

### 🔑 ポイント

●戸当りストッパーを所定の位置に取付けをしないと、パネルを閉めるときに戸袋からパネルがスムーズに出なくなり、破損の原因になります。



## 1-7 潤滑剤の塗布

※施工完了後、上下レール内(※1)と上下ローラー等(※2)や連結框(※3)に、**スプレー式シリコーン系潤滑剤**を吹き付け、パネルがスムーズに開閉できることを確認してください。

### ポイント

●スプレー式シリコーン系潤滑剤は、市販を購入して作業してください。

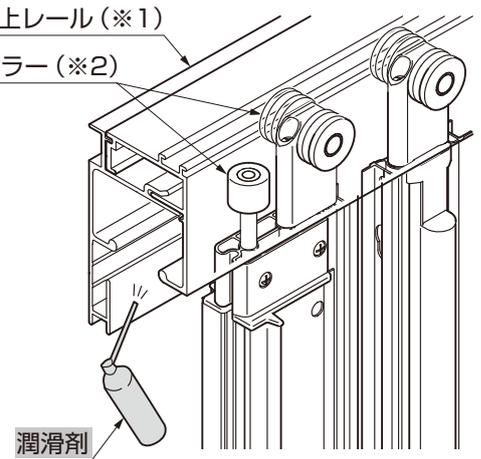
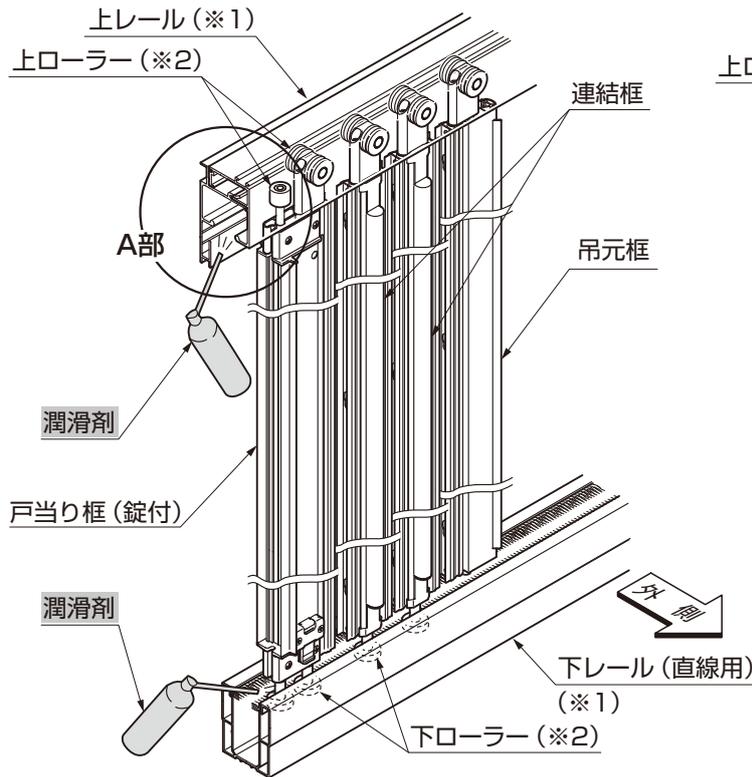


図1-16 A部詳細図

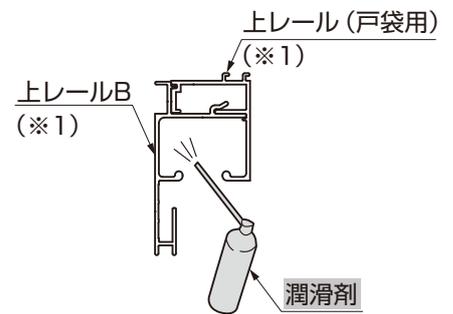


図1-17 潤滑剤の塗布

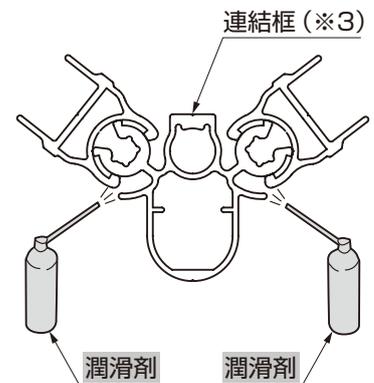
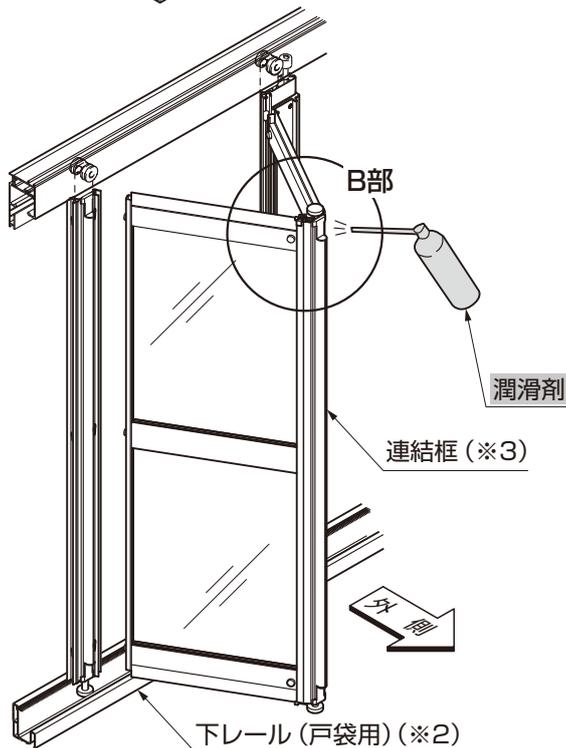
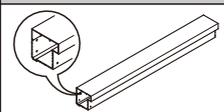
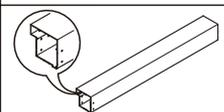


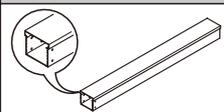
図1-18 B部パネル連結部

## 2 梱包明細表

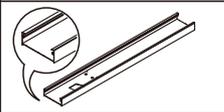
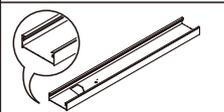
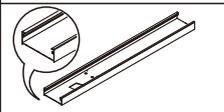
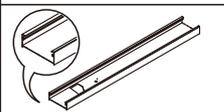
### 【1】主柱

名 称	略 図	員 数
主柱 右		2
主柱 左		2

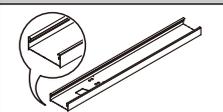
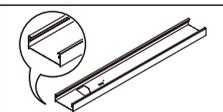
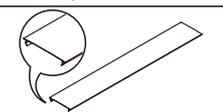
### 【2】中間主柱

名 称	略 図	員 数
中間主柱		2

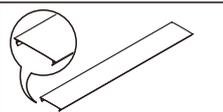
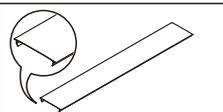
### 【4】横延長豎樋

名 称	略 図	員 数
豎樋 右		1
豎樋 左		1
豎樋 横延長水上・前		1
豎樋 横延長水上・後		1

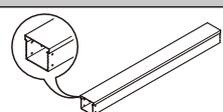
### 【3】豎樋

名 称	略 図	員 数
豎樋 右		2
豎樋 左		2
豎樋カバー		4

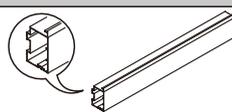
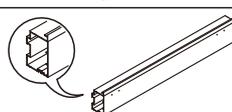
### 【4】横延長豎樋(つづき)

名 称	略 図	員 数
豎樋 横延長中間		2
豎樋カバー		2
豎樋カバー 横延長		4

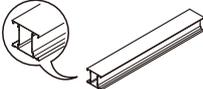
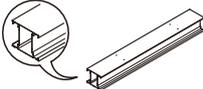
### 【5】袖・中間柱

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
袖・中間柱		1	2

### 【6】前後梁・前後梁S

名 称	略 図	員 数					
		1500タイプ			3000タイプ(Sタイプ)		
		標準縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74	標準 L54	標準 L60	縦延長 L74
前後梁		2	2	2	2	-	2
前後梁S(母屋取付用)		-	-	-	-	2	-

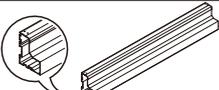
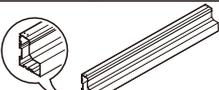
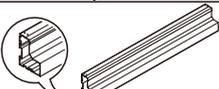
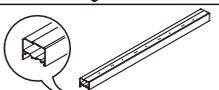
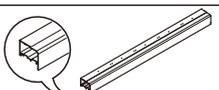
## 【7】 中間梁・中間梁S

名 称	略 図	員 数					
		1500タイプ			3000タイプ (Sタイプ)		
		標準・縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74	標準 L54	標準 L60	縦延長 L74
中間梁		1	1	1	1	-	1
中間梁S (母屋取付用)		-	-	-	-	1	-

## 【8】 中間梁カバー

名 称	略 図	員 数
中間梁カバー		2

## 【9】 桁・桁S (水上)

名 称	略 図	員 数							
		1500タイプ				3000タイプ (Sタイプ)			
		標準・ 縦延長L74 右勝手	標準・ 縦延長L74 左勝手	横延長L60 縦延長L74 右勝手	横延長L60 縦延長L74 左勝手	標準L54・ 縦延長L74 右勝手	標準L54・ 縦延長L74 左勝手	標準L60 右勝手	標準L60 左勝手
桁 (水上) 右勝手 (※1)		1	-	-	-	-	-	-	-
桁 (水上) 左勝手 (※1)		-	1	-	-	-	-	-	-
桁S (水上) 右勝手 (積雪) (※2)		-	-	-	-	1	-	1	-
桁S (水上) 左勝手 (積雪) (※2)		-	-	-	-	-	1	-	1
補強桁 右勝手		1	-	1	-	1	-	1	-
補強桁 左勝手		-	1	-	1	-	1	-	1

(※1) 縦延長L74は桁連結スリーブで、現場施工にて連結となります。

(※2) 縦延長L74は桁連結スリーブで、現場施工にて連結となります。

W34・W38タイプは、中間梁の取付けのための、加工穴が5カ所あいています。

【10】桁・桁S(水下)

名 称	略 図	員 数							
		1500タイプ				3000タイプ(Sタイプ)			
		標準・ 縦延長L74 右勝手	標準・ 縦延長L74 左勝手	横延長L60 縦延長L74 右勝手	横延長L60 縦延長L74 左勝手	標準L54・ 縦延長L74 右勝手	標準L54・ 縦延長L74 左勝手	標準L60 右勝手	標準L60 左勝手
桁(水下)右勝手(※3)		1	-	1	-	-	-	-	-
桁(水下)左勝手(※3)		-	1	-	1	-	-	-	-
桁S(水下)右勝手(積雪)(※4)		-	-	-	-	1	-	1	-
桁S(水下)左勝手(積雪)(※4)		-	-	-	-	-	1	-	1

(※3) 縦延長・縦横延長L74は桁連結スリーブで、現場施工にて連結となります。

(※4) 縦延長L74は桁連結スリーブで、現場施工にて連結となります。

W34・W38タイプは、中間梁の取付けのための、加工穴が5カ所あいています。

【11】中間桁

名 称	略 図	員 数	
		横延長L60 縦延長L74 右勝手	横延長L60 縦延長L74 左勝手
中間桁 右勝手(※5)		1	-
中間桁 左勝手(※5)		-	1

(※5) 縦横延長L74は、中間桁連結スリーブで現場施工にて連結となります。

【12】桁(横延長水上)

名 称	略 図	員 数	
		横延長L60 縦延長L74 右勝手	横延長L60 縦延長L74 左勝手
桁(横延長水上) 右勝手(※6)		1	-
桁(横延長水上) 左勝手(※6)		-	1

(※6) 縦横延長L74は、桁連結スリーブ(2台用-水上用)で現場施工にて連結となります。

【13】間口

名 称	略 図	員 数		
		標準・ 縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74
幕板梁用 前		1	-	-
幕板梁用 後		1	-	-
幕板梁用 (横延長) 前		-	2	2
幕板梁用 (横延長) 後		-	2	2
横樋梁用		2	-	-

【13】間口(つづき)

名 称	略 図	員 数		
		標準・ 縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74
横樋梁用(横延長) 水上用・前		-	1	1
横樋梁用(横延長) 水上用・後		-	1	1
横樋梁用(横延長) 水下用・前		-	1	1
横樋梁用(横延長) 水下用・後		-	1	1
幕板調整材		-	1	1

[14] 長さ

名 称	略 図	員 数	
		標準・横延長L60 縦延長・縦横延長L74 右勝手	標準・横延長L60 縦延長・縦横延長L74 左勝手
幕板桁用(水上)右勝手(※7)		1	—
幕板桁用(水上)左勝手(※7)		—	1
幕板桁用(水下)右勝手(※7)		1	—
幕板桁用(水下)左勝手(※7)		—	1
横樋桁用(水上)(※8)		1	1
横樋桁用(水下)(※8)		1	1

(※7) 縦延長・縦横延長L74は、幕板桁用連結金具で現場施工にて連結となります。

(※8) 縦延長・縦横延長L74は、横樋桁用連結金具で現場施工にて連結となります。

[15] 母屋S

[15] 母屋S(つづき)

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		右勝手	左勝手			右勝手	左勝手
母屋S 水上側 右勝手		1	—	母屋S 水下側 右勝手		1	—
母屋S 水上側 左勝手		—	1	母屋S 水下側 左勝手		—	1

※母屋Sは、3000タイプ(Sタイプ)の標準W34・W38のみの取付けとなります。

[16] ベース材

名 称	略 図	員 数		
		目隠・ 機能・袖	折 戸	シャッター
ベース材A		—	1	1
ベース材B		1	—	—
ベース材C		1	1	—

【17】屋根材

名 称	略 図	員 数	
		1枚入	2枚入
折板屋根材 (※9)		1	2

(※9) 折板屋根材は、間口サイズによって厚さ仕様 (t=0.6・0.8・1.0) が異なります。

【18】ペフ付屋根材 (不燃)

**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		1枚入	2枚入
折板屋根材 (ペフ付) (※10)		1	2

(※10) 折板屋根材 (ペフ付) は、間口サイズによって厚さ仕様 (t=0.6・0.8・1.0) が異なります。

【19】折板部品セット

名 称	略 図	員 数				
		標準 L54	標準 L60	縦延長 L74	追加横延長 L60 (※11)	追加横延長 L74 (※12)
タイトフレーム中間用		16	18	22	9	11
タイトフレームエンド用		2	2	4	1	2
ケラバ		2	2	—	1	—
端部用ナット付笠ワッシャー		54	60	74	30	37
端部用パッキン		54	60	74	30	37
端部用ルーフボルトキャップ		54	60	74	30	37
【19-1】φ5×12ナベタッピンネジ3種		72	80	98	40	49

(※11) 横延長L60の場合は、標準L60と追加横延長L60の両方の折板部品が必要になります。

(※12) 縦横延長L74の場合は、縦延長L74と追加横延長L74の両方の折板部品が必要になります。

【20】 屋根部品

名 称	略 図	員 数							
		1500タイプ					3000タイプ (Sタイプ)		
		標 準		縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74	標 準		縦延長 L74
		L54	L60				L54	L60	
ベース材取付金具		30	30	30	36	36	46	46	46
アンカー棒		8	8	8	12	12	12	12	12
柱桁取付金具 A (Lアングル)		8	8	8	12	12	12	12	12
柱桁取付金具 B (Lアングル)		8	8	8	12	12	12	12	12
前後梁固定金具 A		2	2	2	4	4	2	2	2
前後梁固定金具 B		2	2	2	4	4	2	2	2
中間梁取付金具 右		2	2	2	4	4	2	10	2
中間梁取付金具 左		2	2	2	4	4	2	10	2
母屋取付金具		-	-	-	-	-	-	4	-
幕板取付金具		4	4	4	4	4	4	4	4
幕板取付金具 (横延長用・右用)		-	-	-	2	2	-	-	-
幕板取付金具 (横延長用・左用)		-	-	-	2	2	-	-	-
幕板桁用連結金具		-	-	2	-	2	-	-	2
幕板梁用縦樋接続金具 (横延長用)		-	-	-	2	2	-	-	-
横樋桁用連結金具		-	-	2	-	2	-	-	2
横樋梁用連結金具 (横延長用)		-	-	-	2	2	-	-	-

【20】屋根部品(つづき)

名 称	略 図	員 数							
		1500タイプ					3000タイプ(Sタイプ)		
		標 準		縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74	標 準		縦延長 L74
		L54	L60				L54	L60	
竖樋キャップ		4	4	4	6	6	4	4	4
竖樋受けキャップ		4	4	4	6	6	4	4	4
換気面戸爪付		50	56	70	56	70	50	56	70
端部面戸爪付 水上用 A		1	1	1	1	1	1	1	1
端部面戸爪付 水上用 B		1	1	1	1	1	1	1	1
端部面戸爪付 水下用 A		1	1	1	1	1	1	1	1
端部面戸爪付 水下用 B		1	1	1	1	1	1	1	1
止水パッキン 桁用 右 (裏面シール付き)		2	2	2	1	1	2	2	2
止水パッキン 桁用 左 (裏面シール付き)		2	2	2	1	1	2	2	2
止水パッキン 横延長水上 桁用 右 (裏面シール付き)		-	-	-	1	1	-	-	-
止水パッキン 横延長水上 桁用 左 (裏面シール付き)		-	-	-	1	1	-	-	-
止水パッキン 中間桁用 前 (裏面シール付き)		-	-	-	1	1	-	-	-
止水パッキン 中間桁用 後 (裏面シール付き)		-	-	-	1	1	-	-	-
止水パッキン 前後梁用 右 (裏面シール付き)		2	2	2	4	4	2	2	2
止水パッキン 前後梁用 左 (裏面シール付き)		2	2	2	4	4	2	2	2
止水パッキン 幕板梁用(水上用) (裏面シール付き)		2	2	2	2	2	2	2	2

【20】屋根部品(つづき)

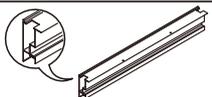
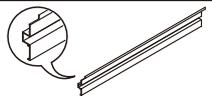
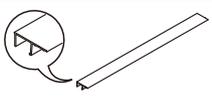
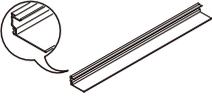
名 称	略 図	員 数							
		1500タイプ					3000タイプ(Sタイプ)		
		標 準		縦延長 L74	横延長 L60	縦横延長 L74	標 準		縦延長 L74
		L54	L60				L54	L60	
止水パッキン 幕板梁用(水下用) (裏面シール付き)		2	2	2	2	2	2	2	2
止水クッション材 桁ボルト溝用		4	4	4	10	10	4	4	4
止水クッション材 桁配線溝用		4	4	4	8	8	4	4	4
止水パッキン 幕板梁用縦樋連結金具用		-	-	-	2	2	-	-	-
止水クッション材 幕板桁用連結部用		-	-	-	2	2	-	-	-
ルーフボルトキャップ(折板中間用)		20	22	26	44	52	20	22	26
折板固定用部品(折板中間用)		20	22	26	44	52	20	22	26
止水パッキン 折板用(裏面シール付き)		20	22	26	22	26	20	22	26
止水パッキン 横樋梁用・屋根用 L=1000(裏面シール付き)		36	41	48	68	79	36	41	48
仮止めテープ		1	1	1	1	1	1	1	1
桁連結スリーブ		-	-	2	-	1	-	-	2
桁連結スリーブ(2台用・水上用)		-	-	-	-	1	-	-	-
中間桁連結スリーブ		-	-	-	-	1	-	-	-
92° エルボ φ40		4	4	4	6	6	4	4	4
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1

【20】 屋根部品(つづき)

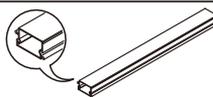
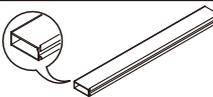
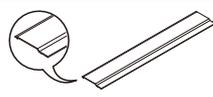
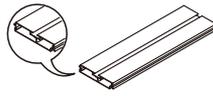
名 称	略 図	員 数								
		1500タイプ						3000タイプ(Sタイプ)		
		標 準		縦延長	横延長	縦横延長	標 準		縦延長	
		L54	L60	L74	L60	L74	L54	L60	L74	
【20-1】 M5×16六角ボルト (PW+SW)		51	51	51	84	84	67	67	67	
【20-2】 φ5×19ナベドリルネジ		109	109	109	182	182	141	245	141	
【20-3】 φ4×13ナベドリルネジ		63	66	79	89	102	63	66	79	
【20-4】 φ4×12トラス タッピンネジ3種 (D=8)		139	139	177	188	240	187	187	239	
【20-5】 φ4×12トラス タッピンネジ3種 (D=8) (※14)		-	-	9	-	9	-	-	9	
【20-6】 φ4×12座金組込み トラスタッピンネジ3種 (D=8) (PW+樹脂W)		-	-	13	-	19	-	-	13	
雪下ろし注意シール 1500N		1	1	1	1	1	-	-	-	
雪下ろし注意シール 3000N		-	-	-	-	-	1	1	1	
取付説明書 (D465)	-	1	1	1	1	1	1	1	1	
取付説明書 施工フロー (D466)	-	1	1	1	1	1	1	1	1	
取扱説明書 (UD096)	-	1	1	1	1	1	1	1	1	

(※14) シャイングレー+オータムブラウンの場合はダークブラウン色、シャイングレーの場合は生地色となります。

【21】 機能・袖(目隠材)

名 称	略 図	員 数		
		D03	D04	D05
目隠材上枠前		1	1	1
目隠材上枠後		1	1	1
ベース材Bカバー		1	1	1
目隠材側枠A		1	1	1
目隠材側枠B		1	1	1

【21】 機能・袖(目隠材)(つづき)

名 称	略 図	員 数		
		D03	D04	D05
目隠端部材A		1	1	1
目隠端部材B		1	1	1
目隠側枠Bカバー		1	1	1
目隠材A		2	2	2
目隠材B		-	1	2

※アルミ形材色(オータムブラウンまたはシャイングレー)の場合は、目隠材Bカバーは不要となります。

**【22】機能・袖（上げ下げ窓）**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
		D05
目隠材上枠前		1
上枠後上げ下げ窓		1
側枠上げ下げ窓		2
上げ下げ窓パネル		1
目隠側枠Bカバー		2

**【23】目隠材（上下枠）**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
目隠材上枠前		1
目隠材上枠後		1
ベース材Bカバー		1

**【24】目隠材（端部）**

名 称	略 図	員 数
		D06
目隠材側枠A		1
目隠材側枠B		1
目隠端部材A		1
目隠端部材B		1
目隠側枠Bカバー		1
目隠材A		4
目隠材B		1

※アルミ材色（オータムブラウンまたはシャイングレー）の場合は、目隠材Bカバーは不要となります。

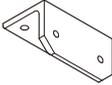
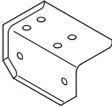
**【25】目隠材（中間）**

名 称	略 図	員 数						
		D02	D03	D06	D08	D12	FIX中間 D06	換気扇用中間D06 オプション
目隠材A		2	2	4	5	8	1	1
目隠材B		—	1	2	3	4	—	—
FIX中間パネル		—	—	—	—	—	1	—
換気扇用中間パネル		—	—	—	—	—	—	1
中間FIX用目隠材		—	—	—	—	—	2	2

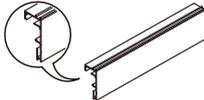
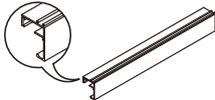
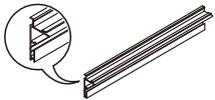
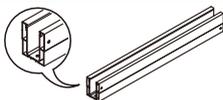
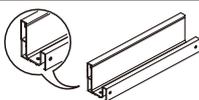
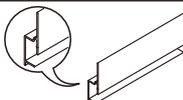
※アルミ材色（オータムブラウンまたはシャイングレー）の場合は、目隠材Bカバーは不要となります。

※FIX中間と換気扇用中間は選択部材のため、いずれかの取付けとなります。

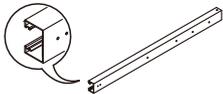
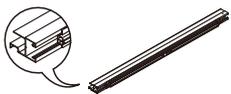
【26】 正面・背面部品

名 称	略 図	員 数	
		正面・背面部品	
		袖なし	袖あり
ベース材取付金具		-	4
柱桁取付金具A (Lアングル)		-	1
柱桁取付金具B (Lアングル)		-	1
アンカー棒		-	1
【26-1】 M5×16六角ボルト (PW+SW)		-	5
【26-2】 φ5×19ナベドリルネジ		-	9
【26-3】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 (D=8)		-	14
【26-4】 φ4×19ナベドリルネジ		24	24
【26-5】 φ4×13ナベドリルネジ		87	110
【26-6】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 (D=8)		10	10
【26-7】 φ4×8トラスタッピンネジ1種 (D=8)		24	24
【26-8】 φ4×12バインド小ネジ		5	5

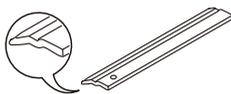
【27】 桁レール (外収納)

名 称	略 図	員 数
上レールA		1
上レール (戸袋用)		1
上レールB		1
下レール (直線用)		1
下レール (戸袋用)		2
上棧カバー		3

## 【28】戸当枠・吊元枠（錠付）

名 称	略 図	員 数	
		右外（錠付）	左外（錠付）
吊元枠		1	1
戸当枠SA（右用）		1	—
戸当枠SA（左用）		—	1
戸当枠SB		1	1
ネジカバー（戸当枠SA用）		1	1

## 【29】戸当り框・吊元框（錠付）

名 称	略 図	員 数	
		右外（錠付）	左外（錠付）
吊元框		1	1
戸当り框（錠付）		1	1
吊元ストッパー		1	1

## 【30】連結框

名 称	略 図	員 数	
		1本入	4本入
連結框		1	4

## 【31】パネル（外収納）

名 称	略 図	員 数
パネル		1
パネルストッパー		2
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

【32】 ロックパネル (外収納)

名 称	略 図	員 数
ロックパネル		1
パネルストッパー		2
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

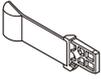
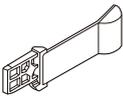
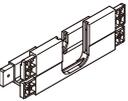
【33】 錠セット

名 称	略 図	員 数	
		1個入	2個入
シリンダーユニット		1	2
サムターン座		1	2
サムターンツマミ		1	2
シリンダー鍵		1	2
【33-1】 M3×10サラ小ネジ		2	4
【33-2】 M3×10ナベ小ネジ		1	2
【33-3】 M4×16サラ小ネジ		1	2

【34】 側面部品

名 称	略 図	員 数											
		1500タイプ						3000タイプ (Sタイプ)					
		側面右部品			側面左部品			側面部品	側面右部品		側面左部品		側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・目隠目隠
ベース材取付金具		—	—	4	—	—	4	—	—	—	—	—	—
柱桁取付金具 A (Lアングル)		—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
柱桁取付金具 B (Lアングル)		—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
アンカー棒		—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—

【34】側面部品（つづき）

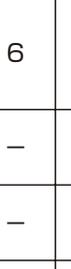
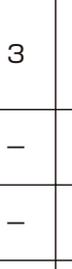
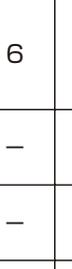
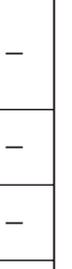
名 称	略 図	員 数											
		1500タイプ						3000タイプ (Sタイプ)					
		側面右部品			側面左部品			側面部品	側面右部品		側面左部品		側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・目隠目隠
スムーサー (A勝手)		1	2	2	-	-	-	-	1	2	-	-	-
スムーサー (B勝手)		-	-	-	1	2	2	-	-	-	1	2	-
φ5用 プッシュボタン		9	18	18	9	18	18	-	9	18	9	18	-
下レール連結材		2	4	4	2	2	4	-	2	4	2	4	-
レール側板連結金物		1	2	2	1	4	2	-	1	2	1	2	-
戸当りストッパー		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
ストッパーガイド		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
パネルガイドA		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
ロック枠カバーA		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
ロック枠カバーB		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
連結枠カバーA		2	4	4	2	4	4	-	2	4	2	4	-
連結枠カバーB		2	4	4	2	4	4	-	2	4	2	4	-
掃き出し部連結材		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-

【34】側面部品 (つづき)

名 称	略 図	員 数											
		1500タイプ						3000タイプ (Sタイプ)					
		側面右部品			側面左部品			側面部品	側面右部品		側面左部品		側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・折戸目隠	目隠折戸・折戸目隠	目隠目隠・目隠目隠
掃き出し部 キャップ (大)		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
掃き出し部 キャップ (小)		1	2	2	1	2	2	-	1	2	1	2	-
パネル吊元 クッションゴム		3	6	6	3	6	6	-	3	6	3	6	-
【34-1】 M5×16 六角ボルト (PW+SW)		-	-	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-
【34-2】 φ5×19 ナベドリルネジ		-	-	9	-	-	9	-	-	-	-	-	-
【34-3】 φ4×19 ナベドリルネジ		12	22	22	12	22	22	-	12	22	12	22	-
【34-4】 φ4×13 ナベドリルネジ		103	103	124	103	103	124	99	142	155	142	155	144
【34-5】 φ4×12トラス タッピンネジ3種 (D=8)		-	-	14	-	-	14	-	-	-	-	-	-
【34-6】 φ4×8トラス タッピンネジ3種 (D=8)		12	21	21	12	21	21	-	12	21	12	21	-
【34-7】 φ4×8特サラ タッピンネジ3種		18	34	34	18	34	34	-	18	34	18	34	-
【34-8】 φ4×20特サラ タッピンネジ3種		2	3	3	2	3	3	-	2	3	2	3	-
【34-9】 M4×8トラス 小ネジ (D=8) (※13)		2	4	4	2	4	4	-	2	4	2	4	-
【34-10】 M4六角 ナット1種 (※13)		2	4	4	2	4	4	-	2	4	2	4	-

(※13) 【34-9】 【34-10】 は、スモーカーA、スモーカーBに同梱にされています。

【35】シャッター取付部材

名 称	略 図	員 数
シャッター取付用横部材A		1
シャッター取付用横部材B		1
シャッター取付用縦部材		2
ネジカバー (シャッター縦部材用)		2

【36】シャッター内部付枠

名 称	略 図	員 数
化粧まぐさ		1
外枠 右		1
外枠 左		1

**【37】 シャッター電動内部付本体**

名 称	略 図	員 数
シャッター本体		1
ケース正面		1
ケースカバー		2
操作ハンドル		1
単機能リモコン (ホルダー付)		1
単機能リモコン (リモコンカバー付)		1
停電開閉表示ラベル		1
【37-1】 φ4×10サラタッピンネジ 3種		2

**【38】 シャッター電動ガイドレール**

名 称	略 図	員 数
電動ガイドレール 右		1
電動ガイドレール 左		1
ガイドレール抜け防止金具		2
【38-1】 φ4×13ナベドリルネジ(※14)		4

(※14) 【38-1】は、ガイドレール抜け防止金具取付けネジとして、【34-4】にも同梱しています。

**【39】 棚脚セット**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
棚受け柱		3
棚受け材		9
棚受け金具		18
棚受け柱キャップ		3
棚受け金具取付用裏板		19
【39-1】 M5×8トラス小ネジ		19
【39-2】 φ4×12トラス タッピンネジ3種(D=8)		4
【39-3】 φ4×19ナベドリルネジ		38
【39-4】 φ4.1×25木ネジ		38

**【40】 棚板**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
棚板		1

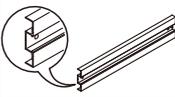
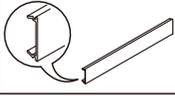
**【41】 テーブル板**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
テーブル天板		1

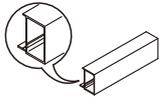
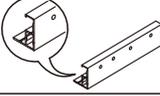
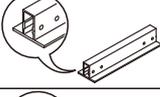
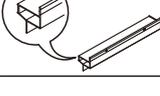
## 【42】 テーブル脚セット

オプション

名称	略図	員数
テーブル腰壁取付台座		1
テーブル腰壁取付台座フタ		1
テーブル脚		2
テーブルアジャスター		2
テーブル取付金具B		6
テーブル取付金具C		4
丁番		2
テーブル台座用端部カバー		2
【42-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種(D=8)		5
【42-2】φ4×19ナベドリルネジ		6
【42-3】φ4.1×25サラ木ネジ		7
【42-4】φ4×20特サラタッピン ネジ1種		9
【42-5】φ4×16サラドリルネジ		5
【42-6】φ4×12特サラタッピン ネジ3種(D=6)		34

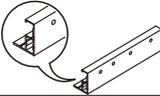
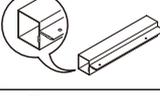
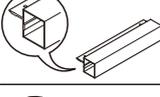
## 【43】 内装パネル枠材 横(天井用)

オプション

名称	略図	員数
内装用枠材A(横)		2
内装用枠材B(横)		2
内装用枠材C		1
内装用枠材E		2
内装パネル取付裏板 (中間梁取付用)		2
内装用枠材固定金具		6
【43-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		33
【43-2】φ4×16ナベドリルネジ		9
【43-3】φ4×13ナベドリルネジ		7

## 【44】 内装パネル枠材 縦(壁付け)

オプション

名称	略図	員数
内装用枠材B(縦)		5
内装用枠材D(右)		1
内装用枠材D(左)		1
内装用枠材F		2
内装パネル面材ジョイント材		1
内装用枠材固定金具		20
内装用枠材受け金具		10
内装用枠材受け金具裏板		11
【44-1】M5×8トラス小ネジ		11
【44-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)		63
【44-3】φ4×19ナベドリルネジ		11
【44-4】φ5×16トラスタッピンネジ3種		11

**【45】 内面パネル面材 (不燃) オプション**

名 称	略 図	員 数
内装パネル面材 (t6.0×910×1820)		2

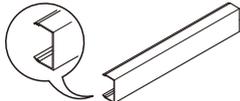
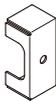
**【46】 Lアングル (目隠オプション) オプション**

名 称	略 図	員 数
Lアングル		4
金具取付用裏板		4
【46-1】 M5×8トラス小ネジ		5
【46-2】 φ4×19ナベドリルネジ		5

**【47】 フック (目隠オプション) オプション**

名 称	略 図	員 数
フック		4
金具取付用裏板		4
【47-1】 M5×8トラス小ネジ		5
【47-2】 φ4×19ナベドリルネジ		5

**【48】 配線カバー オプション 【49】 中間梁取付金具 (追加梁用) オプション**

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
配線カバー L=4000		1	中間梁取付金具 右		2
配線カバー端部金具		2	中間梁取付金具 左		2
【48-1】 φ4×13ナベドリルネジ		3	【49-1】 φ5×19ナベドリルネジ		3

**【50】 追加リモコンセット オプション**

名 称	略 図	員 数
単機能リモコン (リモコンカバー付)		1
追加リモコン登録説明書<EXM-120>		1

### 3 基本寸法

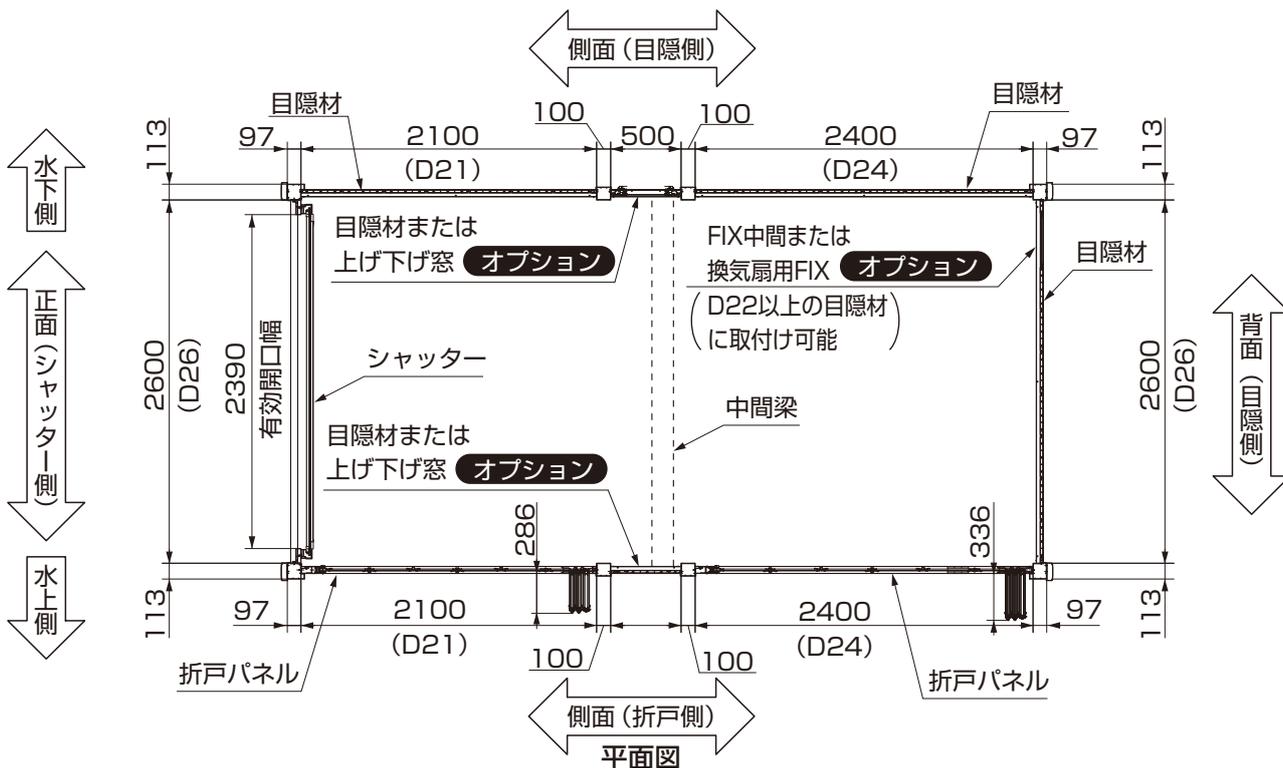
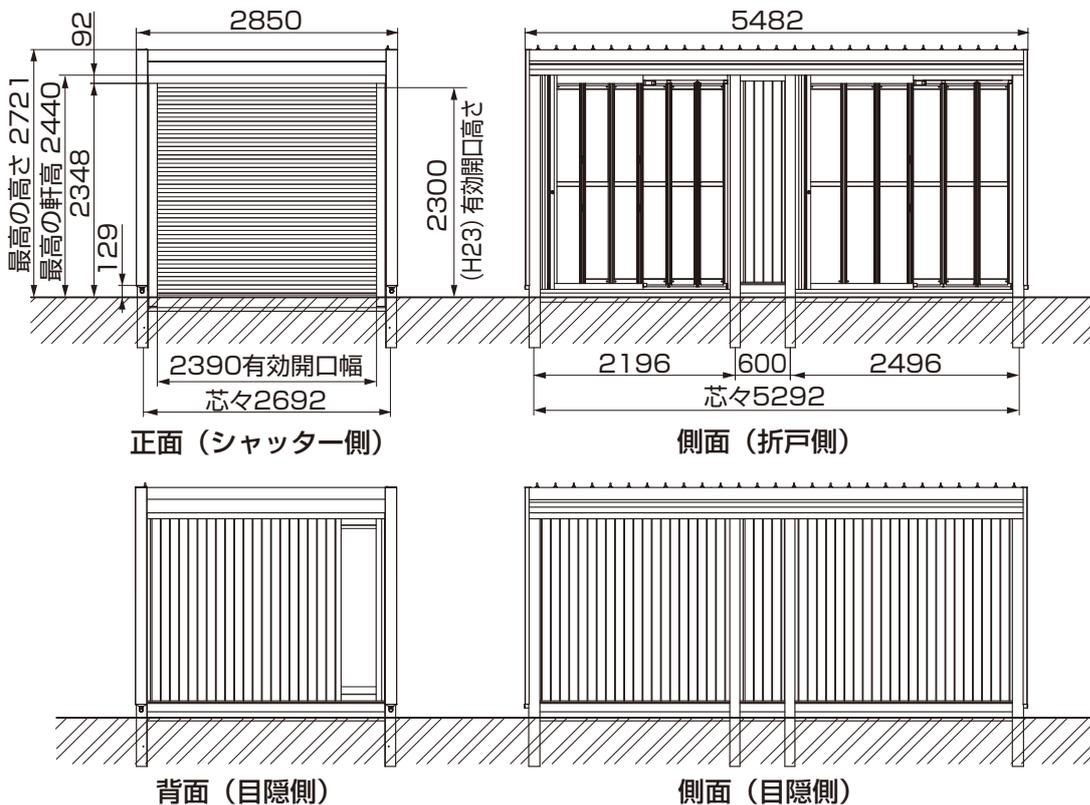
#### 1. 基本寸法図

##### 1-1 1500タイプ

##### (1) 標準 28-54

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

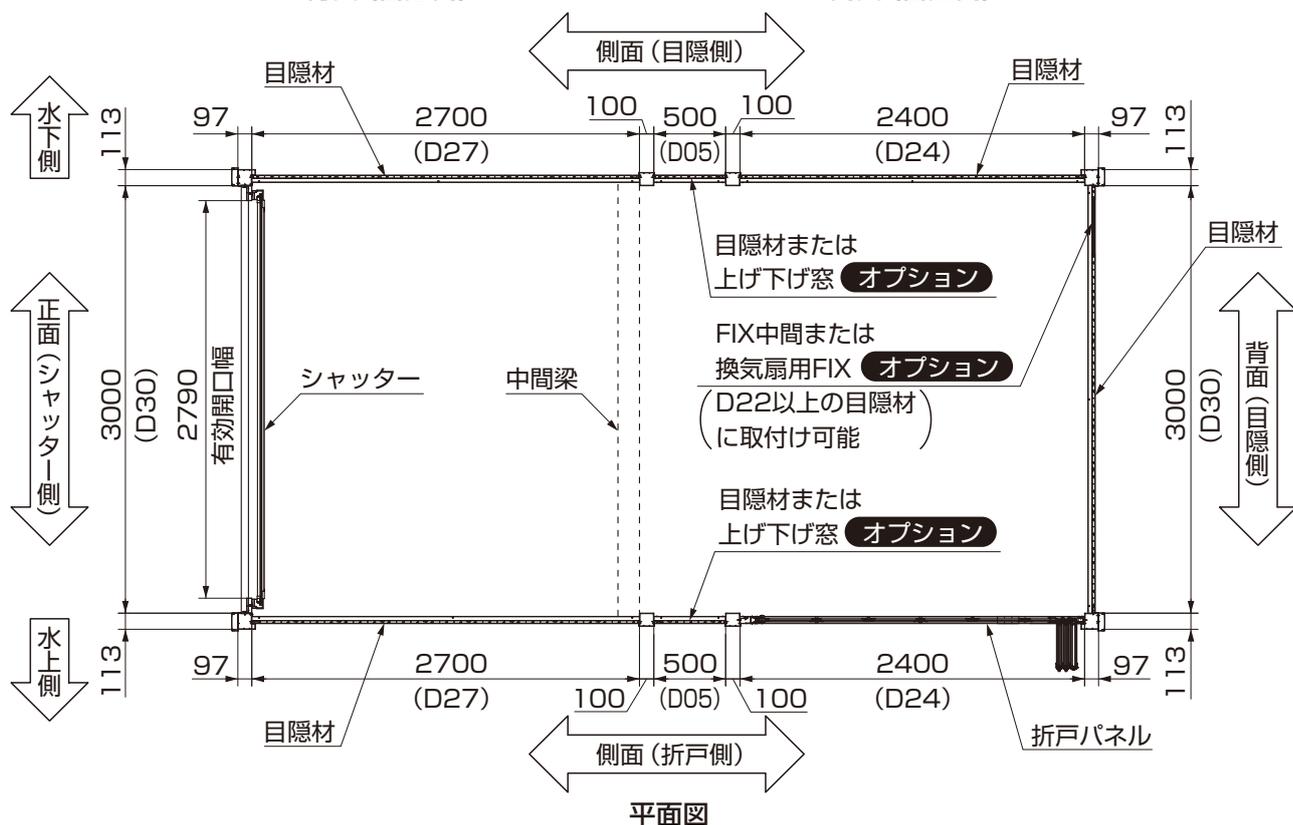
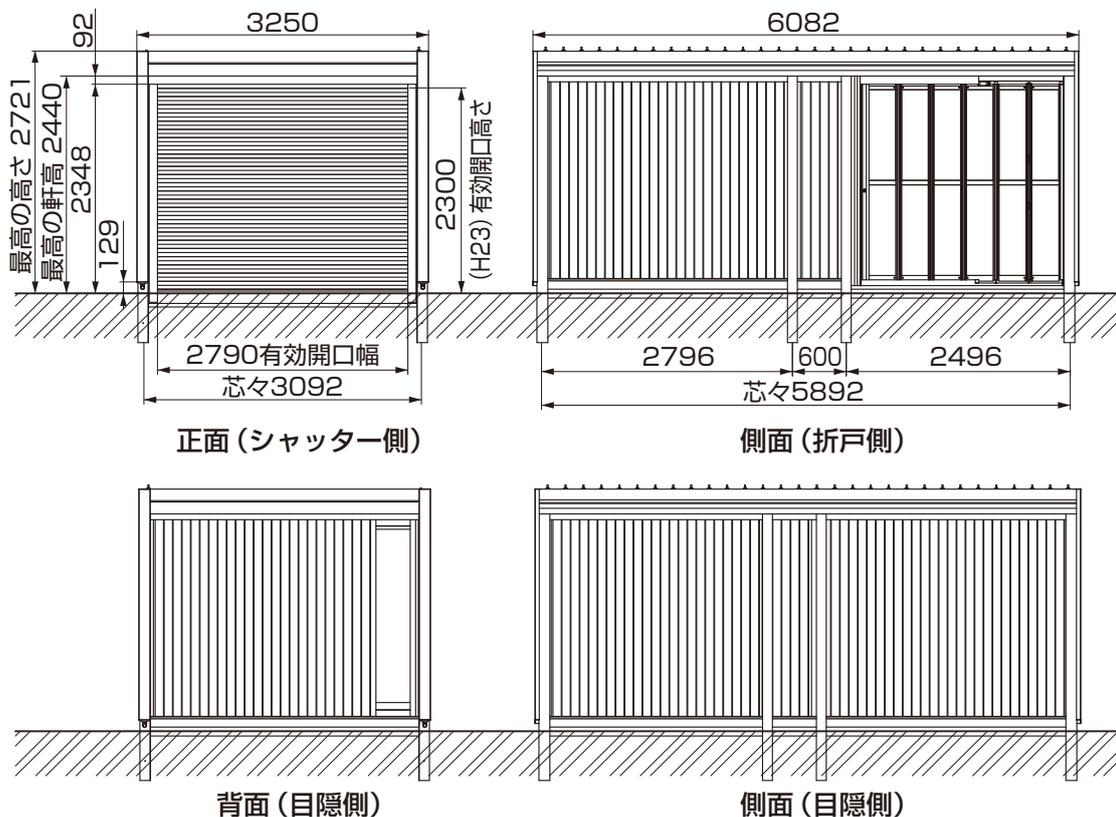
建築面積：14.25m<sup>2</sup>  
床面積：14.25m<sup>2</sup>



(2) 標準 32-60

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

建築面積：18.22m<sup>2</sup>  
床面積：18.22m<sup>2</sup>



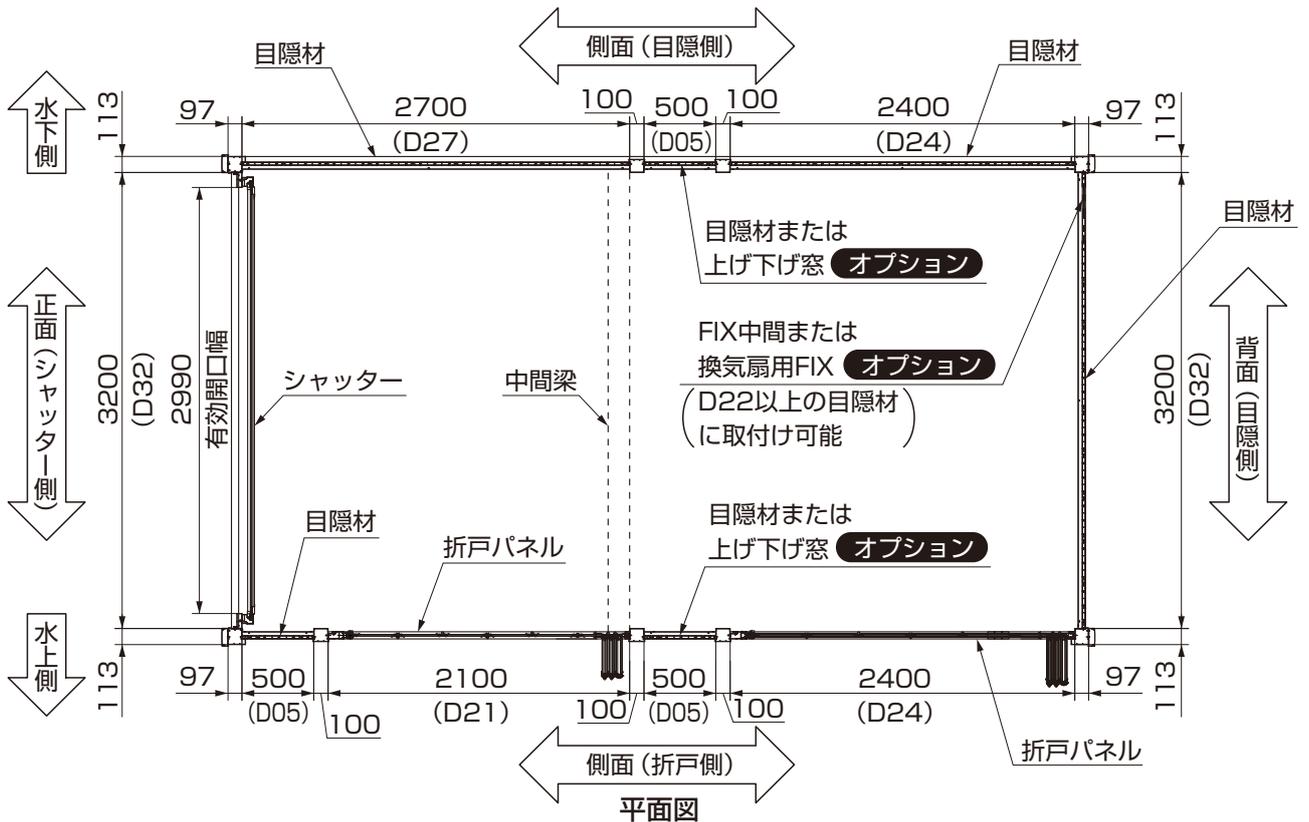
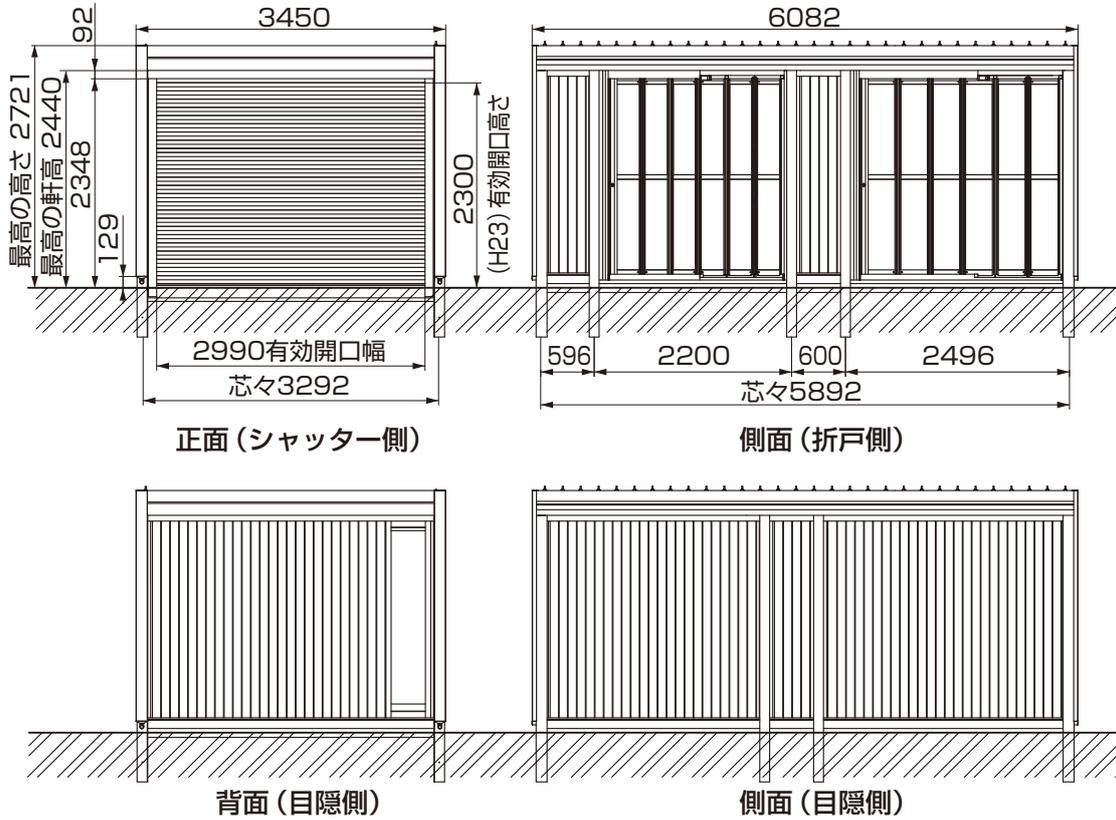
# 1. (つづき)

## 1-1 1500タイプ (つづき)

### (3) 標準 34-60

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

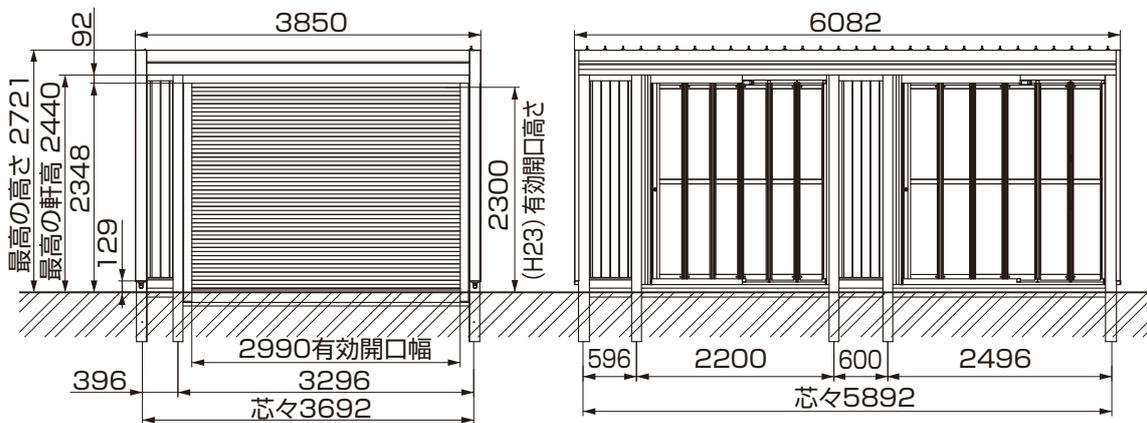
建築面積：19.40m<sup>2</sup>  
床面積：19.40m<sup>2</sup>



(4) 標準 38-60

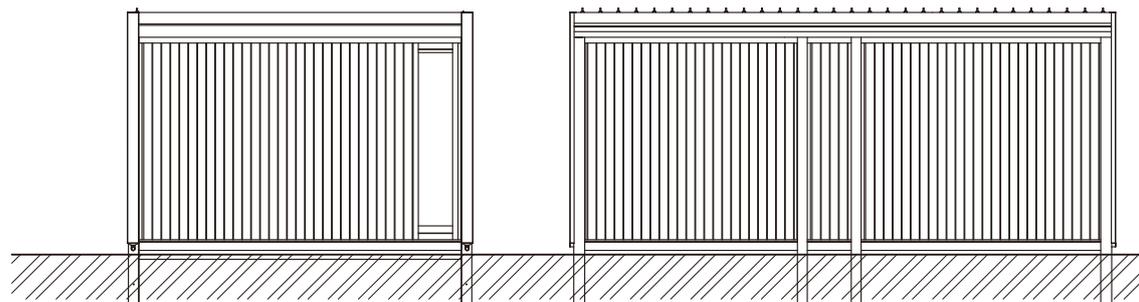
建築面積：21.75m<sup>2</sup>  
床面積：21.75m<sup>2</sup>

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



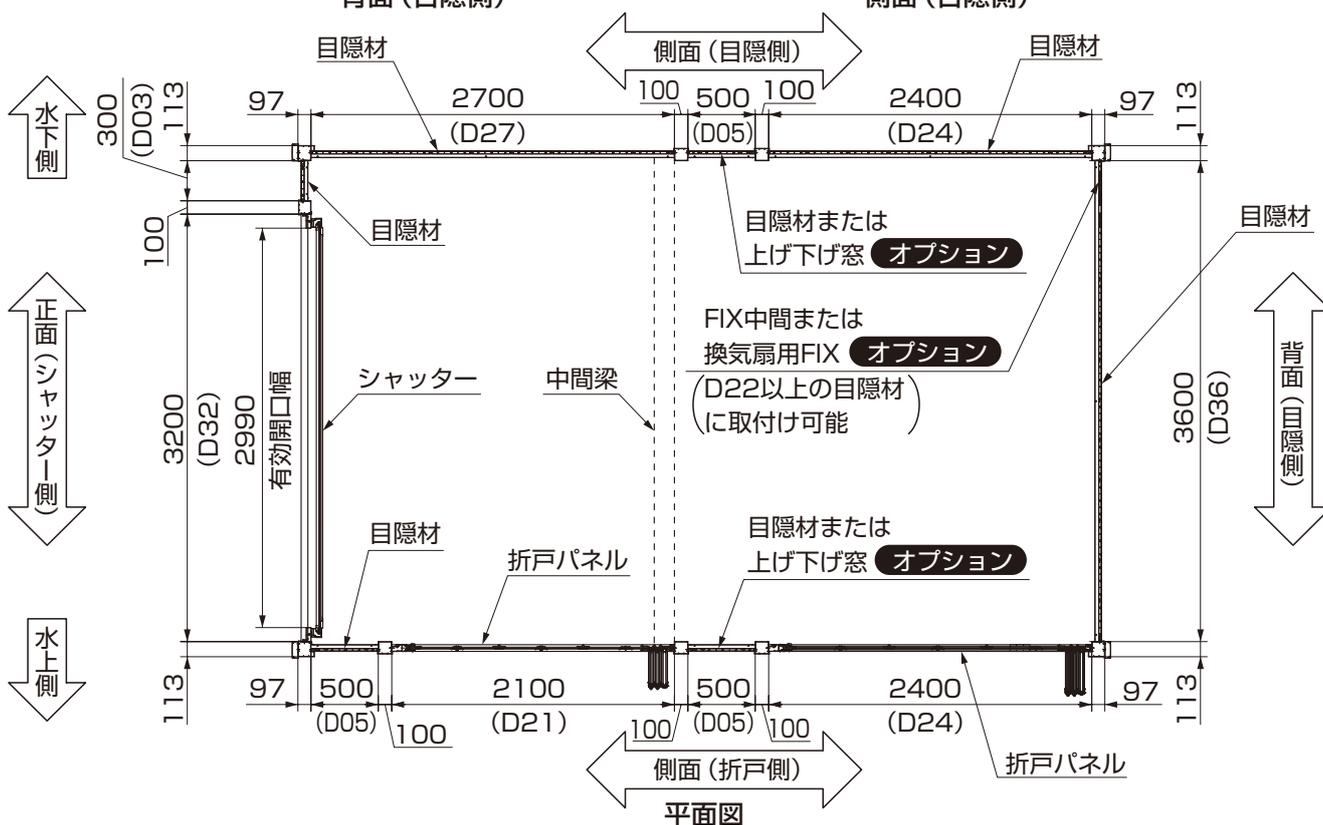
正面 (シャッター側)

側面 (折戸側)



背面 (目隠側)

側面 (目隠側)



平面図

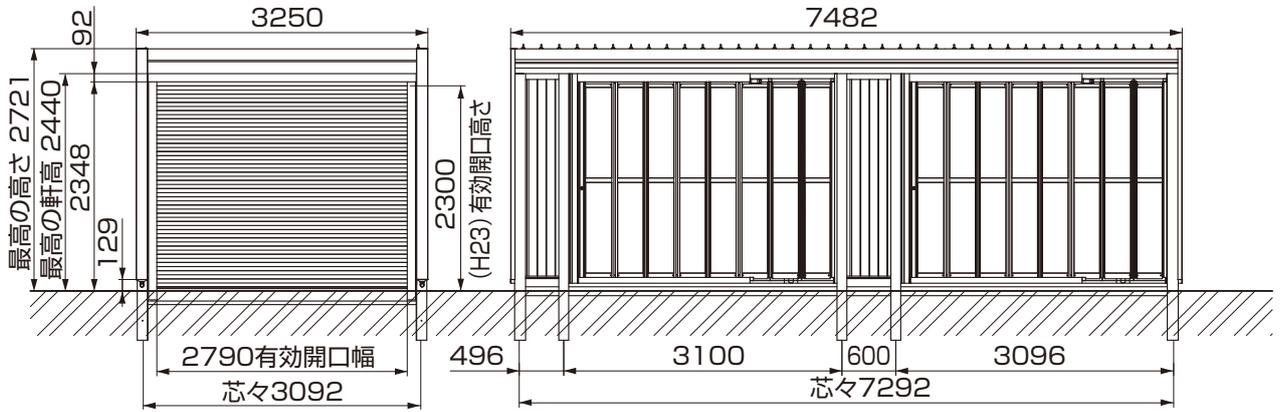
# 1. (つづき)

## 1-1 1500タイプ(つづき)

### (5) 縦延長 32-74

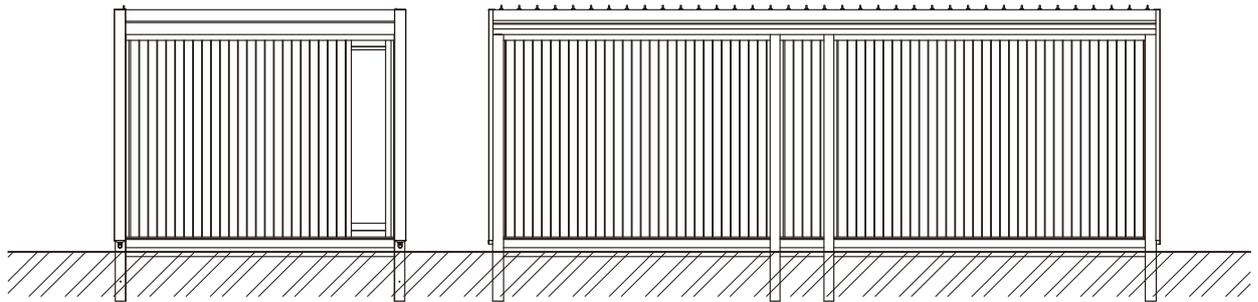
※折戸パネル取付け側が水上側になります。

建築面積：22.55m<sup>2</sup>  
床面積：22.55m<sup>2</sup>



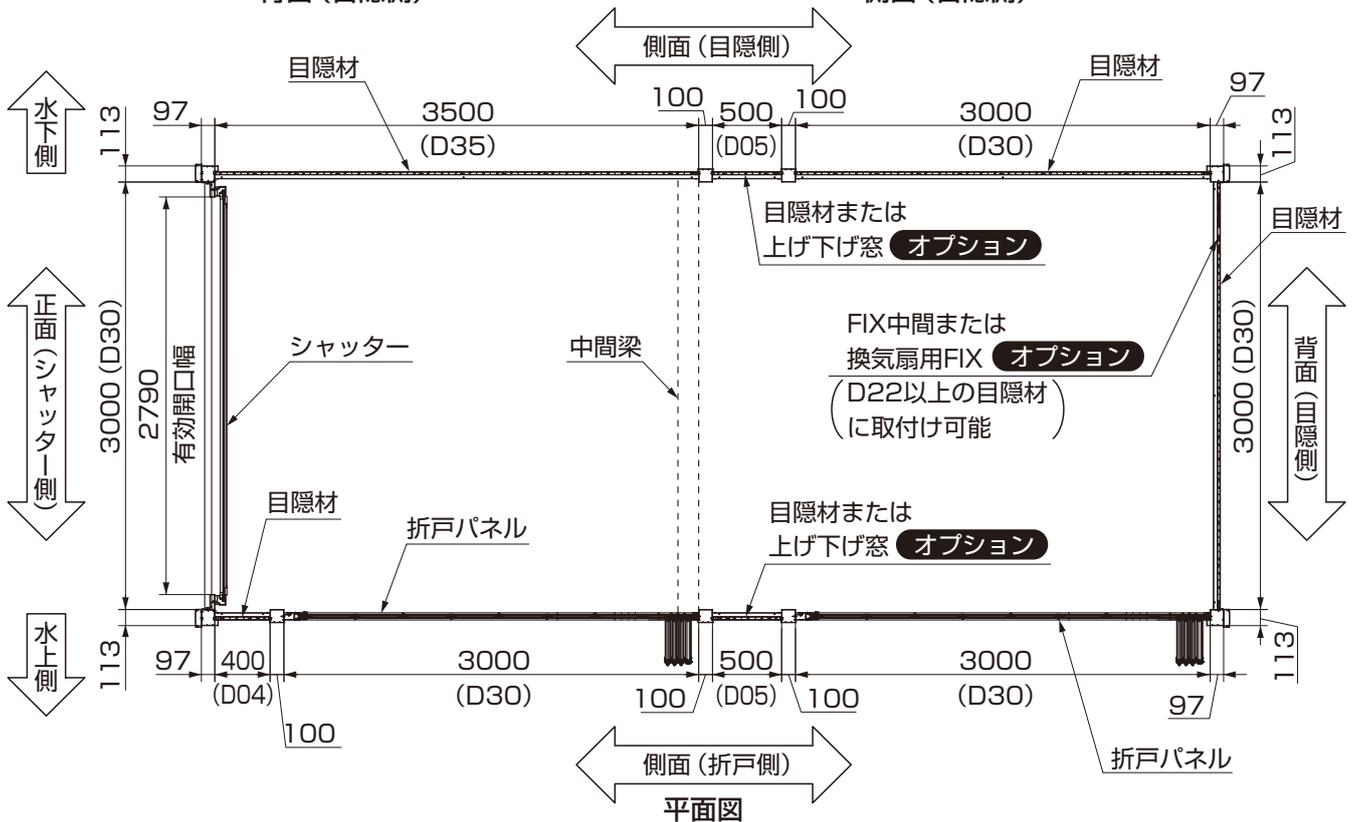
正面 (シャッター側)

側面 (折戸側)



背面 (目隠側)

側面 (目隠側)

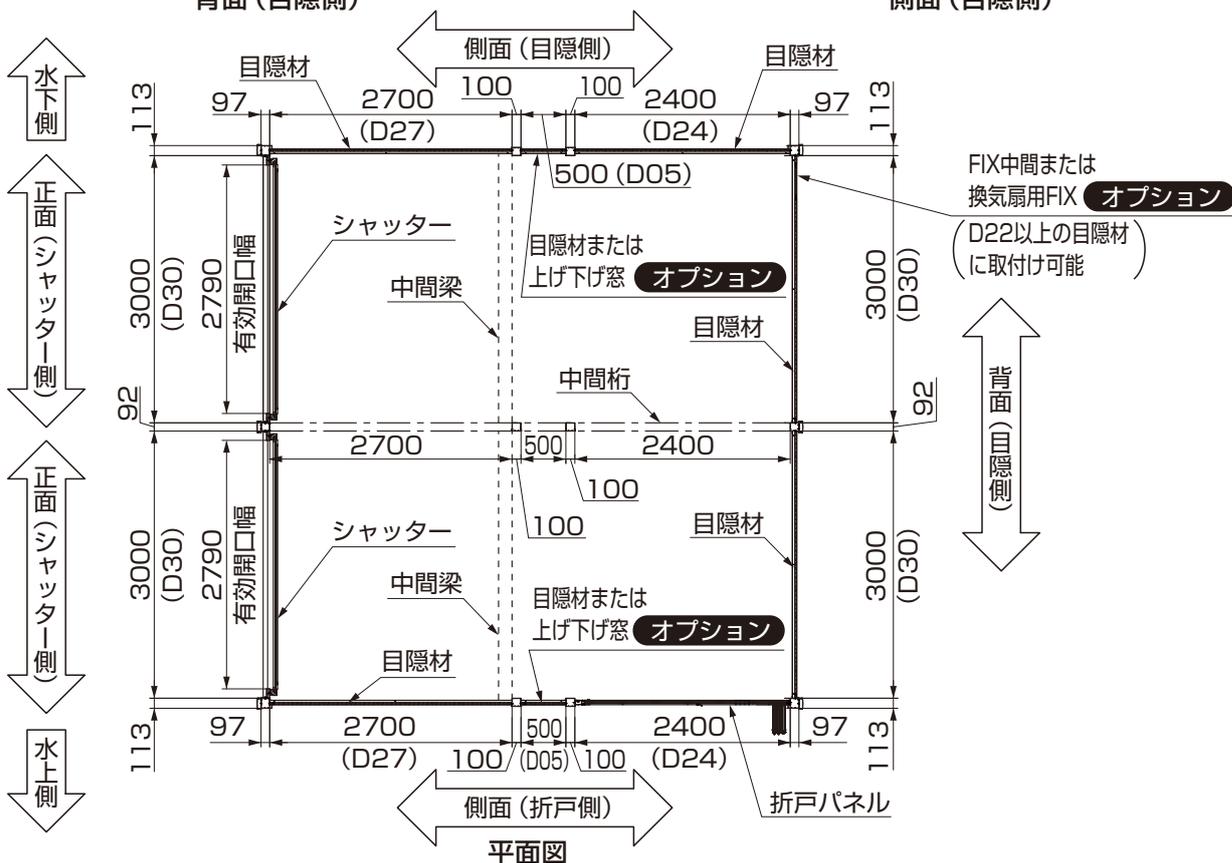
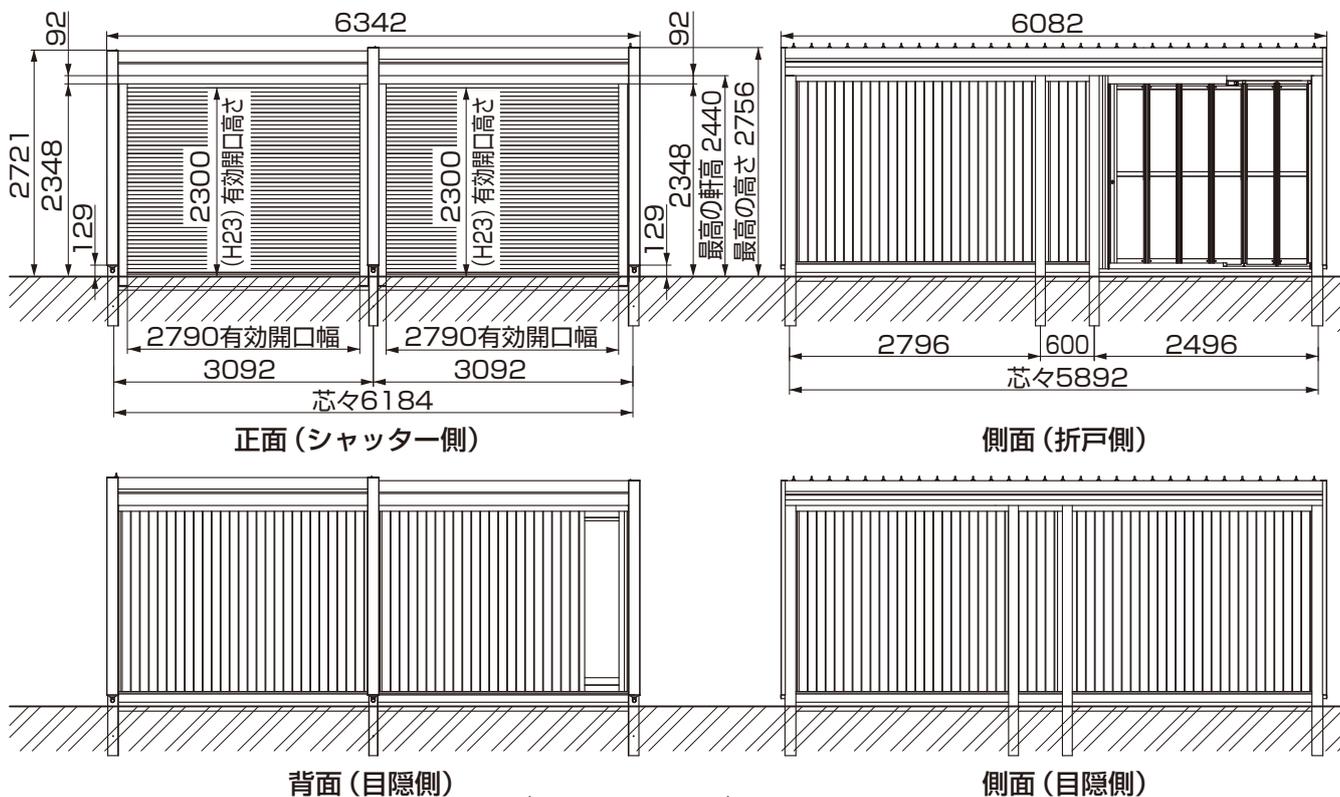


平面図

(6) 横延長 63-60

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

建築面積：36.44m<sup>2</sup>  
床面積：36.44m<sup>2</sup>



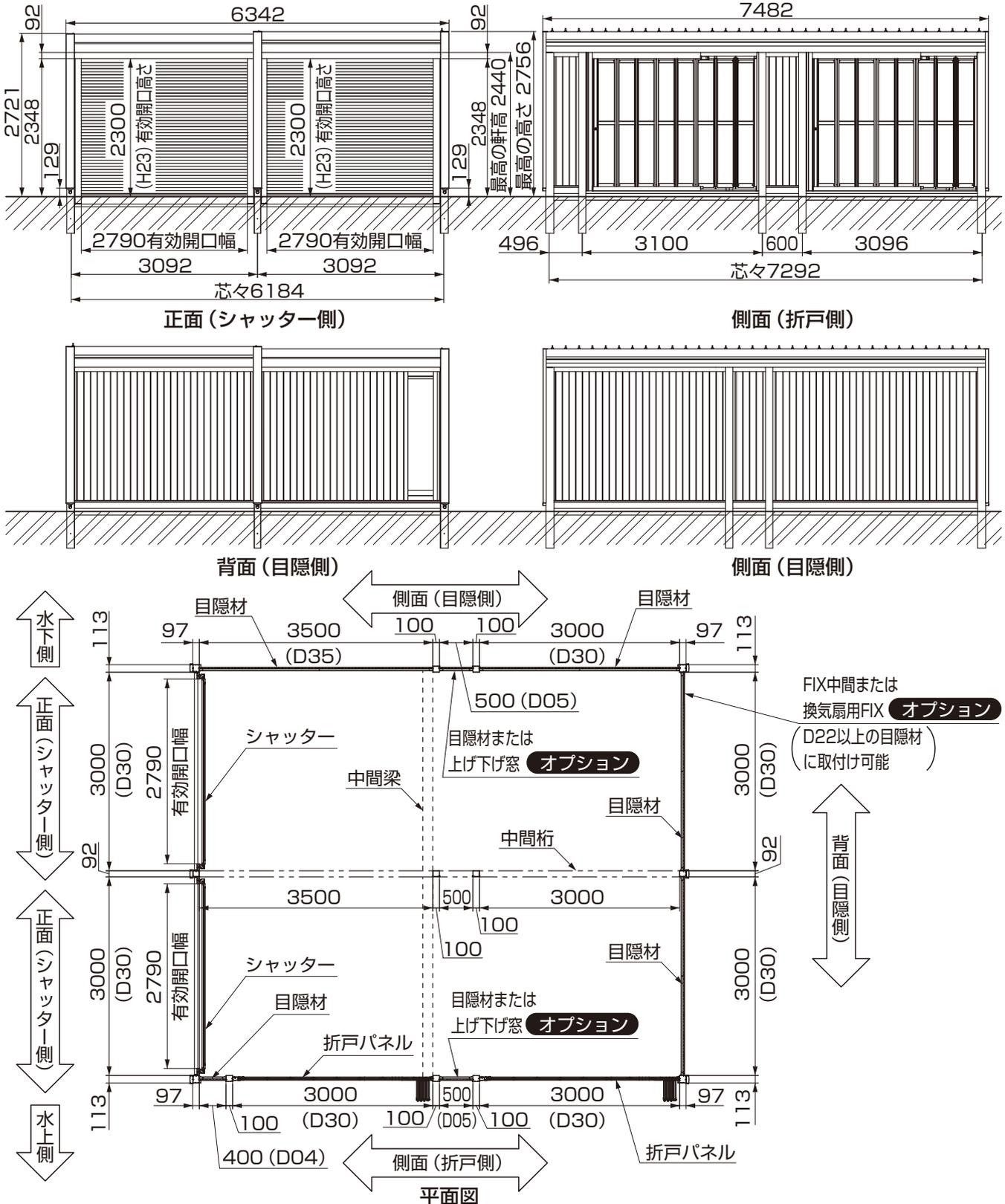
# 1. (つづき)

## 1-1 1500タイプ(つづき)

### (7) 縦横延長 63-74

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

建築面積：45.09m<sup>2</sup>  
床面積：45.09m<sup>2</sup>

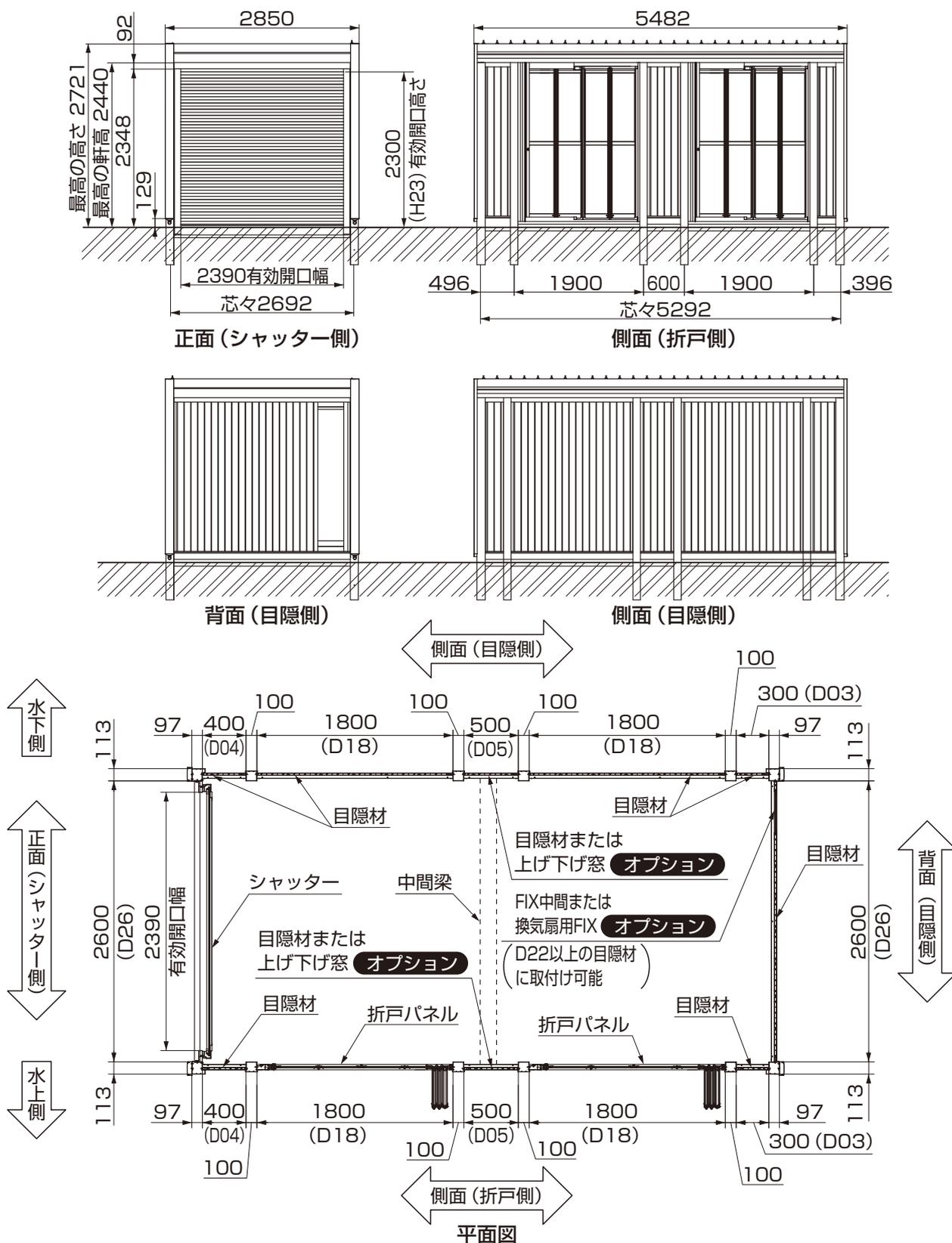


## 1-2 3000タイプ (Sタイプ)

### (1) 標準 28-54

建築面積：14.25m<sup>2</sup>  
床面積：14.25m<sup>2</sup>

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



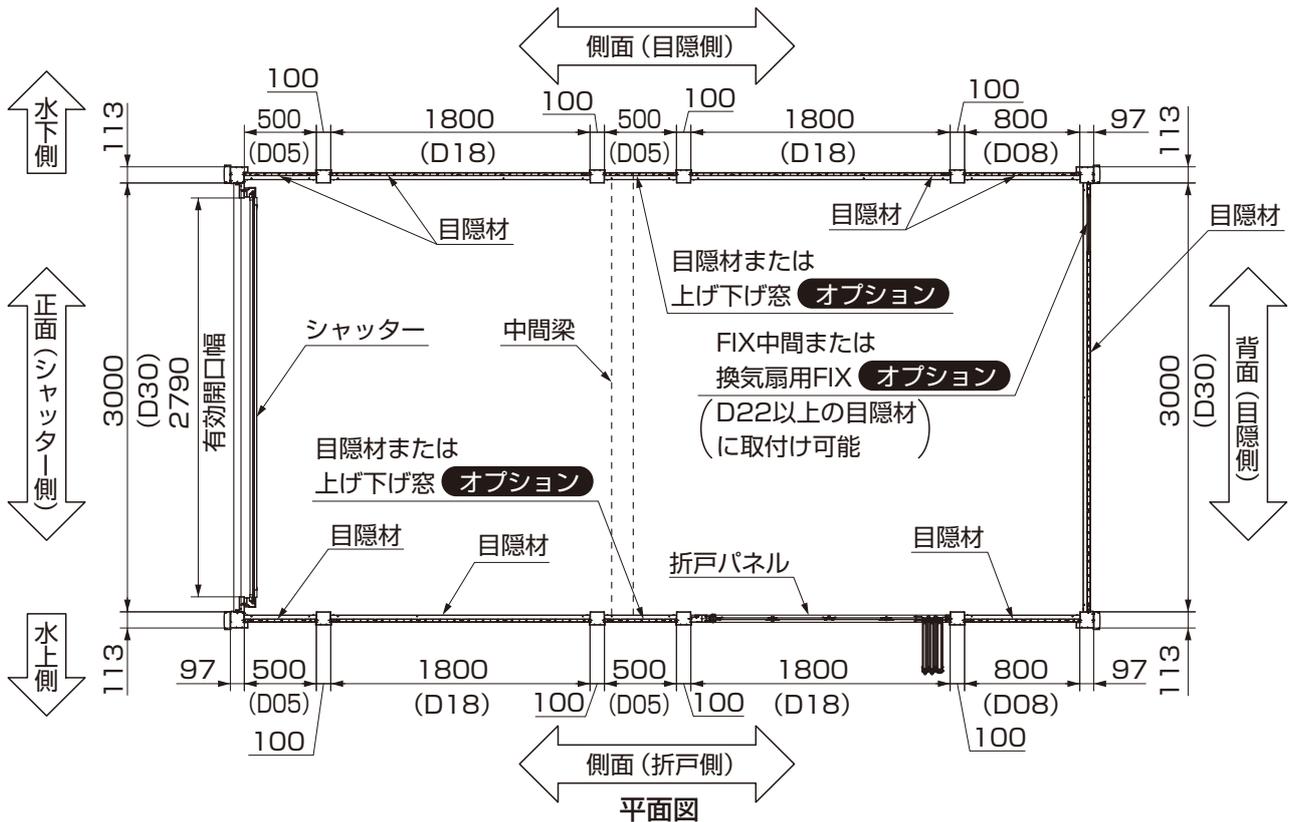
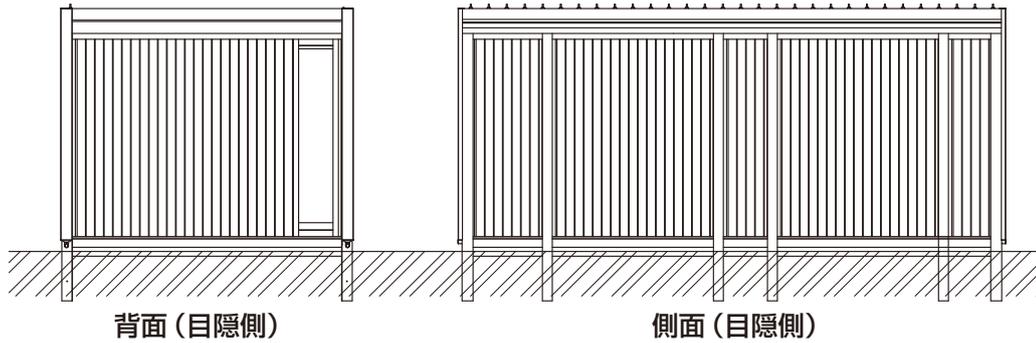
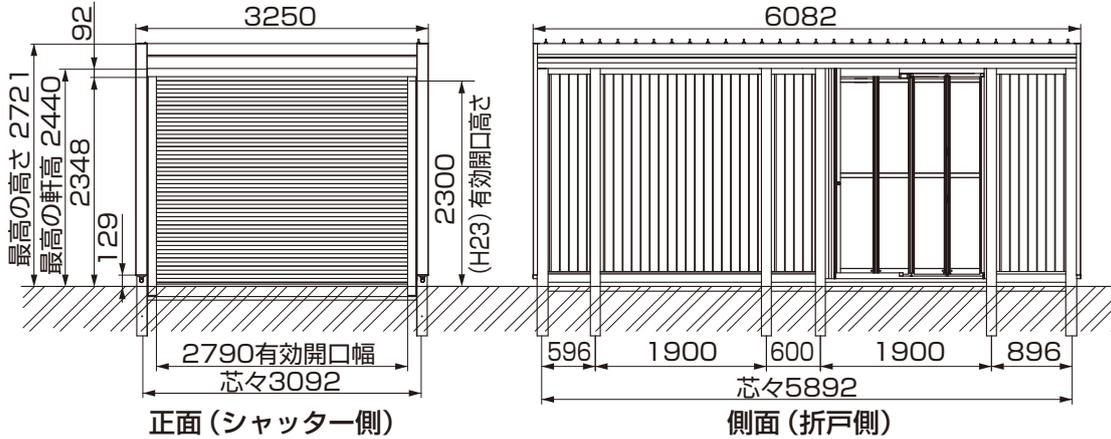
# 1. (つづき)

## 1-2 3000タイプ (Sタイプ) (つづき)

### (2) 標準 32-60

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

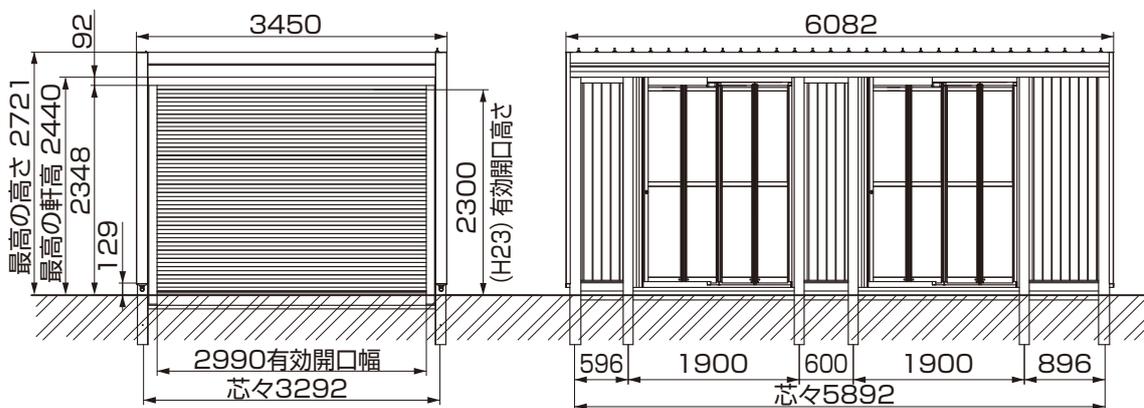
建築面積：18.22m<sup>2</sup>  
床面積：18.22m<sup>2</sup>



(3) 標準 34-60

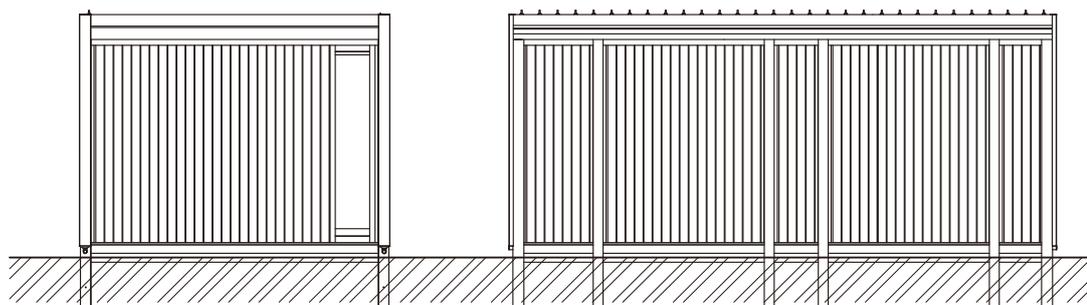
建築面積：19.40m<sup>2</sup>  
床面積：19.40m<sup>2</sup>

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



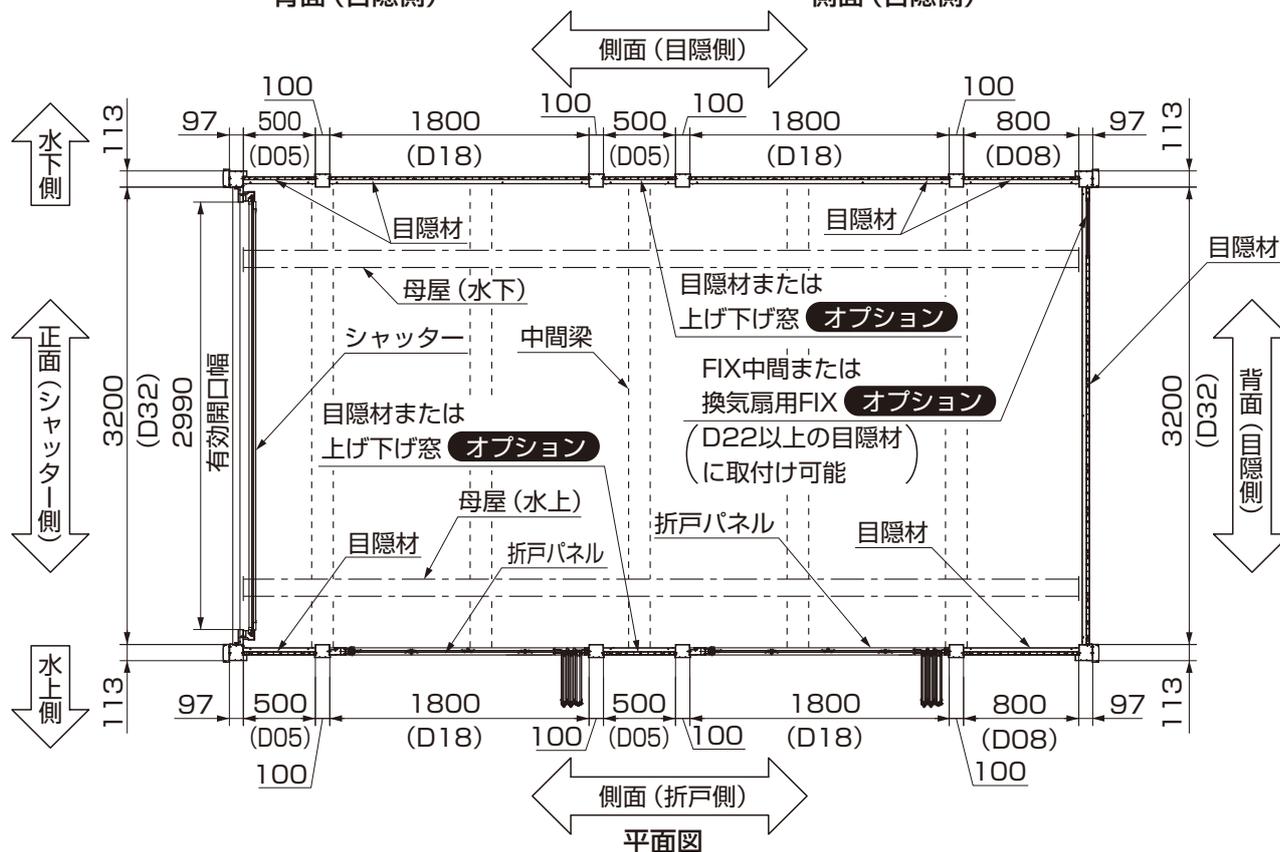
正面 (シャッター側)

側面 (折戸側)



背面 (目隠側)

側面 (目隠側)



平面図

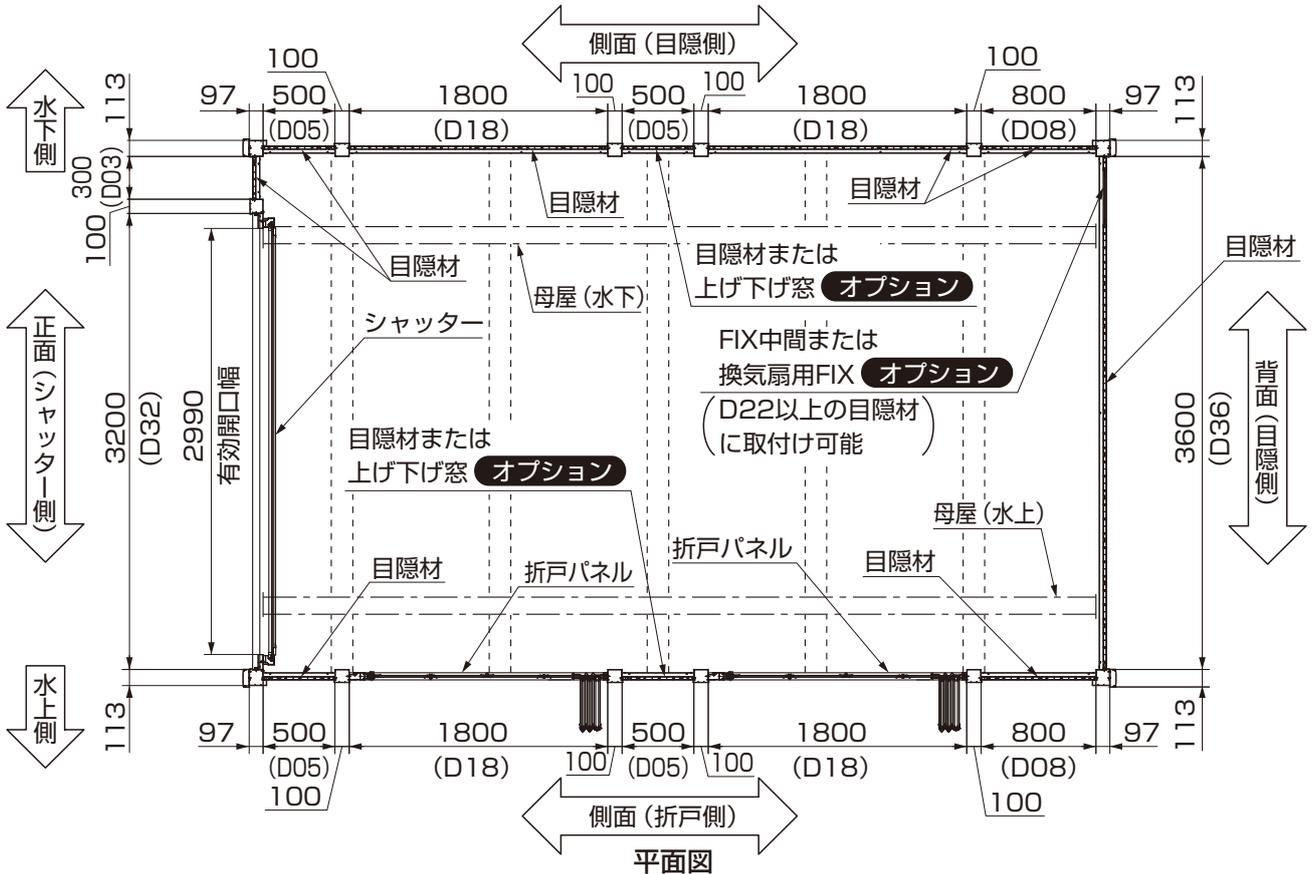
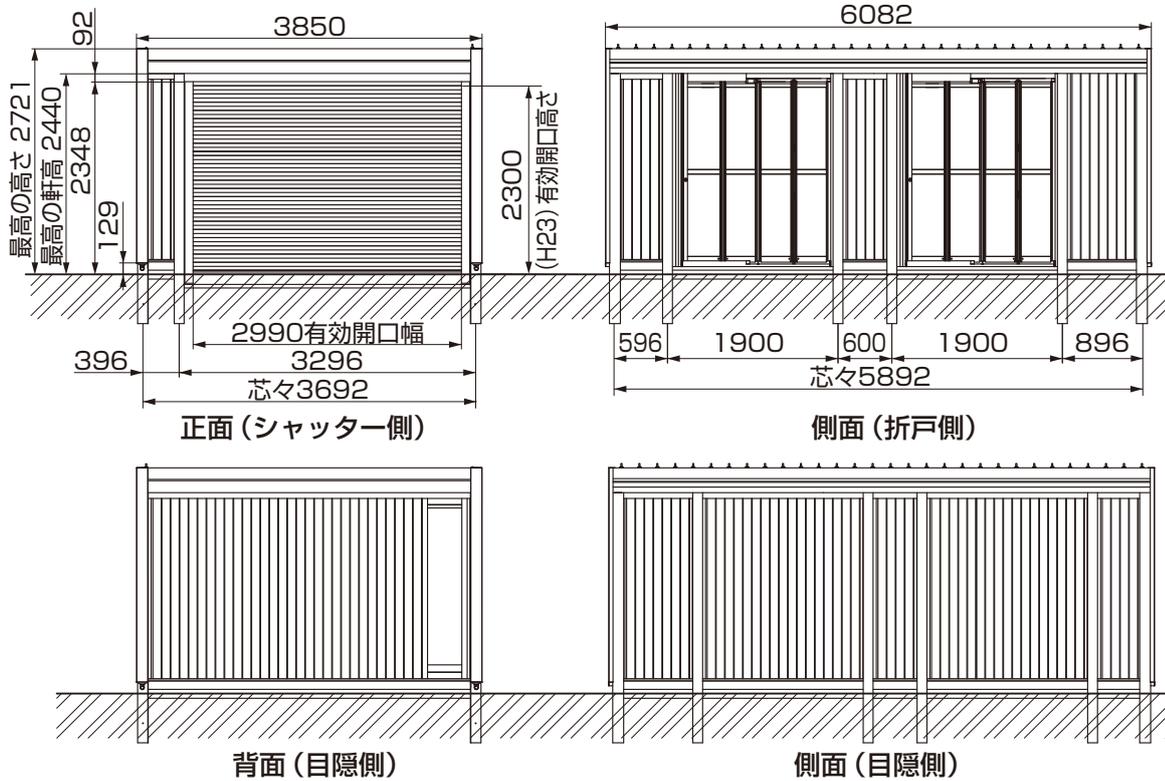
# 1. (つづき)

## 1-2 3000タイプ (Sタイプ) (つづき)

### (4) 標準 38-60

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

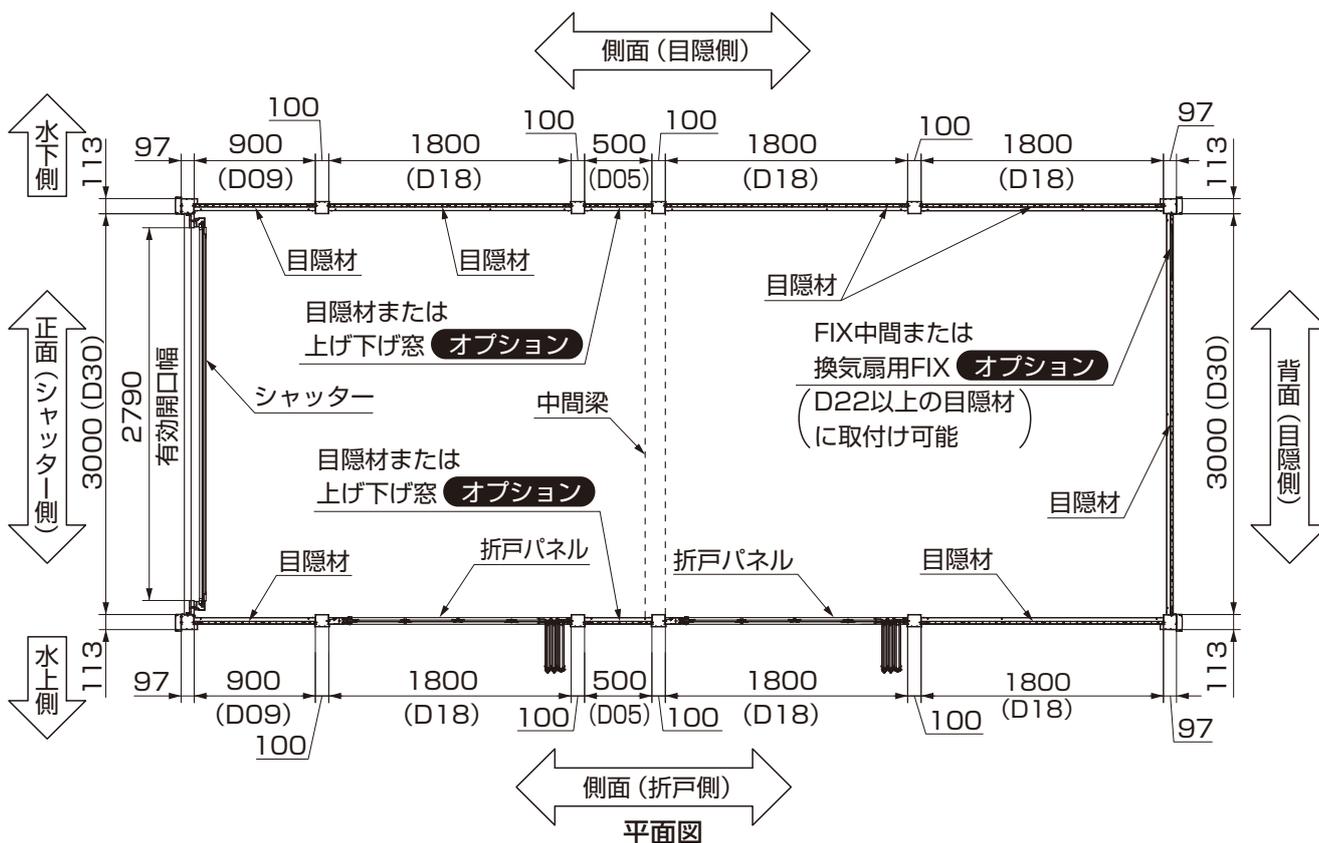
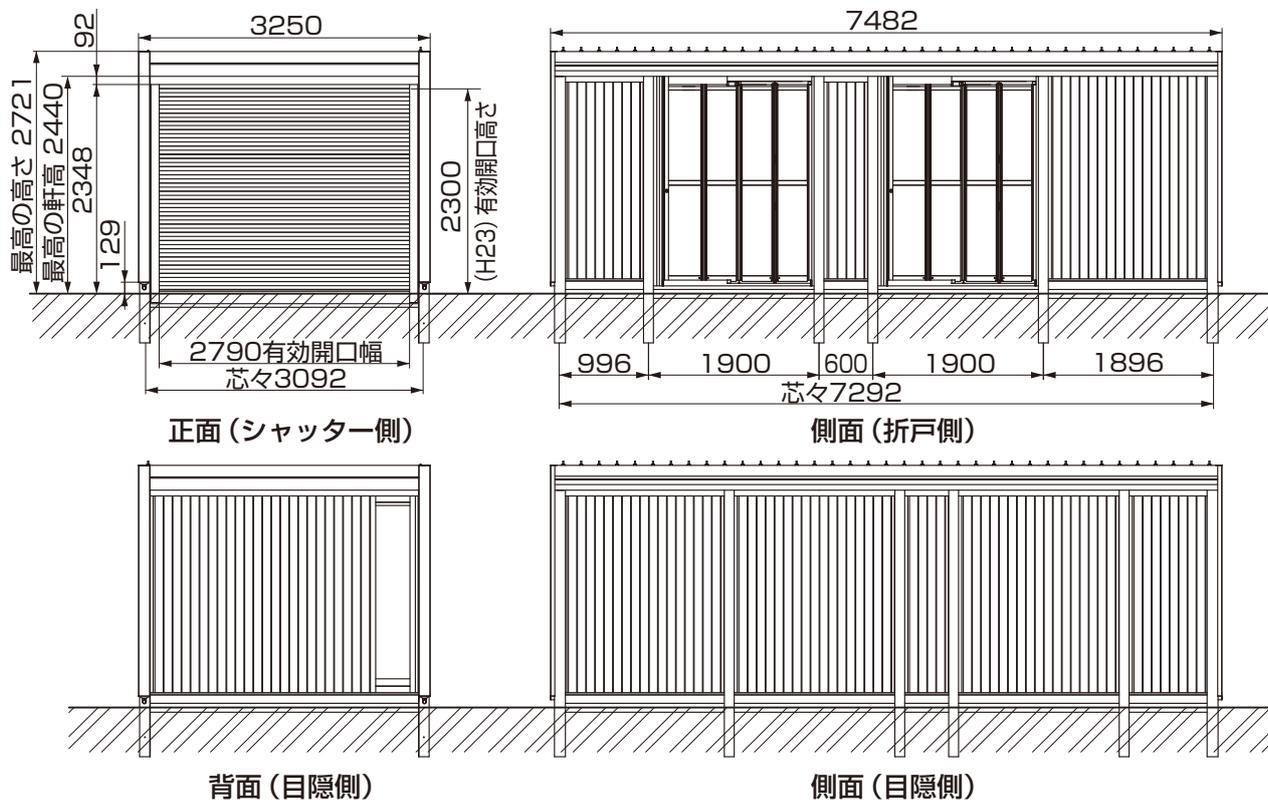
建築面積：21.75m<sup>2</sup>  
床面積：21.75m<sup>2</sup>



(5) 縦延長 32-74

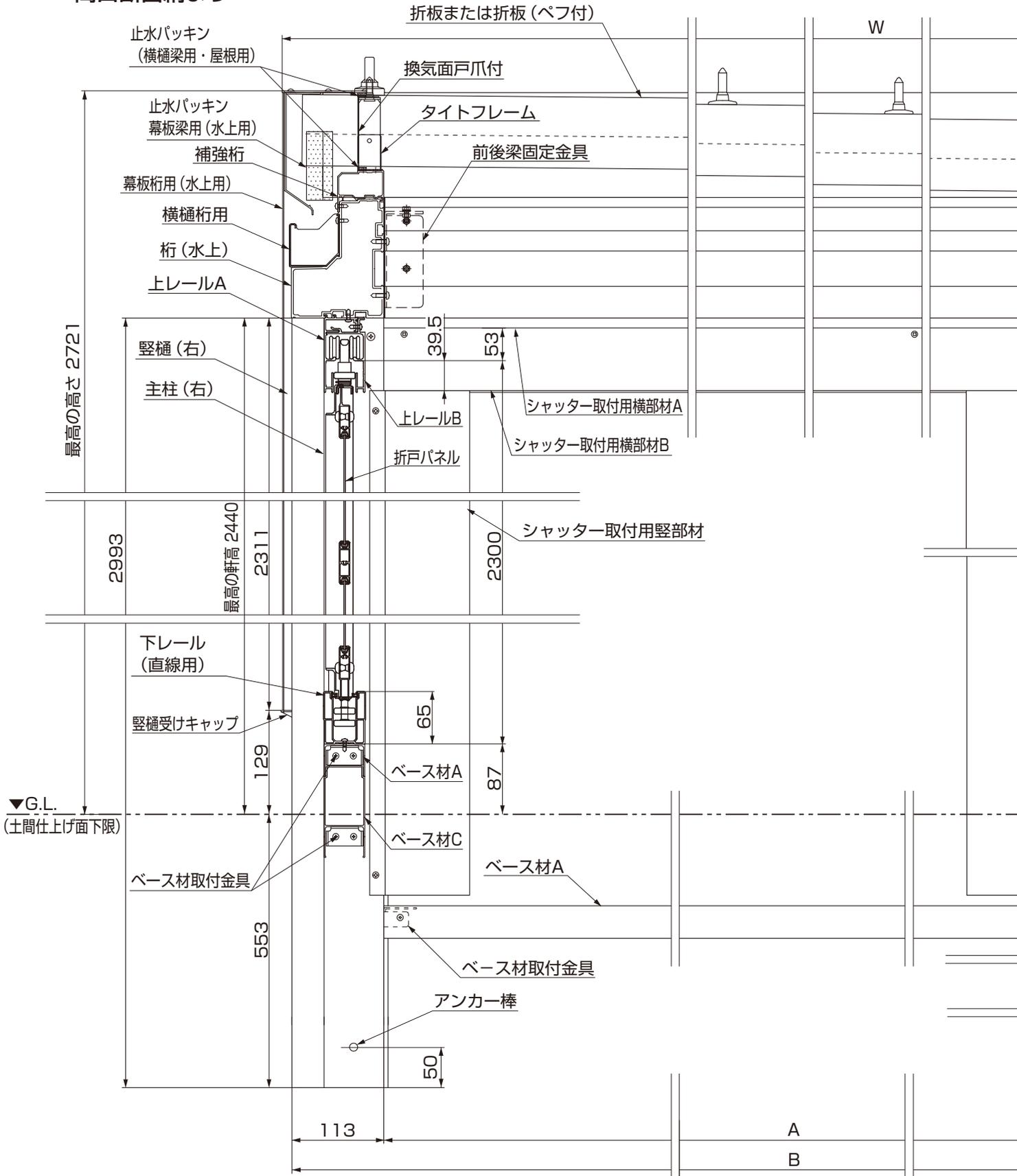
建築面積：22.55m<sup>2</sup>  
床面積：22.55m<sup>2</sup>

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



## 2. 断面納まり図

### 2-1 1500タイプ 標準・縦延長 間口断面納まり



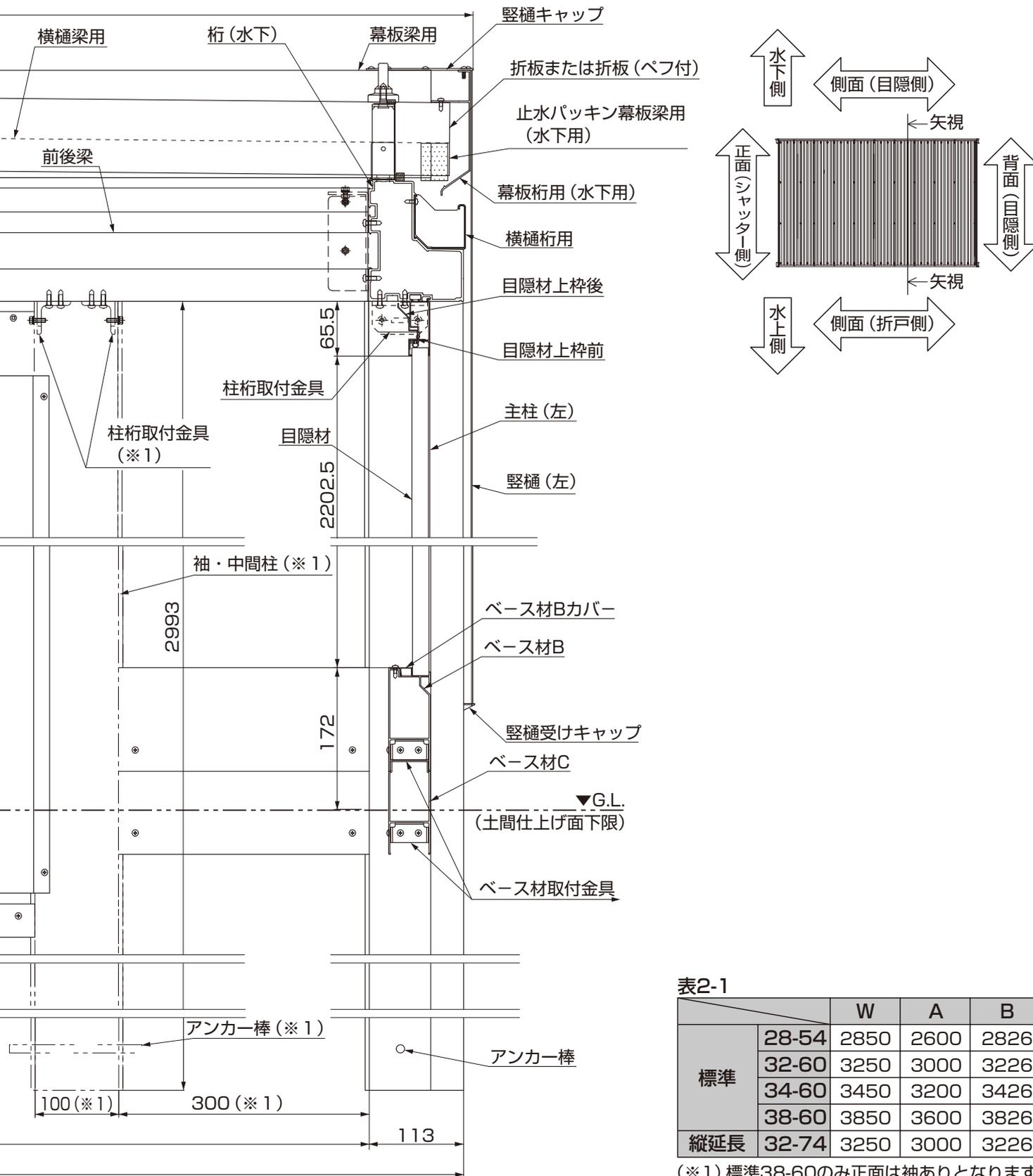


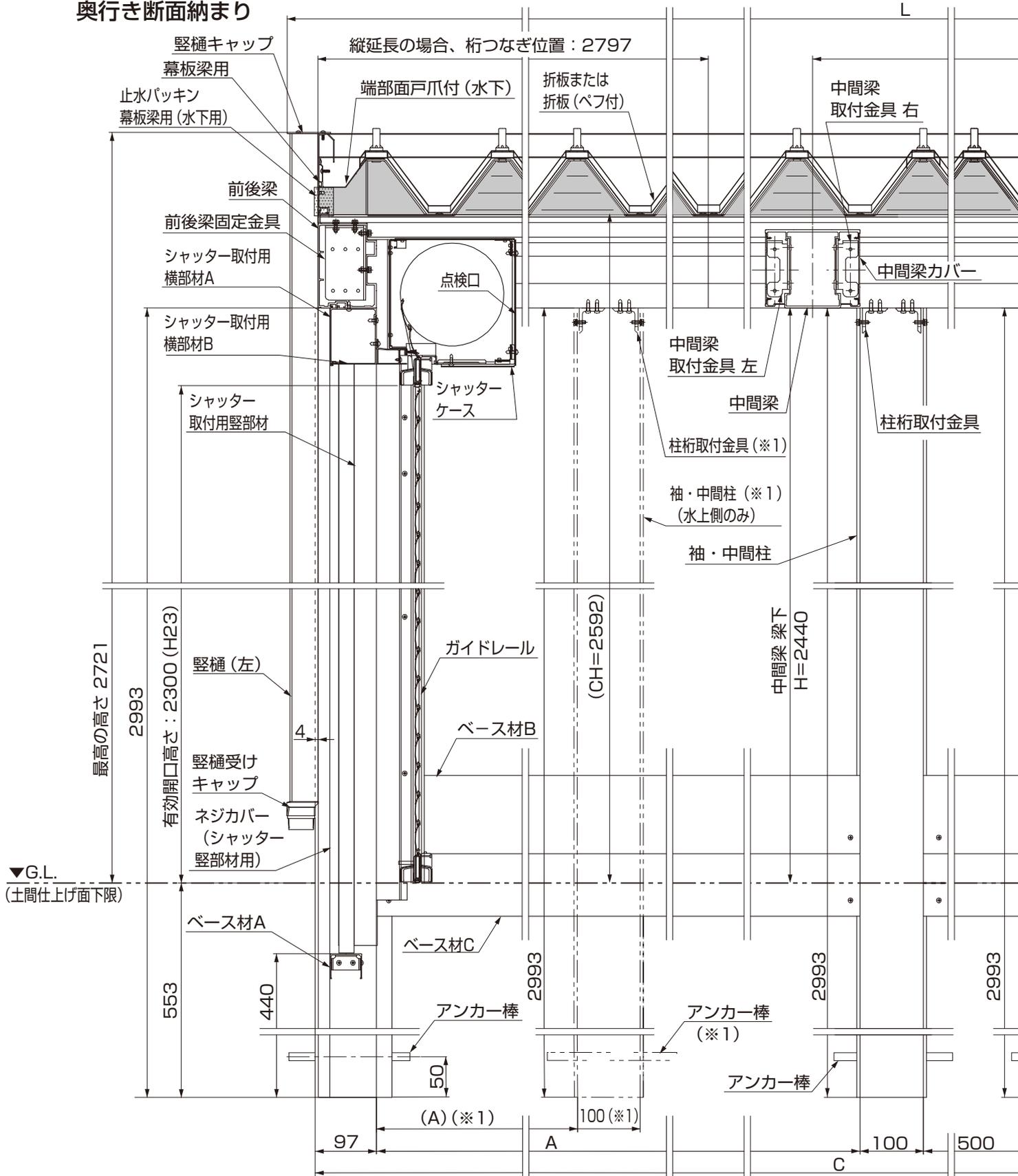
表2-1

	W	A	B	
標準	28-54	2850	2600	2826
	32-60	3250	3000	3226
	34-60	3450	3200	3426
	38-60	3850	3600	3826
縦延長	32-74	3250	3000	3226

(※1) 標準38-60のみ正面は袖ありとなります。

## 2. (つづき)

### 2-2 1500タイプ 標準・縦延長 奥行き断面納まり



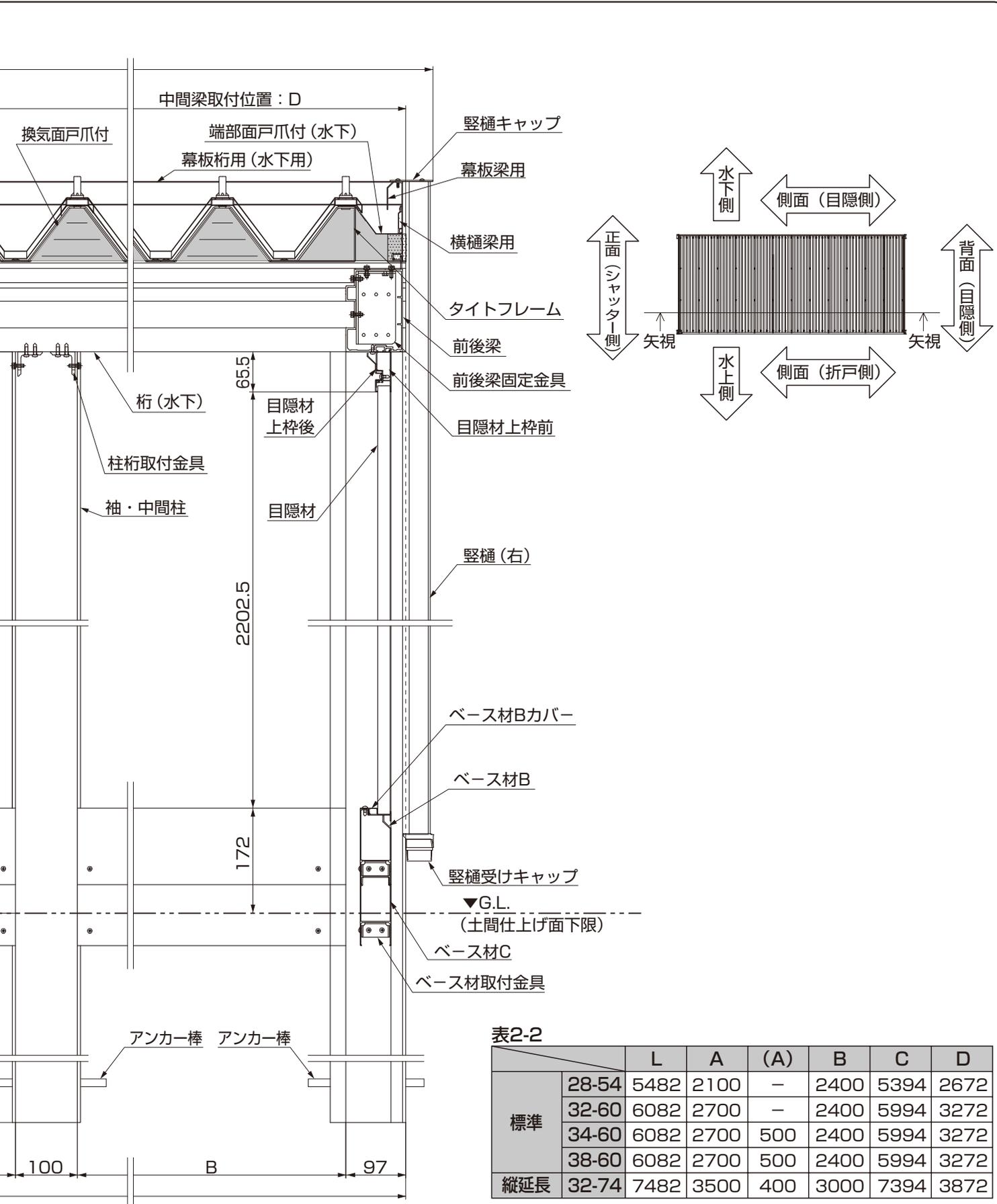


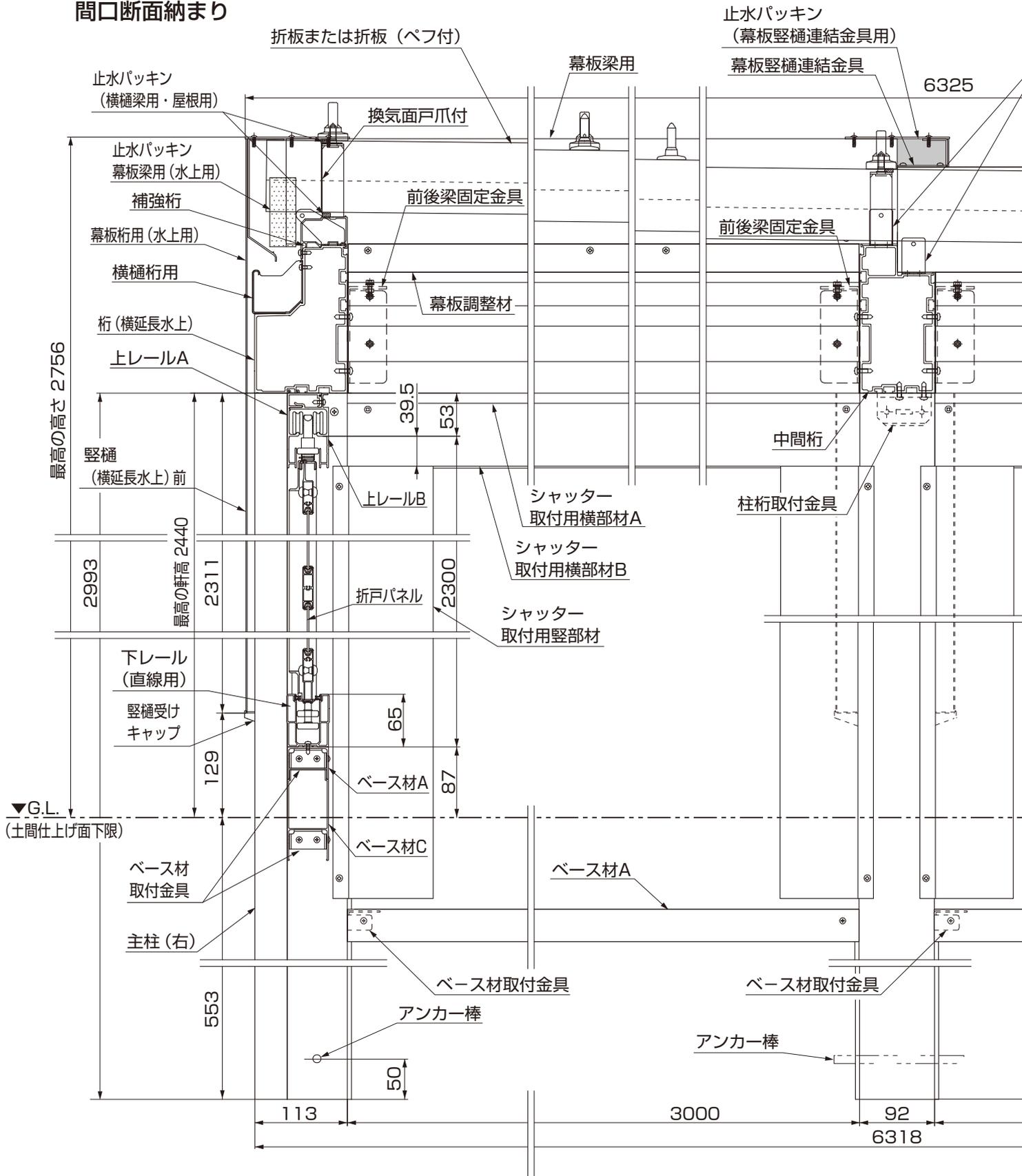
表2-2

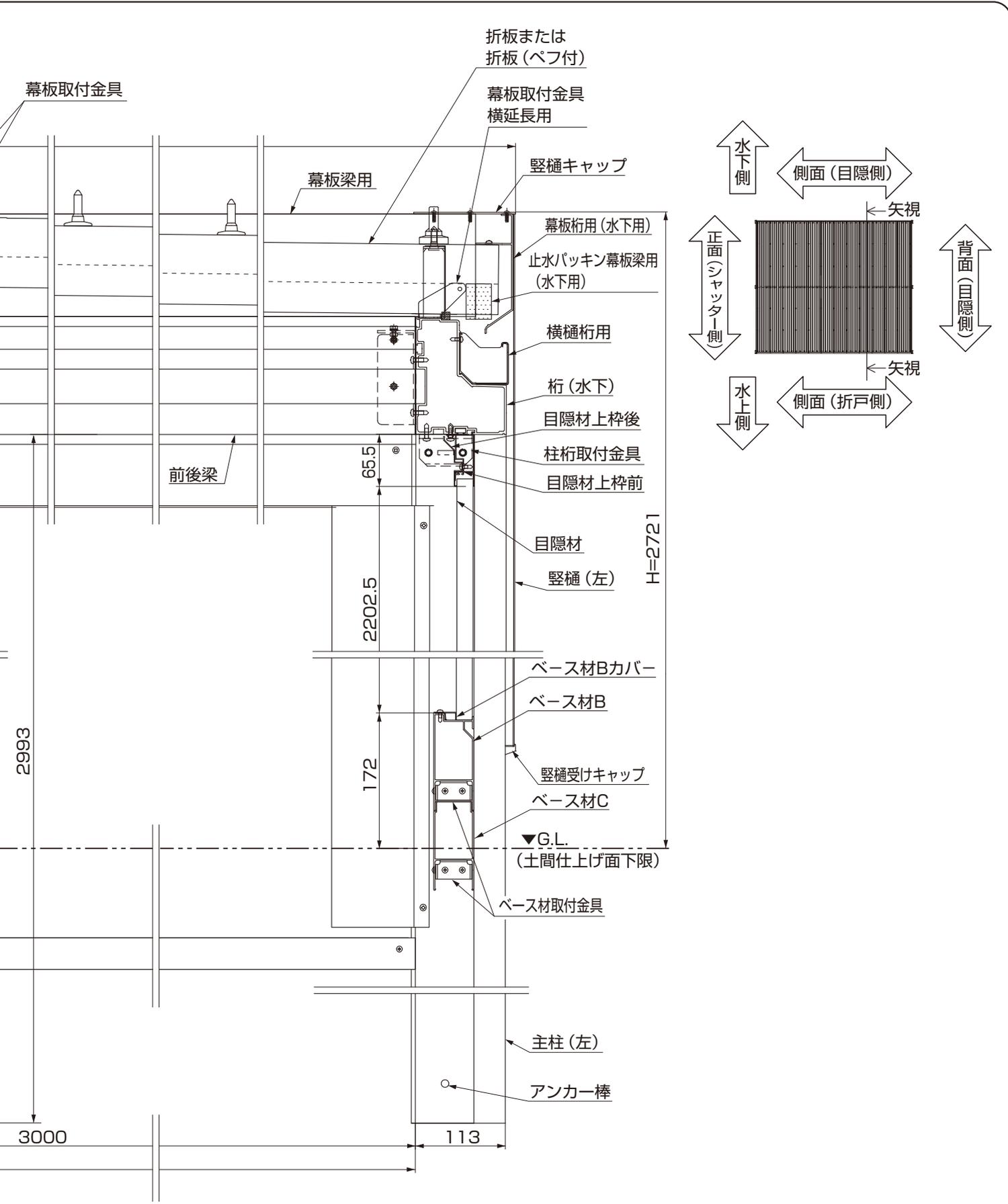
	L	A	(A)	B	C	D	
標準	28-54	5482	2100	-	2400	5394	2672
	32-60	6082	2700	-	2400	5994	3272
	34-60	6082	2700	500	2400	5994	3272
	38-60	6082	2700	500	2400	5994	3272
縦延長	32-74	7482	3500	400	3000	7394	3872

(※1) 標準34-60、38-60、縦延長のみ側面は袖ありとなります。

## 2. (つづき)

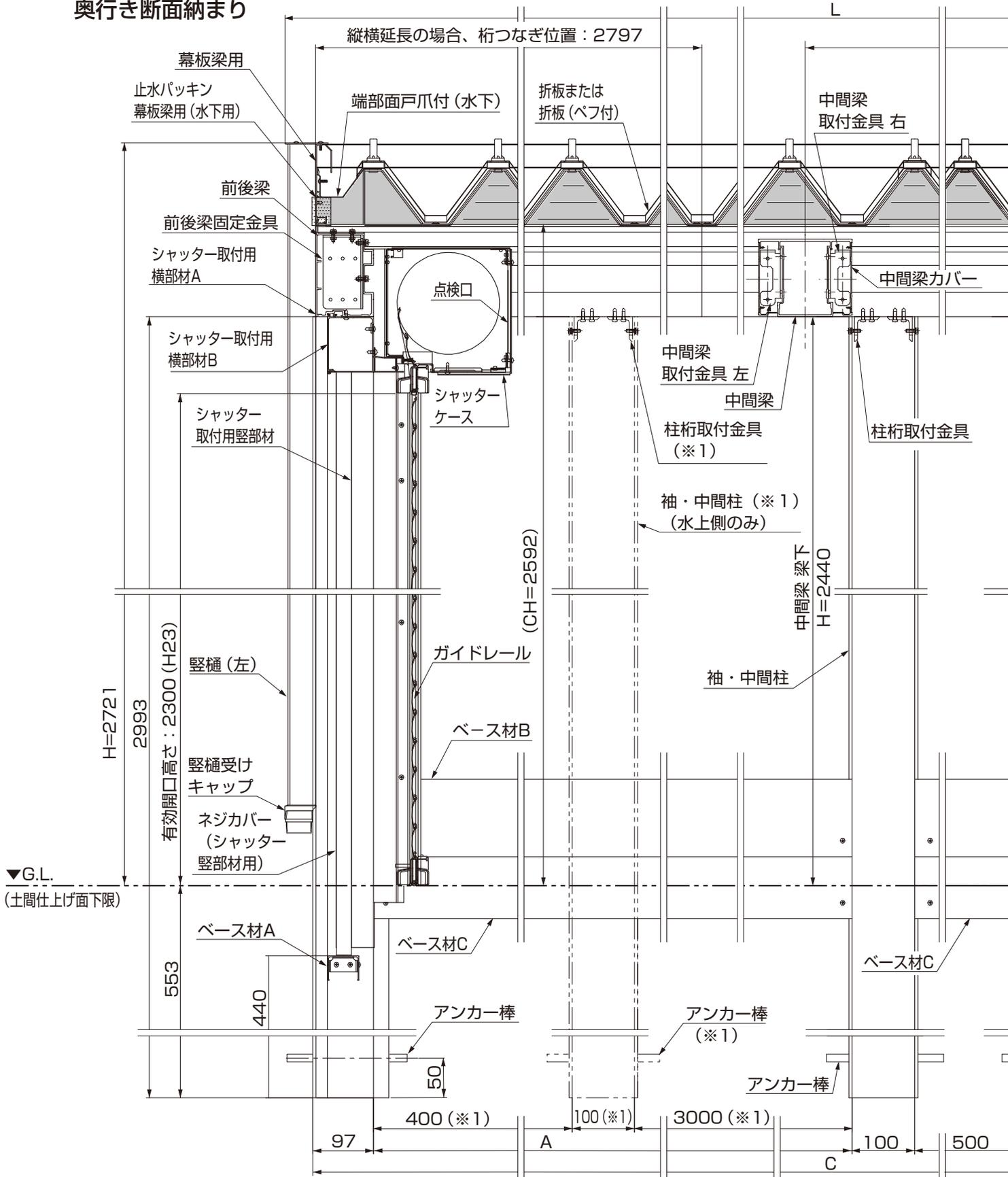
### 2-3 1500タイプ 横延長・縦横延長 間口断面納まり





## 2. (つづき)

### 2-4 1500タイプ 横延長・縦横延長 奥行き断面納まり



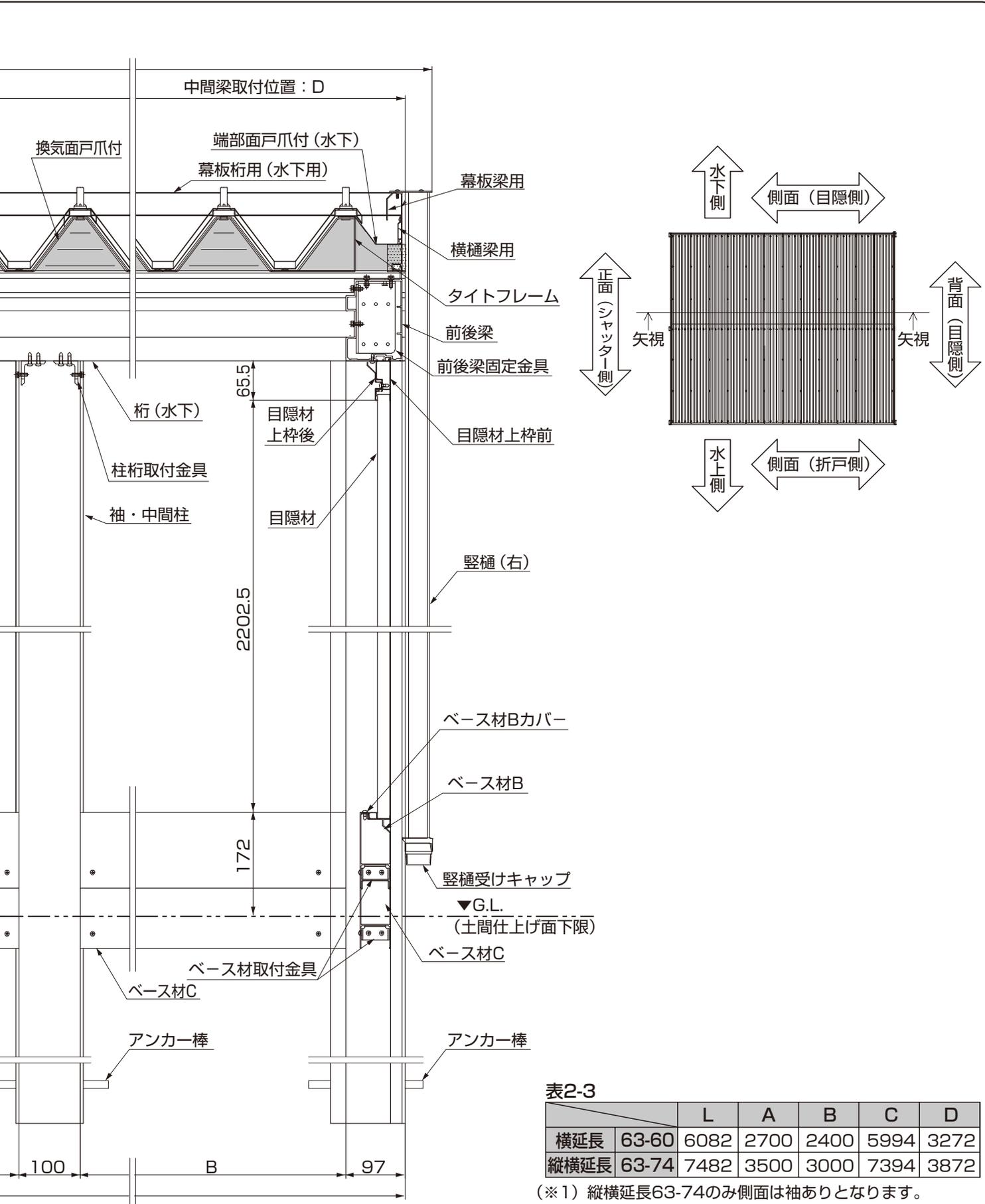


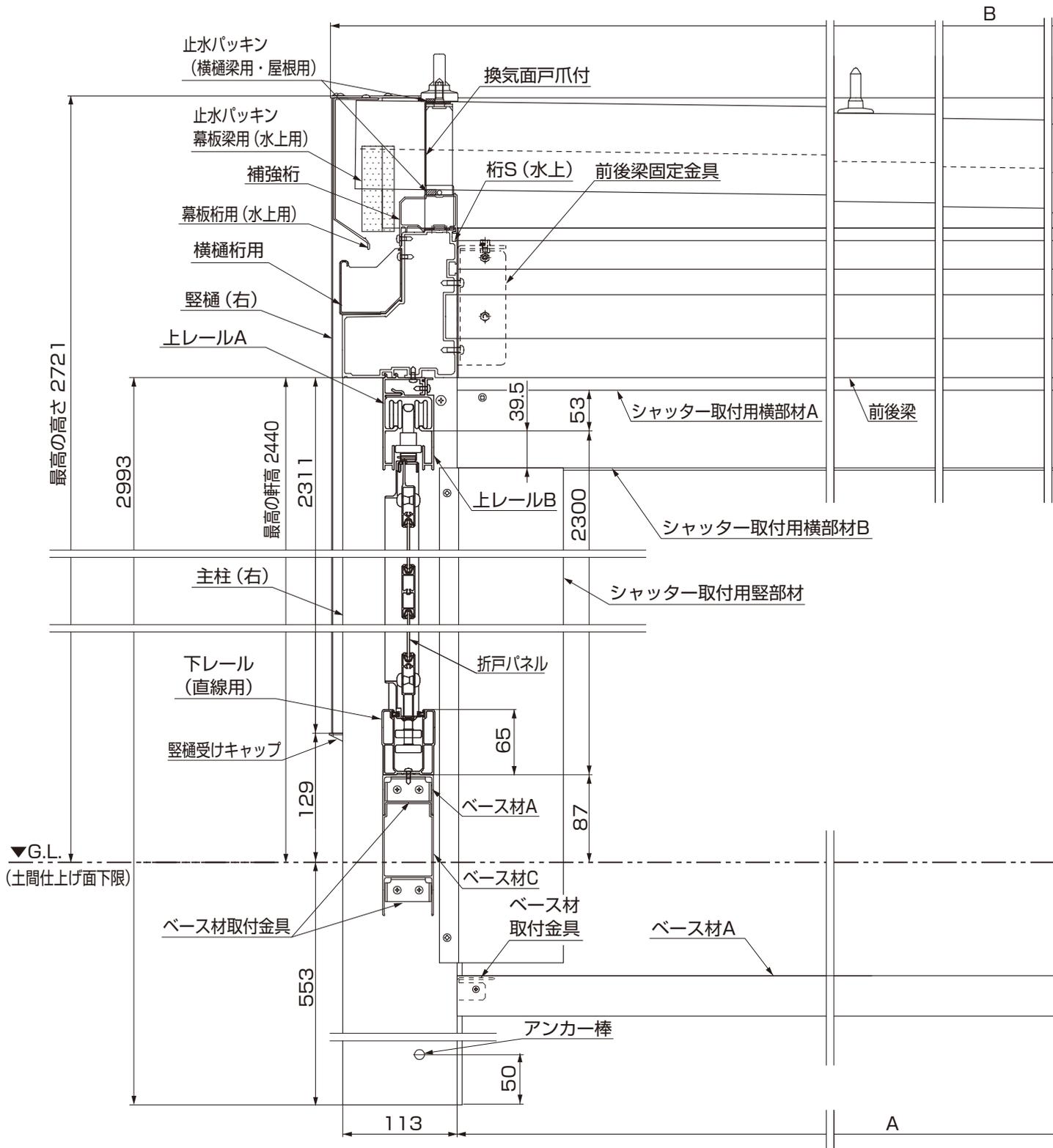
表2-3

	L	A	B	C	D	
横延長	63-60	6082	2700	2400	5994	3272
縦横延長	63-74	7482	3500	3000	7394	3872

(※1) 縦横延長63-74のみ側面は袖ありとなります。

## 2. (つづき)

### 2-5 3000タイプ (Sタイプ) 標準28-54、32-60・縦延長 間口断面納まり



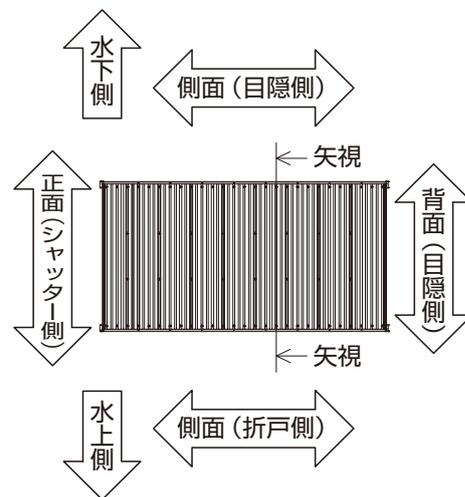
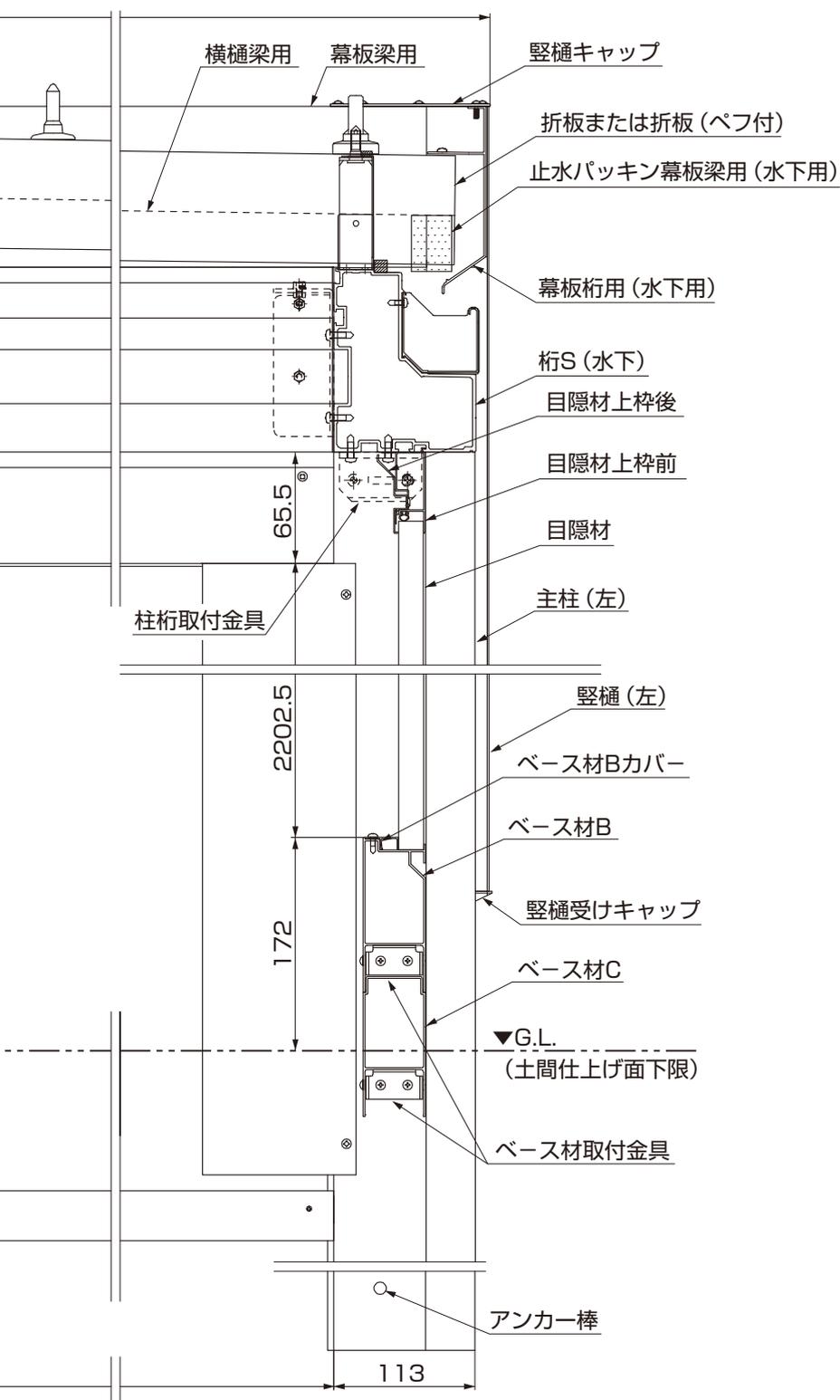
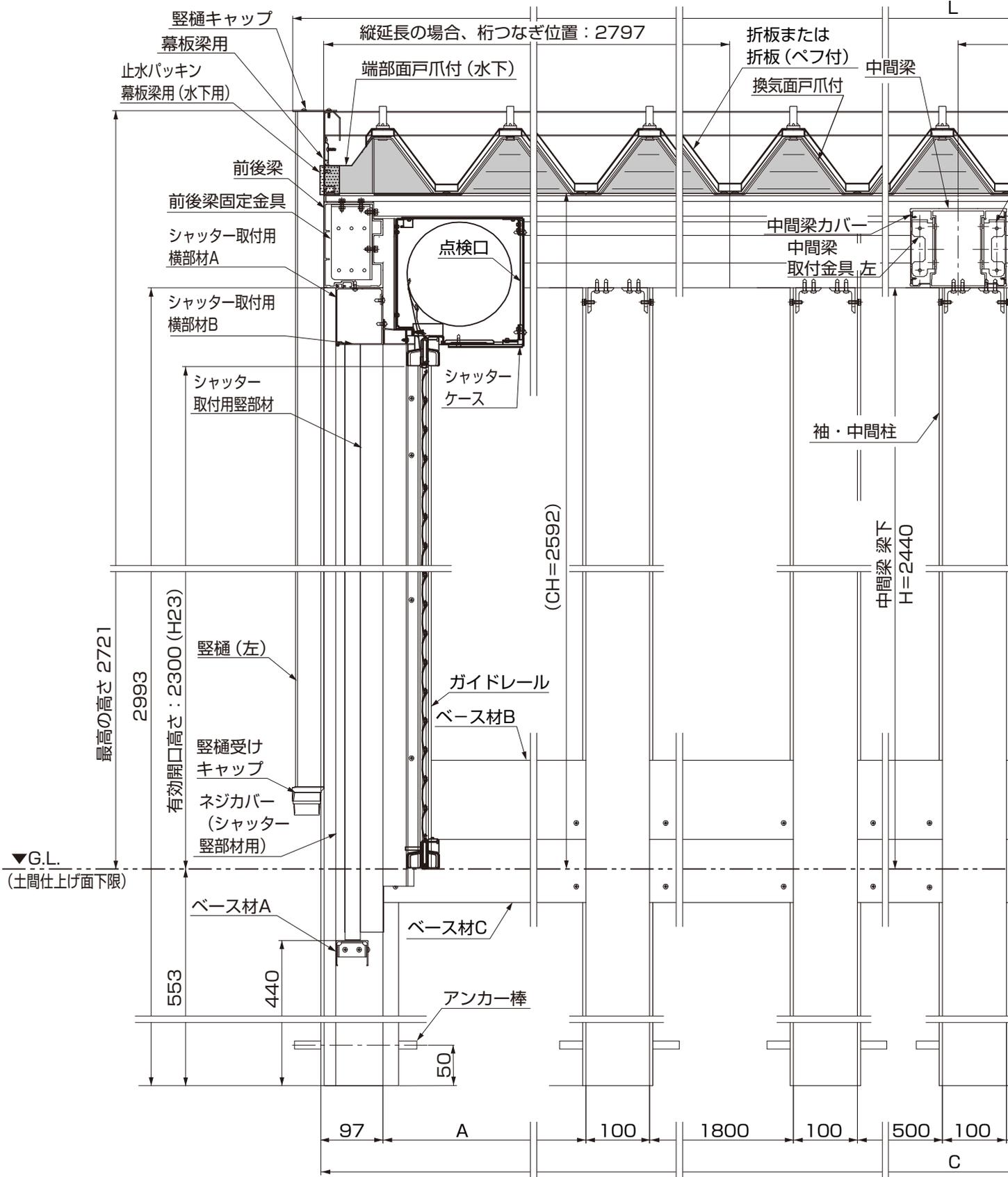


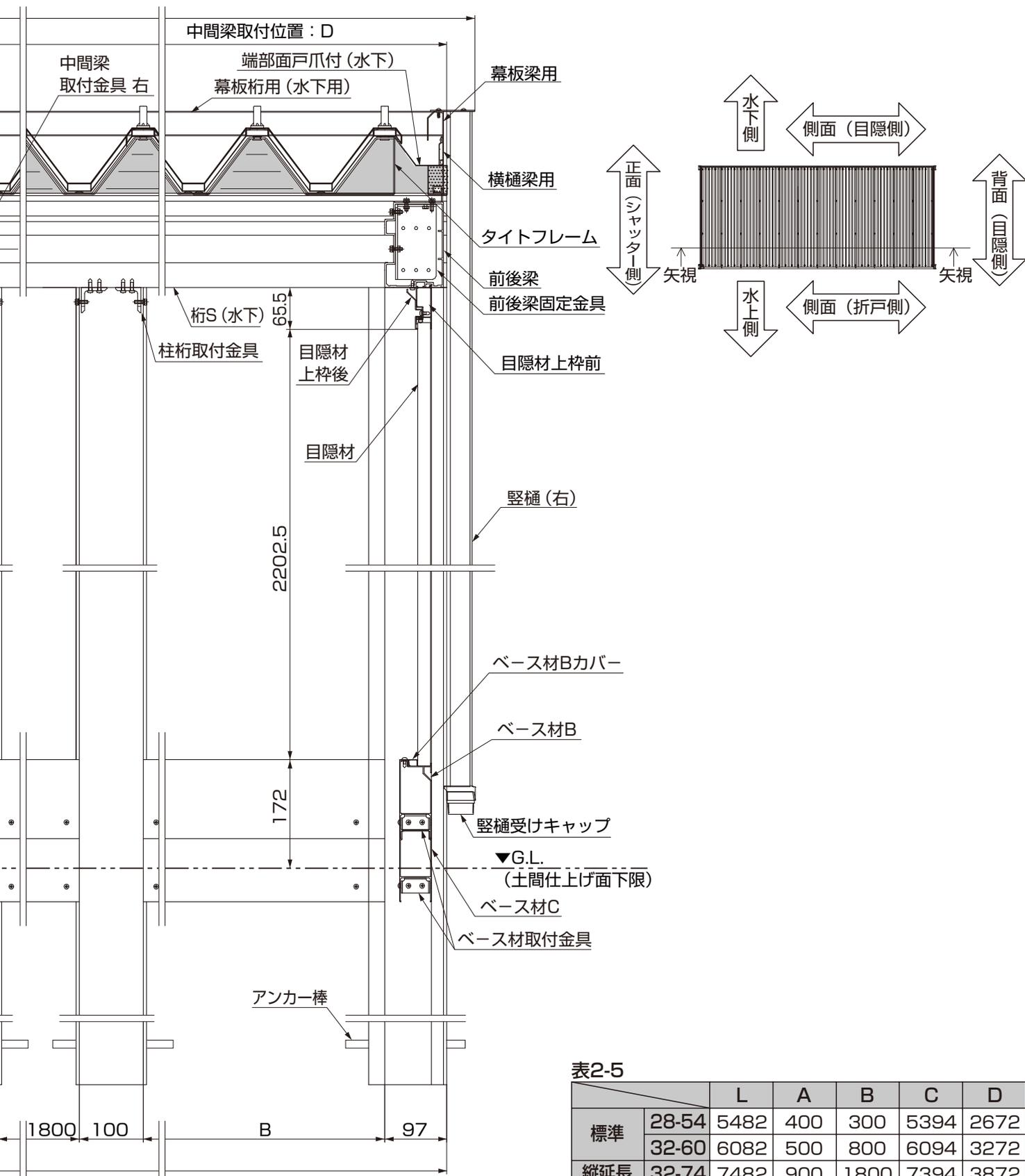
表2-4

	W	A	B	
標準	28-54	2850	2600	2850
	32-60	3250	3000	3226
縦延長	32-74	3250	3000	3226

## 2. (つづき)

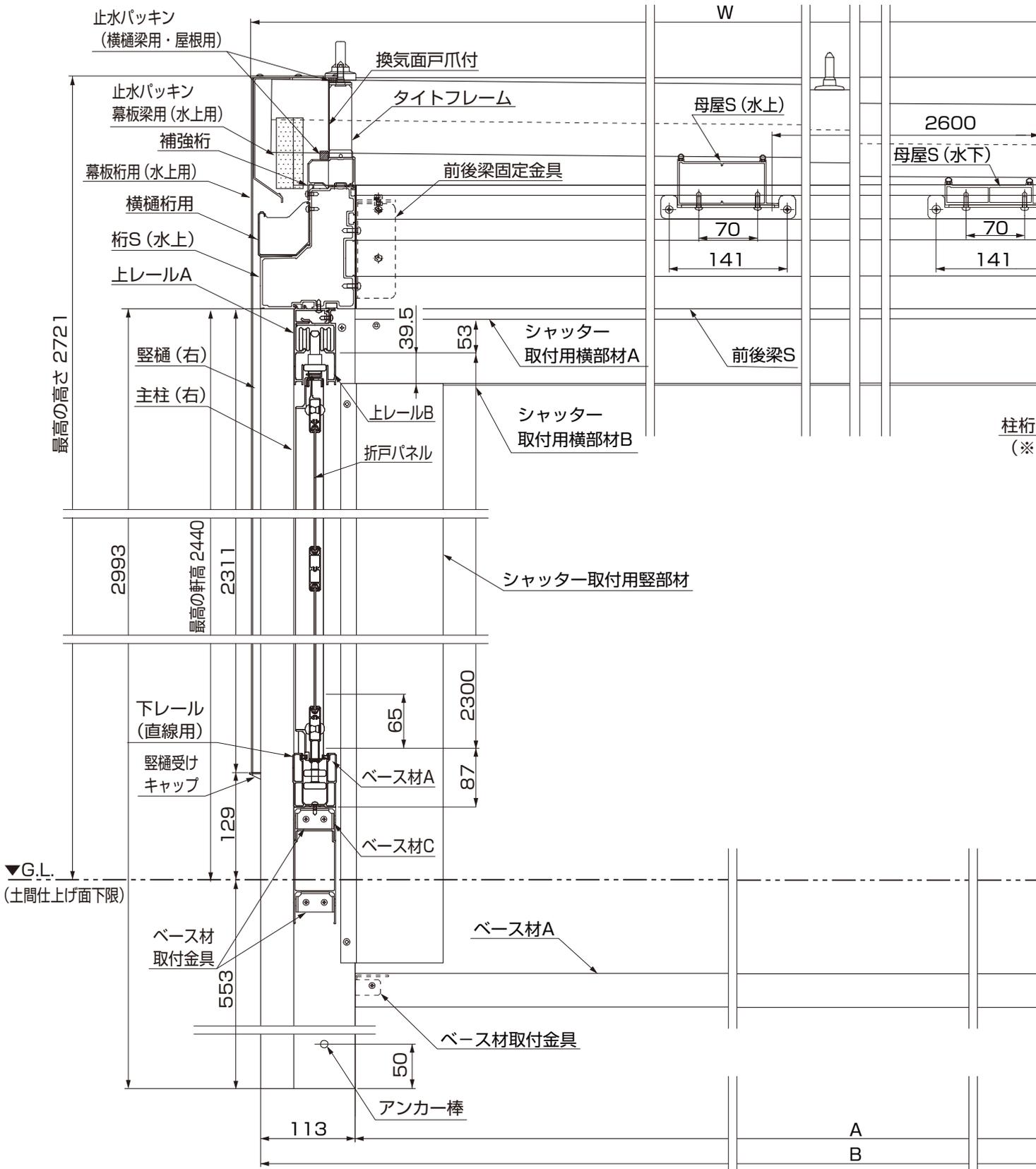
### 2-6 3000タイプ (Sタイプ) 標準28-54、32-60・縦延長 奥行き断面納まり





## 2. (つづき)

### 2-7 3000タイプ (Sタイプ) 標準34-60、38-60 間口断面納まり



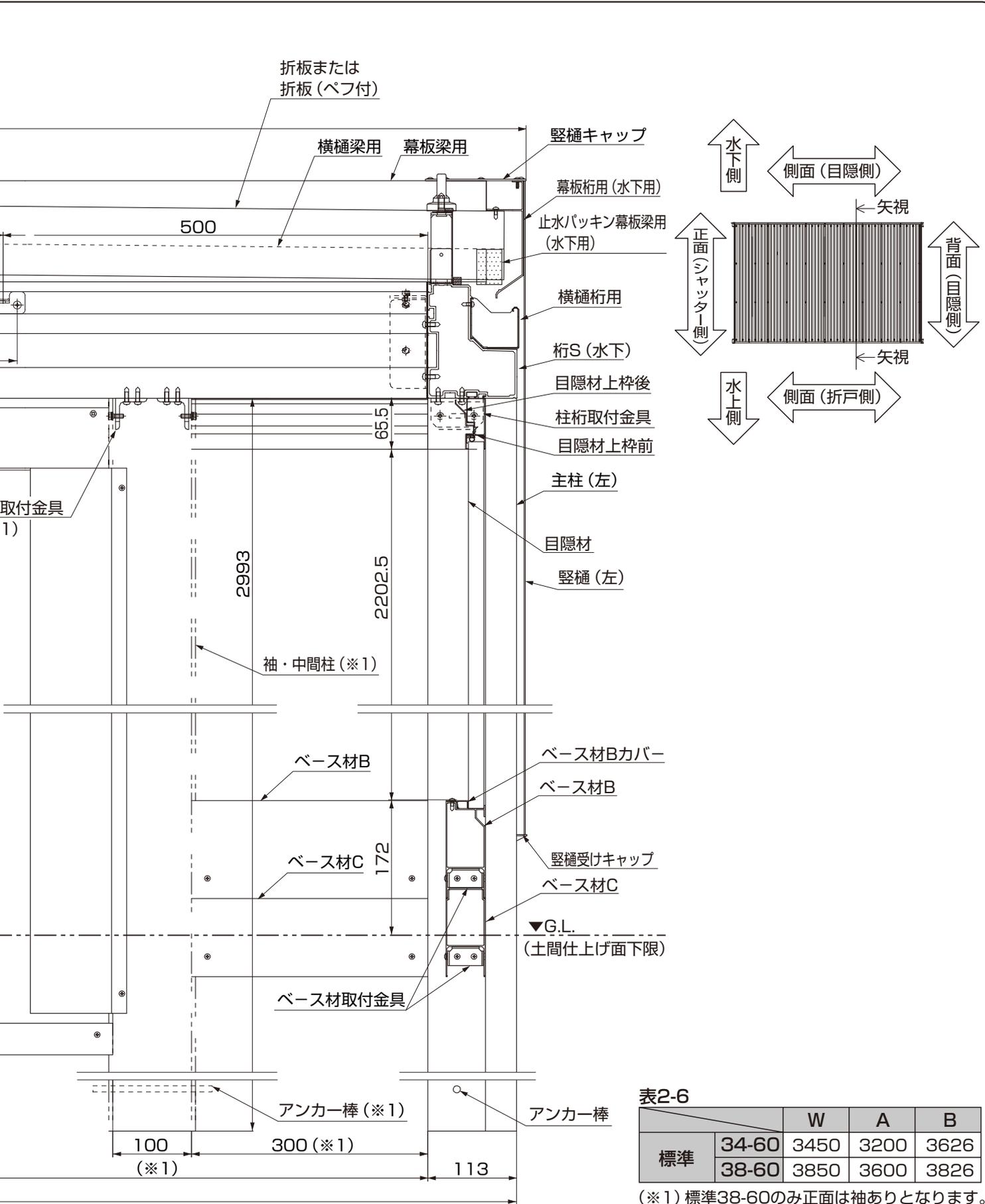


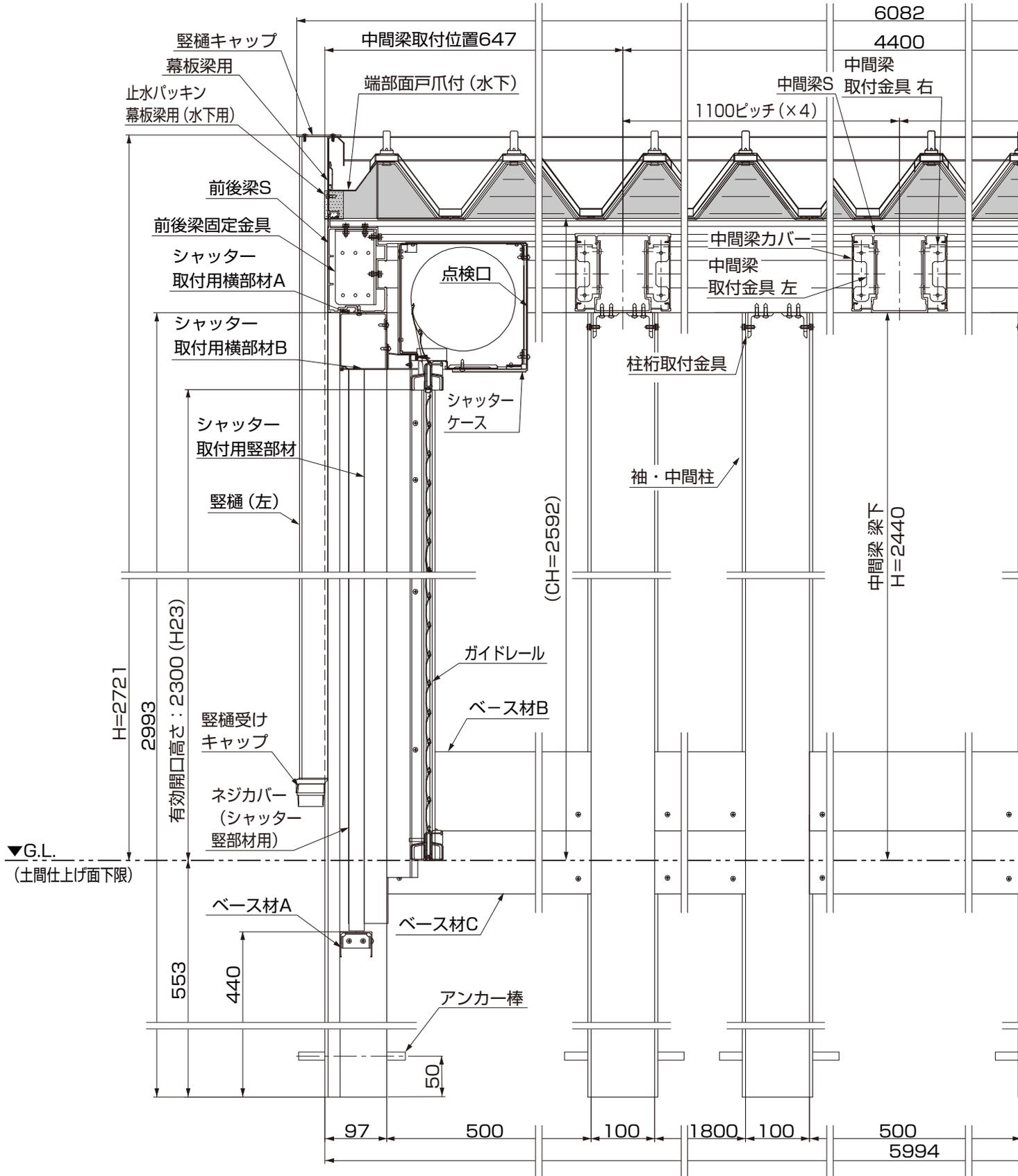
表2-6

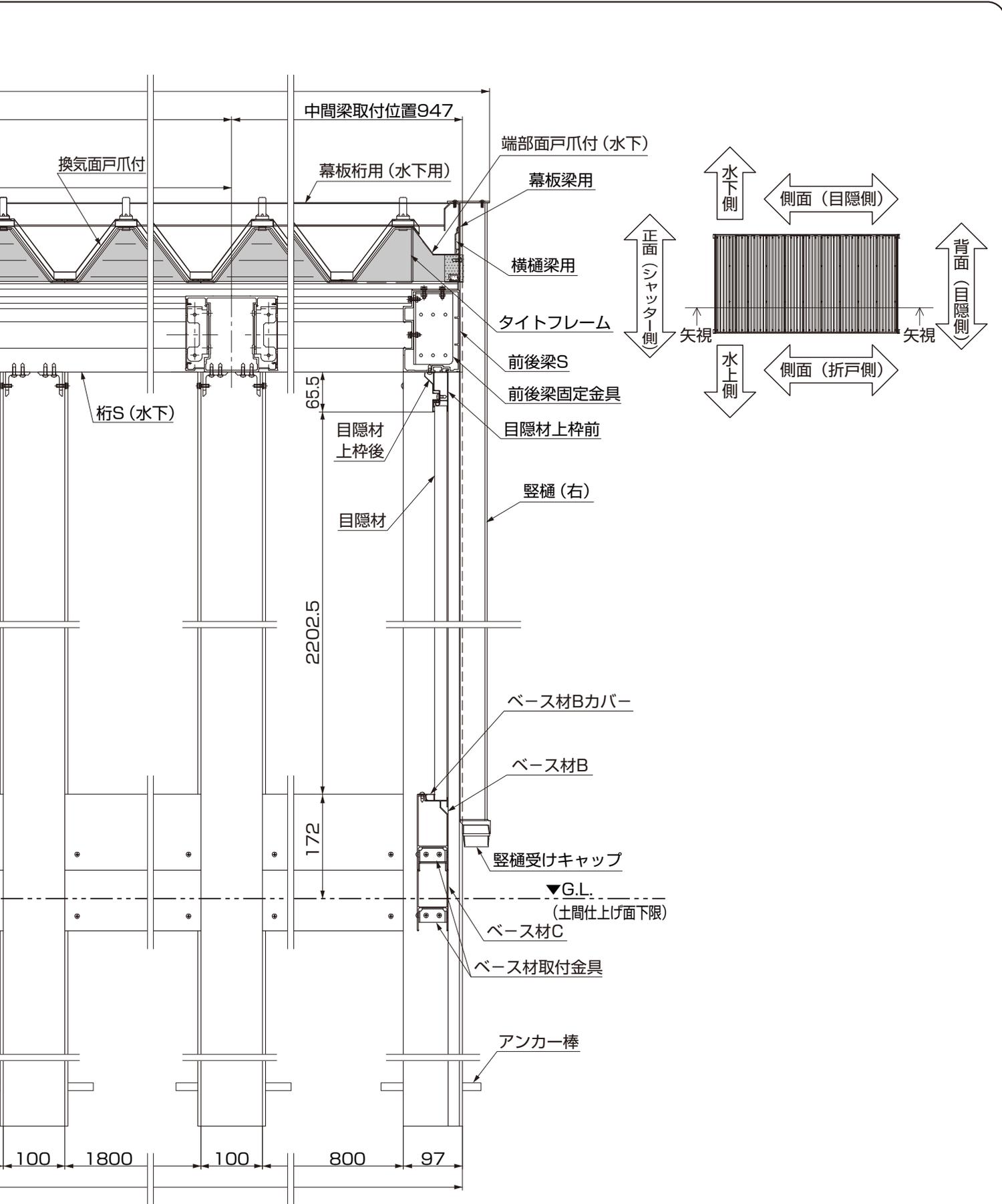
	W	A	B	
標準	34-60	3450	3200	3626
	38-60	3850	3600	3826

(※1) 標準38-60のみ正面は袖ありとなります。

## 2. (つづき)

### 2-8 3000タイプ (Sタイプ) 標準34-60、38-60 奥行き断面納まり





## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

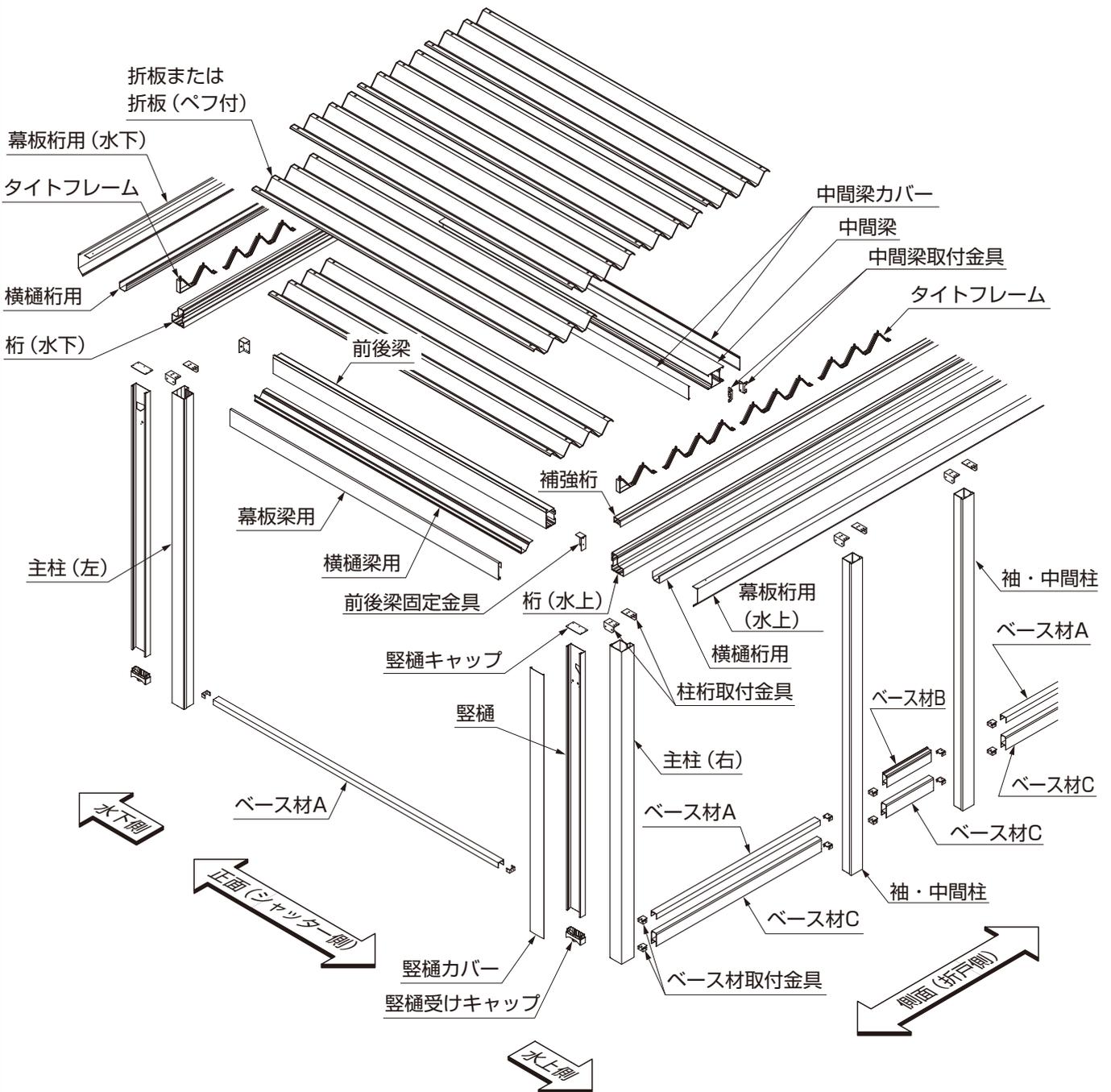
## 4 本体の施工

### 1. 施工前確認

※この図は、1500タイプ 標準28-54、32-60を示します。

※折戸パネル取付け側が水上側になります。

#### 1-1 各部の名称



①本体の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 柱の位置出しとベース材の配置

### 2-1 1500タイプ 標準28-54

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



ポイント

●主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。

●G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

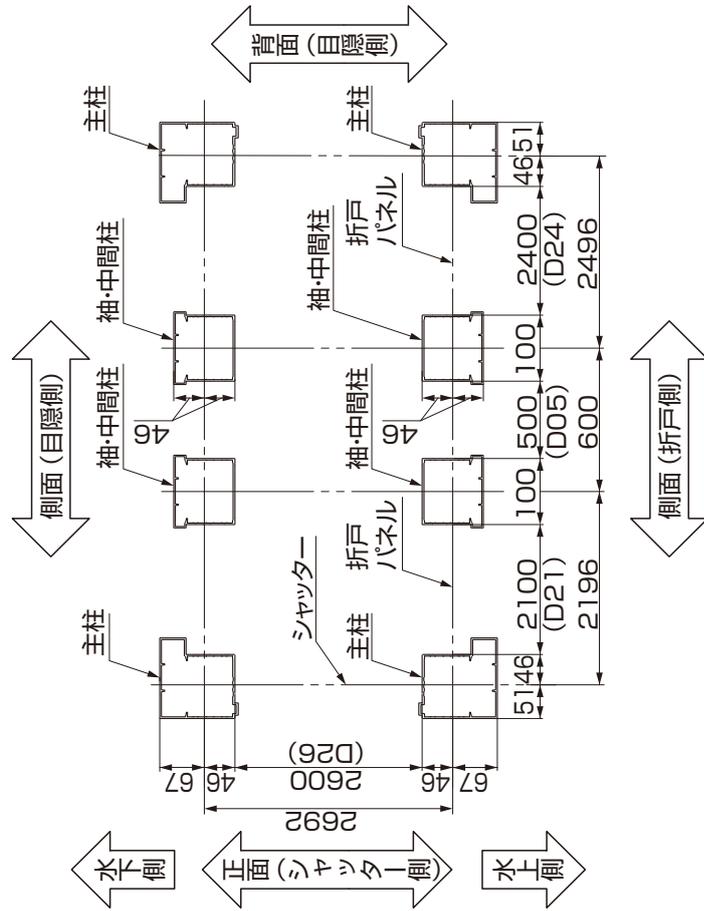


図2-1 柱の位置出し

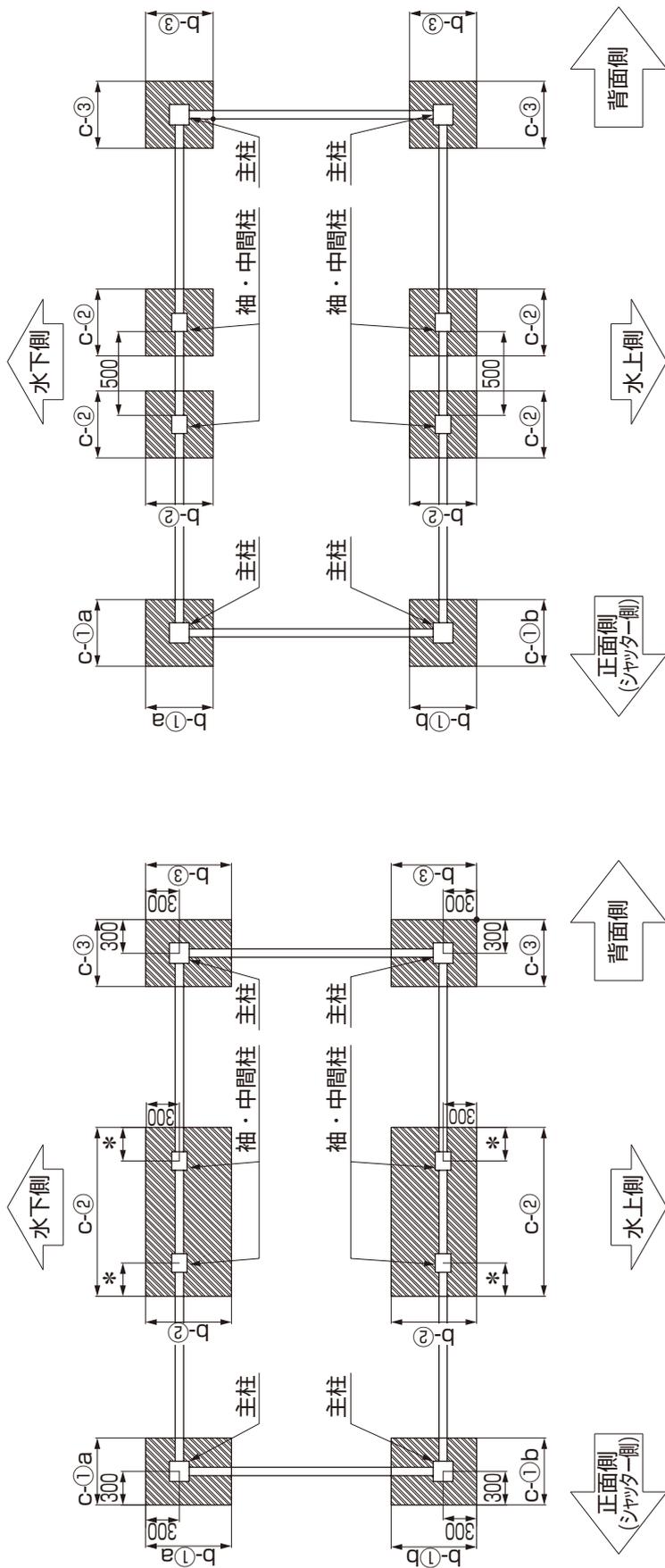


図2-2 基礎寸法 ※ $=[(c-2)-600]/2$

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-3 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)		
	主柱 (本)	中間柱 (本)															
28-54型	4	4	553	30kN/m <sup>2</sup>	750	650	750	650	750	1350	650	750	1350	750	650		
				50kN/m <sup>2</sup>	650	500	650	500	650	650	650	1300	500	650	650	650	500
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400

## 2. (つづき)

### (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



- ベース材には種類があります。(図2-4、図2-5、図2-6参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

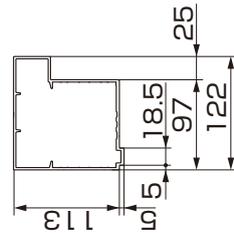
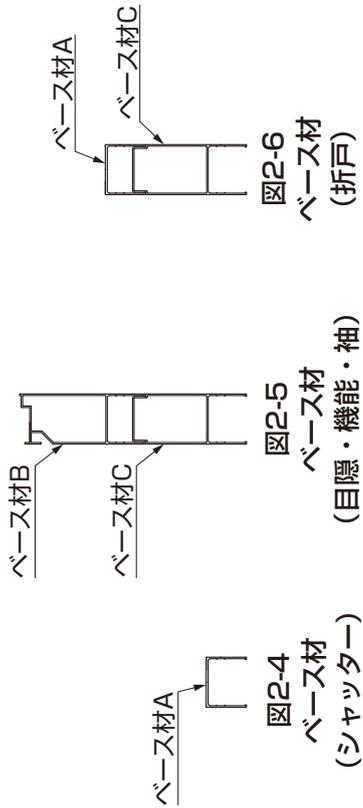


図2-7  
主柱拡大図

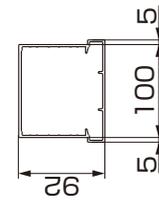


図2-8  
袖・中間柱拡大図

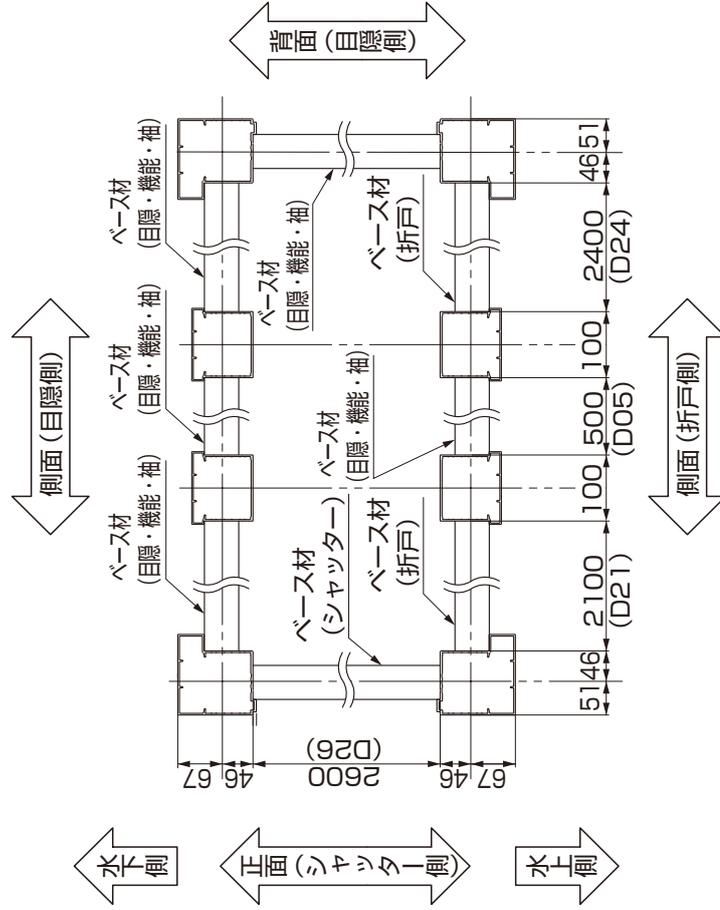


図2-9 ベース材の配置

## 2-2 1500タイプ 標準32-60

### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

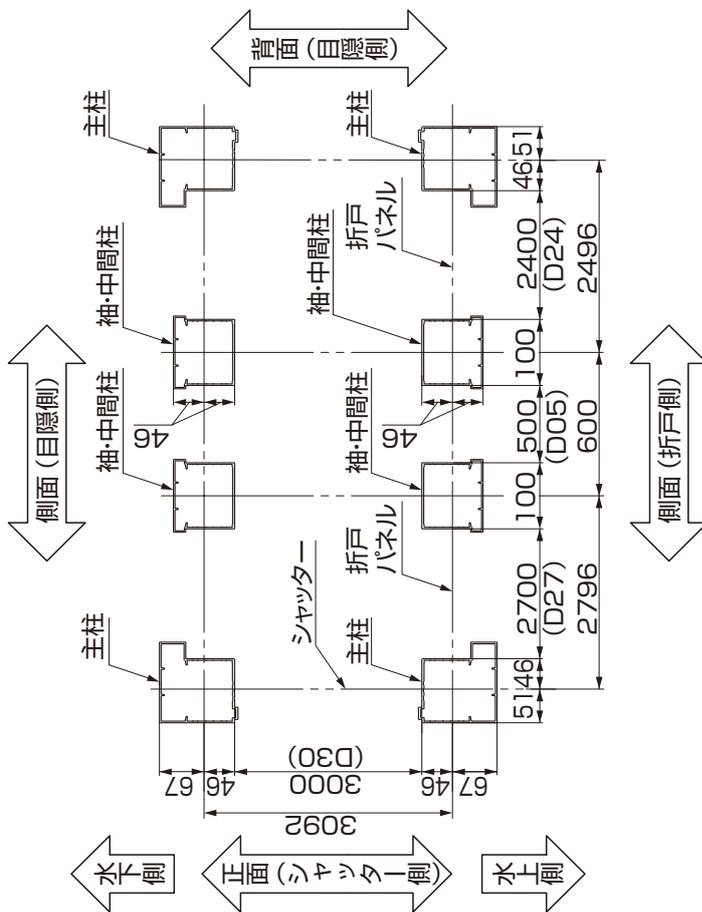


図2-10 柱の位置出し

2. (つづき)

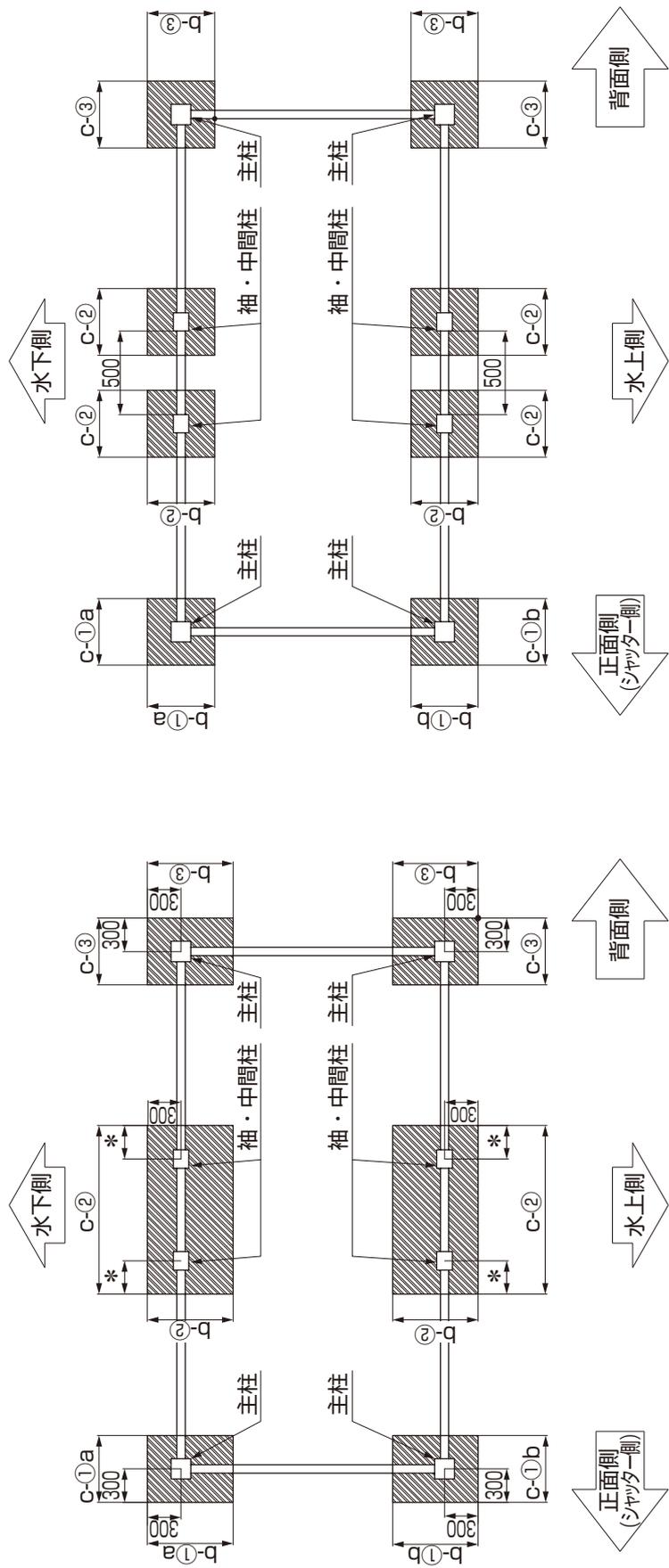


図2-11 基礎寸法 ※=[(c-2-600)]/2

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-12 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)	
	主柱 (本)	中間柱 (本)												
32-60型	4	4	553	30kN/m <sup>2</sup>	750	700	750	700	750	1400	1400	750	700	
				50kN/m <sup>2</sup>	550	650	550	650	1350	1350	550	650	550	650
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-13、図2-14、図2-15参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

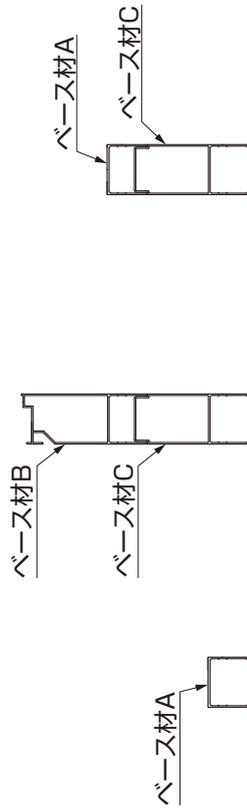


図2-13  
ベース材  
(シャッター側)

図2-14  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-15  
ベース材  
(折戸)

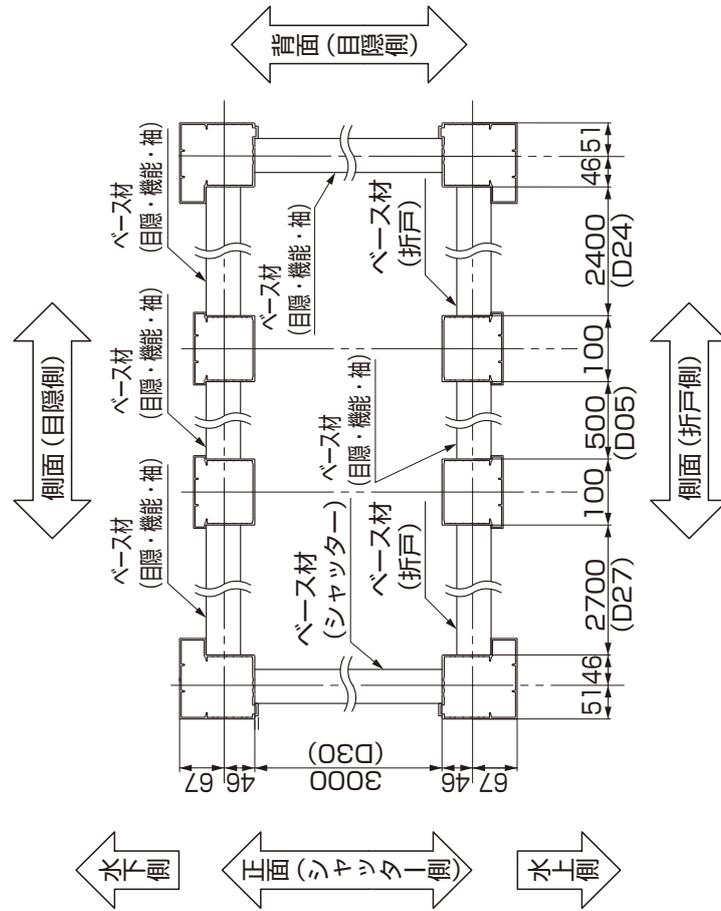


図2-18 ベース材の配置

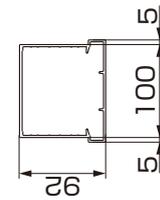


図2-16  
主柱拡大図

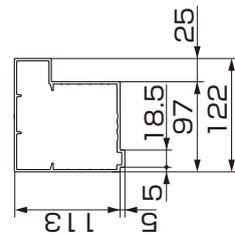


図2-17  
袖・中間柱拡大図

## 2. (つづき)

### 2-3 1500タイプ 標準34-60

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- 側面(折戸側)の正面(シャッター側)に、袖・中間柱(※1)が取付きます。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

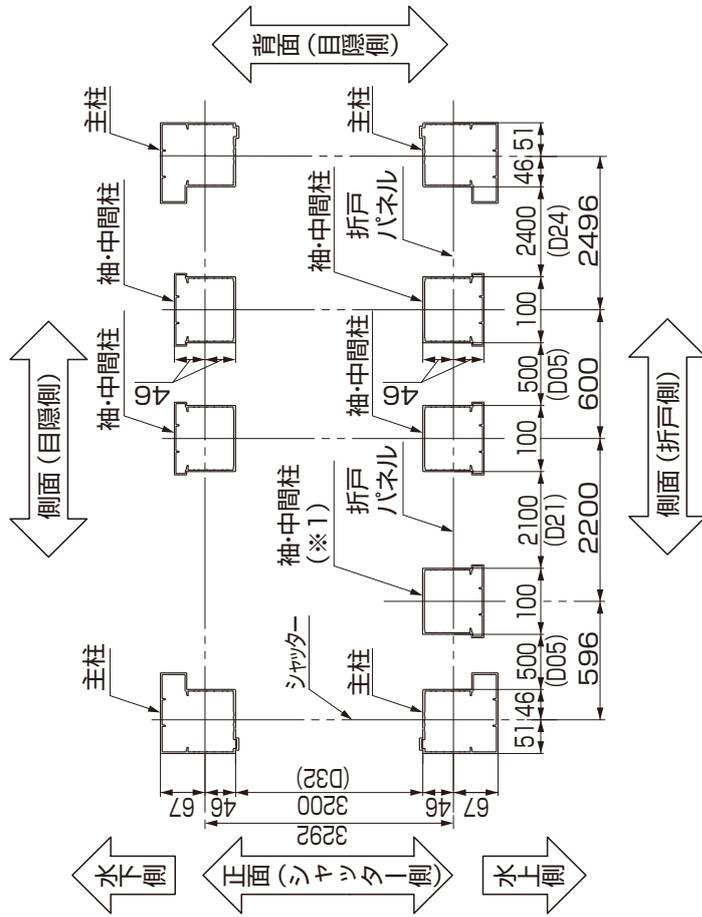


図2-19 柱の位置出し

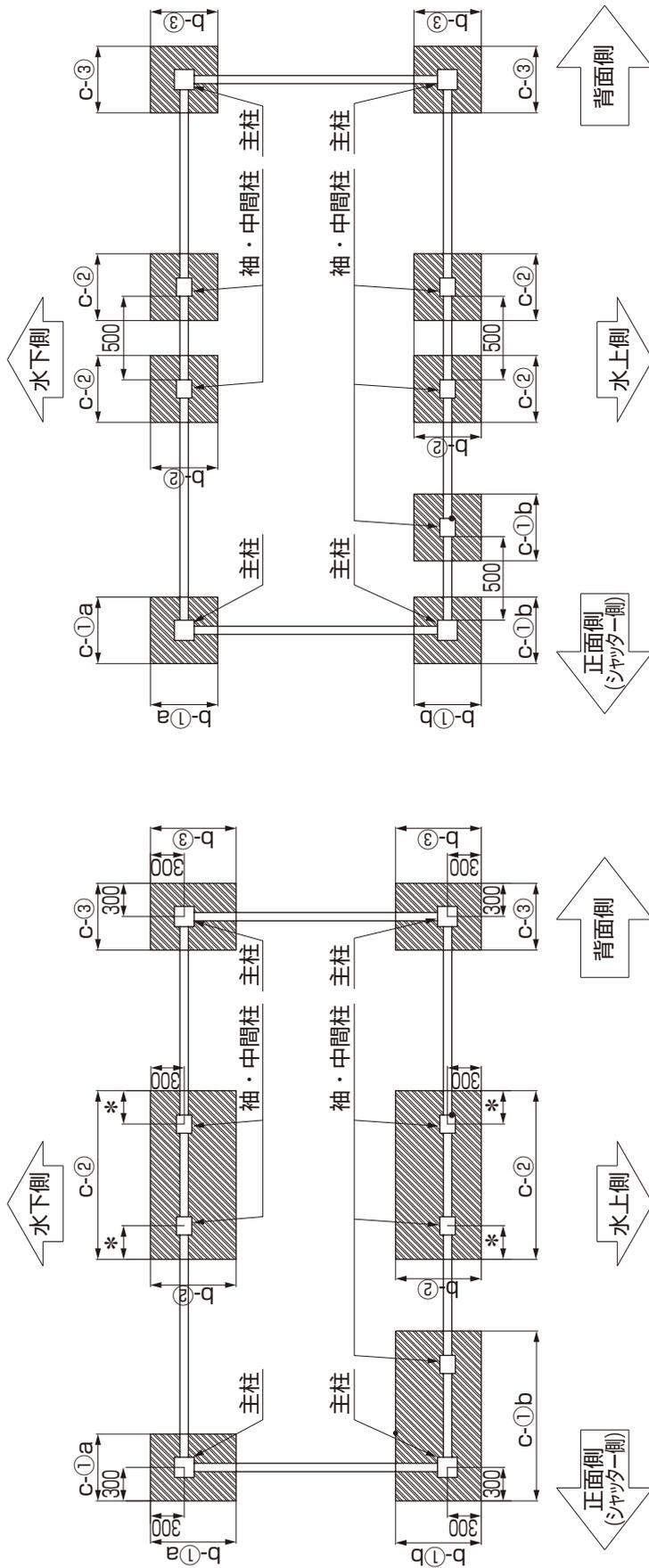


図2-20 基礎寸法 ※ $=[(c-2-600)]/2$

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-21 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1-a	c-1-a	b-1-b	c-1-b	b-2	c-2	b-3	c-3
	主柱 (本)	中間柱 (本)			(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
34-60型	4	5	553	30kN/m <sup>2</sup>	800	750	800	1100	750	1400	800	750
				50kN/m <sup>2</sup>	650	600	650	1100	650	1350	650	600
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	400

## 2. (つづき)

### (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



- ベース材には種類があります。(図2-22、図2-23、図2-24参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

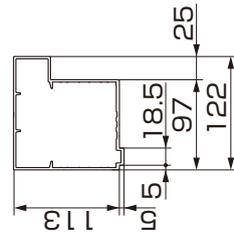
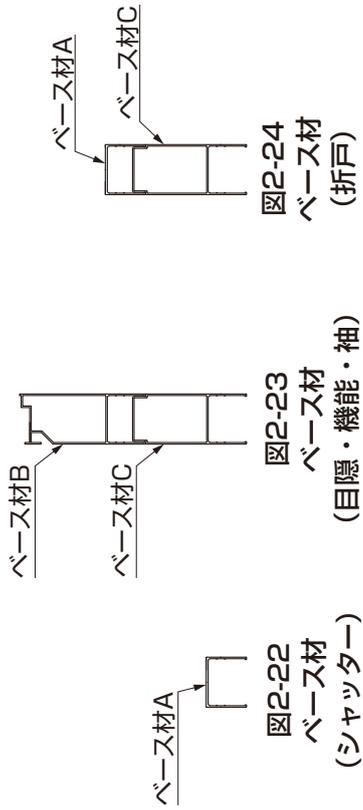


図2-25  
主柱拡大図

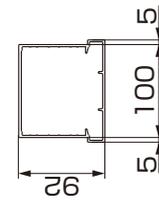


図2-26  
袖・中間柱拡大図

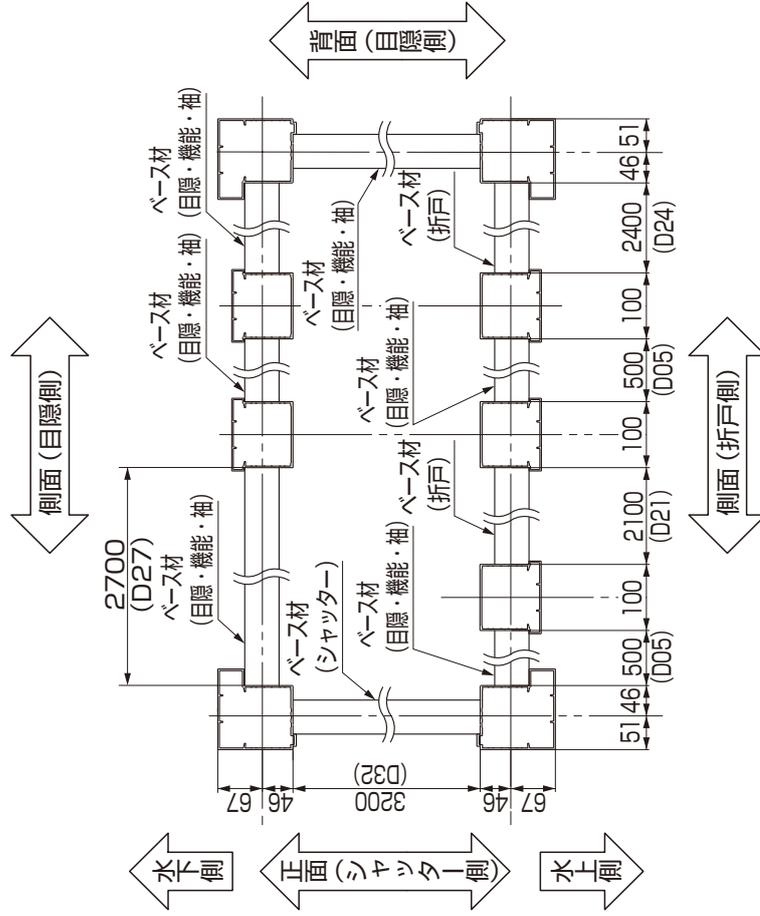


図2-27 ベース材の配置

## 2-4 1500タイプ 標準38-60

### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- 側面(折戸側)の正面(シャッター側)に、袖・中間柱(※1)が取付きます。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

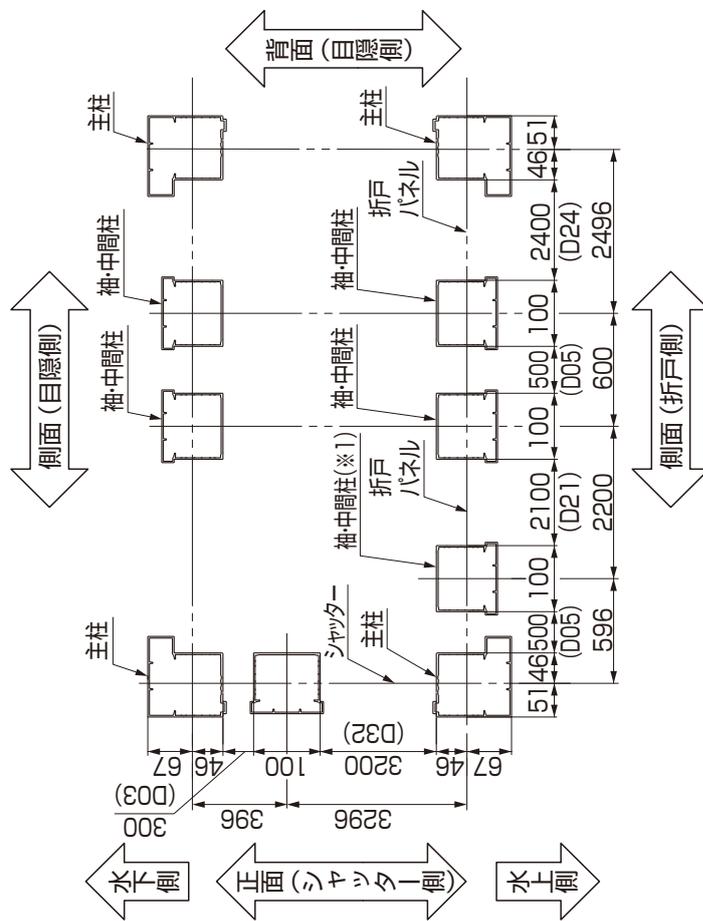


図2-28 柱の位置出し

2. (つづき)

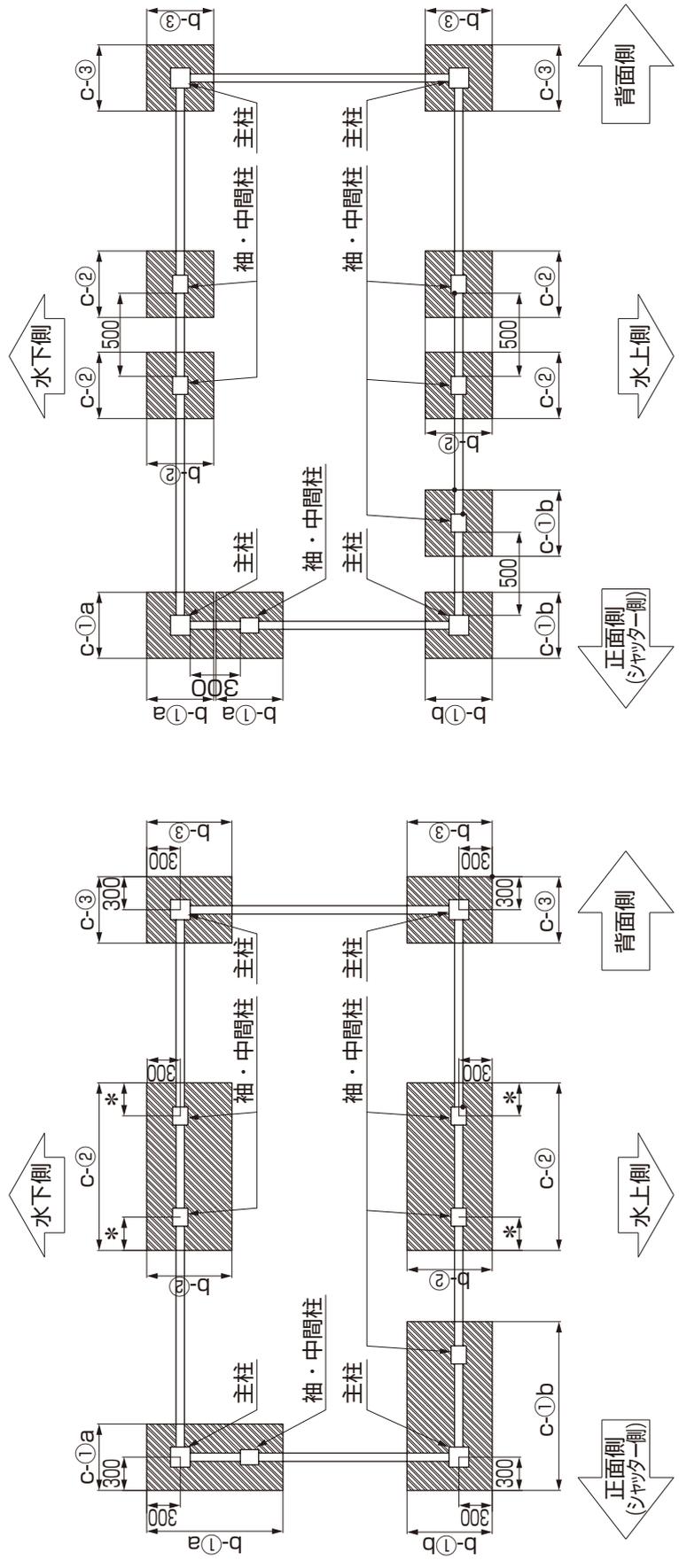


図2-29 基礎寸法 ※ $=[(c-2)-600]/2$

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-30 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)
	主柱 (本)	中間柱 (本)										
38-60型	4	6	553	30kN/m <sup>2</sup>	1150	750	750	1100	750	1400	750	750
				50kN/m <sup>2</sup>	1100	600	650	1100	650	1350	650	600
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	



## 2. (つづき)

### 2-5 1500タイプ 縦延長32-74

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- 側面(折戸側)の正面(シャッター側)に、袖・中間柱(※1)が取付きます。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

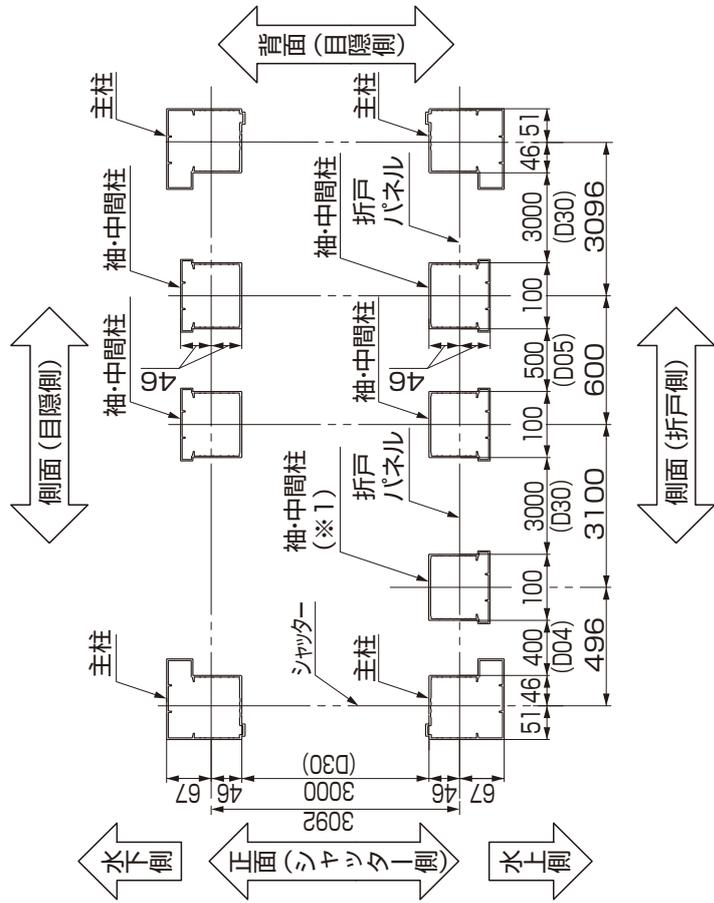


図2-37 柱の位置出し

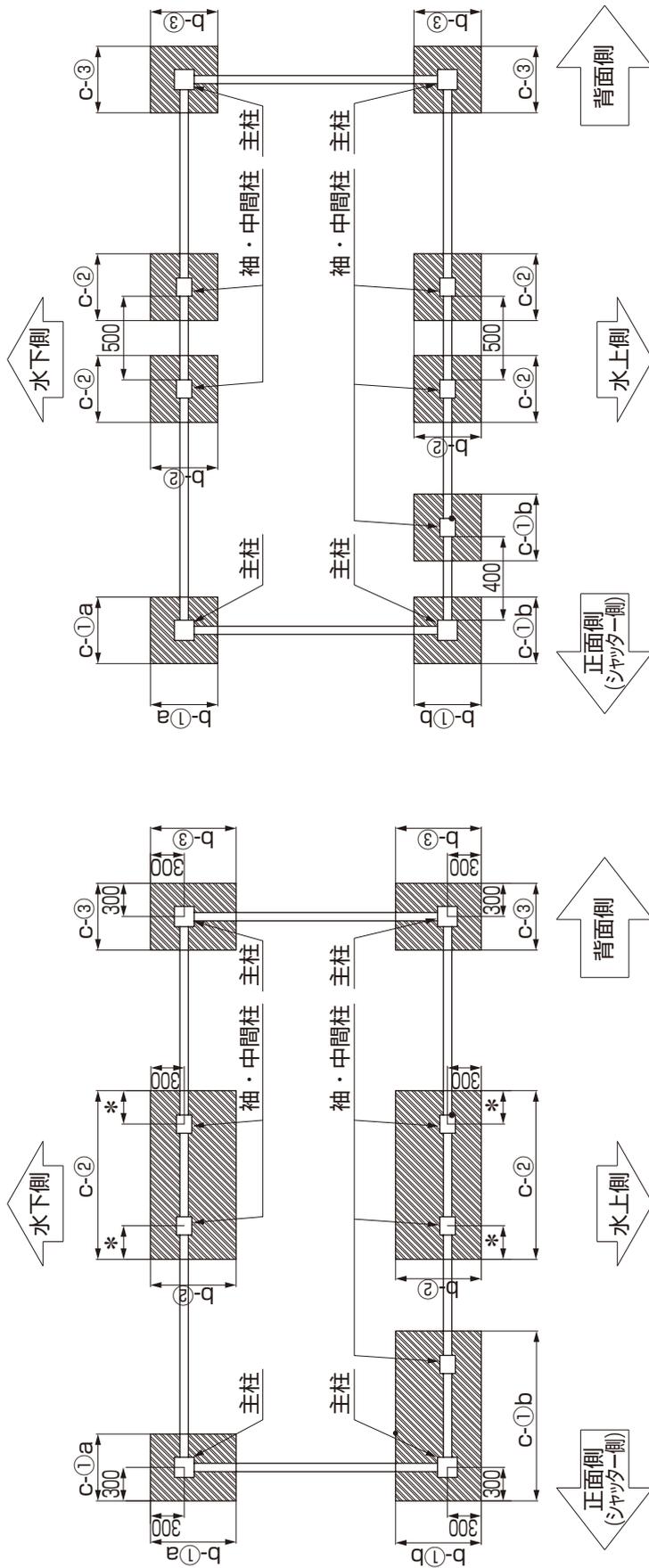


図2-38 基礎寸法 ※ $=[(c-2)-600]/2$

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-39 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1a	c-1a	b-1b	c-1b	b-2	c-2	b-3	c-3
	主柱 (本)	中間柱 (本)			(mm)							
32-74型	4	5	553	30kN/m <sup>2</sup>	1050	700	1050	1000	1050	1450	1050	700
				50kN/m <sup>2</sup>	900	600	900	1000	900	1400	900	600
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	

## 2. (つづき)

### (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



- ベース材には種類があります。(図2-40、図2-41、図2-42参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

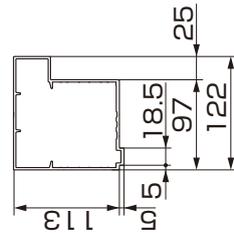
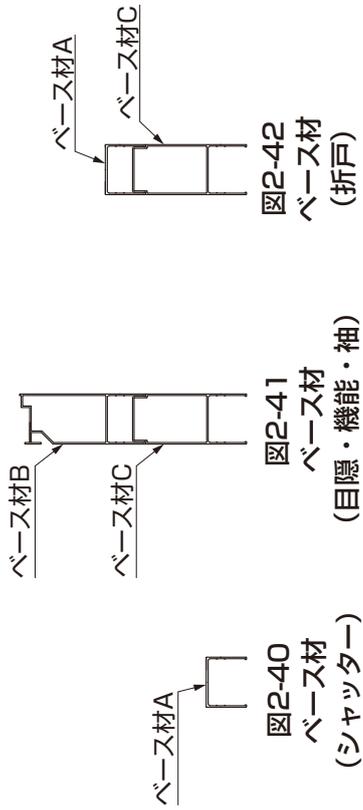


図2-43  
主柱拡大図

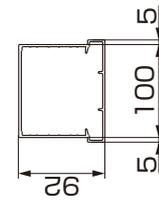


図2-44  
袖・中間柱拡大図

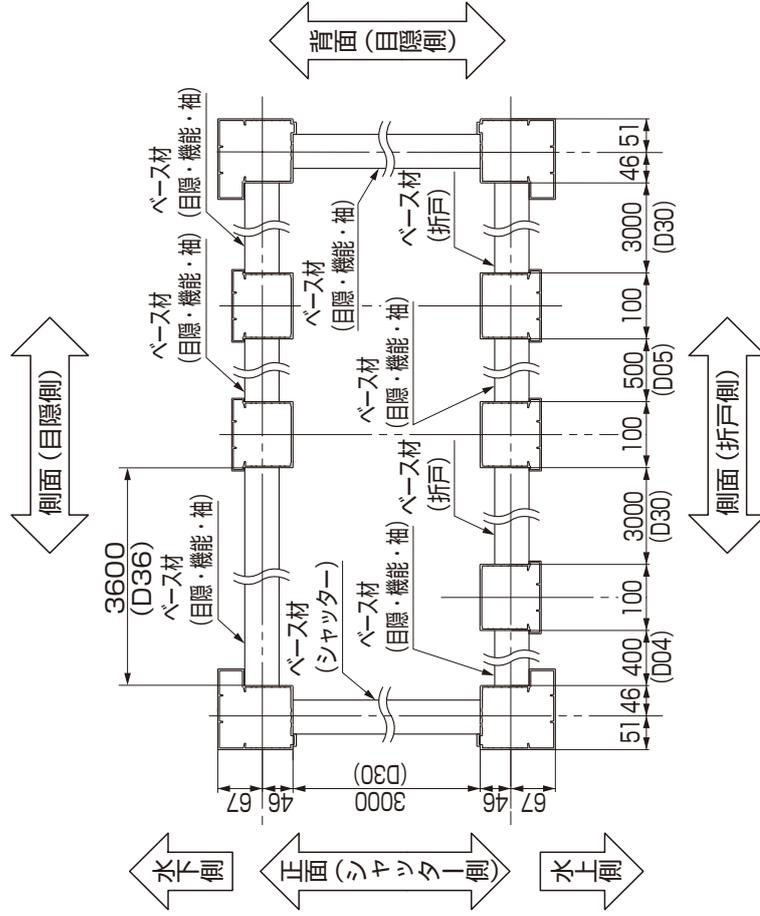


図2-45 ベース材の配置

## 2-6 1500タイプ 横延長63-60

### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、中間主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



ポイント

- 中央部分の中間主柱、袖・中間柱の向きに注意してください。(拡大図参照) (※1)
- 主柱、中間主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

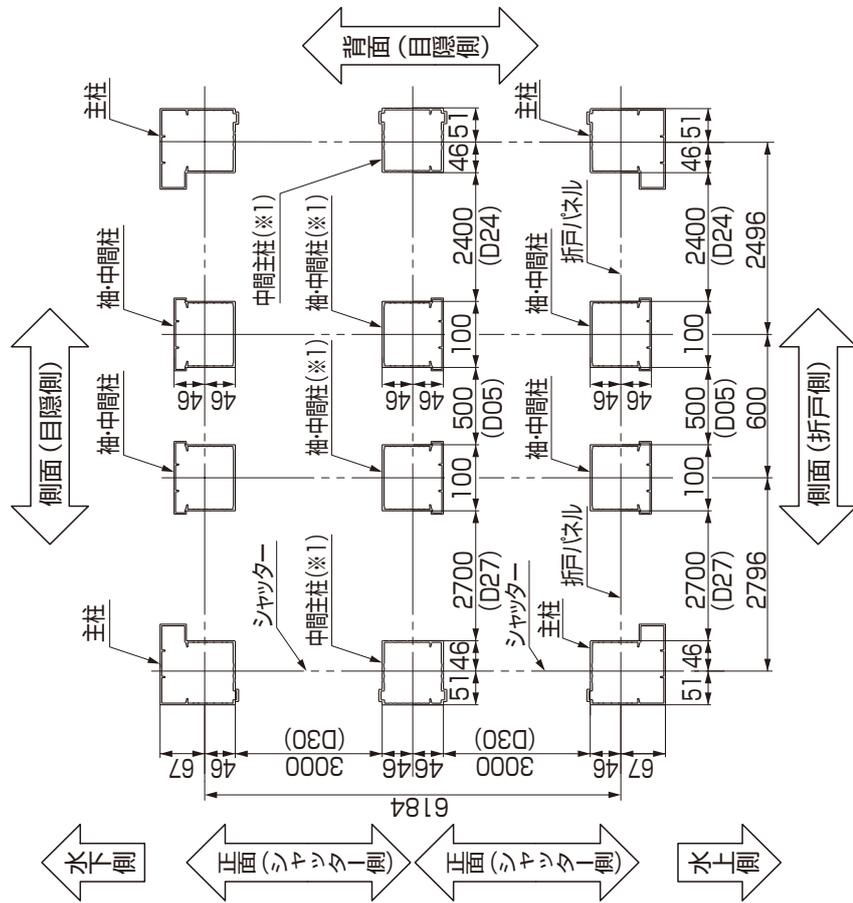


図2-46 柱の位置出し

## 2. (つづき)

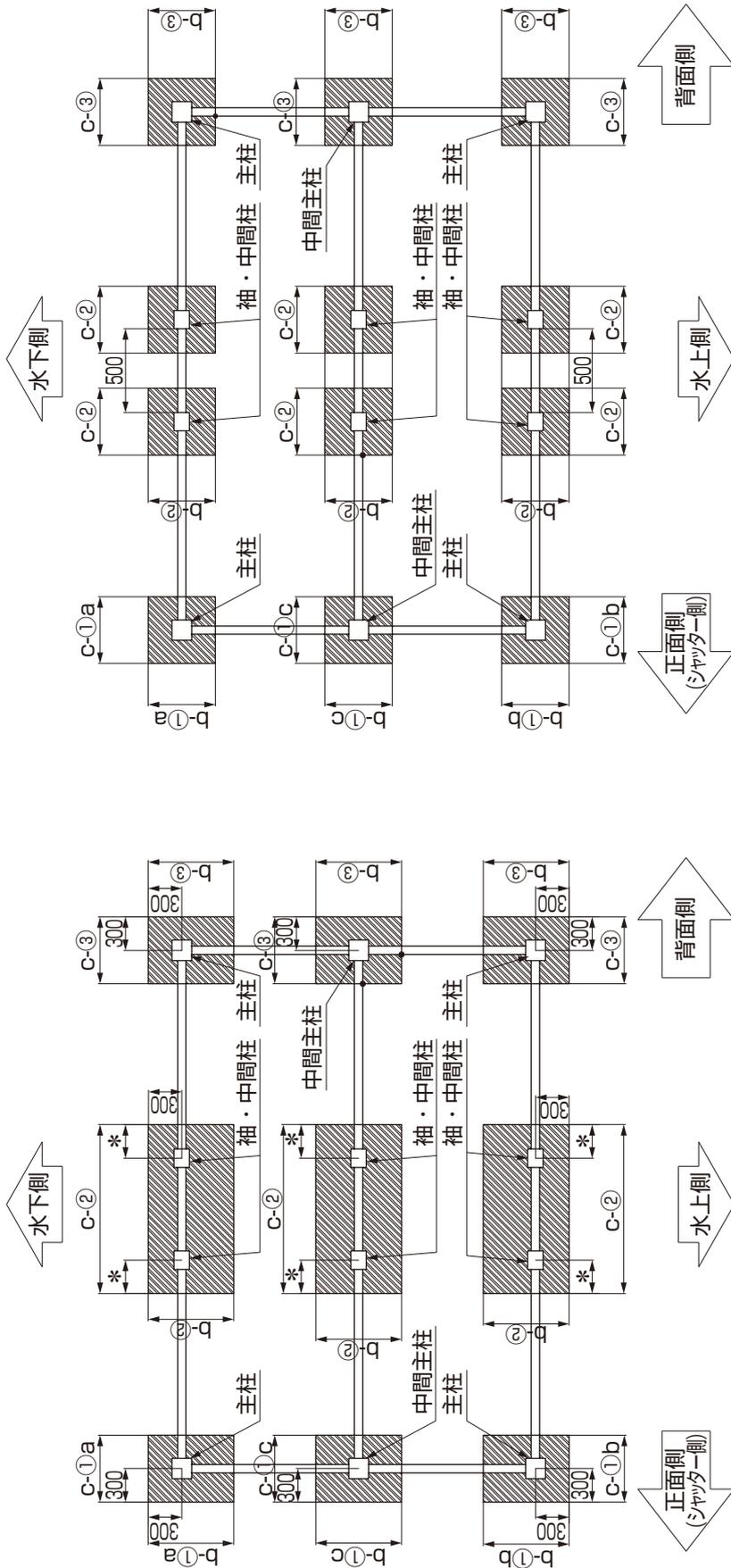


図2-47 基礎寸法 \*=[(c-2)-600]/2

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-48 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

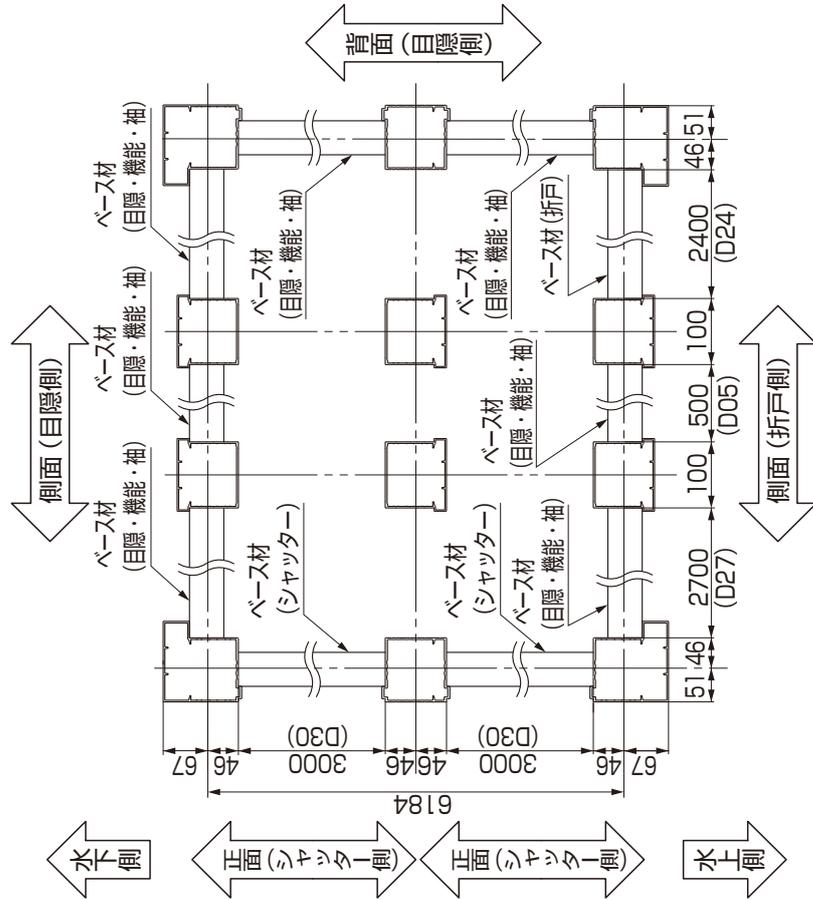
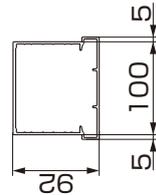
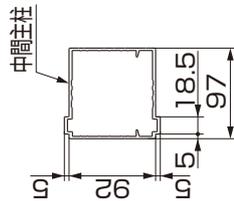
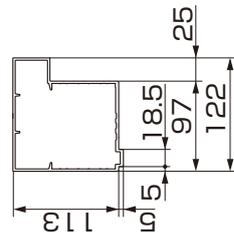
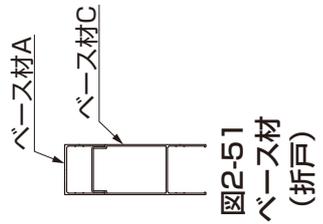
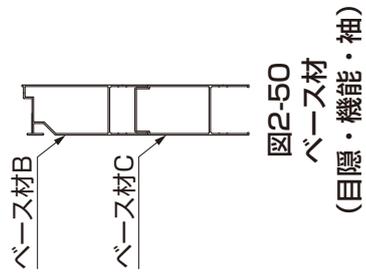
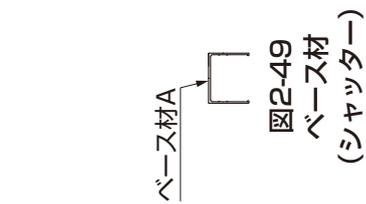
サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	c-1c (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)
	主柱 (本)	中間柱 (本)											
63-60型	6	6	553	30kN/m <sup>2</sup>	850	650	850	650	650	850	1600	850	650
				50kN/m <sup>2</sup>	650	500	650	500	650	1550	650	500	
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	400	

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



- ベース材には種類があります。(図2-49、図2-50、図2-51参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。



## 2. (つづき)

### 2-7 1500タイプ 縦横延長63-74

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、中間主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### ポイント

- 中央部分の中間主柱、袖・中間柱の向きに注意してください。(拡大図参照) (※2)
- 主柱、中間主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- 側面(折戸側)の正面(シャッター側)に、袖・中間柱(※1)が取付きます。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

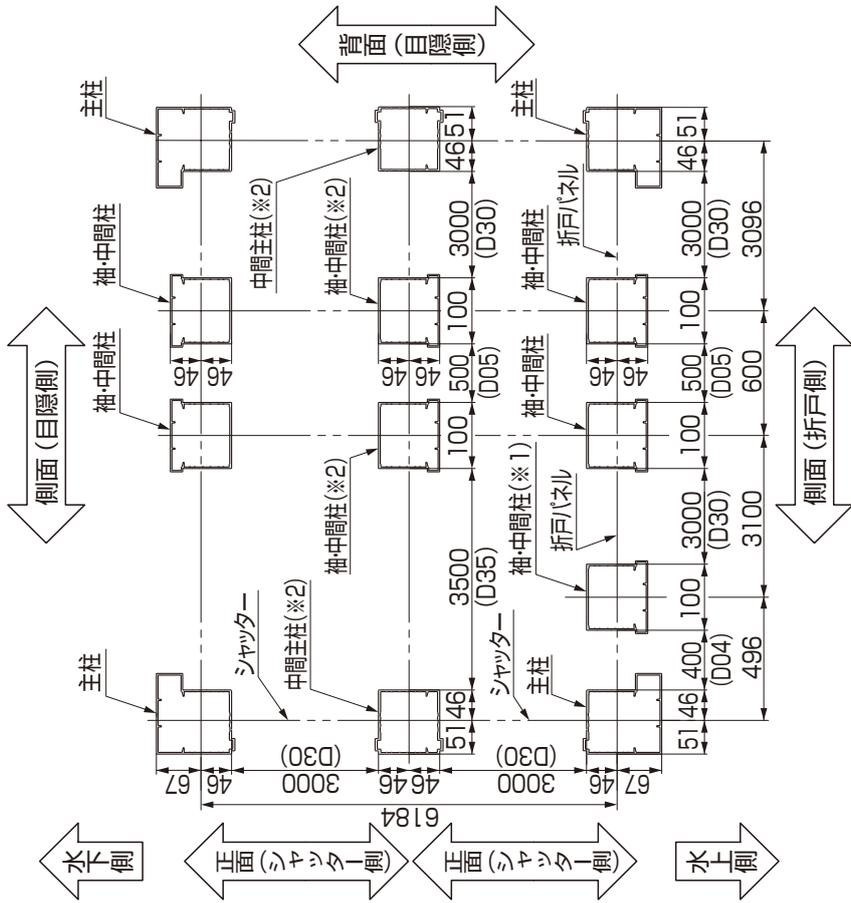


図2-56 柱の位置出し

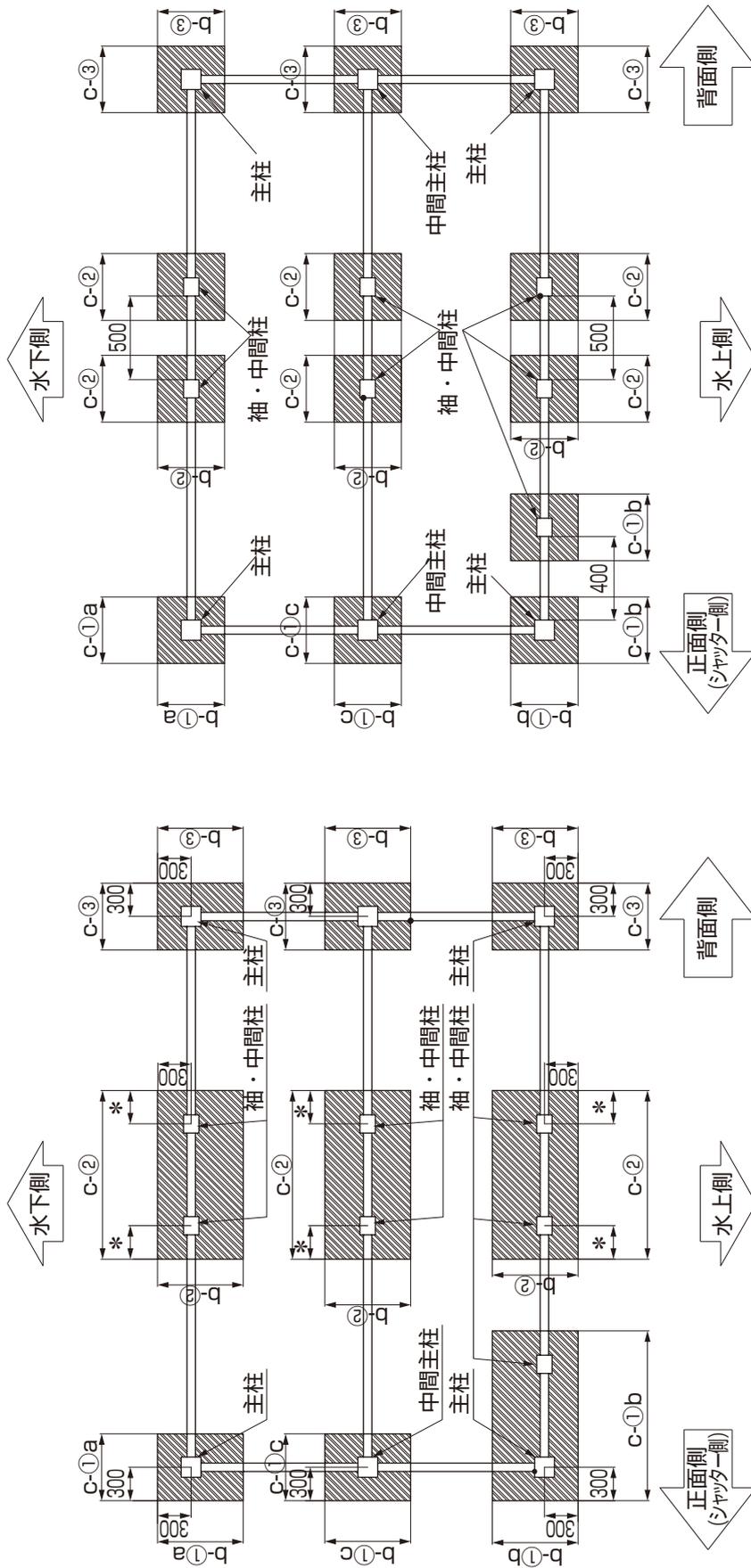


図2-57 基礎寸法 ※ $[(c-2)-600]/2$

地耐力30kN/m<sup>2</sup>の場合  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>の場合

図2-58 基礎寸法

地耐力100kN/m<sup>2</sup>の場合

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	基礎寸法 (mm)									
	主柱 (本)	中間柱 (本)			b-1a	c-1a	b-1b	c-1b	b-1c	c-1c	b-2	c-2	b-3	c-3
63-74型	6	7	553	30kN/m <sup>2</sup>	900	650	900	1000	900	650	900	1600	900	650
				50kN/m <sup>2</sup>	750	500	750	1000	750	500	750	1550	750	500
				100kN/m <sup>2</sup>	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400

## 2. (つづき)

### (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-59、図2-60、図2-61参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

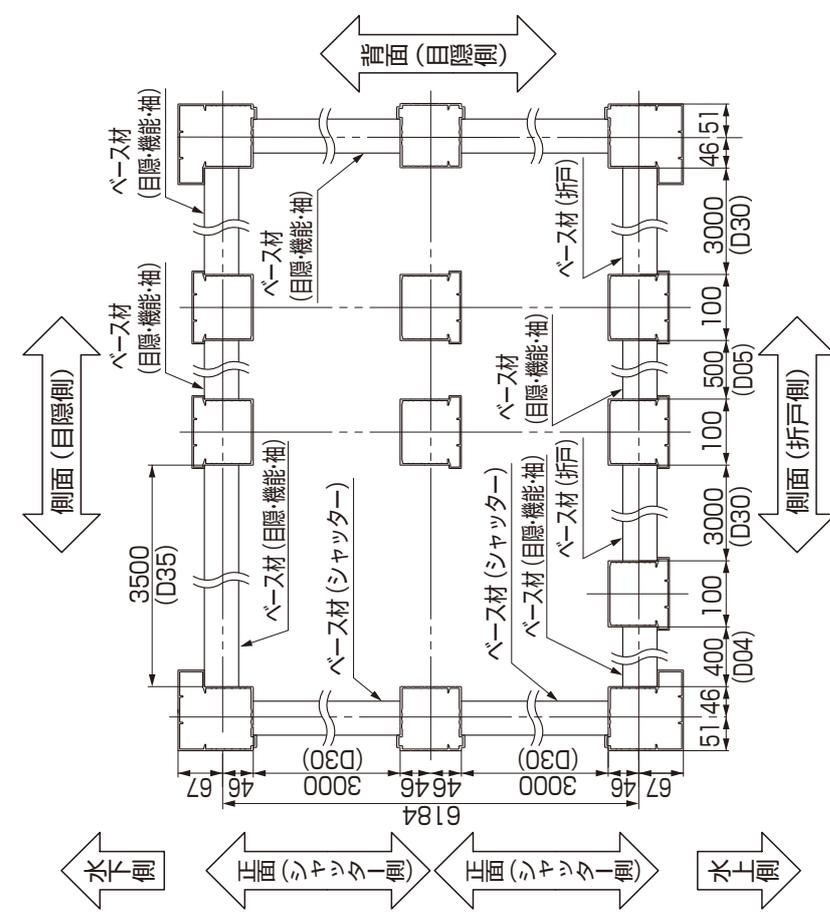
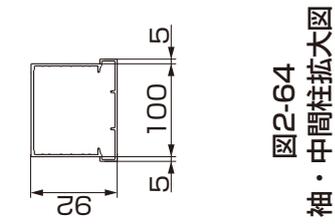
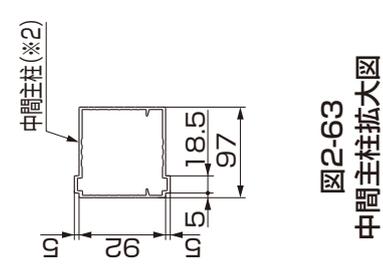
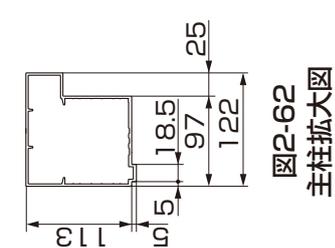
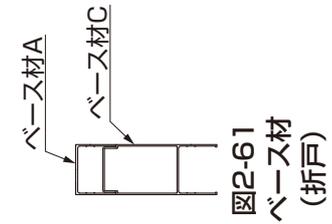
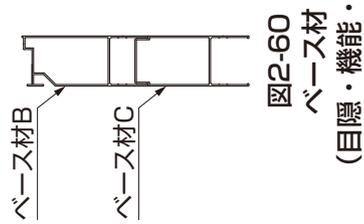
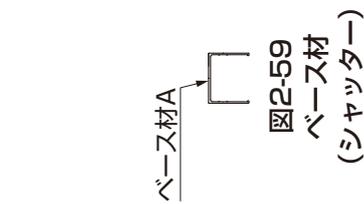


図2-65 ベース材の配置

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 2. (つづき)

### 2-8 3000タイプ(Sタイプ) 標準28-54

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

#### 注意

- 多雪地域の基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。

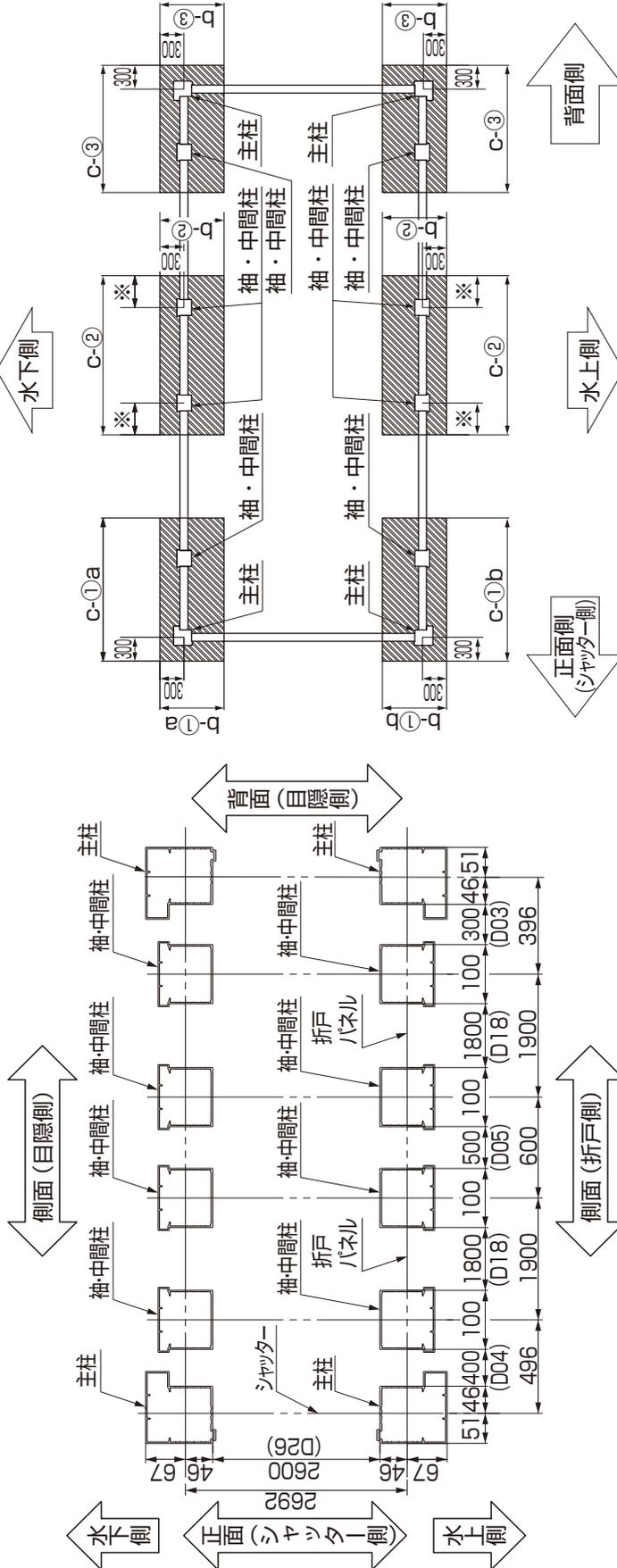


図2-66 柱の位置出し

図2-67 基礎寸法 ※ $=[(c-2)-600]/2$

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	c-①a (mm)	b-①b (mm)	c-①b (mm)	b-② (mm)	c-② (mm)	b-③ (mm)	c-③ (mm)
	主柱 (本)	中間柱 (本)									
28-54型	4	8	553	30kN/m <sup>2</sup>	650	650	1,100	650	1,100	650	1,100
				50kN/m <sup>2</sup>	500	500	1,000	500	1,000	500	1,000
				100kN/m <sup>2</sup>	500	500	1,000	500	1,000	500	1,000

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-68、図2-69、図2-70参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

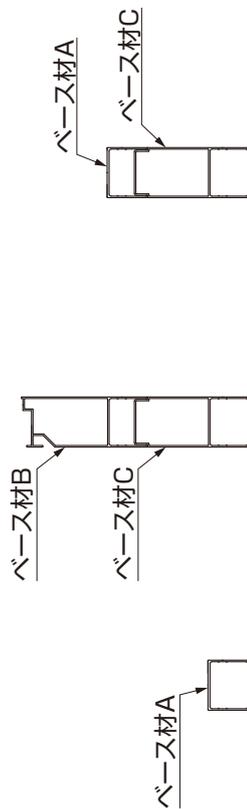


図2-68  
ベース材  
(シャッター)

図2-69  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-70  
ベース材  
(折戸)

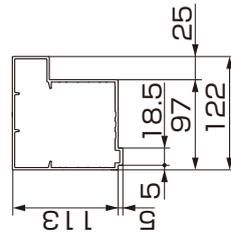


図2-71  
主柱拡大図

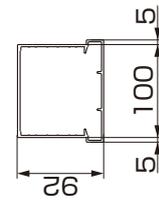


図2-72  
袖・中間柱拡大図

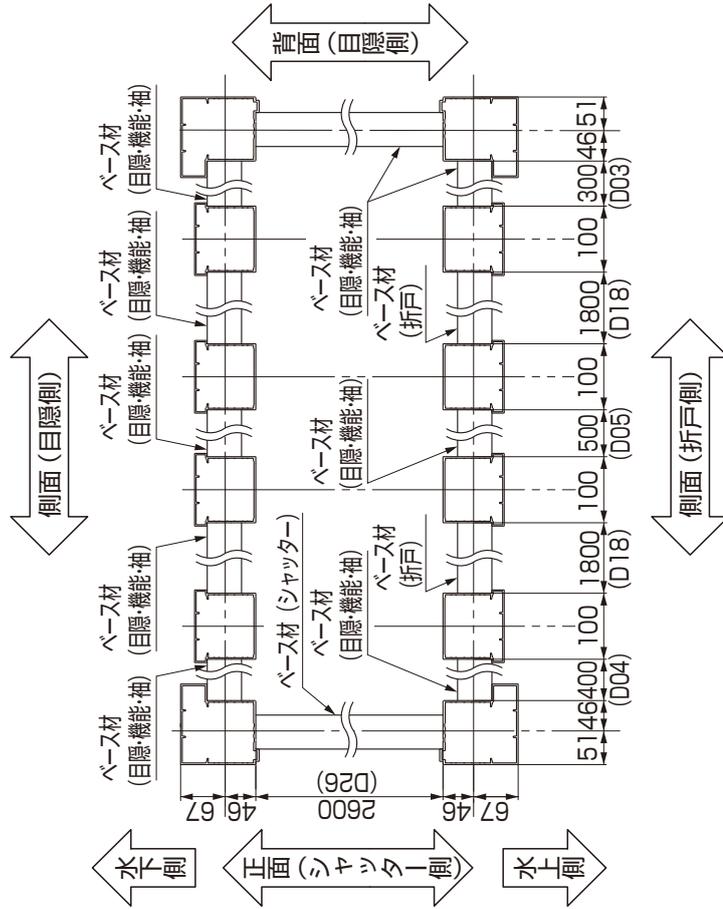


図2-73 ベース材の配置

## 2. (つづき)

### 2-9 3000タイプ(Sタイプ) 標準32-60

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

#### 注意

- 多雪区域の基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。

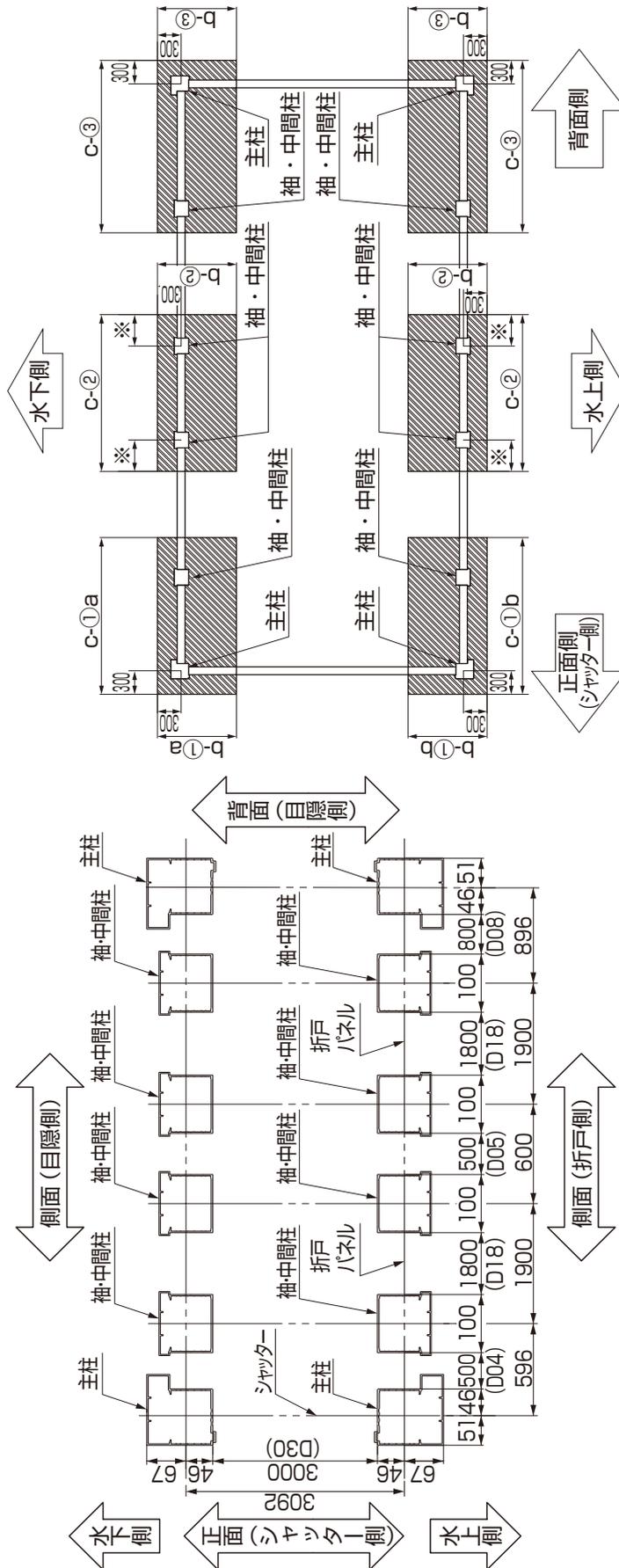


図2-74 柱の位置出し

図2-75 基礎寸法 ※=[(c-2)-600]/2

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	基礎寸法									
	主柱 (本)	中間柱 (本)			b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)		
32-60型	4	8	553	30kN/m <sup>2</sup>	650	1,100	650	1,100	650	1,100	650	1,100	650	1,400
				50kN/m <sup>2</sup>	500	1,100	500	1,000	500	1,000	500	1,000	500	1,400
	100kN/m <sup>2</sup>	500	1,100	500	1,100	500	1,000	500	1,000	500	1,400			

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-76、図2-77、図2-78参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

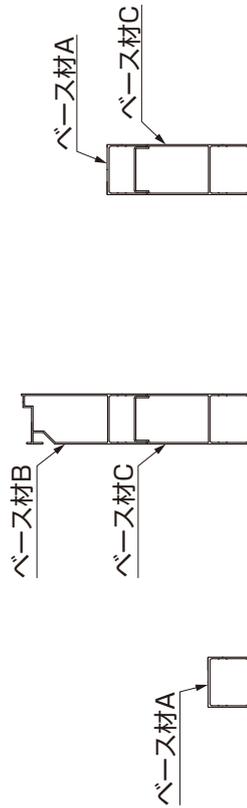


図2-76  
ベース材  
(シャッター)

図2-77  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-78  
ベース材  
(折戸)

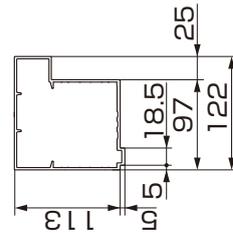


図2-79  
主柱拡大図

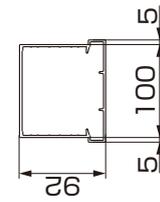


図2-80  
袖・中間柱拡大図

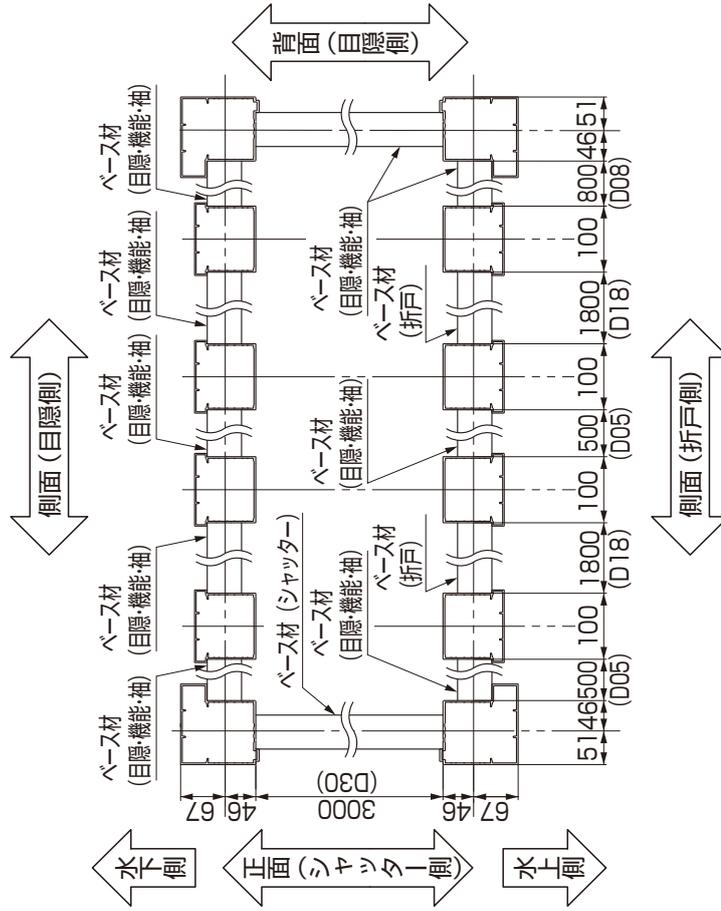


図2-81 ベース材の配置

## 2. (つづき)

### 2-10 3000タイプ(Sタイプ) 標準34-60

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。



#### 注意

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

- 多雪区域の基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。

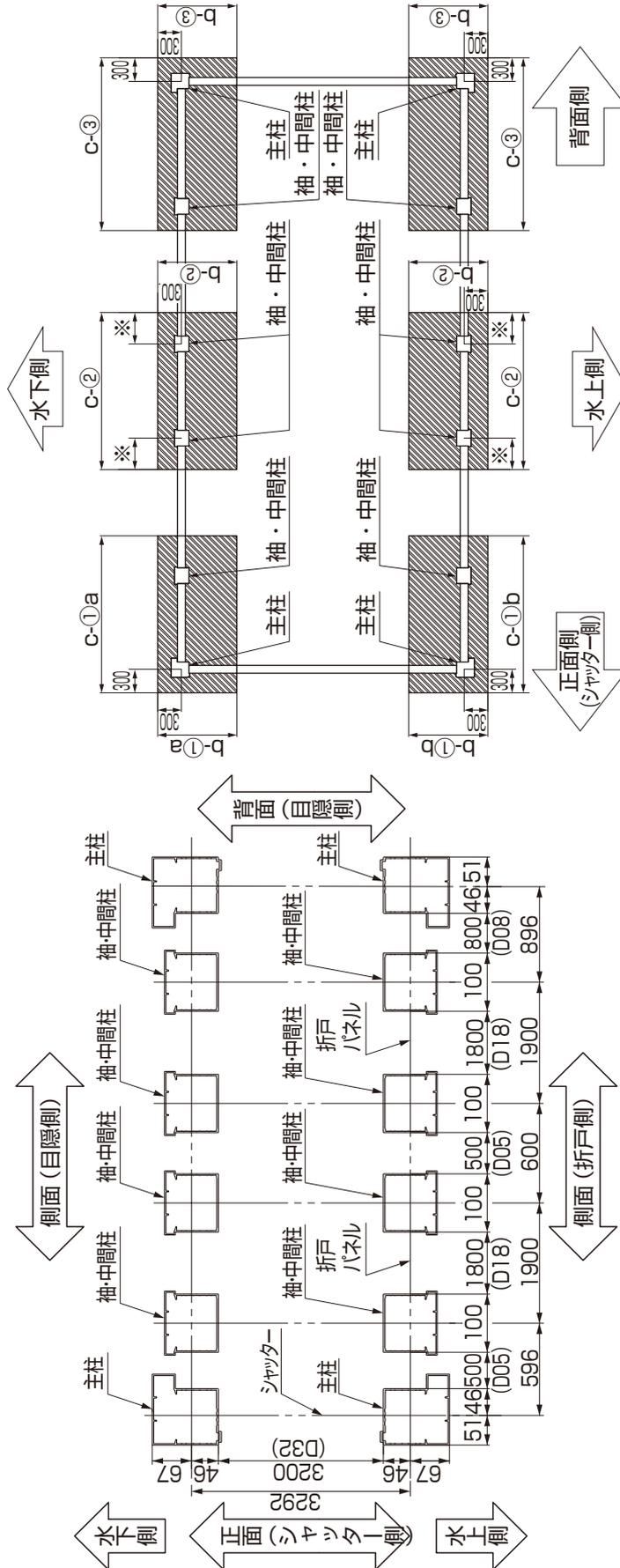


図2-82 柱の位置出し

図2-83 基礎寸法 ※=[(c-②)-600]/2

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	基礎寸法							
	主柱 (本)	中間柱 (本)			b-①a (mm)	c-①a (mm)	b-①b (mm)	c-①b (mm)	b-② (mm)	c-② (mm)	b-③ (mm)	c-③ (mm)
34-60型	4	8	553	30kN/m <sup>2</sup>	750	1,100	750	1,100	750	1,150	750	1,400
				50kN/m <sup>2</sup>	650	1,100	650	1,000	650	1,400		
	100kN/m <sup>2</sup>	650	1,100	650	1,000	500	500	1,400				

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-84、図2-85、図2-86参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

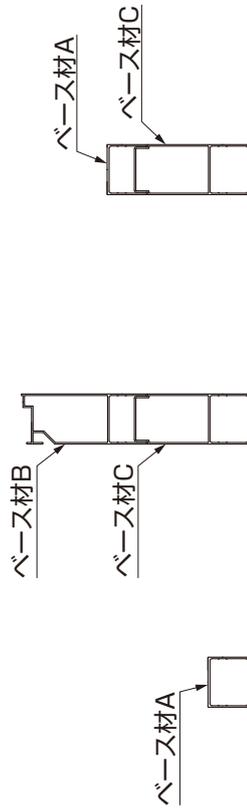


図2-84  
ベース材  
(シャッター)

図2-85  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-86  
ベース材  
(折戸)

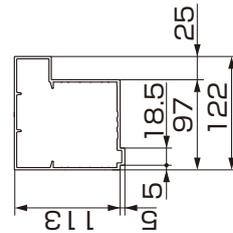


図2-87  
主柱拡大図

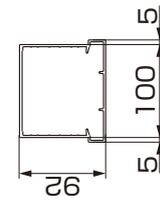


図2-88  
袖・中間柱拡大図

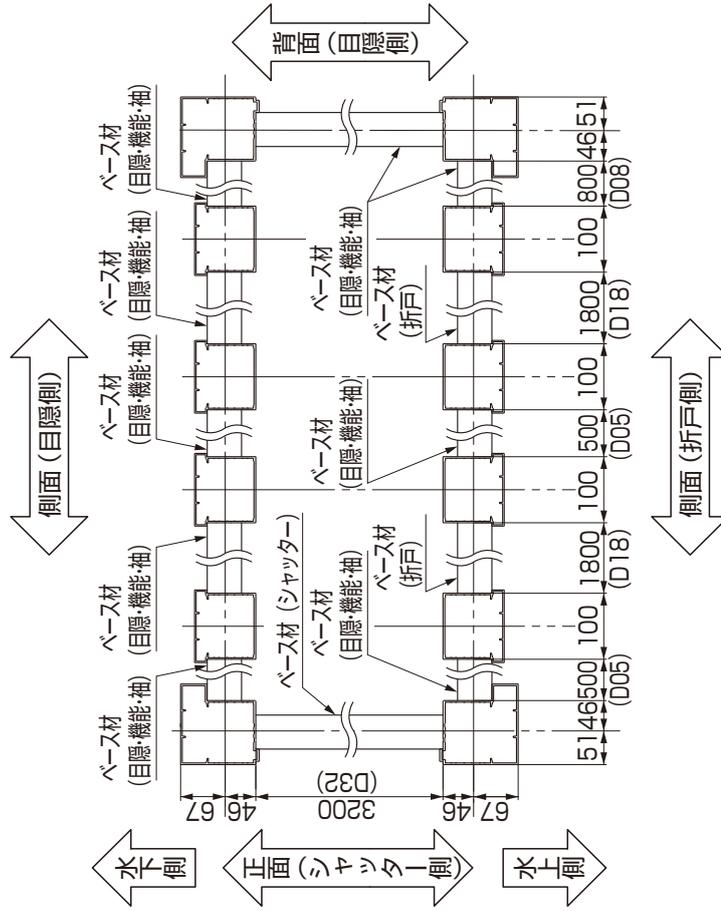


図2-89 ベース材の配置

## 2. (つづき)

### 2-11 3000タイプ(Sタイプ) 標準38-60

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- 正面(シャッター側)に、袖・中間柱(※1)が取付きます。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

#### 注意

- 多雪地域の基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。

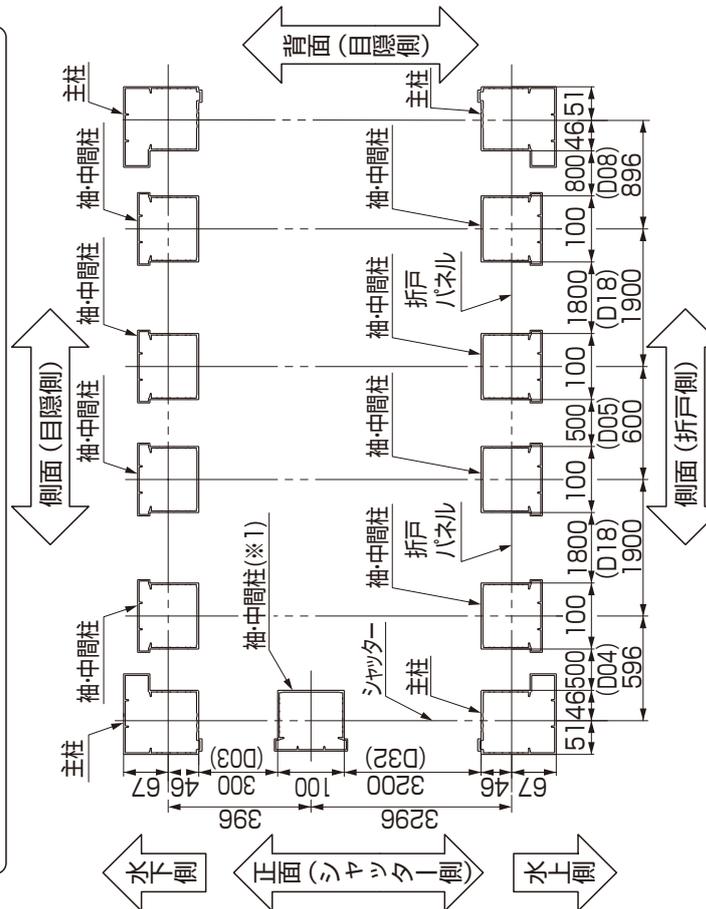


図2-90 柱の位置出し

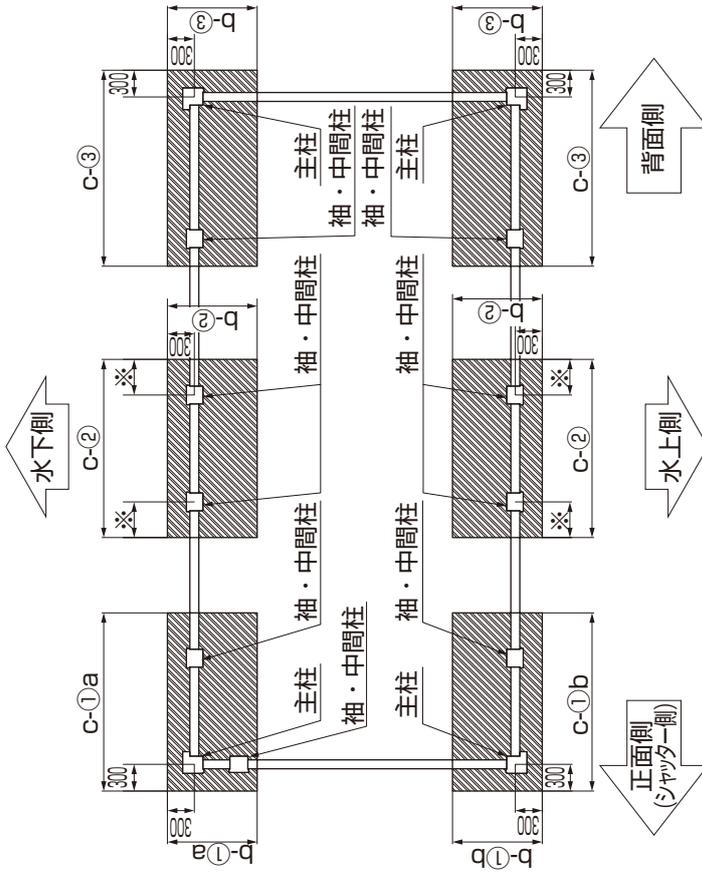


図2-91 基礎寸法 ※=[(c-2)-600]/2

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	基礎寸法							
	主柱 (本)	中間柱 (本)			b-1a (mm)	c-1a (mm)	b-1b (mm)	c-1b (mm)	b-2 (mm)	c-2 (mm)	b-3 (mm)	c-3 (mm)
38-60型	4	9	553	30kN/㎡	850	1,100	700	1,300	700	1,200	700	1,400
				50kN/㎡	800	1,100	550	1,100	550	1,000	550	1,400
				100kN/㎡	800	1,100	500	1,100	500	1,000	500	1,400

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-85、図2-86、図2-87参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

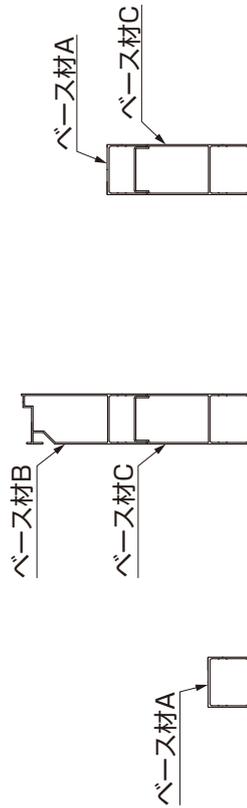


図2-92  
ベース材  
(シャッター)

図2-93  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-94  
ベース材  
(折戸)

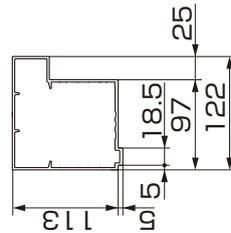


図2-95  
主柱拡大図

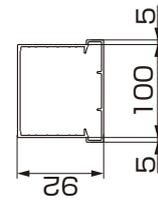


図2-96  
袖・中間柱拡大図

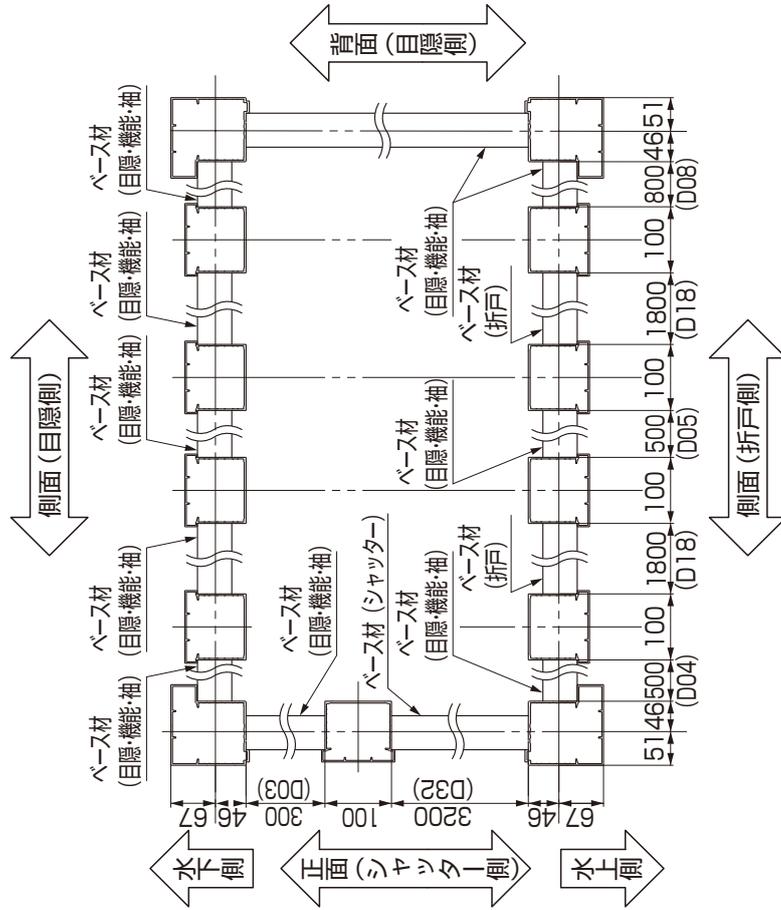


図2-97 ベース材の配置

## 2. (つづき)

### 2-12 3000タイプ 縦延長32-74

#### (1) 柱位置と基礎寸法

①主柱、袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。
- G.L.仕上げ寸法は、「3.基礎の施工」を参考にしてください。

#### 注意

- 多雪区域の基礎の深さは、基礎底面が凍結深度以下になるように設定してください。

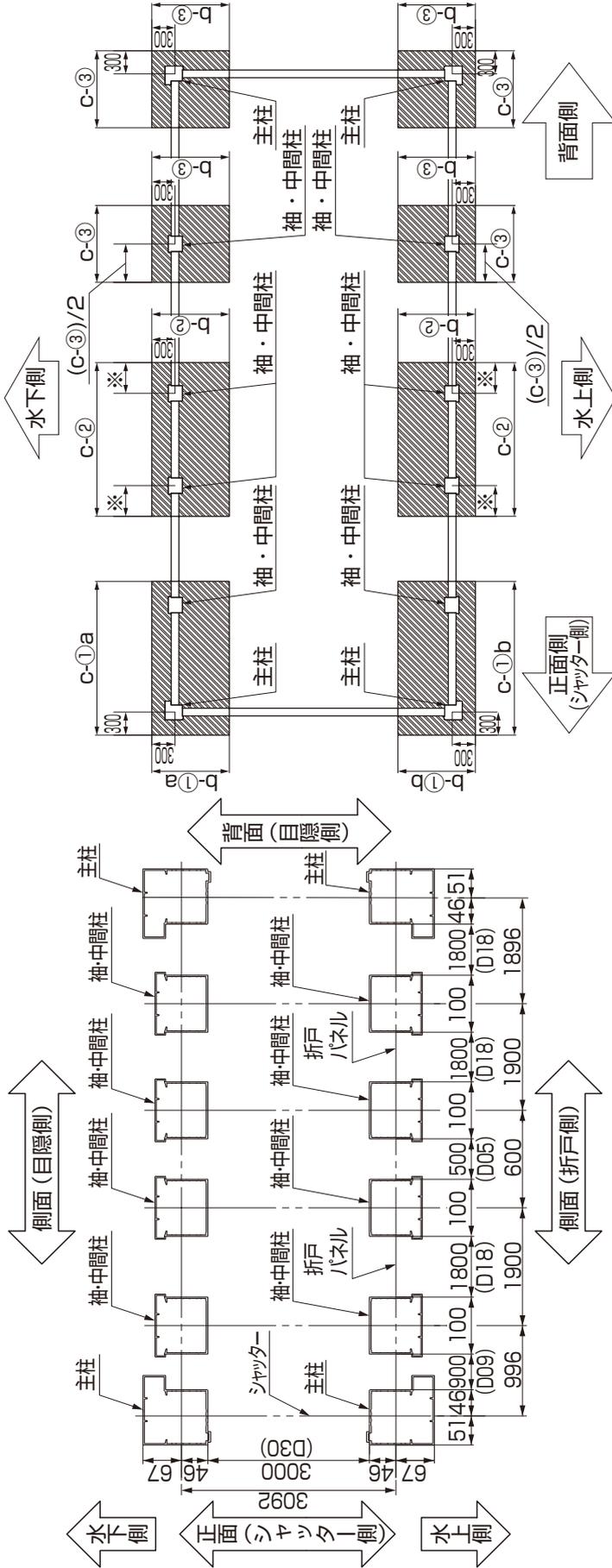


図2-99 基礎寸法 ※ $=[(c-2)-600]/2$

図2-98 柱の位置出し

サイズ	柱本数		基礎深さ (mm)	地耐力	基礎寸法 (mm)							
	主柱 (本)	中間柱 (本)			b-①a	c-①a	b-①b	c-①b	b-②	c-②	b-③	c-③
32-74型	4	8	553	30kN/㎡	750	1,500	750	1,500	750	1,200	750	750
				50kN/㎡	650	1,500	650	1,500	650	1,000	650	600
	100kN/㎡	500	1,500	500	1,500	500	1,000	500	500	500		

## (2) ベース材の配置

①ベース材の配置を確認してください。



ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-100、図2-101、図2-102参照)
- ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

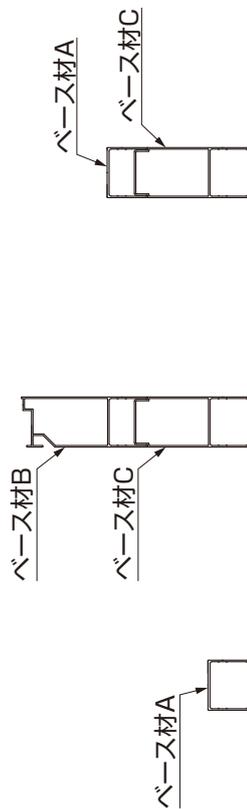


図2-100  
ベース材  
(シャッター)

図2-101  
ベース材  
(目隠・機能・袖)

図2-102  
ベース材  
(折戸)

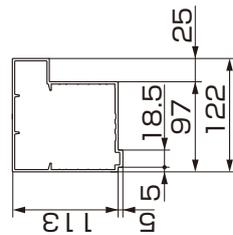


図2-103  
主柱拡大図

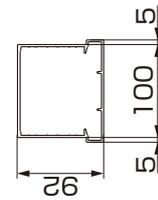


図2-104  
袖・中間柱拡大図

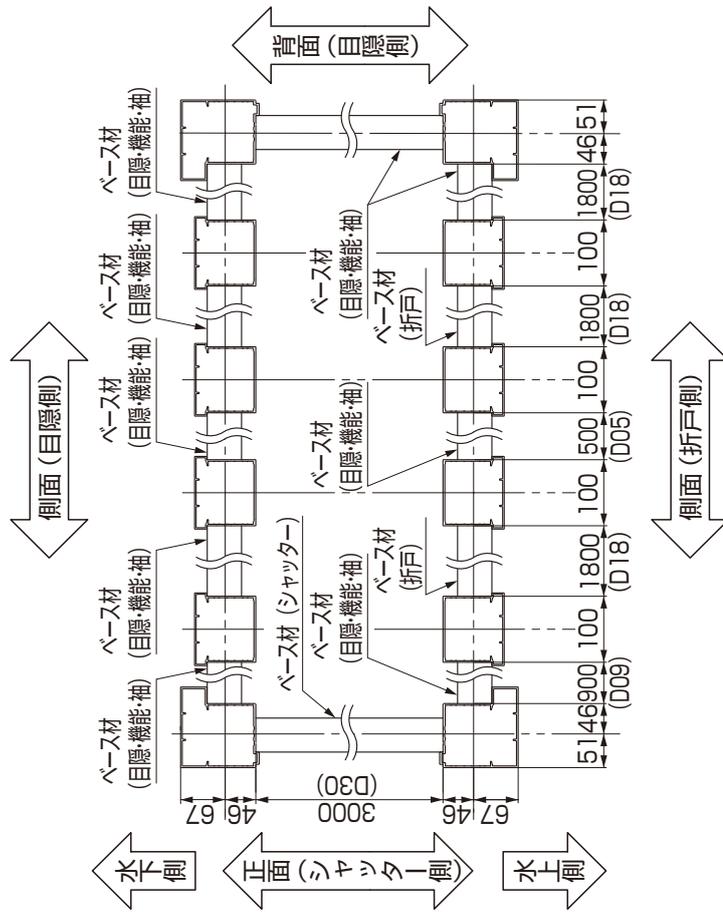
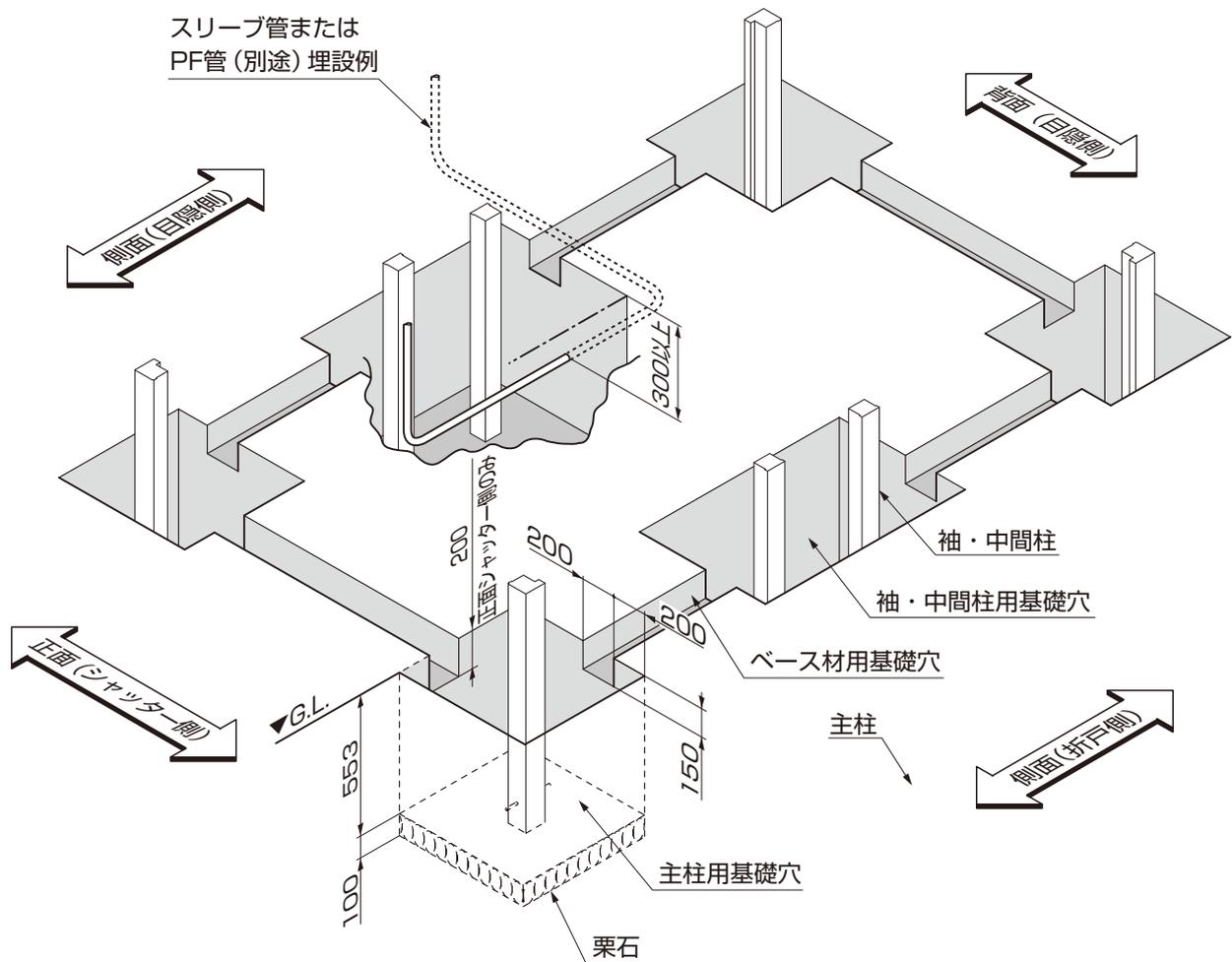


図2-105 ベース材の配置

### 3. 基礎の施工

#### 3-1 基礎の施工 ※この図は、1500タイプ 標準28-54、32-60を示します。



①基礎穴を掘り、栗石を敷いて、よく転圧して締め固めてください。

#### ポイント

- 地中埋設配線や配管が必要な場合は、スリーブ管またはPF管を家側から袖・中間柱用の基礎穴まで配管してください。
- スリーブ管またはPF管は、必要な長さを別途手配してください。
- 埋設管はG.L.面より300mm以上の範囲で配管してください。
- 柱の基礎寸法が寸法通りでしたら、ベース材用基礎穴は必ずしも記載寸法通りである必要はありません。

### 3. (つづき)

#### 3-2 基礎の配線

##### ⚠ 注意

●AC100Vの施工に関しては、電気工事有資格者に依頼してください。

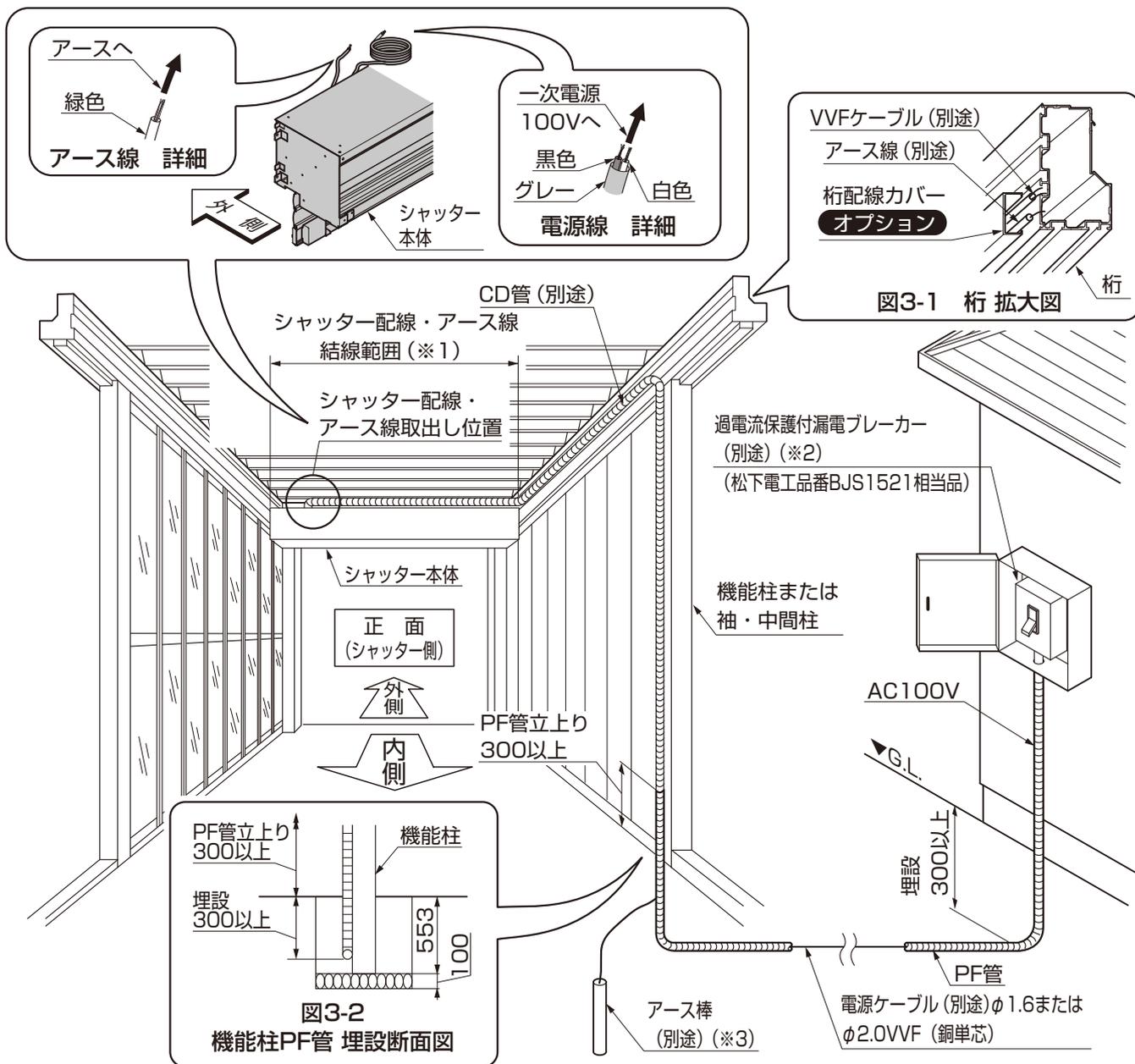


図3-1 桁 拡大図

図3-2 機能柱PF管 埋設断面図

①シャッターの配線ができるように100V電源を本体内に引き込んでください。(※1)

##### 🔑 ポイント

- 施工には、過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管、電線ケーブル、アース線（アース棒）が必要になりますので、別途用意してください。
- 電源用電線ケーブルは、必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。(※2)
- D種接地工事を行なってください。(※3)
- シャッターへの結線は、シャッター配線結線範囲のどの位置でも配線できます。必ずシャッターを取付ける際に行なってください。(※1)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

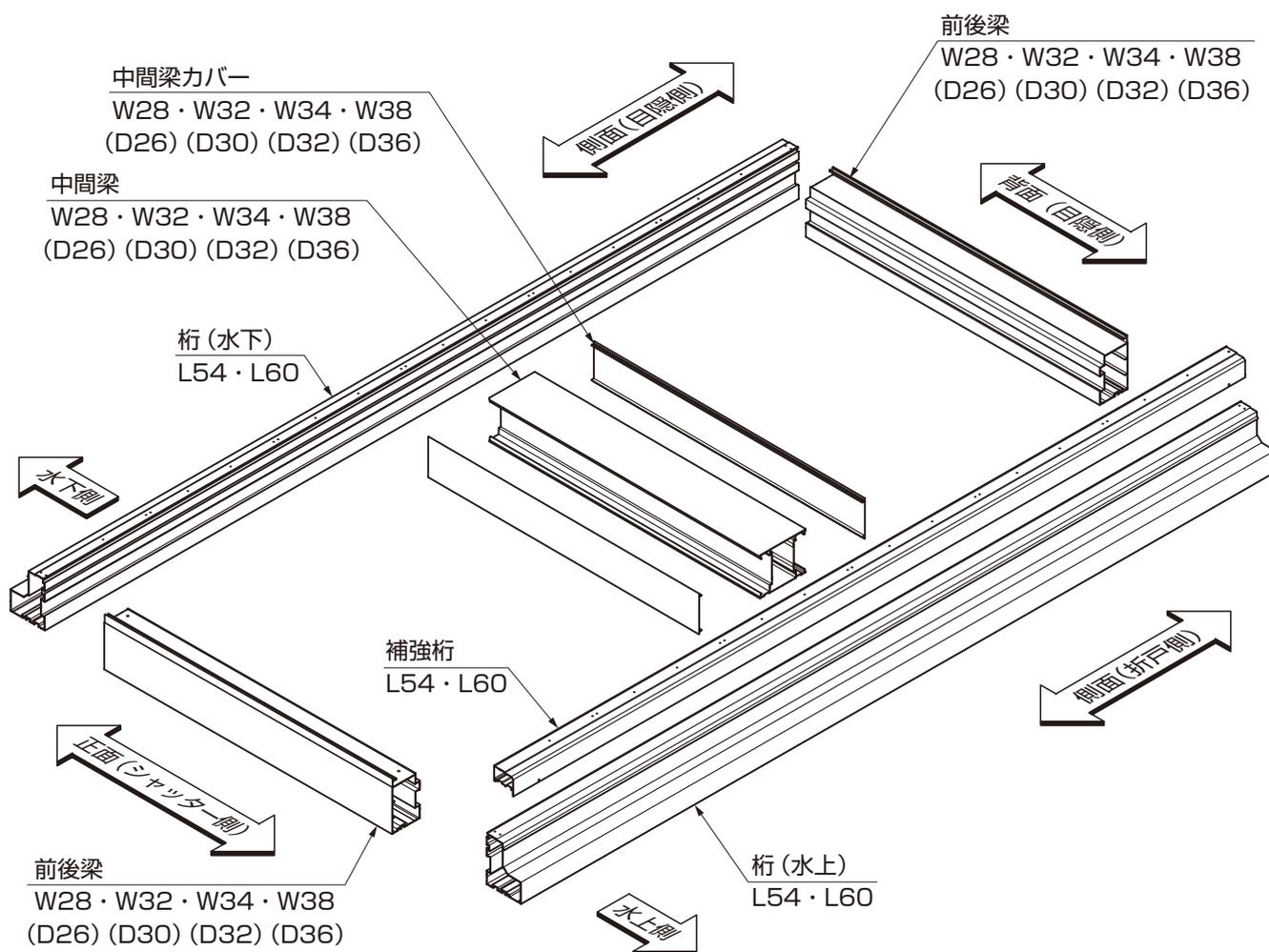
.....

.....

## 4. 桁・梁 (前後梁・中間梁) の配置確認

### 4-1 1500タイプ

#### (1) 標準の場合



① 桁・梁の配置を確認してください。

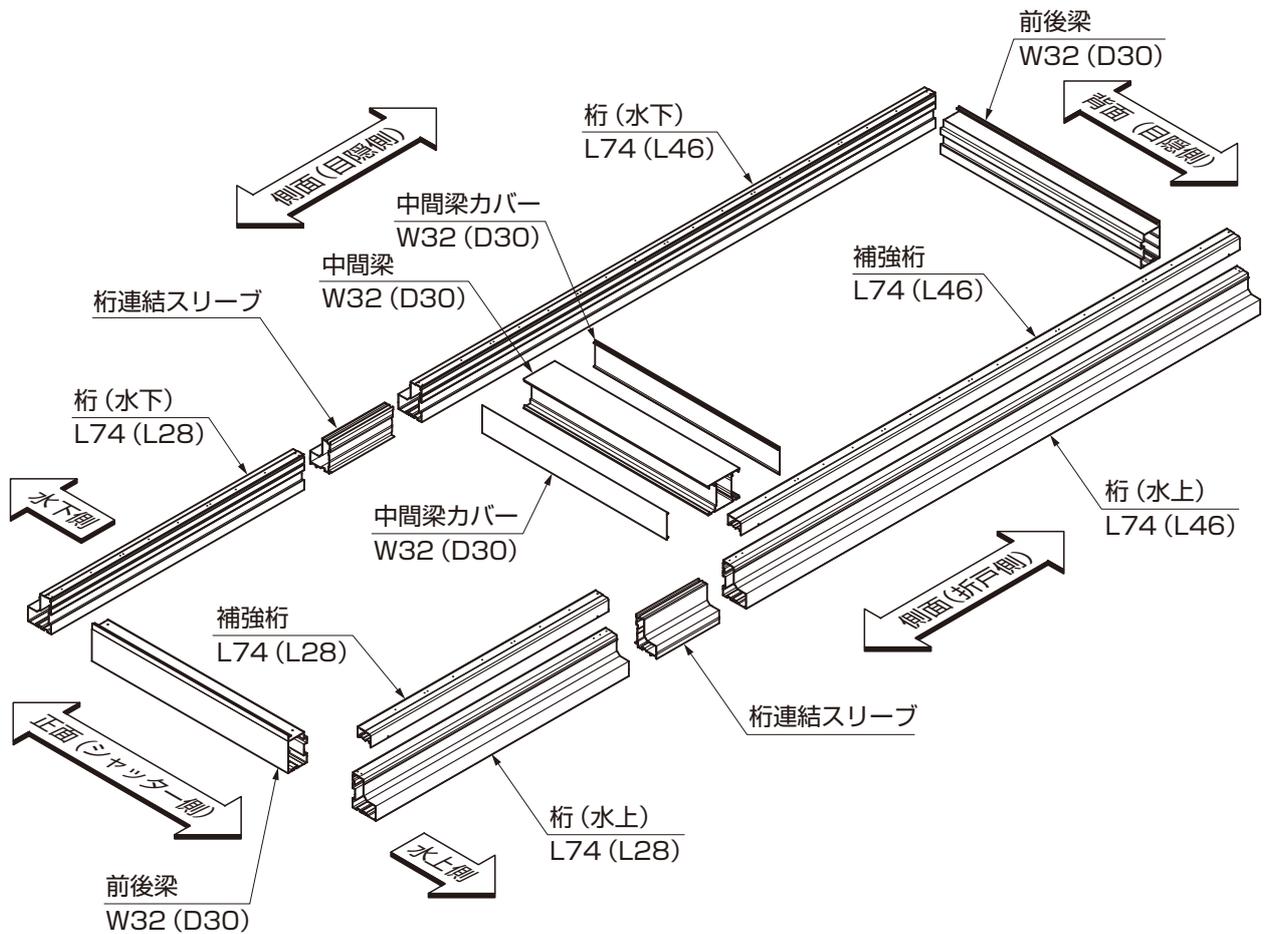
#### ポイント

- 補強桁は、桁(水上)のみの取付けとなります。
- 桁(水上)には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。

## 4. (つづき)

### 4-1 1500タイプ (つづき)

#### (2) 縦延長の場合



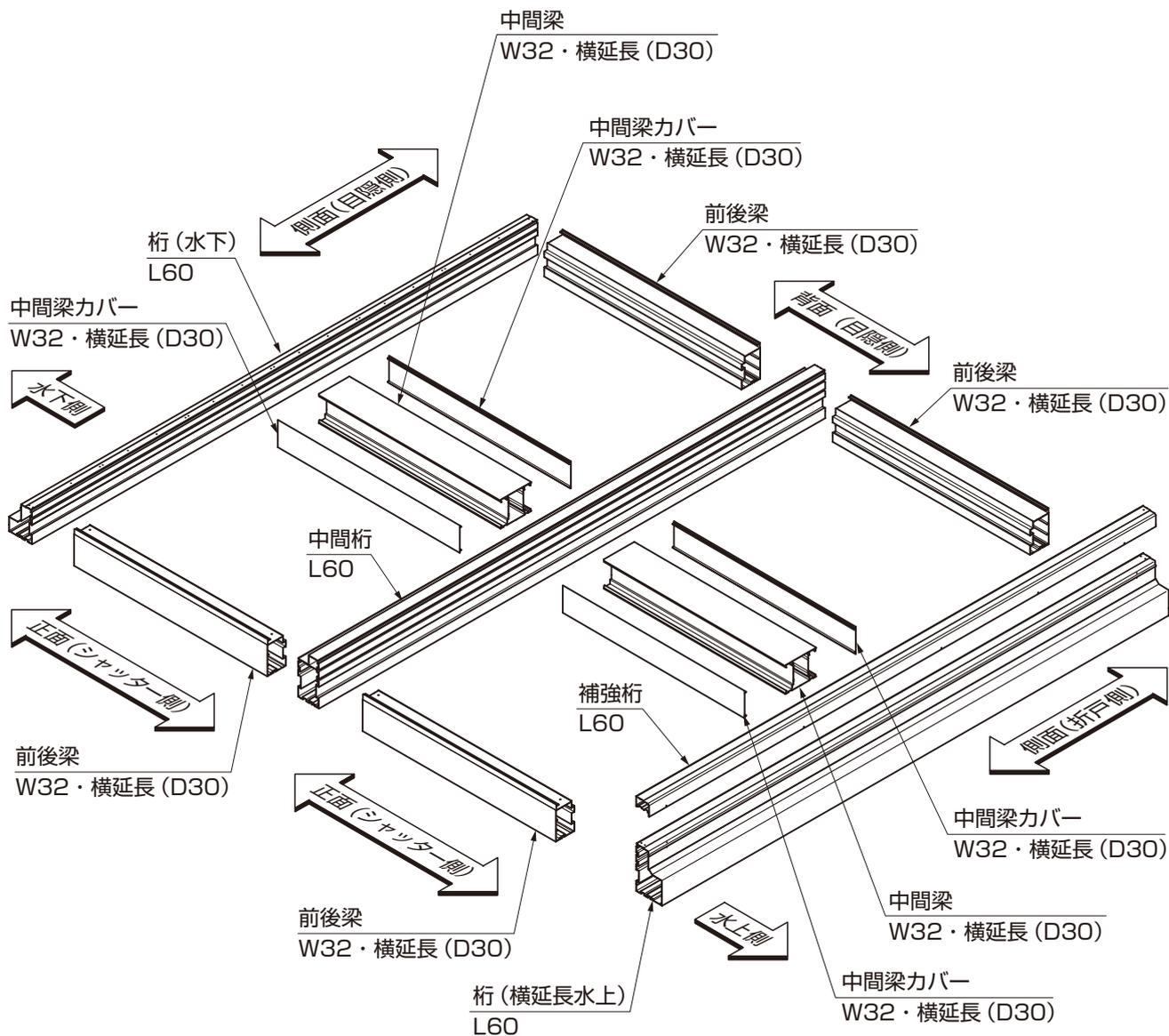
① 桁・梁の配置を確認してください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁 (水上) のみの取付けとなります。
- 桁 (水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。

## 4-1 1500タイプ(つづき)

### (3) 横延長の場合



①桁・梁の配置を確認してください。

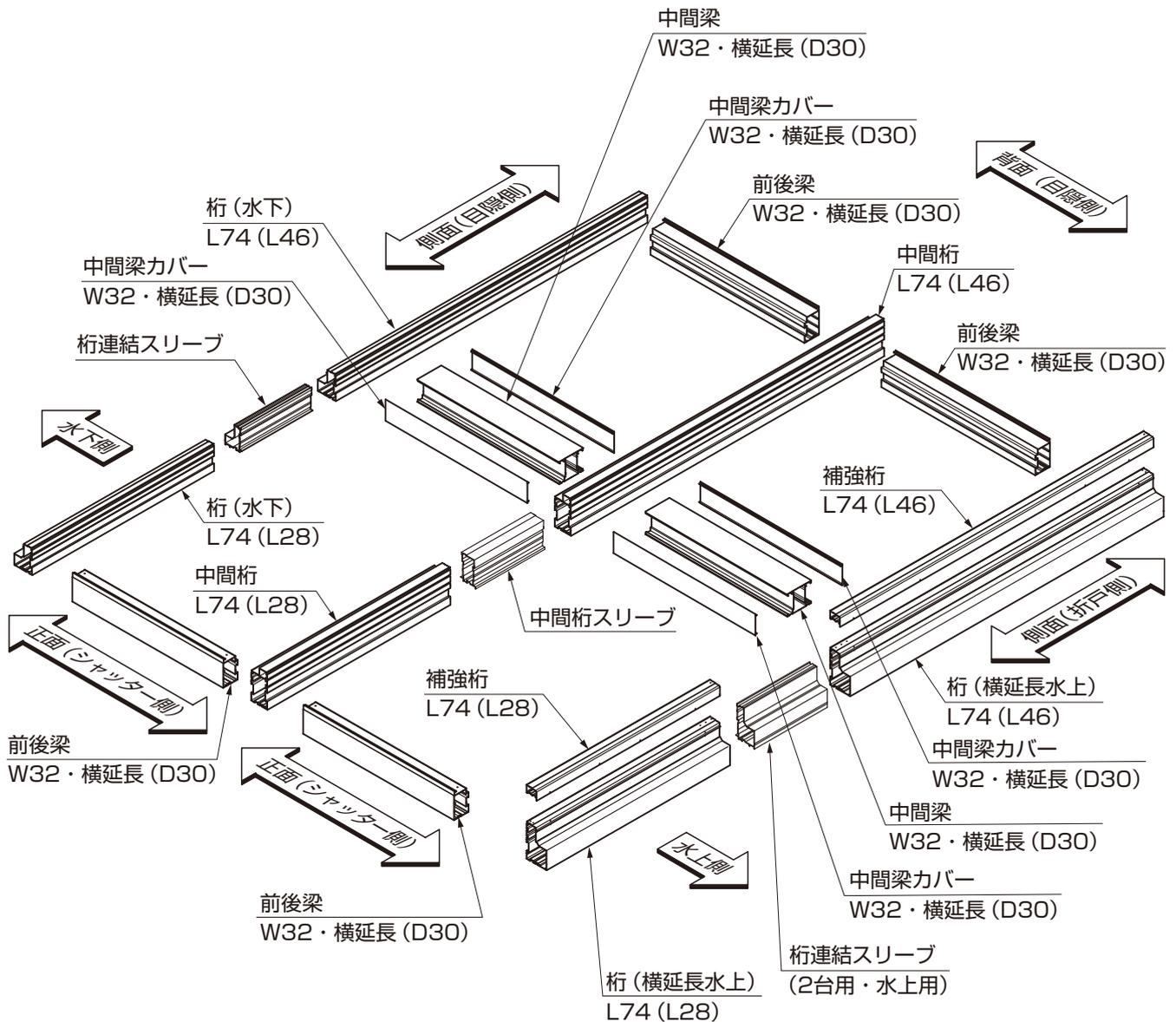
#### ポイント

- 補強桁は、桁(横延長水上)のみの取付けとなります。
- 桁(横延長水上)には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。
- 中間桁は、上面の突出側が水上側となります。

## 4. (つづき)

### 4-1 1500タイプ (つづき)

#### (4) 縦横延長の場合



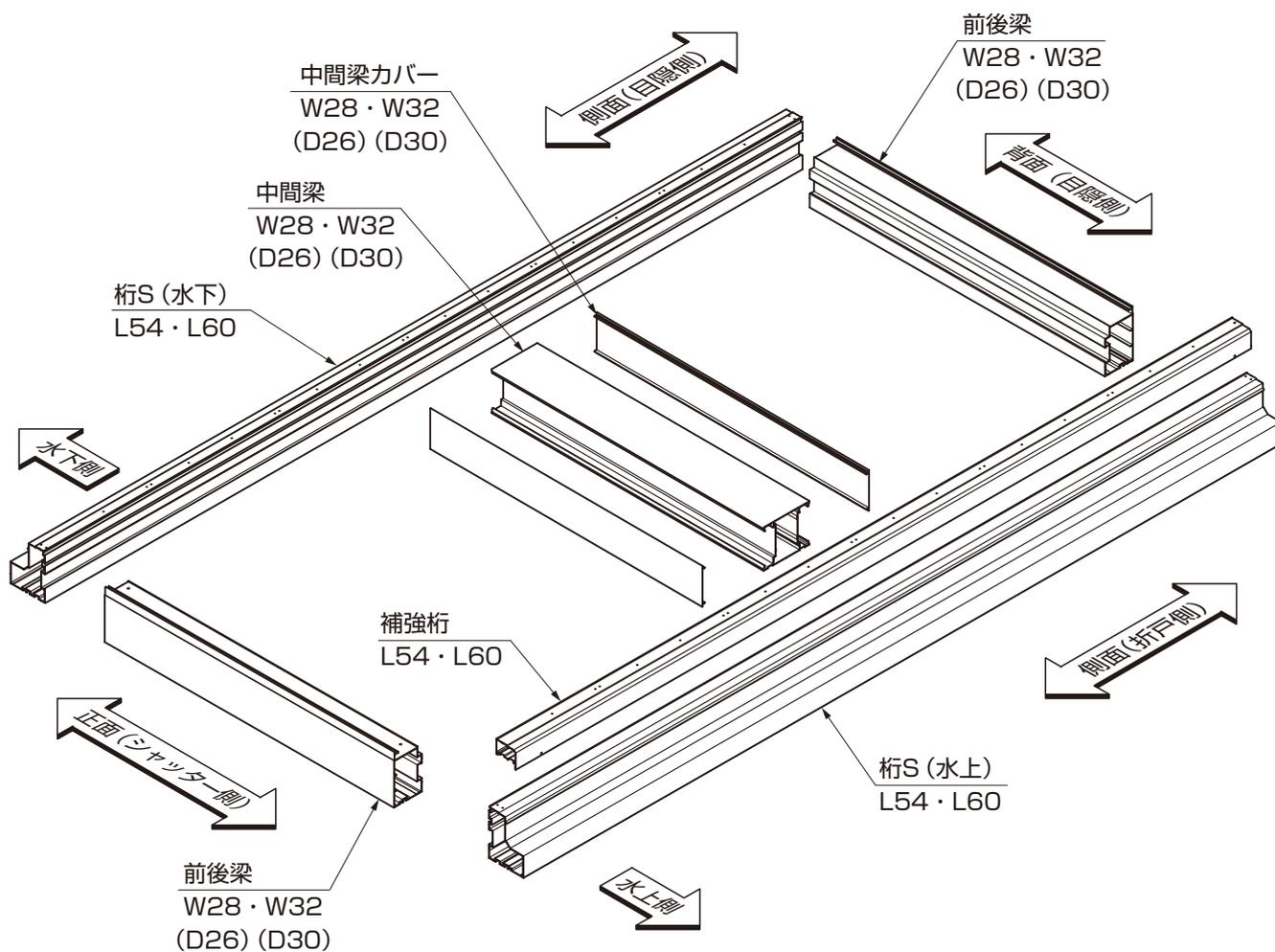
① 桁・梁の配置を確認してください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁 (横延長水上) のみの取付けとなります。
- 桁 (横延長水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。
- 中間桁は、上面の突出側が水上側となります。

## 4-2 3000タイプ (Sタイプ)

### (1) 標準28-54・32-60の場合



① 桁・梁の配置を確認してください。

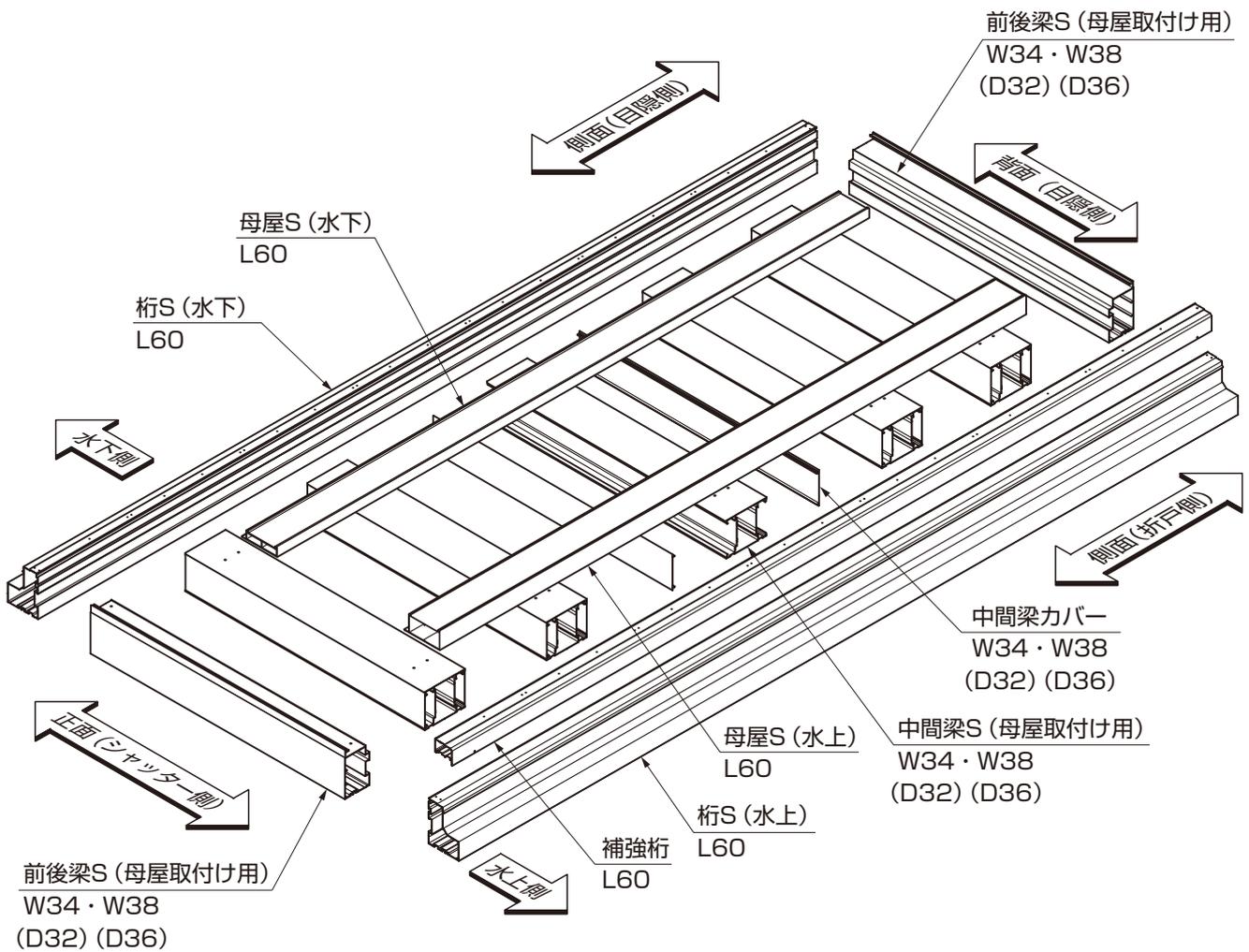
#### ポイント

- 補強桁は、桁S (水上) のみの取付けとなります。
- 桁S (水上) には、補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。

## 4. (つづき)

### 4-2 3000タイプ (Sタイプ) (つづき)

#### (2) 標準34-60・38-60の場合



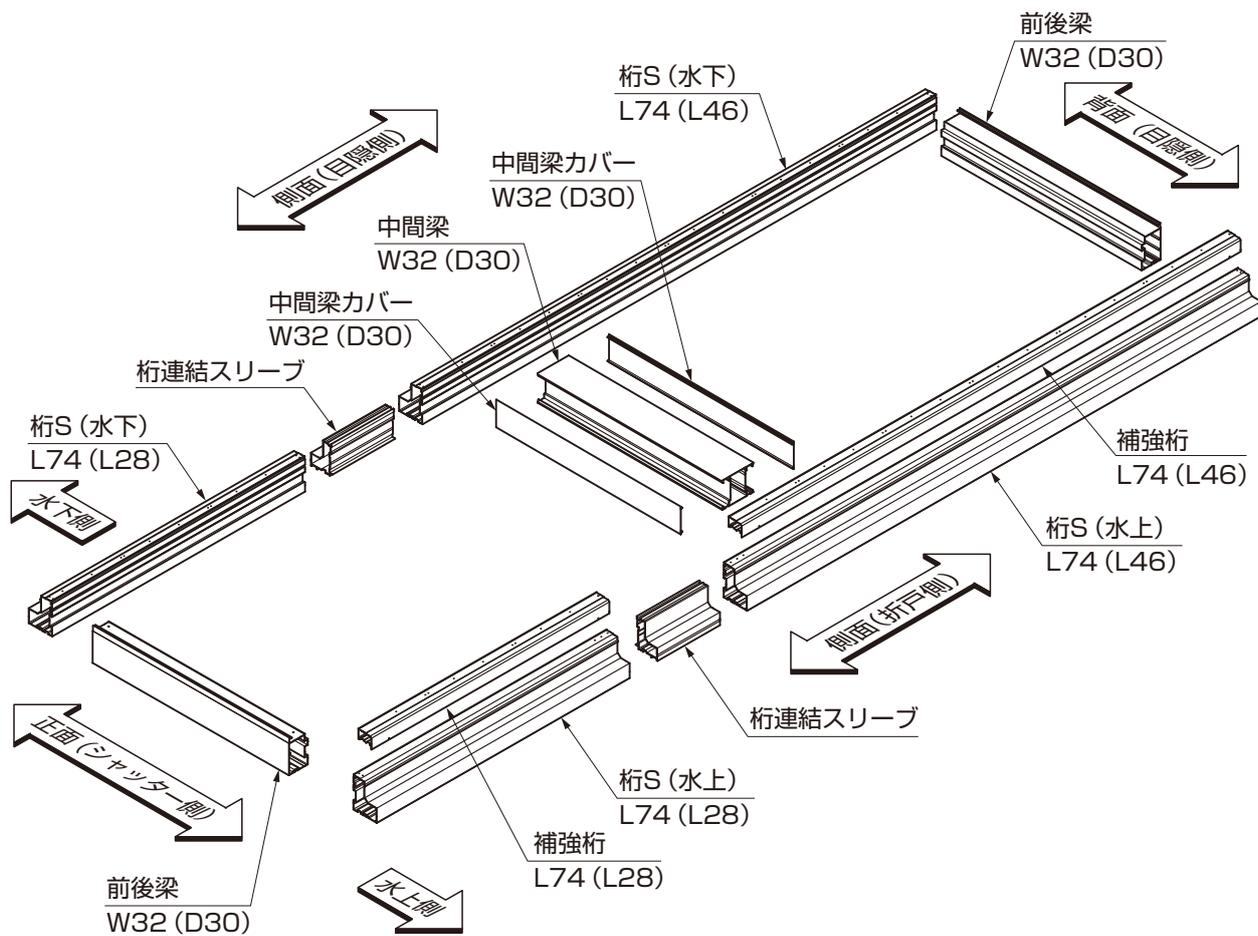
① 桁・梁の配置を確認してください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁S (水上) のみの取付けとなります。
- 桁S (水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。

## 4-2 3000タイプ (Sタイプ) (つづき)

## (3) 縦延長の場合



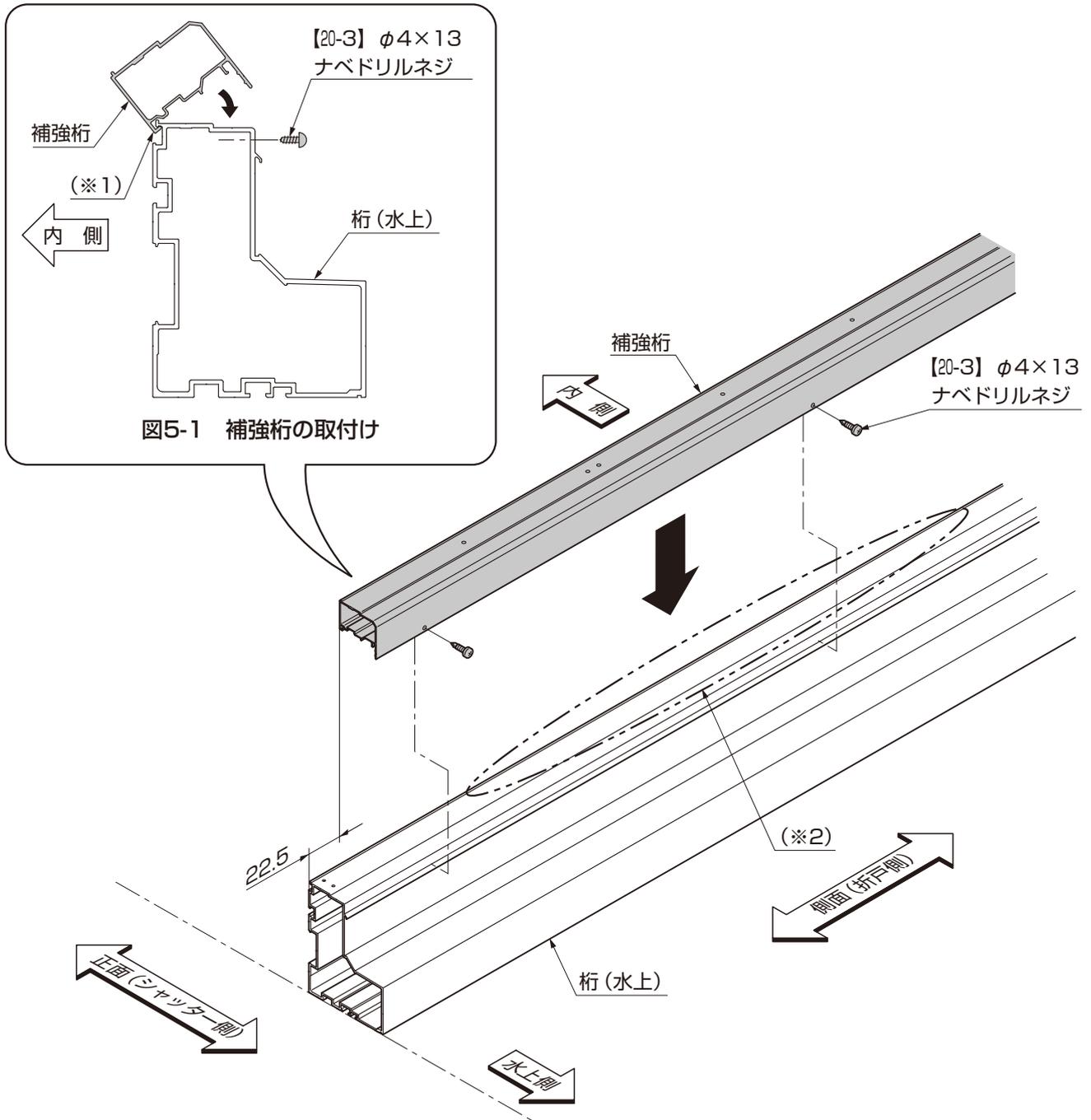
① 桁・梁の配置を確認してください。

**ポイント**

- 補強桁は、桁S (水上) のみの取付けとなります。
- 桁S (水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。

## 5. 補強桁の取付けと桁の連結

### 5-1 補強桁の取付け（標準の場合）

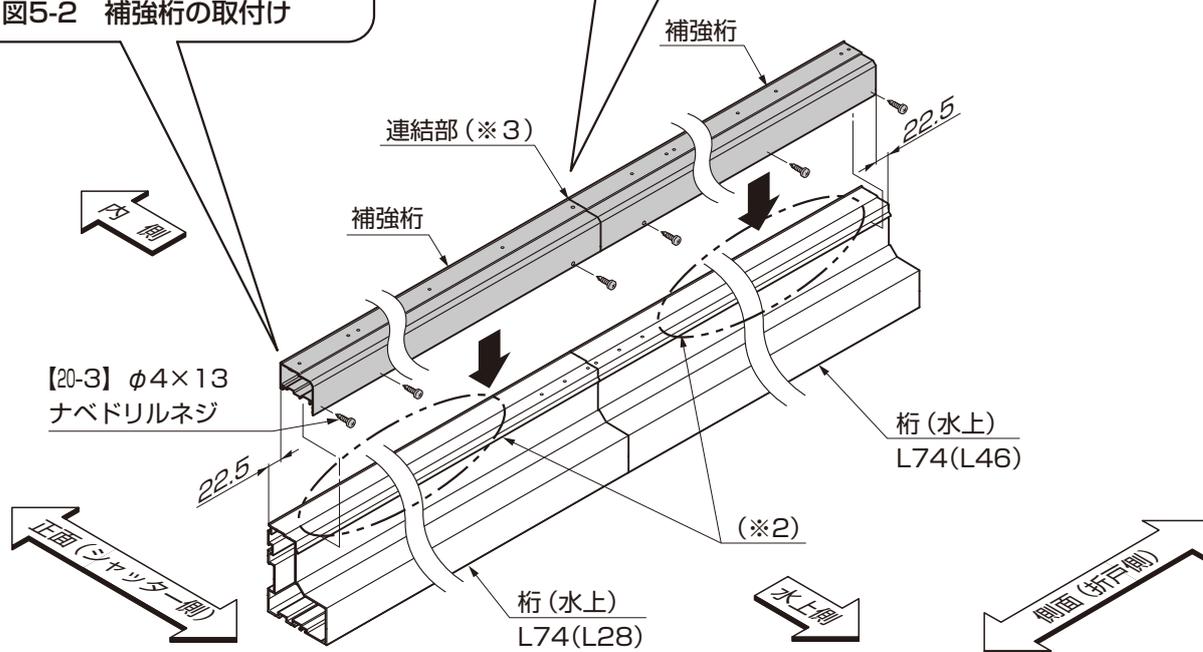
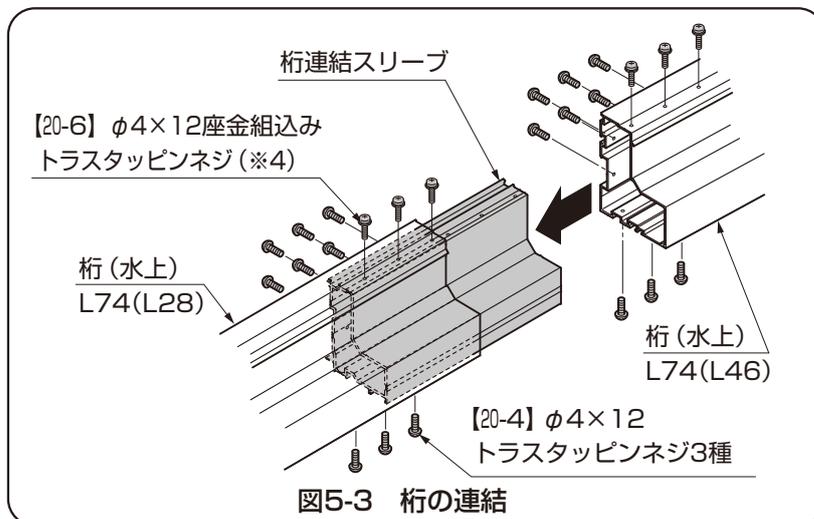
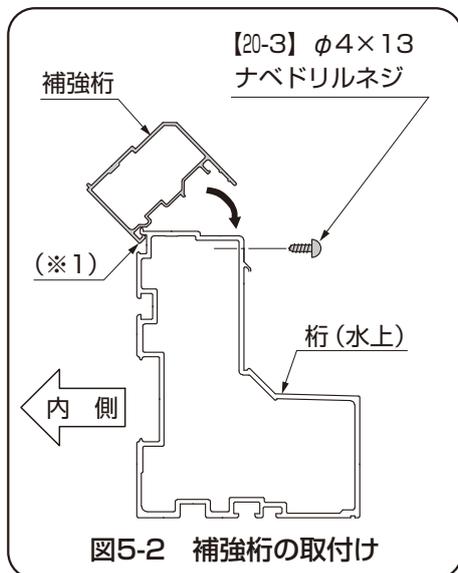


① 桁 (水上) に補強桁を 【20-3】 で取付けてください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁 (水上) のみの取付けです。
- 内側を引っ掛けて(※1)、矢印方向に倒すように取付けてください。(図5-1参照)
- 桁 (水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。(※2)

## 5-2 桁の連結と補強桁の取付け（縦延長の場合）



- ① 桁を桁連結スリーブと【20-4】、【20-6】で連結してください。
- ② 桁(水下)も同様に連結してください。

## ポイント

- 桁を連結する際の組付けネジは、上面のみ【20-6】で組付けてください。(※4)

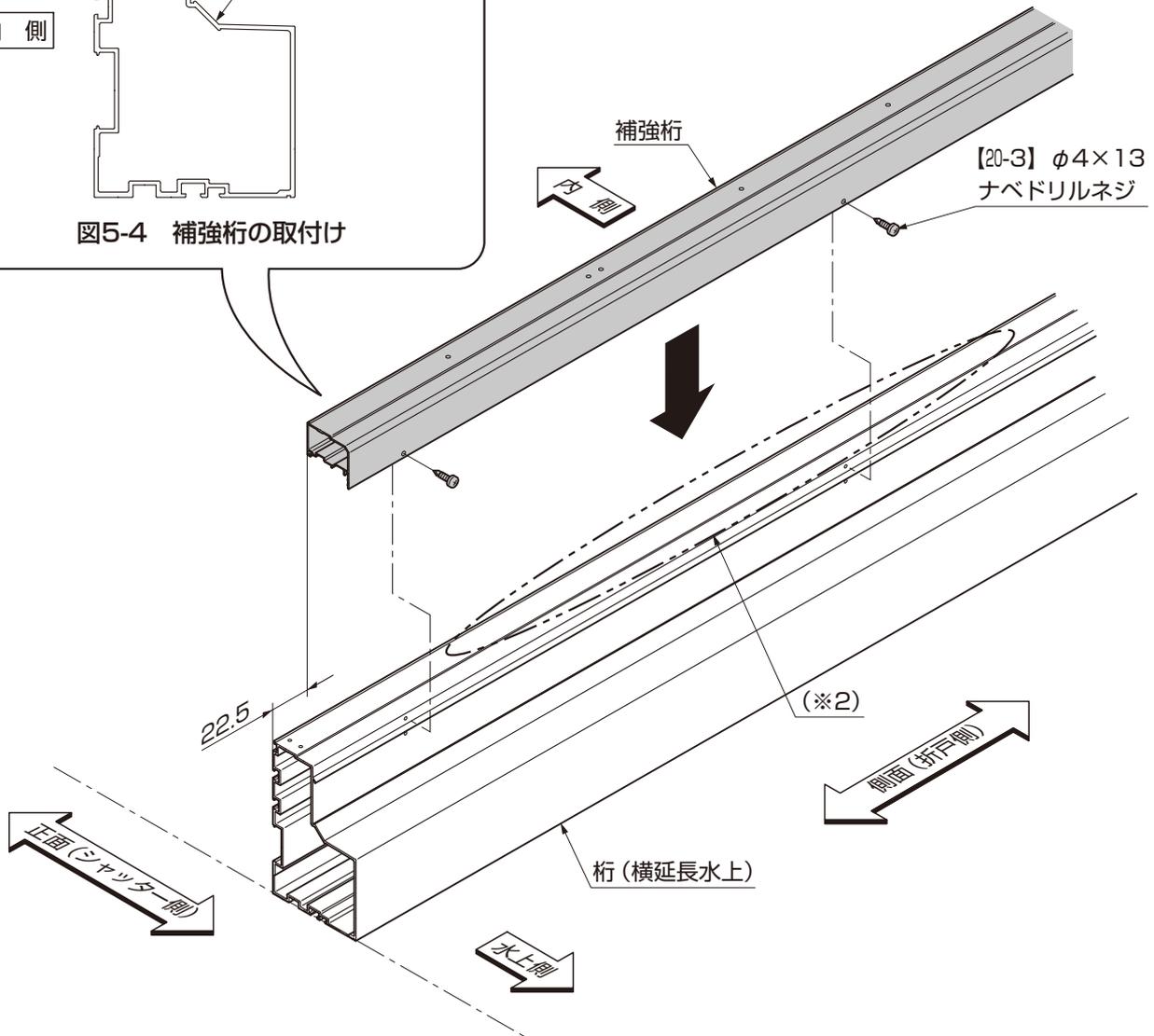
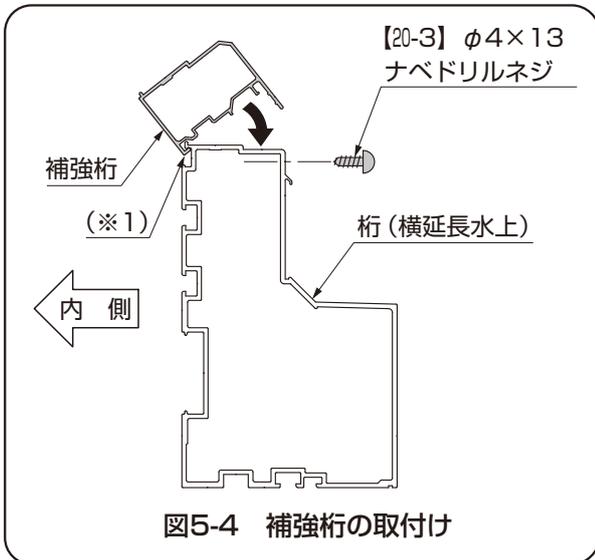
- ③ 桁(水上)に補強桁を【20-3】で取付けてください。

## ポイント

- 補強桁は、桁(水上)のみの取付けです。
- 内側を引っ掛けて(※1)、矢印方向に倒すように取付けてください。(図5-2参照)
- 補強桁の連結部は、すき間のないように確実に突き当ててください。(※3)
- 桁(水上)には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。(※2)

## 5. (つづき)

### 5-3 補強桁の取付け (横延長の場合)



① 桁 (横延長水上) に補強桁を【20-3】で取付けてください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁 (横延長水上) のみの取付けです。
- 内側を引っ掛けて (※1)、矢印方向に倒すように取付けてください。(図5-4参照)
- 桁 (横延長水上) には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。(※2)

## 5-4 桁の連結と補強桁の取付け（縦横延長の場合）

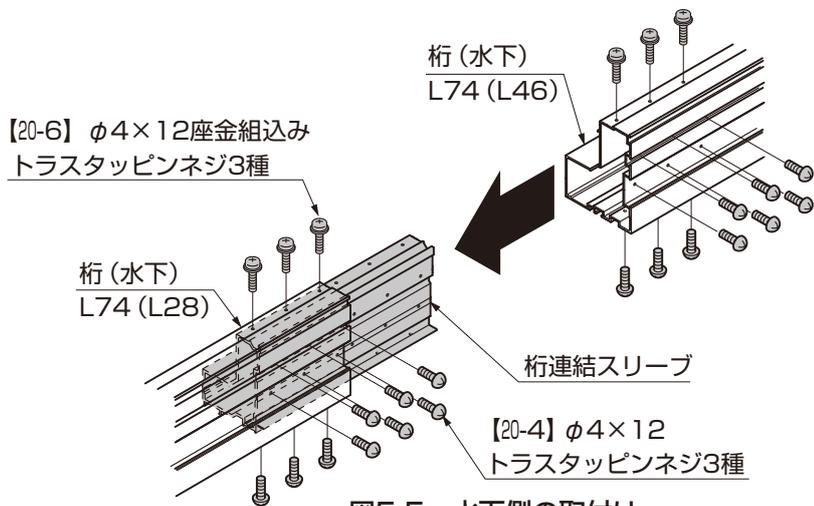


図5-5 水下側の取付け

- ① 桁(水下)を桁連結スリーブと【20-4】、【20-6】で連結してください。

### ポイント

- 桁(水下)を連結する際の組付ネジは、上面のみ【20-6】で組付けてください。

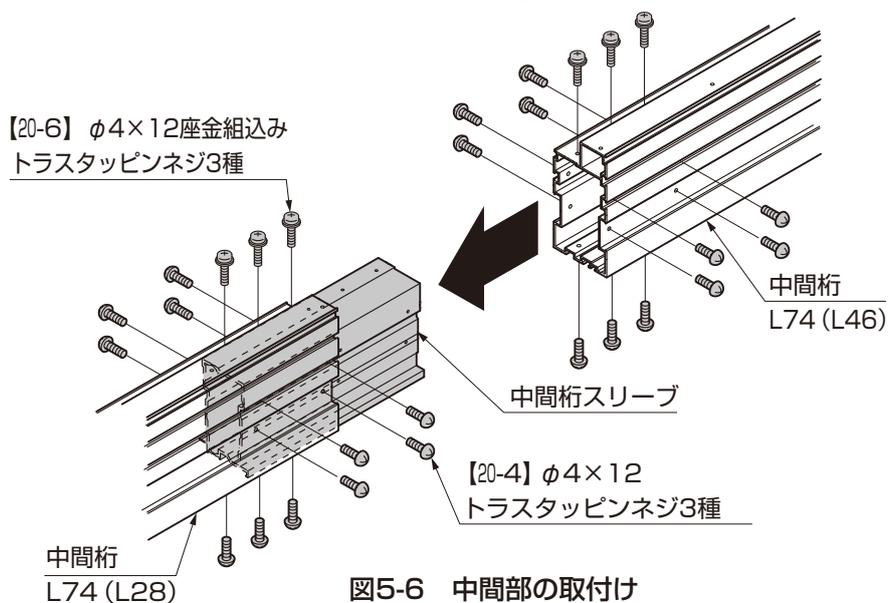


図5-6 中間部の取付け

- ② 中間桁を中間桁連結スリーブと【20-4】、【20-6】で連結してください。

### ポイント

- 中間桁を連結する際の組付ネジは、上面のみ【20-6】で組付けてください。

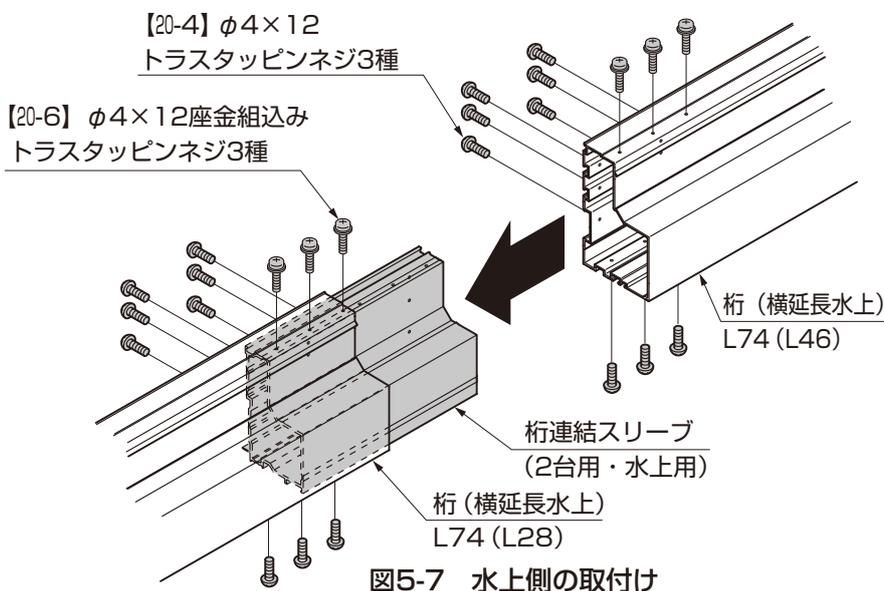


図5-7 水上側の取付け

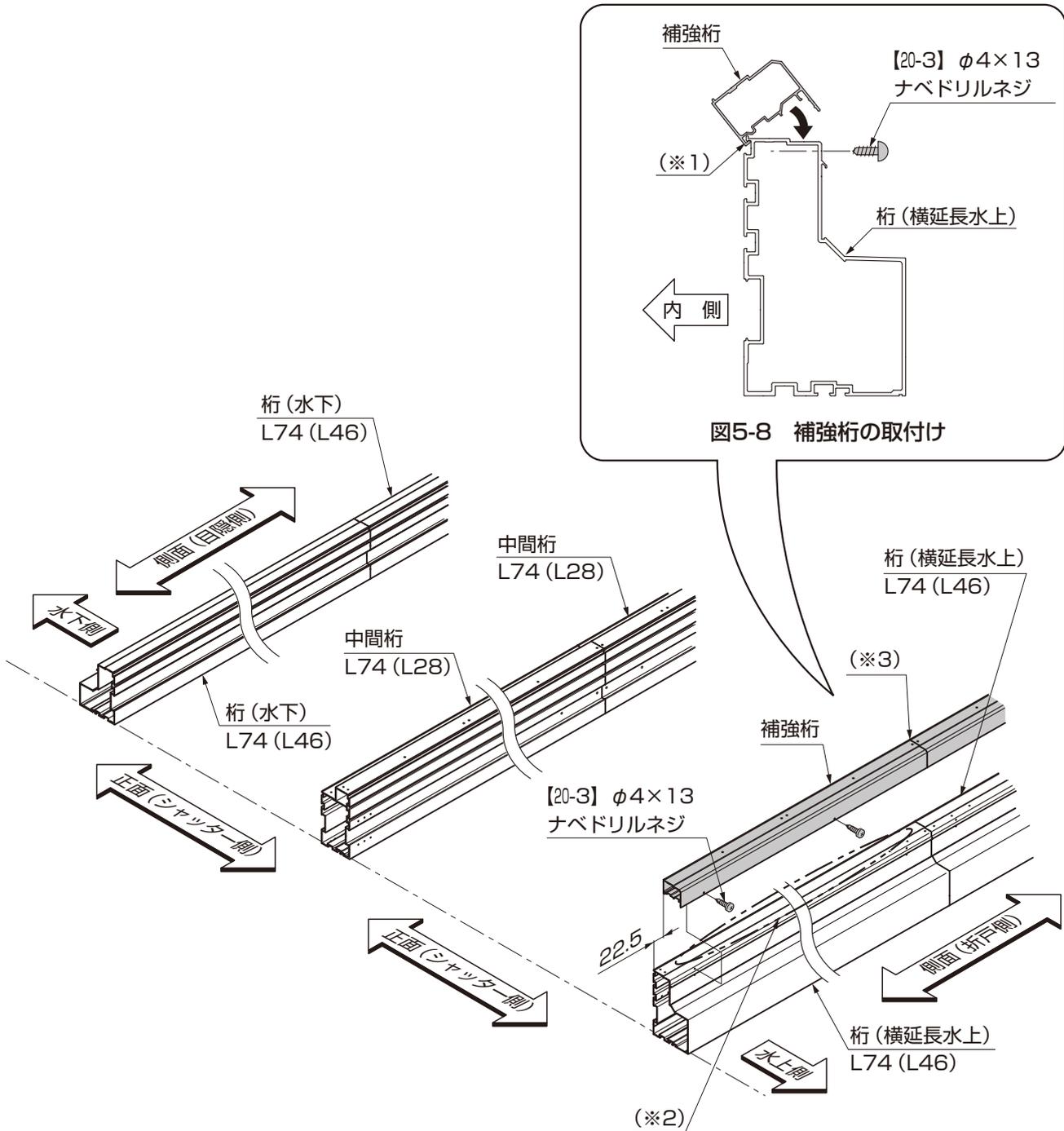
- ③ 桁(横延長水上)を桁連結スリーブ(2台用・水上用)と【20-4】、【20-6】で連結してください。

### ポイント

- 桁(横延長水上)を連結する際の組付ネジは、上面のみ【20-6】で組付けてください。

## 5. (つづき)

### 5-4 (つづき)



④桁(縦横延長水上)に補強桁を【20-3】で取付けてください。

#### ポイント

- 補強桁は、桁(横延長水上)のみの取付けです。
- 内側を引っ掛けて(※1)、矢印方向に倒すように取付けてください。(図5-8参照)
- 桁(横延長水上)には補強桁が取付くため、上面の中央部にタイトフレーム取付けの穴加工はありません。(※2)
- 補強桁の連結部は、すき間のないよう確実に突き当ててください。(※3)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 6. 桁の組立て

### 6-1 取付用金具の位置確認

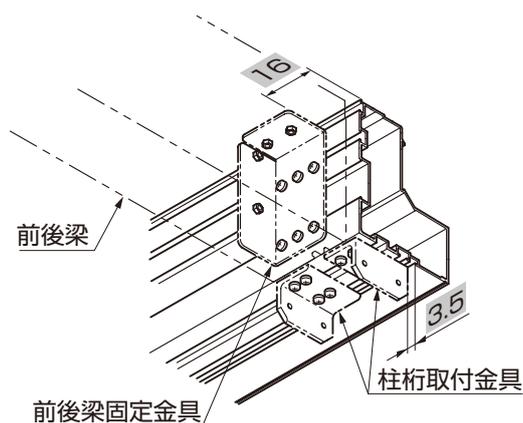
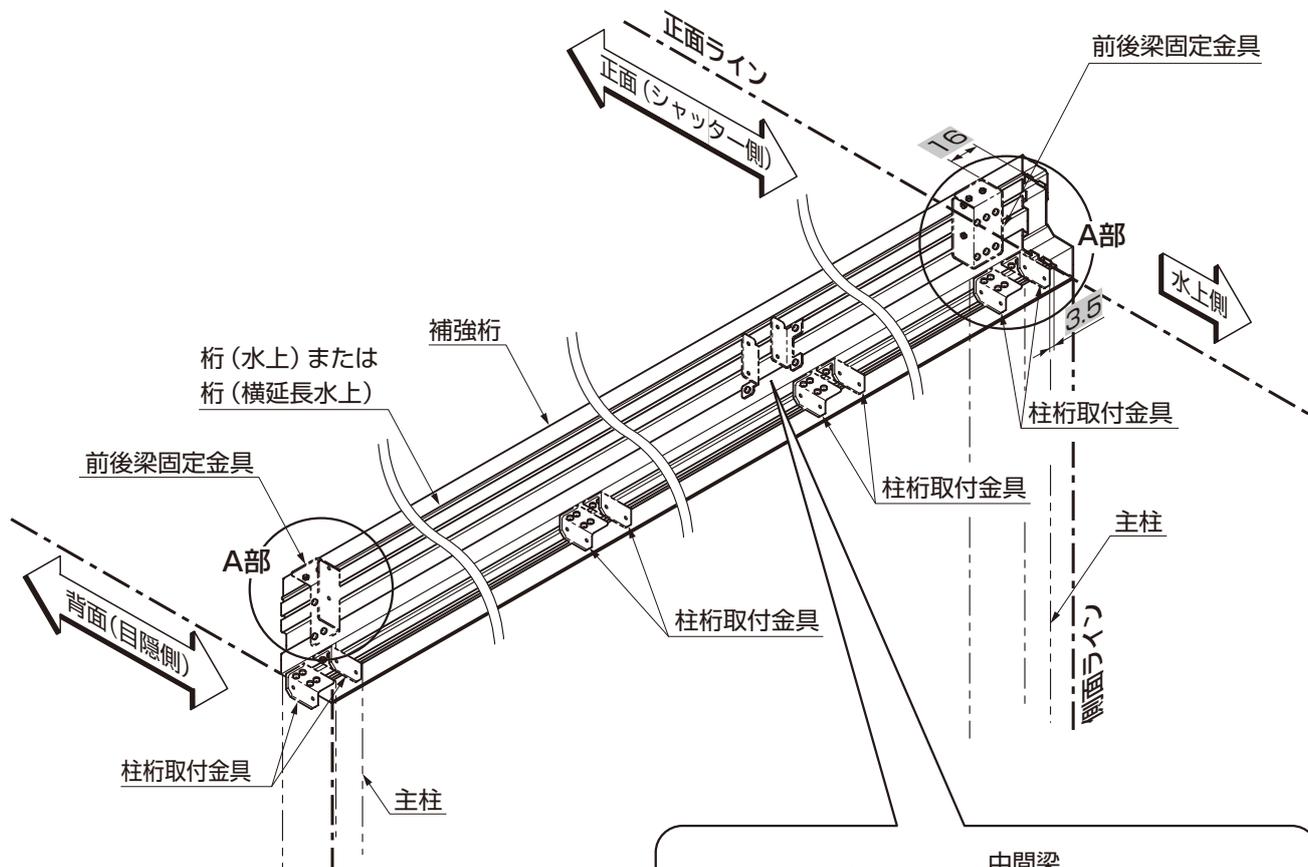


図6-1 A部詳細図  
金具の取付け位置

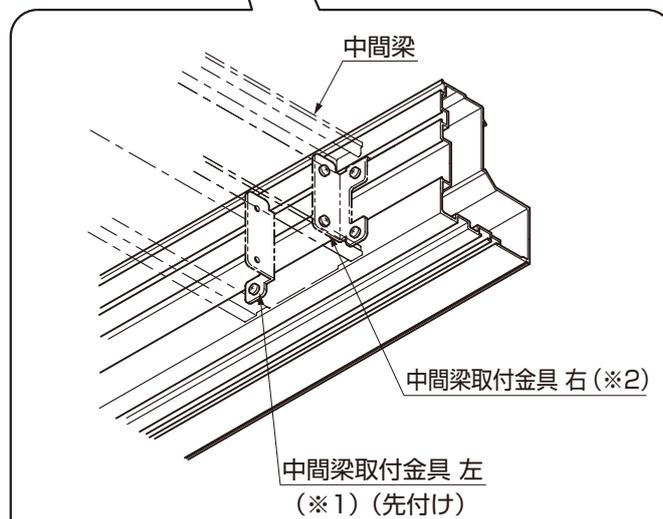


図6-2 中間梁取付金具の取付け位置

① 柱桁取付金具・前後梁固定金具・中間梁取付金具を取付ける位置を確認してください。

#### 補足

- 柱桁取付金具・前後梁固定金具・中間梁取付金具が取付く位置には、桁に穴があいています。
- 中間梁取付金具の取付けは、「12. 中間梁の取付け」を参照してください。
- 中間梁取付金具は片側のみ先に取付けて (※1)、もう片方は中間梁を引っ掛け後に取付けとなります。(※2)

## 6-2 柱桁取付金具と前後梁固定金具の取付け（標準・縦延長の場合）

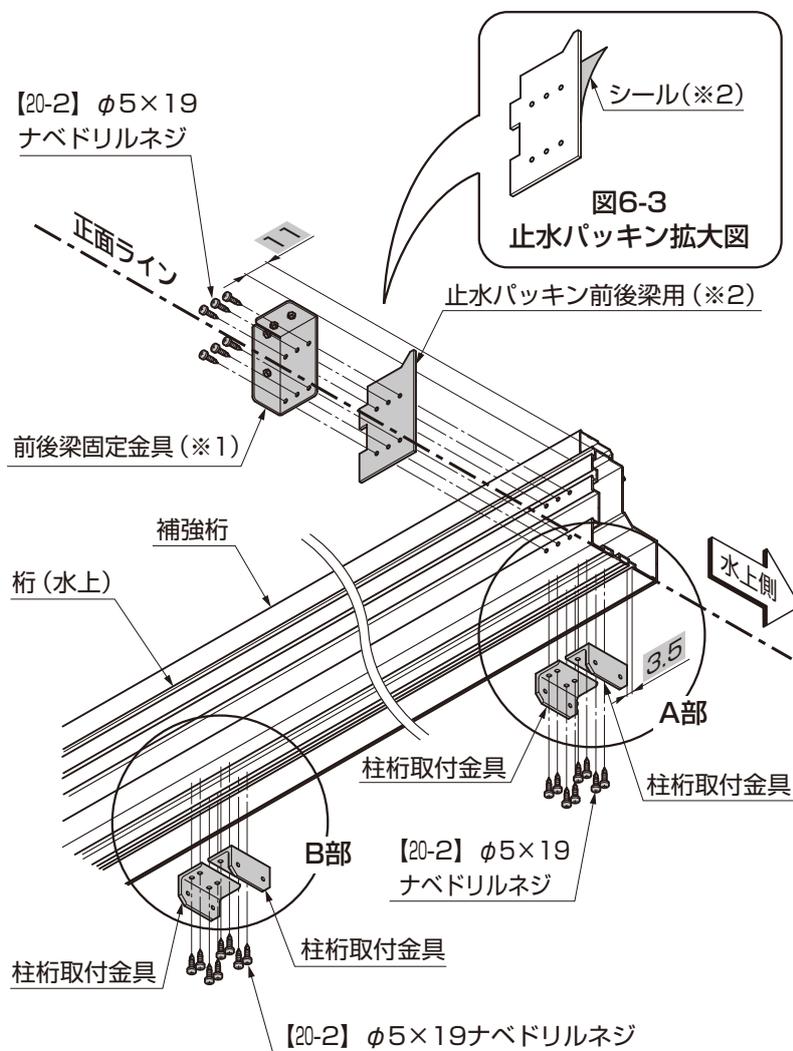


図6-3  
止水パッキン拡大図

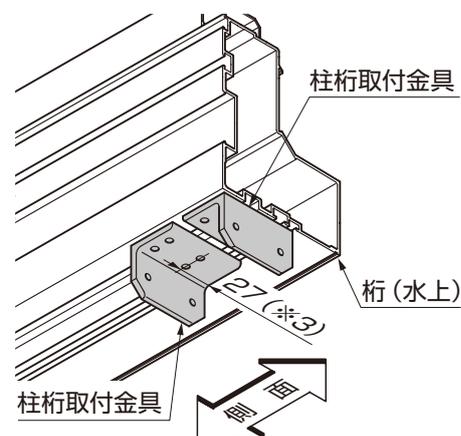


図6-4 A部詳細図 両端部の取付け

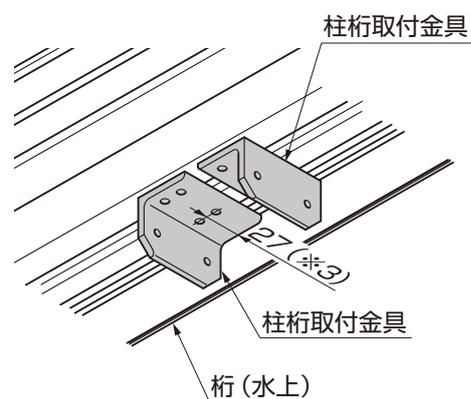


図6-5 B部詳細図 中央部の位置

- ①桁の穴と、止水パッキン前後梁用の穴を合わせ、止水パッキン前後梁用の裏面のシールをはがして(※2)、桁に貼付けてください。
- ②桁に【20-2】で前後梁固定金具を取付けてください。

### ポイント

- 前後梁固定金具には向きがあります。(※1)
- 止水パッキン前後梁用には向きがあります。止水パッキン前後梁用の三角部が桁端部にくるように取付けてください。シール面(※2)が桁側になります。

- ③桁に【20-2】で柱桁取付金具を取付けてください。
- ④桁(水下)も同様に、柱桁取付金具・前後梁固定金具を取付けてください。

### ポイント

- 1500タイプの側面(折戸側)に袖ありの場合、柱桁取付金具は側面右部品(または側面左部品)に同梱しています。
- 柱桁取付金具には向きがあります。端部からの穴位置が広い方が外側になります。(※3)

## 6. (つづき)

### 6-3 柱桁取付金具と前後梁固定金具の取付け (横延長・縦横延長の場合)

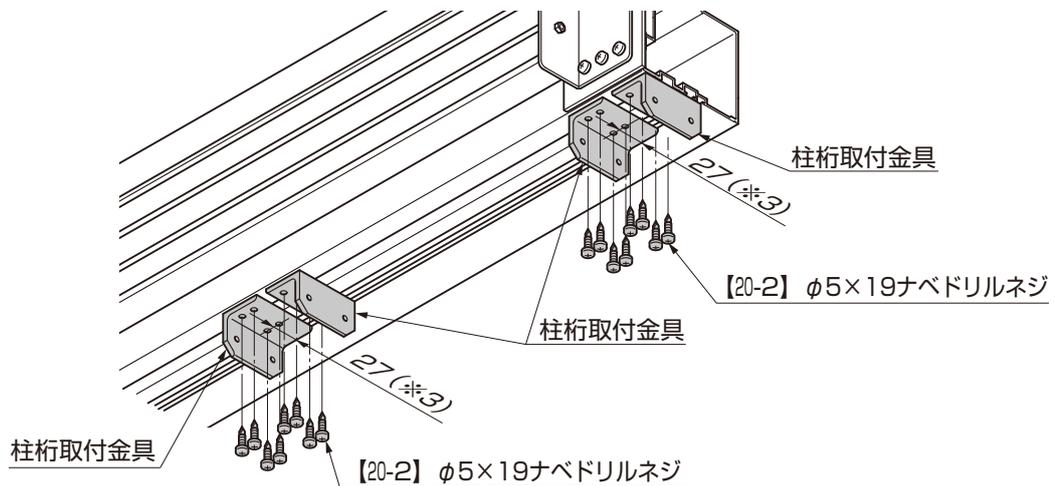
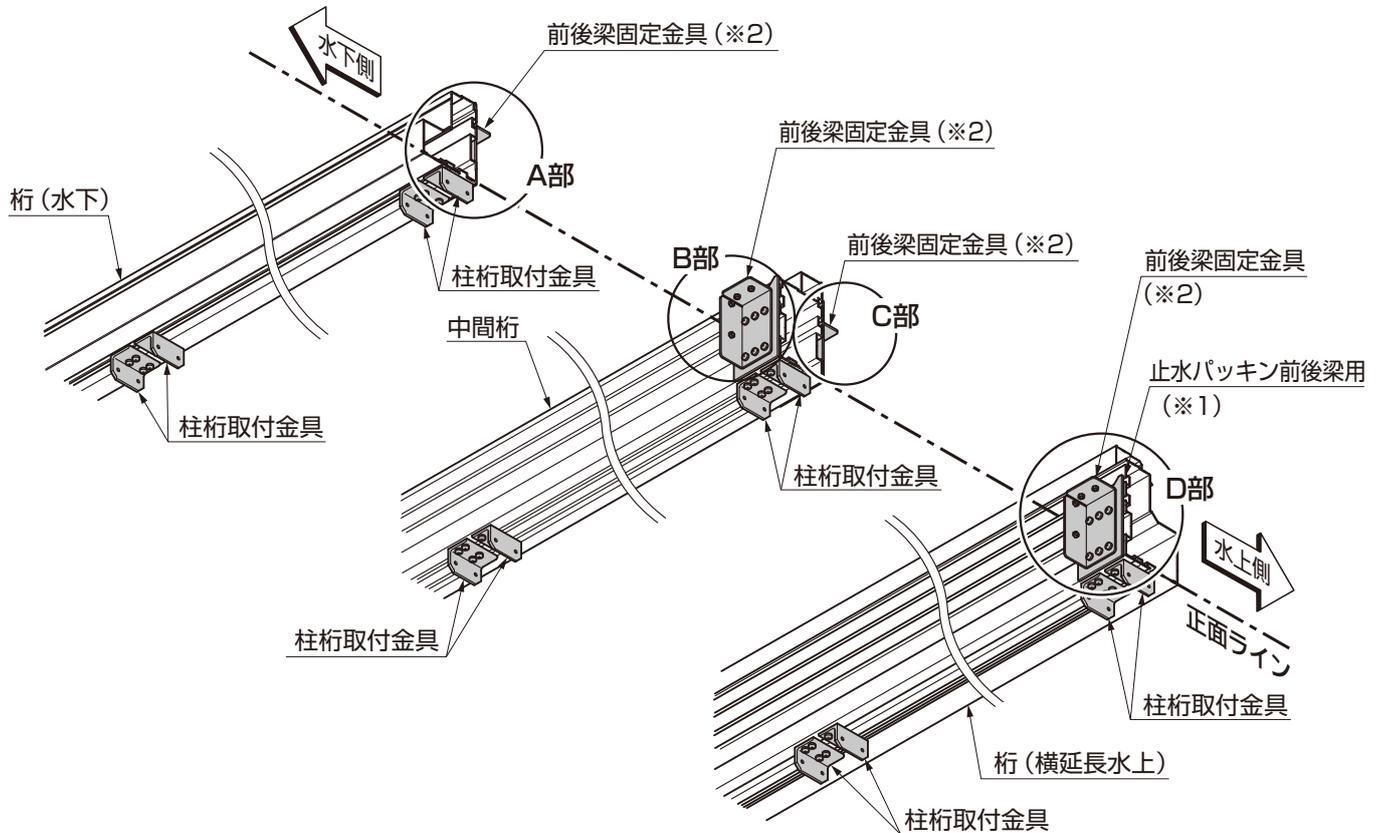


図6-7 柱桁取付金具の取付け

- ①各桁の穴と、止水パッキン前後梁用の穴を合わせ、止水パッキン前後梁用の裏面シール (※1) をはがして、各桁に取付けてください。
- ②各桁に、【20-2】で前後梁固定金具を取付けてください。(図6-9、図6-10、図6-11、図6-12参照)

#### ポイント

- 前後梁固定金具には向きがあります。(※2)
- 止水パッキン前後梁用には向きがあります。止水パッキン前後梁用の三角部が桁の端部に来るように取付けてください。シール面 (※1) が各桁側になります。

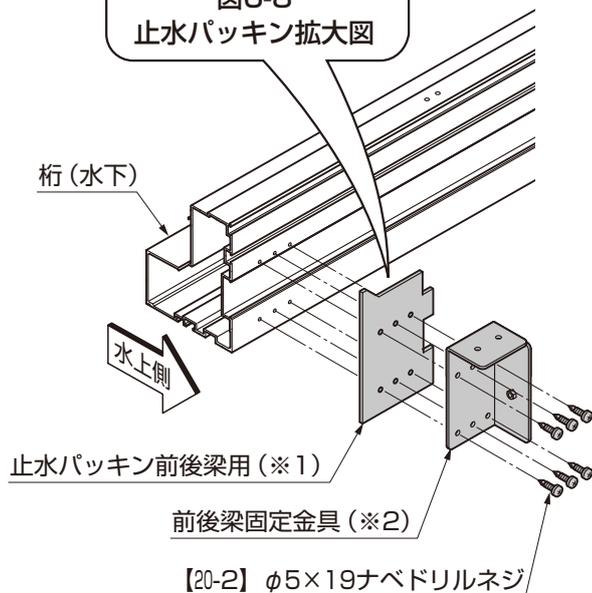
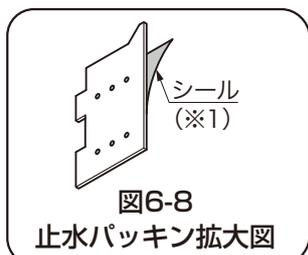


図6-9 A部詳細図 (水下側)

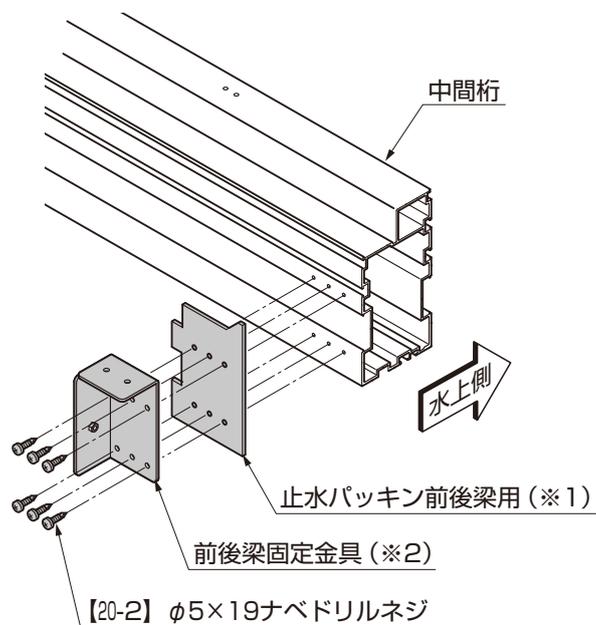


図6-10 B部詳細図 (中間部)

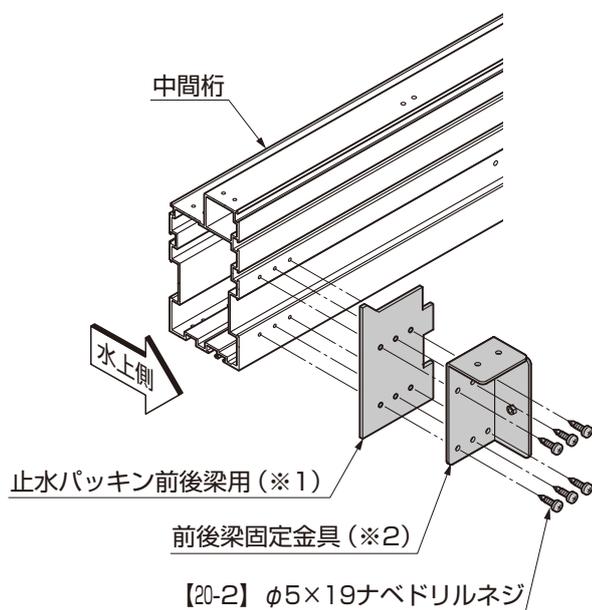


図6-11 C部詳細図 (中間部)

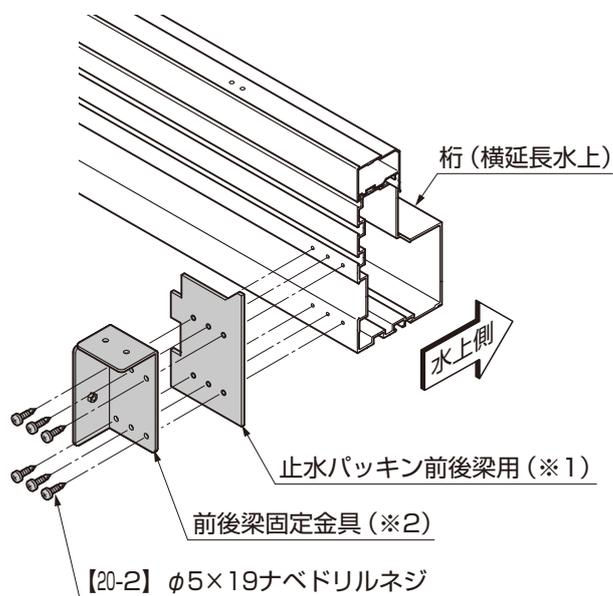


図6-12 D部詳細図 (水上側)

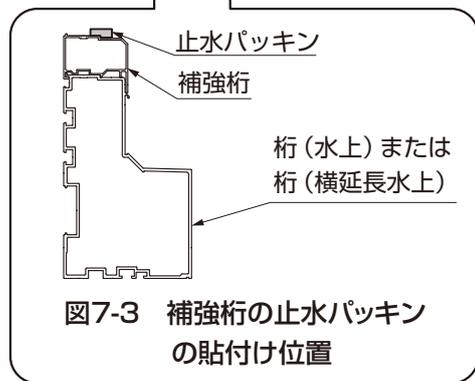
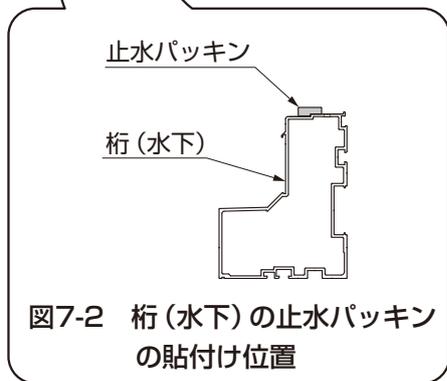
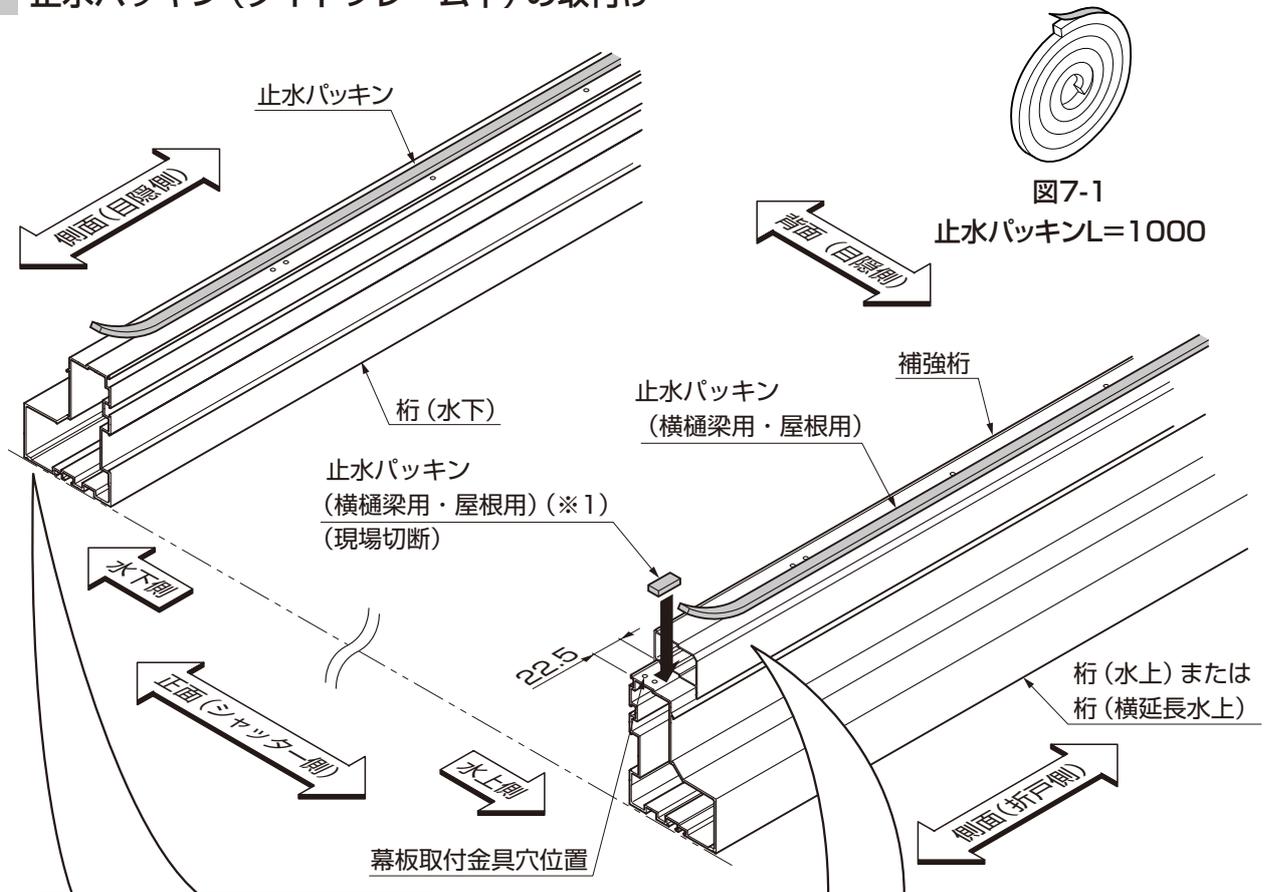
③各桁に【20-2】で柱桁取付金具を取付けてください。(図6-7参照)

### ポイント

- 1500タイプの縦横延長の側面 (折戸側) に袖ありの場合、柱桁取付金具は側面右部品 (または側面左部品) に同梱しています。
- 柱桁取付金具には向きがあります。端部からの穴位置が広い方が外側になります。(※3)

## 7. タイプフレームの取付け

### 7-1 止水パッキン(タイプフレーム下)の取付け



①水上側の補強桁に、止水パッキン(横樋梁用・屋根用)の裏面のシールをはがして貼付けてください。

#### ポイント

- 止水パッキン(横樋梁用・屋根用)は、補強桁、桁(水下)のタイプフレーム取付け用の穴をふさがないように取付けてください。
- 止水パッキン(横樋梁用・屋根用)は、しっかり引っばって、曲がらないように貼付けてください。
- 止水パッキン(横樋梁用・屋根用)は、L=1000mmのため、継ぐ部分はすき間がないように突き付けて貼付けてください。

②桁(水上)と補強桁の段差部分は、止水パッキン(横樋梁用・屋根用)を切断して貼付けてください。(※1)

#### ポイント

- 桁(水上)と補強桁の段差部分は幕板取付金具の穴位置まで貼付けてください。

③桁(水下)に、止水パッキン(横樋梁用・屋根用)の裏面のシールをはがして貼付けてください。

## 7-2 タイトフレームの取付け (標準・横延長の場合)

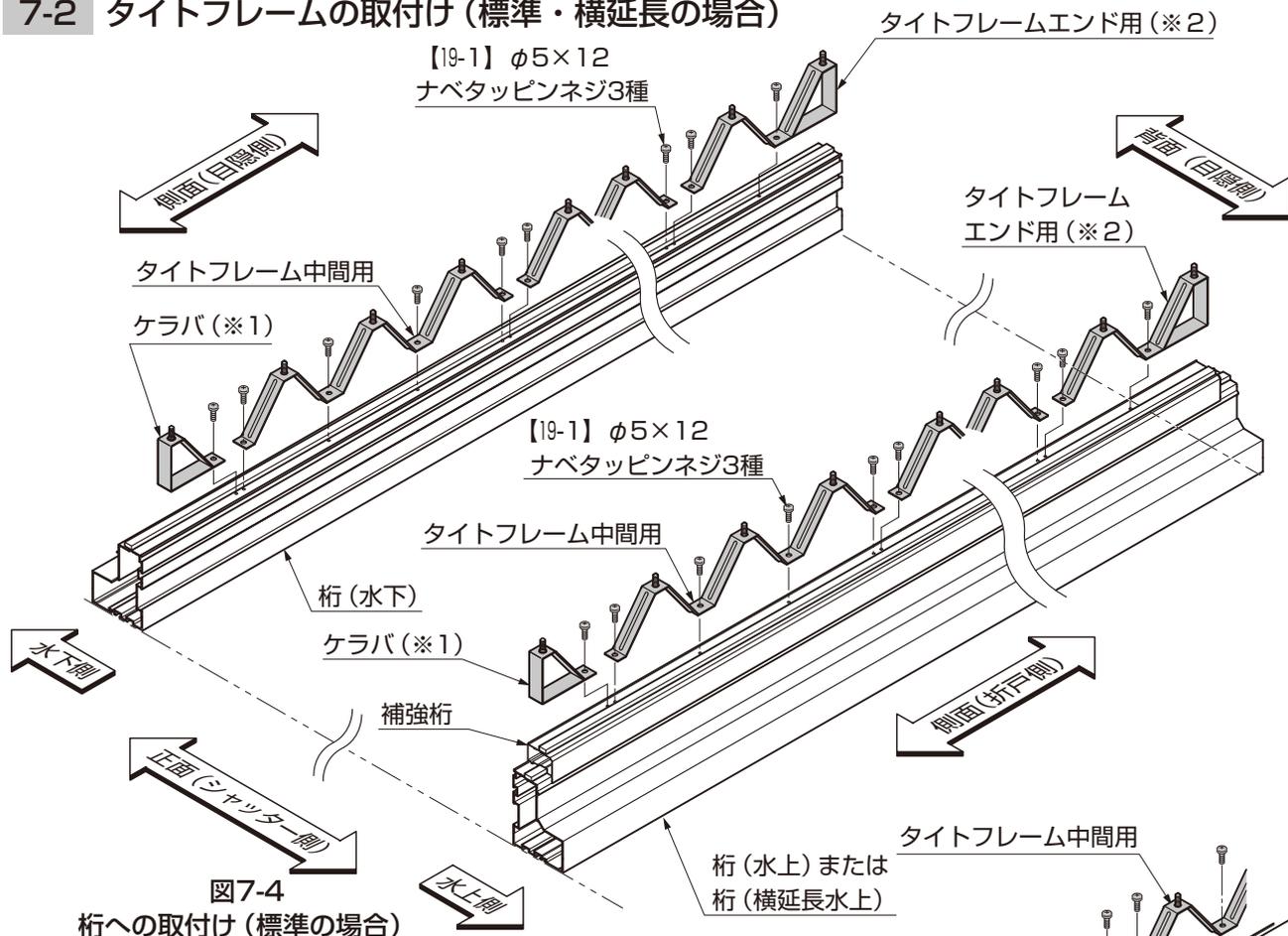


図7-4 桁への取付け (標準の場合)

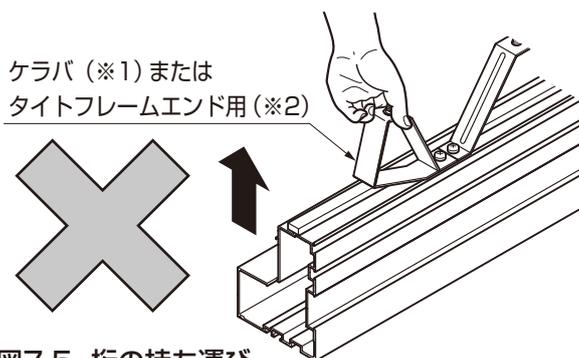


図7-5 桁の持ち運び

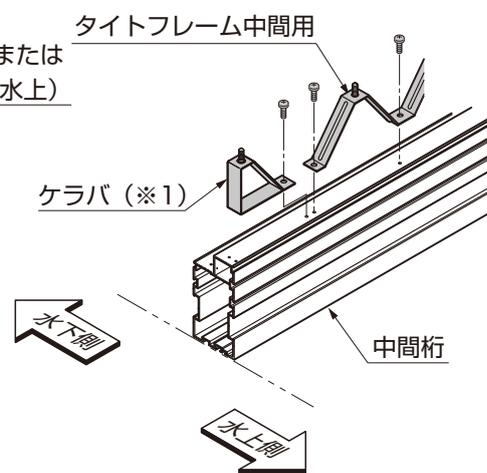


図7-6 中間桁への取付け (横延長の場合)

- ① 桁水上側の補強桁に正面側からケラバ、タイトフレーム中間用、タイトフレームエンド用を【19-1】で取付けてください。
- ② 桁 (水下) も同様にケラバ、タイトフレームを取付けてください。

### 注意

- タイトフレームを取付けた後、桁を持ち運ぶときは、ケラバ (※1) とタイトフレームエンド用 (※2) を持たないでください。曲がって端部面戸爪付が取付かなくなります。(図7-5参照)

### ポイント

- 正面側にケラバ (※1) を、背面側にタイトフレームエンド用 (※2) を取付けてください。
- 横延長の場合は、中間桁にもタイトフレームを取付けてください。(図7-5参照)

## 7. (つづき)

### 7-3 タイトフレームの取付け (縦延長・縦横延長の場合)

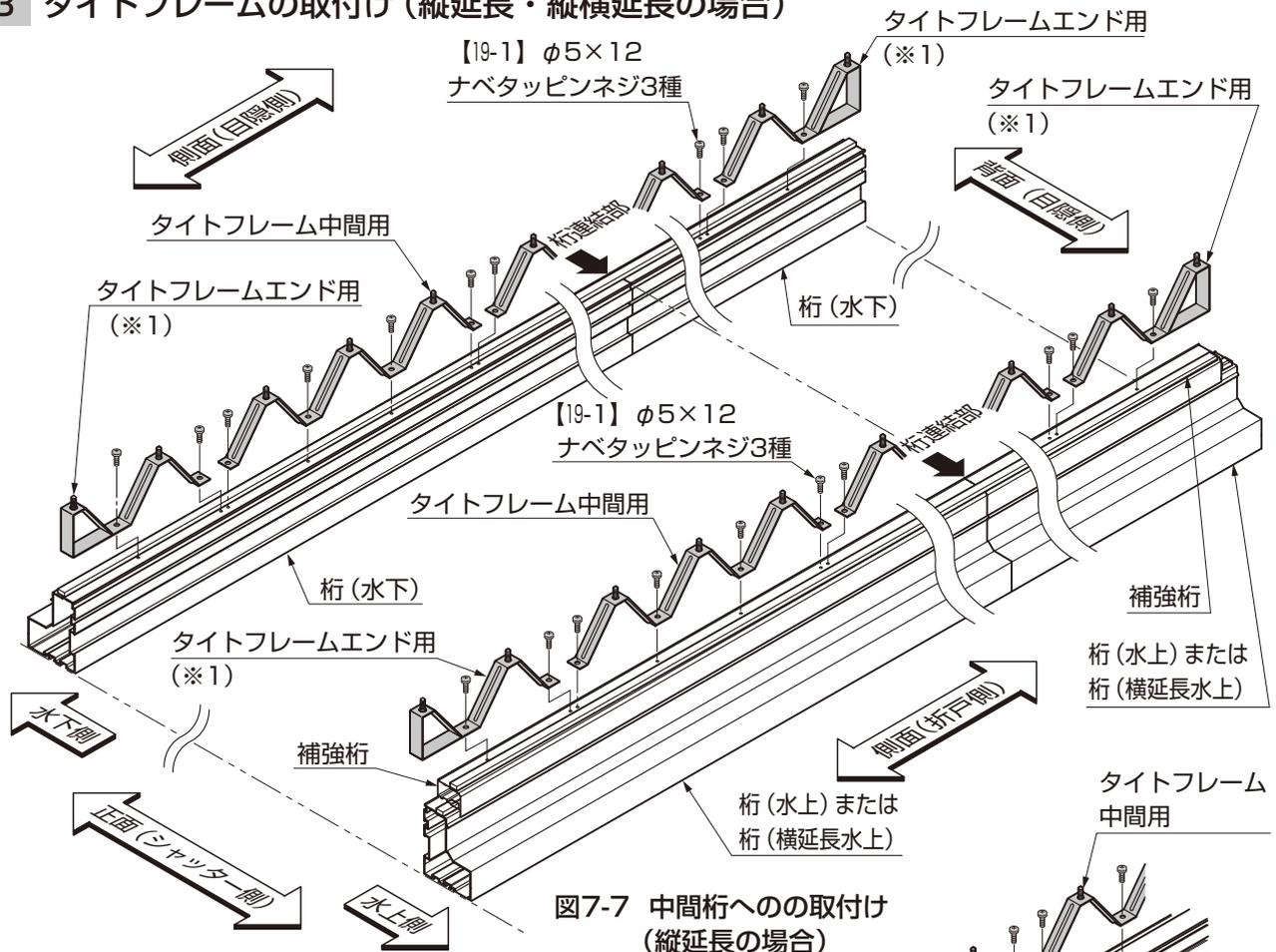


図7-7 中間桁への取付け (縦延長の場合)

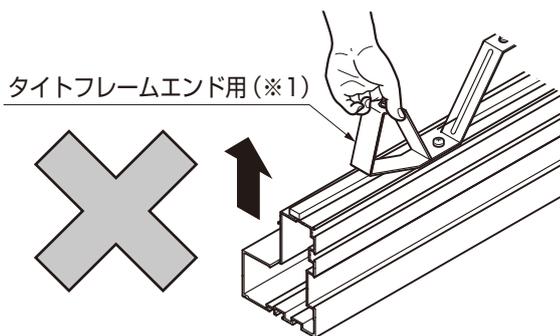


図7-8 桁の持ち運び

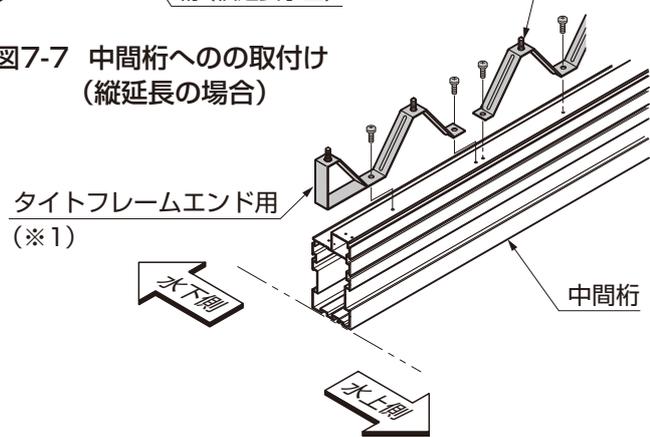


図7-9 中間桁への取付け (縦横延長の場合)

- ①水上側の補強桁にタイトフレームエンド用とタイトフレーム中間用を【19-1】で取付けてください。
- ②桁 (水下) も同様にタイトフレームを取付けてください。

#### 注意

- タイトフレームを取付けた後、桁を持ち運ぶときは、両端のタイトフレームエンド用 (※1) を持たないでください。曲がって端部面戸爪付が取付かなくなります。(図7-8参照)

#### ポイント

- 縦横延長の場合は、中間桁にもタイトフレームを取付けてください。(図7-9参照)
- 縦延長の折板部品は縦延長L74を、縦横延長の折板部品は縦延長L74と追加縦延長L74の両方を使用します。

## 8. 横樋用の取付け

### 8-1 横樋用の取付け（標準・横延長の場合）

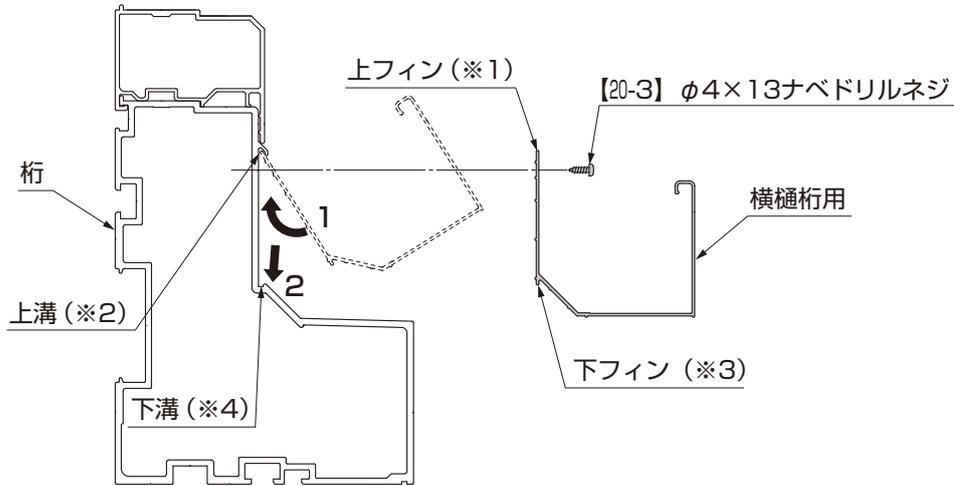
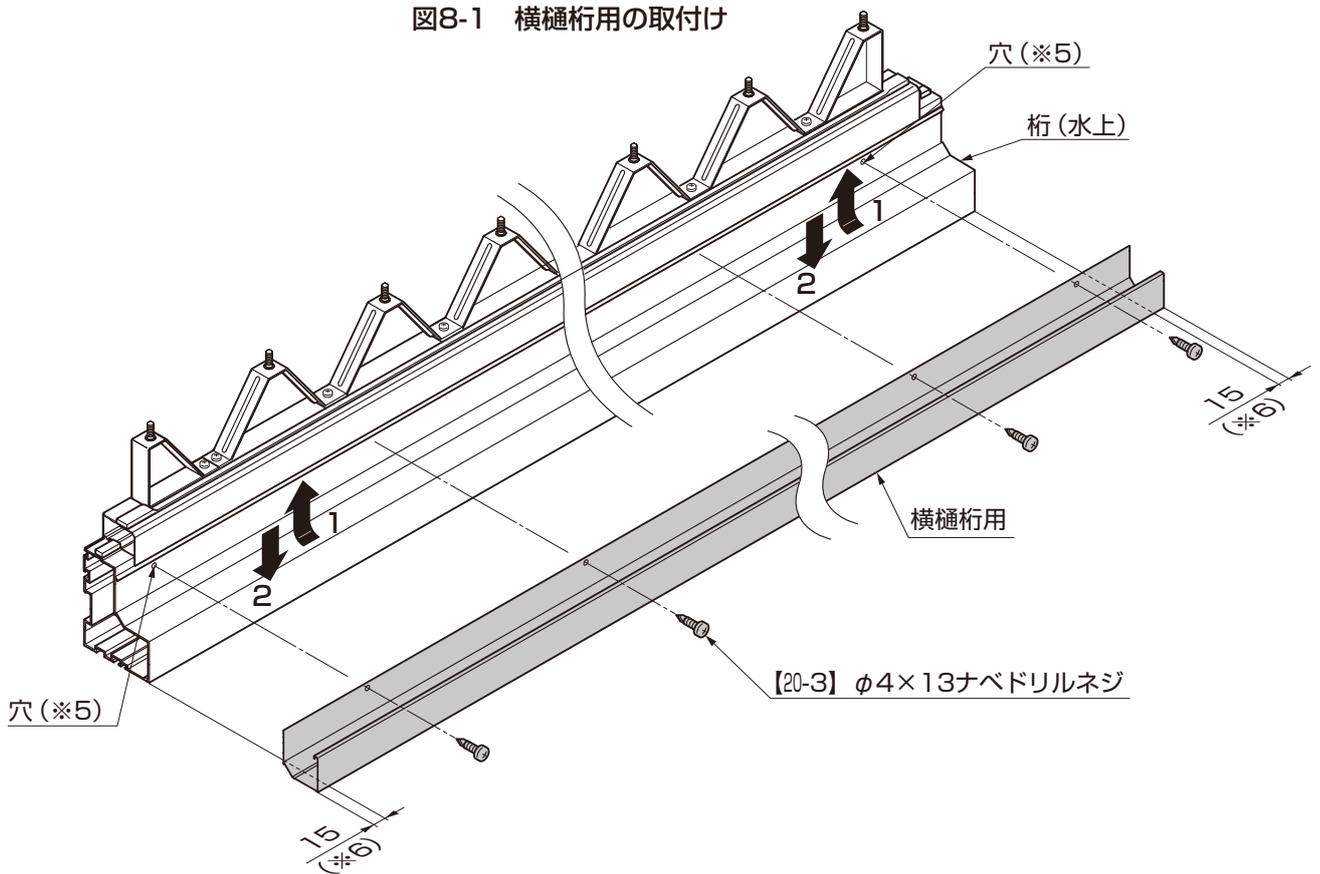


図8-1 横樋用の取付け



- ①横樋用の上フィン(※1)を、桁の上溝(※2)に下から入れ、横樋用の下フィン(※3)を桁の下溝(※4)に落とし込むように取付けてください。(図8-1参照)
- ②桁(水上)に【20-3】で横樋用を取付けてください。

#### ポイント

- 桁の両端には、横樋用の両端のネジ取付け部分の穴(※5)があいています。
- 横樋用は桁よりも片側15mm(※6)はり出した位置に取付けとなります。

- ③桁(水下)も同様に横樋用を取付けてください。

## 8. (つづき)

### 8-2 横樋用の取付け (縦延長・縦横延長の場合)

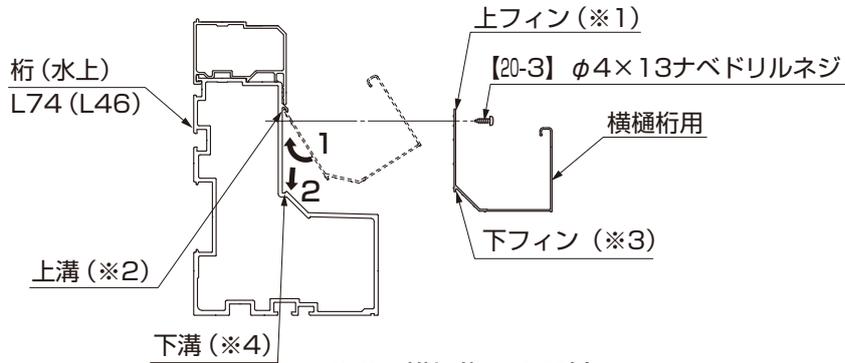


図8-2 横樋用の取付け

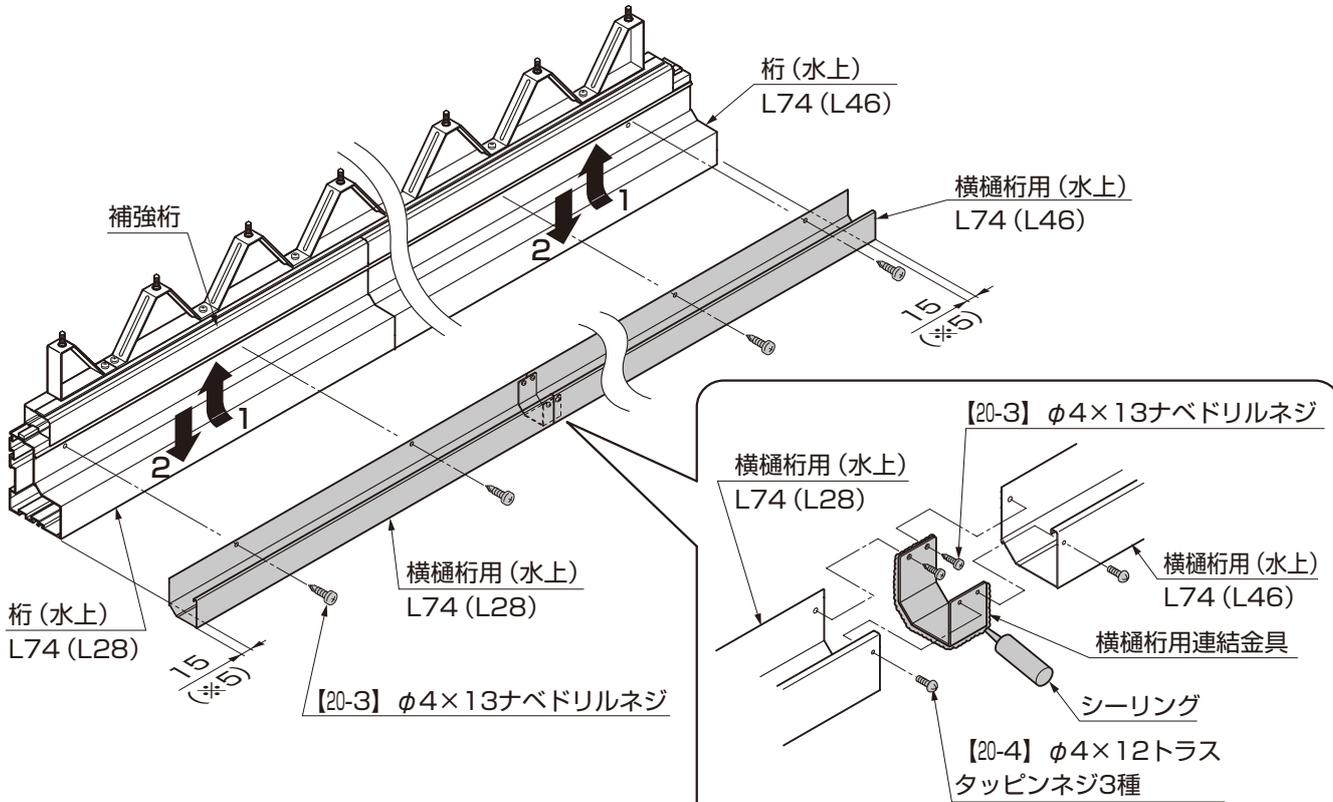


図8-3 横樋用の連結

- ①横樋用の上フィン(※1)を、桁の上溝(※2)に下から入れ、横樋用の下フィン(※3)を桁の下溝(※4)に落とし込むように取付けてください。(図8-2参照)
- ②桁(水上)に【20-3】で横樋用を取付けてください。(図8-3参照)

#### ポイント

- 横樋用は桁よりも片側15mmはり出した位置に取付けとなります。(※5)

- ③横樋用連結金具を使い【20-3】、【20-4】で横樋用を連結してください。

#### ポイント

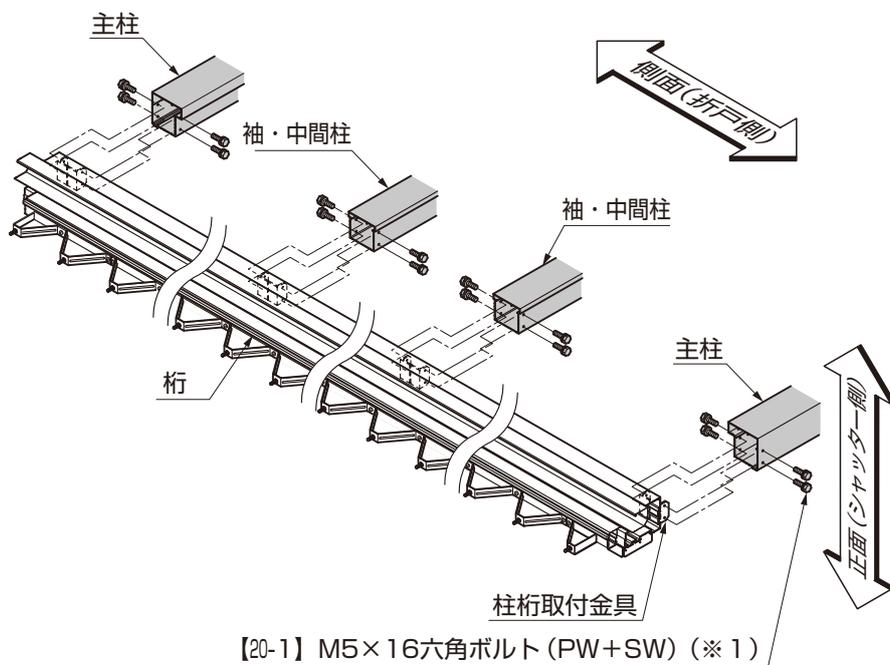
- 横樋用連結金具と横樋用の接触部分にシーリングをしてください。(図8-3参照)

- ④桁(水下)も同様に横樋用を取付けてください。

## 9. 柱・桁の取付けと建ておこし

### 9-1 柱・桁の取付け

※図は、1500タイプ 標準28-54、32-60を示します。  
その他のタイプは柱の本数が異なります。

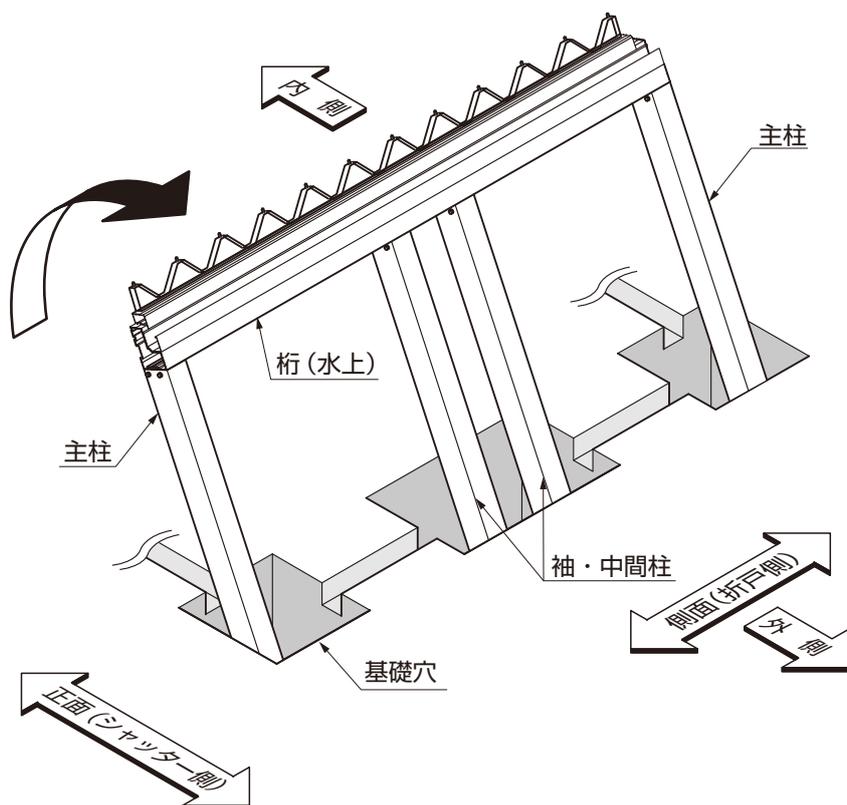


- ① 桁の両端の柱桁取付金具を主柱に【20-1】で取付けてください。
- ② 桁の中央部の柱桁取付金具を袖・中間柱に【20-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 電動工具で無理に締付けしないでください。(※1)

### 9-2 柱の建て起こし



- ① 水上側の組付けた柱を基礎穴に入れて、柱を建て起こしてください。
- ② 水下側も同様に基礎穴に柱を入れて、建て起こしてください。

#### ポイント

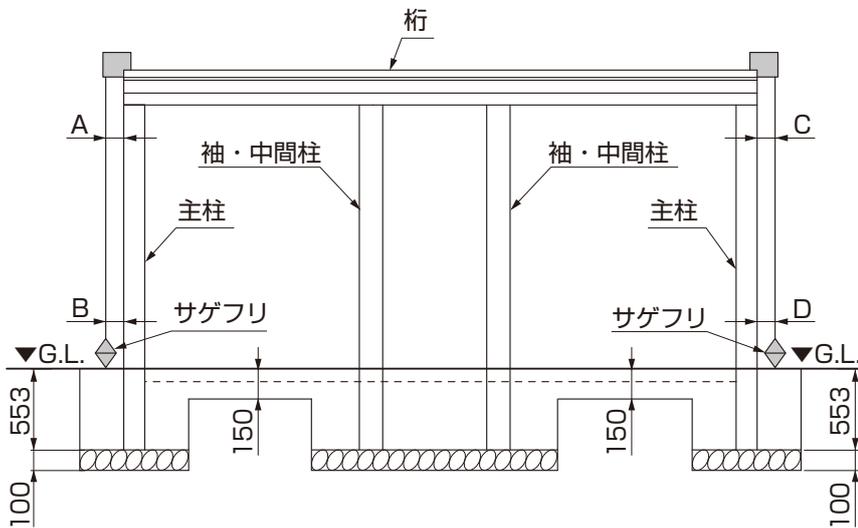
- 柱を建て起こすとき、地面の状態が悪くうまく建て起こせない可能性がある場合は、ベース材を仮付けするなど、桁と柱とベース材で箱型に組んで建て起こしてください。ベース材の取付けは、「10.ベース材の取付け」を参照してください。

#### 補足

- 主柱、袖・中間柱を、桁に取付けてから建て起こしてください。

## 9. (つづき)

### 9-3 柱の倒れと水平確認



- ① レベル等で柱の埋込み深さを確認して、高さを調整してください。
- ② 測定はサゲフリを使用して、主柱の上端と下端、A部とB部、C部とD部を測定して、垂直を確認してください。

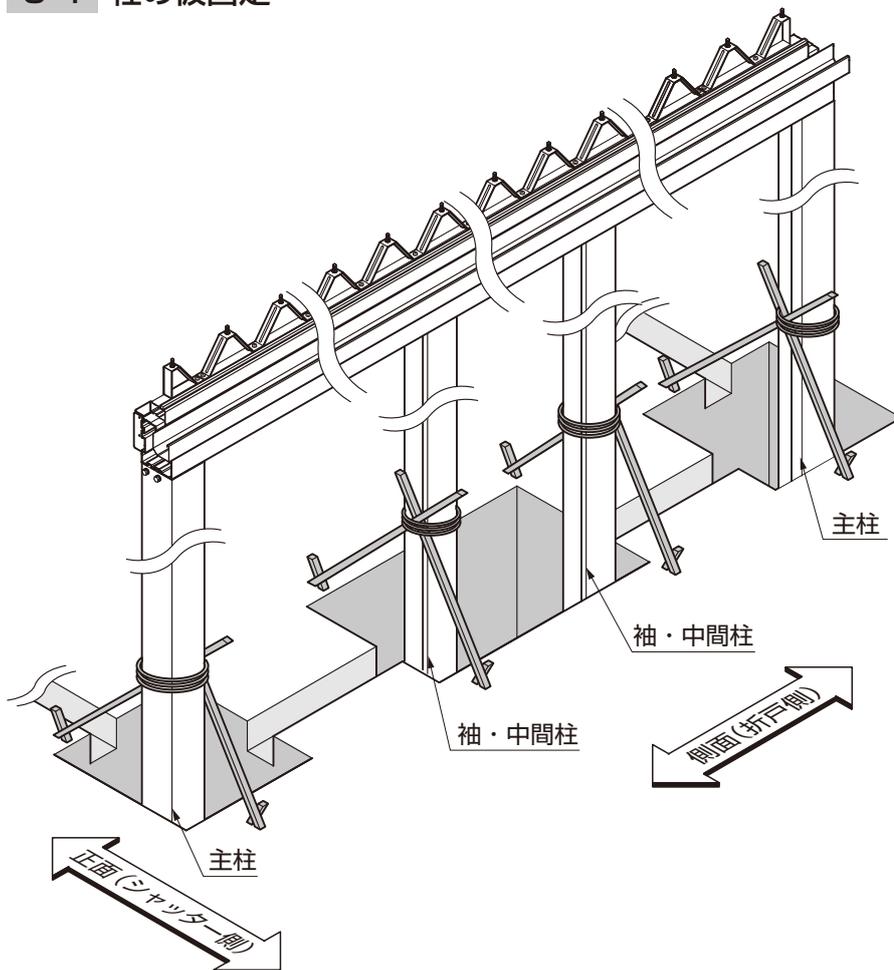
#### ポイント

- 柱の倒れは±3mmの範囲にしてください。
- 主柱の上端と下端の相対寸法差が3mmを超えた場合、シャッターが取付けられなかったり、シャッター取付け後に異音やキズが発生して正常に作動しなくなる場合があります。

## 4

本体の施工

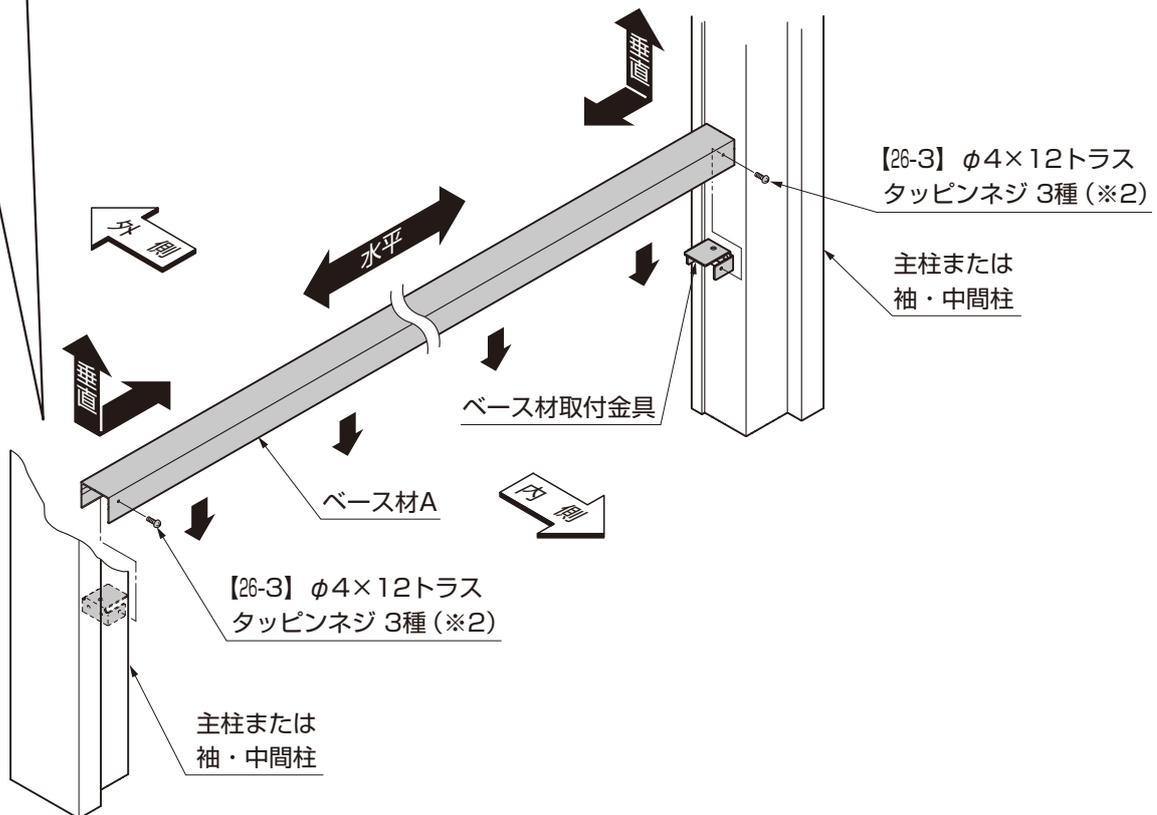
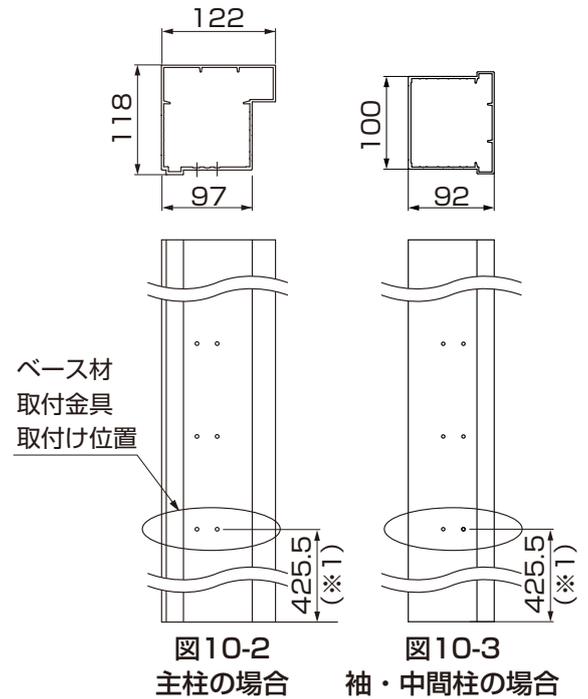
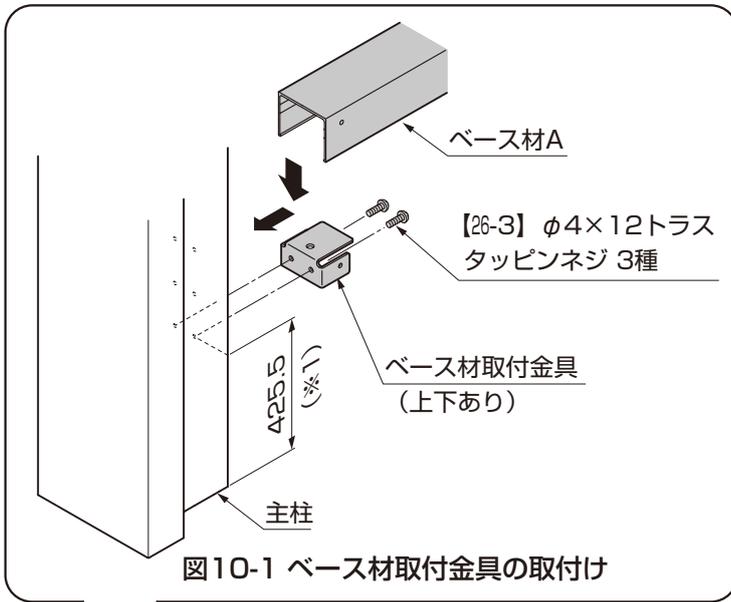
### 9-4 柱の仮固定



- ① ロープあるいは添え木を使用して主柱、袖・中間柱を仮固定してください。

# 10. ベース材の取付け

## 10-1 シャッターの部分



- ①ベース材取付金具を【26-3】で主柱または袖・中間柱に取付けてください。(図10-1参照)
- ②ベース材Aを【26-3】でベース材取付金具に取付けてください。

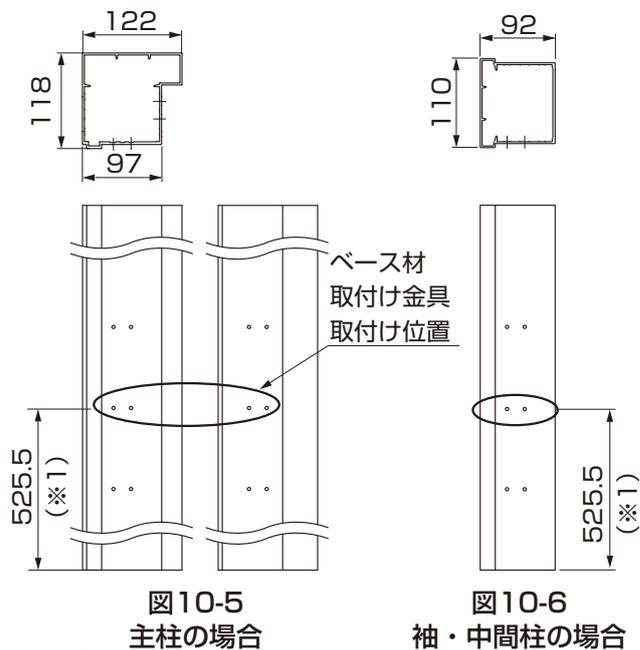
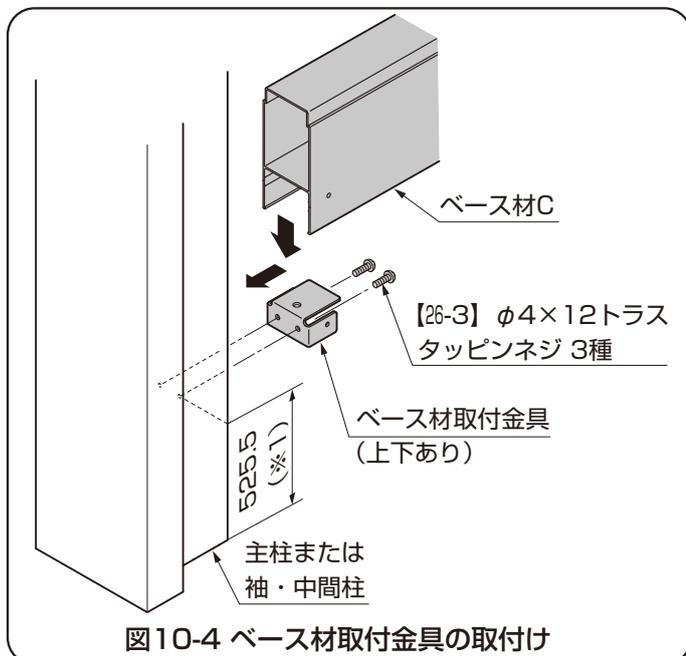
### ポイント

- 主柱、ベース材Aの垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(※1)
- ベース材Aのネジの取付けは、内側からのみの取付けとなります。(※2)

## 10. (つづき)

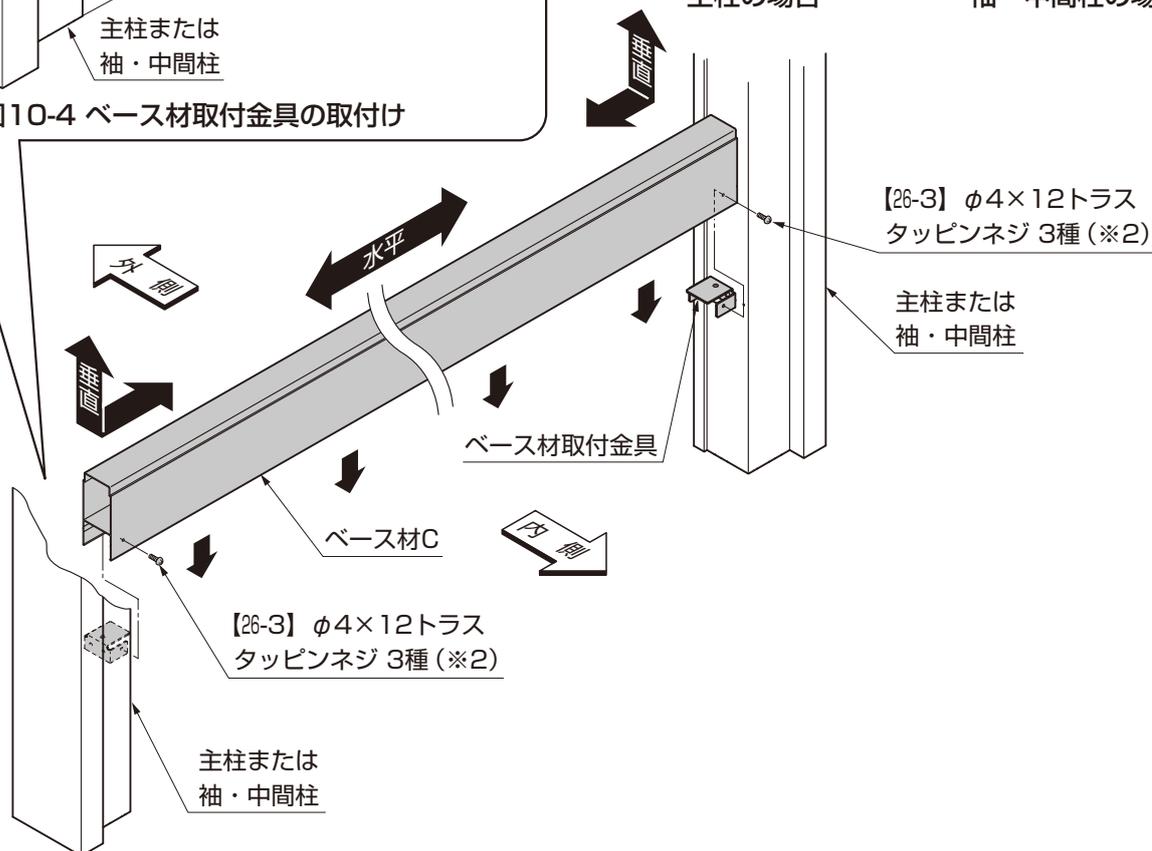
### 10-2 目隠材部分

#### (1) ベース材Cの取付け



4

本体の施工



- ①ベース材取付金具を【26-3】で主柱または袖・中間柱に取付けてください。(図10-4参照)
- ②ベース材Cを【26-3】でベース材取付金具に取付けてください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱、ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(\*1)
- 袖ありの場合、ベース材取付金具は正面・背面部品セットの中に入ってます。
- ベース材Cのネジの取付けは、内側からのみの取付けとなります。(\*2)

(2) ベース材Bの取付け

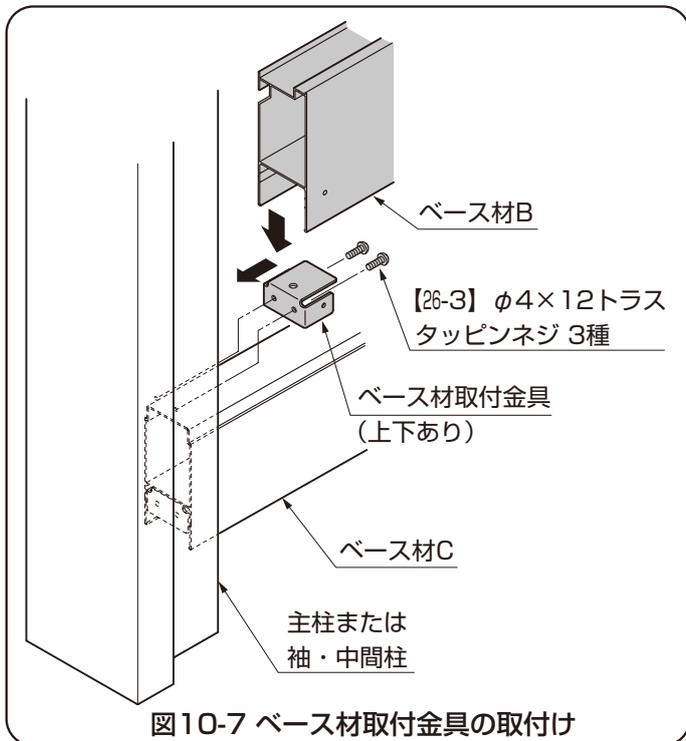


図10-7 ベース材取付金具の取付け

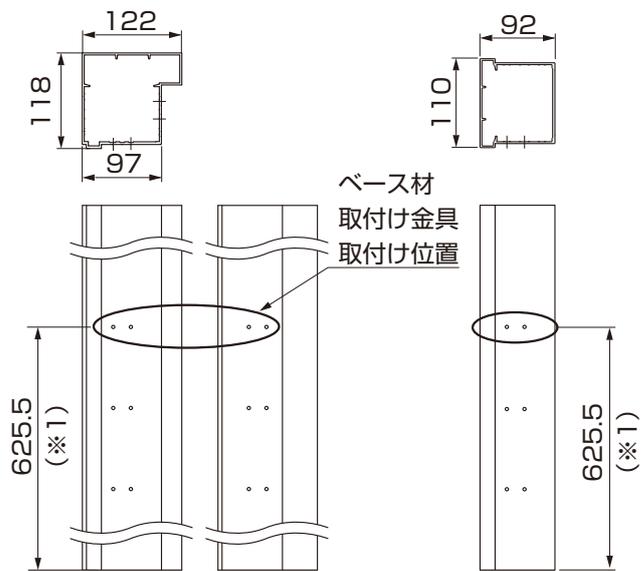
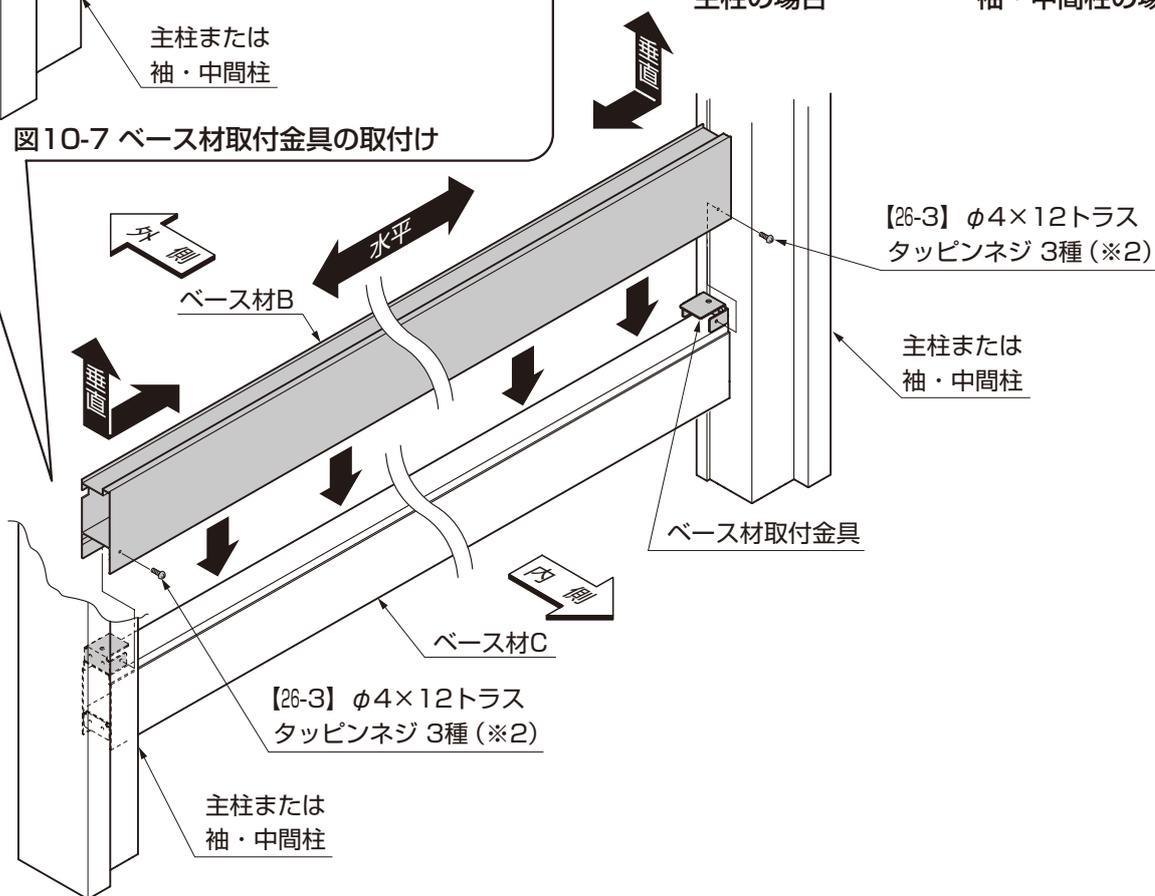


図10-8  
主柱の場合

図10-9  
袖・中間柱の場合



- ①ベース材Cの上にベース材取付金具を【26-3】で主柱または袖・中間柱に取付けてください。(図10-7参照)
- ②ベース材Bを【26-3】でベース材取付金具に取付けてください。

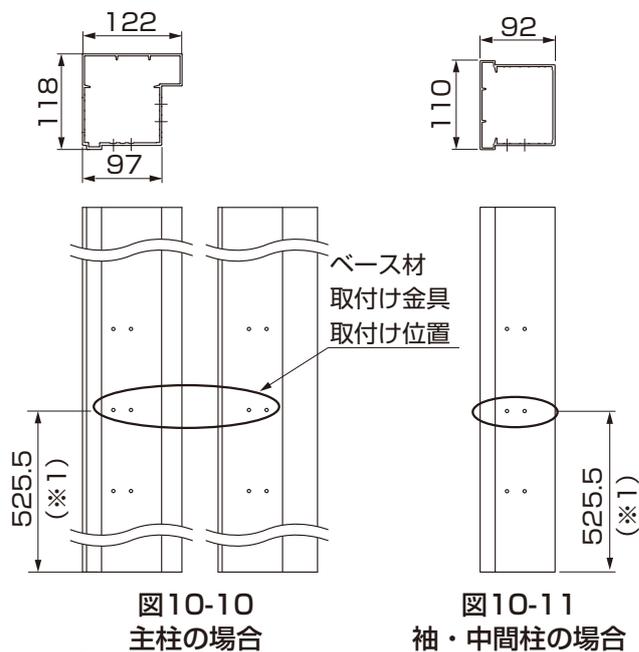
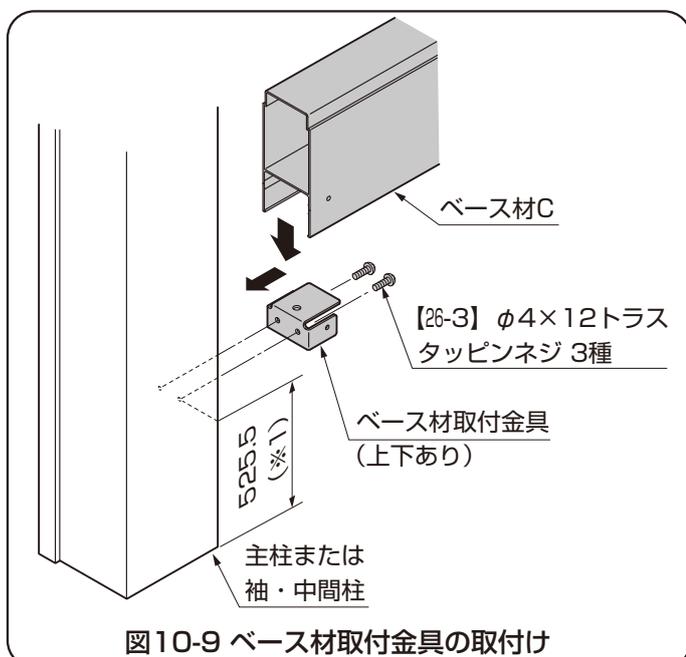
ポイント

- 主柱、袖・中間柱、ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(\*1)
- ベース材Bのネジの取付けは、内側からのみの取付けとなります。(\*2)

## 10. (つづき)

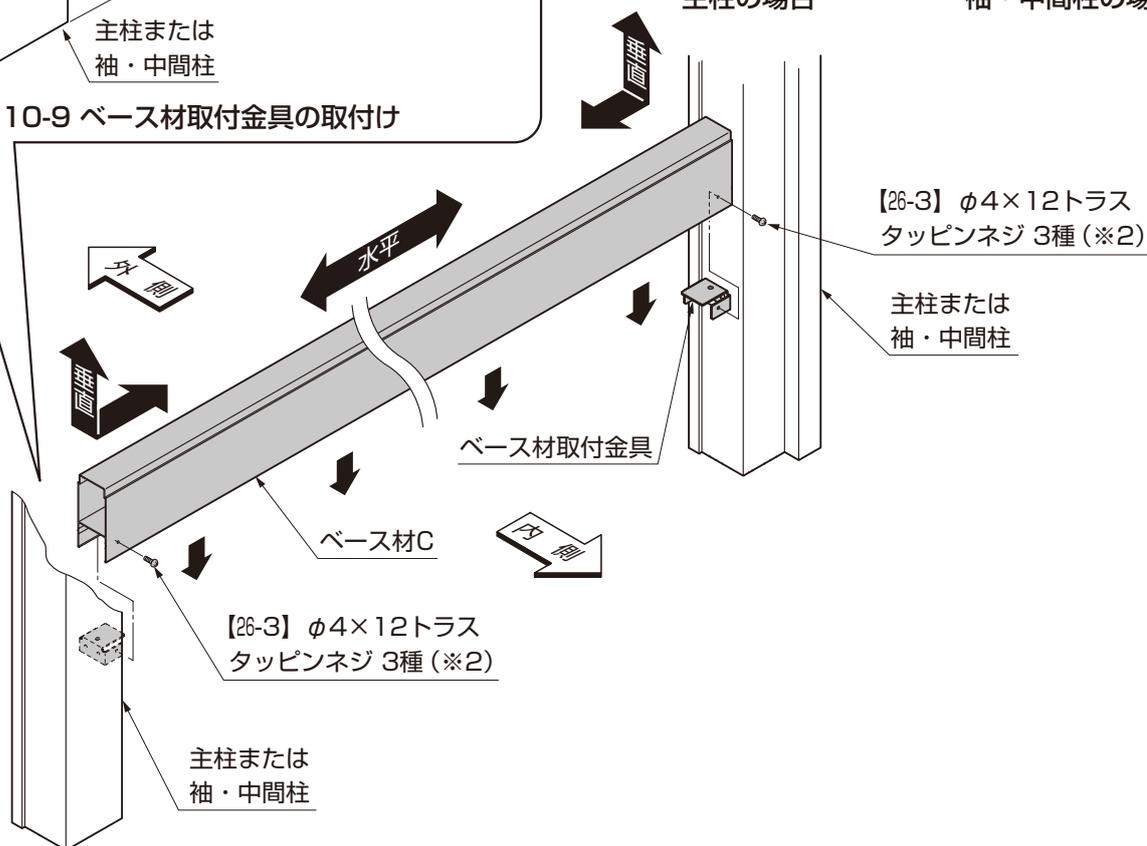
### 10-3 折戸パネル部分

#### (1) ベース材Cの取付け



4

本体の施工

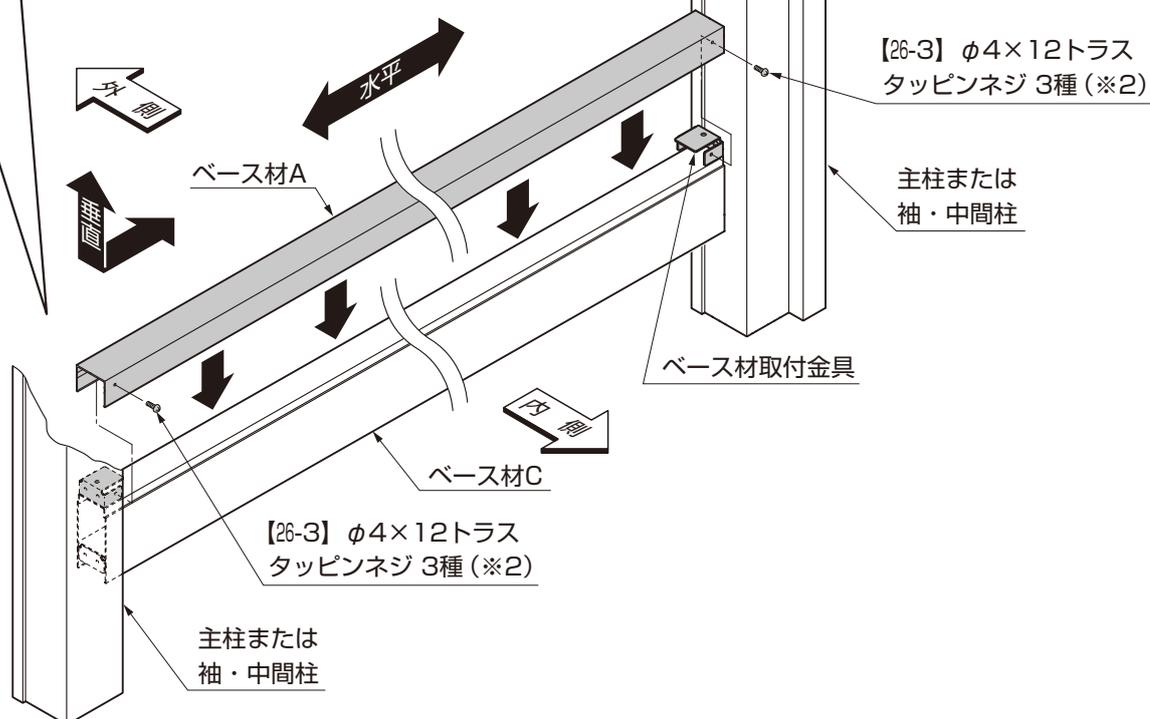
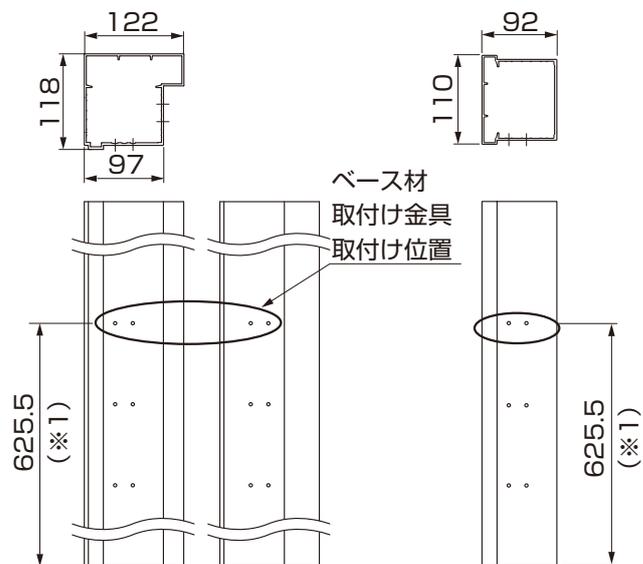
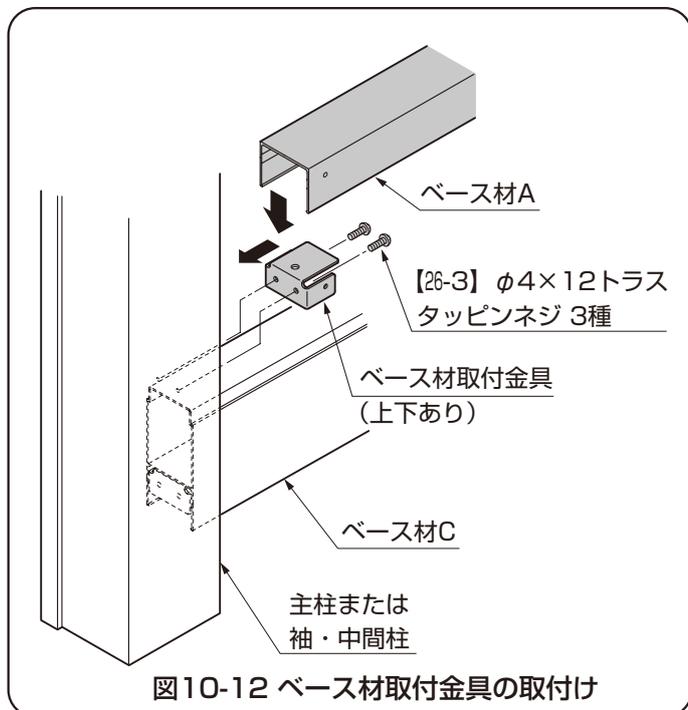


- ①ベース材取付金具を【26-3】で主柱または袖・中間柱に取付けてください。(図10-9参照)
- ②ベース材Cを【26-3】でベース材取付金具に取付けてください。

#### ポイント

- 主柱、袖・中間柱、ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(※1)
- ベース材Cのネジの取付けは、内側からのみの取付けとなります。(※2)

## (2) ベース材Aの取付け



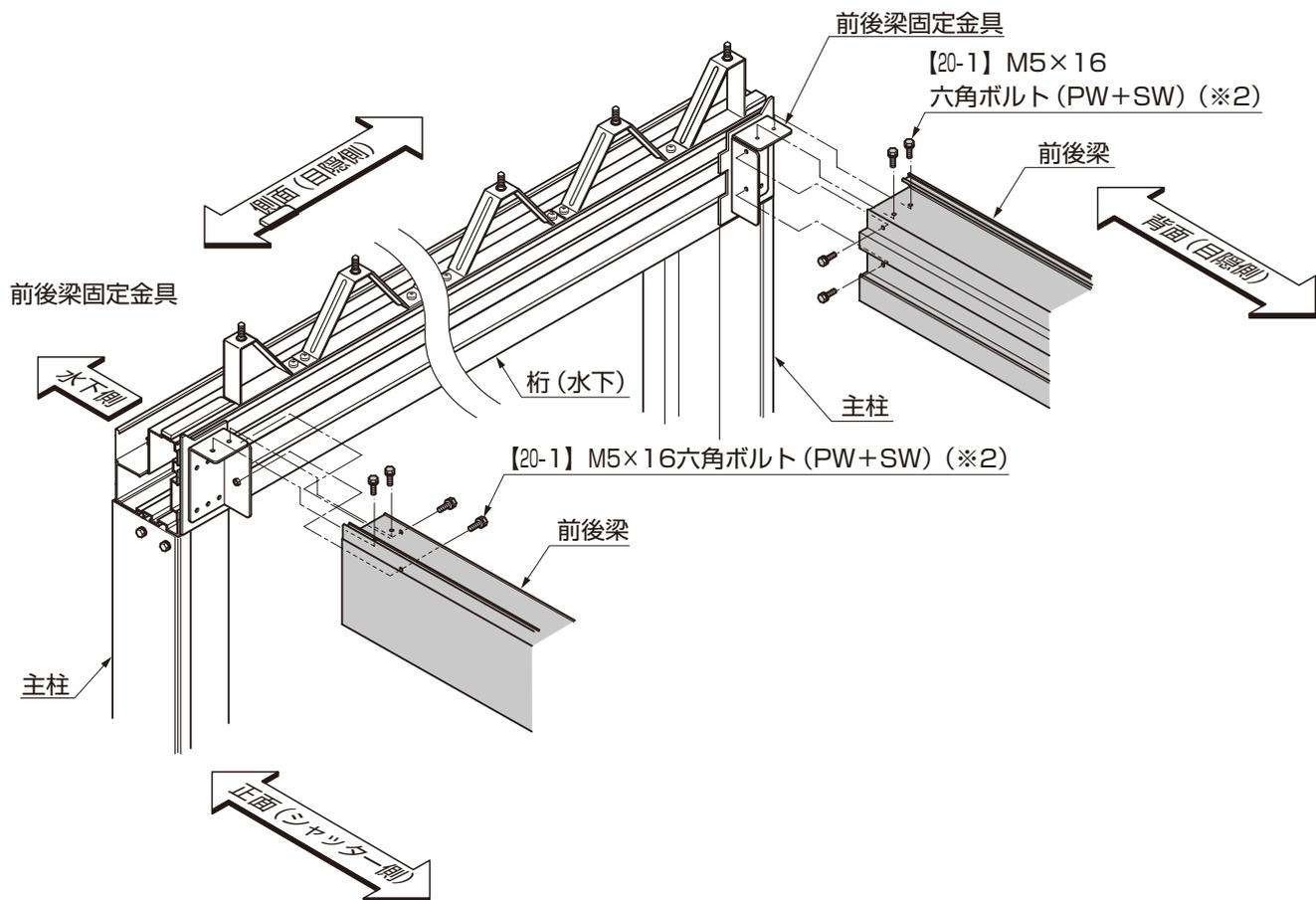
- ①ベース材取付金具を【26-3】で主柱または袖・中間柱に取付けてください。(図10-12参照)
- ②ベース材Aを【26-3】でベース材取付金具に取付けてください。

### ポイント

- 主柱、袖・中間柱、ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(※1)
- ベース材Aのネジの取付けは、内側からのみの取付けとなります。(※2)

## 11. 前後梁の取付け

### 11-1 袖なしの場合 (標準W38タイプを除く)



①桁に取付けた前後梁固定金具に前後梁を差込んで、【20-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 電動工具で無理に締付けしないでください。(※2)

## 11-2 袖ありの場合（標準W38タイプのみ）

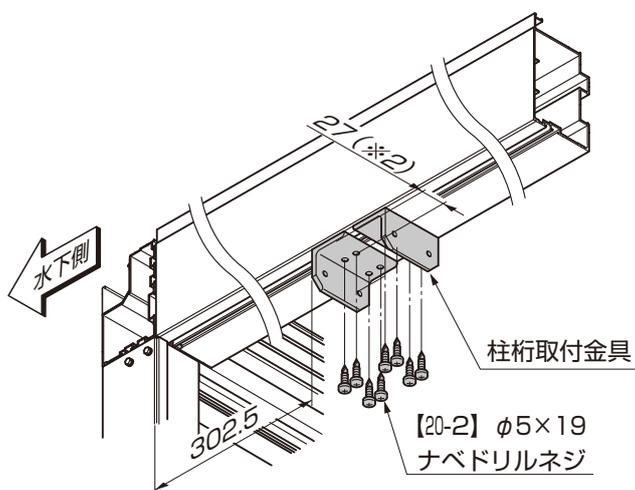
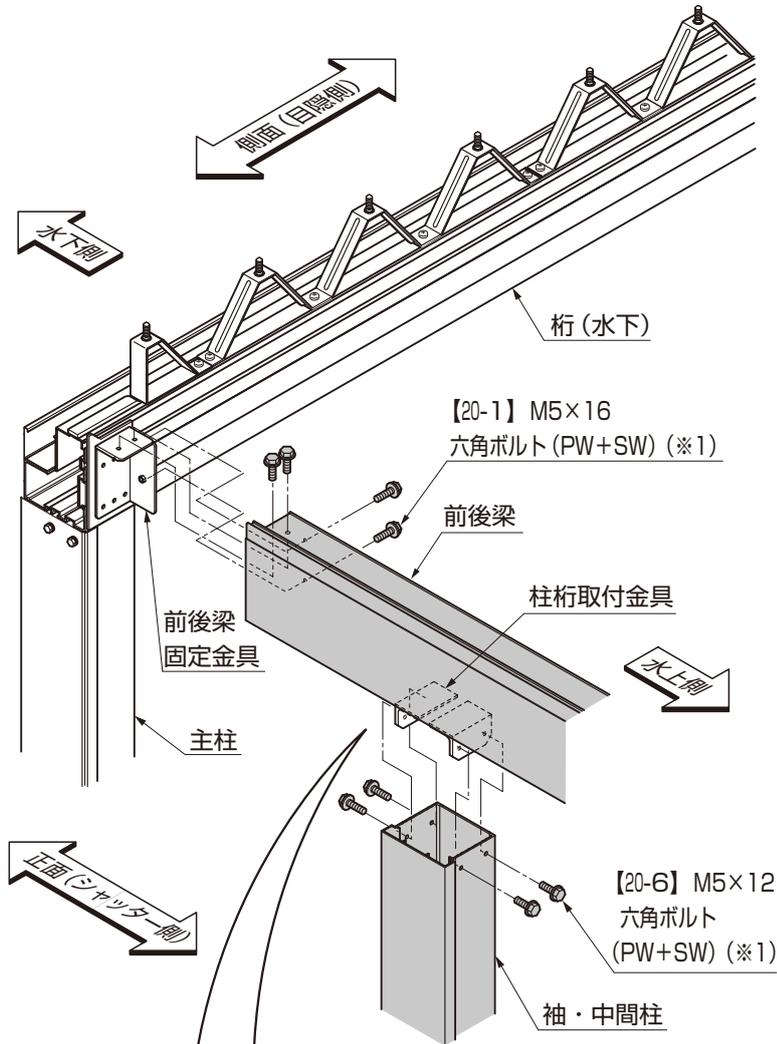


図11-1 柱桁取付金具の取付け（正面袖部分）

- ①前後梁底面のネジ取付用穴に、柱桁取付金具を【20-2】で取付けてください。（図11-1参照）

### ポイント

- 柱桁取付金具には向きがあります。
- 端部からの穴位置が広い方が外側になります。（※2）
- 正面袖部分の柱桁取付金具は、正面・背面部品（袖あり）に同梱されています。

- ②前後梁に取付けた柱桁取付金具に袖・中間柱を取付けてください。

### ポイント

- 電動工具で無理に締付けしないでください。（※1）

- ③桁に取付けた前後梁固定金具に【20-1】で前後梁を取付けてください。

### 補足

- 正面袖部分の柱を先に取付け、T字型にして桁に取付ける施工も可能です。

## 12. 中間梁の取付け

### 12-1 中間梁の取付け

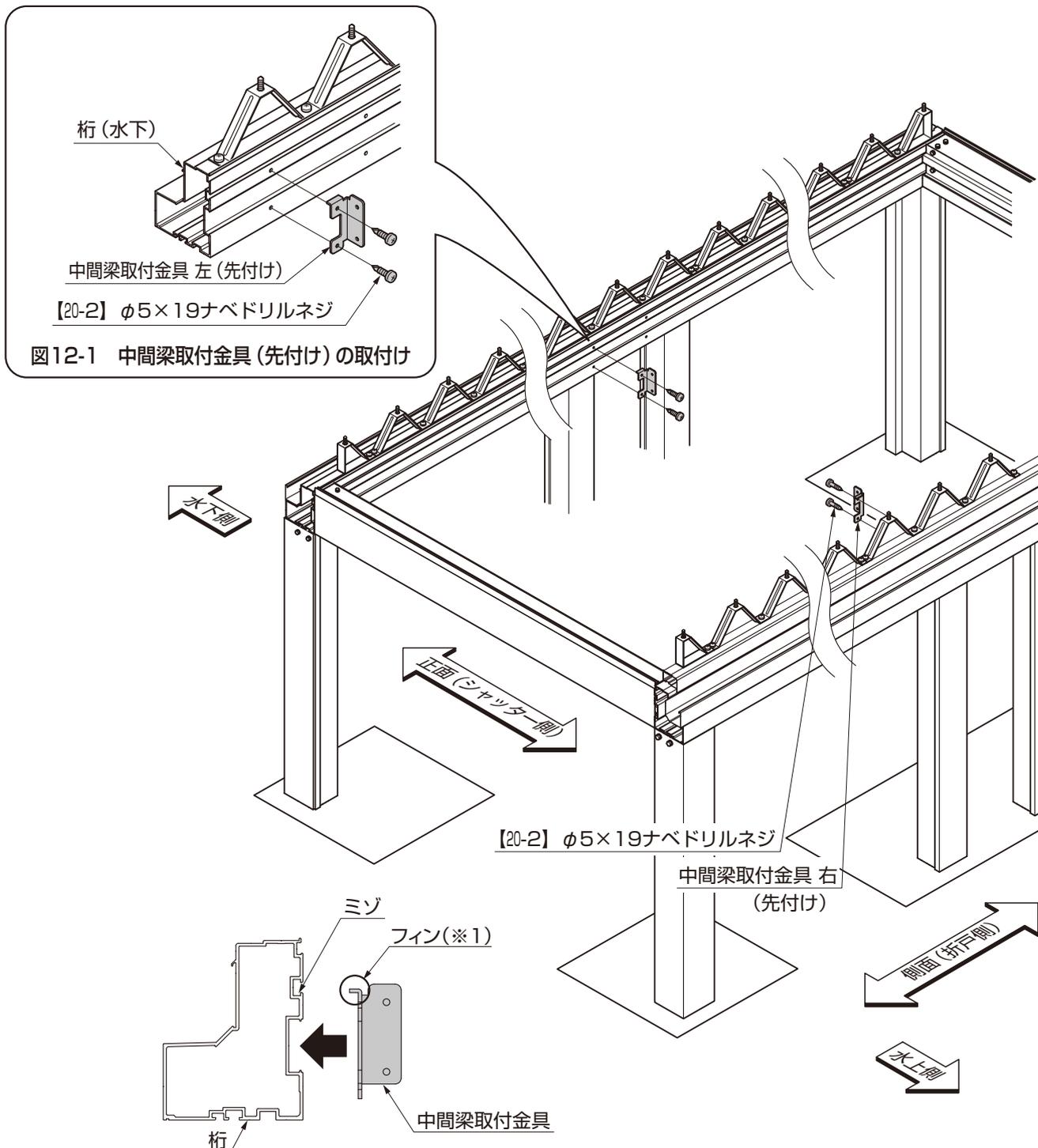


図12-2 中間梁取付金具の取付け位置

①中間梁取付金具 (先付け) を、桁に【20-2】で取付けてください。(図12-1参照)

#### ポイント

- 中間梁取付金具には向きがあります。
- 中間梁取付金具のフィン(※1)が、桁のミゾに入るように取付けてください。(図12-2参照)
- 中間梁取付金具は、桁に片側1個づつ、桁どおしで向かい合うように取付けてください。

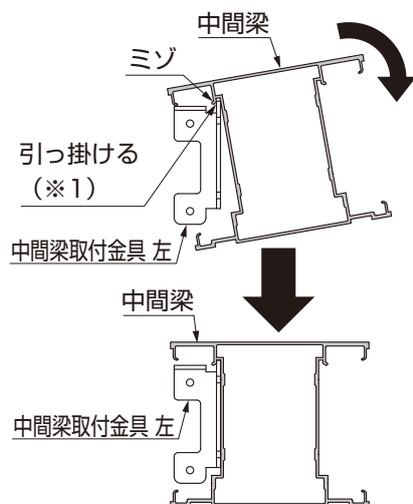


図12-3 中間梁の取付け

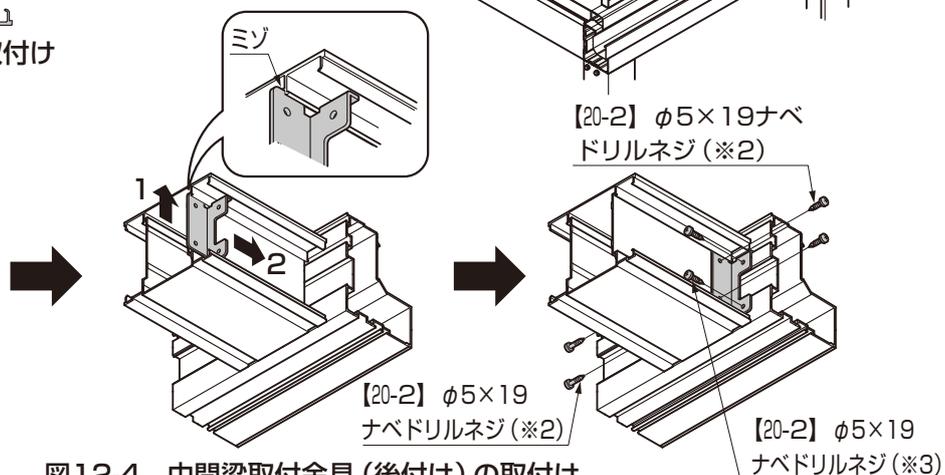
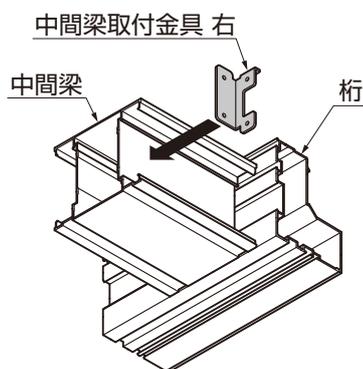


図12-4 中間梁取付金具(後付け)の取付け

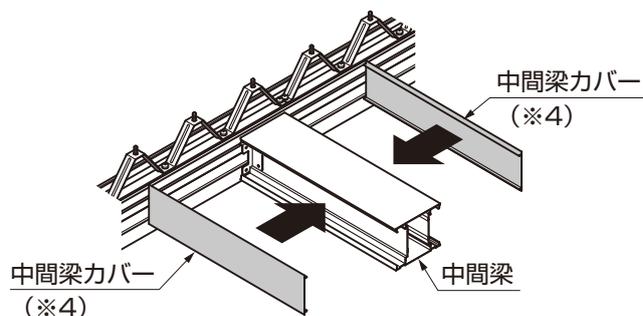


図12-5 中間梁カバーの取付け

- ②中間梁を中間梁取付金具に引っ掛けて(※1)ください。(図12-3参照)
- ③中間梁取付金具(先付け)と中間梁を【20-2】で取付けてください。(図12-4参照)
- ④中間梁取付金具を、中間梁と桁に【20-2】で取付けてください。(図12-4参照)

#### ポイント

- 中間梁取付金具の取付けネジは、中間梁(※2)→桁(※3)の順で取付けてください。
- オプションの内装パネル横(天井用)を取付ける場合は、15 内装パネルの取付け **オプション** の「3.内装パネル横(天井用)の取付け」を参照してください。

- ⑤中間梁カバーを中間梁に取付けてください。(図12-5参照)

#### ポイント

- オプションの内装パネル横(天井用)を取付ける場合は、内装パネル取付裏板を取付けの後、取付けとなります。(※4)

### 13. 母屋の取付け (3000タイプ (Sタイプ) W34・W38のみ)

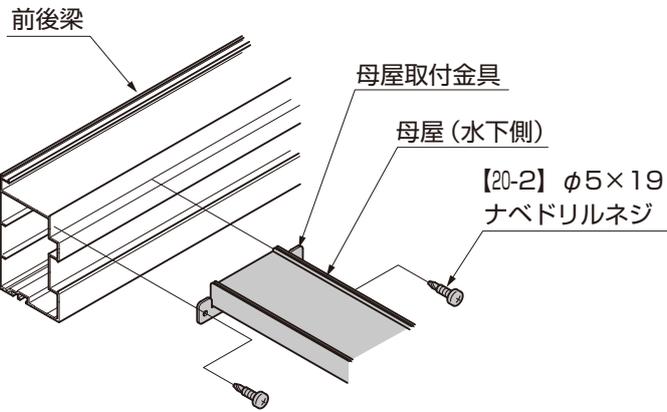


図13-4 母屋の取付け (水下側)

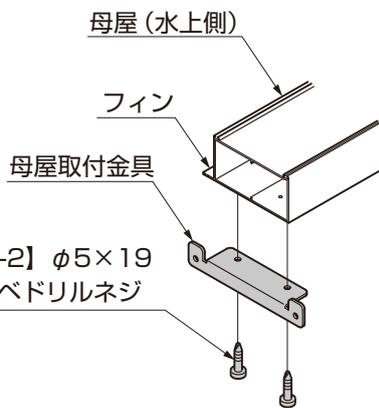
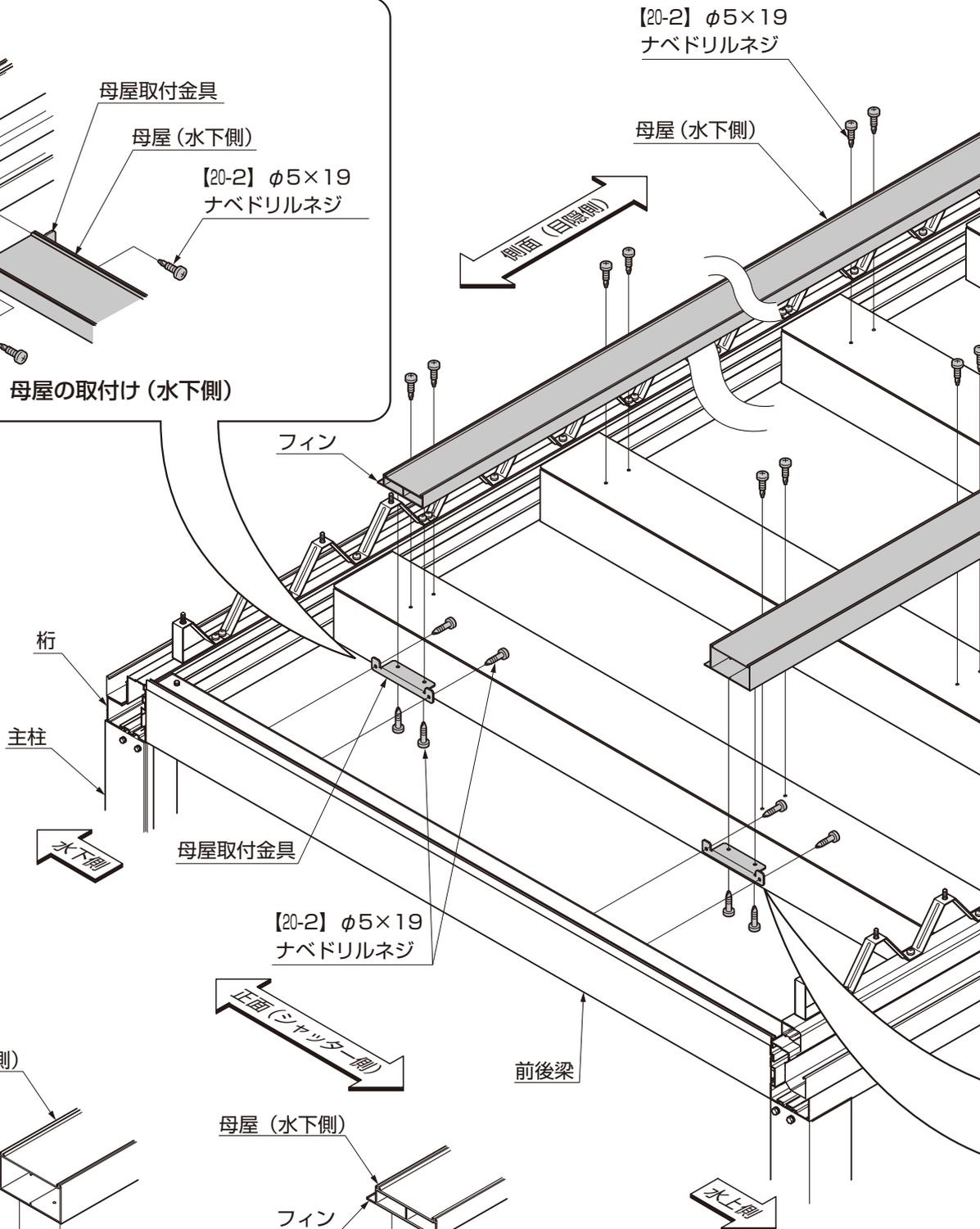


図13-1  
母屋取付金具の取付け (水上側)

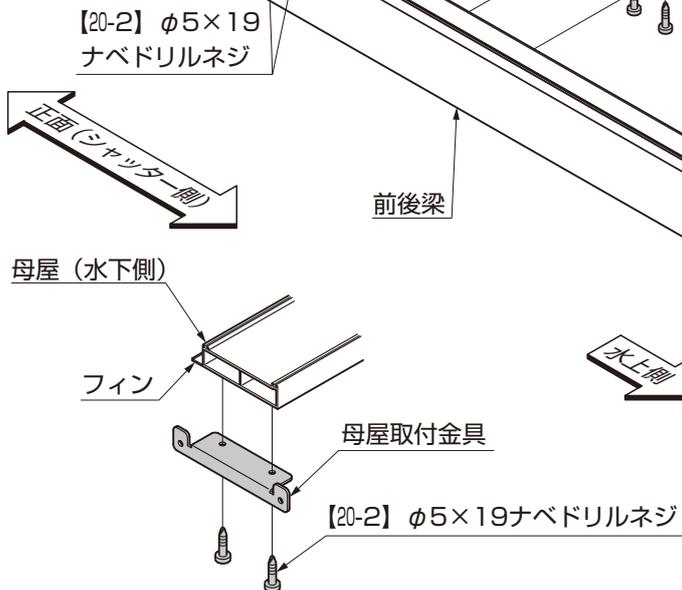
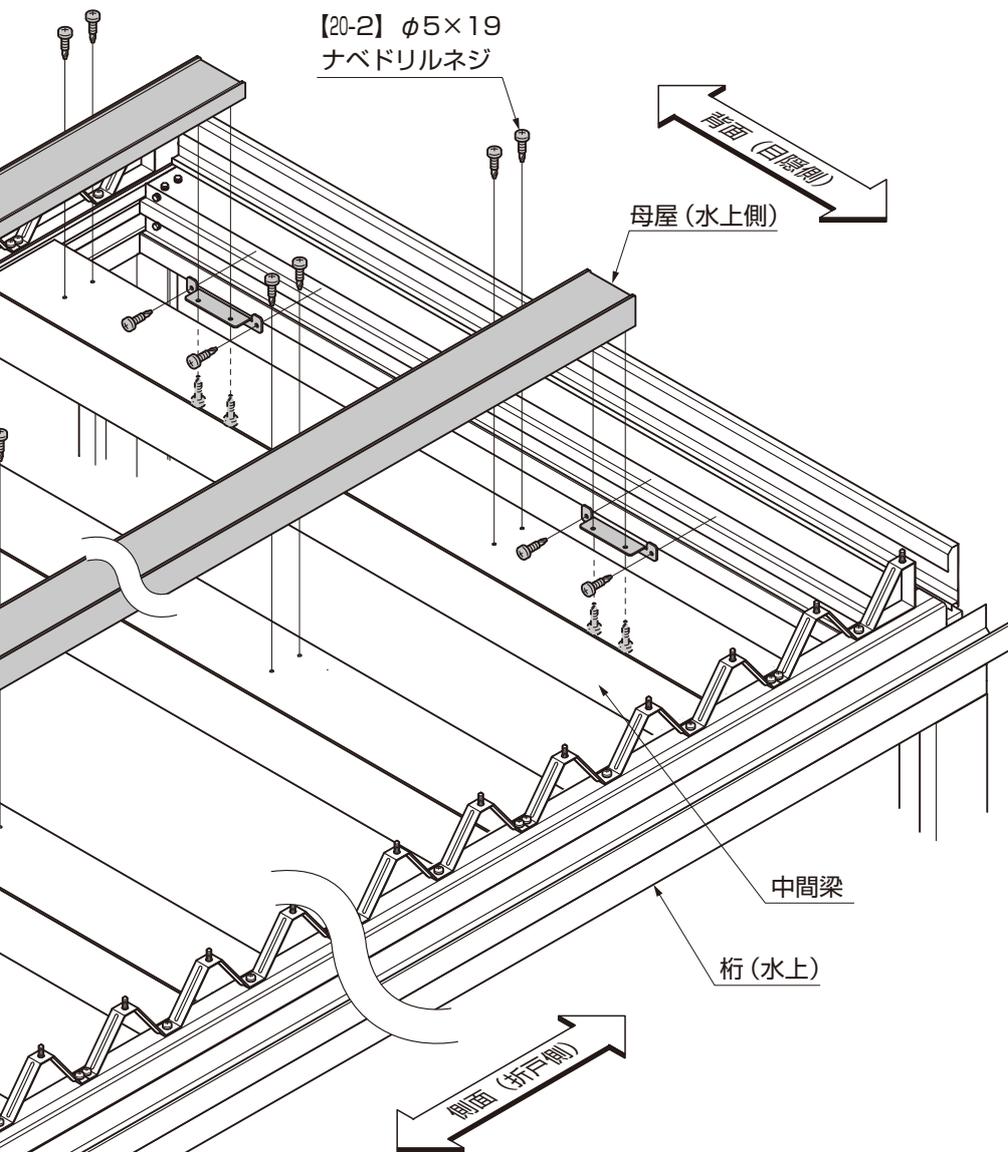


図13-2  
母屋取付金具の取付け (水下側)



①母屋取付金具を、母屋(水上側)と母屋(水下側)のそれぞれ両端に【20-2】で取付けてください。

(図13-1、図13-2参照)

②母屋(水上側)と母屋(水下側)を中間梁の上部に【20-2】で取付けてください。

#### ポイント

●母屋(水上側)と母屋(水下側)を逆に取付けないでください。断面の高度が高い方が母屋(水上側)に、低い方が母屋(水下側)になります。

(図13-1、図13-2参照)

③母屋(水上側)の端部の母屋取付金具を、前後梁に【20-2】で取付けてください。(図13-3参照)

④母屋(水下側)も同様に母屋取付金具を、前後梁に【20-2】で取付けてください。(図13-4参照)

#### 補足

●前後梁には、母屋取付金具取付け用の下穴(※1)があいています。

(図13-3参照)

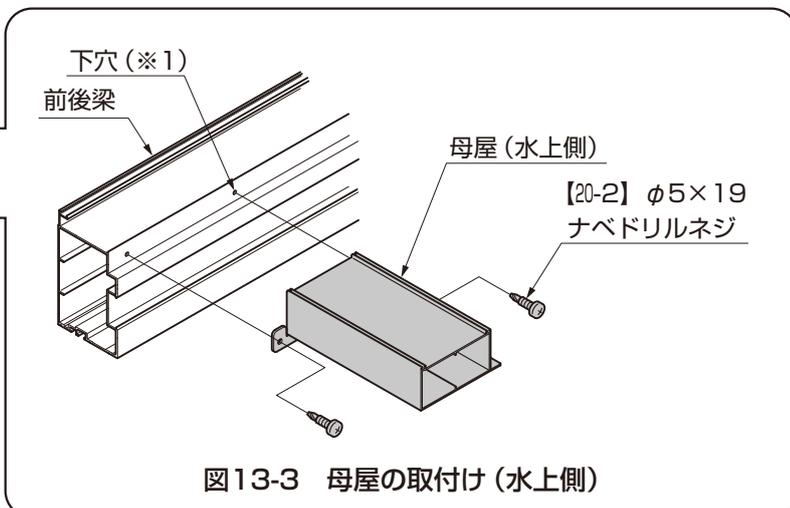
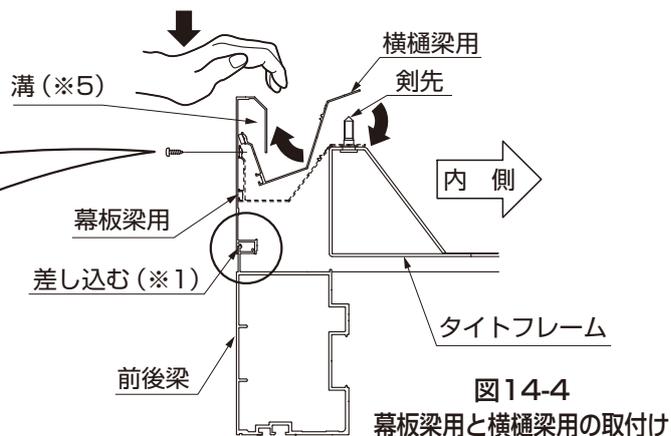
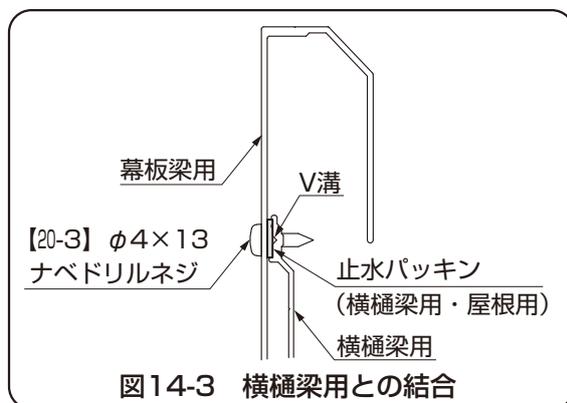
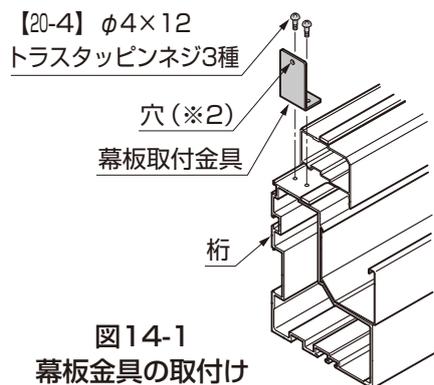
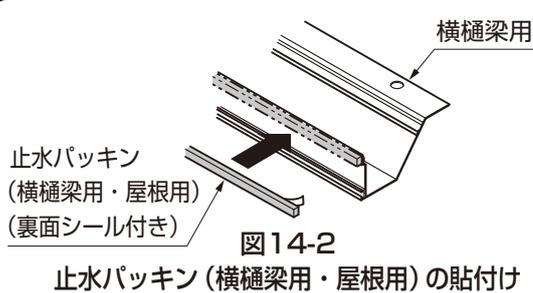
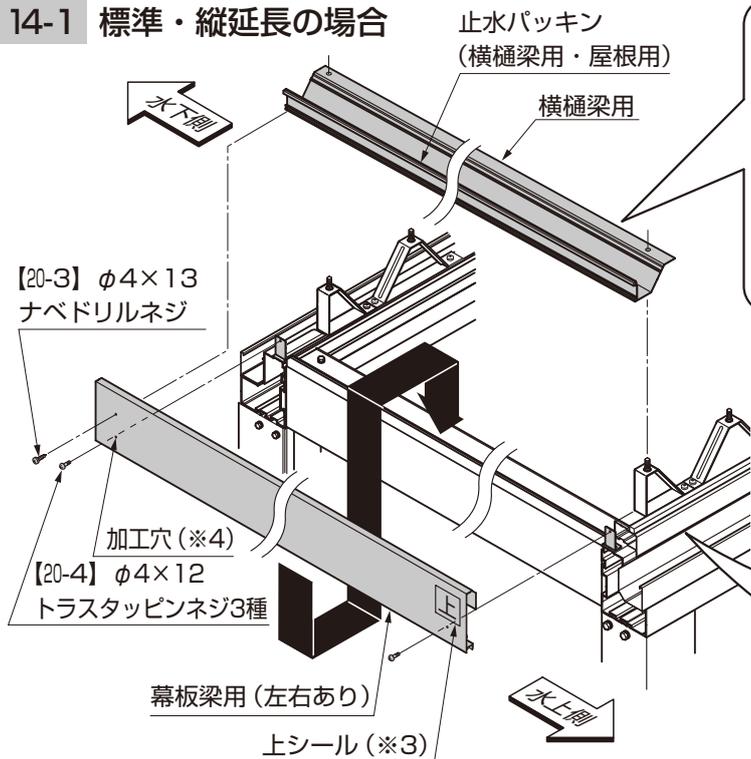


図13-3 母屋の取付け(水上側)

## 14. 幕板梁用・横樋梁用の取付け

### 14-1 標準・縦延長の場合



- ①幕板取付金具を桁の上面端部に【20-4】で取付けてください。(図14-1参照)
- ②横樋梁用の外側の縦面に、止水パッキン横樋梁用・屋根用の裏面シールをはがし、貼付けてください。(図14-2参照)
- ③横樋梁用の穴をタイトフレーム端部の剣先部に挿入してください。(図14-4参照)
- ④幕板梁用の下部を前後梁上部に差し込んで(※1)、幕板梁用の両端の下の穴と幕板取付金具の穴(※2)を【20-4】で取付けてください。(図14-1、図14-4参照)

#### ポイント

- 幕板梁用の上シール(※3)を水上側に向けて取付けてください。
- 横樋梁用を幕板梁用の溝(※5)に差し込むように回転させて取付けてください。(図14-4参照)
- 幕板梁用を上から手で押さえて、幕板取付金具の穴(※2)と幕板梁用の加工穴(※4)の取付け位置を合わせて取付けてください。

- ⑤幕板梁用の上の水下側の穴と、横樋梁用のV溝を【20-3】で取付けて結合してください。

#### 補足

- 横樋梁用のV溝は、止水パッキン(横樋梁用・屋根用)の貼付け位置となります。

## 14-2 横延長・縦横延長の場合

### (1) 横樋梁用の連結

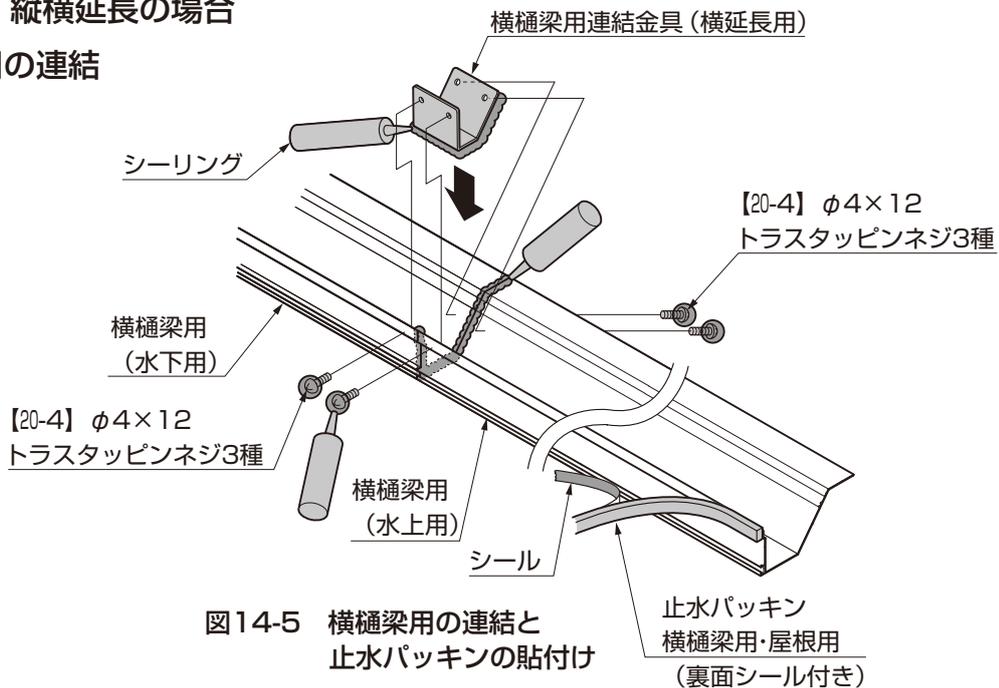


図14-5 横樋梁用の連結と止水パッキンの貼付け

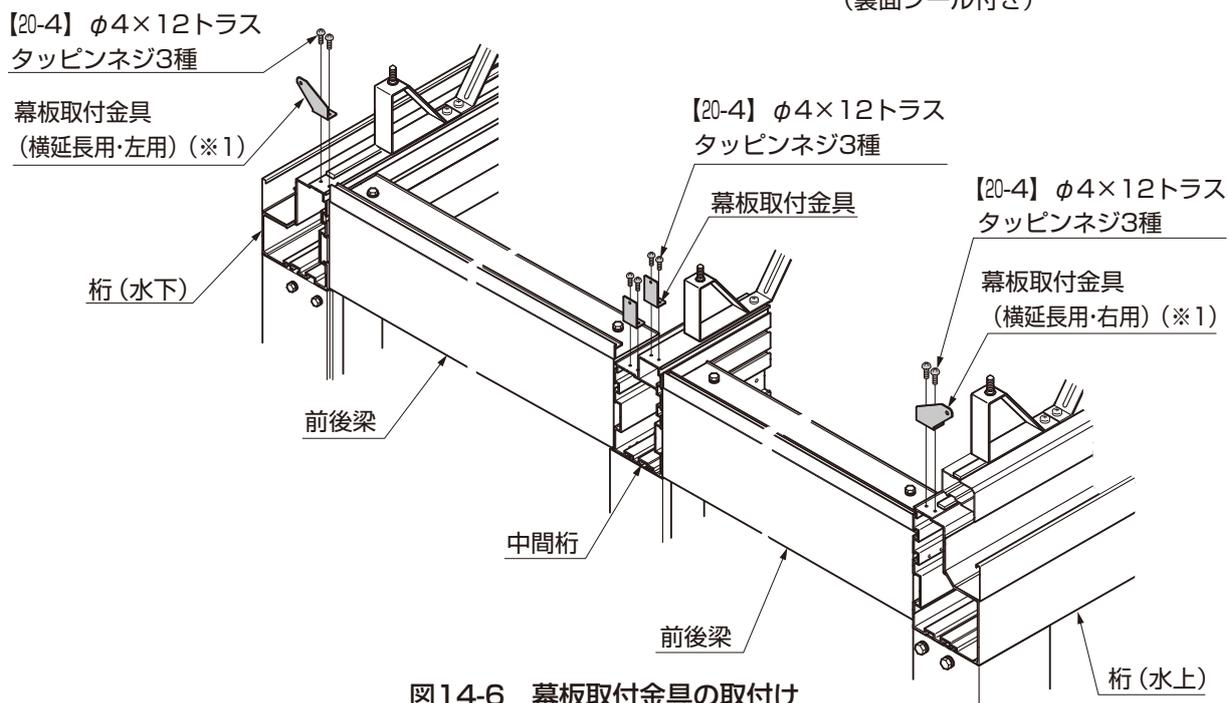


図14-6 幕板取付金具の取付け

①幕板取付金具と幕板取付金具 (横延長用) を、各桁の上面に【20-4】で取付けてください。(図14-6参照)

#### ポイント

●幕板取付金具 (横延長用) (※1) は左右があります。(図14-6参照)

②横樋梁用 (水上用) と横樋梁用 (水下用) を横樋連結金具と【20-4】で連結してください。(図14-5参照)

③横樋梁用に止水パッキン横樋梁用・屋根用の裏面シールをはがして貼付けてください。(図14-5参照)

#### ポイント

●横樋梁用連結金具は必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因となります。(図14-5参照)

# 14. (つづき)

## (2) 横樋梁用と幕板梁用の取付け

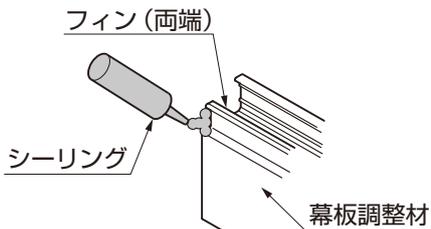
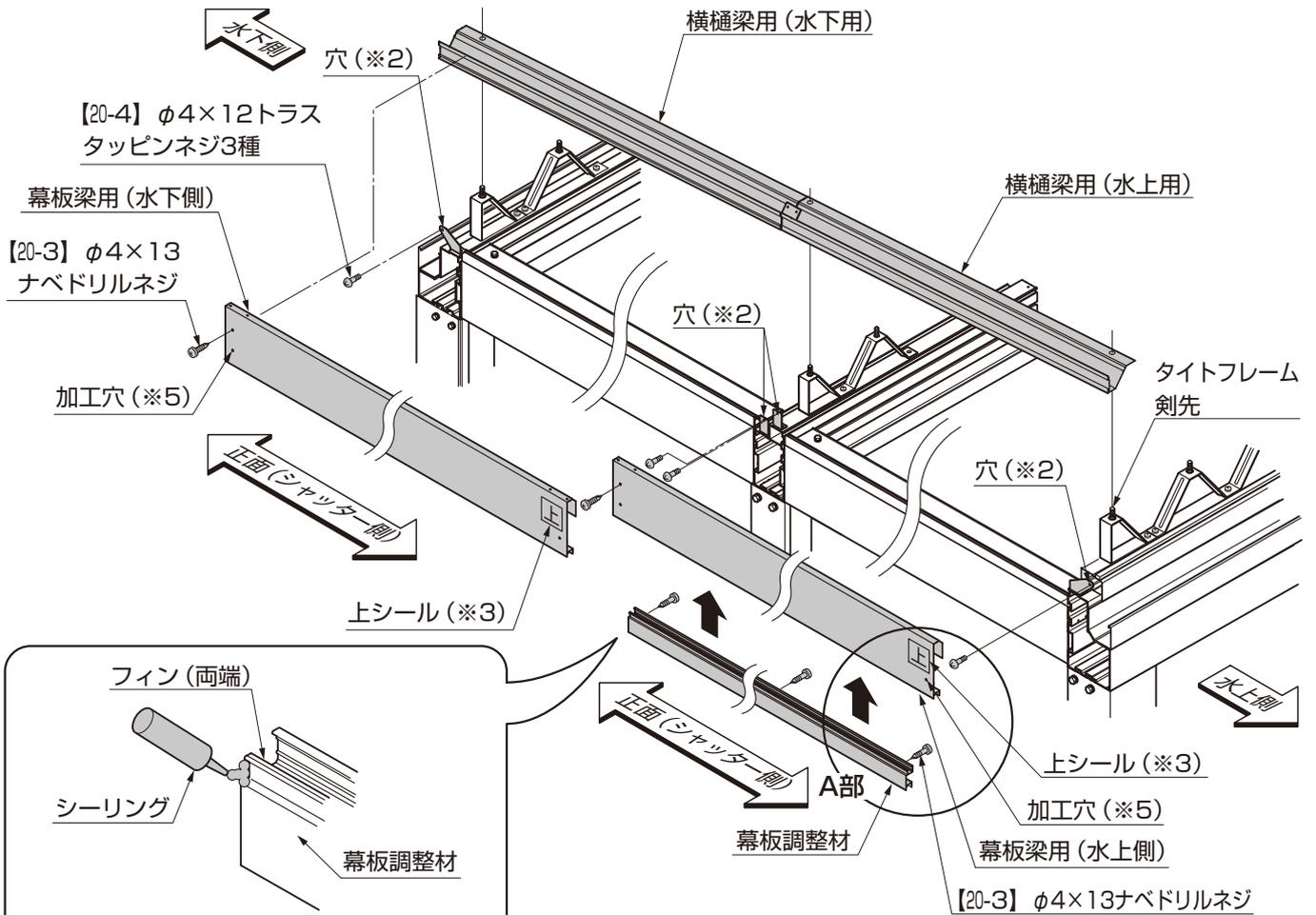


図14-8 幕板調整材の両端のシーリング

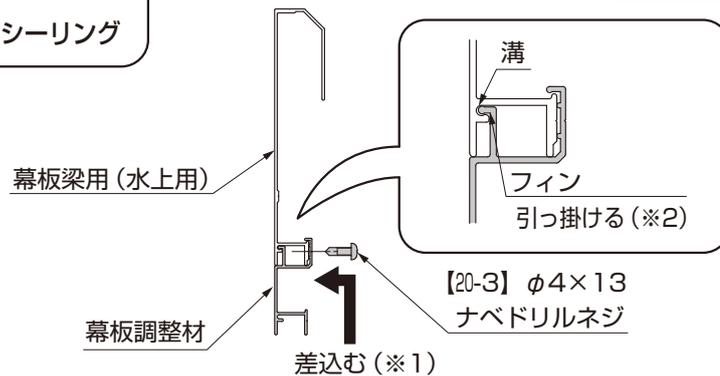


図14-7 A部詳細図

①幕板梁用 (水上側) に、幕板調整材の上部を差込んで (※1)、[20-3] で裏面から取付けてください。(図14-7参照)

### ポイント

- 幕板調整材の両端のフィン部に、シーリングをしてください。(図14-8参照)
- 幕板梁用の溝に、幕板調整材のフィンを引っ掛けるように取付けてください。(※2) (図14-7参照)

②横樋梁用の穴を各タイトフレーム端部の剣先に挿入してください。

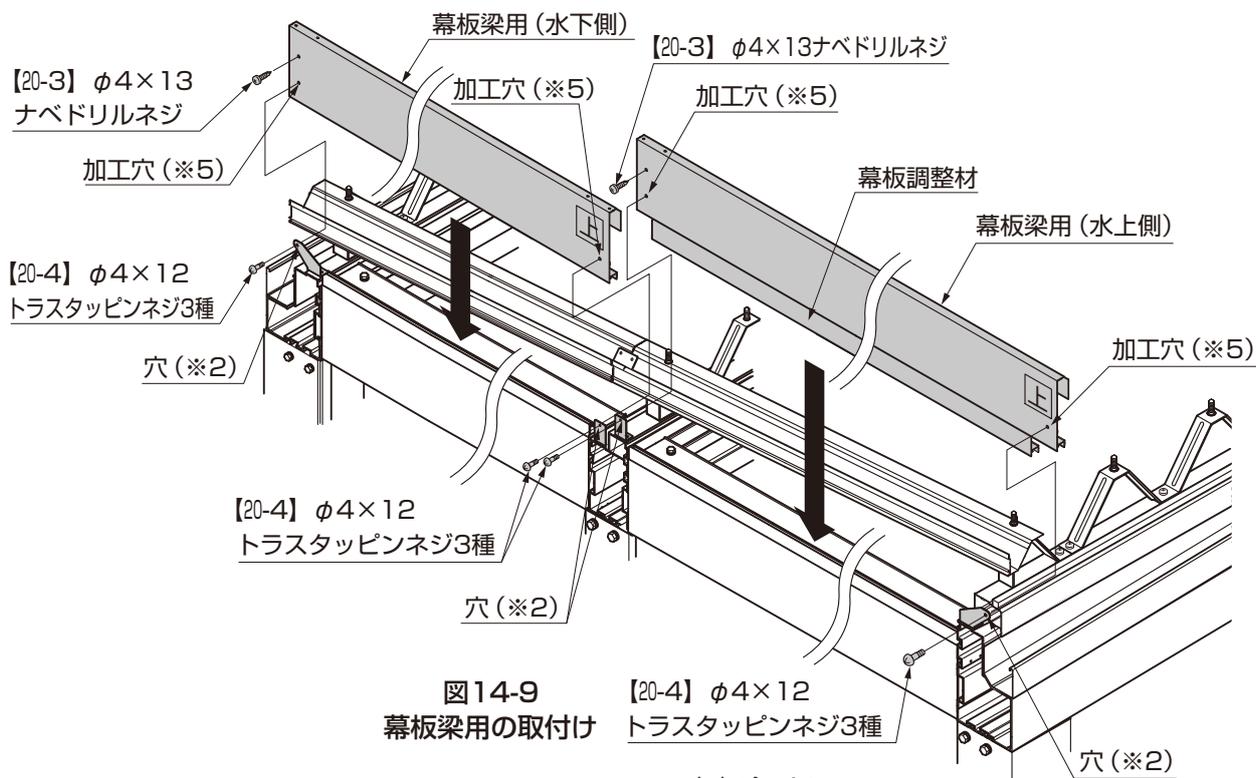


図14-9 幕板梁用の取付け

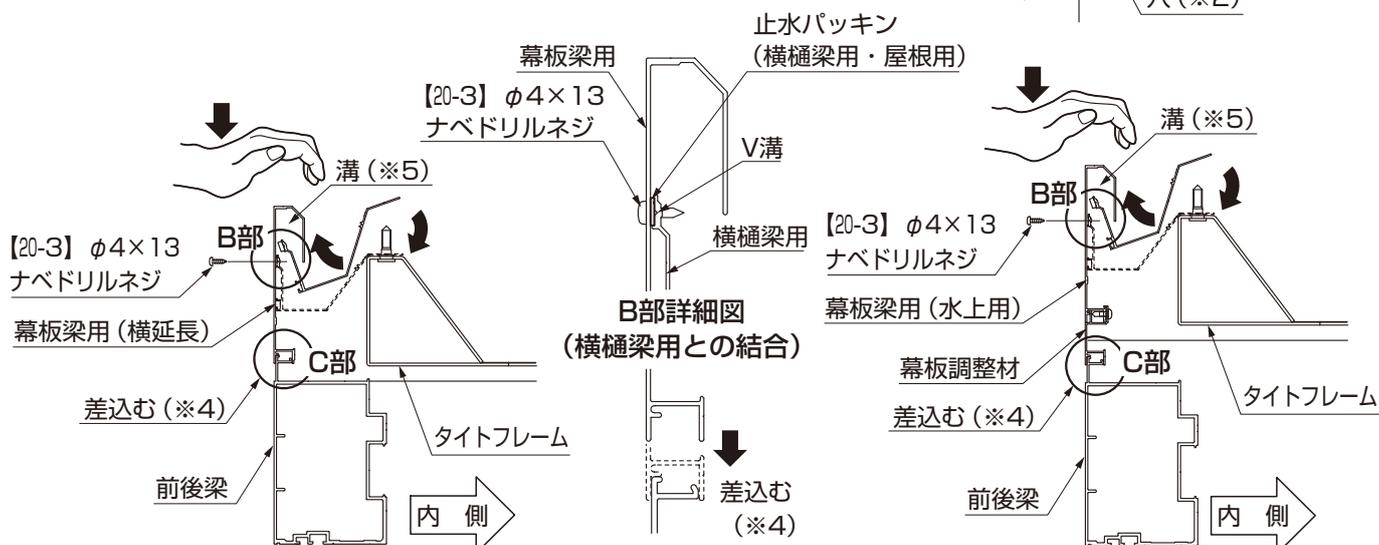


図14-10 幕板梁用の取付け (水下側)

C部詳細図

図14-11 幕板梁用・幕板調整材の取付け (水上側)

- ③組付けた幕板調整材の下部を、前後梁上部に差込んで(※4)、幕板取付金具に【20-4】で取付けてください。(図14-9参照)  
 ④幕板梁用(水下側)を、前後梁上部に差込んで(※4)、幕板取付金具に【20-4】で取付けてください。(図14-9参照)

#### ポイント

- 横樋梁用を幕板梁用の溝(※5)に差込むように回転させて取付けてください。(図14-10、図14-11参照)
- 幕板梁用の「上」シール(※3)を水上側に向けて取付けてください。
- 幕板梁用を上から手で押さえて各幕板取付金具の穴(※2)と幕板梁用の加工穴(※5)の取付け位置を合わせて取付けてください。

- ⑤幕板梁用の水下側の上の穴と、横樋梁用のV溝を【20-3】で取付けて結合してください。(図14-9、図14-10参照)

#### 補足

- 横樋梁用のV溝は、止水パッキン(横樋梁用・屋根用)の貼付け位置となります。

## 14. (つづき)

### (3) 止水クッション材(幕板連結部用)の取付け

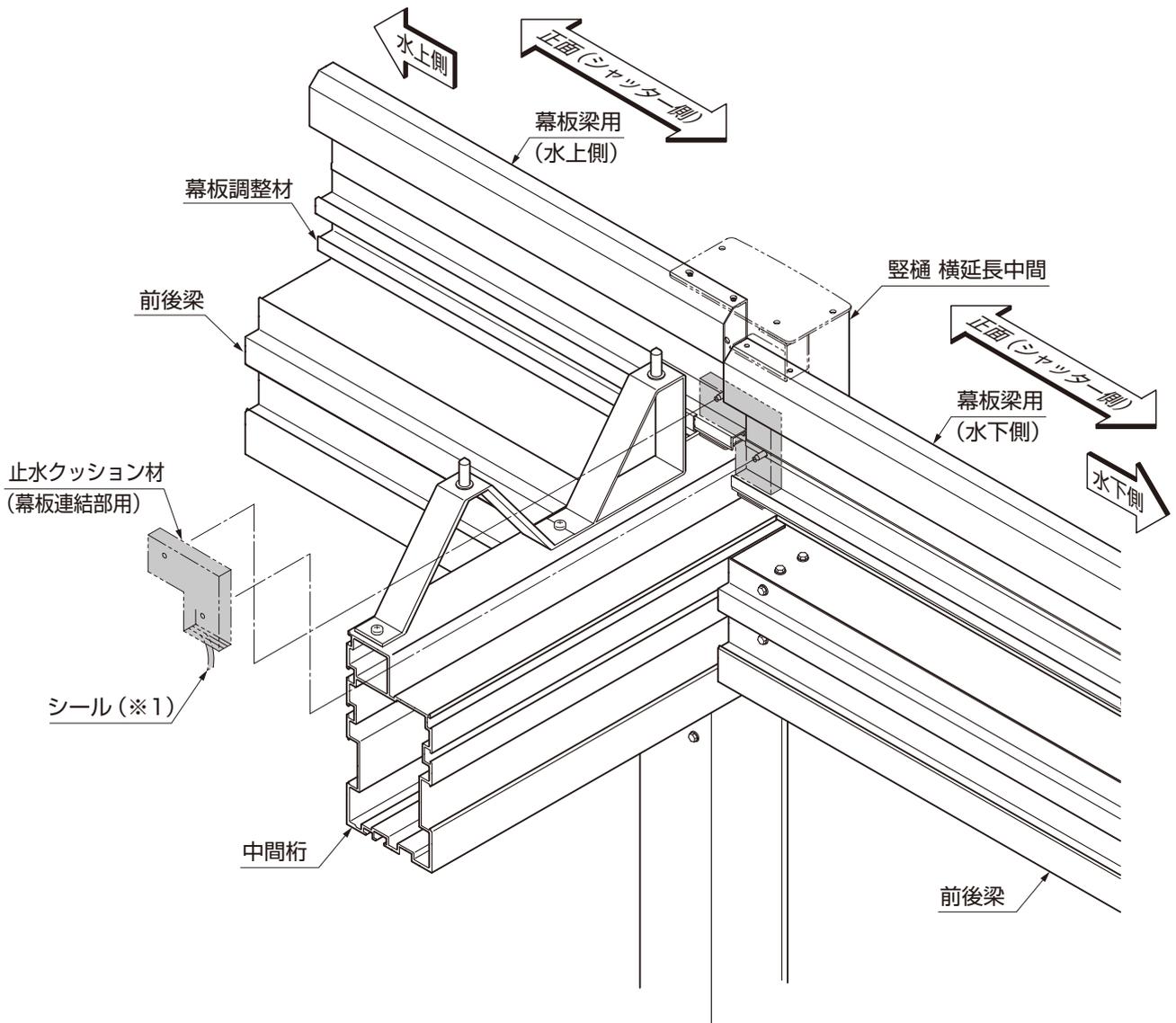
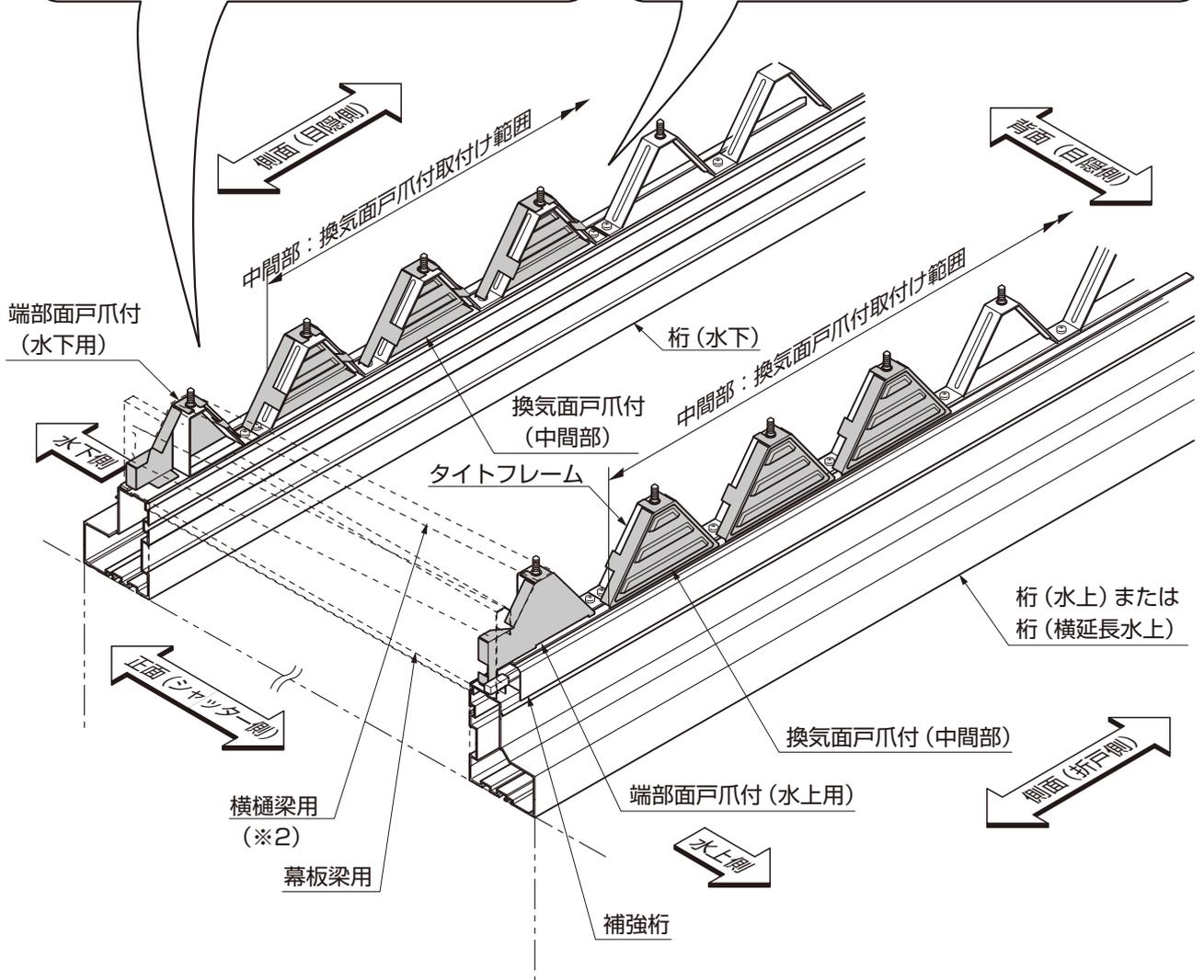
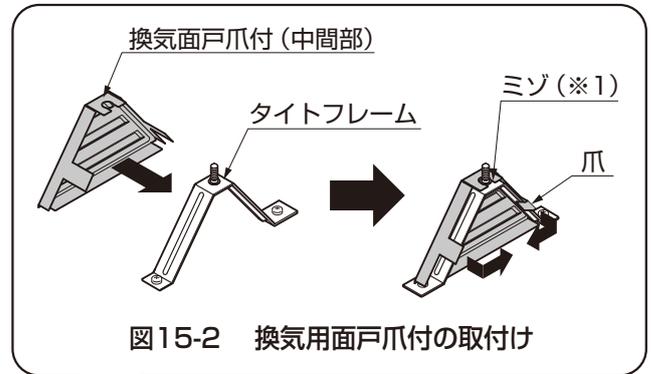
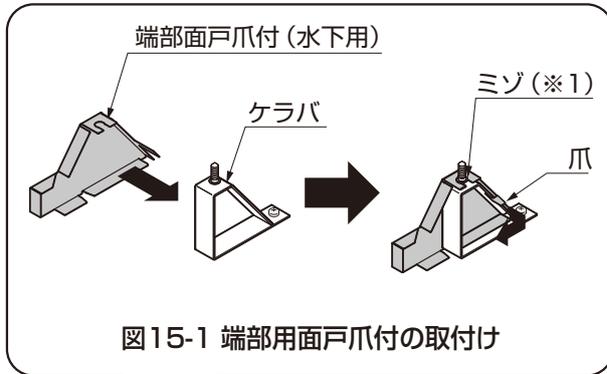


図14-12 止水クッション材(幕板連結部用)の取付け

①止水クッション材(幕板連結部用)の下面のシール(※1)をはがして、幕板梁用の内側から貼付けてください。

# 15. 換気面戸・端部面戸の取付け

## 15-1 換気面戸爪付・端部面戸爪付の取付け



①タイトフレームの外側に端部面戸爪付、換気面戸爪付を取付けてください。

### ポイント

- 面戸のミゾ(※1)にタイトフレームのボルトが入るように取付けてください。(図15-1、図15-2参照)
- 面戸の爪をタイトフレームに合わせて折り曲げてください。
- 端部面戸爪付は、横樋梁用(※2)を上から持ち上げながら、正面から差込むように取付けてください。

# 15. (つづき)

## 15-2 桁の止水パッキンの貼付け

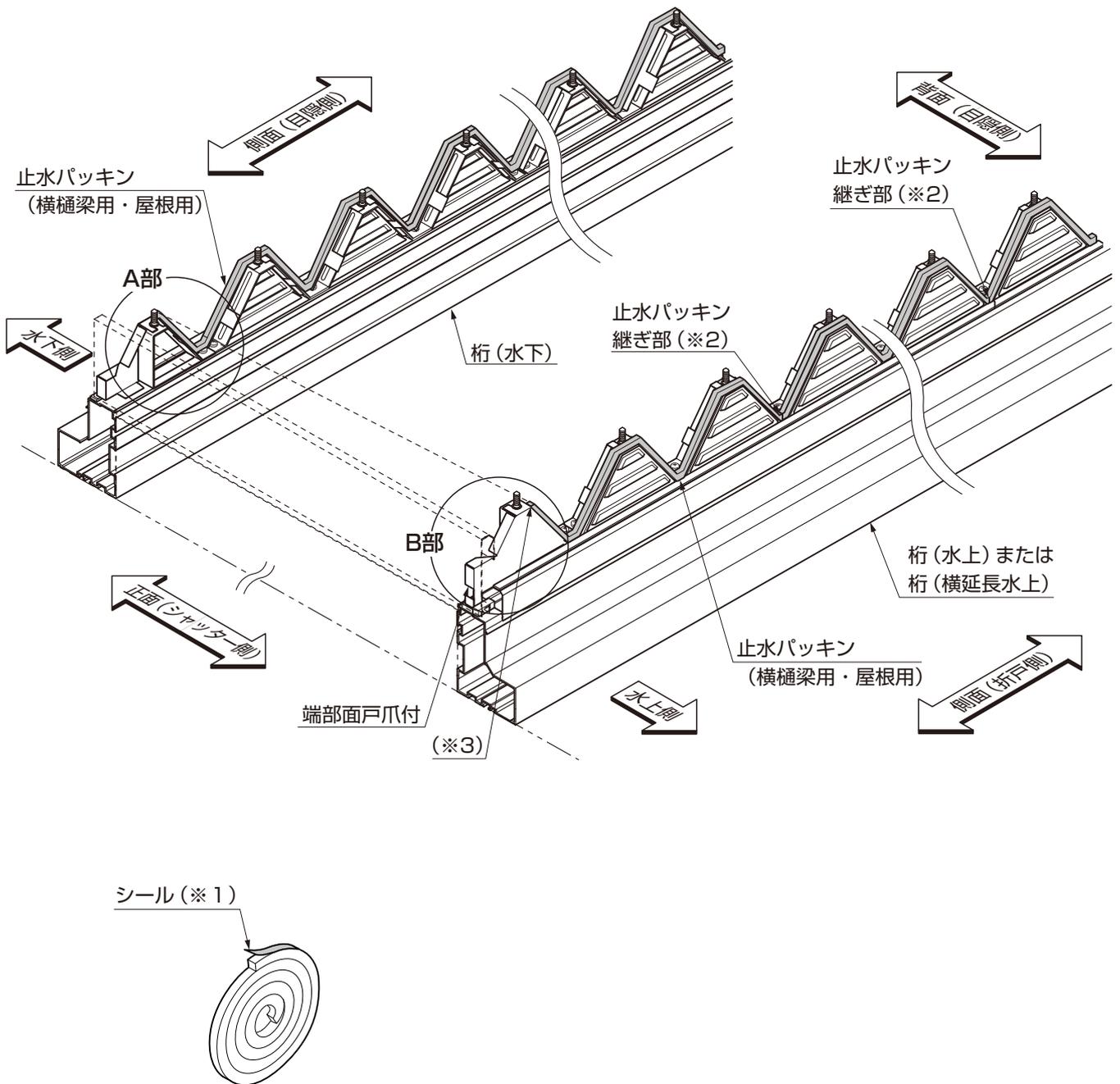


図15-3 止水パッキン  
L=1000

4 本体の施工

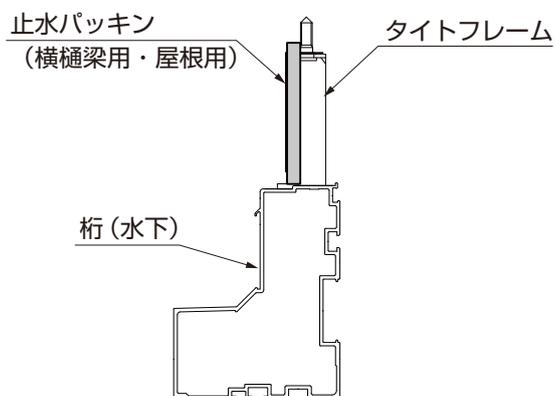


図15-4 桁(水下)の止水パッキンの貼付け位置

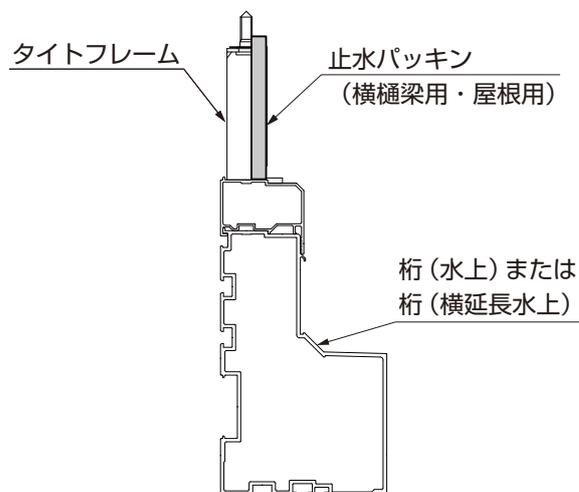


図15-5 桁(水上)の止水パッキンの貼付け位置

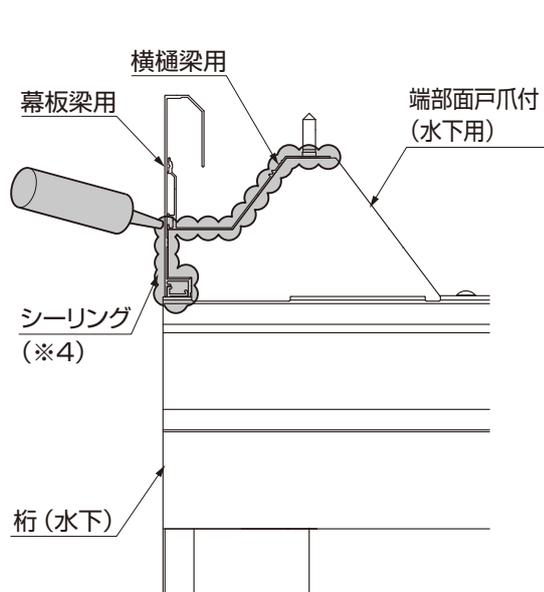


図15-6 A部詳細図  
水下側端面戸

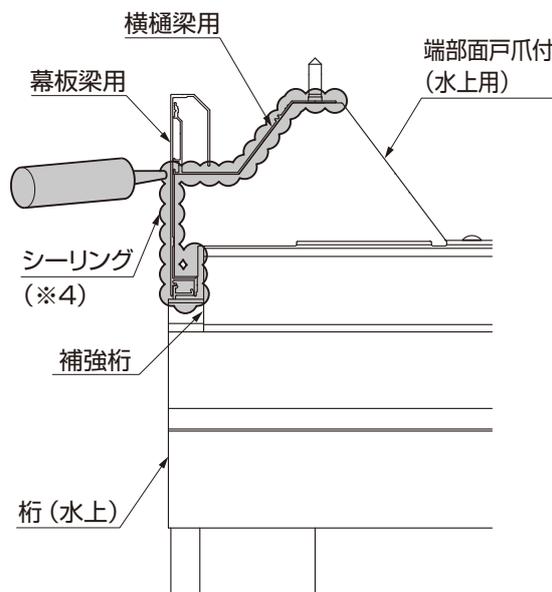


図15-7 B部詳細図  
水上側端面戸

- ① 止水パッキンの裏面にあるシールをはがしてください。(※1)
- ② 面戸上面外側に止水パッキンを貼付けてください。(図9-4参照)

#### ポイント

- 止水パッキンの継ぎ部は、すき間のないように突き付けて(※2) 貼付けてください。雨漏りの原因になります。
- 端部面戸爪付は、三角の頂辺(※3)まで、横樋梁用を持ち上げながら、止水パッキンを貼ってください。

- ③ 端部面戸爪付の水上用と水下用の端部にシーリング(※4)をしてください。(図15-6、図15-7参照)

# 16. 屋根材の取付け

## 16-1 屋根材の納まり

### ⚠ 注意

●折板屋根材の作業は、かならず手袋を着用してください。端部が鋭利のため、重大なケガを起こす危険性があります。

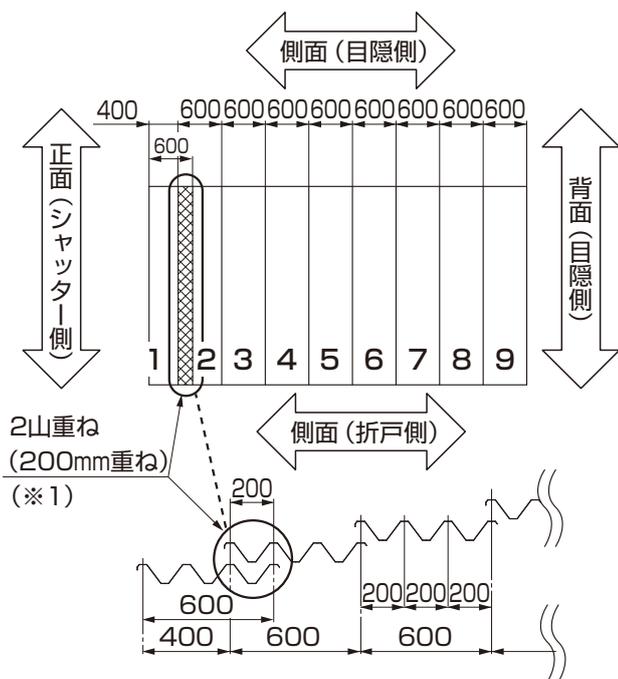


図16-1 L54の場合

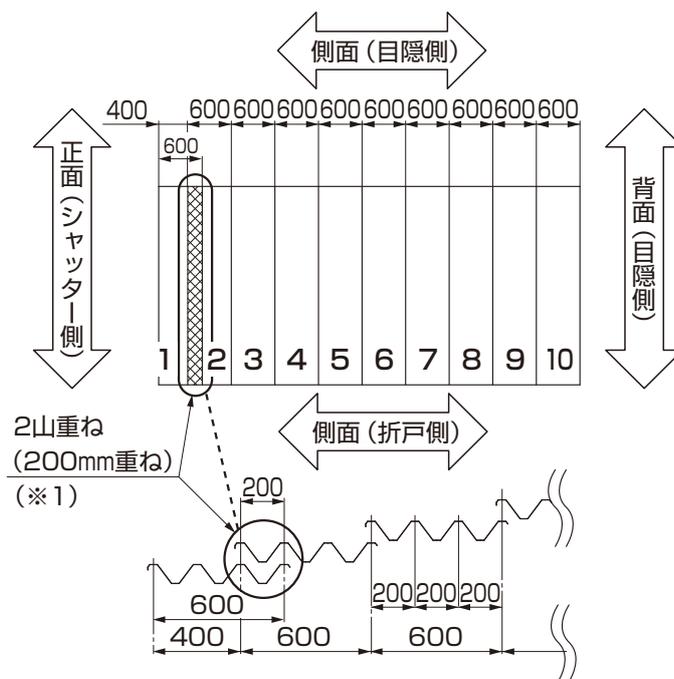


図16-2 L60の場合

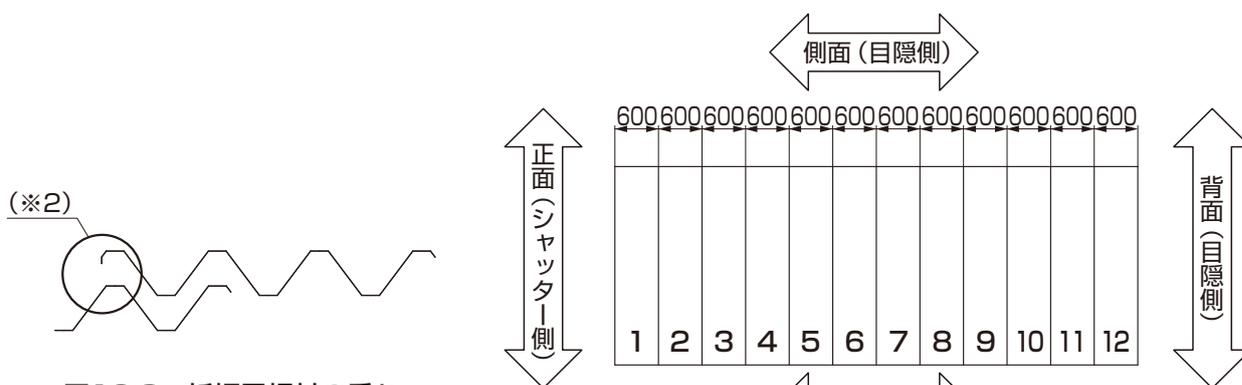


図16-3 折板屋根材の重ね

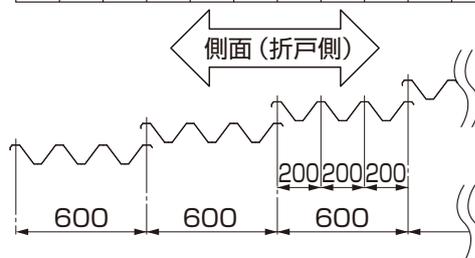


図16-4 L74の場合

①折板屋根材の位置を確認してください。

### 🔑 ポイント

- 標準L54、L60・横延長の場合、正面から2枚目は2山(200mm)重ねてください。(※1)
- 折板屋根材は、正面から重ねていく場合は、必ず山の端部が深い方(※2)を前にして重ねてください。(図16-3参照)

## 16-2 折板屋根材の取付け（標準の場合）

### ⚠ 注意

●折板屋根材の作業は、必ず手袋を着用してください。端部が鋭利なため、重大なケガを起こす危険性があります。

### (1) 折板屋根材の加工

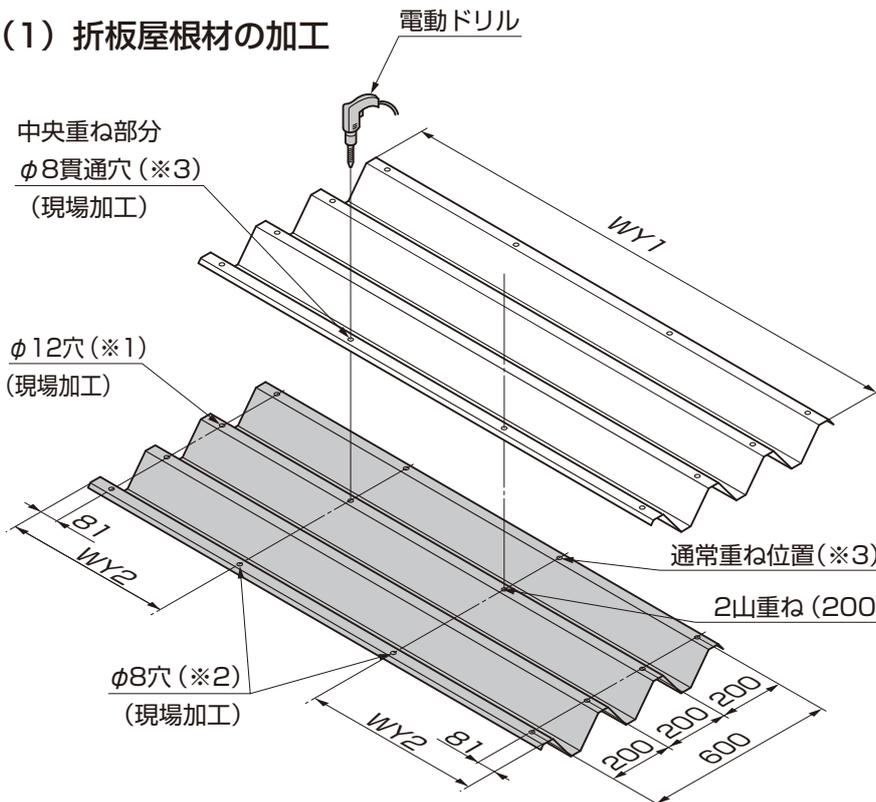


図16-5 折板幅と  
固定金具取付用加工穴位置

表16-1

	WY1	WY2
W28	2797	880
W32	3197	1010
W34	3397	1080
W38	3797	1210

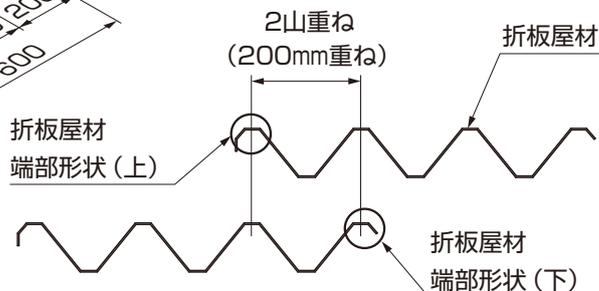


図16-6 折板屋根材の上下

- ①折板屋根材の両端部に片側4ヶ所ずつ、合計8ヶ所φ12の穴(※1)をあけてください(図16-5参照)
- ②折板屋根材と折板屋根材を重ね合わせて、折板屋根材の中央部(※2)(※3)に等間隔で2ヶ所、φ8の下穴をあけてください。(図16-5参照)

### 🔑 ポイント

- 折板屋根材の下穴加工時の切粉は、掃除機等で完全に取り除いてください。
- ペフ付屋根材のペフは、キズが付きやすいため、取付けまで充分気を付けて施工してください。
- 重ね合わせ部の中央のφ8の下穴は折板屋根材を貫通させてください。(※3)
- 標準L54、L60の場合、正面から2枚目は2山(200mm)重ね合わせてください。(図16-6参照)
- 折板屋根材の端部形状には上下がありますので、図16-6にしたがって重ねあわせてください。
- 折板屋根材の中央のφ8の穴位置は、表16-1のWY2を参照してください。

### 🔧 補足

- WY1は折板幅、WY2は折板両端部からの穴加工ピッチとなります。(表16-1参照)

# 16. (つづき)

## 16-2 つづき

### (2) 折板屋根材取付け

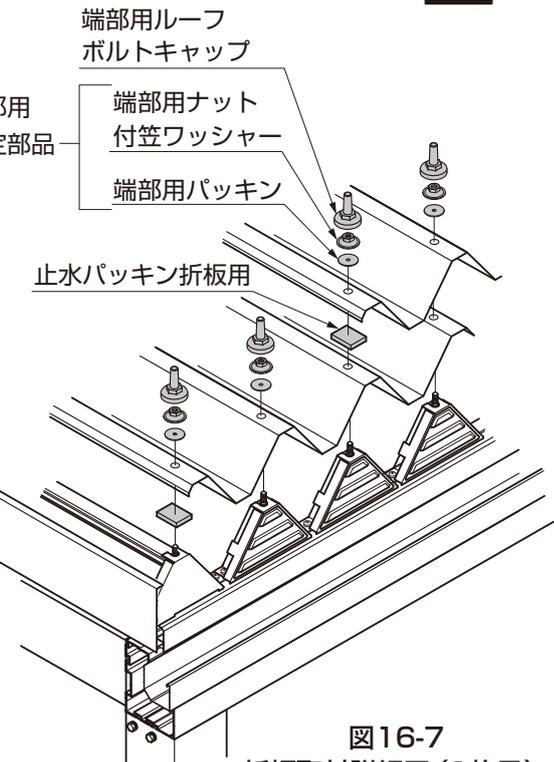
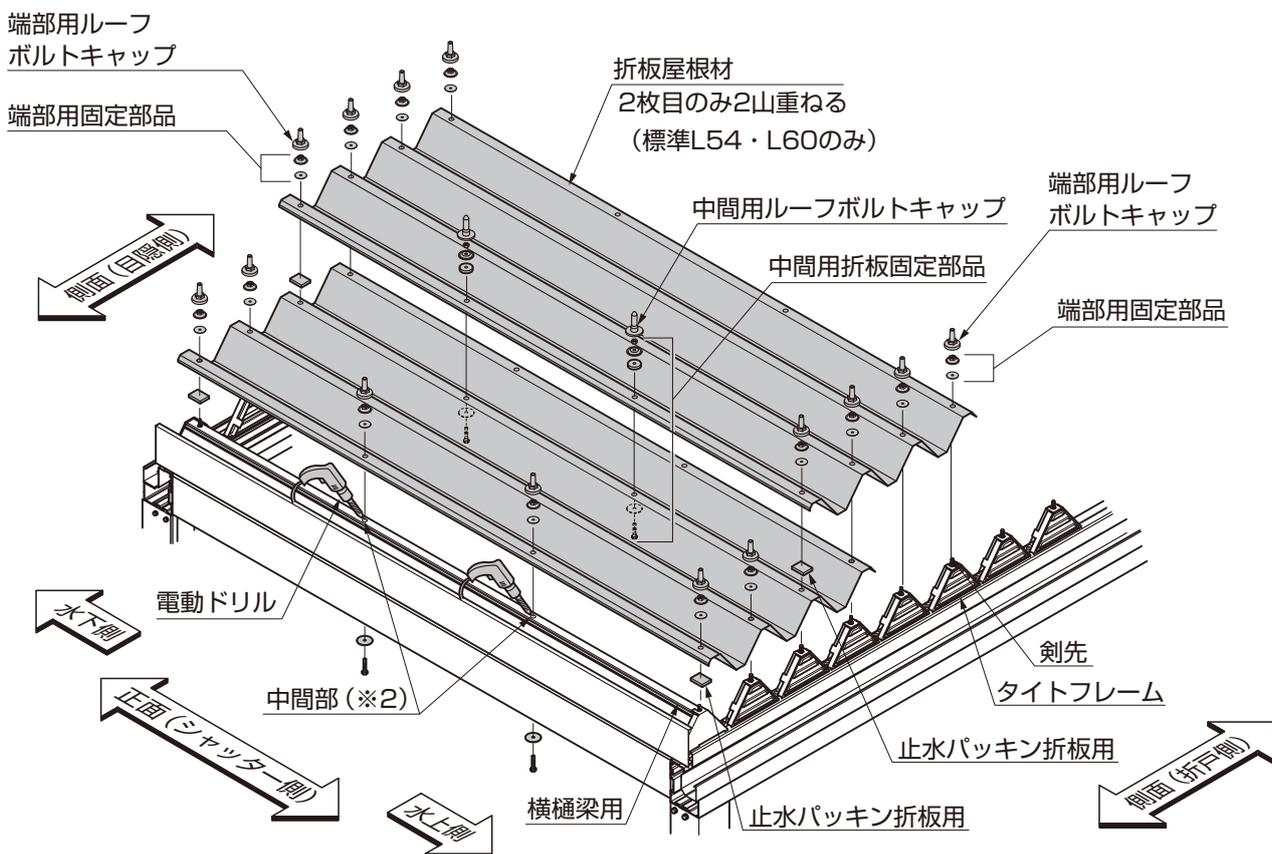


図16-7 折板取付詳細図(1枚目)

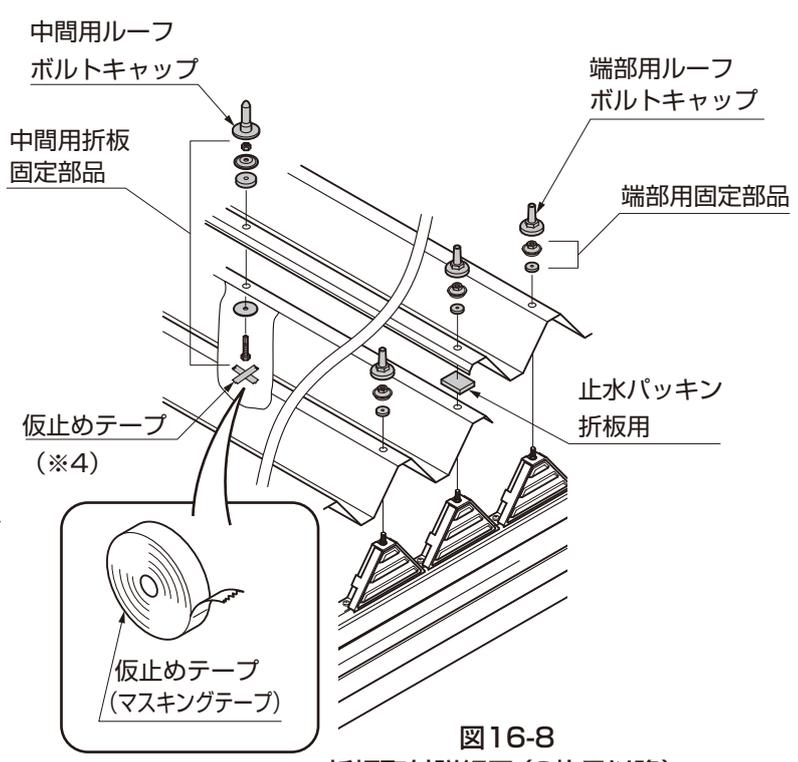


図16-8 折板取付詳細図(2枚目以降)

4 本体の施工

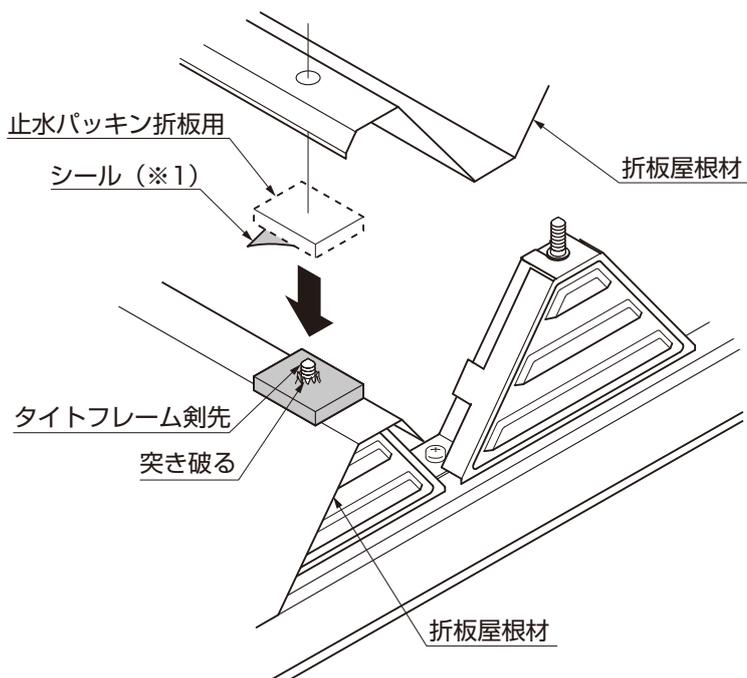


図16-9  
止水パッキン折板用の取付け

**注意**

- ポリカ折板の固定は締め過ぎに注意してください。  
割れるおそれがあります。

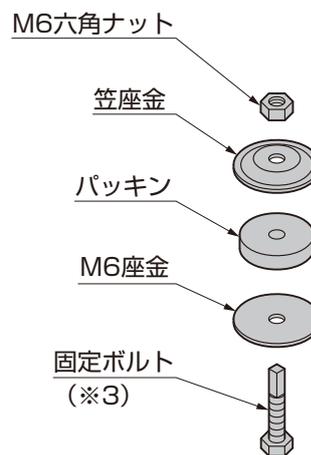


図16-10  
中間用折板固定部品

- ①止水パッキン折板用の裏板シール(※1)をはがし、正面(シャッター側)の横樋梁用のタイトフレームからでている剣先を突き破って貼付けてください。(図16-7、図16-9参照)

**ポイント**

- 止水パッキン折板用は、背面(目隠側)も同様に貼付けてください。

- ②1枚目の折板屋根材を正面(シャッター側)のタイトフレームから出ている剣先に、両端部の穴をあわせて載せてください。(図16-7参照)
- ③折板屋根材の中間部の穴に合わせて、横樋梁用の中間部に、φ8の穴(※2)をあけてください。

**ポイント**

- 横樋梁用の中間部のφ8の穴は、背面(目隠側)も穴をあけてください。

- ④止水パッキン折板用の裏板シール(※1)をはがし、折板屋根材の重ね合わせ部の剣先を突き破って、貼付けてください。その後、2枚目以降の折板屋根材を載せてください。(図16-8、図16-9参照)
- ⑤折板屋根材の両端部を、端部用固定金具で組付けてください。(図16-7、図16-8参照)
- ⑥横樋梁用と折板屋根材の中間部の下から、中間用折板固定部品の固定ボルト(※3)を差込んでください。(図16-8、図16-10参照)

**ポイント**

- 標準L54、L60の場合、正面から2枚目は2山(200mm)重ね合わせてください。

**補足**

- 中間用折板固定部品は、折板屋根材を2枚貫通して取付けてください。
  - 折板屋根材の下から差込んだ固定ボルト(※3)が落下しないように、仮止めテープ(※4)で仮止めしてください。
- ⑦中間用折板固定部品の部品すべてを締め付けたのち、仮止めテープをはがしてください。(図16-8参照)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

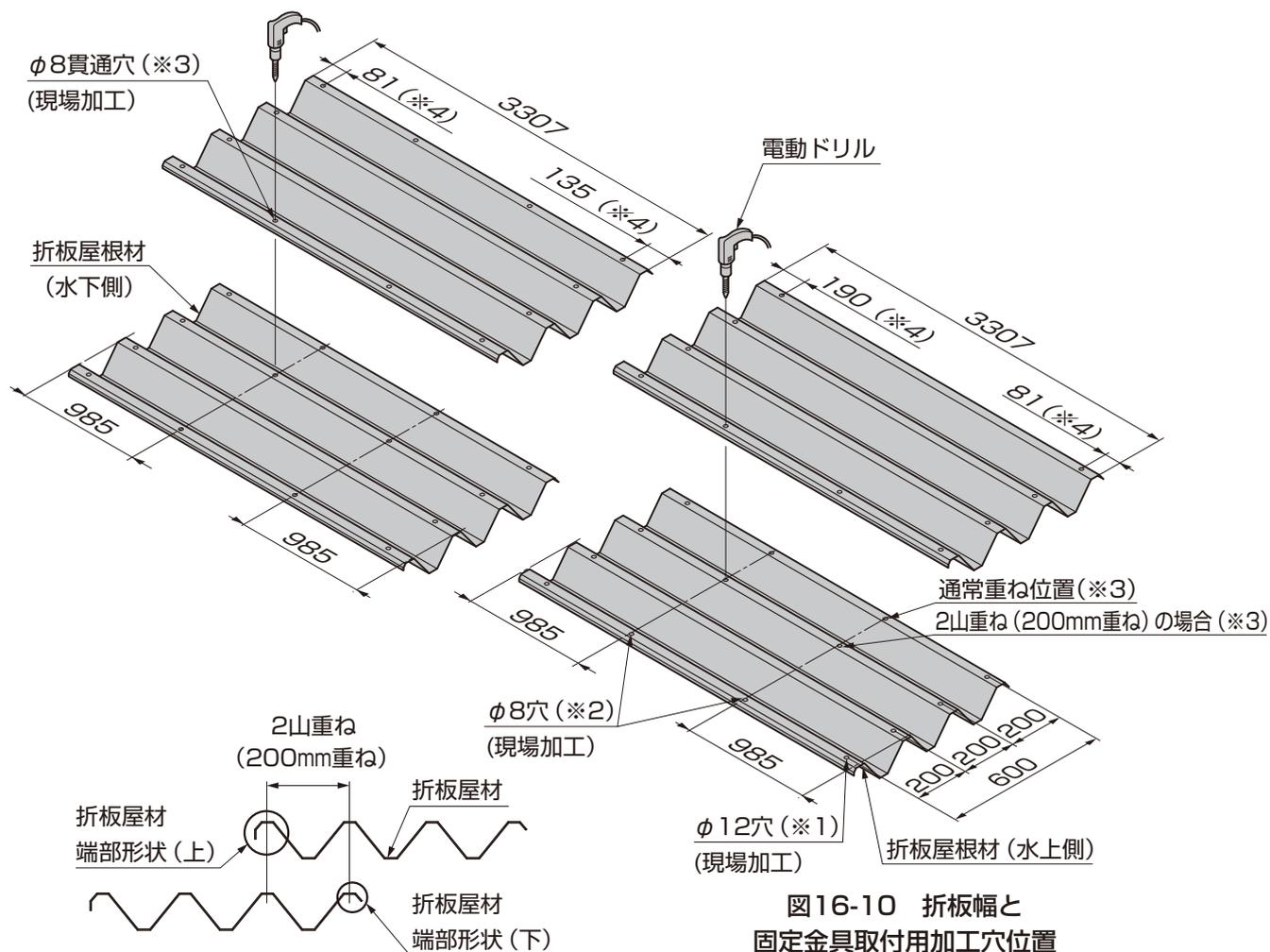
## 16. (つづき)

### 16-3 折板屋根材の取付け (横延長・縦横延長の場合)

#### ⚠ 注意

●折板屋根材の作業は、必ず手袋を着用してください。端部が鋭利なため、重大なケガを起こす危険性があります。

#### (1) 折板屋根材の加工



- ①折板屋根材の両端部に片側4ヶ所ずつ、合計8ヶ所φ12の穴(※1)をあけてください(図16-10参照)
- ②折板屋根材と折板屋根材を重ね合わせて、折板屋根材の中央部(※2)(※3)に等間隔で2カ所、φ8の下穴をあけてください。(図16-10参照)

#### 🔑 ポイント

- 折板屋根材の下穴加工時の切粉は、掃除機等で完全に取り除いてください。
- ペフ付屋根材のペフは、キズが付きやすいため、取付けまで充分気を付けて施工してください。
- 重ね合わせ部の中央のφ8の下穴は折板屋根材を貫通させてください。(※3)
- 横延長(L60)の場合、正面から2枚目は2山(200mm)重ね合わせてください。(図16-11参照)
- 折板屋根材の端部形状には上下がありますので、図16-11にしたがって重ねあわせてください。

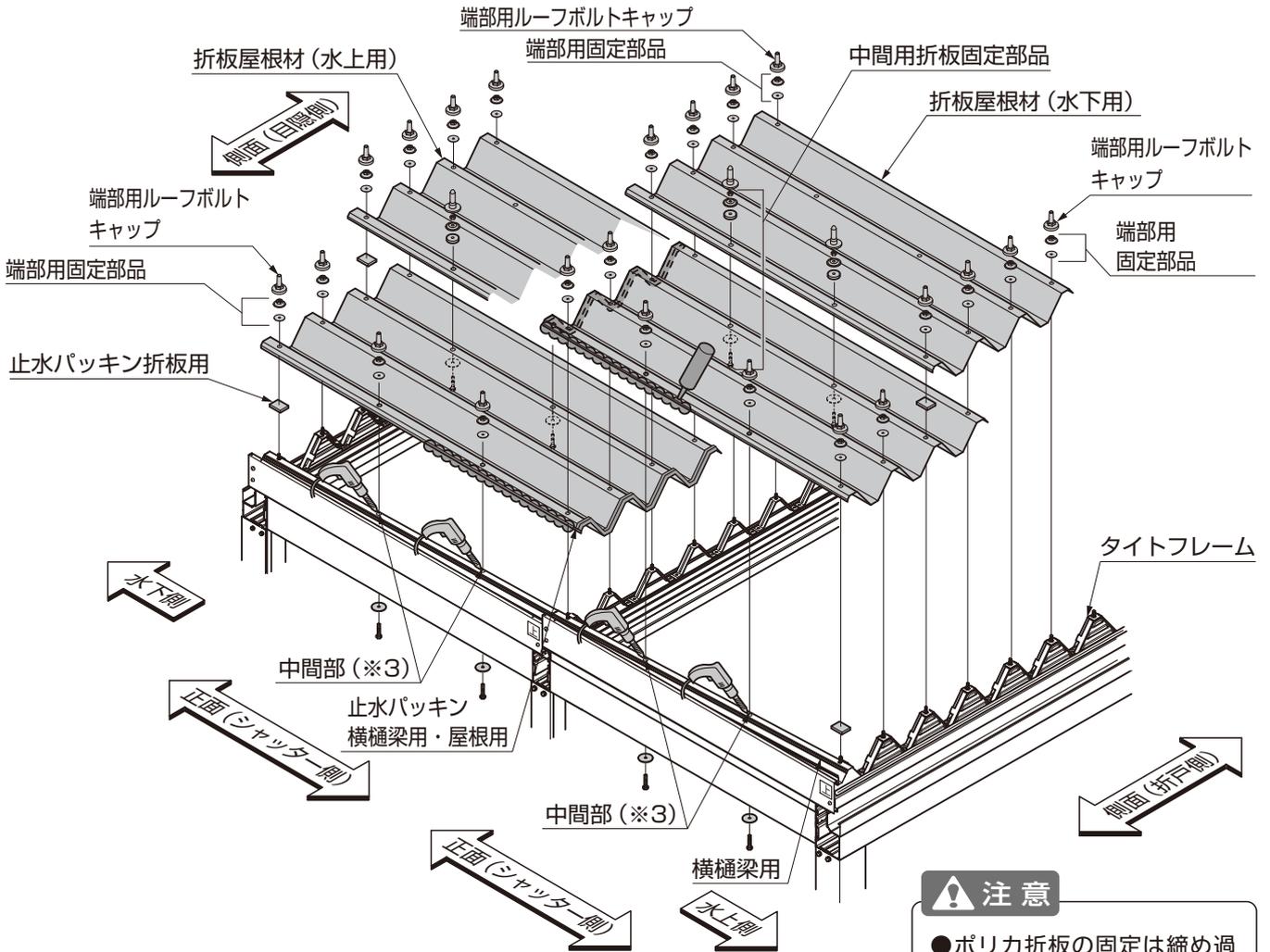
#### 📝 補足

- 折板屋根材の中央のφ8の穴位置は、折板両端部からの穴加工ピッチとなります。

# 16. (つづき)

## 16-2 つづき

### (2) 折板屋根材取付け



**注意**  
 ●ポリカ折板の固定は締め過ぎに注意してください。割れるおそれがあります。

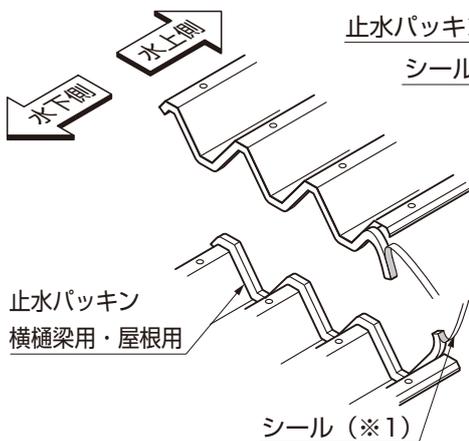


図16-12 止水パッキン 横樋梁用・屋根用の取付け

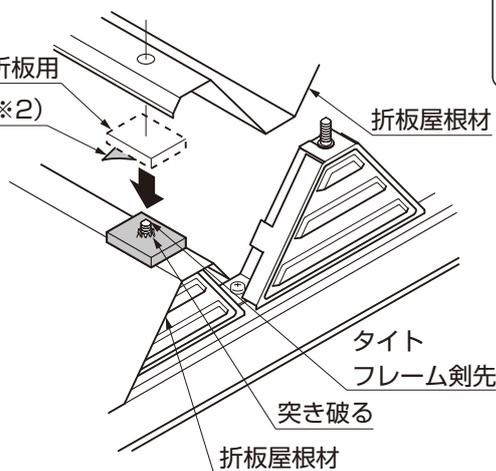


図16-13 止水パッキン 折板用の取付け

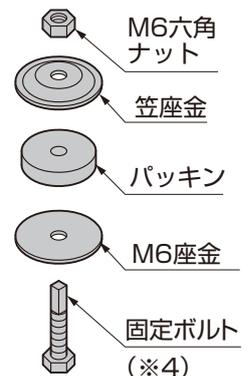


図16-14 中間用折板固定部品

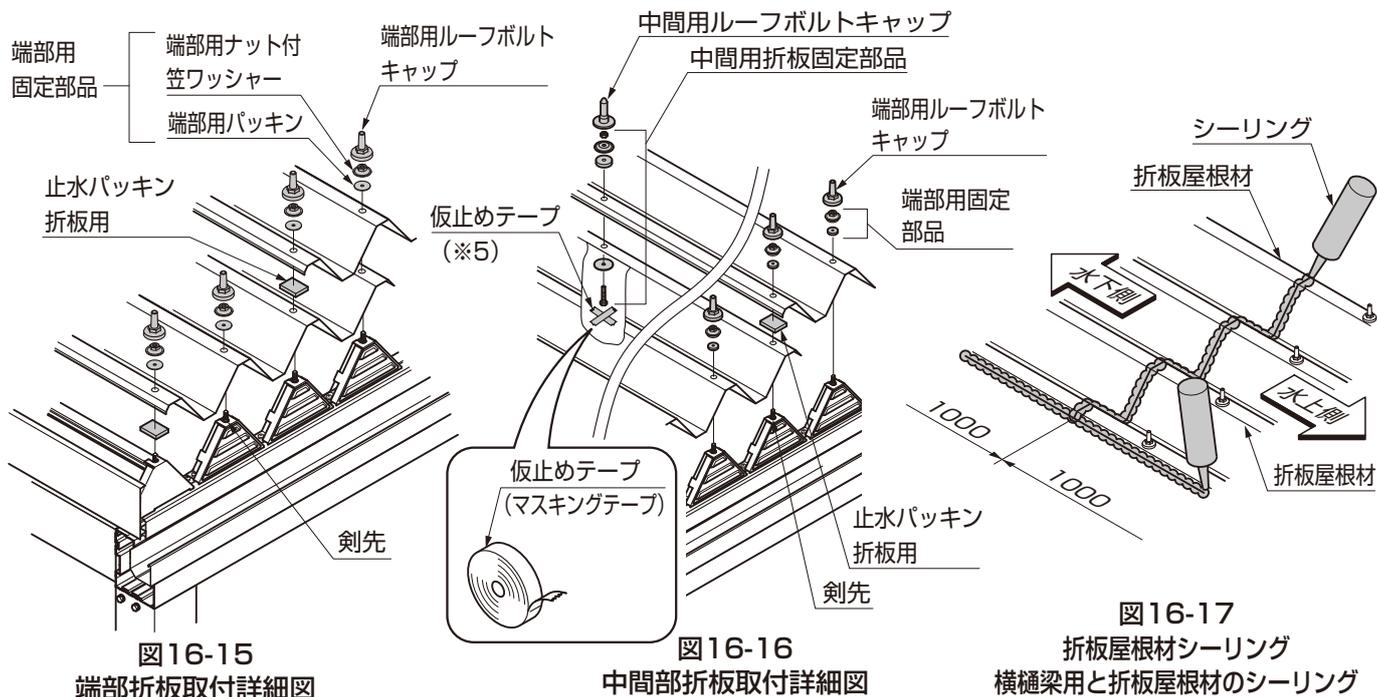


図16-15  
端部折板取付詳細図

図16-16  
中間部折板取付詳細図

図16-17  
折板屋根材シーリング  
横樋梁用と折板屋根材のシーリング

- ① 水下側折板屋根材と水上側折板屋根材の中間重なり部分に、止水パッキン横樋梁用・屋根用のシール（※1）をはがして貼付けてください。（図16-12参照）
- ② 止水パッキン折板用のシール（※2）をはがし、横樋タイトフレームからでてくる剣先を突き破って貼付けてください。（図16-13参照）

#### ポイント

- 止水パッキン横樋梁用・屋根用は、水下側の場合は上側に、水上側の場合は下側に貼付けてください。（図16-12参照）
- 止水パッキン折板用は背面（目隠側）も同様に貼付けてください。

- ③ 1枚目の折板屋根材を、正面（シャッター側）のタイトフレームから出ている剣先に、両端部の穴にあわせて載せてください。（図16-15参照）
- ④ 折板屋根材の中間部の穴に合わせて、横樋梁用の中間部にφ8の穴（※3）をあけてください。

#### ポイント

- 横樋梁用の中間部のφ8の穴は、背面（目隠側）も穴をあけてください。

- ⑤ 折板屋根材の重ね合わせ部の両端部に、剣先を突き破って止水パッキン折板用を貼りつけてください。その後2枚目以降の折板屋根材を載せてください。（図16-13、図16-15、図16-16参照）

#### ポイント

- 水下側を先に取付けてください。その後水上側を取付けてください。
- 横延長の場合、正面（シャッター側）から2枚目は2山（200mm）重ね合わせてください。

- ⑥ 折板屋根材の両端部を、端部用固定金具で組付けてください。（図16-15、図16-16参照）
- ⑦ 折板屋根材の中間部の下から、中間用折板固定部品の固定ボルト（※4）を差込んでください。（図16-14、図16-16参照）

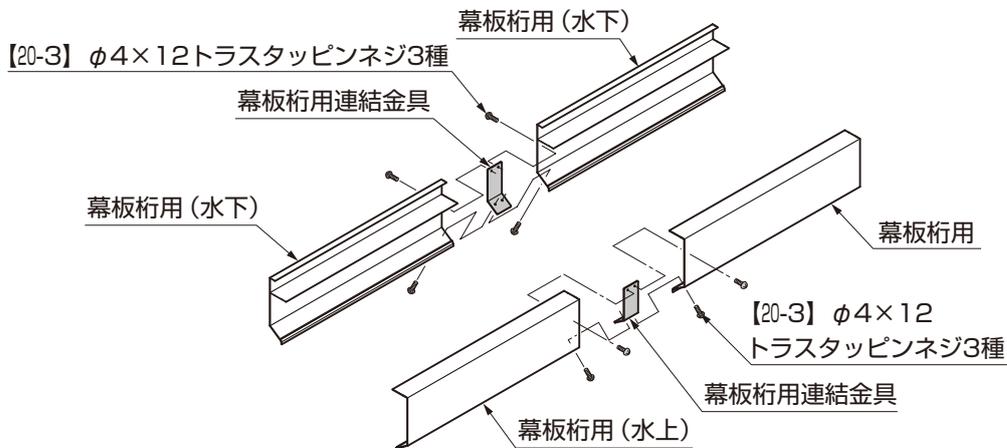
#### ポイント

- 端部用折板固定部品は、折板屋根材を2枚貫通して取付けてください。
- 折板屋根材の下から差込んだ固定ボルト（※4）が落下しないように、仮止めテープ（※5）で仮止めしてください。

- ⑧ 中間用折板固定部品の部品すべてを締め付けたのち、仮止めテープをはがしてください。（図16-16参照）
- ⑨ 水下側と水上側の折板屋根材の接合部分にシーリングしてください。（図16-17参照）

# 17. 幕板桁用の取付け

## 17-1 幕板桁用の連結 (縦延長・縦横延長の場合)



①幕板桁用を、裏板桁用連結金具を使って【20-3】で連結してください。

## 17-2 幕板桁用の取付け

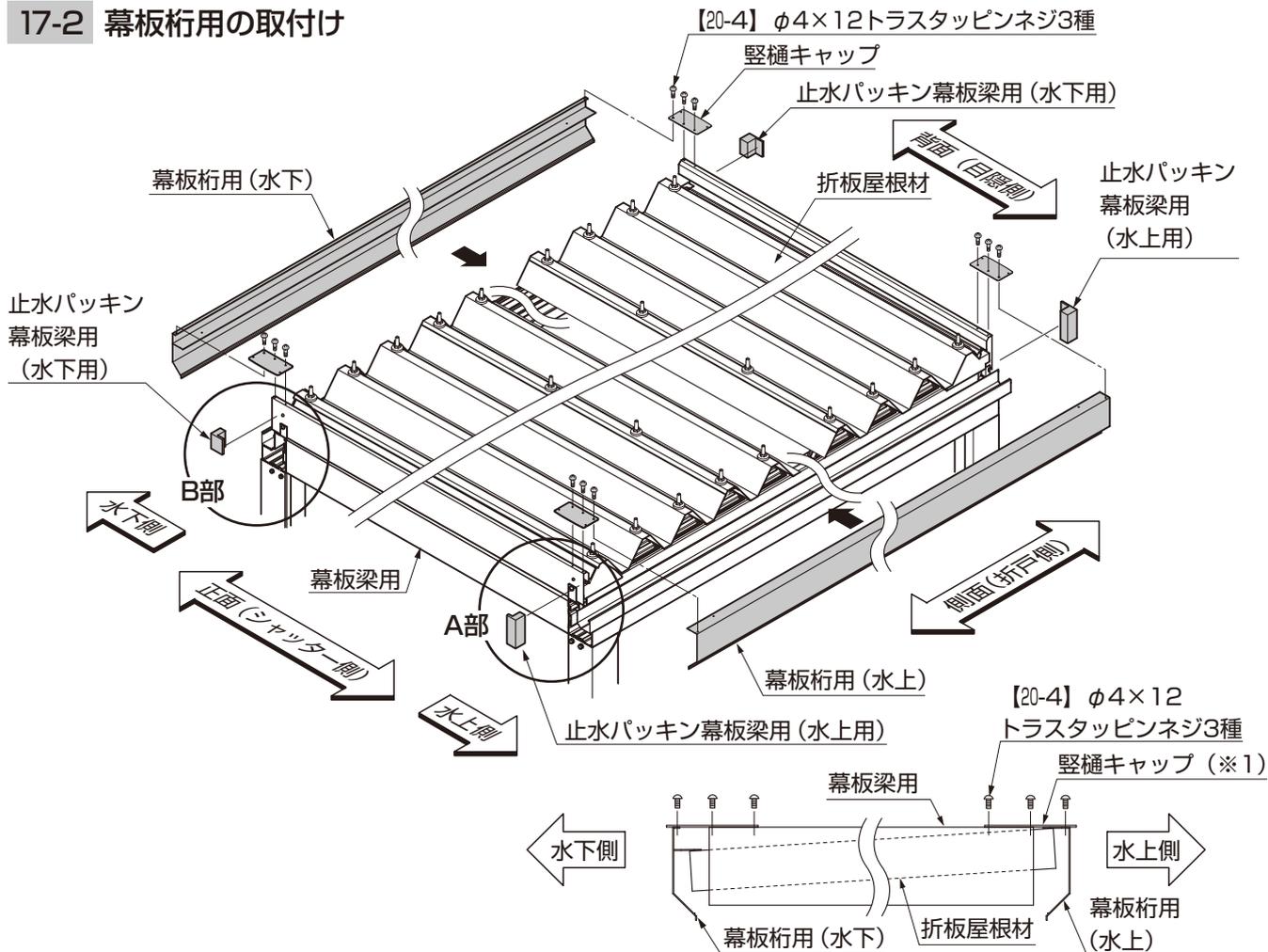


図17-1 止水キャップの取付け

①止水キャップを幕板梁用に【20-4】で取付けてください。

### ポイント

- 止水キャップ (※1) には左右があります。

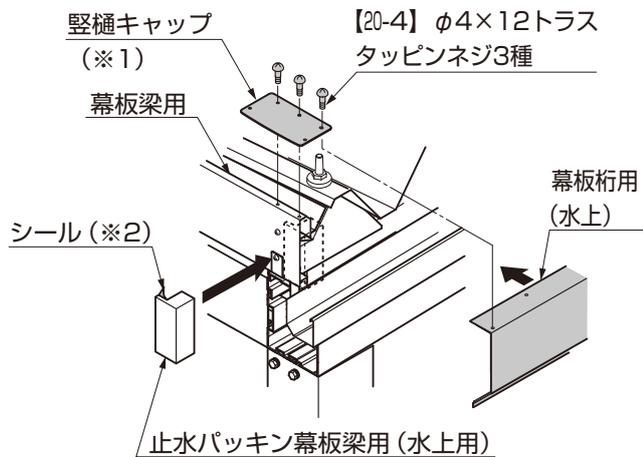


図17-2 A部詳細図

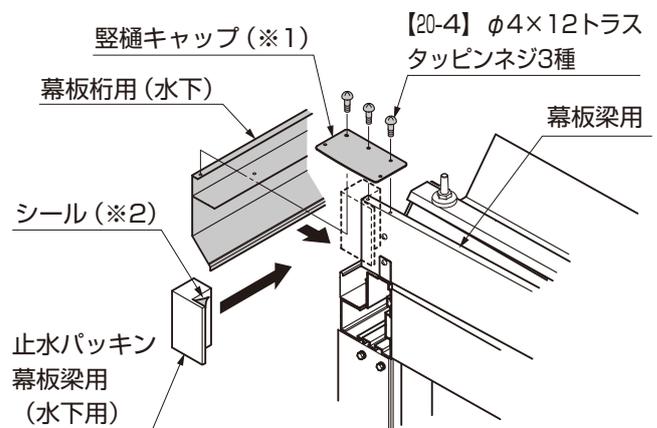


図17-3 B部詳細図

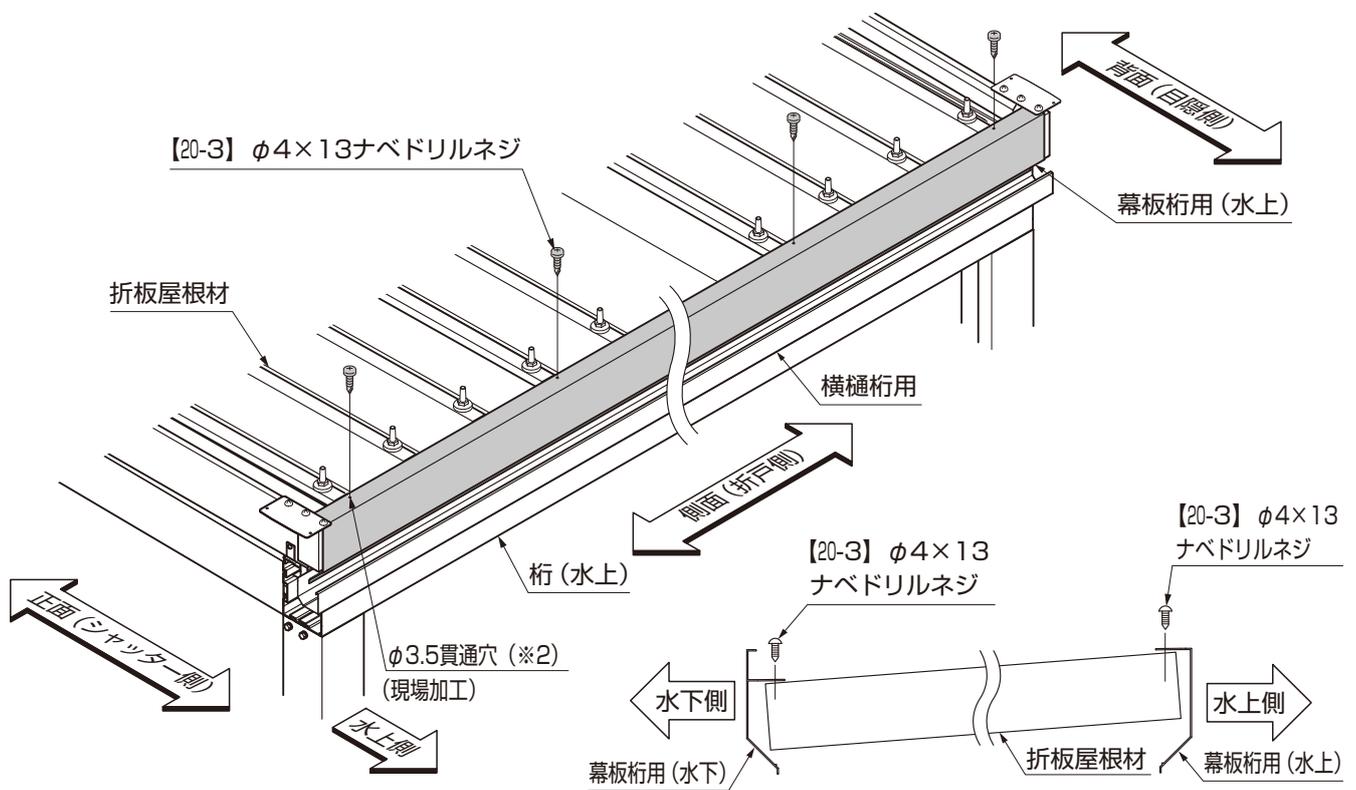


図17-4 幕板桁用の取付け

- ②幕板桁用の水上側と水下側に、止水パッキン幕板梁用(水上用)(水下用)の裏面のシール(※2)をはがしてそれぞれ、貼付けてください。(図17-2参照)
- ③幕板桁用(水上)を縦樋キャップに【20-4】で取付けてください。(図17-2参照)
- ④幕板桁用(水下)を縦樋キャップに【20-4】で取付けてください。(図17-3参照)

#### ポイント

- 幕板桁用(水上)・幕板桁用(水下)の取付け位置を確認してください。(図17-1参照)
- 幕板桁用(水上)と幕板桁用(水下)で取付け高さが異なります。(図17-4参照)

- ⑤折板の山に合わせて、幕板桁用と折板屋根材に、φ3.5(※2)の穴加工をして貫通させてください。
- ⑥幕板桁用と折板屋根材を【20-3】で取付けてください。

## 18. 縦樋の取付け

### 18-1 標準・縦延長の場合

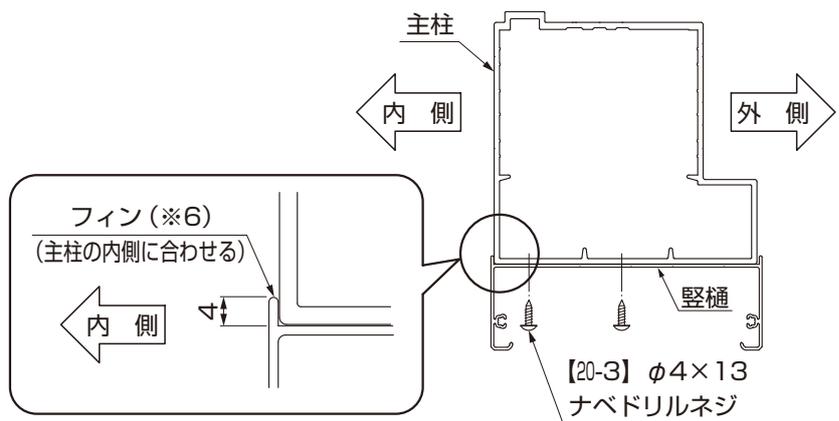
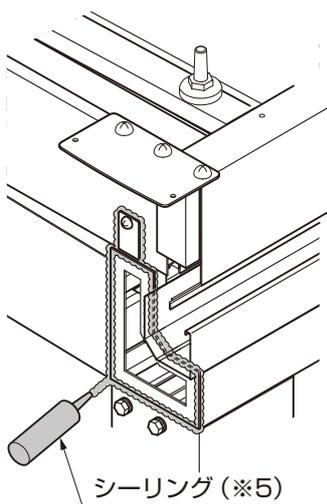
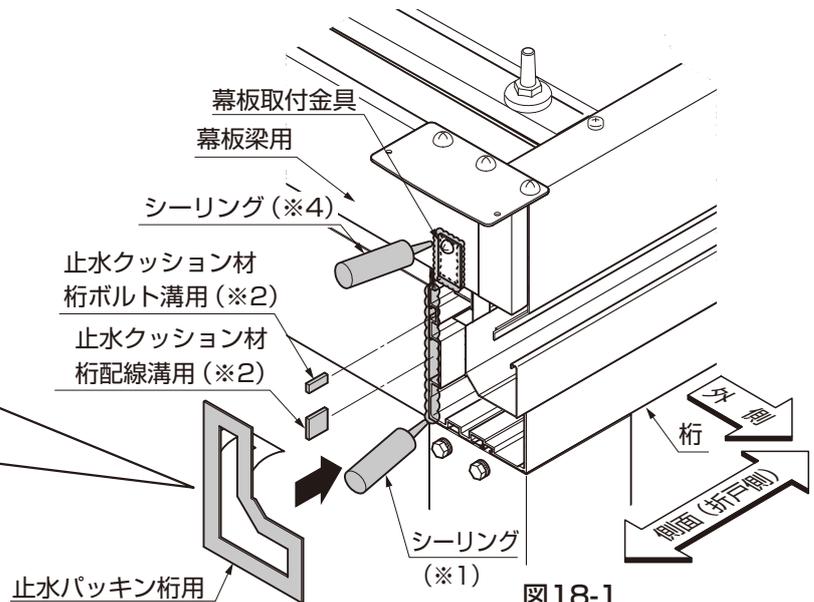
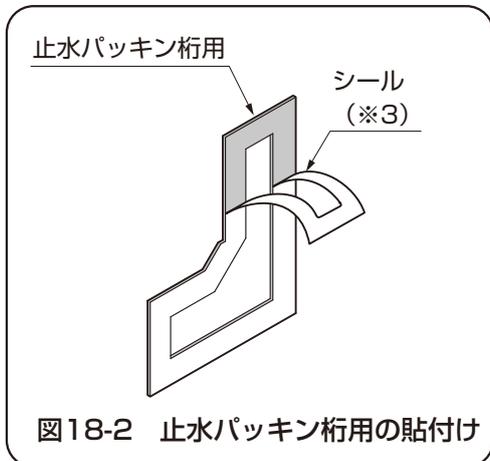


図18-3 桁の端部のシーリング

図18-4 縦樋の取付け

- ① 止水クッション材桁ボルト溝用、止水クッション材桁配線溝用を、桁の溝部に入れ、桁と前後梁の接合部分にシーリング (※1) をしてください。(図18-1参照)

#### ポイント

- 止水クッション材桁ボルト溝用、止水クッション材桁配線溝用は、桁の端部に貼付けてください。(※2)

- ② 桁の端部に、止水パッキン桁用の裏面のシール (※3) をはがして貼付けてください。(図18-1、図18-2参照)

#### ポイント

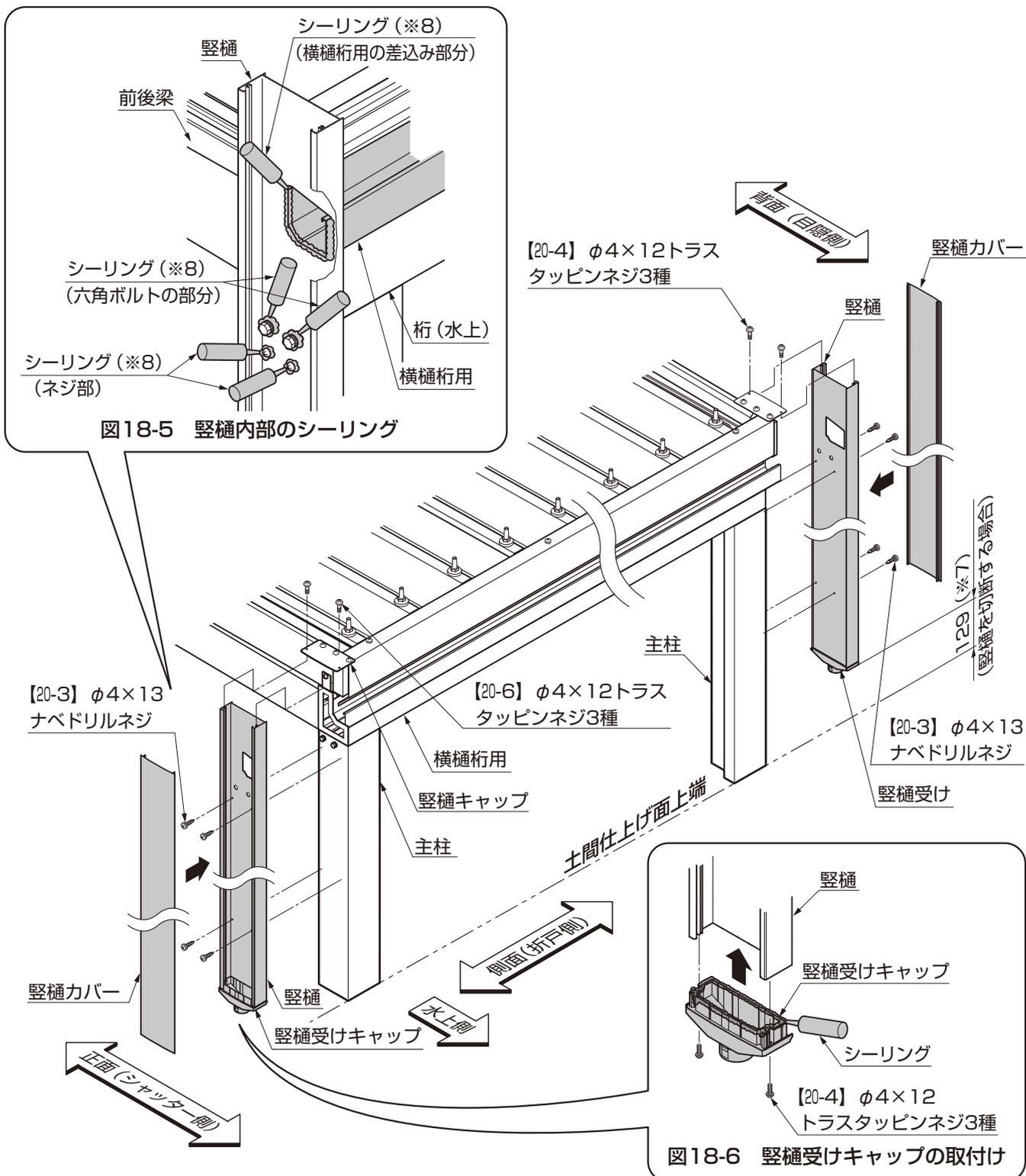
- 止水パッキン桁用には、左右がありますので、向きを確認してください。シール面が桁側になります。

- ③ 幕板取付金具下部と金具周囲をシーリング (※4) してください。

- ④ 桁の端部を、止水パッキンの上からシーリング (※5) してください。(図18-3参照)

#### ポイント

- 縦樋の内側フィン (※6) が、主柱の内側にあたるように取付けてください。(図18-4参照)
- 建物の外側が傾斜地等で、土間が上がる場合は、縦樋の下部から土間仕上げ面上端までの高さが129mm (※7) になるように切断してください。



- ⑤ 縦樋キャップを【20-3】で縦樋に取付けてください。(図18-6参照)
- ⑥ 主柱と縦樋を【20-3】で取付けてください。
- ⑦ 縦樋内部の横樋桁用の差込み部分、六角ボルト部分、主柱取付け上部のネジ部にシーリングをしてください。(※8)  
(図18-5参照)
- ⑧ 縦樋受けキャップ部をシーリングしてください。(図18-6参照)
- ⑨ 縦樋に縦樋受けキャップを【20-4】で取付けてください。(図18-6参照)
- ⑩ 縦樋に縦樋カバーをはめてください。

## 18. (つづき)

### 18-2 横延長・縦横延長の場合

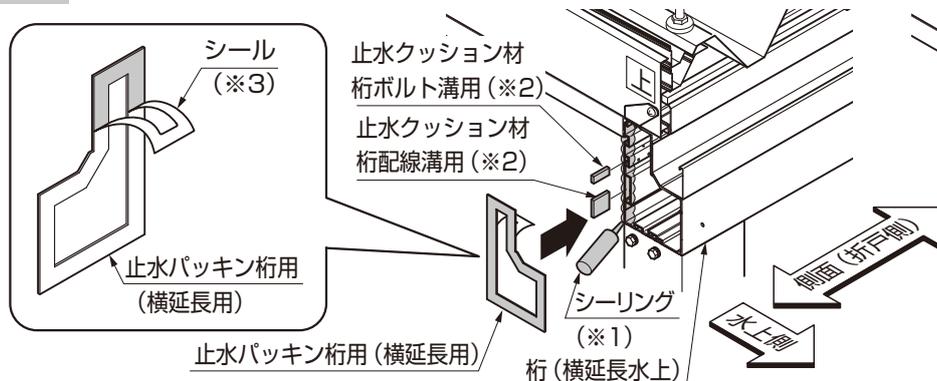


図18-7 水上側止水パッキンの貼付け

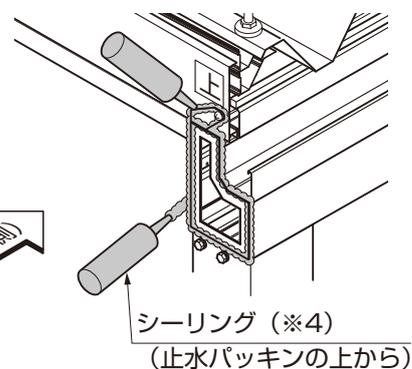


図18-8 水上側のシーリング

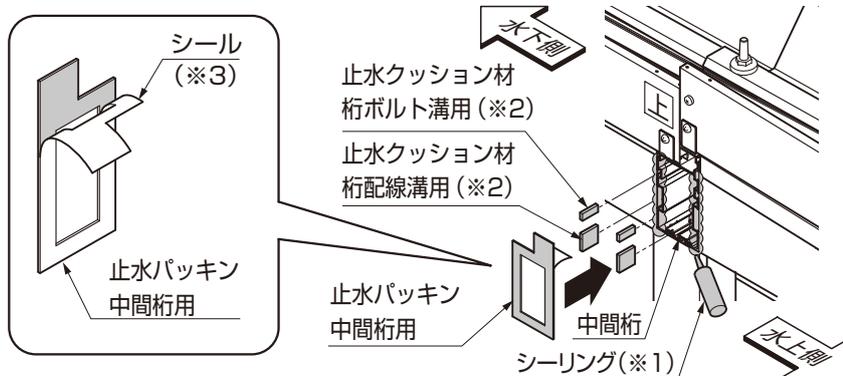


図18-9 中間止水パッキンの貼付け

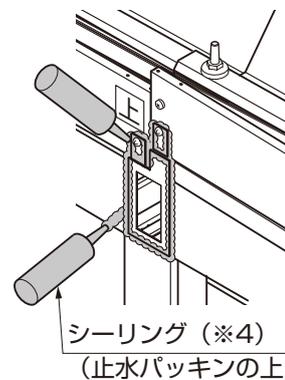


図18-10 中間のシーリング

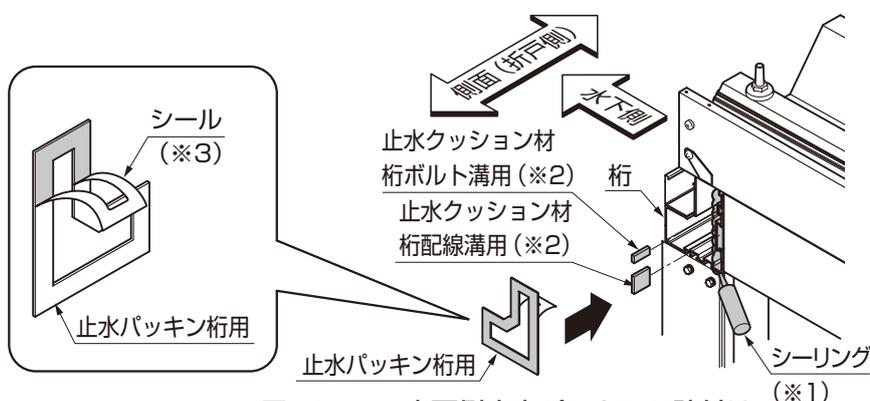


図18-11 水下側止水パッキンの貼付け

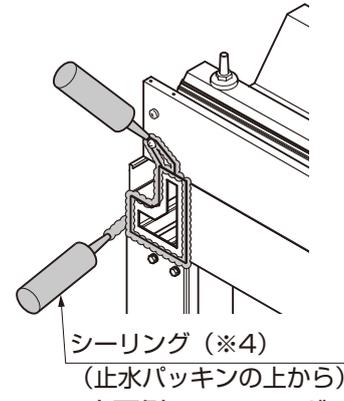


図18-12 水下側のシーリング

- ①各桁に、止水クッション材桁ボルト溝用、止水クッション材桁配線溝用を、桁の溝部に入れ、各桁と前後梁の接合部分にシーリング(※1)をしてください。

#### ポイント

- 止水クッション材桁ボルト溝用、止水クッション材桁配線溝用は、各桁の端部に貼付けてください。(※2)
- ②各桁の端部に、水上側には止水パッキン桁用(横延長用)、中間部には止水パッキン中間桁用、水下側には止水パッキン桁用、それぞれをシール(※3)をはがして貼付けてください。(図18-7、図18-9、図18-11参照)

#### ポイント

- 止水パッキン桁用(横延長用)、止水パッキン中間桁用、止水パッキン桁用には左右がありますので向きを確認してください。シール面が各桁側になります。
- ③幕板取付金具の下部と金具周囲をそれぞれシーリングしてください。(図18-8、図18-10、図18-12参照)
- ④桁の端部を止水パッキンの上からシーリングしてください。(※4) (図18-8、図18-10、図18-12参照)

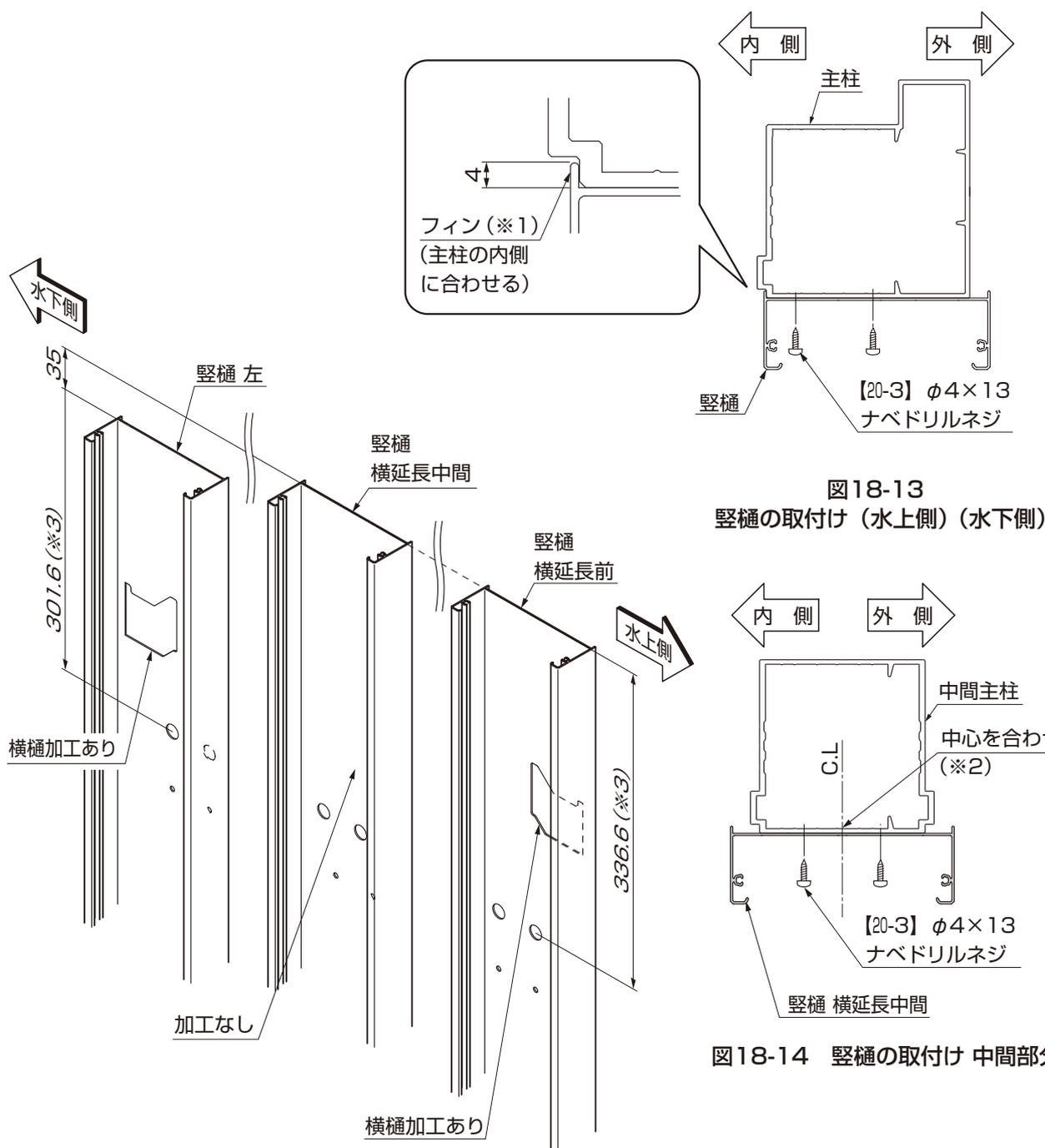


図18-15 縦樋の高さ位置

**ポイント**

- 中間主柱と縦樋の中心が合うように取付けてください。(図18-14参照)
- 水上側と水下側の縦樋の内側フィン(※1)が主柱の内側にあたるように取付けてください。(図18-13参照)
- 縦樋 横延長中間は、中間主柱と中心(※2)を合わせて取付けてください。
- 縦樋は取付け位置によって種類が違います。取付け位置(※3)を確認してください。(図18-15参照)
- 建物の外側が、傾斜等で土間が上がっている場合は、縦樋の下部から土間仕上げ面上端までの高さが129mm(※4)になるように切断してください。

# 18. (つづき)

## 18-2 つづき

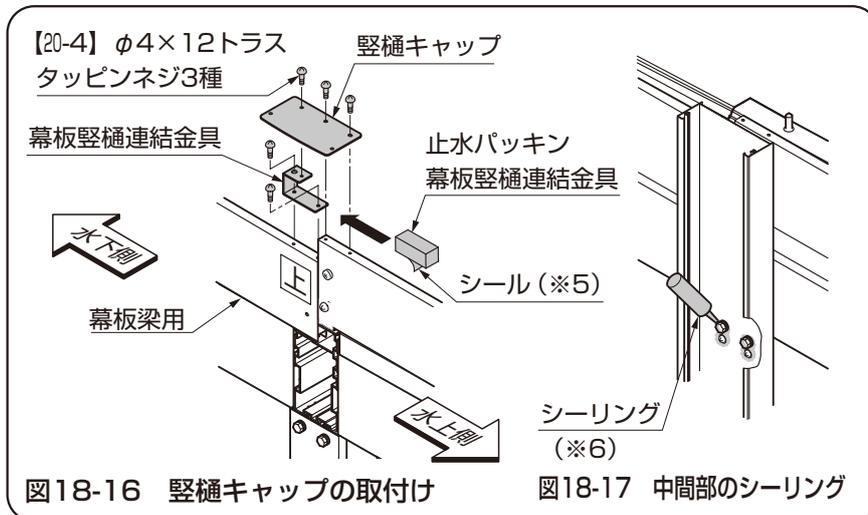


図18-16 縦樋キャップの取付け

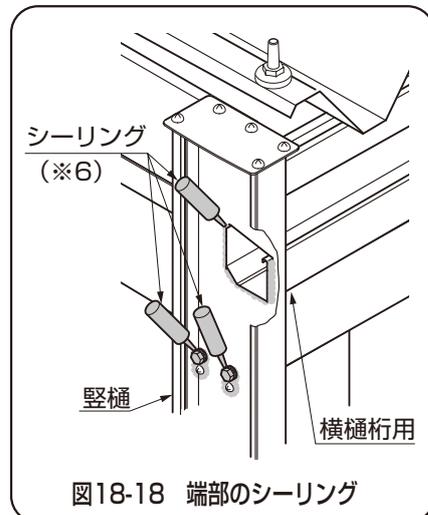


図18-17 中間部のシーリング

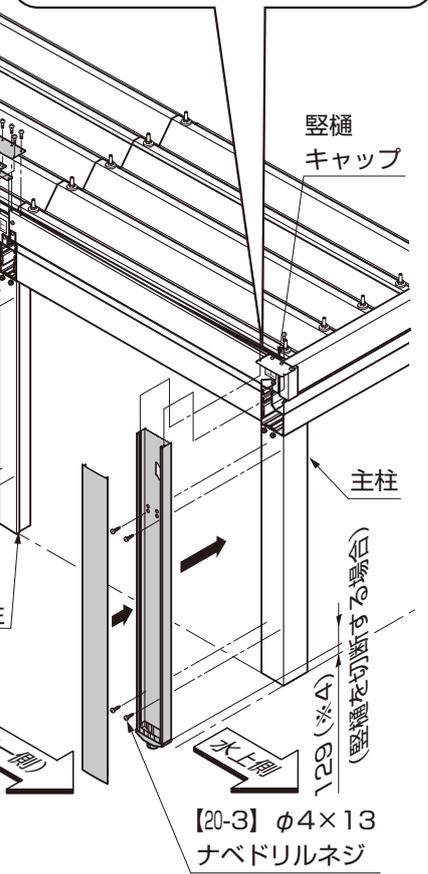


図18-18 端部のシーリング

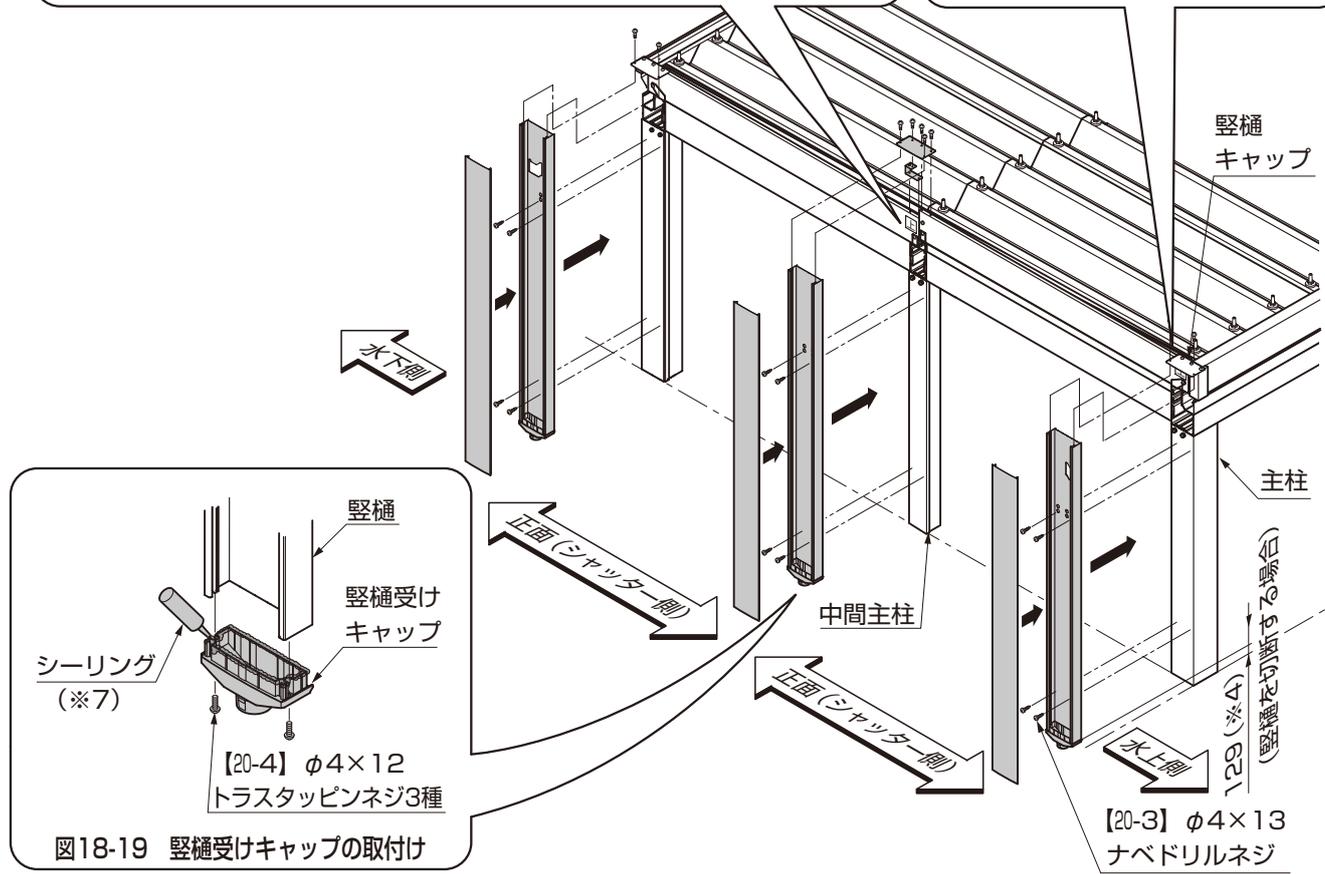


図18-19 縦樋受けキャップの取付け

- ⑤ 縦樋キャップに【20-4】で縦樋を取付けてください。(図18-16参照)
- ⑥ 中間部の水下側の幕板梁用に、幕板縦樋連結金具を【20-4】で取付けてください。(図18-16参照)
- ⑦ 幕板縦樋連結金具に、止水パッキン横樋梁用の下面のシールを(※5)貼付けてください。(図18-16参照)
- ⑧ 主柱、中間主柱と縦樋を【20-3】で取付けてください。
- ⑨ 縦樋内部の横樋桁用の差込み部分、主柱取付け上部のネジ部にシーリングをしてください。(※6) (図18-17、図18-18参照)
- ⑩ 縦樋受けキャップ部をシーリングしてください。(※7) (図18-19参照)
- ⑪ 縦樋に縦樋受けキャップを【20-4】で取付けてください。(図18-19参照)
- ⑫ 縦樋に縦樋カバーをはめてください。

### 18-3 縦樋のシーリング処理（全サイズ共通）

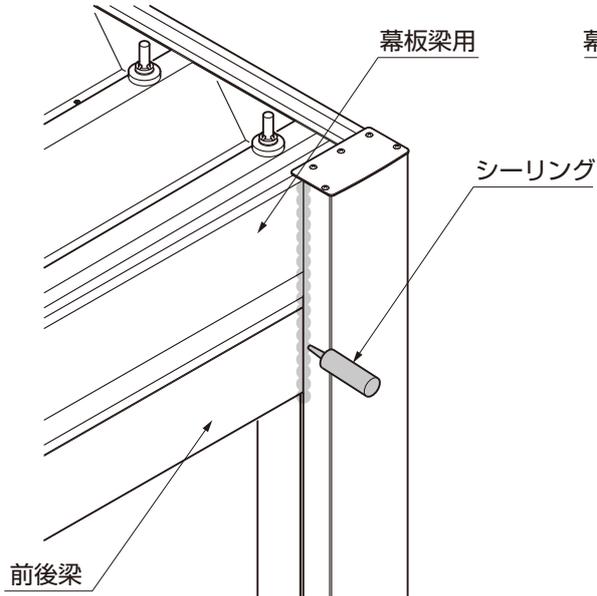


図18-20 端部のシーリング

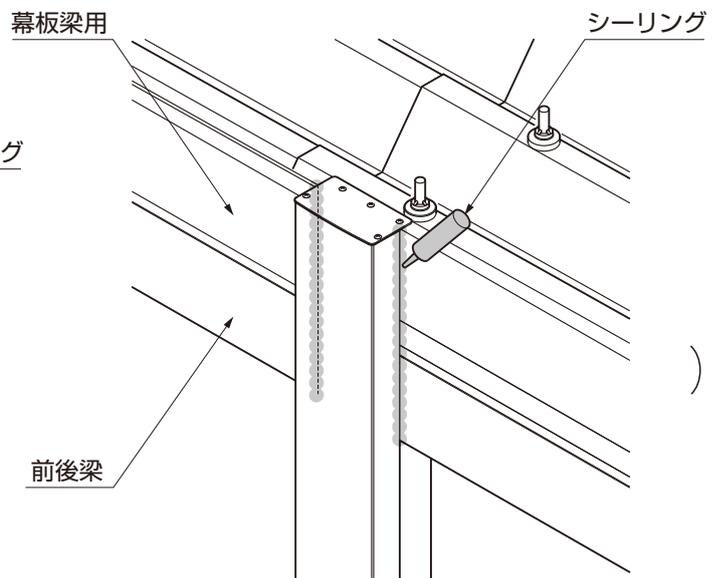
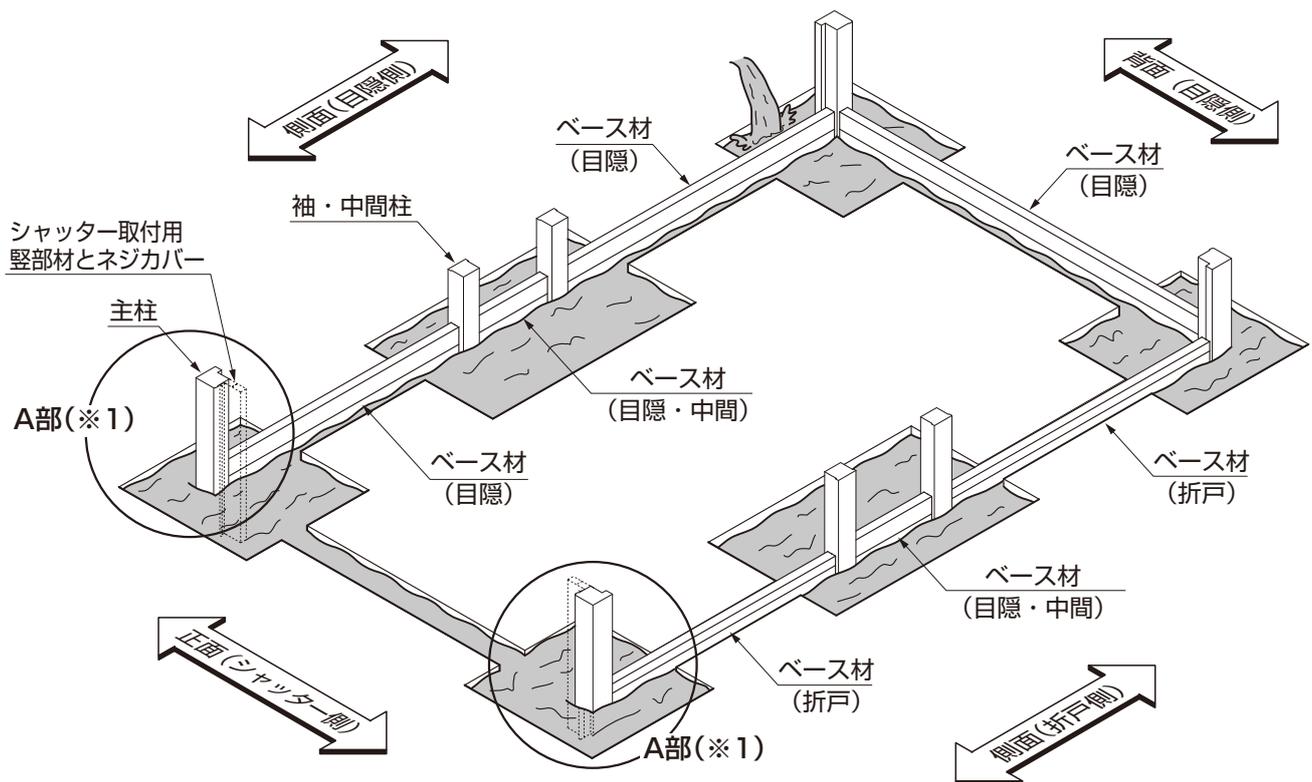


図18-21 中間部のシーリング

⑬ 縦樋、前後枠、幕板梁用の接合部にシーリングをしてください。（図18-20、図18-21参照）

## 5 コンクリートの打設

### 1. コンクリートの打設 ※この図は、1500タイプ 標準28-54、32-60を示します。



①基礎穴にコンクリートを打設してください。

#### ポイント

- G.L.面、土間仕上げ面の土間仕上げは、目隠材・折戸パネル・シャッター等を取付けた後に行なってください。

#### 注意

- 基礎部分のコンクリートは、「設計基準強度」が確保できるよう、コンクリート打設時の気温に合わせて、温度補正等により、十分な「呼び強度」にて打設してください。
- 正面(シャッター側)の基礎部分のA部(※1)は、シャッター取付用縦部材とネジカバー取付け後に、コンクリートを打設してください。先にコンクリートを打設すると、基礎を削って取付けをすることになります。

## 2. 土間仕上げ高さの確認

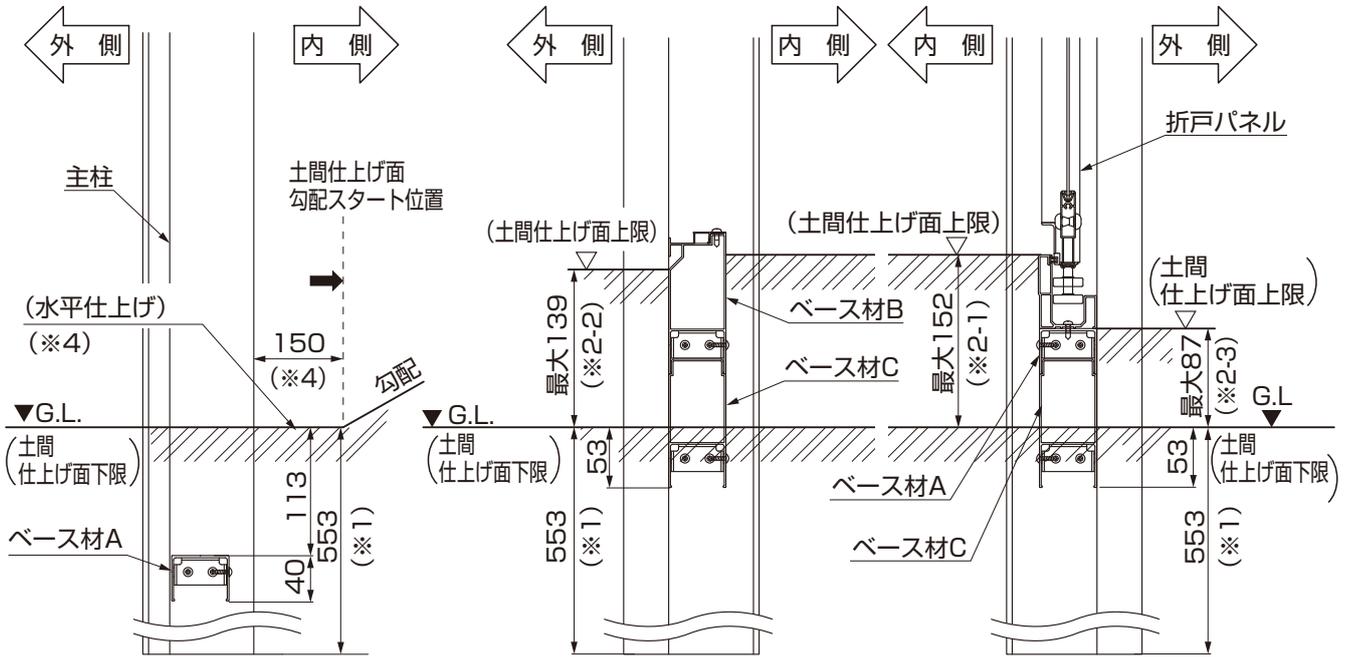


図2-1 正面(シャッター側)断面

図2-2 側面(目隠側)断面

図2-3 側面(折戸側)断面

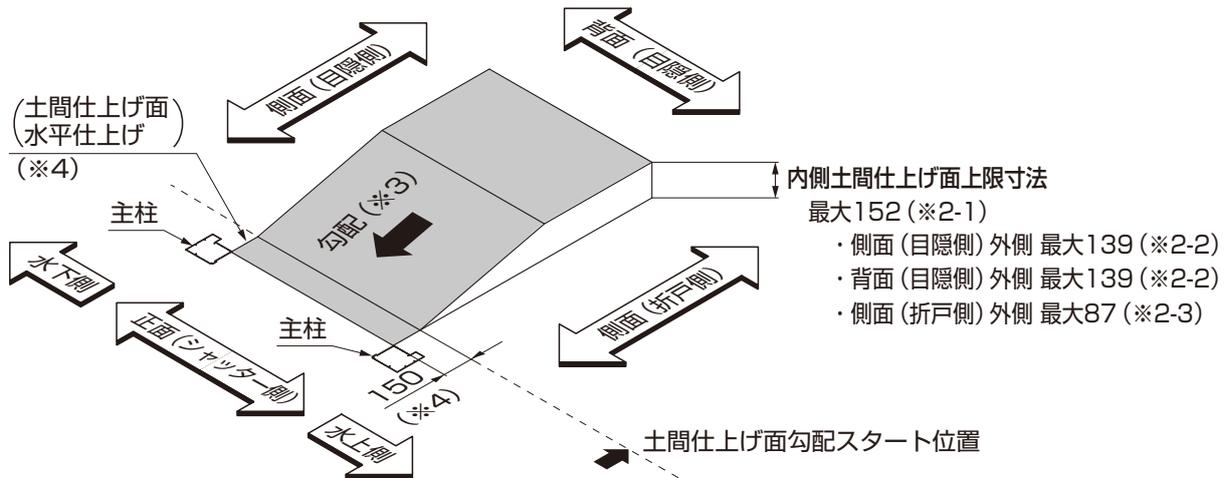


図2-4 内側の土間仕上げ

①G.L.面、土間仕上げ面を確認して、柱埋込高さを調整してください。

### ポイント

- 土間仕上げのコンクリートの打設は、10 シャッター取付用部材の取付けの「3. シャッター取付用部材の取付け」の後に施工してください。
- 土間仕上げ面に勾配を設けることができます。(※3)
- 主柱内側150mmは必ず水平に仕上げてください。シャッター取付けに不具合が生じる場合があります。(※4)

### 補足

- G.L-553mmは、柱埋込寸法を表しています。(※1)

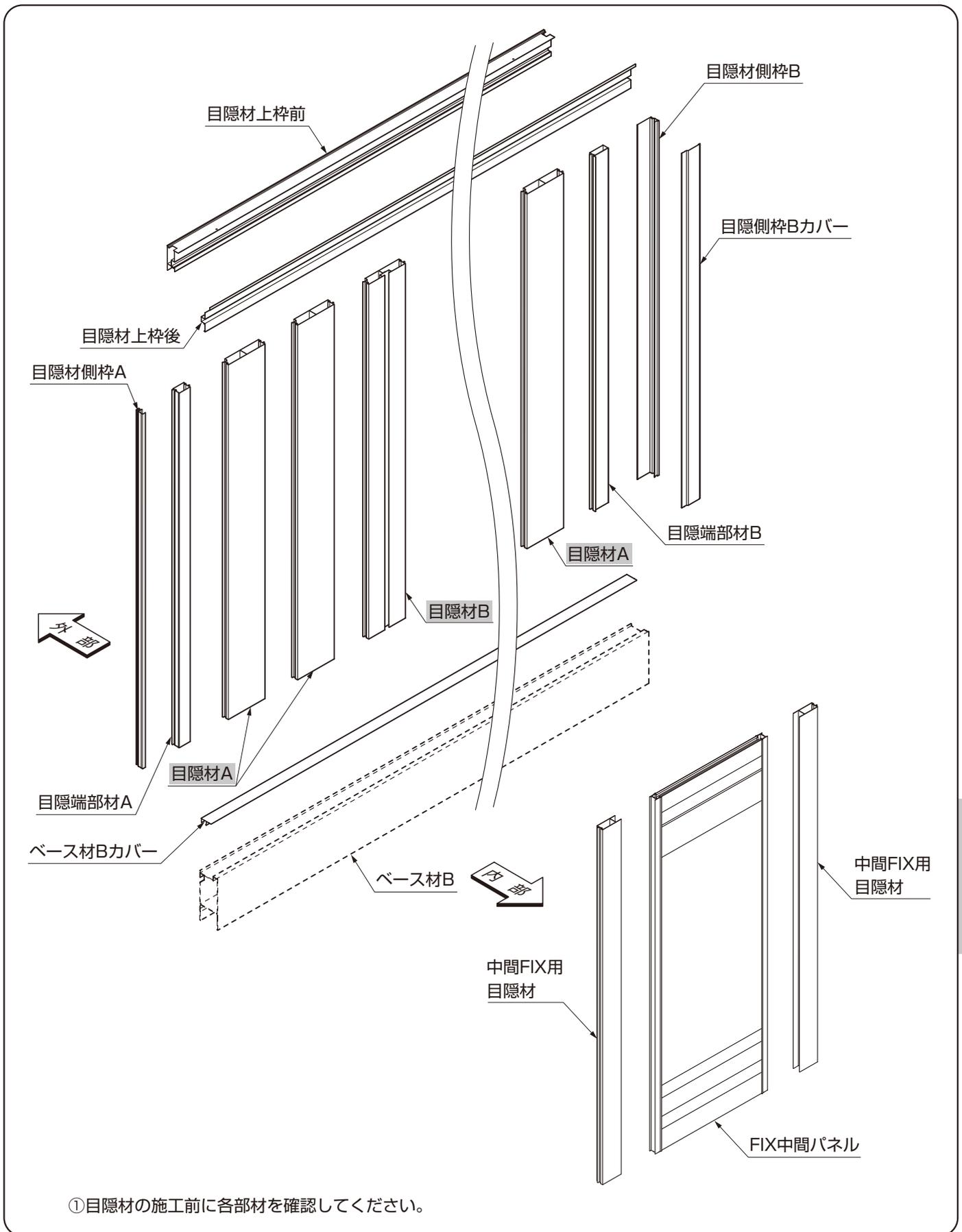
### 注意

- 内側の土間仕上げ面が外側と同面、または低い場合、内側に浸水する可能性があります。  
※外部からの浸水を軽減させる為に、土間仕上げ面に勾配を設けることを推奨します。



## 6 目隠材の取付け

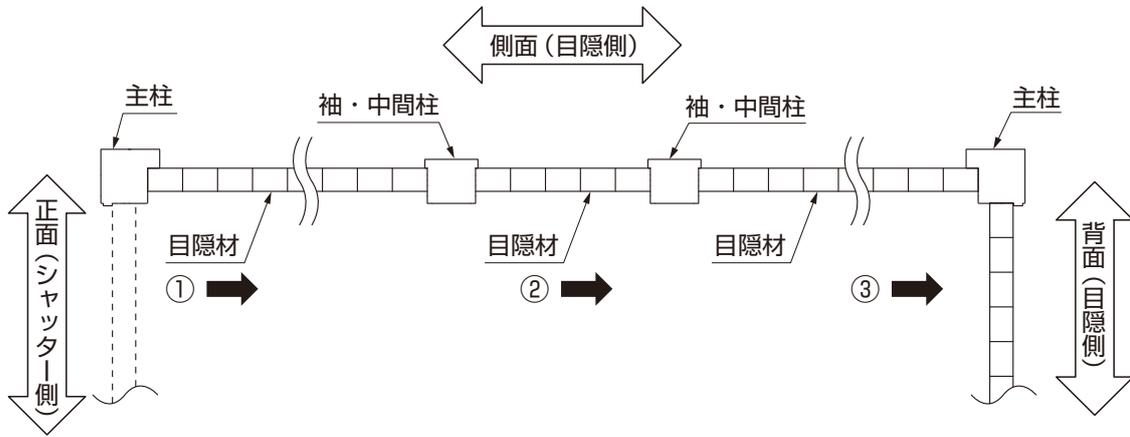
### 1. 施工前確認



## 2. 目隠材の納まり

※図は、1500タイプ 標準28-54、32-60の場合を示します。

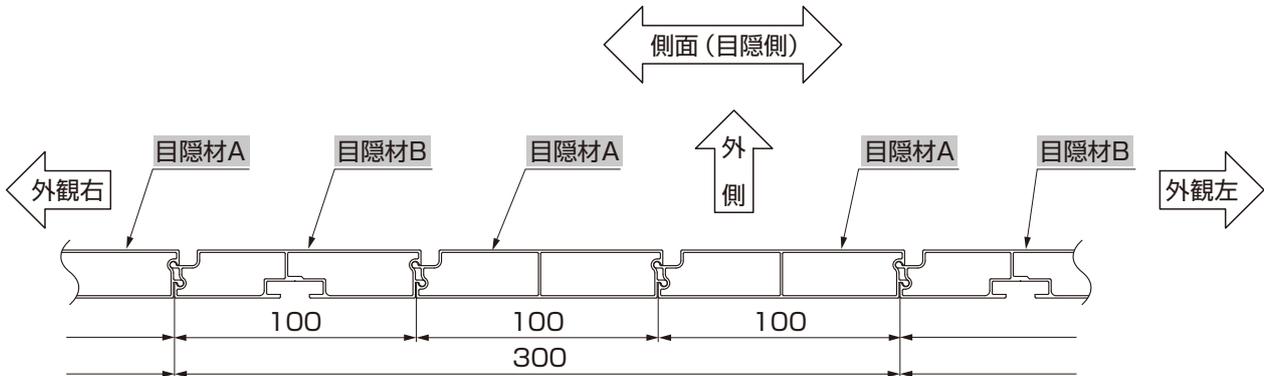
### 2-1 目隠材取付け順番



#### ポイント

- 目隠材の取付けは、主柱の片側から順番に行なってください。

### 2-2 目隠材中間部の断面納まり



### 2-3 目隠材の並び順の確認

…目隠材側枠A   
 …目隠端部材A   
 …目隠材A   
 …目隠材B   
 …目隠端部材B   
 …目隠材側枠B

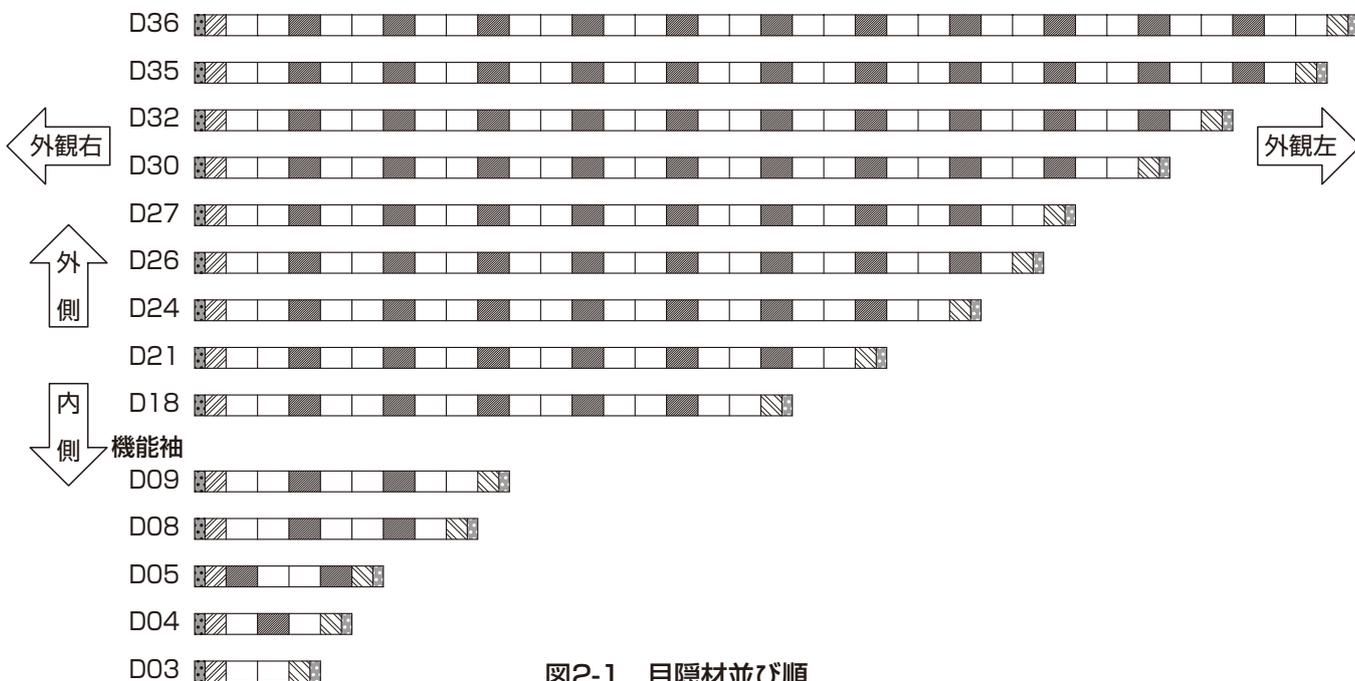


図2-1 目隠材並び順

表2-1

	D36	D35	D32	D30	D27	D26	D24	D21	D18	D09	D08	D05	D04	D03
目隠材A	24	23	21	20	18	17	16	14	12	6	5	2	2	2
目隠材B	11	11	10	9	8	8	7	6	5	2	2	2	1	0

①目隠端部材と目隠材の並び順を確認してください。

#### 補足

●各サイズの目隠材の枚数は、表2-1を参照してください。

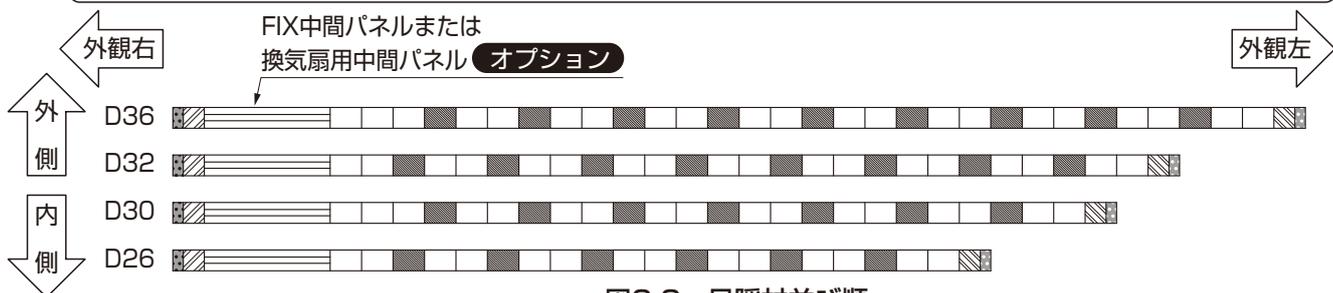


図2-2 目隠材並び順

(FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネル **オプション** を取付けた場合)

表2-2

	D36	D32	D30	D26
目隠材A	21	18	17	14
目隠材B	9	8	7	6

#### 補足

- FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルと中間FIX目隠材2枚で、D05 (目隠材5枚分) にあたります。
- FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルが1セット、中間FIX用目隠材が2枚、目隠材Aが1枚同梱されています。

## 2. (つづき)

### 2-4 目隠材端部Aの断面納まり

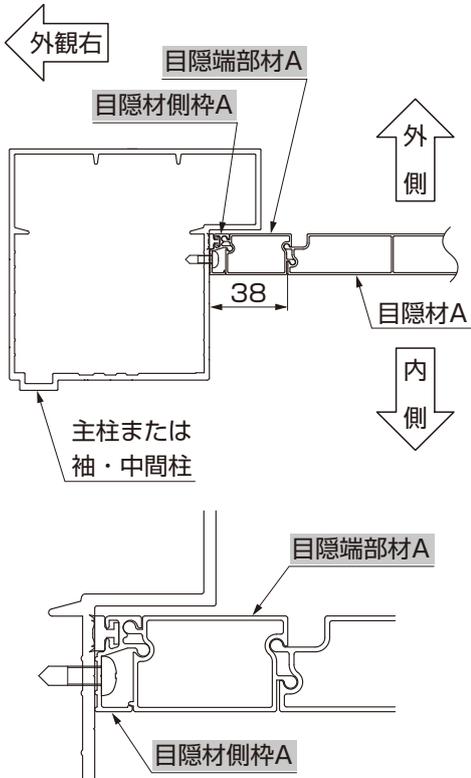


図2-3 目隠材端部材A断面図

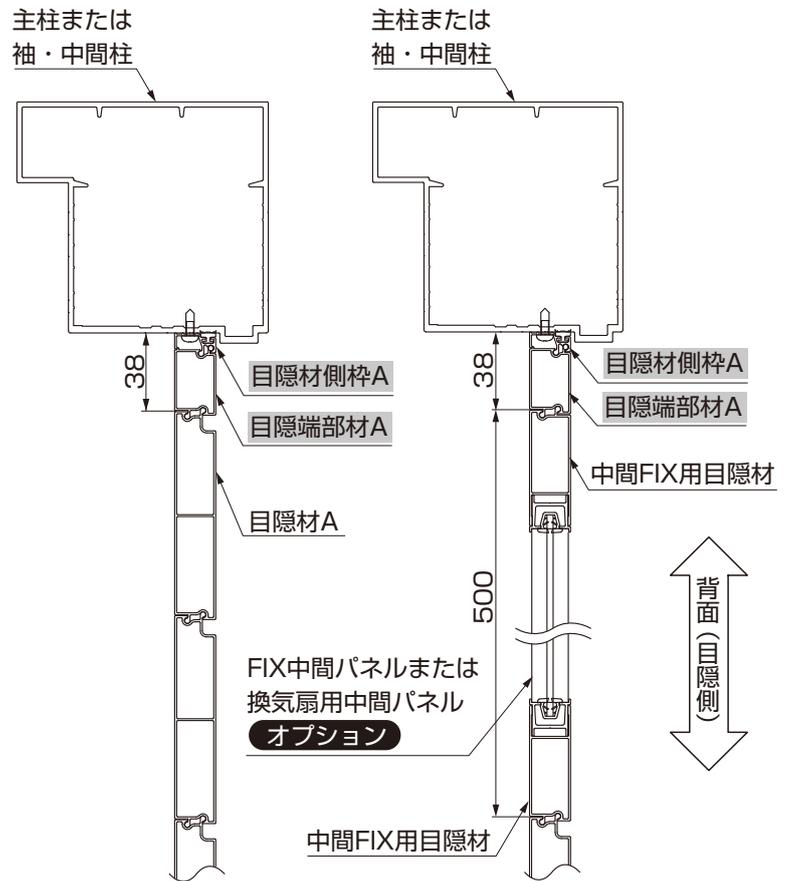


図2-4 目隠材の場合

図2-5 FIX中間パネル・換気扇用中間パネル オプションを取付けの場合

### 2-5 目隠材端部Bの断面納まり

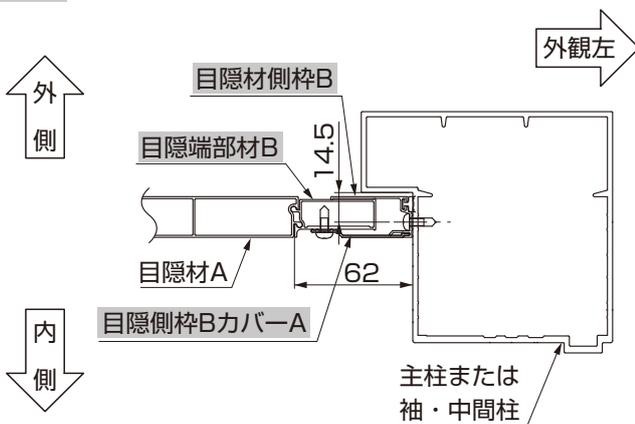


図2-6 部材断面図

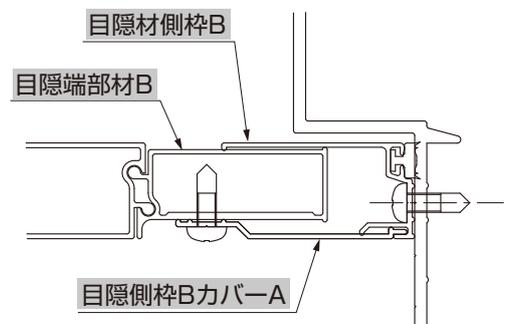


図2-7 目隠材端部材B断面図

### 3. 目隠材上枠前の取付け

#### 3-1 目隠材上枠前の取付け

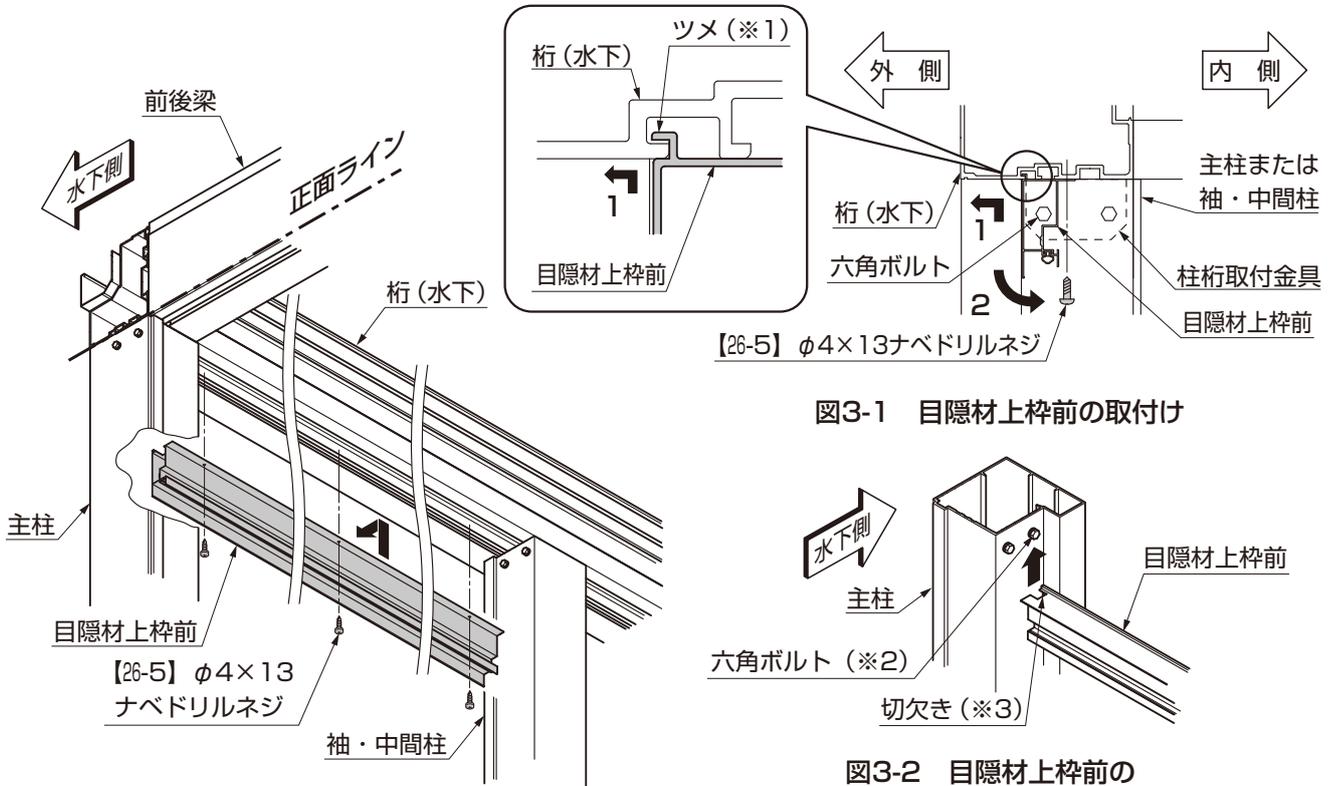


図3-1 目隠材上枠前の取付け

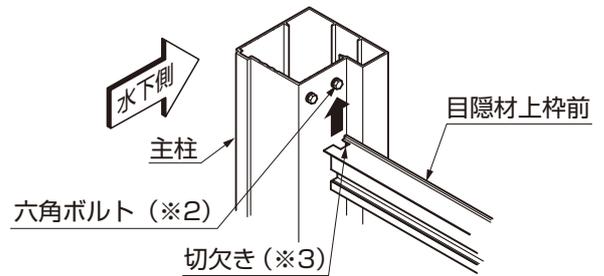


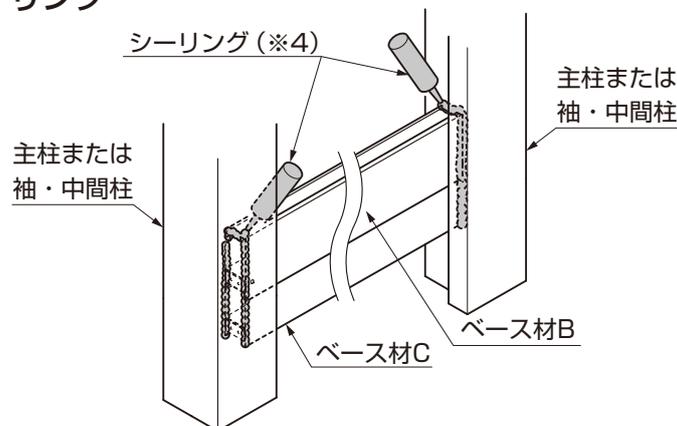
図3-2 目隠材上枠前の六角ボルトの逃げの切欠き

①目隠材上枠前のツメ(※1)を、桁底部の溝に引っ掛けて、【26-5】で固定してください。(図3-1参照)

#### ポイント

- 柱桁取付金具の六角ボルトの頭(※2)が、目隠材上枠前にあたらぬように、目隠材上枠前の切欠き部(※3)に六角ボルトを通して取付けてください。(図3-2参照)

#### 3-2 ベース材のシーリング



①ベース材にシーリングをしてください。(※4)

#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

## 4. 目隠材側枠の取付け

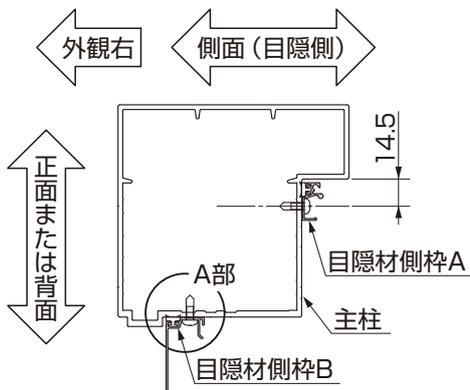


図4-1 目隠材側枠A・Bの取付け

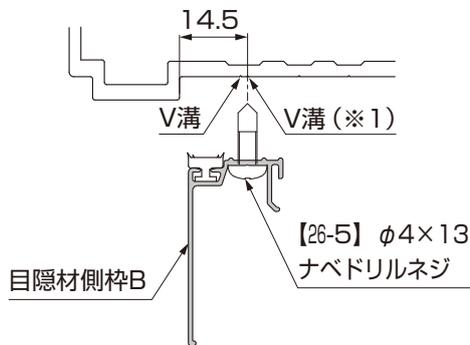


図4-2 A部詳細図

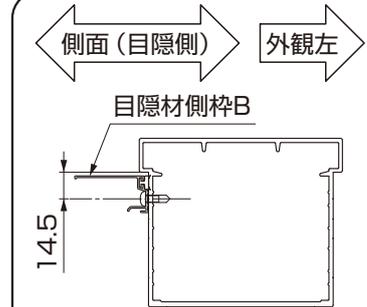


図4-3 目隠材側枠Bの取付け

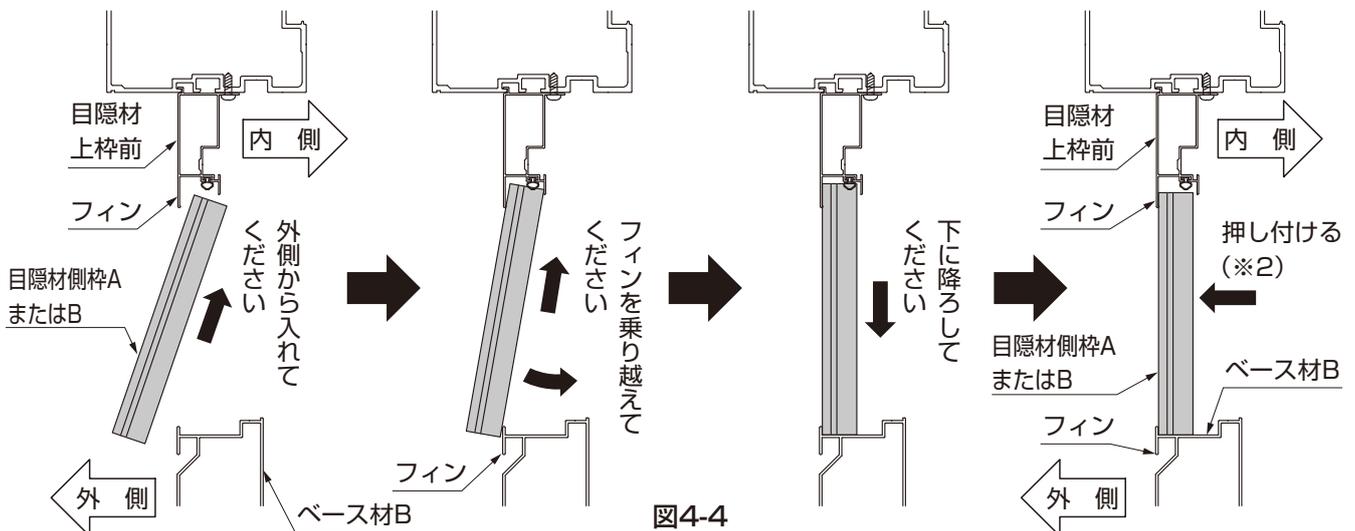
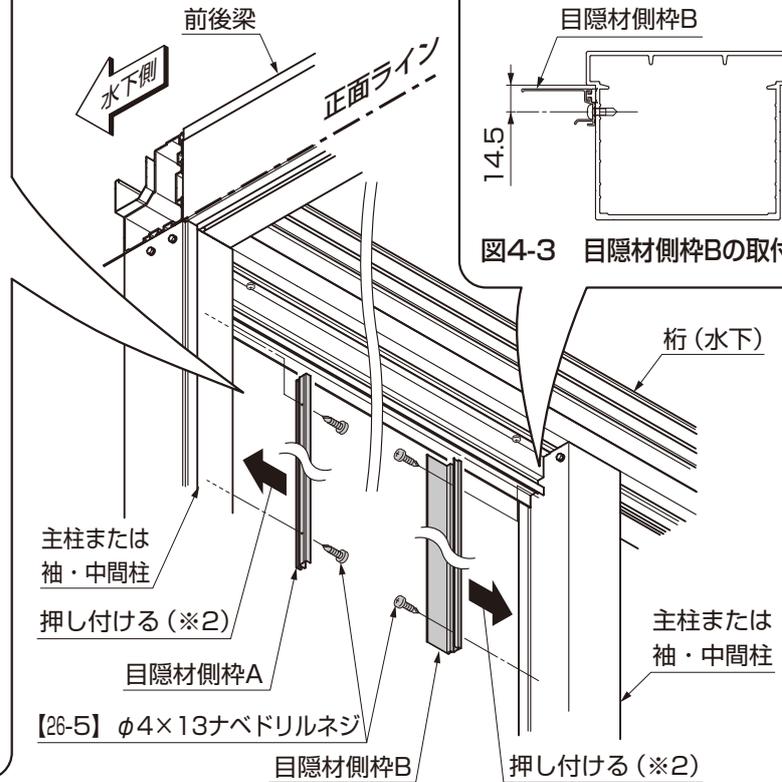


図4-4 目隠材側枠の取付け

- ① 主柱または袖・中間柱に、目隠材側枠Aを【26-5】で取付けてください。(図4-1参照)
- ② 主柱または袖・中間柱に、目隠材側枠Bを【26-5】で取付けてください。(図4-3参照)

### ポイント

- 正面または、背面側の目隠材の取付けの場合は、V溝が2本ありますので(※1)のV溝に取付けてください。(図4-1、図4-2参照)
- 目隠材側枠Aは外観右側に、目隠材側枠Bは外観左側に取付けてください。
- 目隠材側枠は、外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィンを乗り越えたら主柱または袖・中間柱の外側に押し付けて(※2)取付けてください。(図4-4参照)

## 5. 目隠端部材A・目隠材の取付け

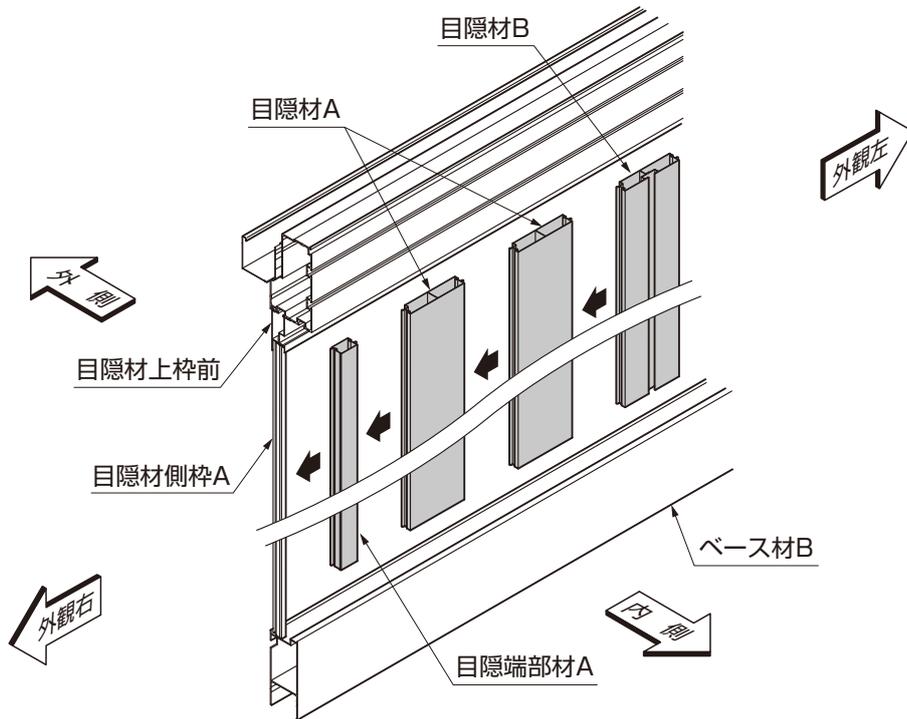


図5-1 目隠材の取付け

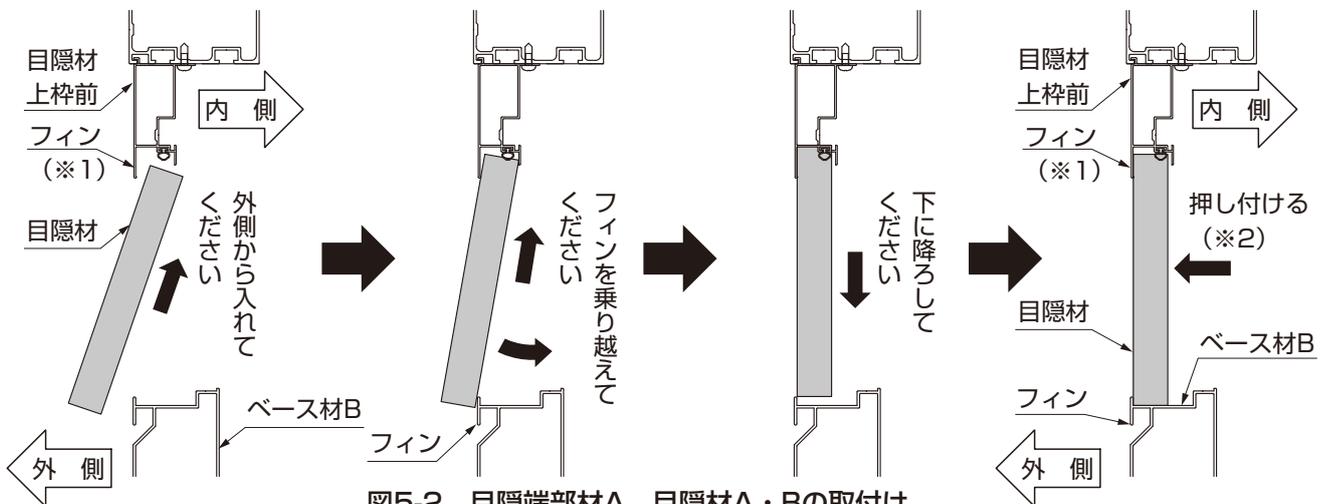


図5-2 目隠端部材A、目隠材A・Bの取付け

- ①目隠端部材Aを、目隠材側枠Aにはめてください。(図5-1参照)

### 補足

- 目隠材の使用枚数はサイズによって異なります。(「2-3 目隠材の並び順の確認」参照)

- ②目隠端部材Aに、目隠材Aをはめてください。(図5-1参照)

- ③各サイズごと、目隠材A・目隠材Bをはめてください。

### ポイント

- 目隠材は、外観右側より取付けてください。
- 目隠端部材A・目隠端部材B・目隠材A・目隠材Bは取付け向きや並び順が異なります。「2.目隠材の納まり」を参照してください。
- 目隠材は外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィンを乗り越えたら外側に押し付けて(※2)ください。(図5-2参照)
- 目隠材を取外す場合は、目隠材上枠前のフィン(※1)を曲げないように注意してください。

## 6. 目隠端部材A・FIX中間パネル(換気扇用中間パネル **オプション**)の取付け

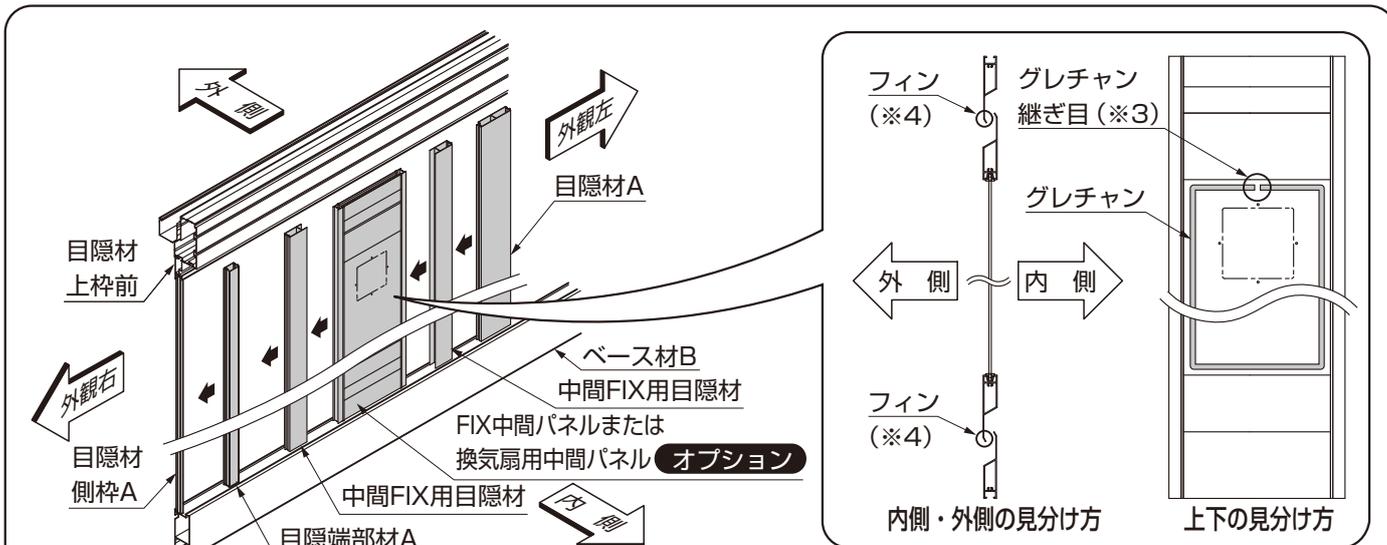


図6-1 目隠材の取付け (FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネル **オプション**)

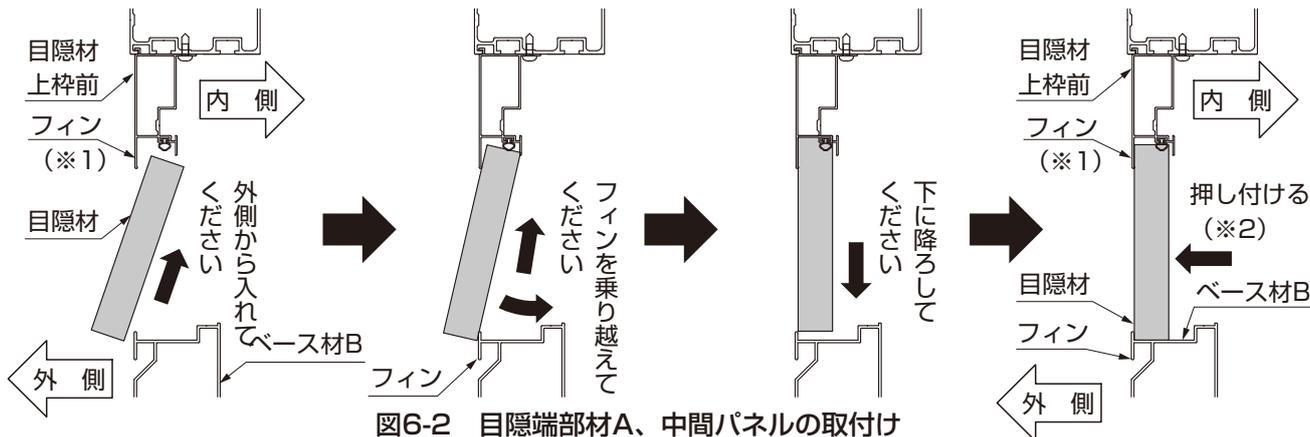


図6-2 目隠端部材A、中間パネルの取付け

- ①目隠端部材Aを取付けてください。
- ②中間FIX用目隠材を、目隠端部材Aにはめてください。
- ③FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルを、中間FIX用目隠材にはめてください。

### ⚠ 注意

- FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルの上下の見分け方は、グレチャン継ぎ目(※3)、内側・外側の見分け方は上下棧のフィン(※4)で必ず確認してから取付けてください。取付けを間違えると、雨の浸入の原因となります。

- ④中間FIX用目隠材を、FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルにはめてください。

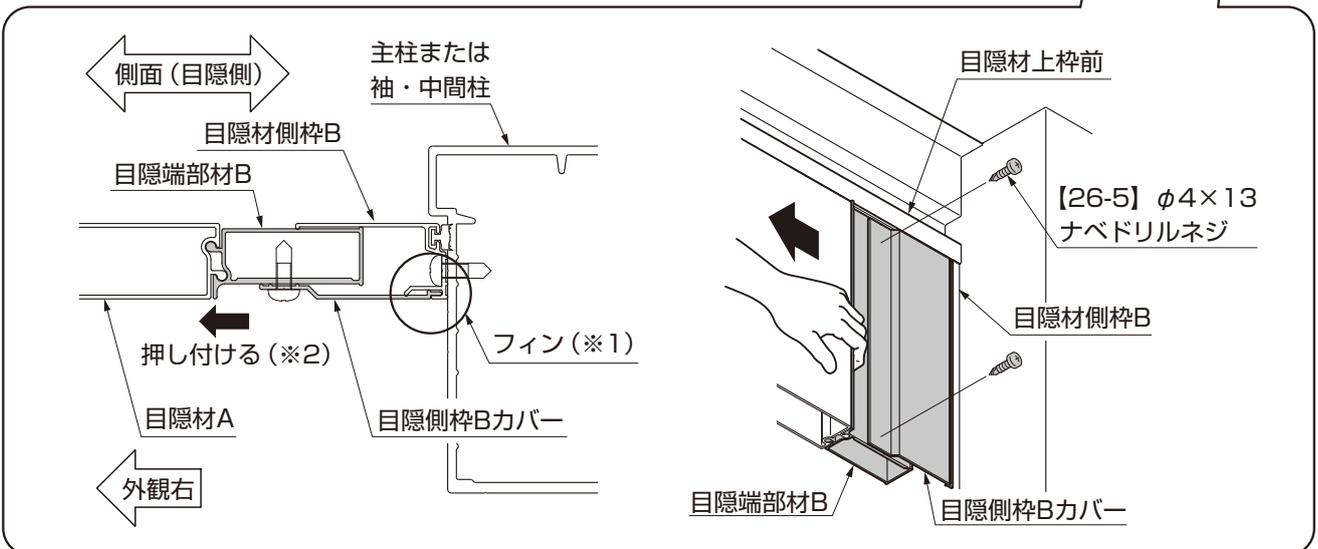
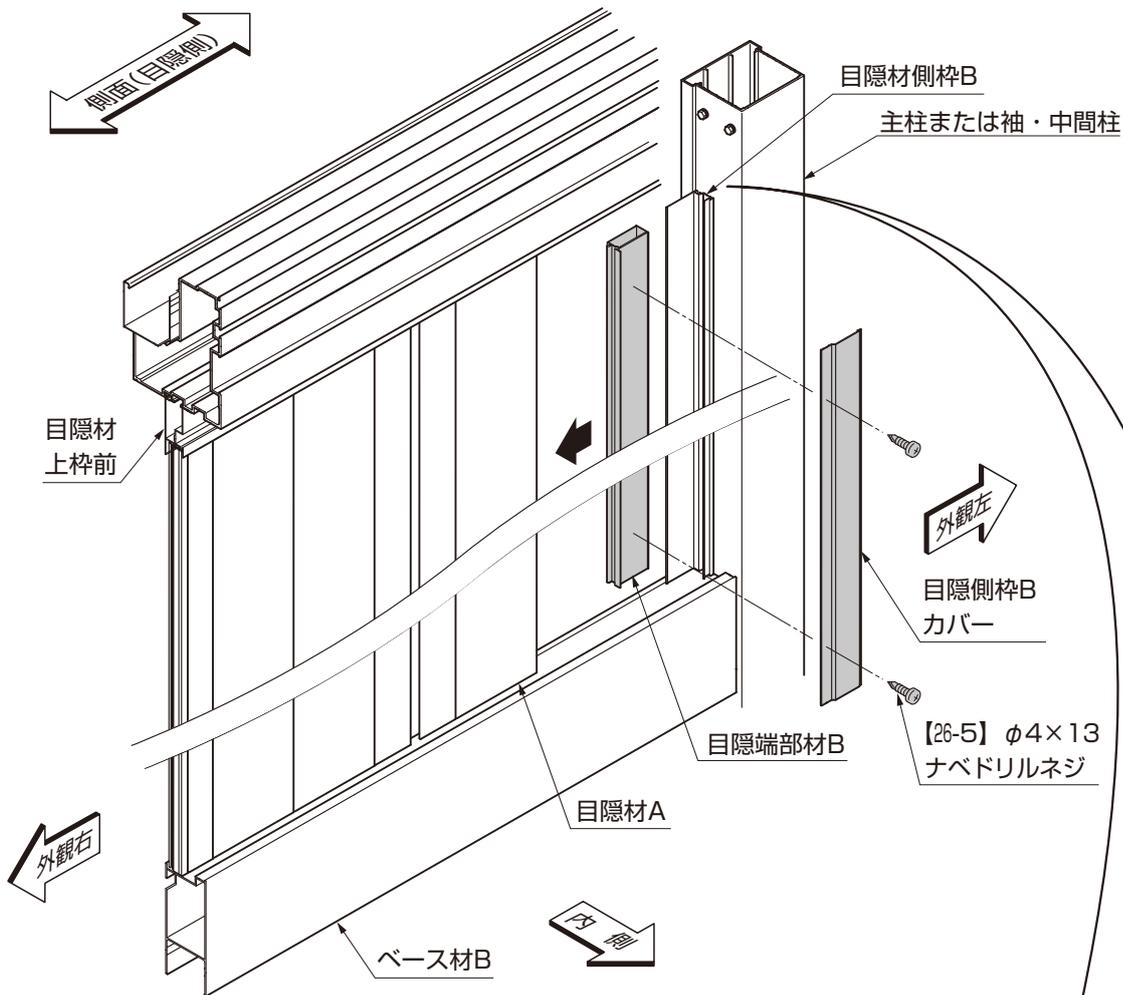
### 🔑 ポイント

- 中間FIX用目隠材・FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルは、外観右側より取付けてください。
- 目隠端部材A・目隠端部材B・目隠材A・目隠材Bは取付け向きや並び順が異なります。「2.目隠材の納まり」を参照してください。
- FIX中間パネル、目隠材は、外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れて、ベース材Bのフィンを乗り越えたら外側に押付けてください。(※2) (図5-2参照)
- 目隠材を取外す場合は、目隠材上枠前のフィン(※1)を曲げないように注意してください。

### 📝 補足

- FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルと中間FIX目隠材2枚で、D05(目隠材5枚分)にあたります。
- FIX中間パネルまたは換気扇用中間パネルには、中間FIX用目隠材が2枚、目隠材Aが1枚同梱されています。

## 7. 目隠端部材Bの取付け



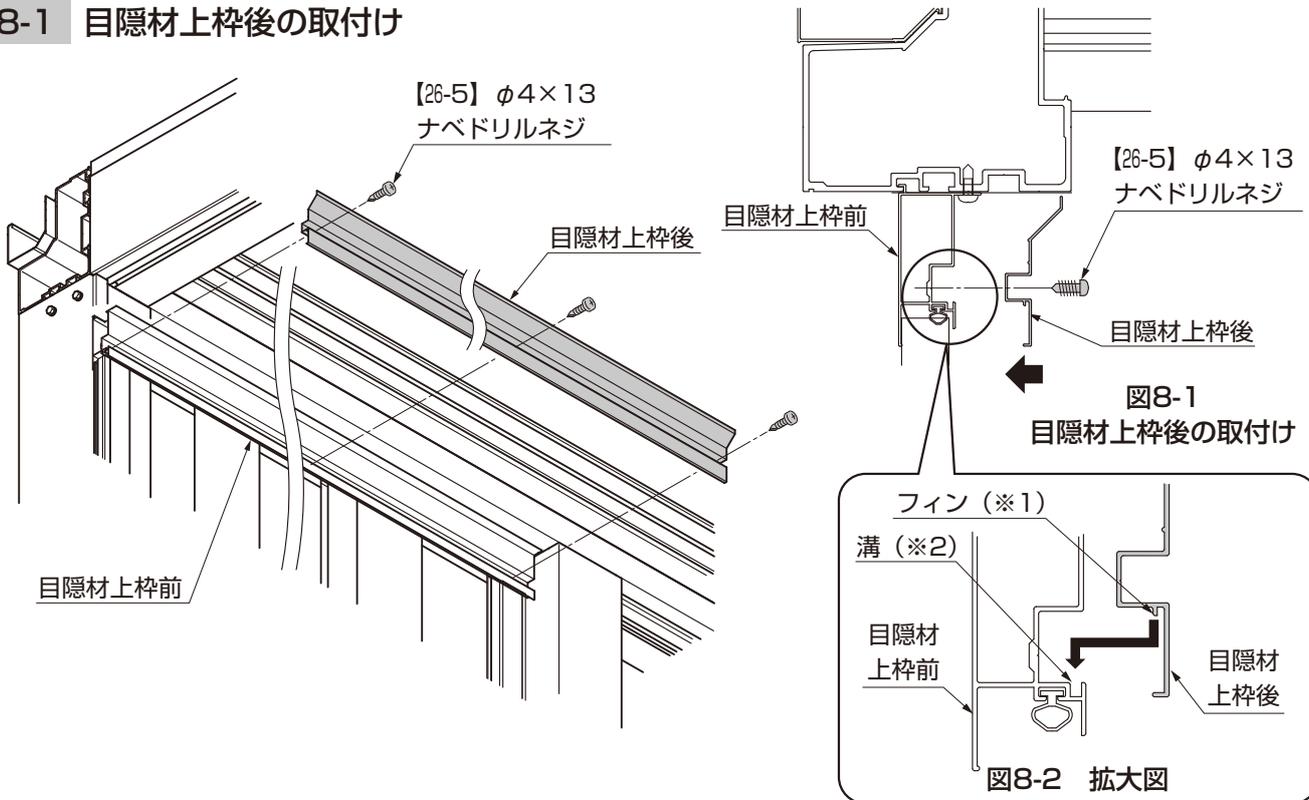
①必要枚数の目隠材を取付けたら、目隠端部材Bと目隠側枠Bカバーをはめて、【26-5】で固定してください。

### ポイント

- 目隠側枠Bカバーを、目隠側枠Bのフィン(※1)に差込んでください。
- 目隠端部材Bを、目隠材全体を外観右に押し付けながら(※2)、目隠側枠Bカバーを目隠材側枠Bに正面から取付けてください。

## 8. 目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け

### 8-1 目隠材上枠後の取付け

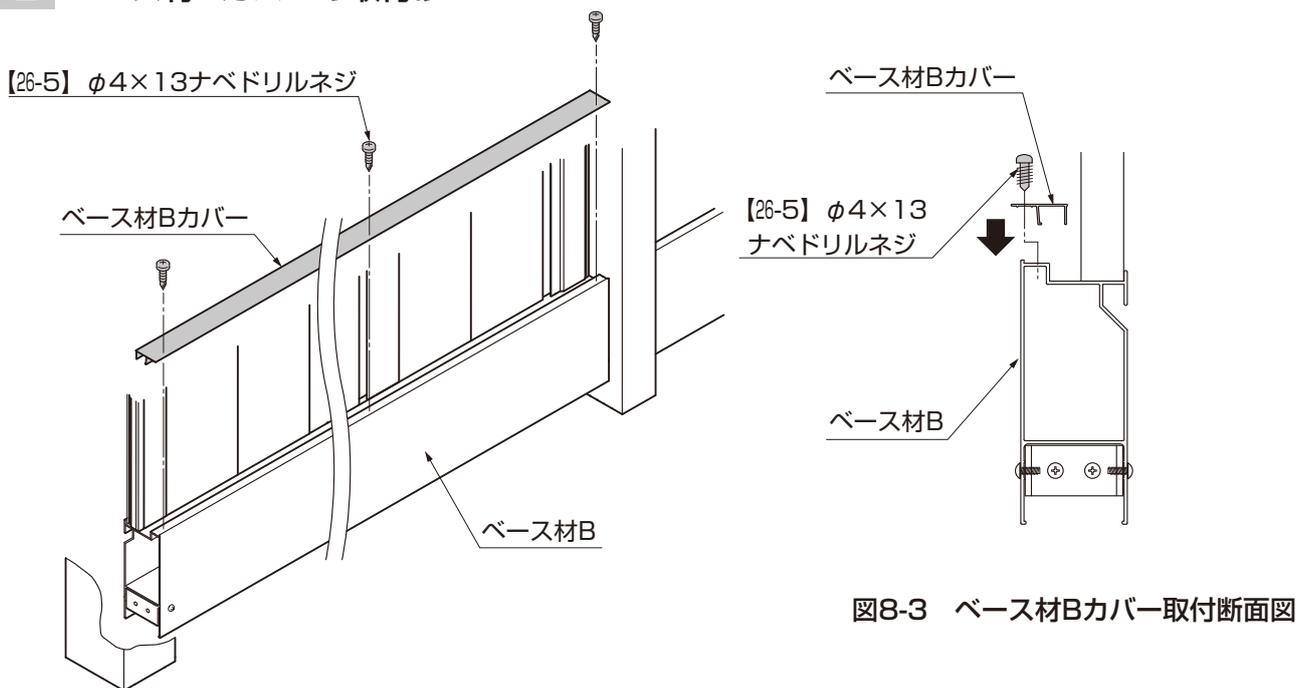


①目隠材上枠後を、【26-5】で目隠材上枠前に取付けてください。

#### ポイント

●目隠材上枠後のフィン(※1)を、目隠材上枠前の溝(※2)に入れるように取付けてください。

### 8-2 ベース材Bカバーの取付け



①ベース材Bカバーを、【26-5】でベース材Bに取付けてください。

## 9. 目隠オプションの取付け

オプション

### 9-1 Lアングルの取付け

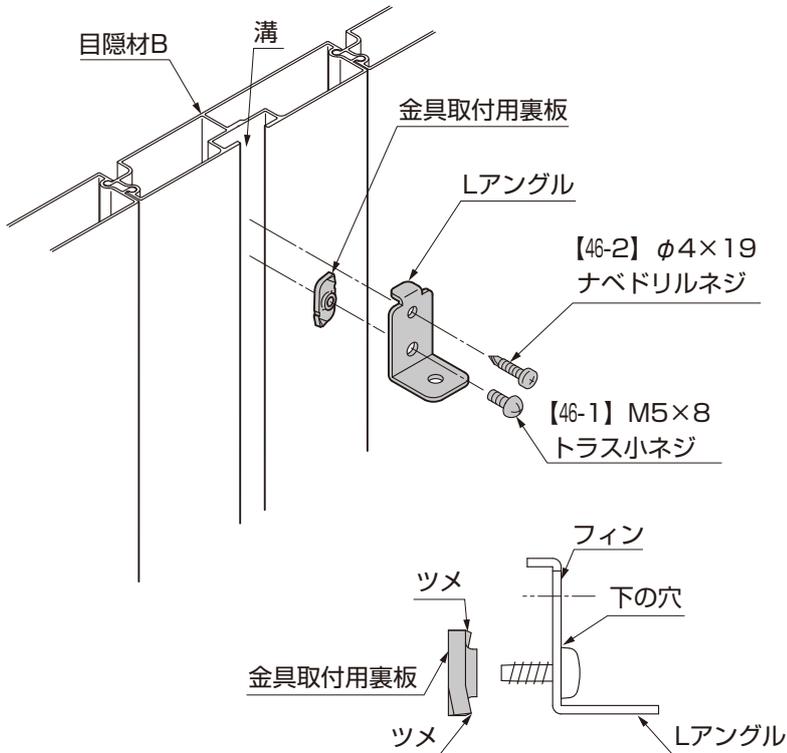


図9-1 Lアングルの取付け

①Lアングルに金具取付け裏板を【46-1】で仮止めしてください。

#### ポイント

- 金具取付け裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をLアングルに向けてください。
- Lアングルのフィンを上にしたとき、下の穴に取付けてください。

②金具取付用裏板を、目隠材Bの溝に入れて、Lアングルを【46-2】でしっかりと固定してください。

#### ポイント

- Lアングルは、目隠材B1箇所につき3個まで取付けできます。

### 9-2 フックの取付け

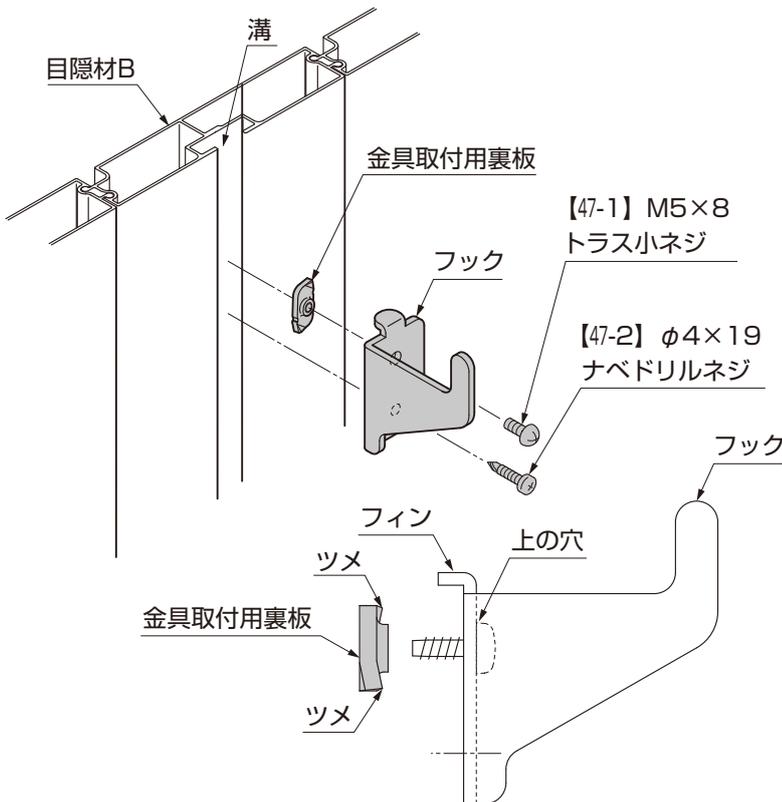


図9-2 フックの取付け

①フックに金具取付け裏板を【47-1】で仮止めしてください。

#### ポイント

- 金具取付け裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をフックに向けてください。
- フックのフィンを上にしたとき、上の穴に取付けてください。

②金具取付用裏板を、目隠材Bの溝に入れて、フックを【47-2】でしっかりと固定してください。

#### ポイント

- フックは、目隠材B1箇所につき3個まで取付けできます。

## 10. 換気扇の取付け オプション

### 10-1 換気扇の取付け

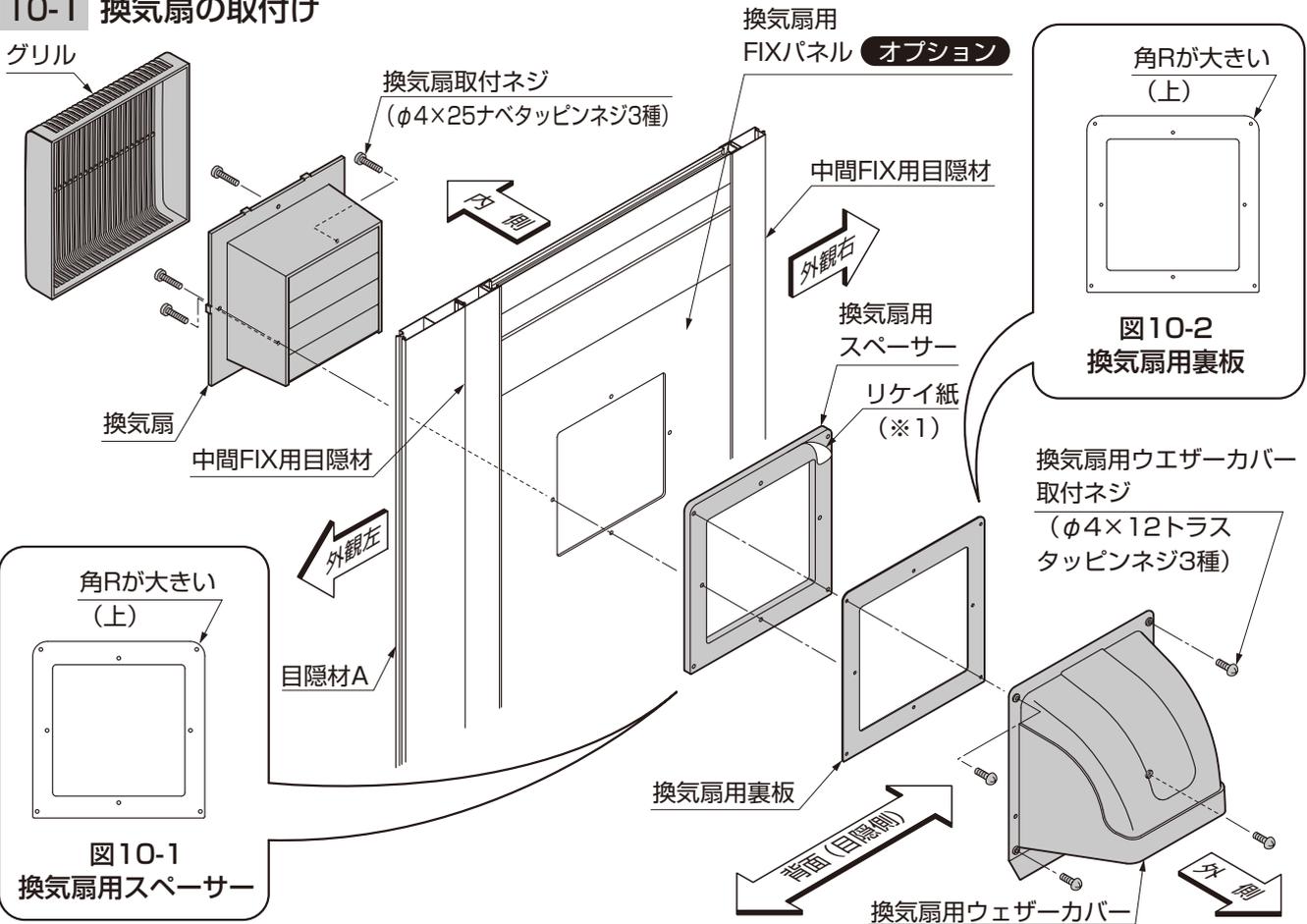


図10-1  
換気扇用スペーサー

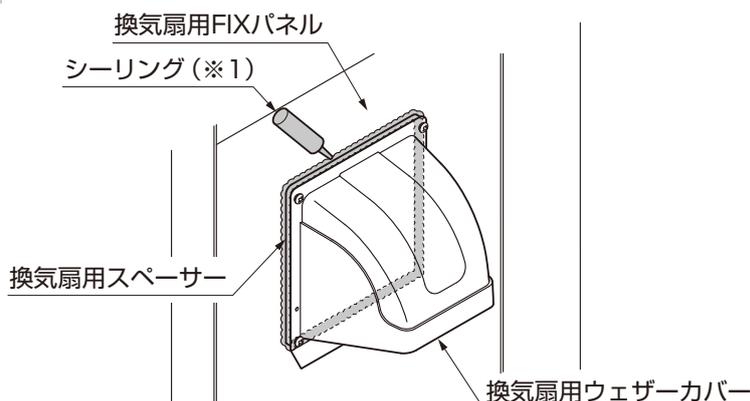
図10-2  
換気扇用裏板

- ①換気扇用スペーサーのリケイ紙をはがして(※1)換気扇用FIXパネルのネジ穴に合わせて、貼付けてください。
- ②換気扇用裏板と換気扇用ウェザーカバーを、換気扇用ウェザーカバー取付ネジで取付けてください。
- ③換気扇を、内側から換気扇取付ネジで取付けてください。
- ④最後にグリルをはめてください。

#### ポイント

- 換気扇と換気扇用裏板を、換気扇用ウェザーカバー取付ネジで、換気扇用スペーサーが1mm~2mmつぶれるまで締付けて固定してください。
- 換気扇用スペーサーと換気扇用裏板は、角Rが大きい方を上にして取付けてください。(図10-1、図10-2参照)

### 10-2 シーリング処理



- ①換気扇用ウェザーカバーのまわりをシーリングしてください。(※1)

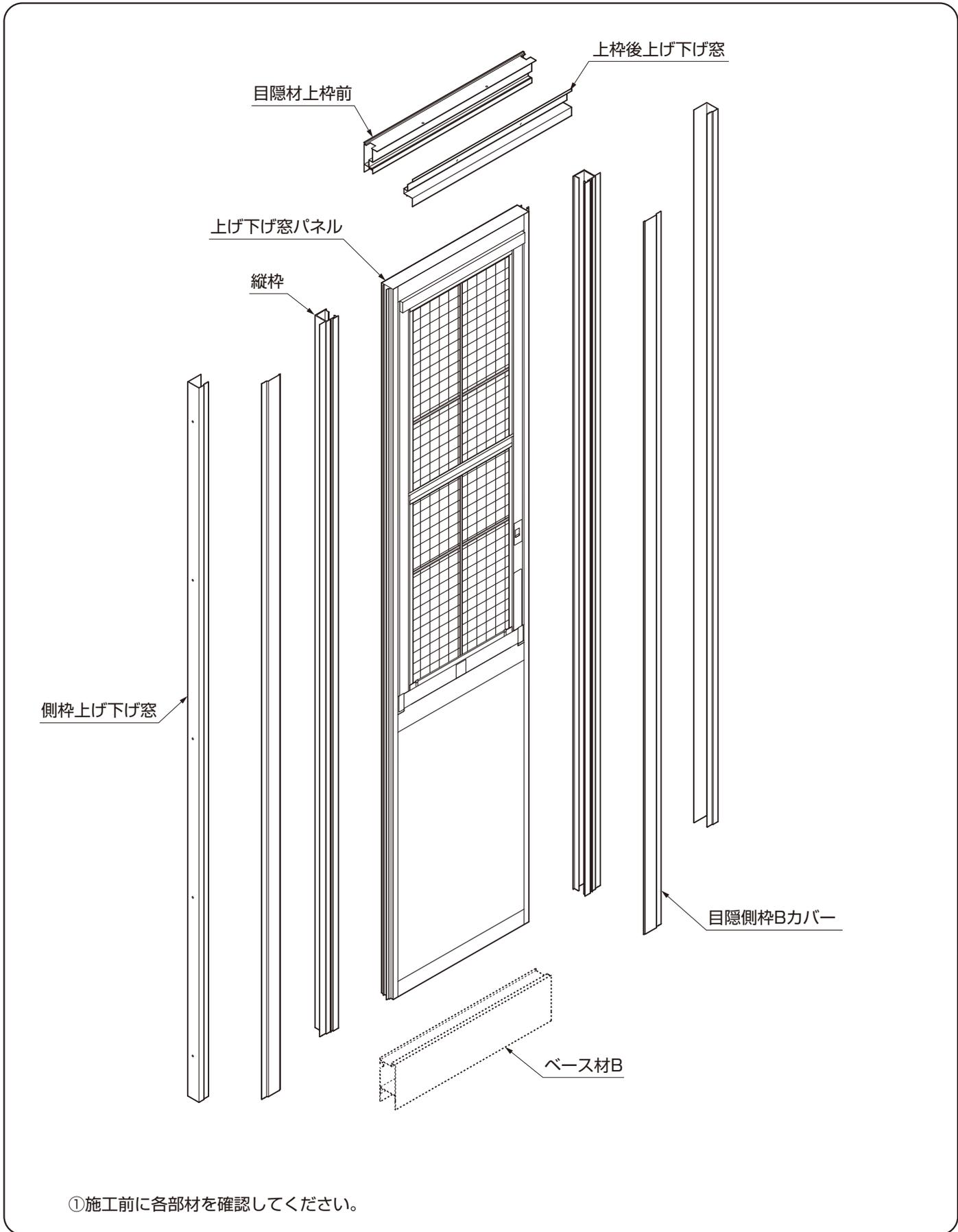
#### ポイント

- 確実にシーリング処理をしてください。シーリングが不十分だと水漏れの原因になります。

# 7 上げ下げ窓の取付け

オプション

## 1. 施工前確認



①施工前に各部材を確認してください。

## 2. 目隠材上枠前の取付け

### 2-1 目隠材上枠前の取付け

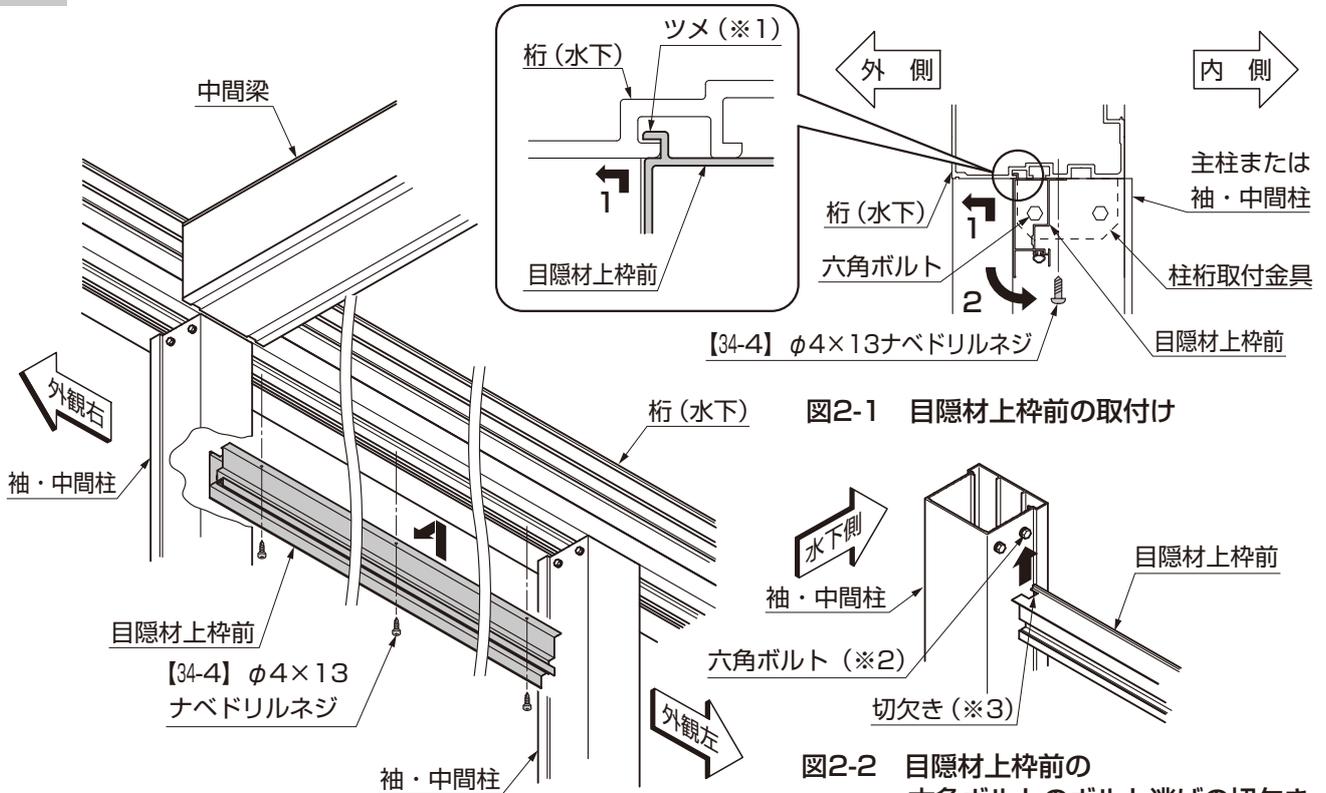


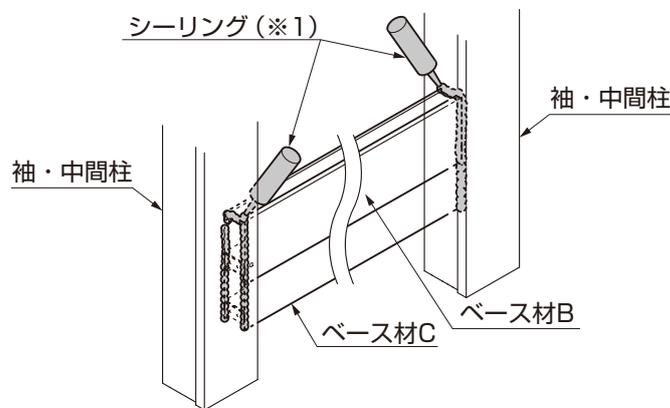
図2-2 目隠材上枠前の六角ボルトのボルト逃げの切欠き

①目隠材上枠前のツメ(※1)を、桁底部の溝に引っ掛けて、【34-4】で固定してください。(図2-1参照)

#### ポイント

- 柱桁取付金具の六角ボルトの頭(※2)が、目隠材上枠前にあたらないように、目隠材上枠前の切欠き部(※3)に六角ボルトを通すように取付けてください。(図2-2参照)

### 2-2 ベース材のシーリング



①ベース材にシーリング(※1)をしてください。

#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

### 3. 側枠上げ下げ窓の取付け

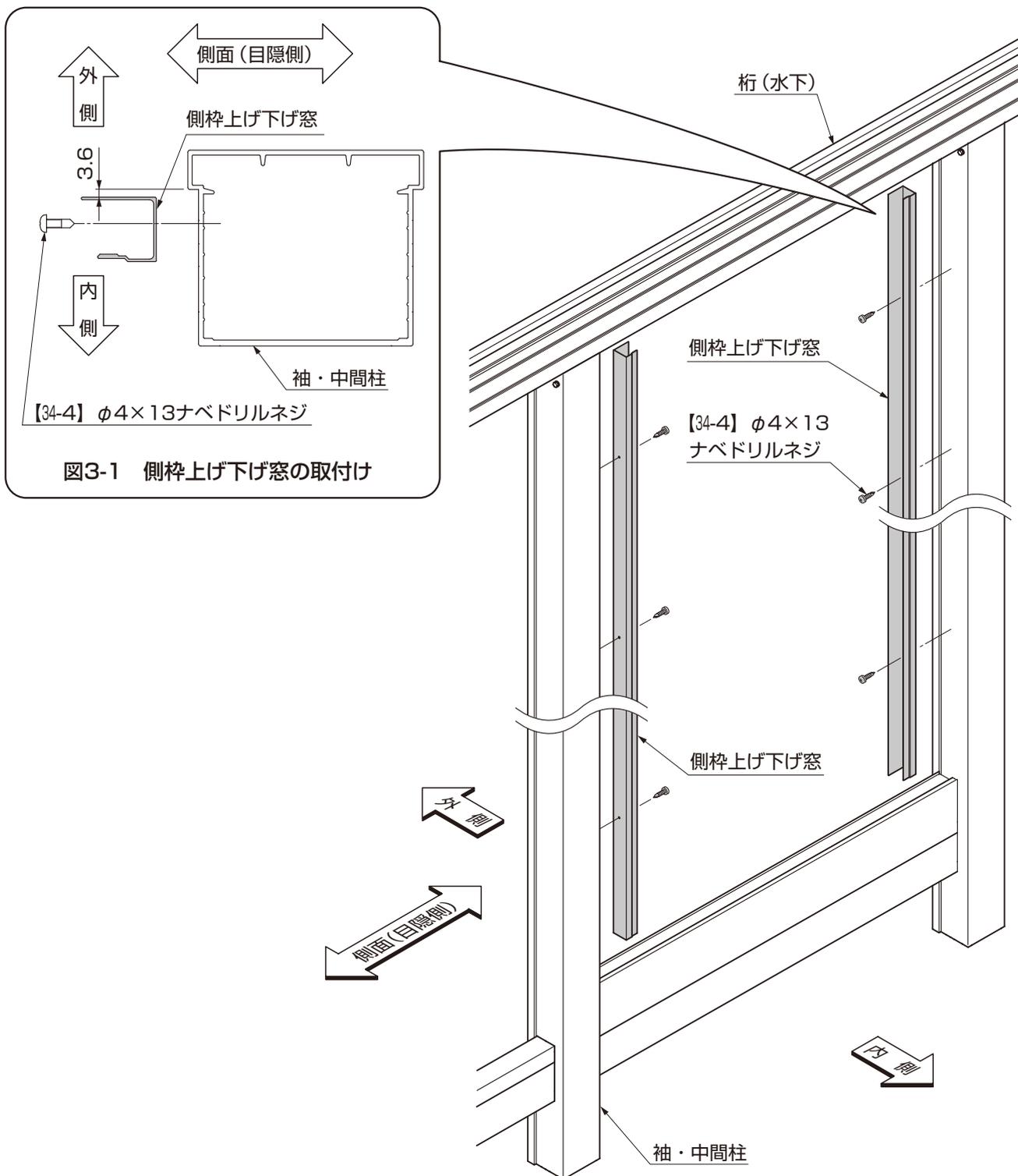


図3-1 側枠上げ下げ窓の取付け

①側枠上げ下げ窓を【34-4】で袖・中間柱に取付けてください。

#### ポイント

●側枠上げ下げ窓には、外側・内側の向きがありますので確認してください。(図3-1参照)

## 4. 上げ下げ窓パネルの取付け

### 4-1 上げ下げ窓パネルの取付け

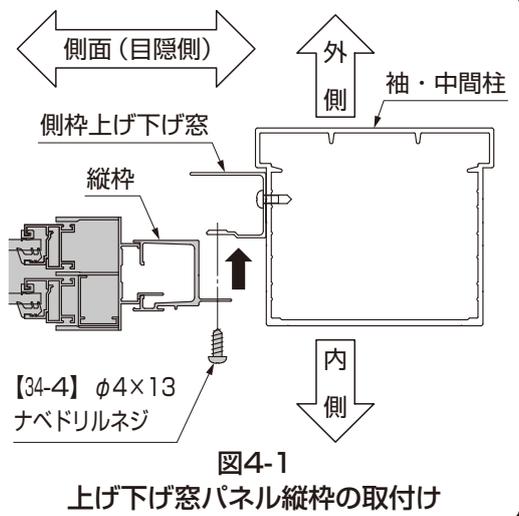
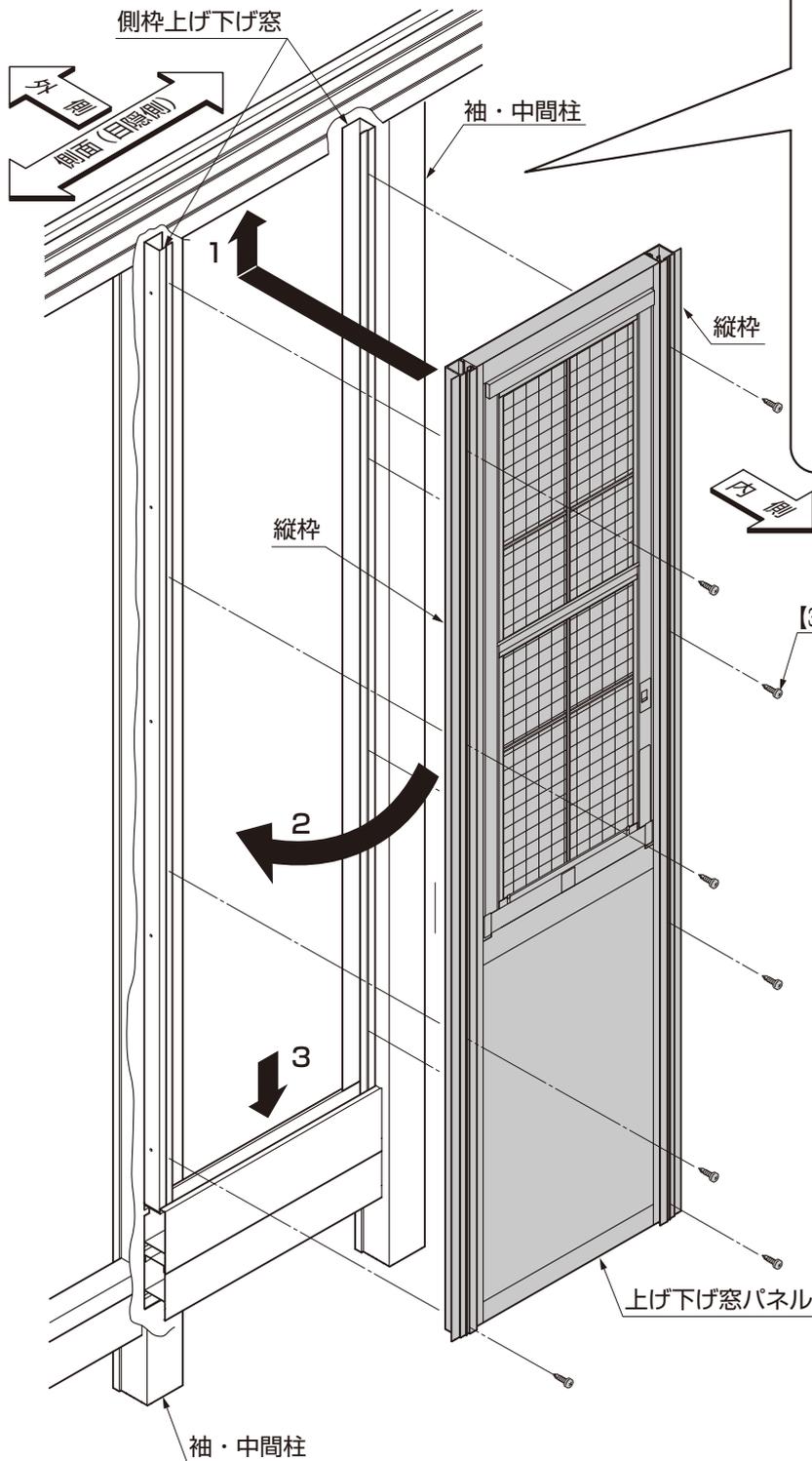


図4-1  
上げ下げ窓パネル縦枠の取付け

[34-4] φ4×13 ナベドリルネジ

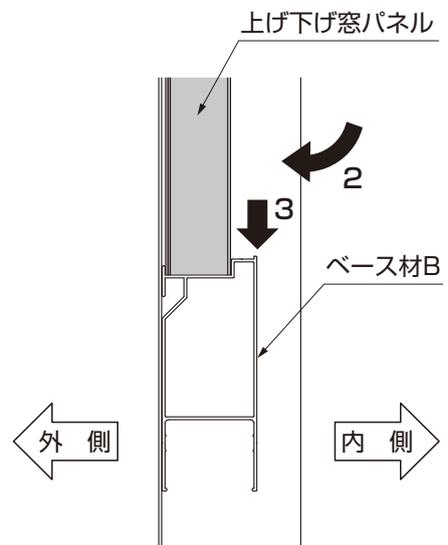


図4-2  
上げ下げ窓パネルの落とし込み

① 袖・中間柱の間に、内側から上げ下げ窓パネルを入れ、【34-4】で縦枠と側枠上げ下げ窓を取付けてください。

#### ポイント

- 上げ下げ窓には、外側・内側の向きがありますので確認してください。(図4-1参照)
- 上げ下げ窓を、ベース材Bに乗せるように落とし込んでください。(図4-2参照)



## 5. 上枠後上げ下げ窓の取付け

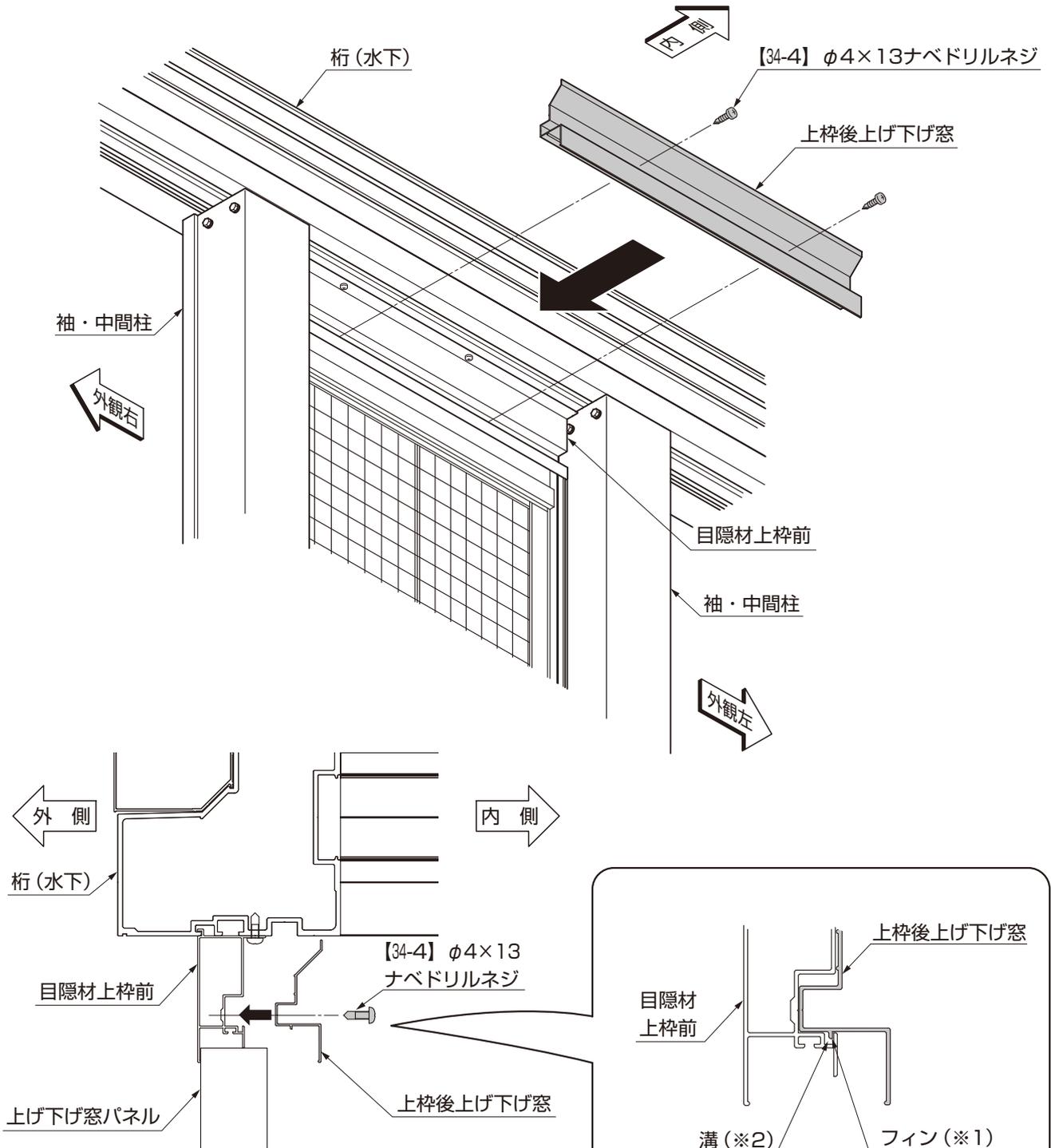


図5-1 上枠後上げ下げ窓の取付け

図5-2

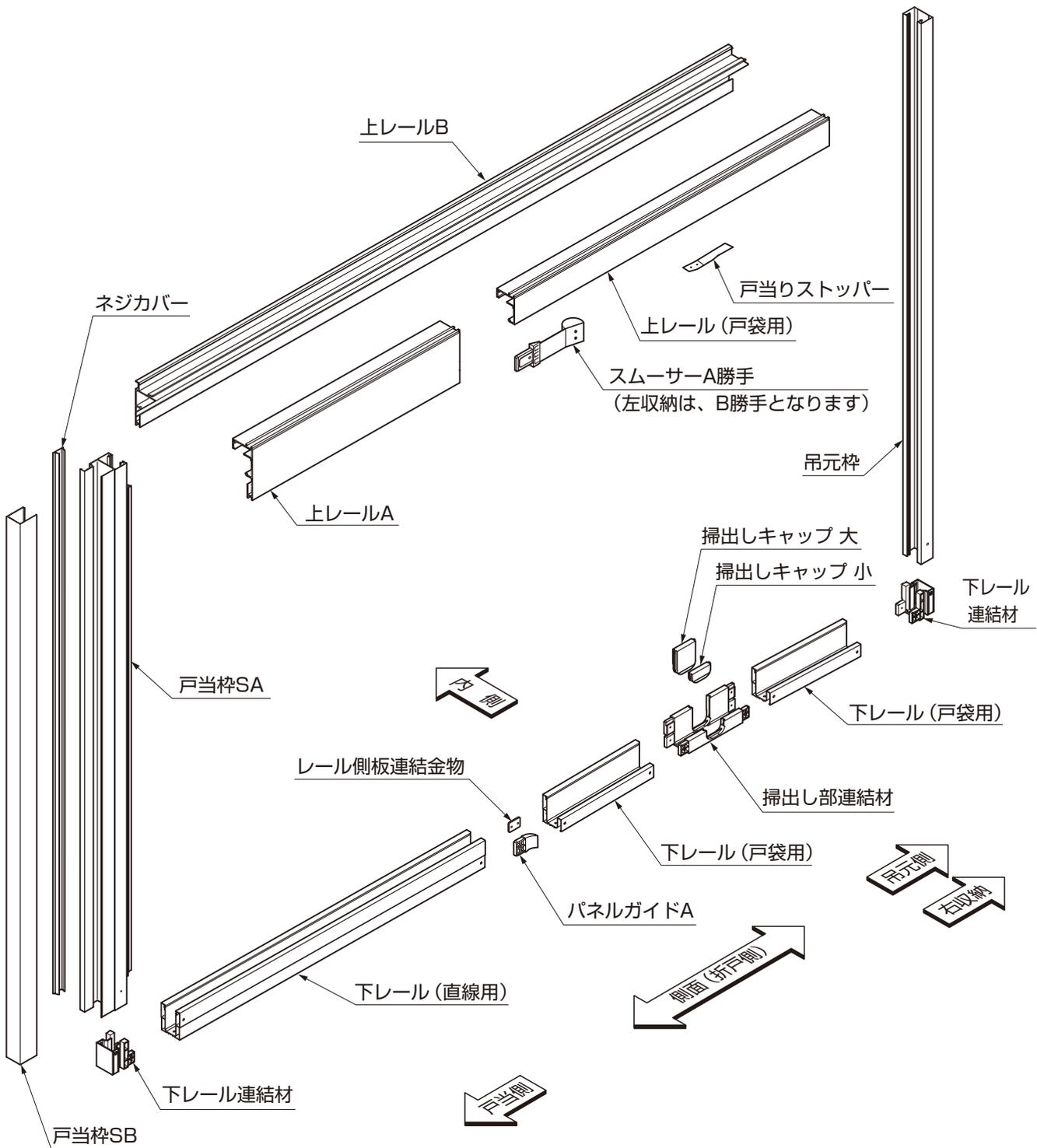
①上枠後上げ下げ窓を、【34-4】で目隠材上枠前に取付けてください。

### ポイント

●上枠後上げ下げ窓のフィン(※1)を、目隠材上枠前の溝(※2)に入れるように取付けてください。

# 8 折戸レールの取付け

## 1. 施工前確認



①折戸レールの施工前に各部材を確認してください。

## 2. 下レール連結材の取付け

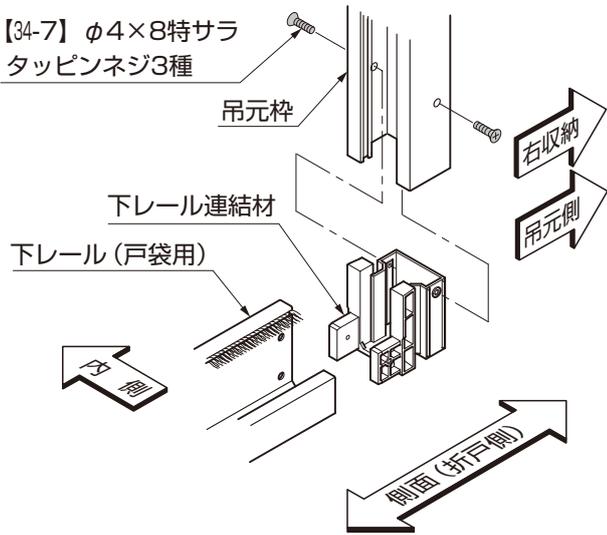


図2-1 吊元側の取付け

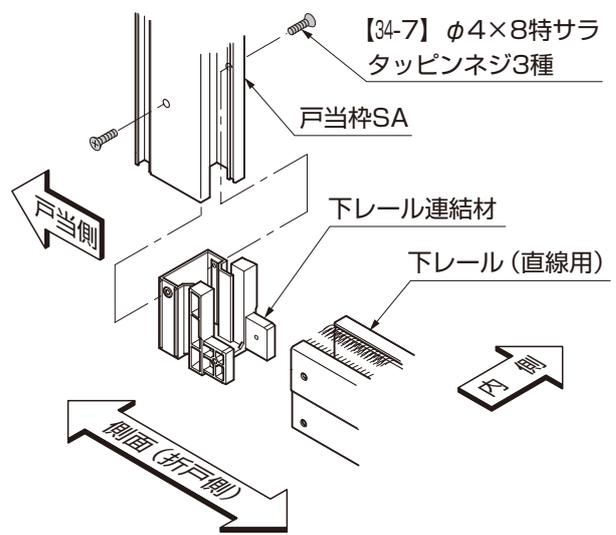


図2-2 戸当側の取付け

- ①吊元枠に下レール連結材を【34-7】で取付けてください。
- ②戸当枠SAに下レール連結材を【34-7】で取付けてください。

## 3. 吊元枠・戸当枠SBの取付け

### (1) ベース材のシーリング

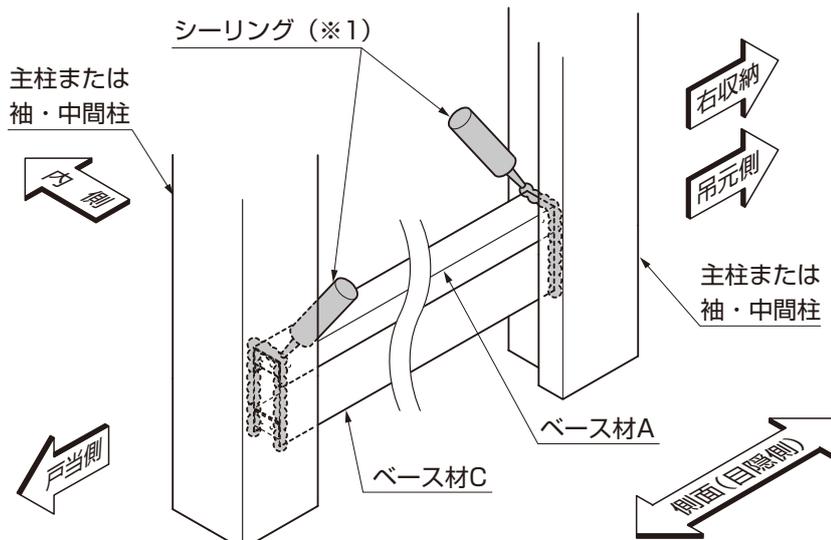


図3-1 ベース材 (折戸パネル) シーリング箇所

- ①ベース材にシーリング (※1) をしてください。(図3-1参照)

#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

(2) 吊元枠・戸当枠の取付け

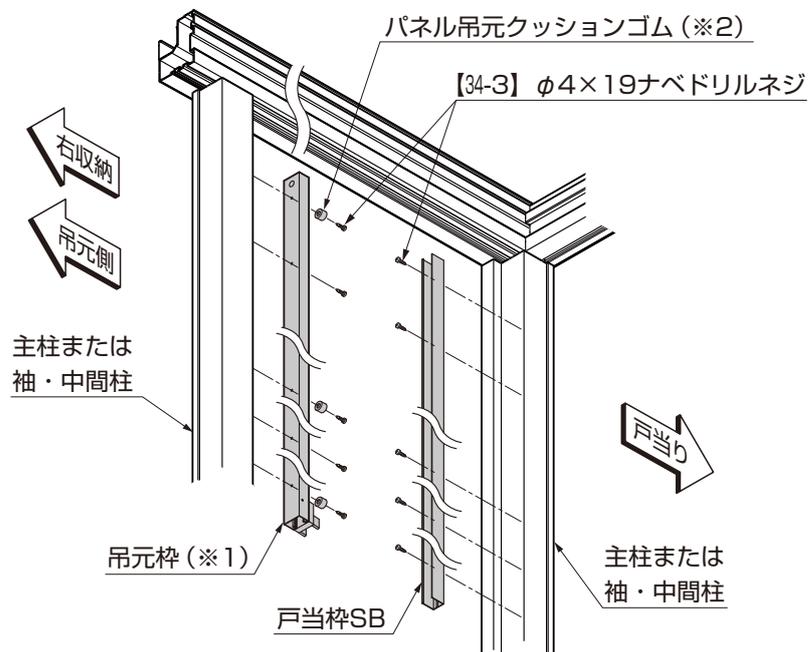


図3-2 吊元枠と戸当枠SBの取付け

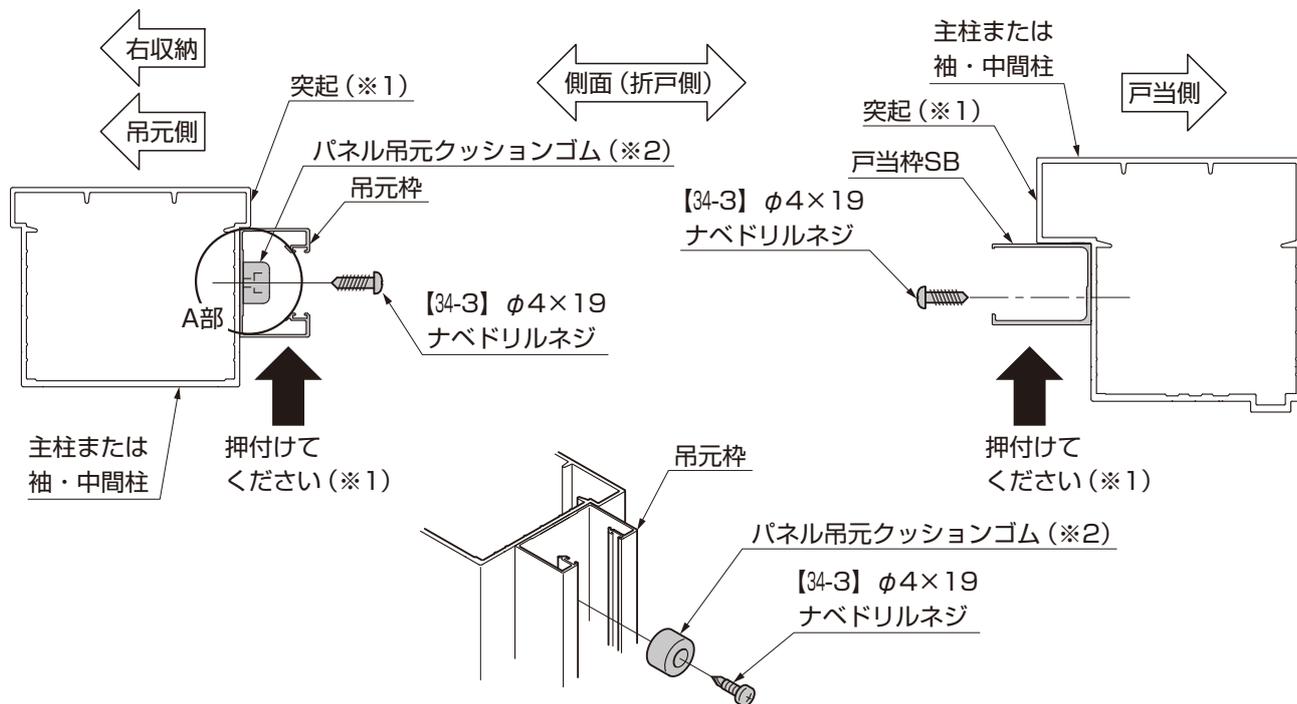


図3-3 A部 パネル吊元クッションゴムの取付け

①吊元枠を主柱または袖・中間柱の突起に押付けて(※1)から、吊元枠とパネル吊元クッションゴムを【34-3】で取付けてください。(図3-2、図3-3参照)

**ポイント**

- パネル吊元クッションゴム(※2)は、吊元枠の上・中・下の3ヶ所に取付けてください。
- ②戸当枠SBを主柱または袖・中間柱の突起に押付けて(※1)から【34-3】で取付けてください。(図3-2、図3-3参照)

## 4. 上レールA・上レール戸袋用の取付け

### 4-1 上レールBの加工

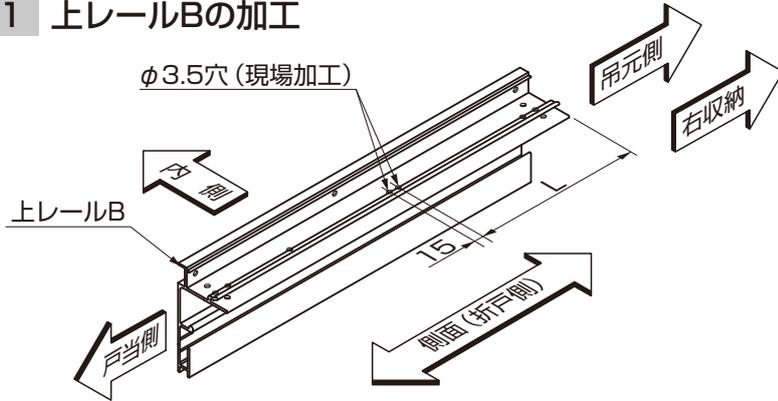


表4-1 上レールBの穴加工寸法

タイプ	折戸パネル枚数	L
D18	4枚用	223
D21・D24	6枚用	265
D30	8枚用	307

①上レールBに戸当りストッパー取付け用のφ3.5の穴をあけてください。(表4-1参照)

#### ポイント

- 穴位置を間違えると、パネルの開閉に支障を生じることがあります。

### 4-2 上レールA・上レール(戸袋用)の取付け

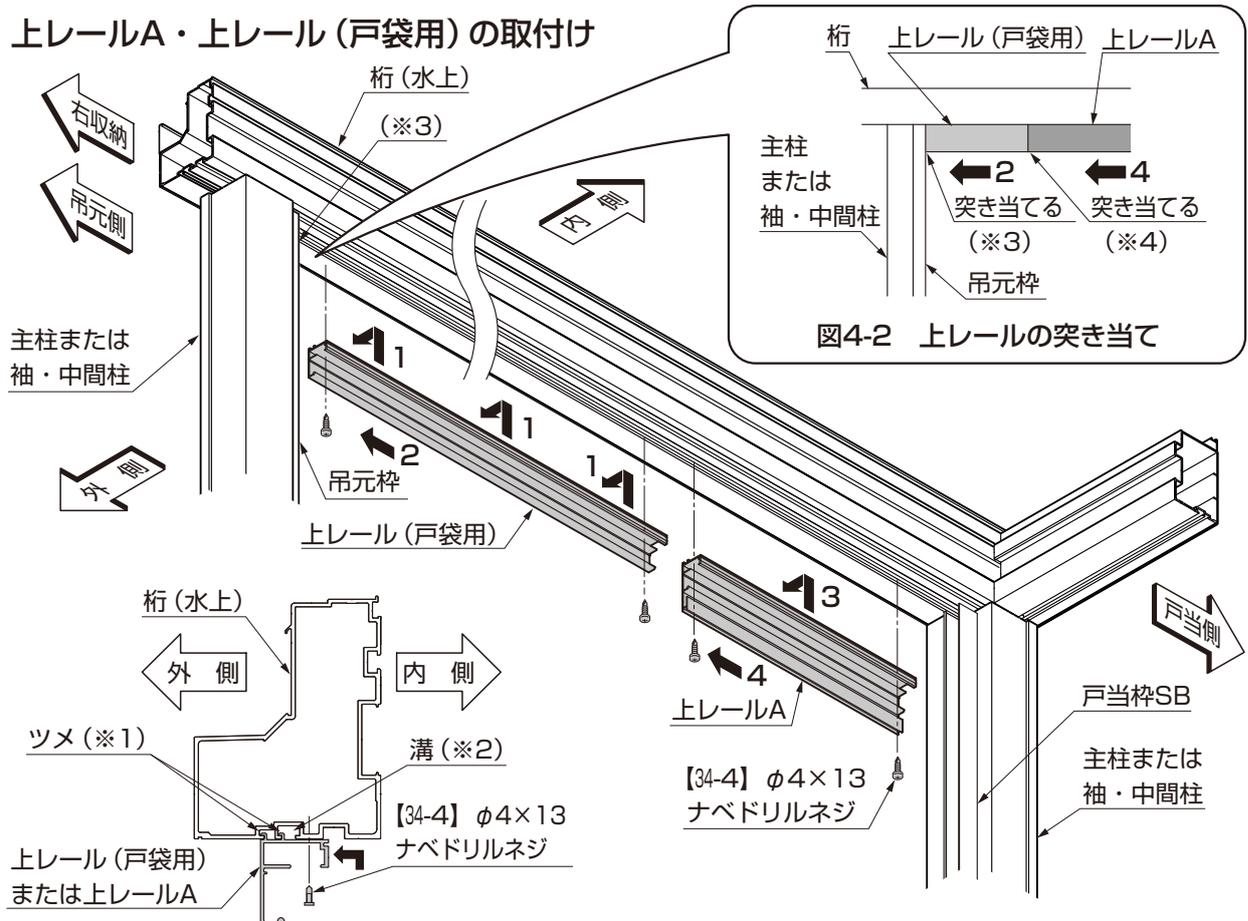


図4-1 上レール(戸袋用)・上レールAの取付け

- ①上レール(戸袋用)のツメ(※1)を、桁底部の溝(※2)に引っ掛けて、【34-4】で取付けてください。(図4-1参照)
- ②同様に上レールAのツメを、桁底部の溝(※2)に引っ掛けて、【34-4】で取付けてください。(図4-1参照)

#### ポイント

- 上レール(戸袋用)を、吊元枠に突き当てて(※3)から固定してください。(図4-2参照)
- 上レールAを上レール(戸袋用)に突き当てて(※4)から固定してください。(図4-2参照)

## 5. スムーサーの取付け

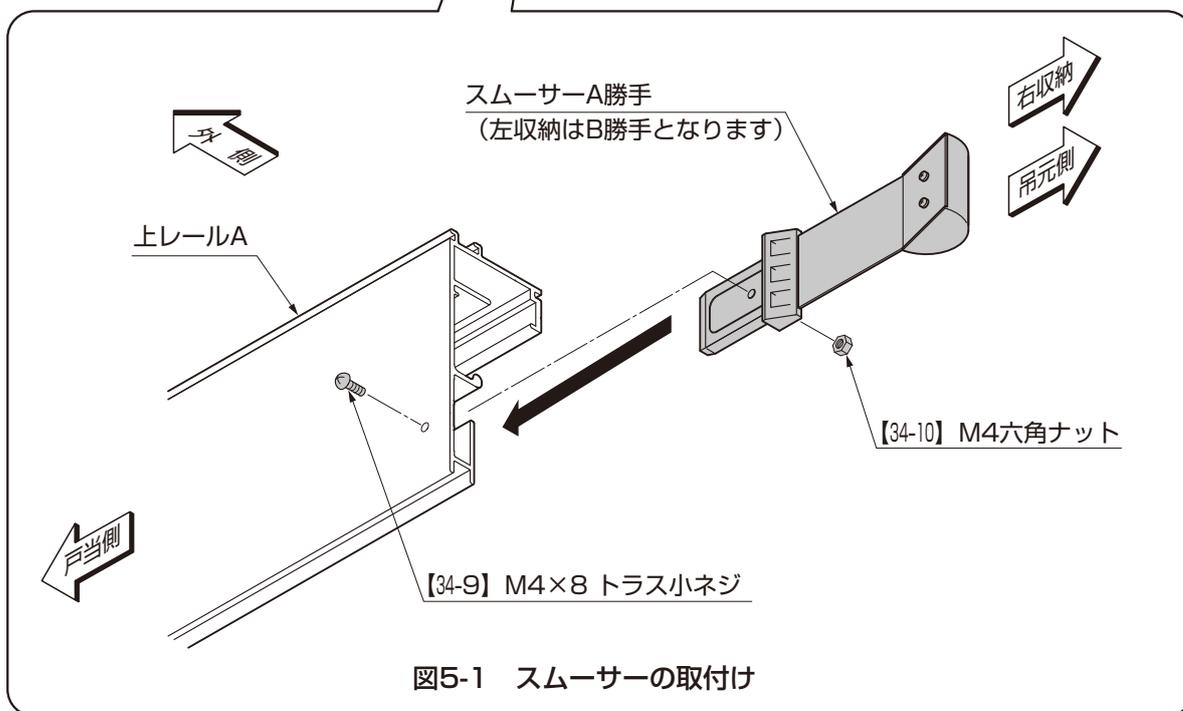
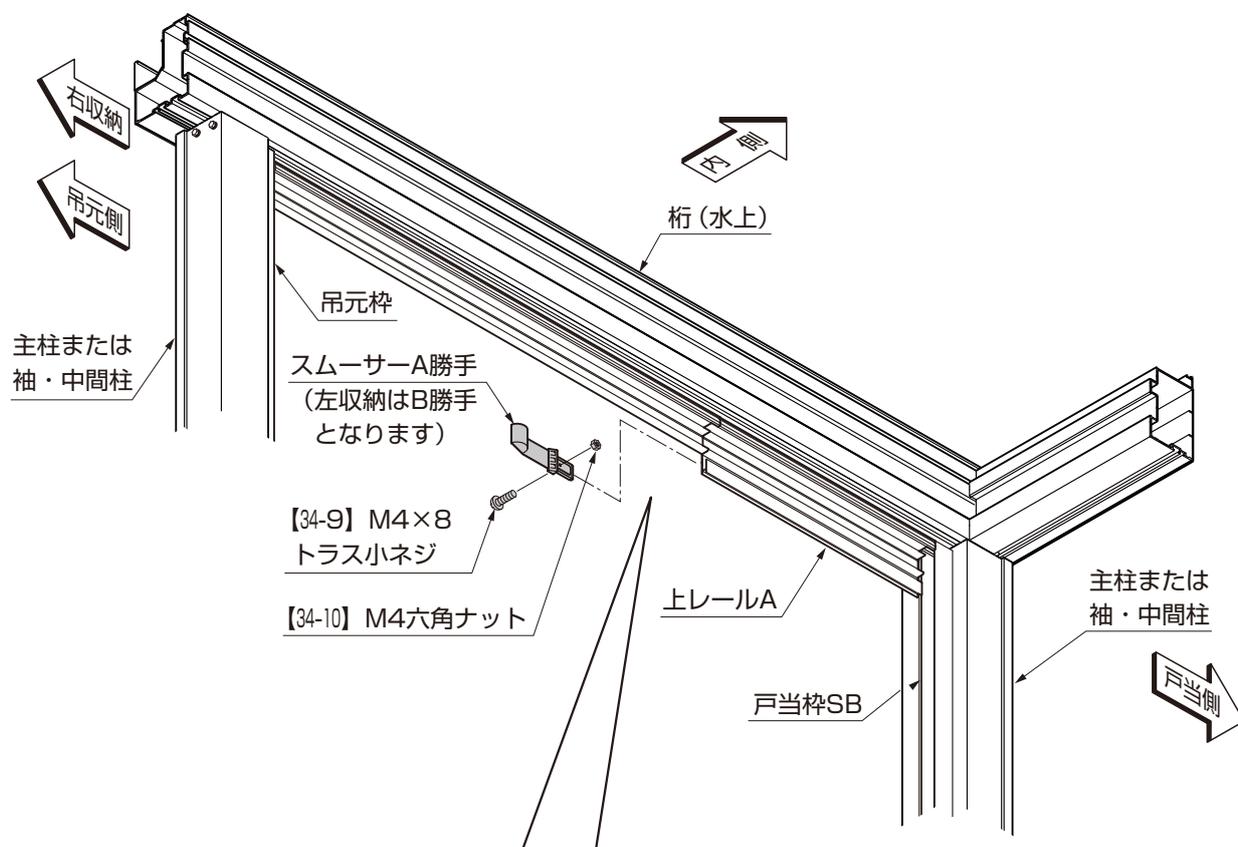


図5-1 スムーサーの取付け

①上レールAにスムーサーA勝手を【34-9】、【34-10】で取付けてください。(図5-1参照)

**ポイント**

●スムーサーの取付け方向に注意してください。スムーサーの半円型が内側の吊元側となります。

## 6. 上レールBの取付け

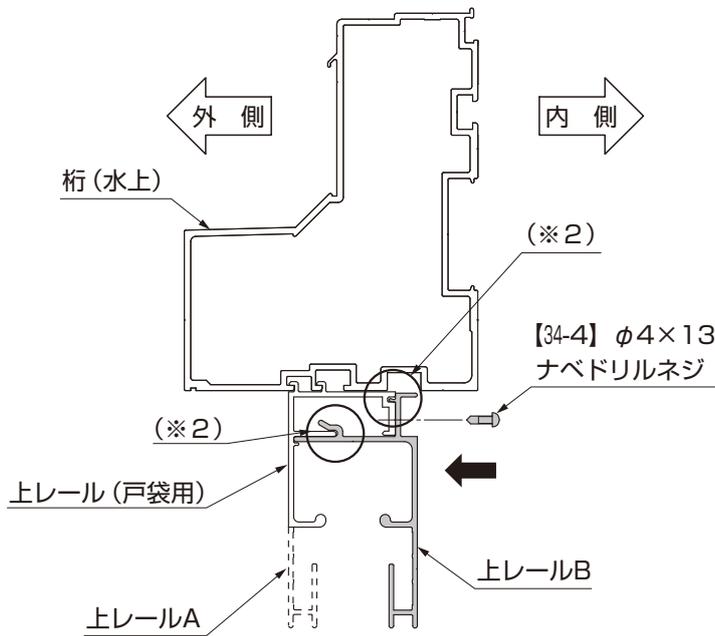
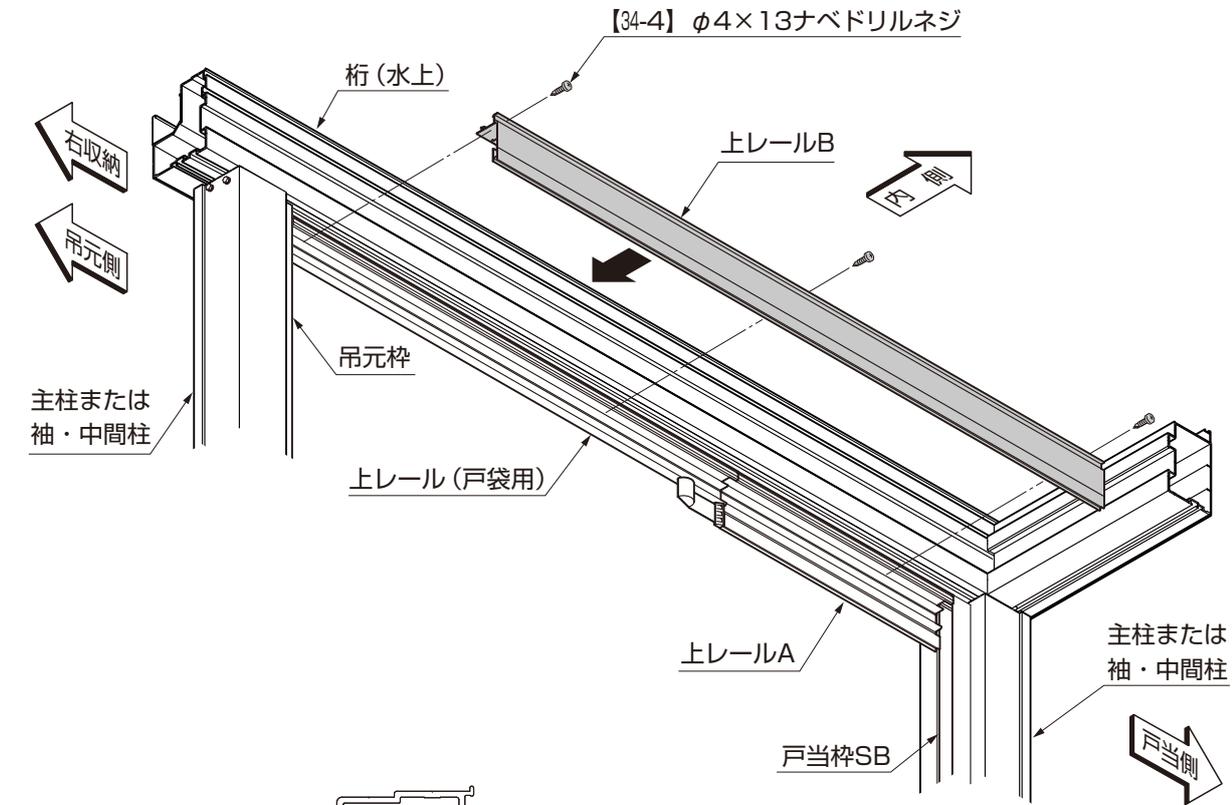


図6-1 上レールBの取付け

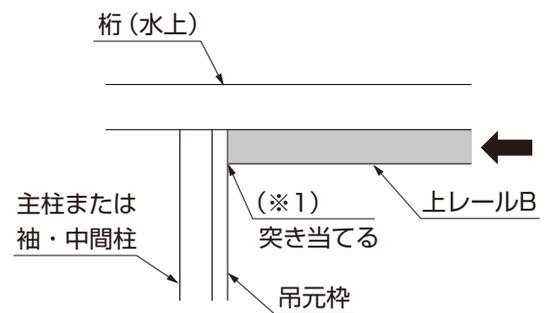


図6-2 上レールBの突き当て

①上レールBを、上レール戸袋用、上レールAに引っ掛けて(\*2)【34-4】で取付けてください。(図6-1参照)

**ポイント**

- 上レール戸袋用・上レールAの溝に、上レールBを正面から差込んで取付けてください。(図6-1参照)
- 上レールBを、吊元棒に突き当てて(\*1)から固定してください。(図6-2参照)

## 7. 下レール (戸袋用) の取付け

### 7-1 下レール (戸袋用) の取付け

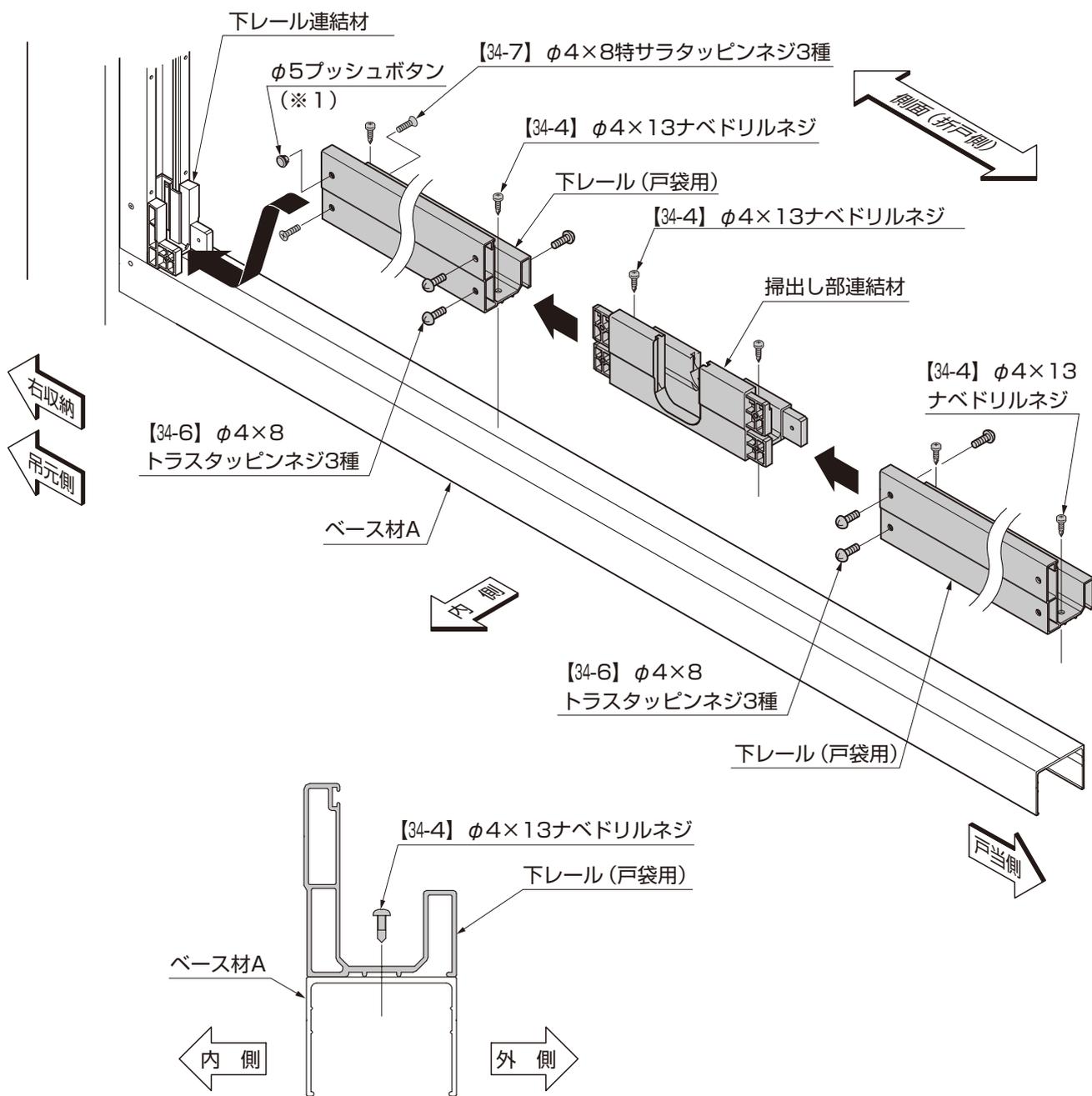
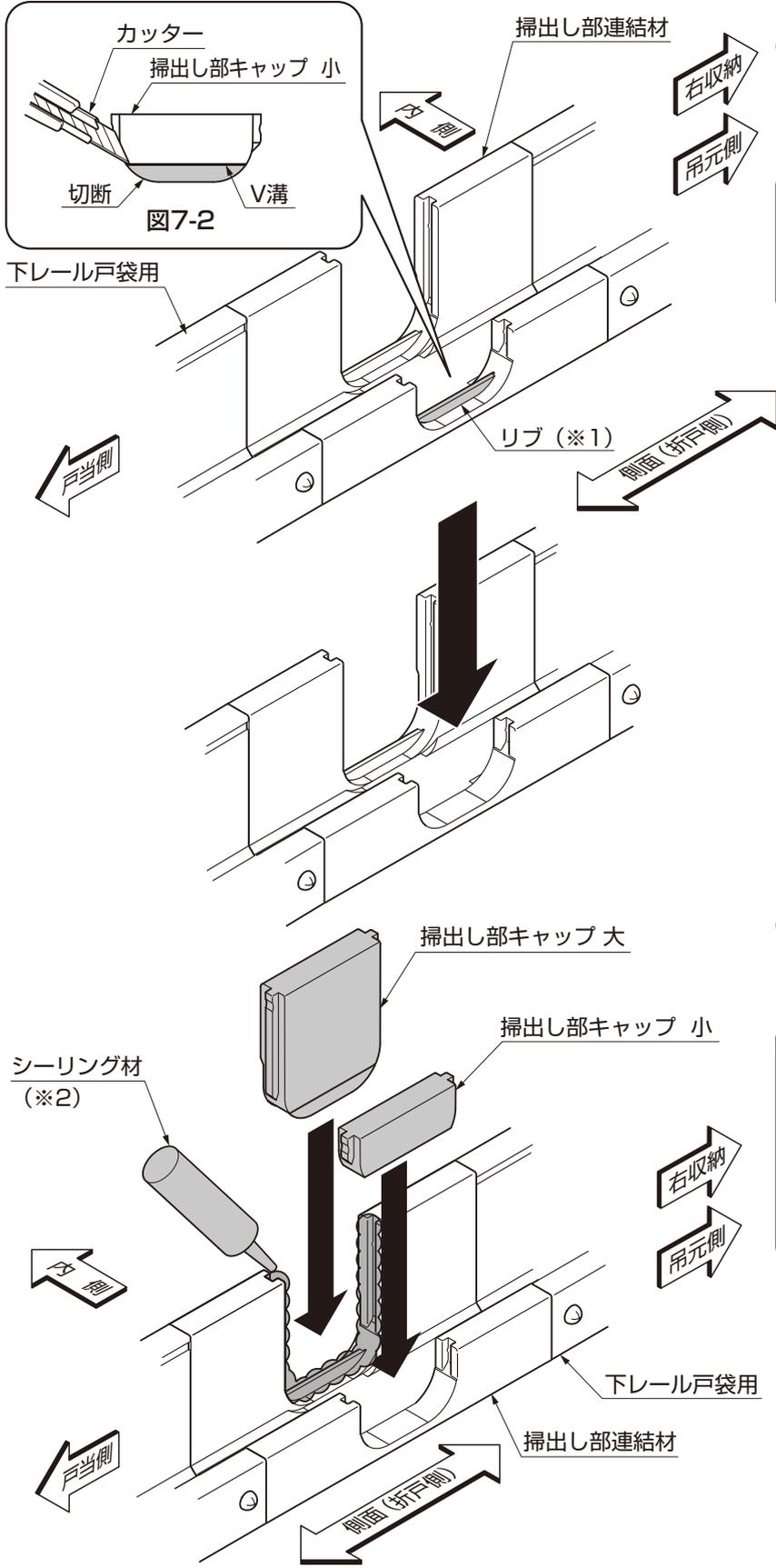


図7-1 ベース材Aと下レール取付け

- ①吊元側から、下レール連結材に、下レール (戸袋用) を差込んで、【34-7】で取付けてください。
- ②下レール (戸袋用) に、掃出し部連結材を差込んで、【34-6】で取付けてください。
- ③掃出し部連結材に、下レール (戸袋用) を差込んで、【34-6】で取付けてください。
- ④下レール (戸袋用) と掃出し部連結材をベース材Aに、【34-4】で固定してください。
- ⑤吊元側下レール (戸袋用) にφ5プッシュボタン (※1) を取付けてください。

## 7. (つづき)

### 7-2 掃出し部連結材の取付け



① 掃出し部連結材の掃出し部キャップ小の取付け部分のリブ(※1)を切取ってください。(図7-2参照)

**ポイント**

- 掃出し部キャップ小取付部分の下側を、V溝に沿ってカッター等で切取ってください。(図7-2参照)

② 掃出し部キャップ 大小を、掃出し部連結材に差込んでください。

**ポイント**

- シーリング処理を行なう前に、表面の水分・ゴミ・油分が除去できているか確認をしてください。
- 内側の掃出し部キャップ 大の取付部分にシーリング(※2)をして、掃出し部キャップ 大を取付けてください。

## 8. 下レール直線用の取付け

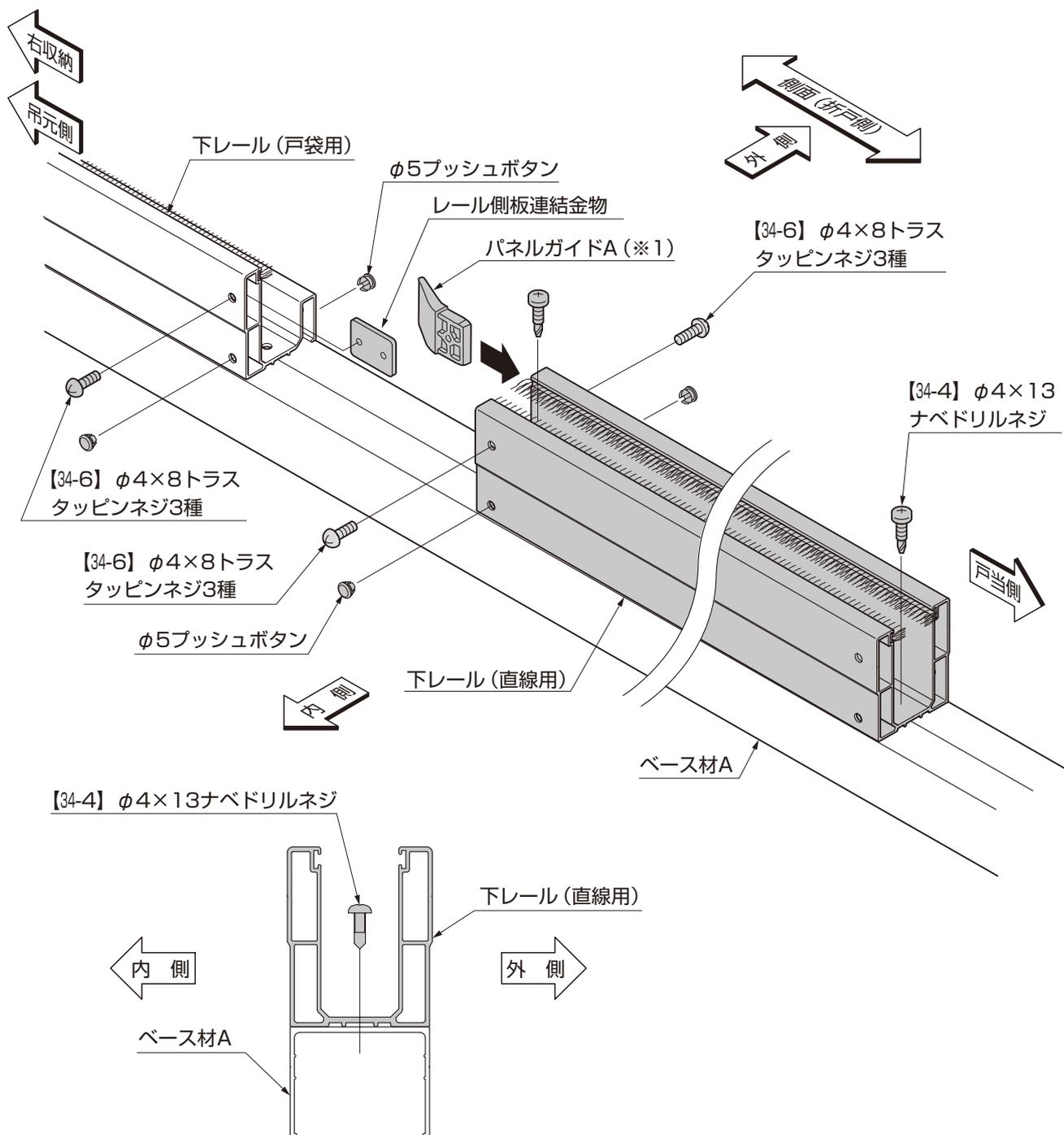


図8-1 下レール(直線用)の取付け

- ① 下レール(直線用)と、下レール戸袋用をレール側板連結金物、【34-6】で連結してください。
- ② パネルガイドAを、下レール(直線用)に【34-6】で取付けてください。

**ポイント**

● パネルガイドAの開いている向きに注意して取付けてください。開いている側が外側になります。(※1)

- ③ 下レール(直線用)をベース材に【34-4】で取付けてください。
- ④ 下レールにφ5プッシュボタンを取付けてください。

### 9. 戸当り框・連結框・吊元框の吊込み

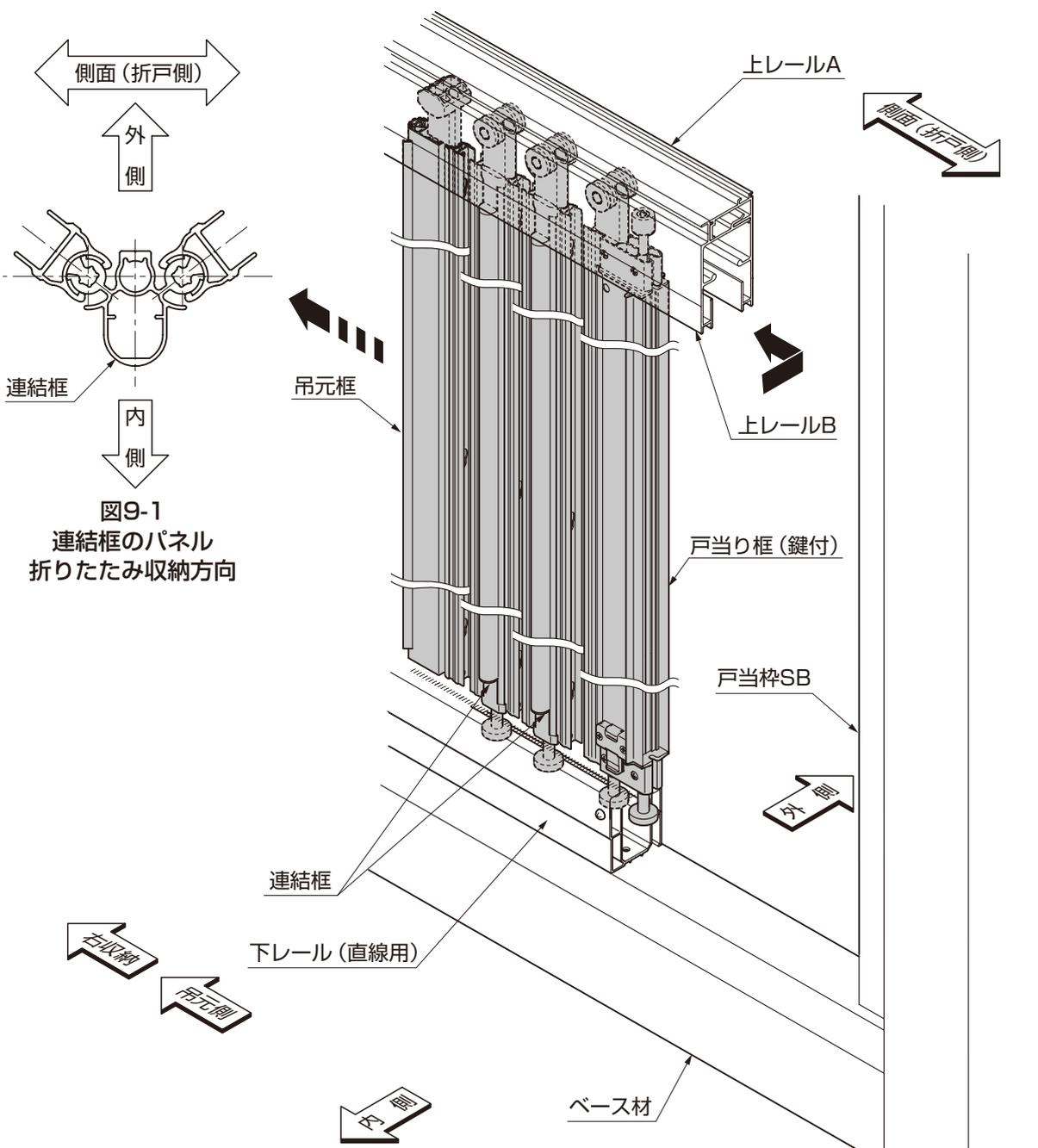


図9-1 連結框のパネル折りたたみ収納方向

表9-1 連結框の必要本数

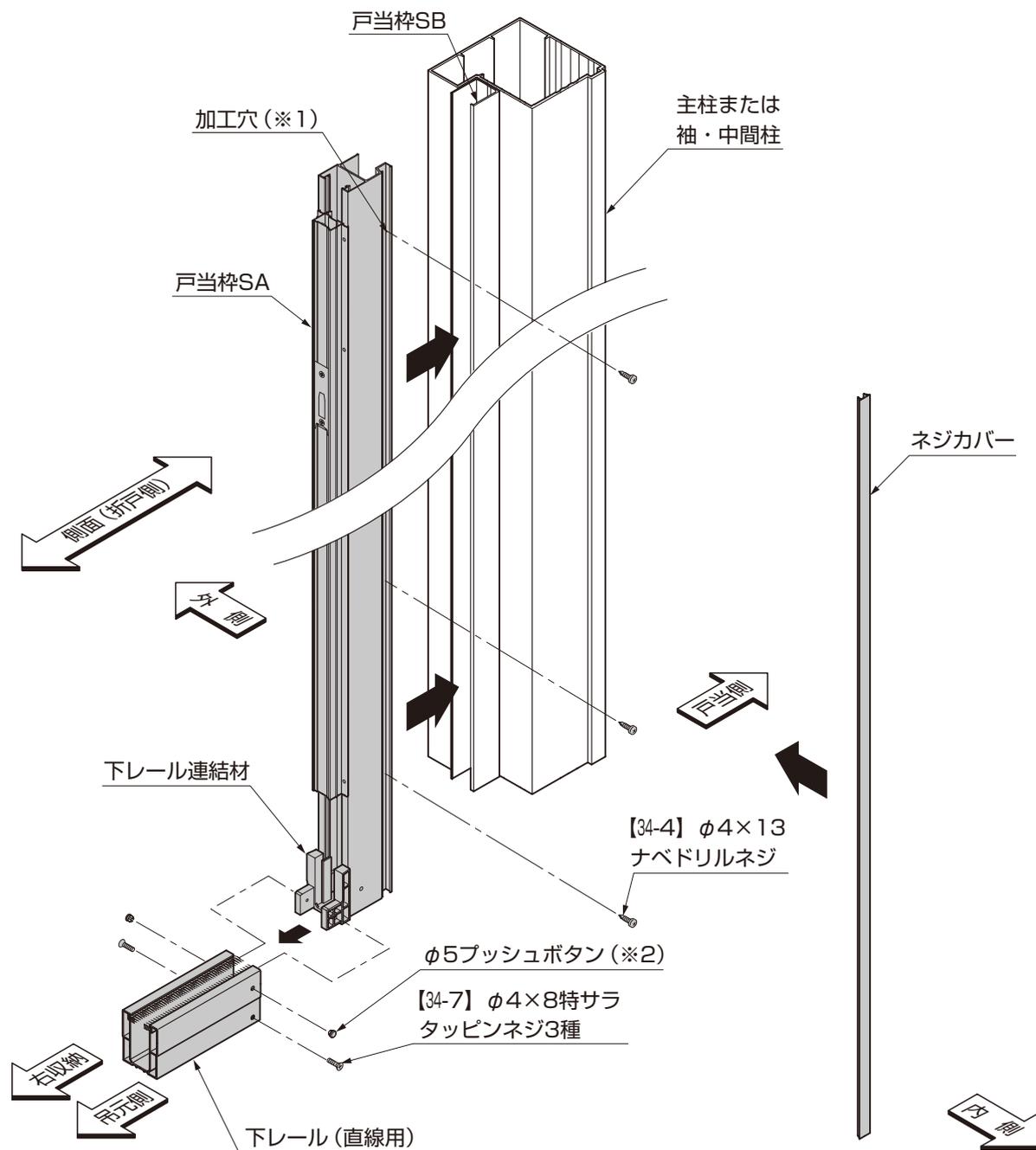
タイプ	折戸パネル枚数	連結框本数
D18	4枚用	1
D21・D24	6枚用	2
D30	8枚用	3

①上レールABに、吊元框・連結框、戸当り框の順に吊込んでください。

**ポイント**

●連結框は、パネルの枚数に応じて必要本数を挿入してください。(表9-1参照) このとき、パネル折りたたみ収納方向に注意してください。(図9-1参照)

## 10. 戸当枠SAの取付け



①戸当枠SAを、戸当枠SBに差込んでください。

### ポイント

- 戸当枠SAには向きがあります。戸当枠SAの加工穴(※1)が内側になるように取付けてください。
- 下レールに当たらないように戸当枠SAを回転しながら差込んでください。

- ②戸当枠SAを、戸当枠SBに差込んだ状態で、下レール(直線用)に差込み、[34-7]で取付けてください。
- ③戸当枠SAを、戸当枠SBに[34-4]で取付けてください。
- ④戸当枠SAに、ネジカバーを取付けてください。
- ⑤下レール(直線用)に、φ5プッシュボタン(※2)を取付けてください。

## 10. (つづき)

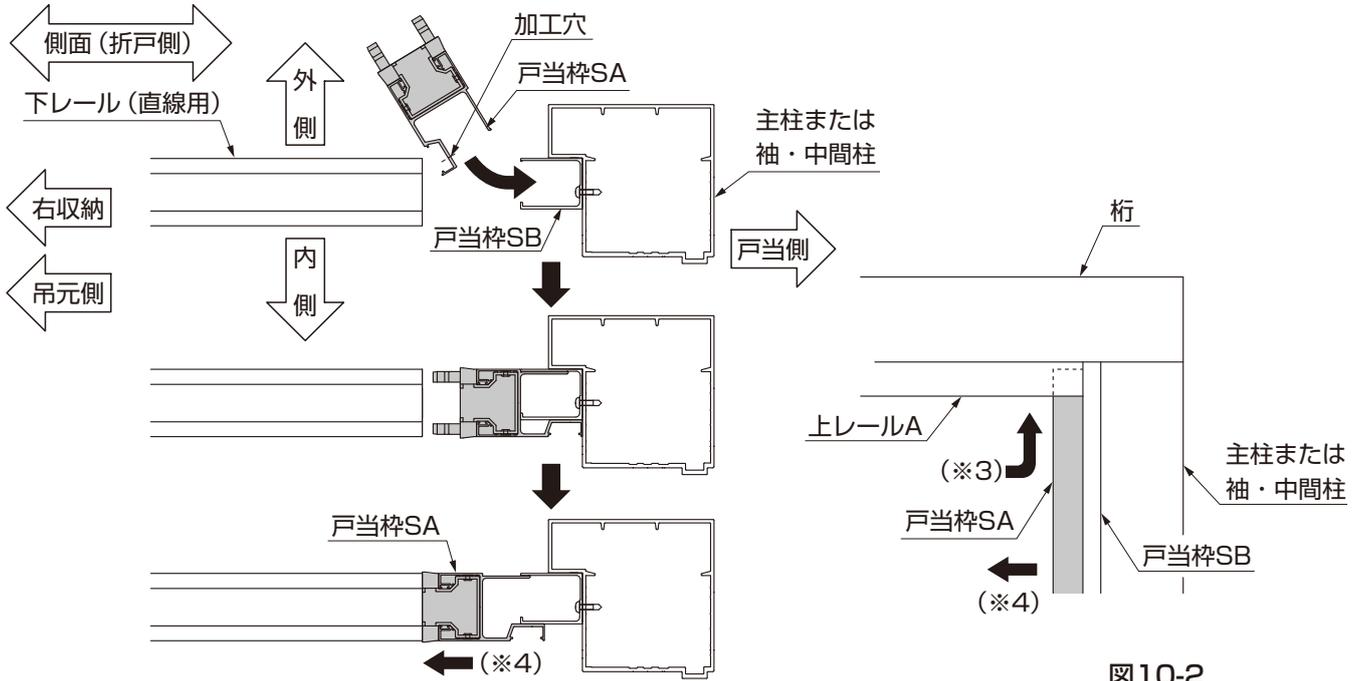


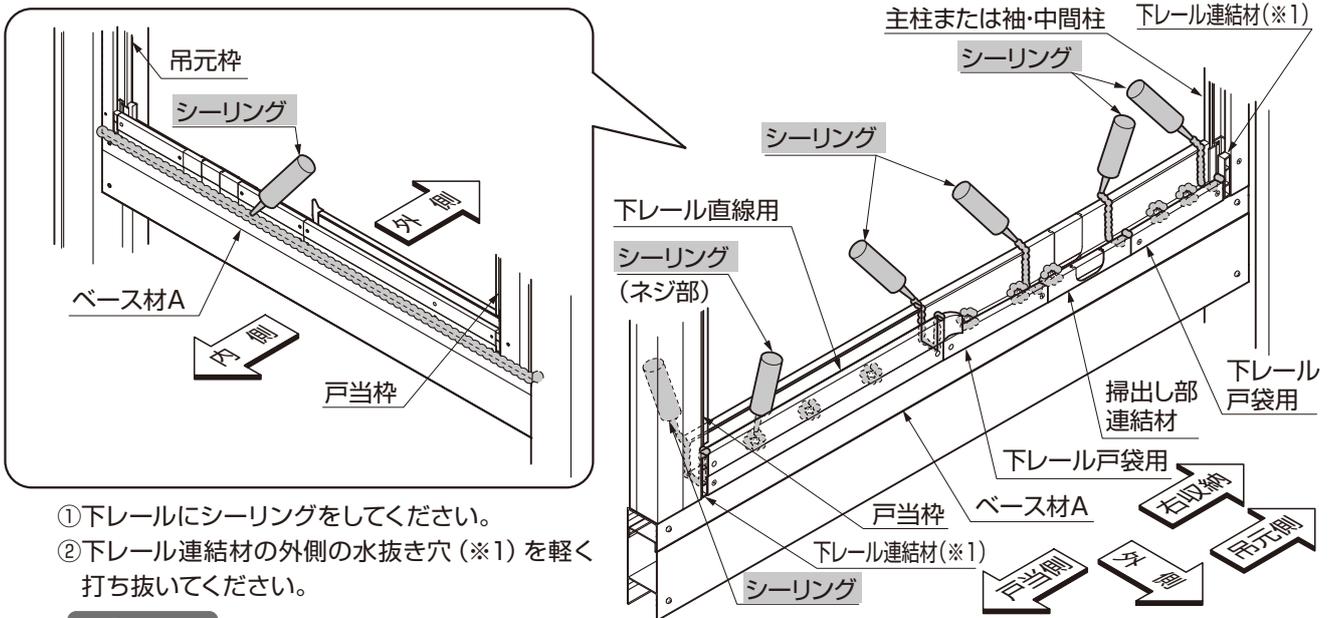
図10-1

図10-2

### ポイント

- 戸当りSAを、戸当りSBに差込んで、上レールAに突き当てたのち(※3)、戸当りSAを吊元側に引き戻して(※4)取付けてください。(図10-1、図10-2参照)

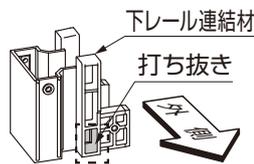
## 11. 下レールのシーリング



- ①下レールにシーリングをしてください。
- ②下レール連結材の外側の水抜き穴(※1)を軽く打ち抜いてください。

### 補足

- 下レール連結材の水抜き穴は、出荷時は穴が貫通していません。半貫通穴になっています。組付時に軽く打ち抜いてください。※外側のみ打ち抜いてください。



### 注意

- 各シーリングに不備があった場合、内側へ漏水するおそれがあります。

# 11. 下レールのシーリング (つづき)

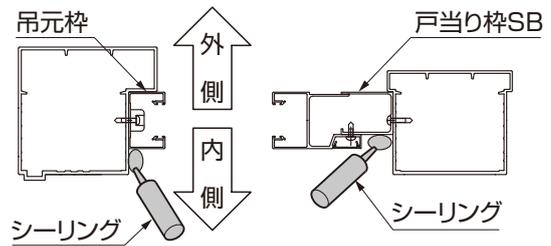
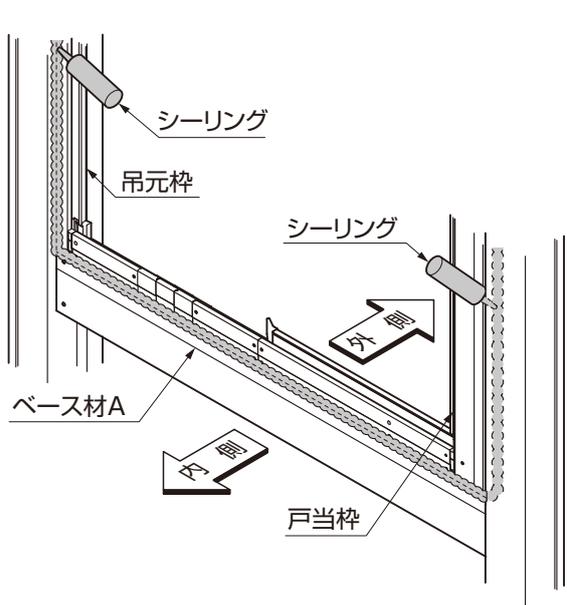


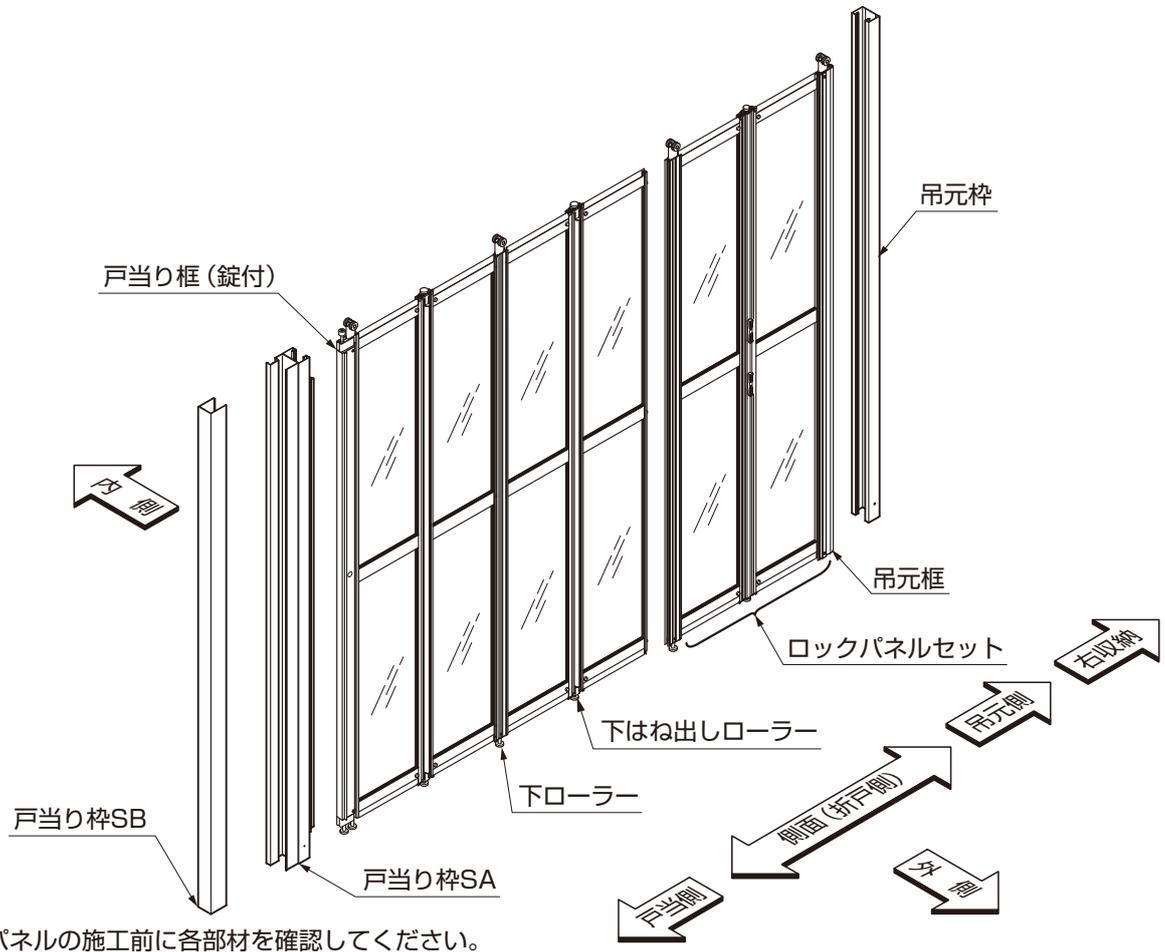
図11-2

### ポイント

- 内側の土間仕上げ面が、外側の土間仕上げ面と同面以下の場合、戸当り枠SB、吊元枠の角にシーリングを通してください。図11-2（土間仕上げ面についてはP.157 図2-3参照）
- ※内側の土間仕上げ面が外側の土間仕上げ面より高い場合は上記シーリングは不要です。

## 9 折戸パネルの取付け

### 1. 施工前確認



## 2. 錠の取付け

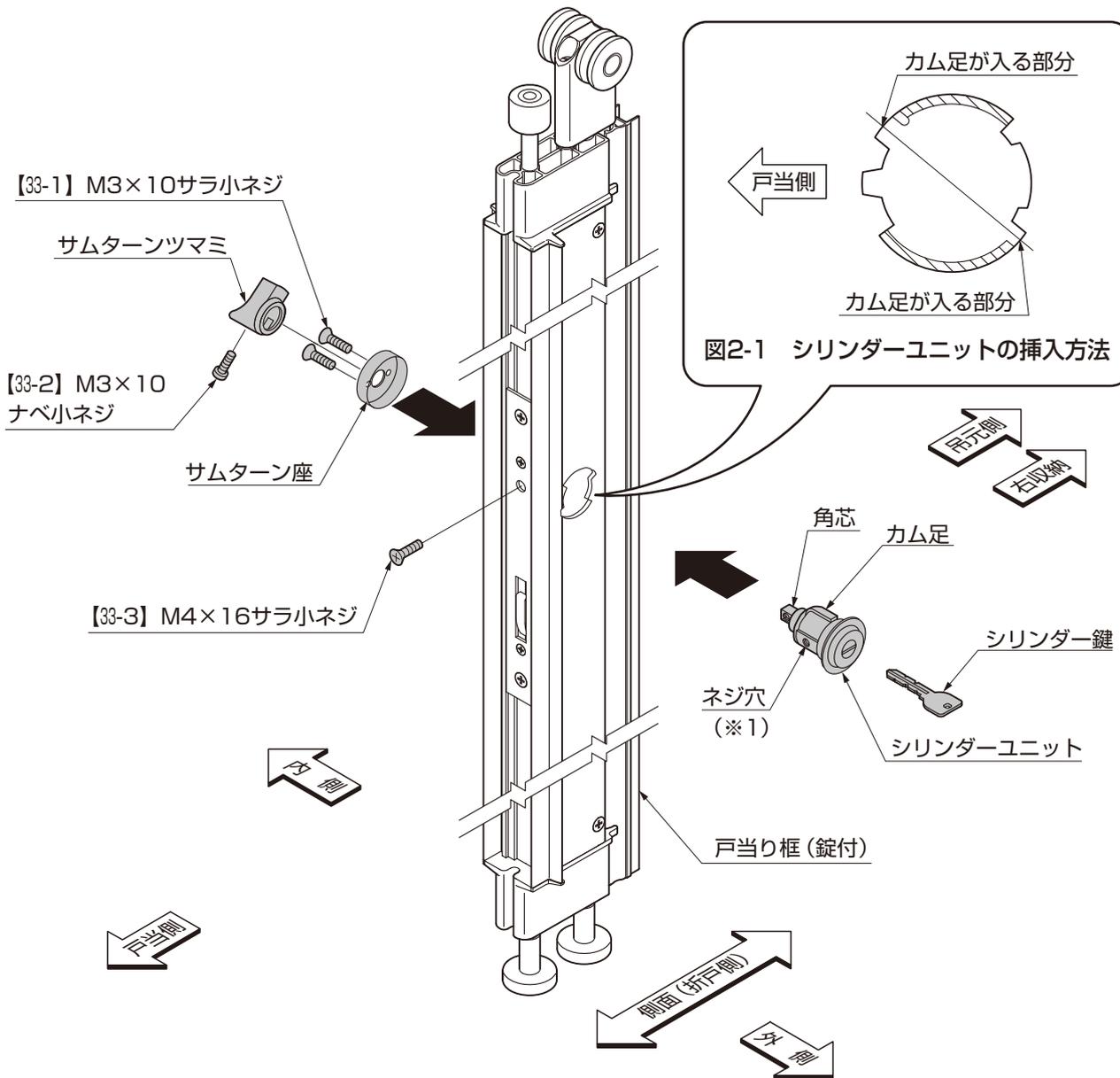


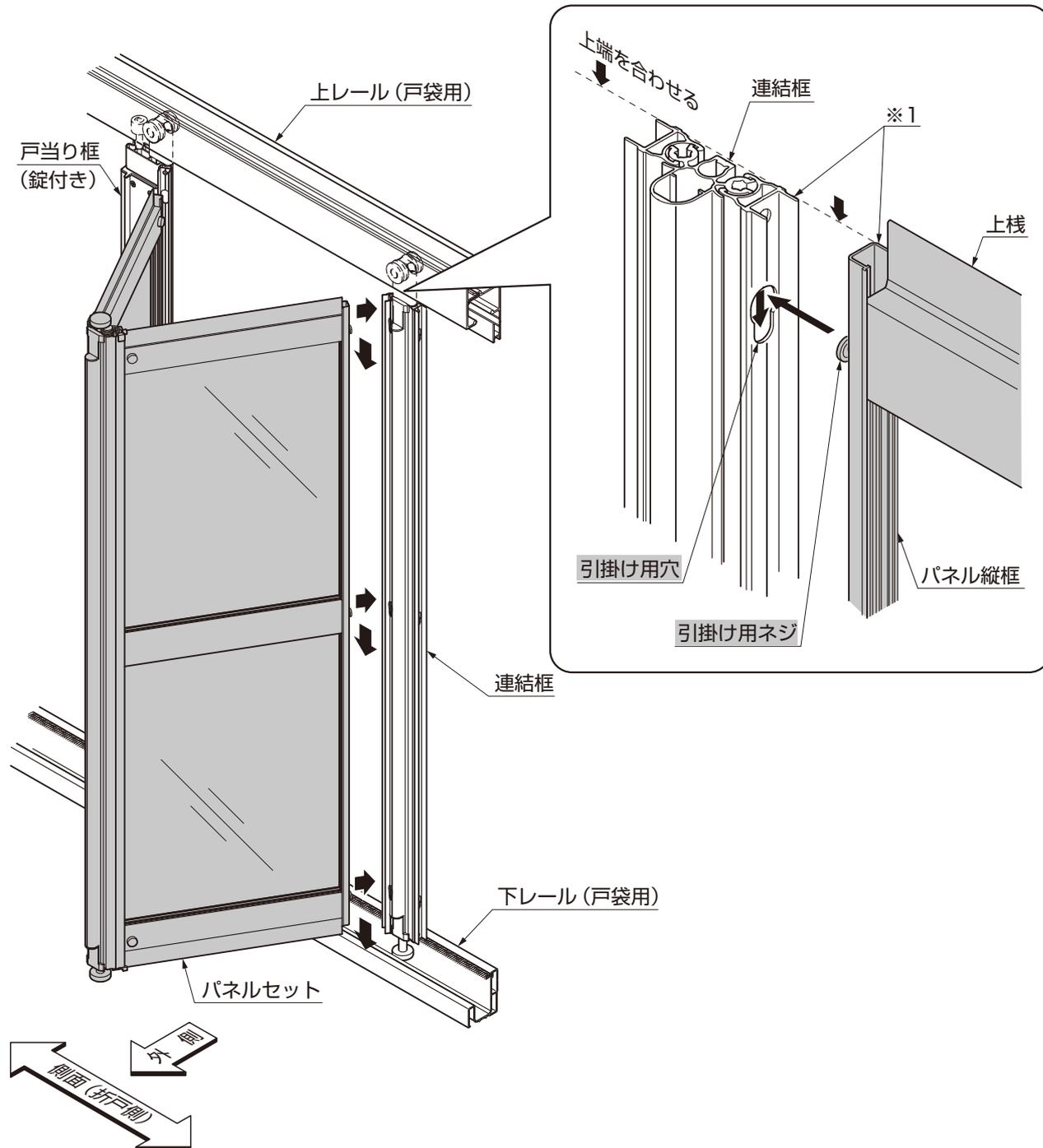
図2-1 シリンダーユニットの挿入方法

- ①シリンダーユニットを、戸当り框（錠付）の外側の穴に挿入して、戸当り側より【33-3】で取付けてください。
- ②内側からサムターン座を、シリンダーユニットに【33-1】で取付けてください。
- ③サムターン座凸部（角芯）が、サムターンツマミ側にくるように組付けてください。

### ポイント

- シリンダーユニットの側面にあるネジ穴（※1）を、戸当り側へ向けてください。
- シリンダーユニットの挿入部分の形状を、框の中の穴形状に合わせて挿入してください。（図2-1参照）
- サムターン座凸部（角芯）が、サムターンツマミ側にくるように組付けてください。

### 3. 折戸パネルの吊込み



① パネルセットの **引掛け用ネジ** を、連結框の **引掛け用穴** に挿入して取付けてください。

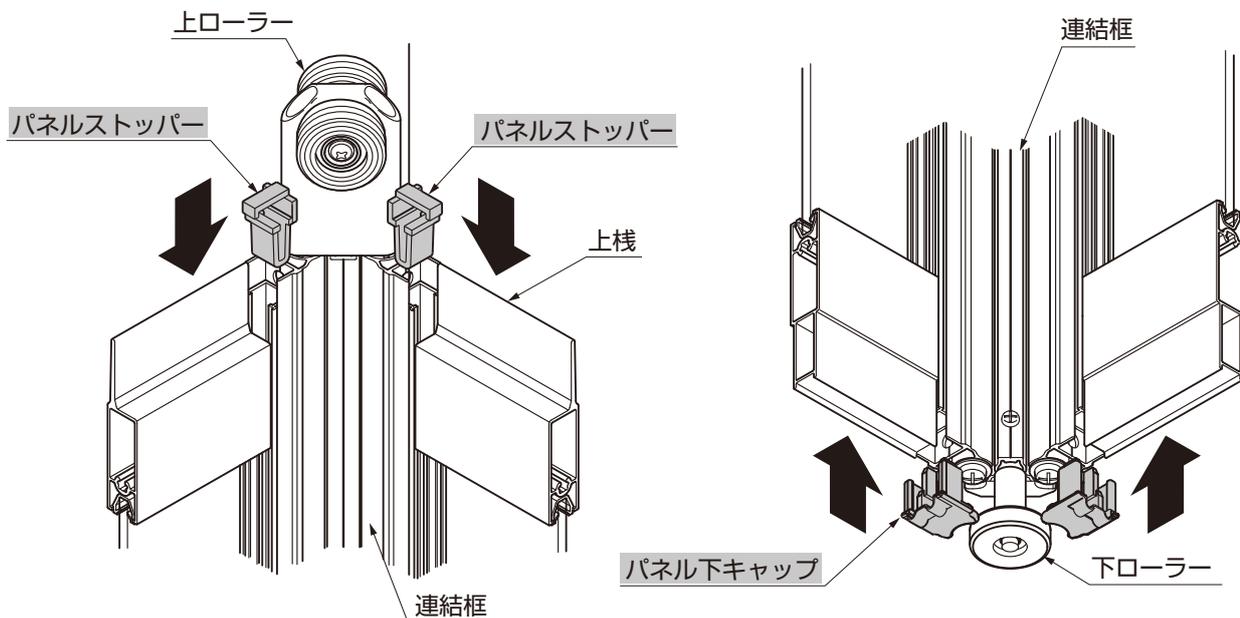
**注意**

● パネルの吊込みの引掛かりが不完全な場合、パネルが脱落したり、破損したりすると、事故につながるおそれがあります。

**ポイント**

- 上端をそろえてから、パネルを **引掛け用穴** に挿入して、下へスライドしてください。(※1)
- 連結框の上・中・下の3ヶ所の **引掛け用穴** に、**引掛け用ネジ** の頭が、引っ掛かっていることを確認してください。
- パネルセットには、上下がありますので、シールを参考にして吊込みを行なってください。

## 4. パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け



① パネルストッパー および パネル下キャップ を、連結框の上下に取付けてください。

### ⚠ 注意

- パネルストッパーを取付けていない場合、開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風で外れてケガをするおそれがあります。

## 5. 吊元ストッパーの取付け

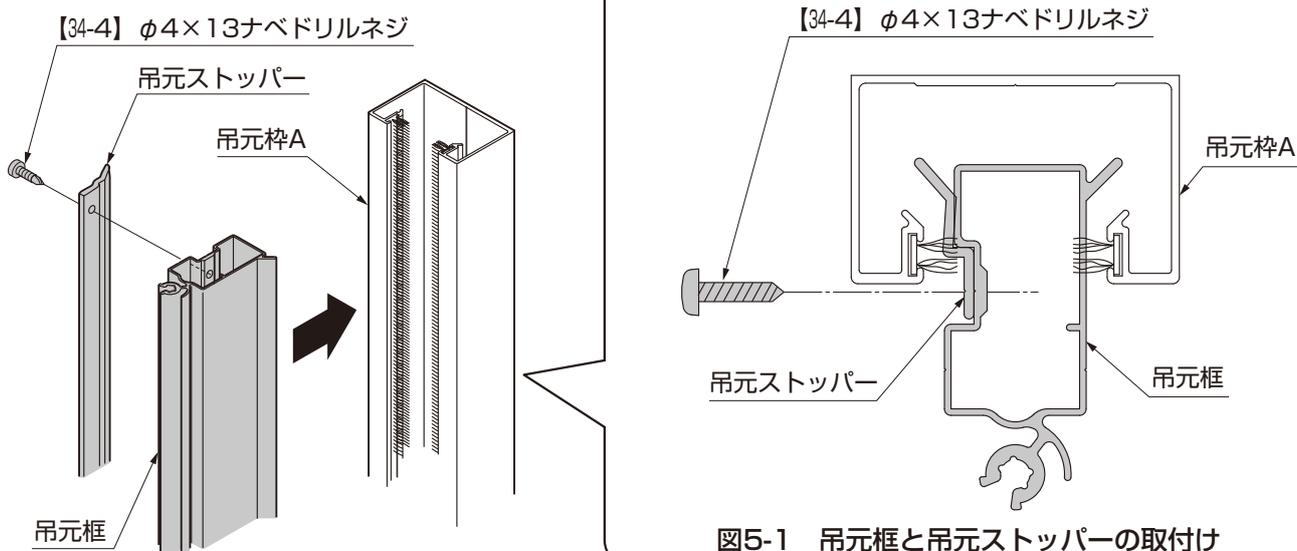


図5-1 吊元枠と吊元ストッパーの取付け

① 吊元枠と吊元ストッパーを、吊元枠Aに差込んでから、吊元ストッパーを【34-4】で吊元枠に取付けてください。(図5-1参照)

### 🔑 ポイント

- 吊元枠と吊元ストッパーを、吊元枠内に挿入した後に組付けてください。

## 6. 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

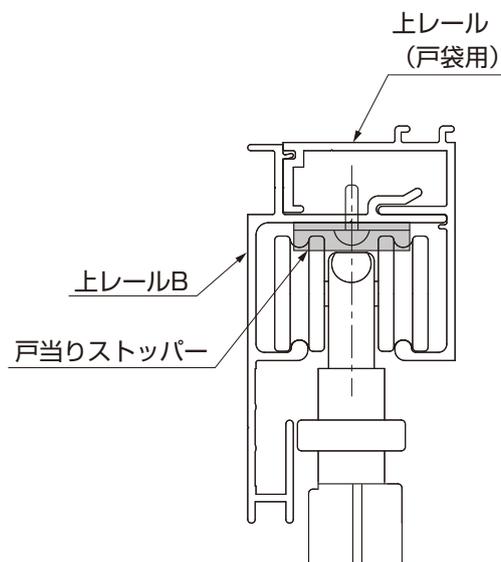
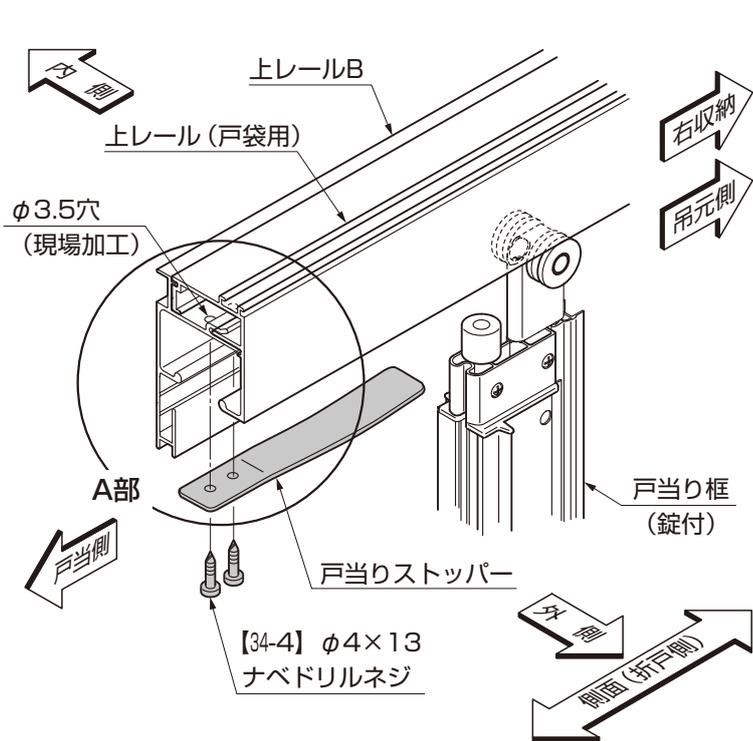


図6-1 A部  
戸当りストッパーの取付け

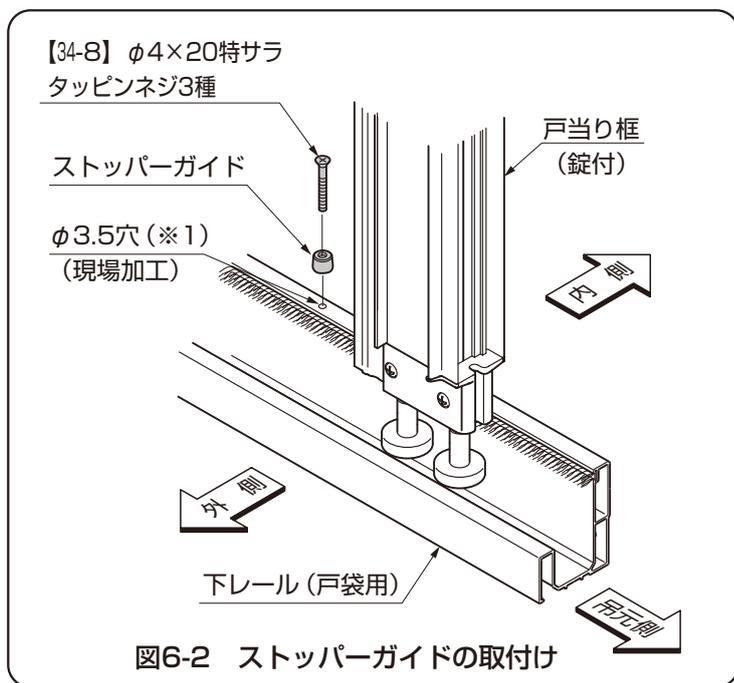
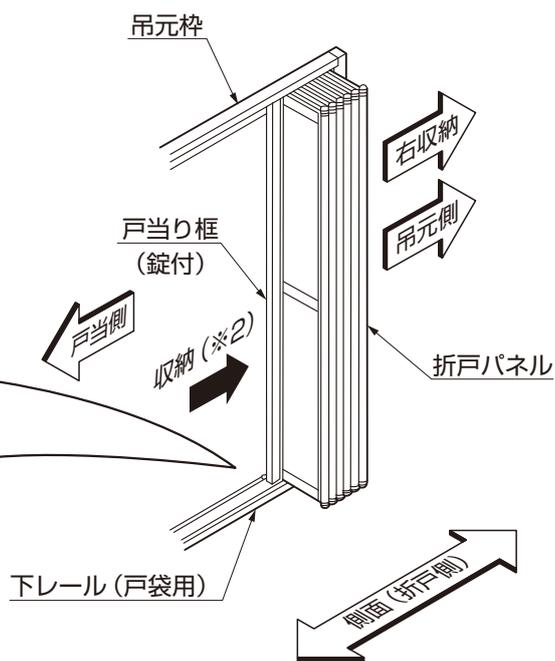


図6-2 ストッパーガイドの取付け



- ①「[1-8 折戸レールの取付け](#) 4.上レールA・上レール戸袋用の取付け [4-1 上レールBの加工](#)」で加工したφ3.5穴(現場加工)に【34-4】で戸当りストッパーを取付けてください。
- ②下レール(戸袋用)に、φ3.5の穴(※1)をあけてください。(図6-2参照)
- ③折戸パネルを全開状態にして、ストッパーガイドを、【34-4】で下レール(戸袋用)に取付けてください。(図6-2参照)

### ポイント

- ストッパーガイドは、折戸パネルを全て吊元側に収納してから(※2)、下レール(戸袋用)にφ3.5穴(現場加工)(※1)をあけて、ストッパーガイドを取付けてください。

## 7. 上棧カバーと框カバーの取付け

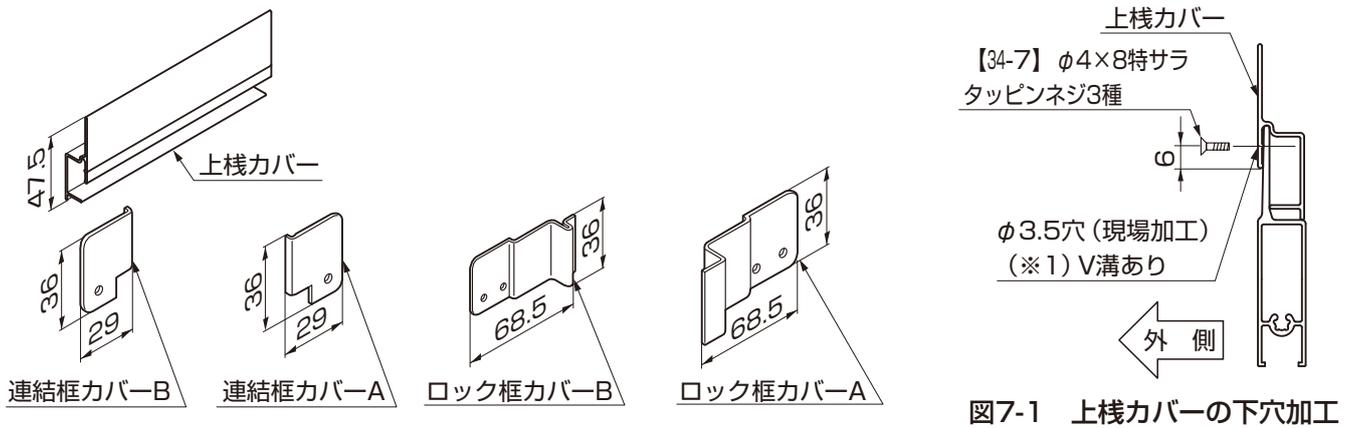


図7-1 上棧カバーの下穴加工

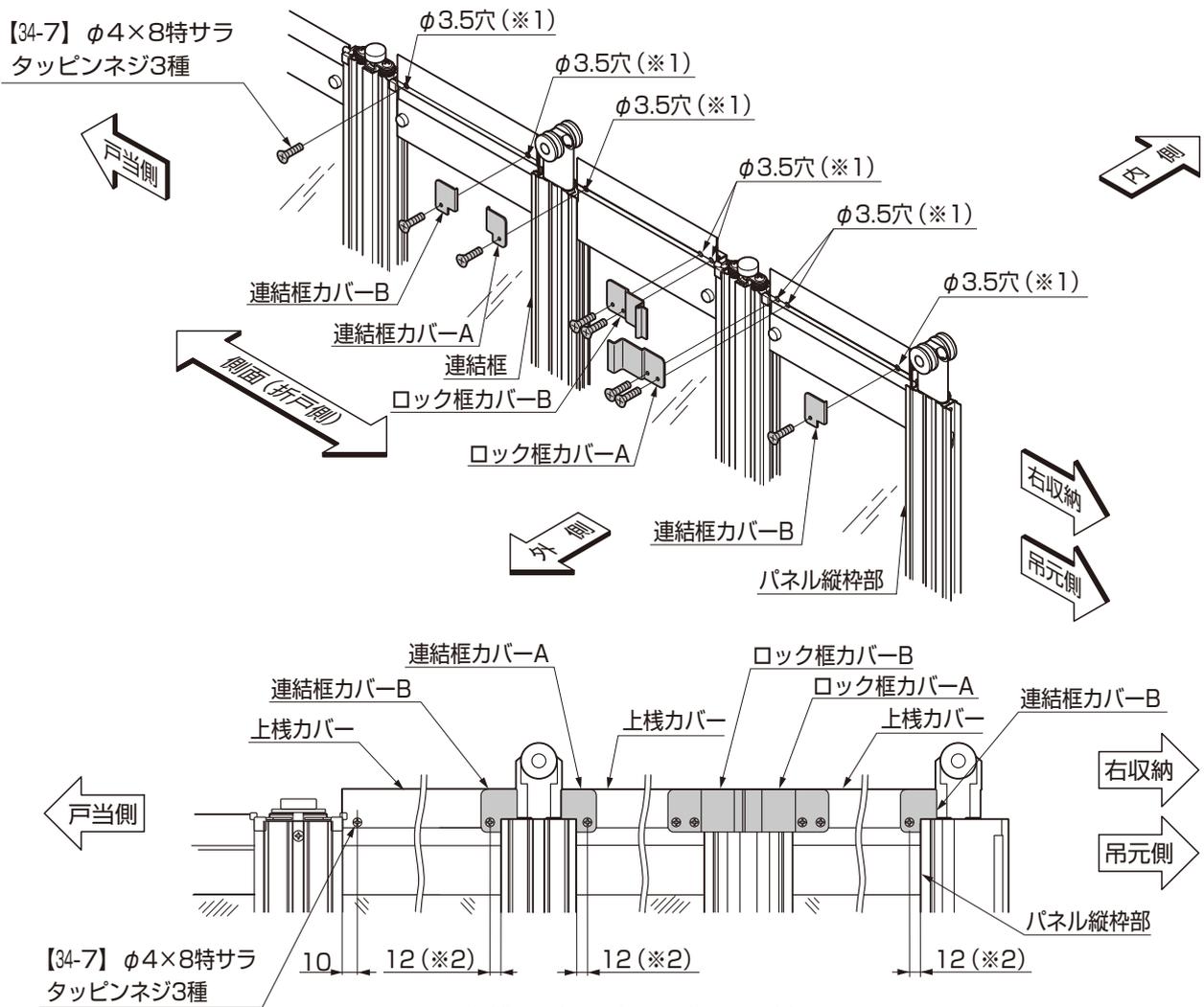


図7-2 上棧カバーと框カバーの取付け

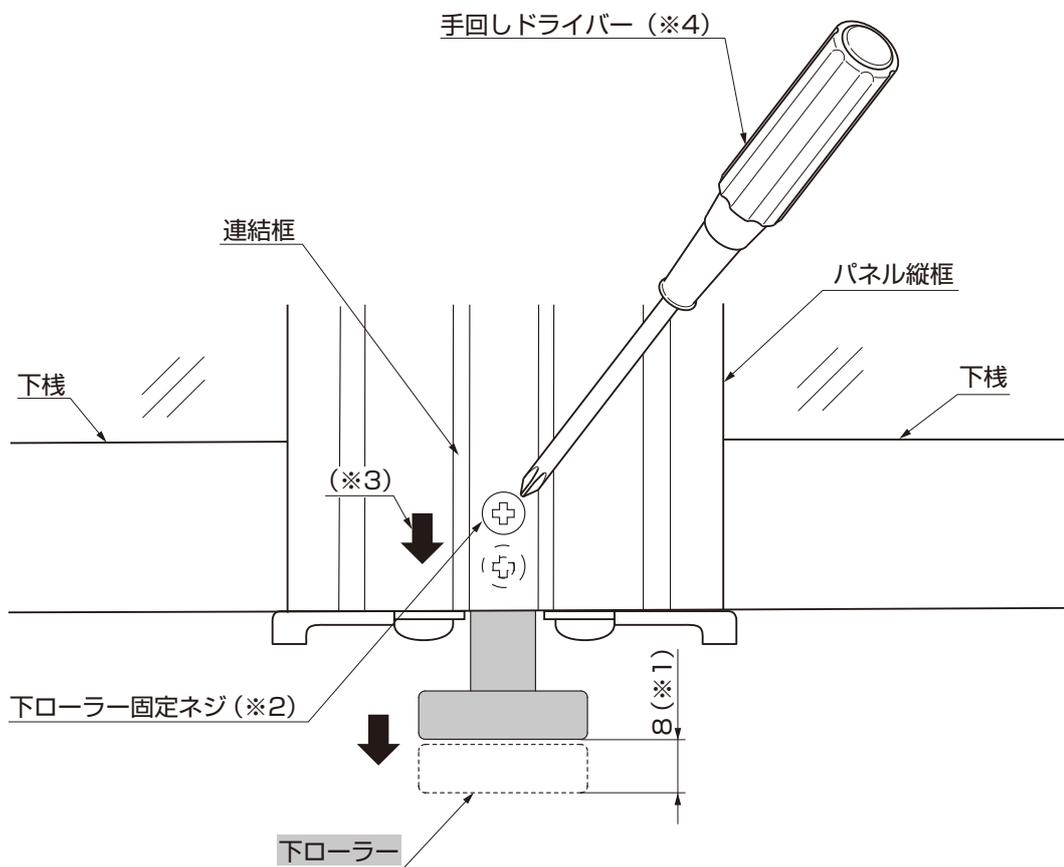
①吊元側より、上棧カバー、連結框カバーA・B、ロック框カバーA・B、を【34-7】で取付けてください。

### ポイント

●連結框カバー、ロック框カバーを取付けるための上棧カバーのφ3.5穴(現場加工)(※1)は、上棧カバーのV溝(※1)に合わせて、パネル縦枠部から12mm(※2)の位置に加工してください。

②上棧カバーを【34-7】で止めてください。

## 8. 折戸パネルの調整



- ① 下ローラー を移動して、折戸パネルの調整をしてください。

 **ポイント**

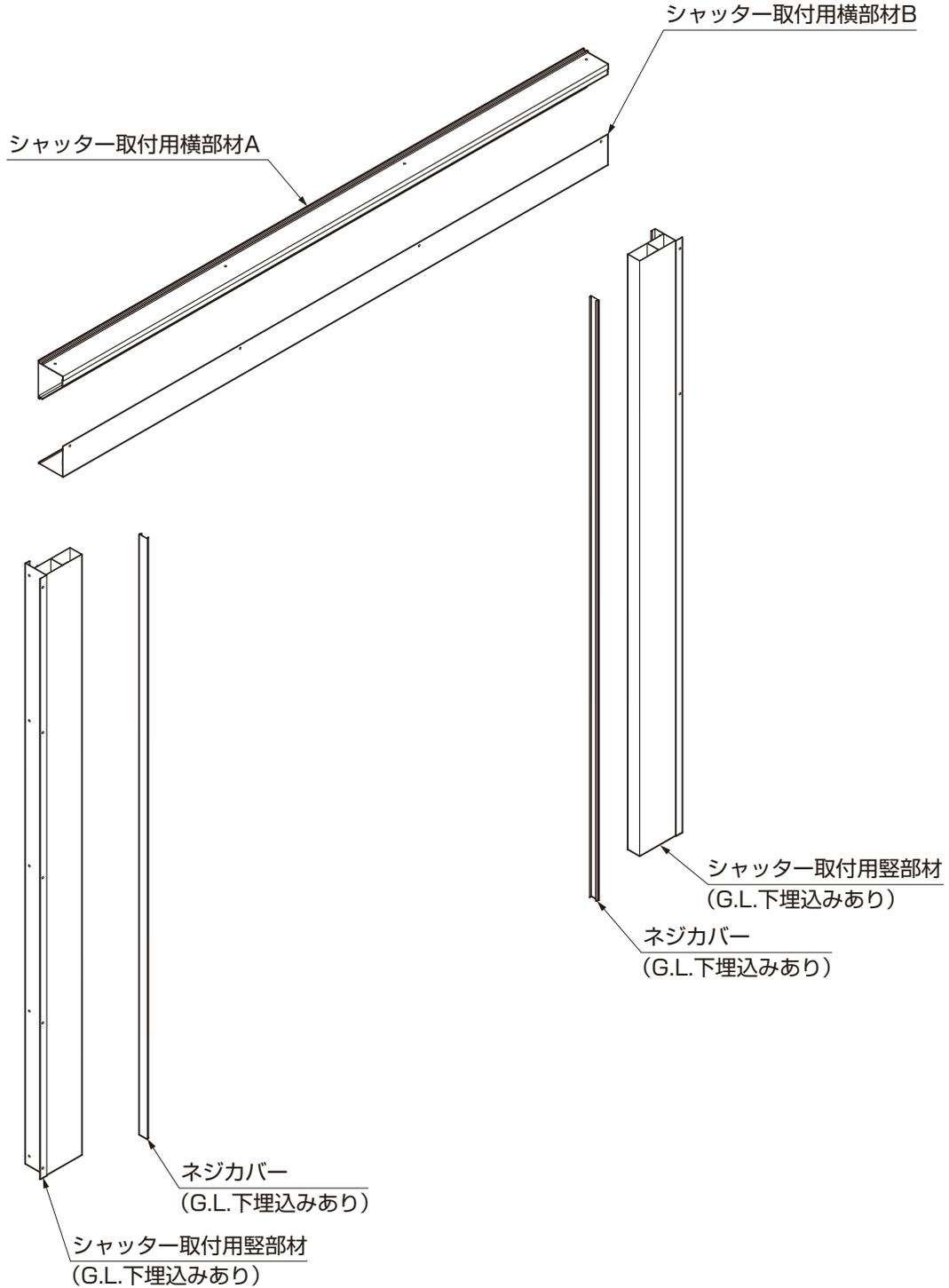
- 折戸パネルの 下ローラー は、2段階の調整式です。様々な条件により、下ローラー が下レール固定ネジと干渉する場合は、下ローラー固定ネジ(※2)を外して、1段上に上げて(※3)ください。ただし、下レールの戸袋部分で、パネルの折りたたみの機能に支障がない範囲で調整を行なってください。
- 下ローラー固定ネジ(※2)には緩み止めを塗布しています。外す場合は十分注意の上、手回しドライバー(※4)等でゆっくり回して外してください。

 **補足**

- 下ローラー は、出荷時には下がった状態で梱包されています。下に8mm移動可能です。(※1)

## 10 シャッター取付用部材の取付け

### 1. 施工前確認



①シャッター取付用部材の施工前に各部材を確認してください。

## 2. シャッター取付用横部材の取付け

### 2-1 シャッター取付用横部材Aの取付け

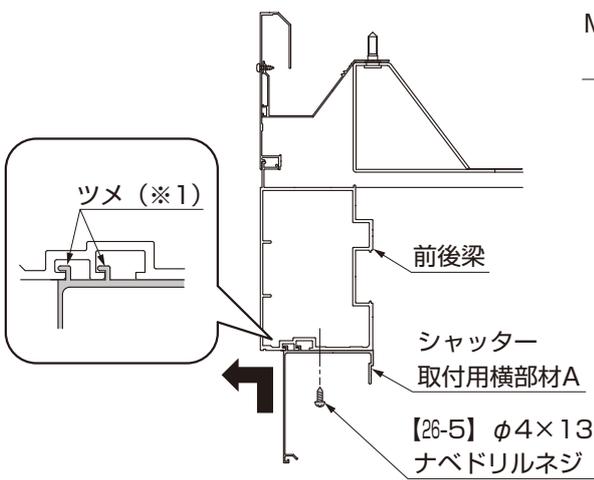
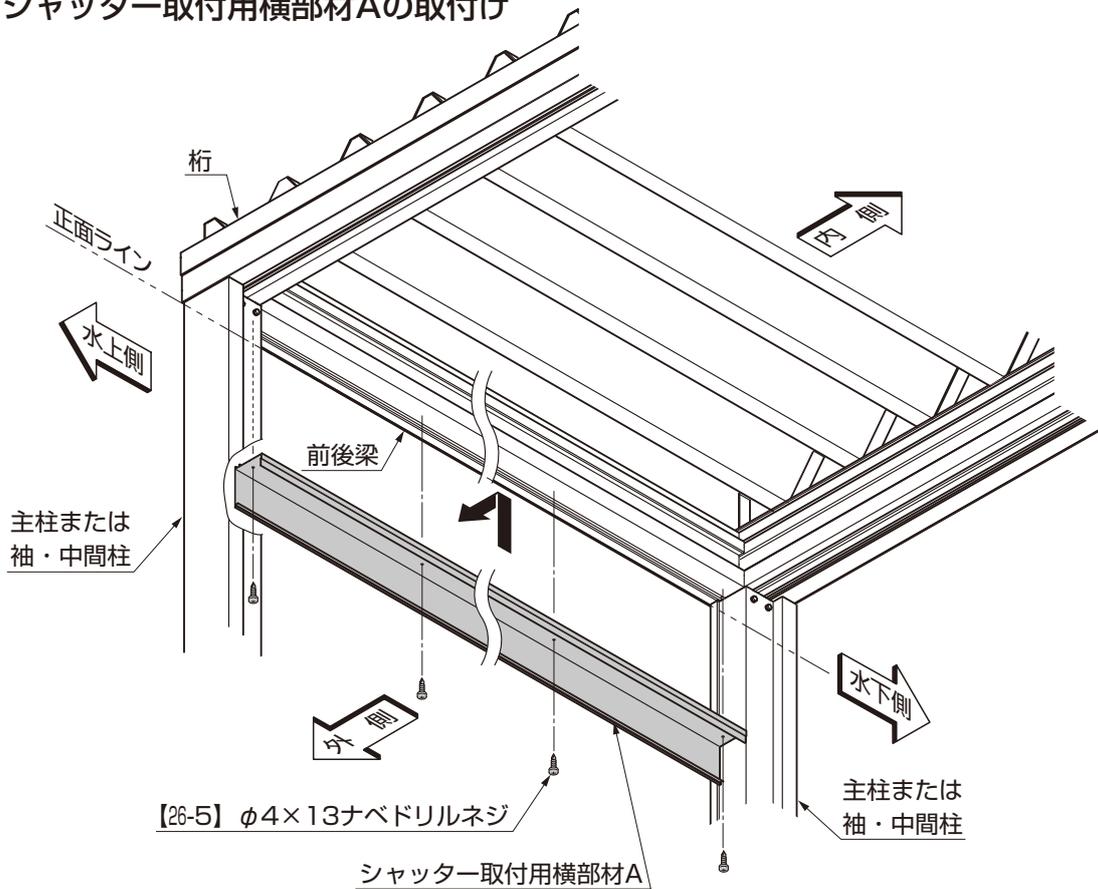


図2-1 シャッター取付用横部材Aの取付け

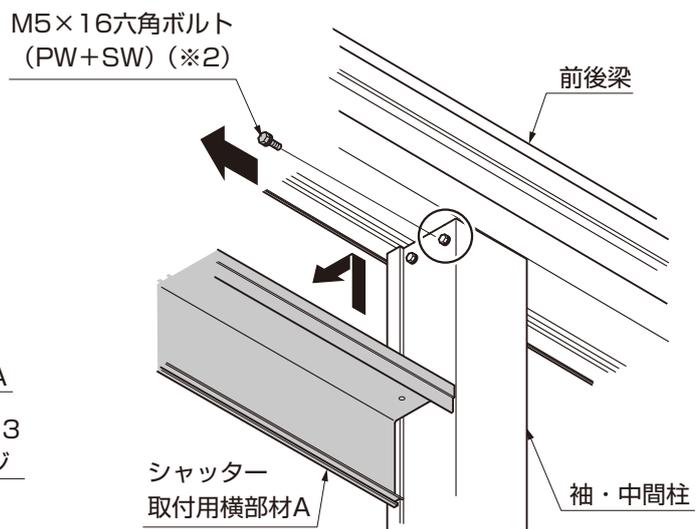


図2-2 (W38) 袖付タイプの場合

- ①シャッター取付用横部材Aのツメ(※1)を、前後梁底面の溝に引っ掛けて【26-5】で固定してください。(図2-1参照)

#### ポイント

- W38の袖付タイプの場合は、袖・中間柱のシャッター側の内側の六角ボルト(※2)を一時的に外してからシャッター取付用横部材Aを取付けてください。

## 2. (つづき)

### 2-2 シャッター取付用横部材Bの取付け

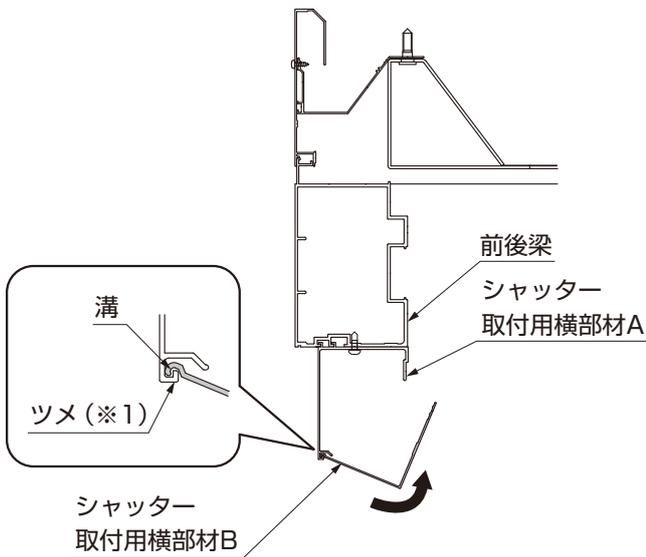
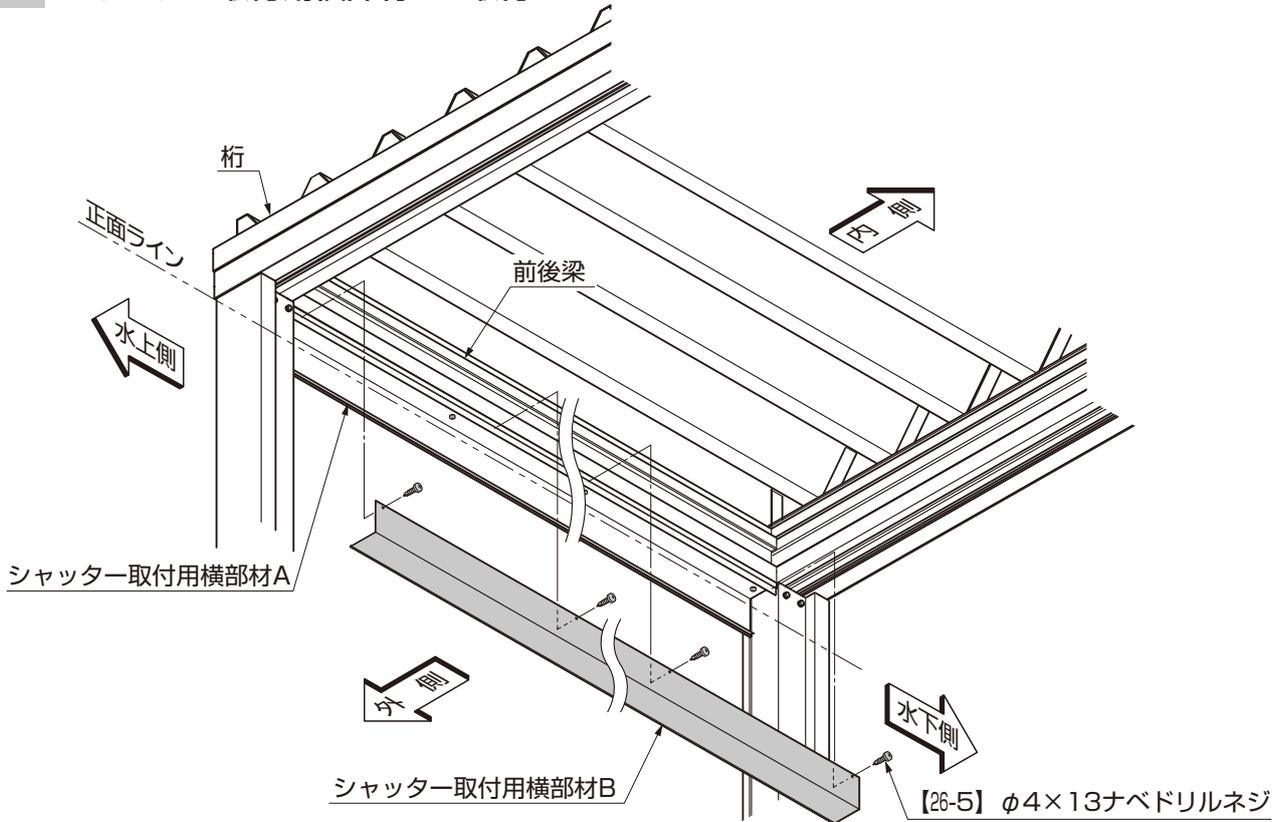


図2-3 シャッター取付用横部材Bの適合

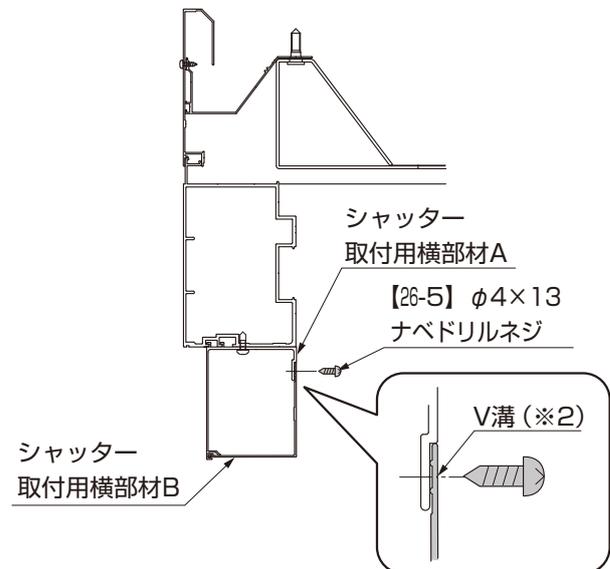


図2-4 シャッター取付用横部材Bの取付け

- ①シャッター取付用横部材Bの溝をシャッター取付用横部材Aのツメ(※1)に引っ掛けて持ち上げ、シャッター取付用横部材AのV溝(※2)に [26-5] で固定してください。(図2-3、図2-4参照)

#### ポイント

- シャッター取付用横部材Bは、ツメ(※1)を支点にして回転するようにしてください。

### 3. シャッター取付用縦部材の取付け

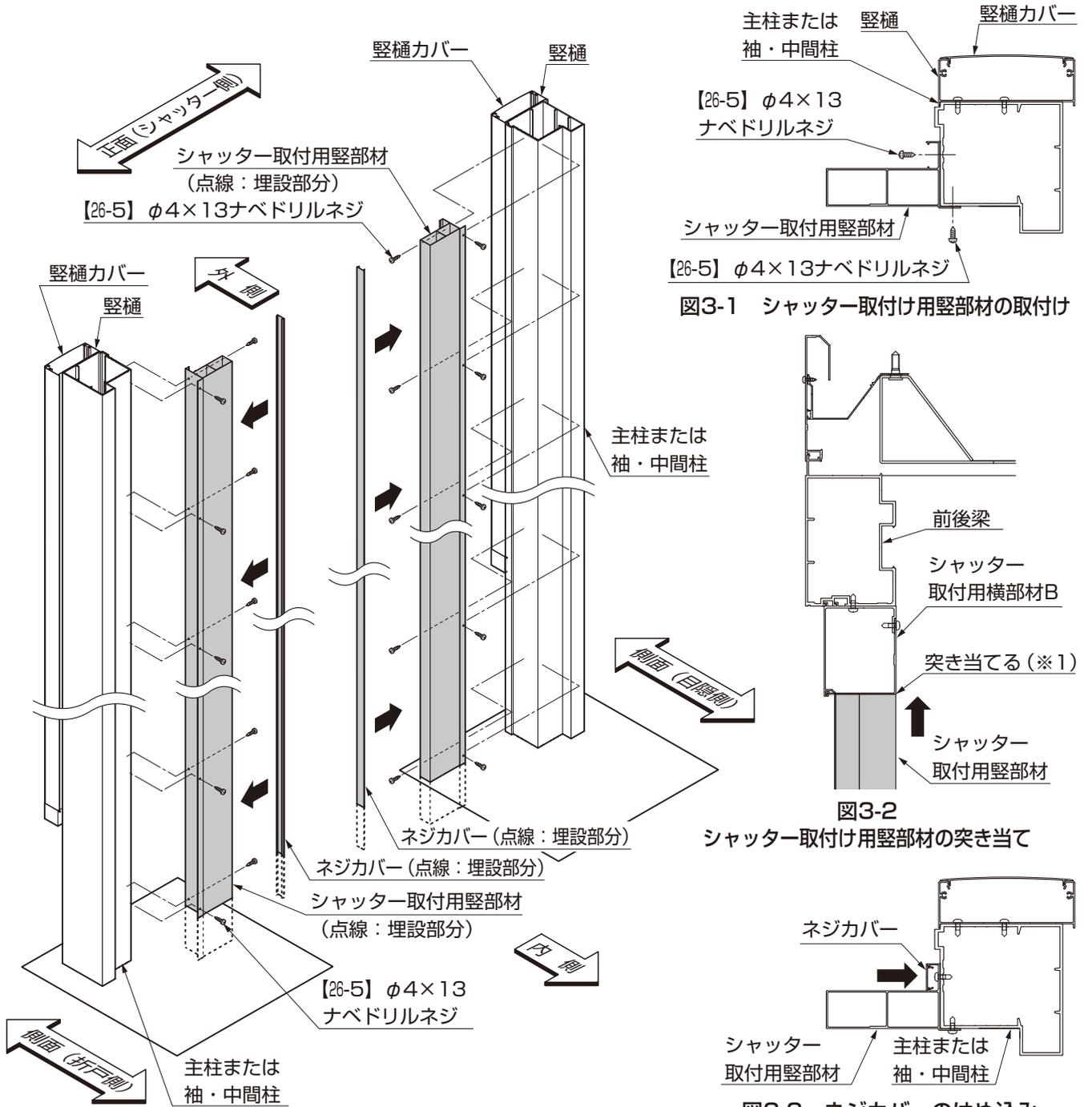


図3-1 シャッター取付け用縦部材の取付け

図3-2 シャッター取付け用縦部材の突き当て

図3-3 ネジカバーのはめ込み

①シャッター取付用縦部材を、主柱または袖・中間柱に【26-5】で取付けてください。

**ポイント**

●シャッター取付用縦部材を、シャッター取付用横部材Bに突き当てて(※1)、取付けてください。(図3-2参照)

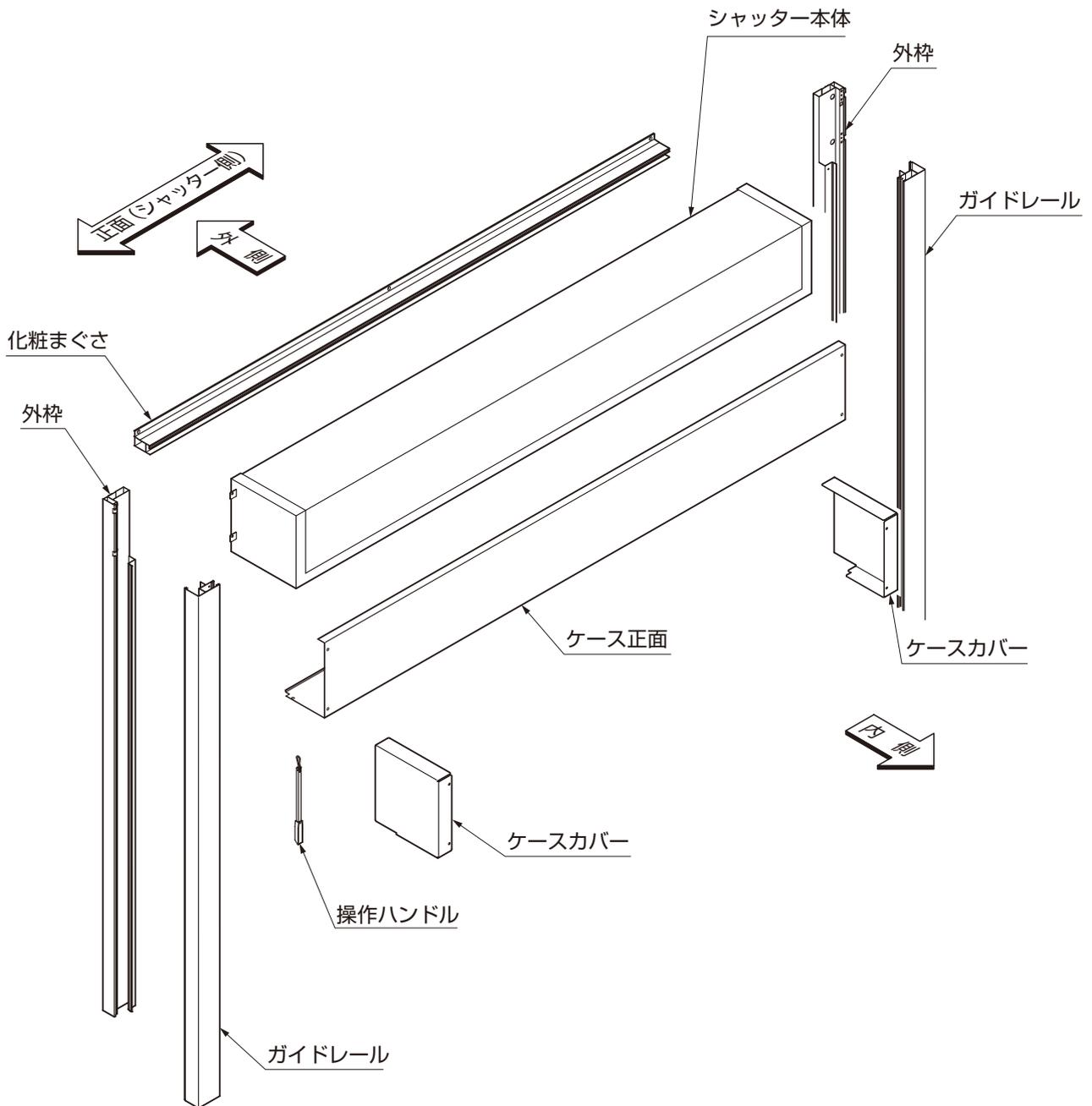
②ネジカバーを、シャッター取付用縦部材にはめてください。

**ポイント**

●シャッター取付用縦部材とネジカバー取付け後に、正面(シャッター側)の基礎部分および土間仕上げのコンクリートを打設してください。コンクリートの打設は、5 コンクリートの打設を参照してください。

# 11 シャッター本体の取付け

## 1. 施工前確認



①シャッター本体の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 化粧まぐさの取付け

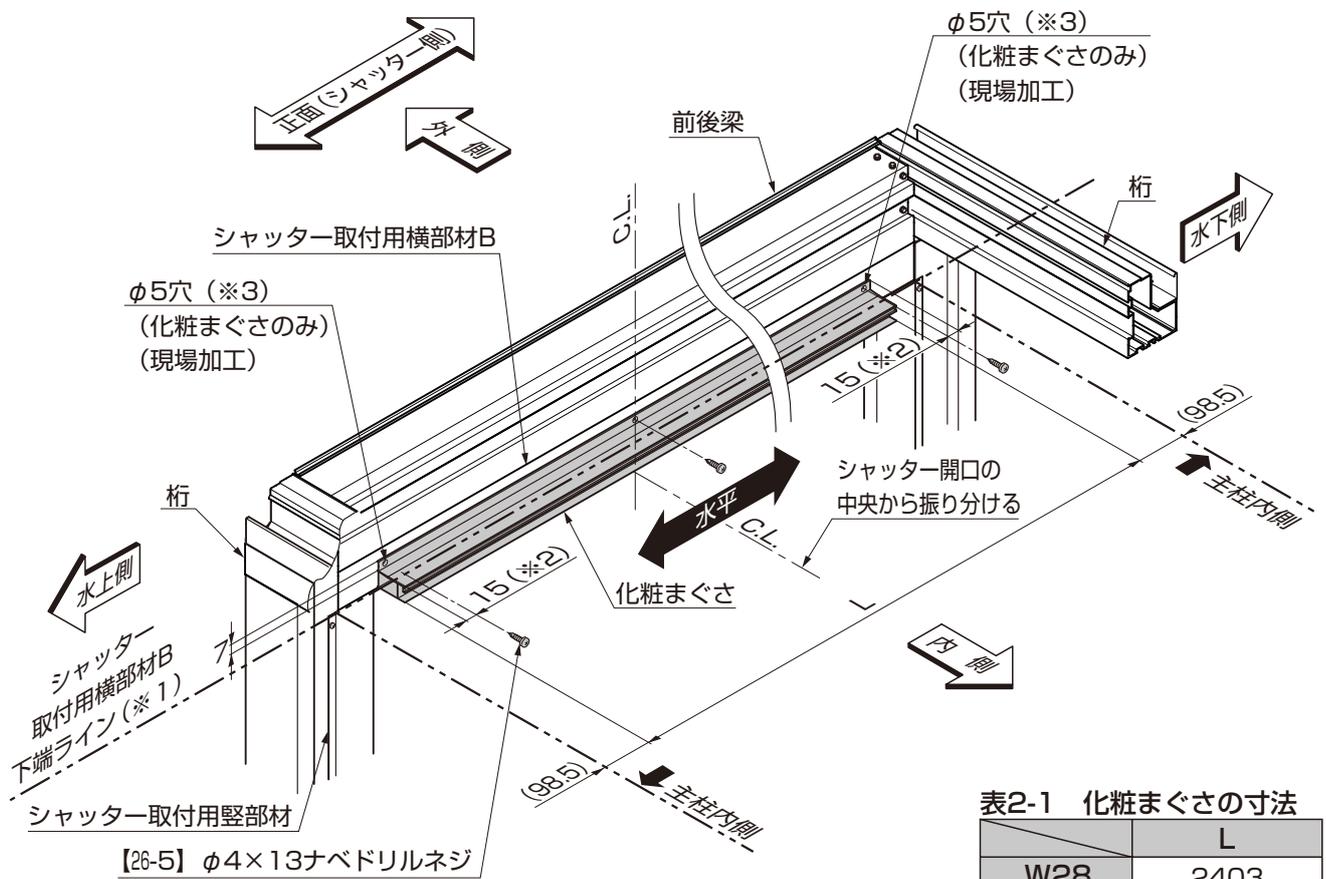


表2-1 化粧まぐさの寸法

	L
W28	2403
W32	2803
横延長W63	2803
W34	3003
W38	3003

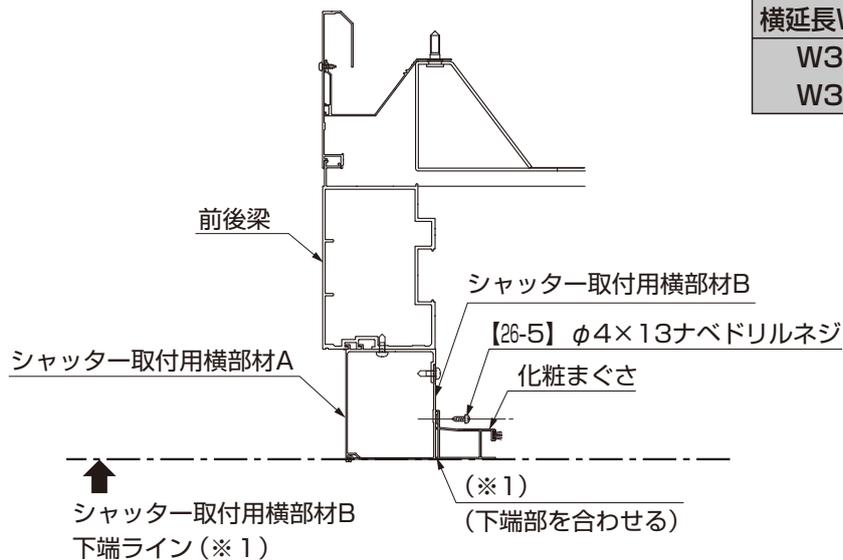


図2-1

①シャッター取付用横部材Bの下端に、化粧まぐさの下端を合わせ(※1)、左右の出を均等(15mm)(※2)にして、中央を合わせて【26-5】で水平に取付けてください。(図2-1参照)

### ポイント

- 両端の化粧まぐさのみ、φ5穴(※3)を現場加工してください。

### 3. ガイドレールと外枠の加工

#### 3-1 ガイドレールと外枠の加工

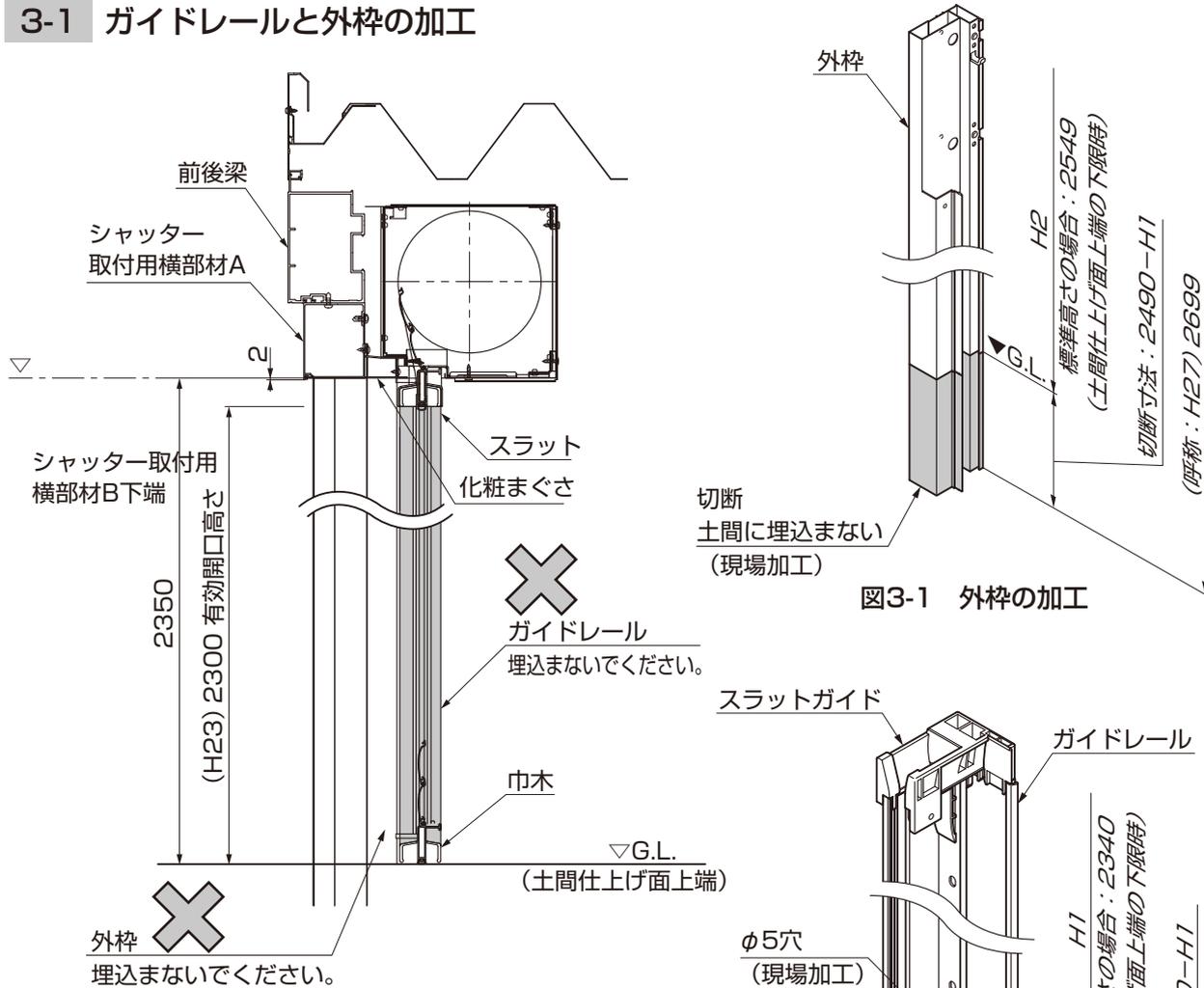


図3-1 外枠の加工

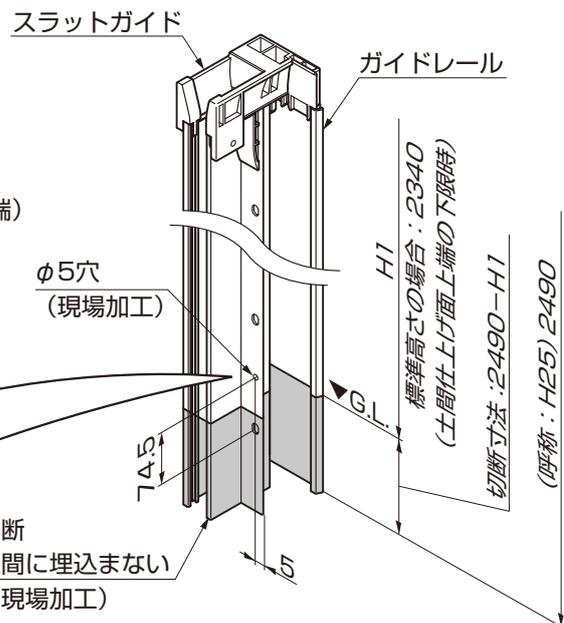


図3-2 ガイドレールの加工

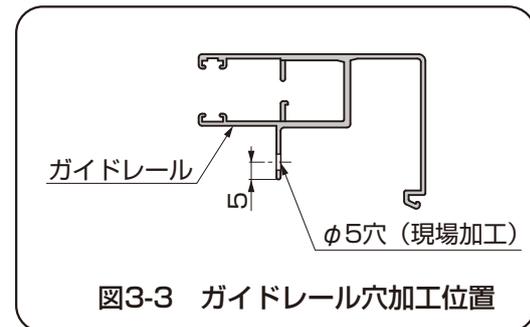


図3-3 ガイドレール穴加工位置

①外枠を施工現場の土間仕上げ面上端に合わせて切断してください。(図3-1参照)

#### 補足

●標準高さ (H23) の場合、外枠の加工寸法は、 $H2 = 2549$  (切断寸法: 150) となります。(図3-1参照)

②ガイドレールを、施工現場の土間仕上げ面上端に合わせて、切断と最下部の穴あけ (現場加工) をしてください。(図3-2、図3-3参照)

#### 補足

●標準高さ (H23) の場合、ガイドレールの加工寸法は、 $H1 = 2340$  (切断寸法: 150) となります。(図3-2参照)

●施工後のメンテナンス上、外枠、ガイドレールは土間に埋込まないでください。(図3-1、図3-2参照)  
外枠とガイドレールを土間に埋込むと、メンテナンスの際支障をきたします。

## 4. 外枠の取付け

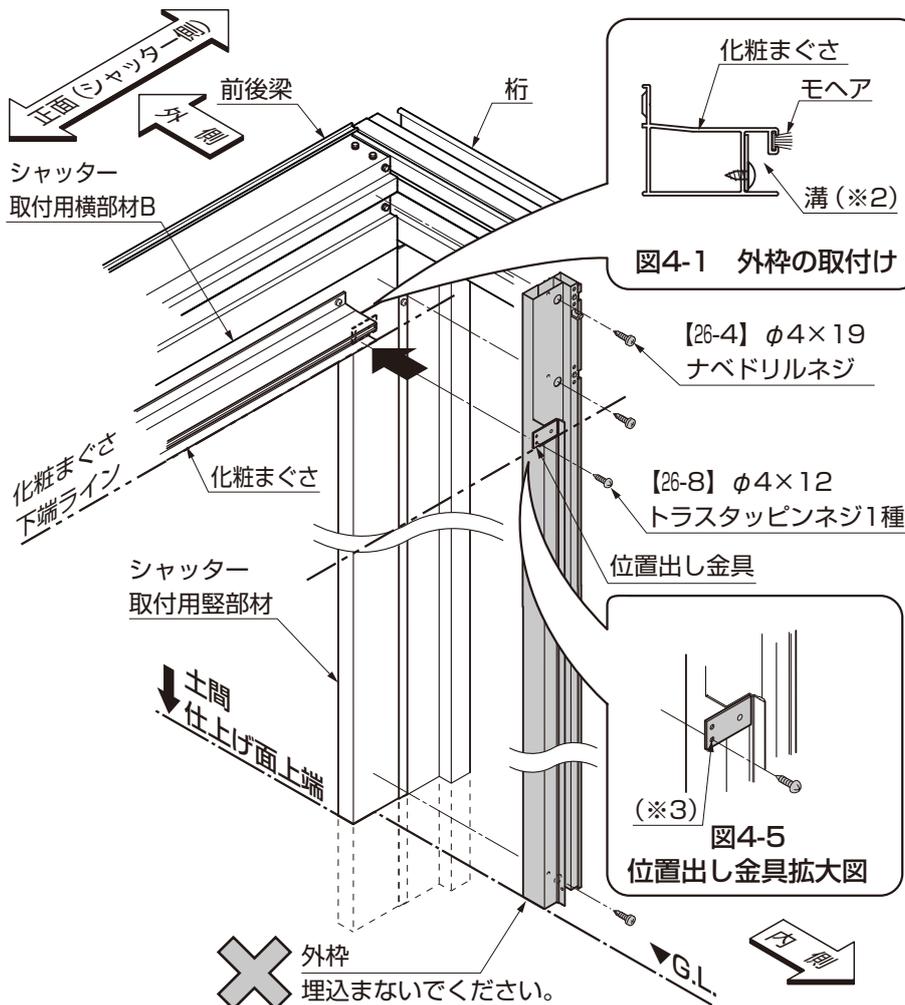


図4-1 外枠の取付け

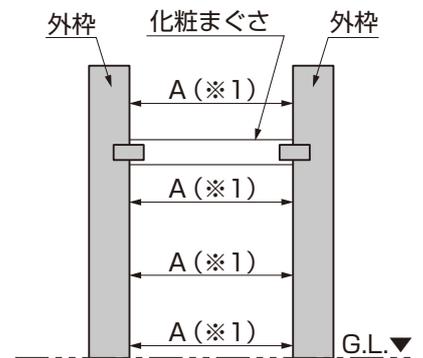


図4-3 外枠内々寸法の測定

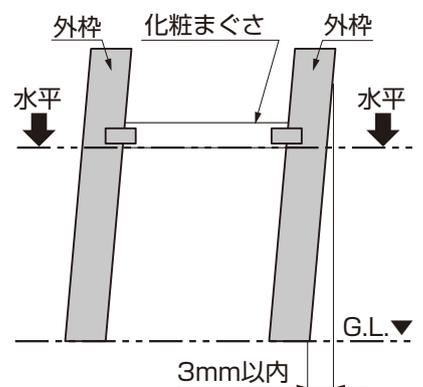


図4-4 外枠の倒れと化粧まぐさの水平の測定

表4-1 外枠の間口寸法

	外枠内々寸法A
W28	2404
W32	2804
横延長W63	
W34	3004
W38	

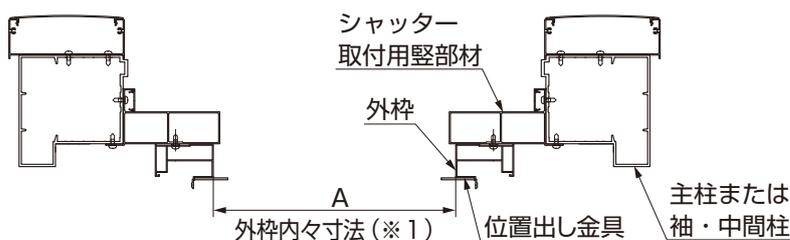


図4-2 外枠の間口寸法

- ①外枠の位置出し金具を、化粧まぐさの溝(※2)に差込んで、位置出し金具の下の穴(※3)に【26-8】で固定してください。
- ②外枠の垂直を出し、外枠内々寸法Aを確認した上で、シャッター取付用縦部材に【26-4】で固定してください。(図4-2、図4-3参照)

### ポイント

- シャッターの外枠内々寸法(3mm以内の誤差)(※1)を測り、正確に出ているか確認してください。シャッター本体が取付けられなくなったり、シャッターの開閉に支障をおよぼし、製品の取付けがやり直しになるおそれがあります。(図4-3、図4-4参照)
- 外枠の水平・垂直が正確に出ているか確認してください。シャッターの作動不良の原因になったり、ロックがかからなくなるなど、製品の取付けがやり直しになるおそれがあります。(図4-4参照)

### 補足

- 外枠を土間に埋込むと、メンテナンスの際支障をきたします。

## 5. シャッター本体の取付け

### 注意

- シャッター本体は重量物です。取付けは、必ず複数の作業人員で行なってください。

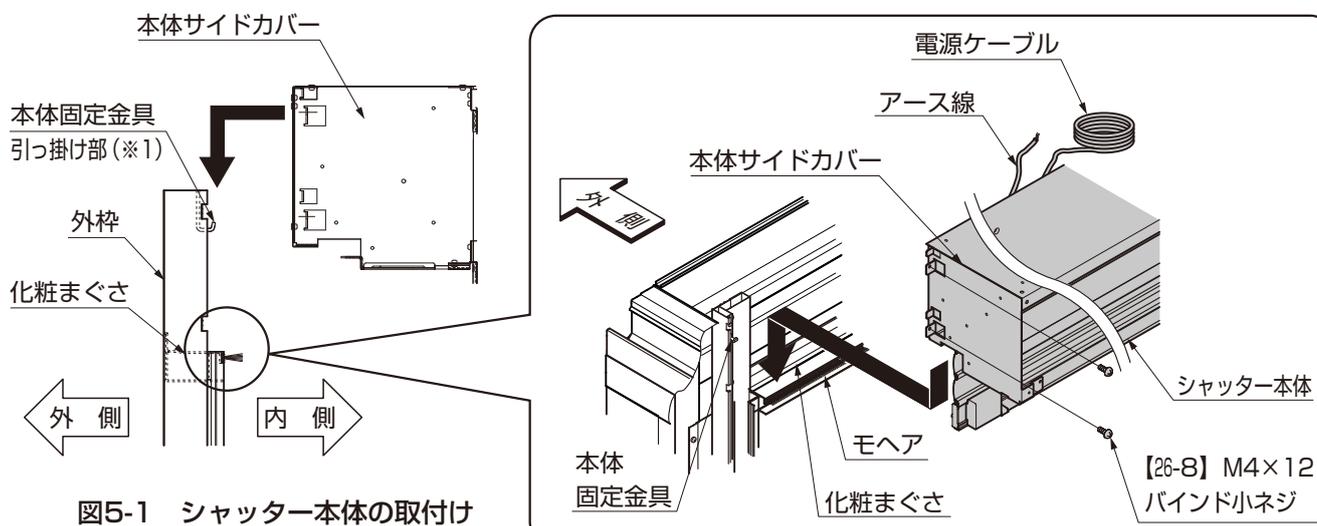


図5-1 シャッター本体の取付け

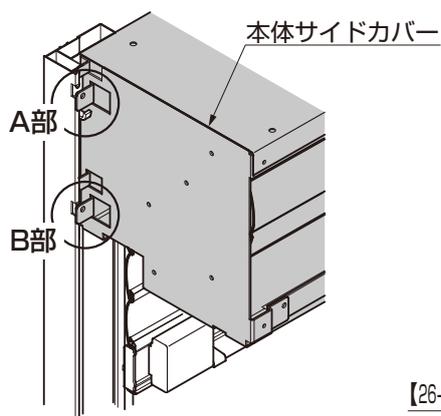


図5-2 A部詳細図

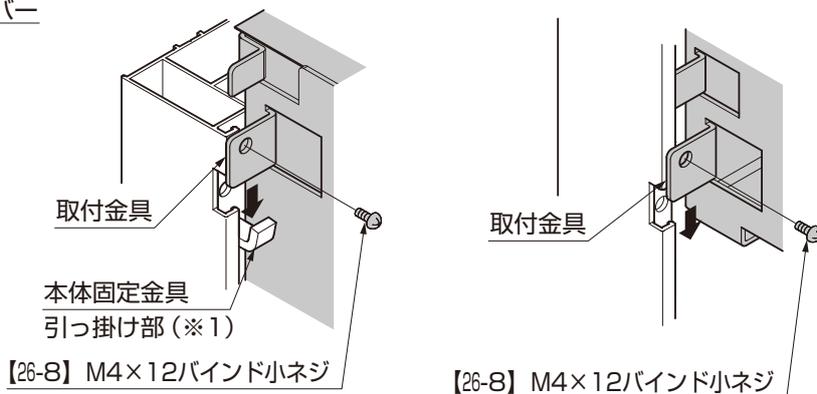


図5-3 B部詳細図

- ①シャッター本体をダンボールから取出したら、シャッター本体の裏面から出して、電源ケーブルとアース線を伸ばして端部をシャッター本体の上に仮に載せてください。
- ②本体サイドカバーを持ち、シャッター本体を化粧まぐさの上に載せてください。(図5-1参照)
- ③本体サイドカバーの引っ掛け部(※1)が本体固定金具に当たるまで押込んでください。(図5-2参照)
- ④本体サイドカバーの取付金具を、本体固定金具の引っ掛け部(※1)に掛けてください。

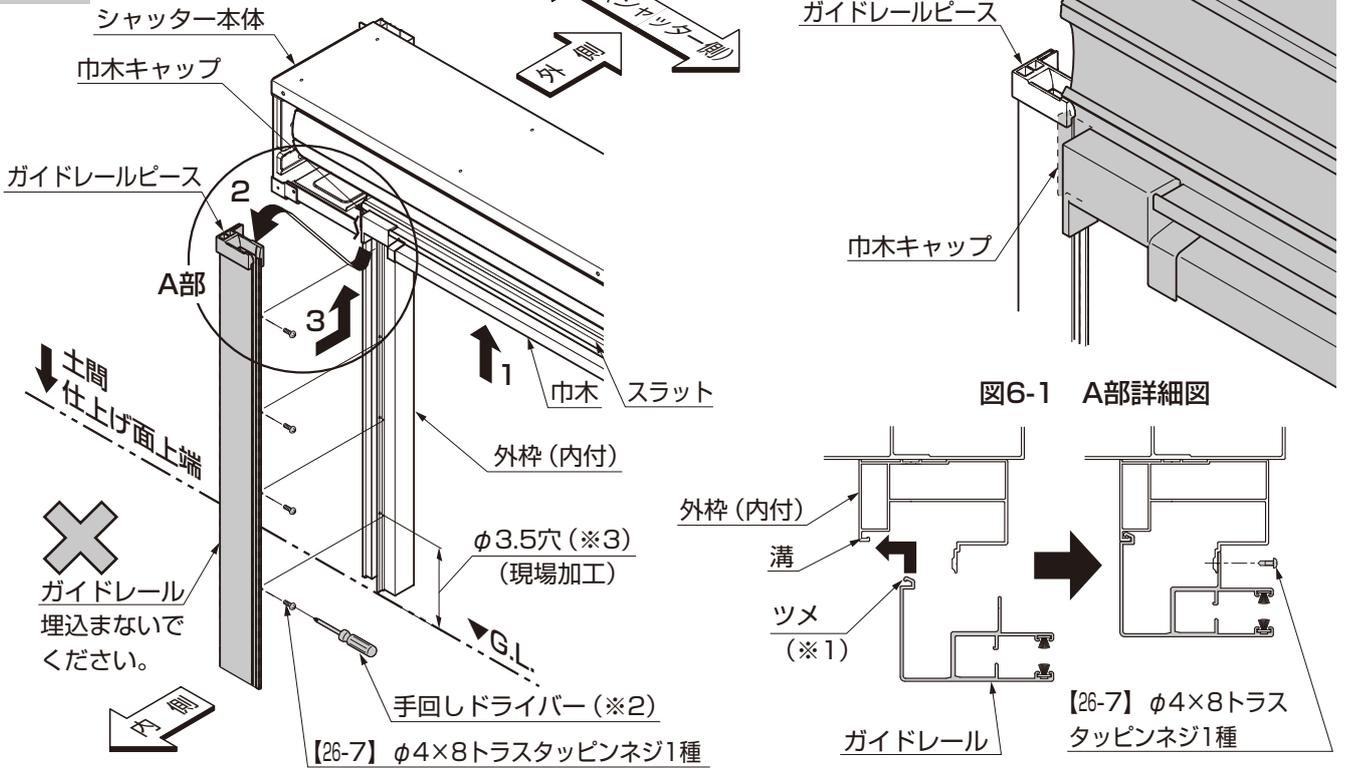
### ポイント

- 本体サイドカバーの取付金具が、本体固定金具に確実に引っ掛かっていることを確認してください。
- 電源ケーブルとアース線は、シャッター本体の裏面から出ています。
- 電源ケーブルとアース線を、シャッター本体と化粧まぐさの間にはさみ込まないように、上に出してください。(図5-1参照)
- モヘアにズレがあれば左右均等に調整してください。

- ⑤シャッター本体が本体固定金具に掛かっていることを再度確認して、シャッター本体を本体固定金具に【26-8】で取付けてください。

## 6. ガイドレールの取付け

### 6-1 ガイドレールの取付け



- ① シャッターのスラット下端の巾木を引き上げた後、ガイドレールの上端(ガイドレールピース)に巾木キャップを上から差し込み、そのままガイドレールの上端を、シャッター本体内部に挿入して、ガイドレールを上突き上げてください。
- ② ガイドレールのツメ(※1)を、外枠(内付)の溝にはめ込み、外枠(内付)の下端に合わせて【26-7】で固定してください。

#### ポイント

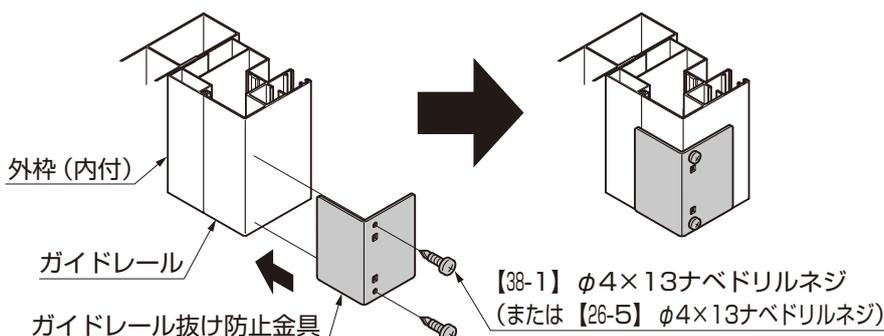
- ガイドレールのネジ止めには手回しドライバーを使用してください。(※2)
- ワイヤをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。
- 下側端部はガイドレール加工穴に合わせ、φ3.5穴(現場加工)(※3)をしてください。

#### 補足

- ガイドレールを土間に埋込むと、メンテナンスの際支障をきたします。

- ③ シャッターのスラットの養生材を取り除いてください。

### 6-2 ガイドレール抜け防止金具の取付け

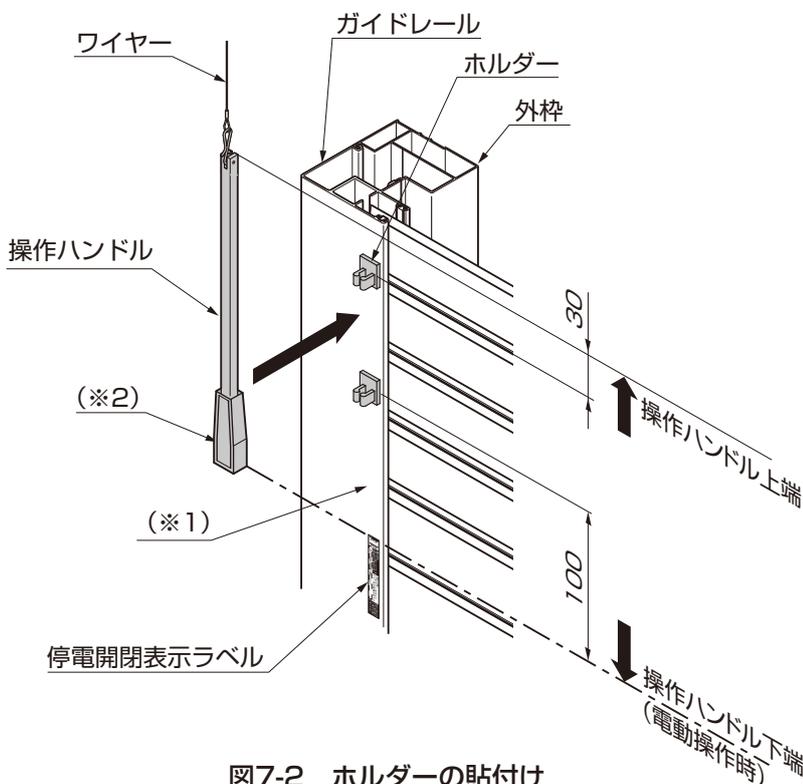
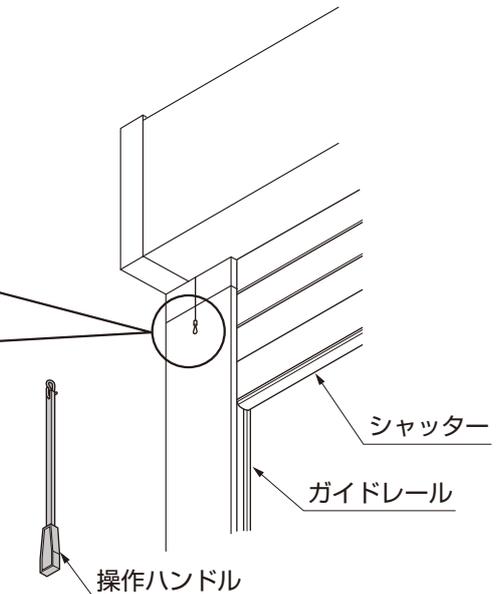
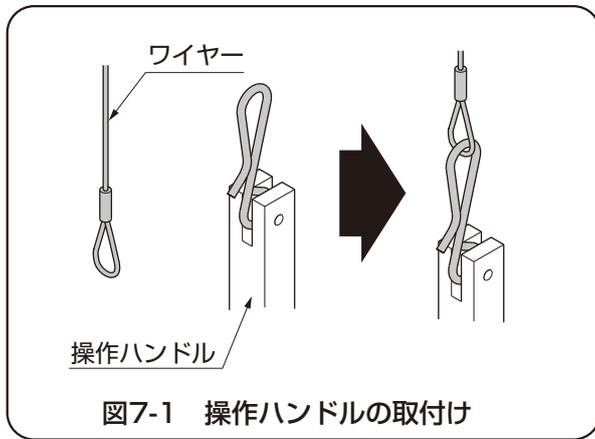


- ① ガイドレール下端に、ガイドレール抜け防止金具をあわせてください。
- ② ガイドレール抜け防止金具の丸穴部を【26-5】または【38-1】で固定してください。

#### 注意

- ガイドレール抜け防止金具は、防犯のため必ず取付けてください。
- ガイドレール抜け防止金具を取付けない場合、外部よりプラスドライバーでガイドレールが外され、車など内部保管されている物が被害をこうむることがあります。

## 7. 操作ハンドルの取付け



- ①ガイドレール上方からぶらさがっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けてください。(図7-1 参照)

### ポイント

- ワイヤーを無理に引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。

- ②ガイドレールのホルダー貼付け面(※1)のホコリ、油分を拭き取ってください。
- ③操作ハンドルをぶら下げた状態で、操作ハンドルの上端から30mmおよび下端から100mmの位置に、ホルダーを貼付けてください。
- ④操作ハンドルをホルダーに差込んでください。
- ⑤同封の停電開閉表示ラベルを、電動操作状態の操作ハンドルの下端とラベルの通常位置を合わせて貼ってください。

### ポイント

- 操作ハンドルは、必ず取手(※2)の向きが正面になるようホルダーに固定しておいてください。操作ハンドルが引っかかり、シャッター開閉不良の原因になるおそれがあります。

## 8. スラットの横ズレ確認

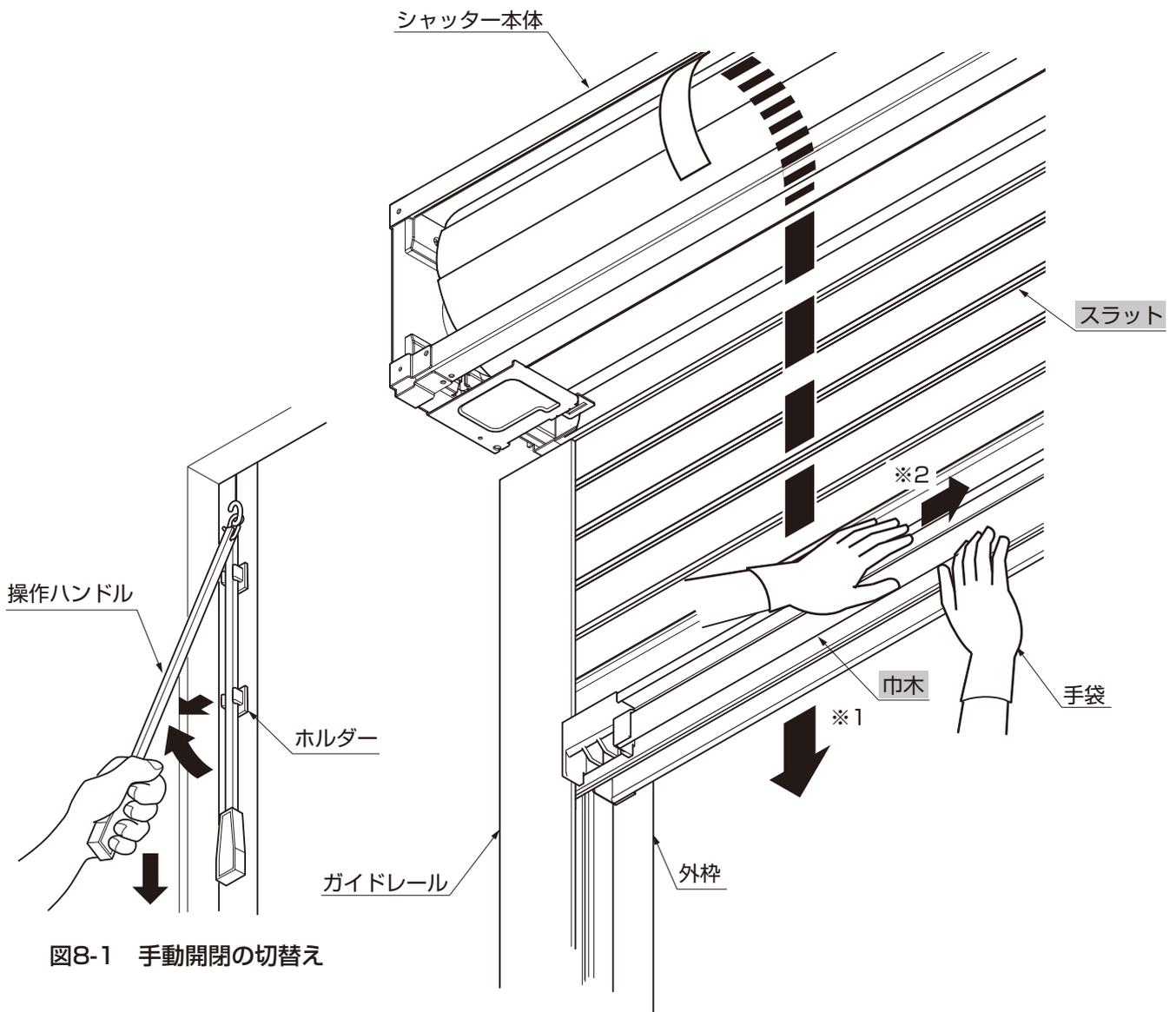


図8-1 手動開閉の切替え

- ①操作ハンドルを、ホルダーから外してください。(図8-1参照)
- ②操作ハンドルを、下方に引いて手動開閉状態にしてください。(図8-1参照)
- ③巾木の中央付近を持ち、開口の1/3程度までスラットを下げてください。(※1)
- ④シャッターのスラットや巾木に横ズレがある場合は、手で押しながら直してください。(※2)

### ポイント

- スラットや巾木の横ズレを直す場合は、手袋をしてください。
- 外枠・本体にスラットや巾木が引っ掛からないようにしてください。

- ⑤スラットを巻き上げてください。

## 9. シャッターの結線

①一次電源100Vとアース線を、シャッター本体の電源ケーブルとアース線に接続してください。

### ⚠ 注意

●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

### 🔑 ポイント

●仮設電源の電圧が、95V～107Vの範囲にあるか確認してください。

●シャッター本体の電源ケーブルとアース線は、「4.本体の施工 3.基礎の施工 3-2 基礎の配線」と「11.シャッター本体の取付け 5.シャッター本体の取付け」を確認してください。

## 10. 単機能リモコン・ホルダーの取付け

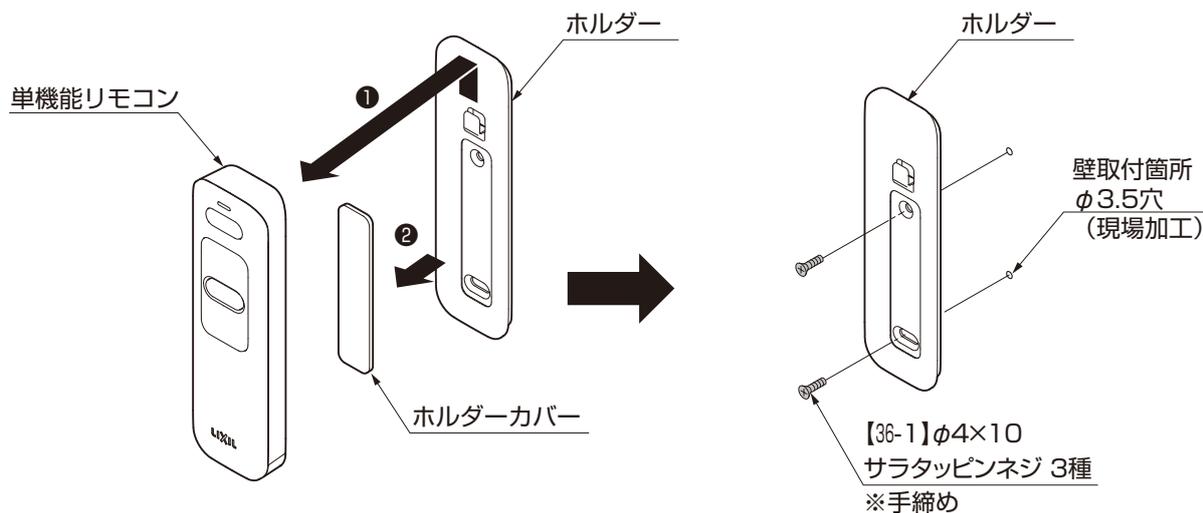


図10-1 リモコン本体の取外し

図10-2 ホルダーの取付け

①単機能リモコン、ホルダーカバーをホルダーからはずしてください。(図10-1参照)

### ⚠ 注意

●リモコンは子供の手の届かない高い位置に取付けてください。  
誤った操作で、人・物が挟まってケガや故障するおそれがあります。

②ホルダーを、目隠材などのシャッター開閉が確認できる所に、【36-1】で取付けてください。(図10-2参照)

### 🔑 ポイント

●壁取付箇所にφ3.5穴をあけてから手締めにて取付けてください。(図10-2参照)

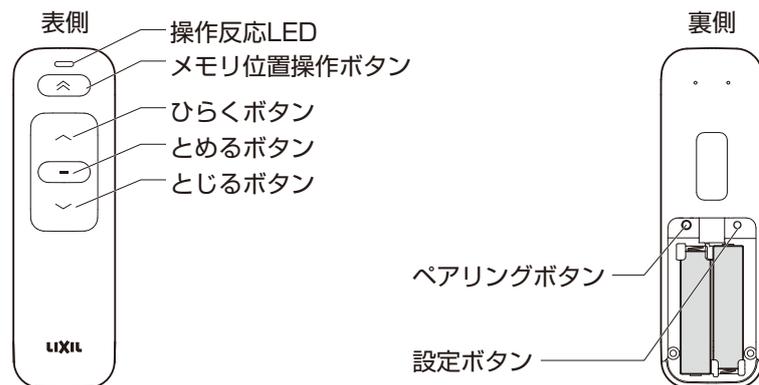
③ホルダーカバー、単機能リモコンをホルダーにはめてください。

# 11. 単機能リモコンの操作方法・初期設定

## ⚠ 注意

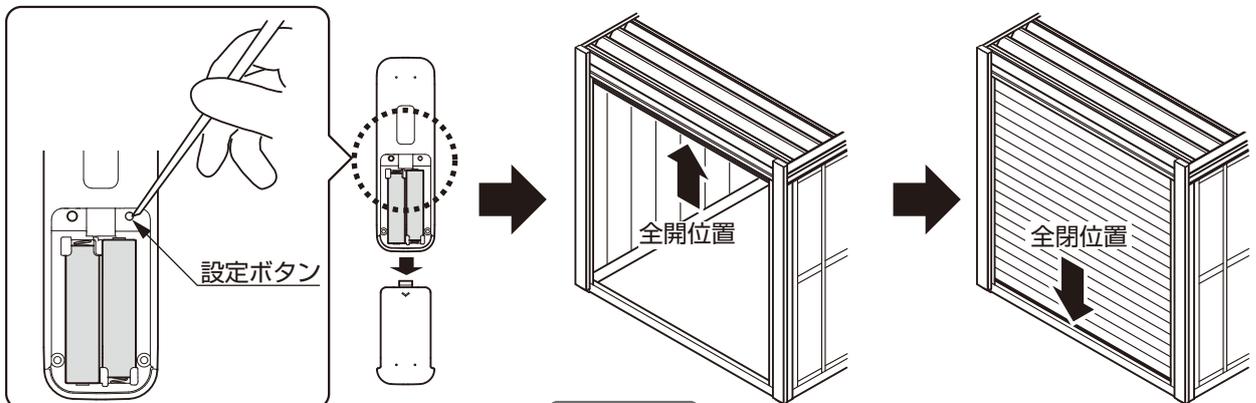
- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、ただちにとめるボタンを押してシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてから取り除いてください。取り除かずに連続して負荷を検出させた場合は感知しない場合があります。  
負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

### 11-1 各部の名称



### 11-2 初期設定

- ①電池ケースのフタをはずし電池ケース内右側の「設定ボタン」を細い物で1回押してください。  
自動で「全開」⇒「全閉」し全開/全閉位置の設定が完了します。



- ②「ひらくボタン」をワンタッチで押して開作動すれば設定が完了しています。

#### 🔑 ポイント

- G.L.面の土間仕上げ終了後に、初期設定を行ってください。
- 自動作動中はリモコンのボタンを押さないでください。

#### ✎ 補足

- 初期設定後、全閉時にすき間が空いてしまった場合、以下の操作を行ってください。
- ①学習データ初期化動画を参考にして学習データを初期化してください。(P.210参照)
  - ②下限にしたい位置にスラット開閉操作をして位置を合わせてください。
  - ③電池ケースのフタをはずし、電池ケース内右側の「設定ボタン」を細い物で3秒以上押してください。  
⇒操作反応LEDが緑色でゆっくり点滅します。
  - ④ひらくボタンを4回押してください。  
⇒操作反応LEDが緑色で早い点滅をします。
  - ⑤とじるボタンを3秒以上押してください。  
⇒自動で「全開」⇒「全閉」し完了です。自動作動中はリモコンのボタンを押さないでください。
  - ⑥シャッターを開閉操作して、下限位置が変更されていることを確認してください。

## 12. プレッシュャーリターンセンサーの作動確認

### 12-1 プレッシュャーリターンセンサーとは

シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。  
この機構をプレッシュャーリターンセンサーといいます。

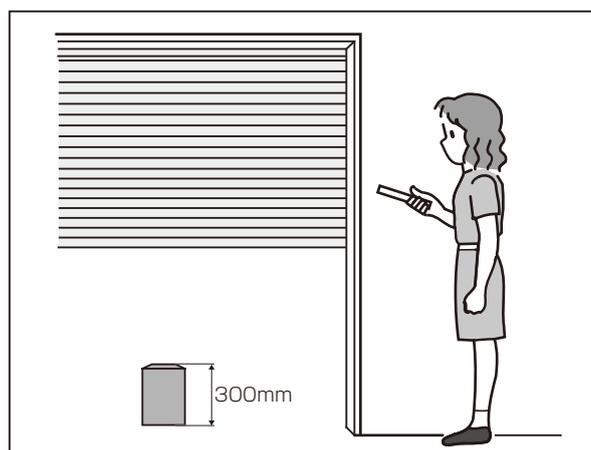
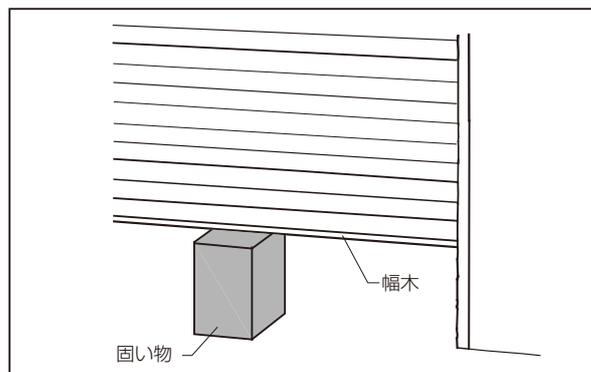
### 12-2 プレッシュャーリターンセンサーの作動確認

#### ⚠ 注意

- プレッシュャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターの間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- プレッシュャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたらリモコンのとめるボタンを押して、ただちにシャッターを停止させ、ひらくボタンを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障のおそれがあります。負荷を検出させた場合は、必ず上限もしくは下限まで作動させてください。

※シャッターの初期設定完了後に実施してください。

- ①シャッターを全開にしてください。
- ②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。  
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
- ③リモコンのとじるボタンを押してください。  
→シャッターが下降します。
- ④シャッターが固い物に当たり、下降が停止し自動的に上昇して全開で停止します。  
※反転上昇中にとめるボタンを押してシャッターを停止させた場合、次の操作はとじるボタンを押してもシャッターが開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。
- ⑤シャッターが全開停止していることを確認してから固い物を取り除いてください。
- ⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。  
→シャッターの下降が停止しない。  
→シャッターが自動的に上昇しない。



※障害物検知後は一時的にシャッターの開スピードがゆっくりになりますので、あらかじめご了承ください。  
全開位置まで作動した後は、通常のスPEEDに戻ります。

#### 動画 (QRコード)

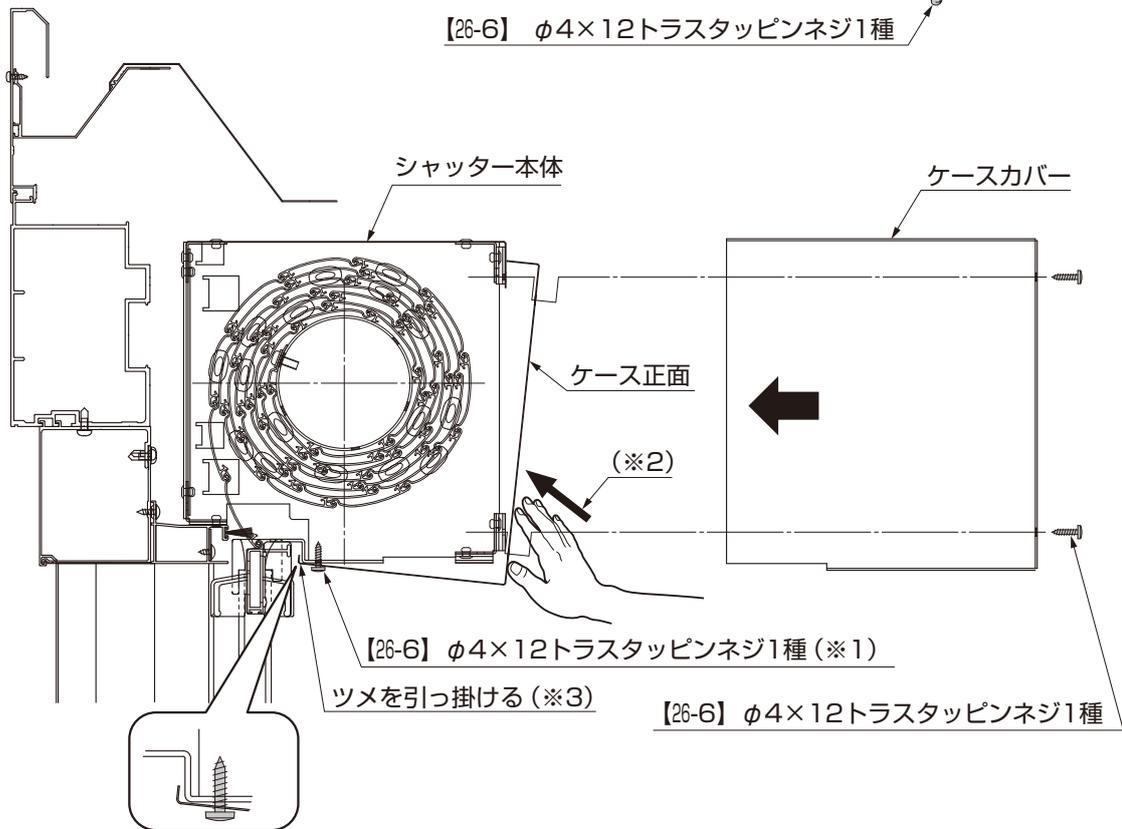
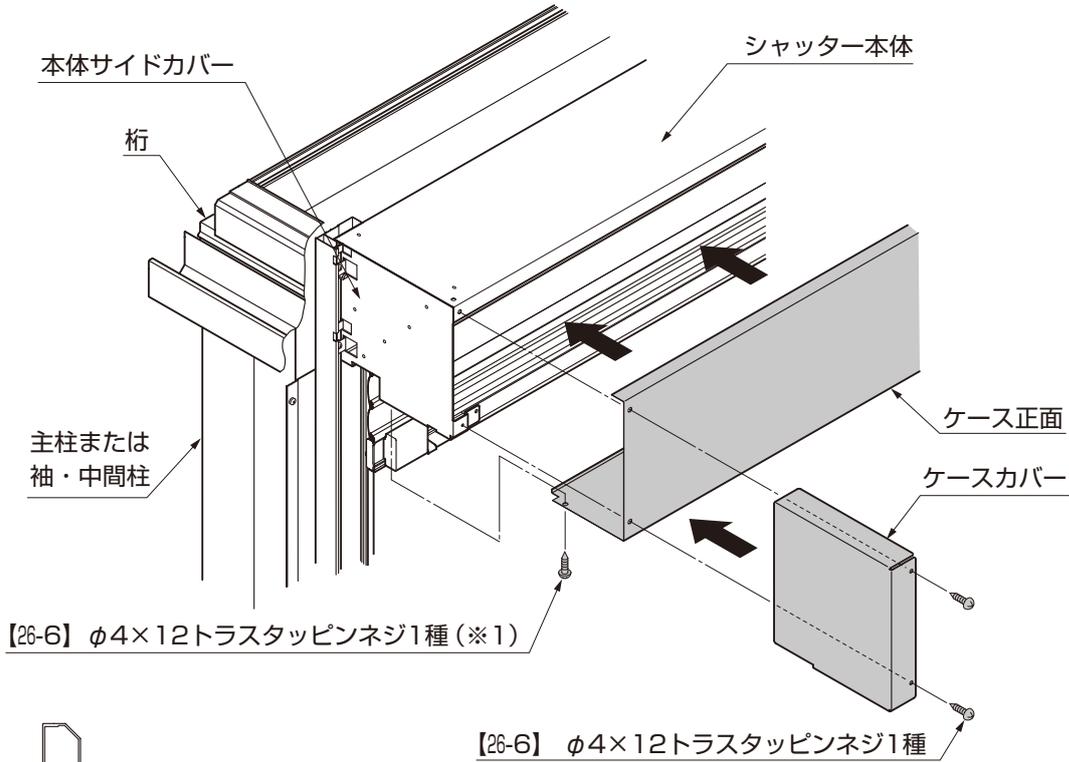
##### ●初期設定



##### ●学習データ初期化



### 13. ケースの取付け



①ケース正面のツメを、シャッター本体の下面に引っ掛けて(※3)、【26-6】(※1)で固定してください。

#### ポイント

●ケース正面を確実に固定するまで、ケースを手で押さえておいてください。(※2)

②ケースカバーを、シャッター本体の両側に正面から差込んで【26-6】で固定してください。

③シャッターケースの養生材をはがして取り除いてください。

## 14. 停電時開閉機構の使い方

※停電時に手動操作状態で、シャッターを内側からあける場合の説明です。

### 14-1 手動操作状態におけるシャッターのあけ方

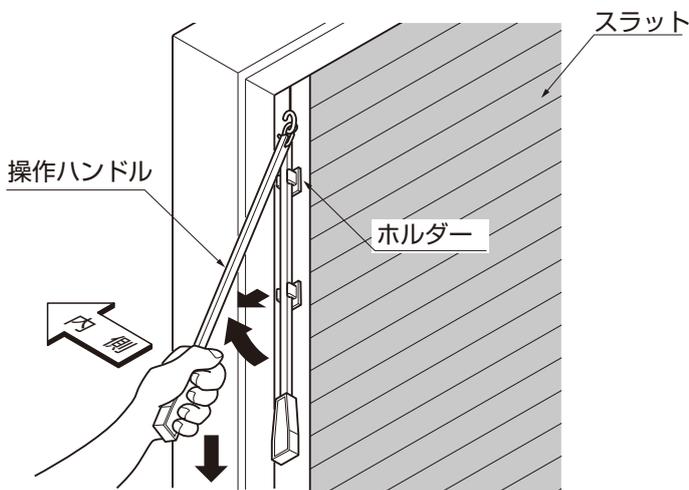


図14-1 手動開閉の切替え

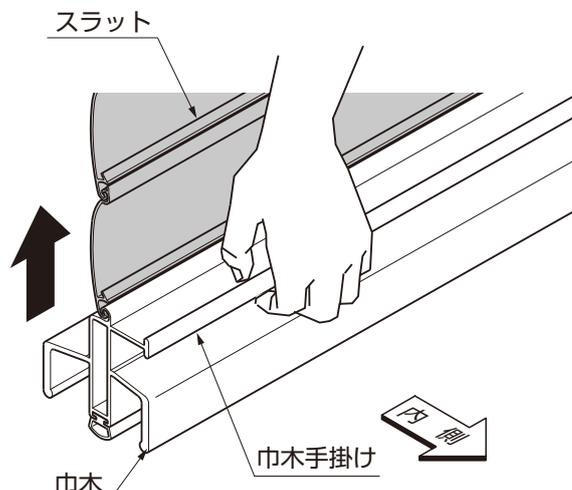


図14-2 手動におけるスラットの巻き上げ

- ①操作ハンドルを、ホルダーから外してください。(図14-1参照)
- ②操作ハンドルを、下方に引いてください。(図14-1参照)

#### 補足

- スラットが急に巻き上がらないように、手で押えながらゆっくり巻き上げてください。
- 操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり、大きな音がしますが故障ではありません。

- ③巾木手掛けを持ち、シャッターを手動で巻き上げてください。(図14-2参照)

### 14-2 シャッターの電動操作状態への復旧方法

- ①操作ハンドルを、再度下に引いてください。
- ②操作ハンドルをホルダーに固定してください。

#### ■停電時に停電時開閉機構を使用した場合

全開まで作動させてください。

- 開方向へ作動させた場合、全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

※停電復帰後は、とじるボタンを押しても開方向へ作動します。そのまま全開まで作動させることで正常に復帰します。

#### ■通電中に停電時開閉機構を使用した場合

全開もしくは全閉まで作動させてください。

全閉位置もしくは途中位置で反転上昇する場合、そのまま全開まで作動させてください。

- 開方向に作動させた時に全開までいかに停止する場合があります。その場合は閉方向に作動させてください。

全閉時にシャッターがたわんだ後に反転し、ゆっくり全開まで作動します。

- 閉方向に作動させた時に全開までいかに停止する場合があります。その場合は開方向に作動させてください。

全開時に幅木が本体内に引き込まれ少し閉方向に作動し停止します。

次の閉動作で全閉まで作動します。

※全閉にすると、幅木と下面にすき間ができる場合があります。その場合は1往復（全開→全閉）を行ってください。それでも直らない場合は、P.209「11-2 初期設定」にしたがって設定してください。

※停電復帰後は一時的にシャッターの開スピードがゆっくりになりますので、あらかじめご了承ください。全開位置まで作動した後は、通常のスPEEDに戻ります。

## 15. 追加リモコンの登録 オプション

### 補足

- オプションの「追加リモコン」は、リモコン1個で複数台のシャッターを同時に操作するリモコンです。電波の届く範囲で10台まで登録できます。
- ※必ずシャッター1台ずつ登録を行ってください。
- ※1台のシャッターにはリモコンを最大4個まで登録できます。

### ポイント

- シャッターに同梱されている付属の「単機能リモコン」を複数台のシャッターに登録することは絶対におやめください。シャッター「全開/全閉」位置の調整、メモリ位置設定、停電時開閉機構使用後の復帰操作ができなくなります。これはシャッター1台ずつのメンテナンスができなくなることやリモコン、スマートフォンの追加登録する場合に登録したいシャッターを選択して登録できなくなるなど防止しています。

### 15-1 追加リモコンを登録する方法

①付属のリモコンと追加登録したいリモコンを準備します。

②付属のリモコンの電池フタを開け、左側「ペアリングボタン」を10秒以上押し続けます。ペアリングボタンを押してから5秒経過後と、10秒経過後にシャッターが小さく上に2回、下に2回作動します。10秒経過後の2回目の作動でペアリングボタンを離してください。シャッターがペアリングモードに入ります。指を離すと再度シャッターが小さく上に2回、下に2回動きます。ペアリング完了時、もしくはペアリング信号を2分間受信しない場合は通常モードへ移行します。

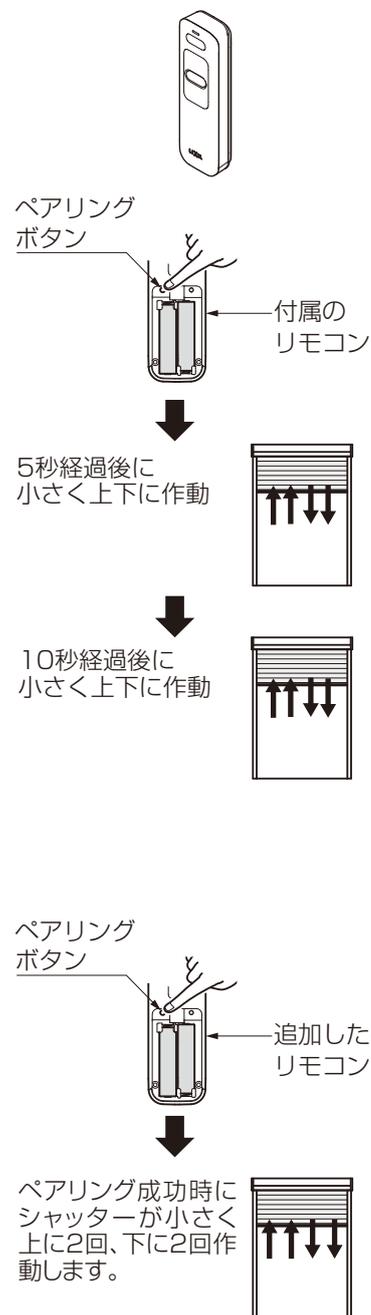
### 補足

- 10秒経過しないうちにペアリングボタンを離してしまった時は、2分経過してから再度行なってください。
- シャッターが小さく上に2回、下に2回動いたことを確認し、ペアリングボタンから指を離してください。
- シャッターが小さく上に2回動く前に、ペアリングボタンから指を離してしまった場合は、30秒以上待ち、はじめからやり直してください。
- シャッターが小さく上に2回動いている最中にペアリングボタンから指を離してしまった場合は下に2回動く動作を行わない場合がありますが、登録は可能ですので作業を進めてください。
- ペアリングボタンを押す時に、表のボタンを押さないようにしてください。ペアリングができなくなってしまいます。

③追加登録したいリモコンの電池フタを開け、ペアリングボタンを1回押します。ペアリングが成功するとシャッターが小さく上に2回、下に2回作動します。

#### 動画 (QRコード)

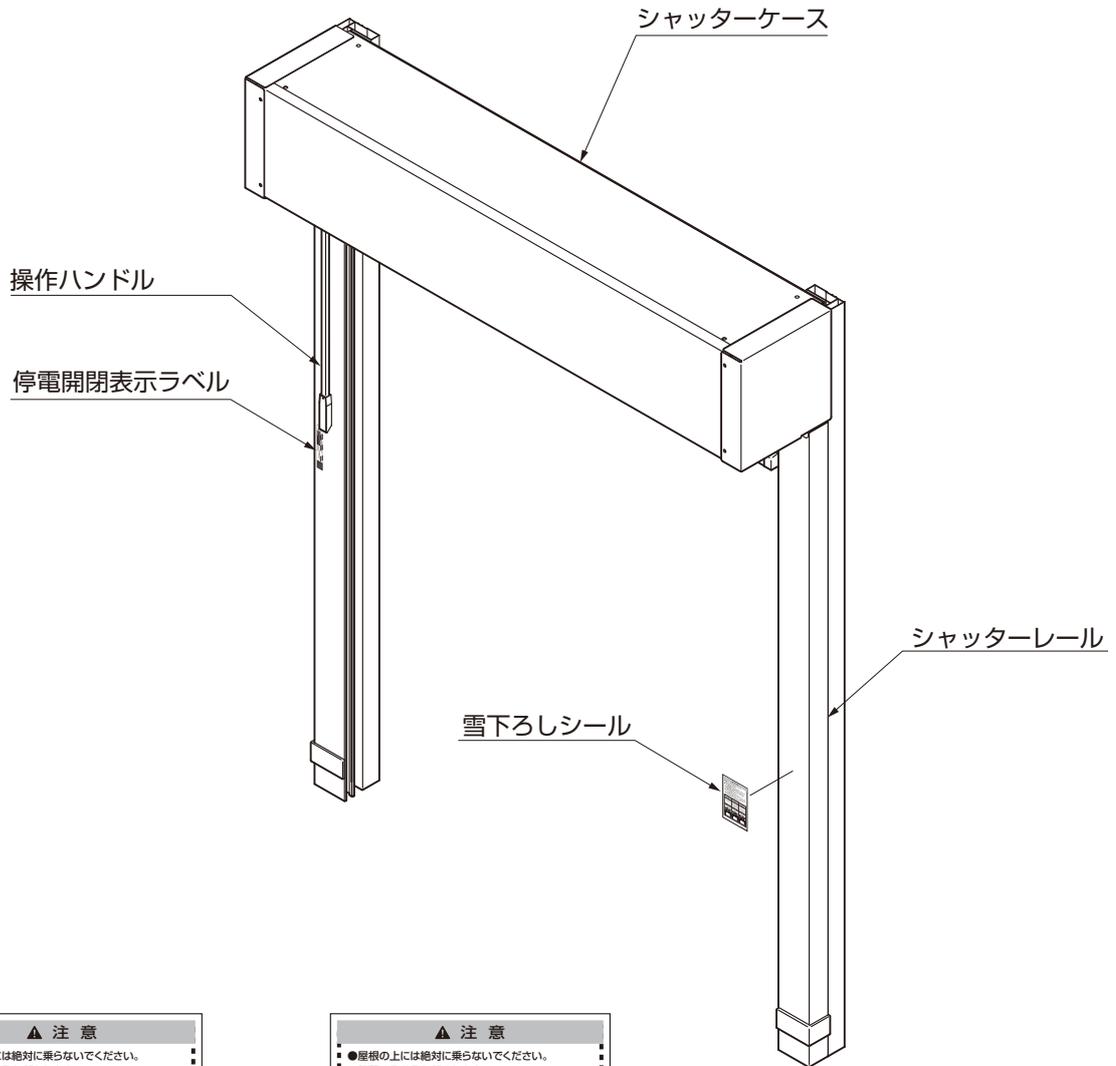
- 追加リモコンの登録





# 12 雪下ろしシールの貼付け

## 1. 雪下ろしシールの貼付け



**▲ 注意**

- 屋根の上には絶対に乗らないでください。転落するおそれがあります。
- 下記の積雪量になる前に、必ず雪下ろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
- ※雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は重くなります。
- ※雪下ろしの際、雪はできるだけ残さず下ろしてください。雪を残すと氷状になり、たいへん重くなります。
- ※雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。

新雪	(しまりゆき) 綿雪	(ざらめゆき) 粗目雪
新しく降った粉状の雪 (雪比重0.3)	水分を含んだやや重い雪-降り積もって圧縮された雪 (雪比重0.5)	水分を含んで凍っていて粒の大きな雪 (雪比重0.7)
積雪量(目安) 50cm	積雪量(目安) 30cm	積雪量(目安) 21cm

SSS936644

図1-1 1500タイプの場合

**▲ 注意**

- 屋根の上には絶対に乗らないでください。転落するおそれがあります。
- 下記の積雪量になる前に、必ず雪下ろしをしてください。製品破損による被害のおそれがあります。
- ※雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は重くなります。
- ※雪下ろしの際、雪はできるだけ残さず下ろしてください。雪を残すと氷状になり、たいへん重くなります。
- ※雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。

新雪	(しまりゆき) 綿雪	(ざらめゆき) 粗目雪
新しく降った粉状の雪 (雪比重0.3)	水分を含んだやや重い雪-降り積もって圧縮された雪 (雪比重0.5)	水分を含んで凍っていて粒の大きな雪 (雪比重0.7)
積雪量(目安) 100cm	積雪量(目安) 60cm	積雪量(目安) 42cm

SSS936643

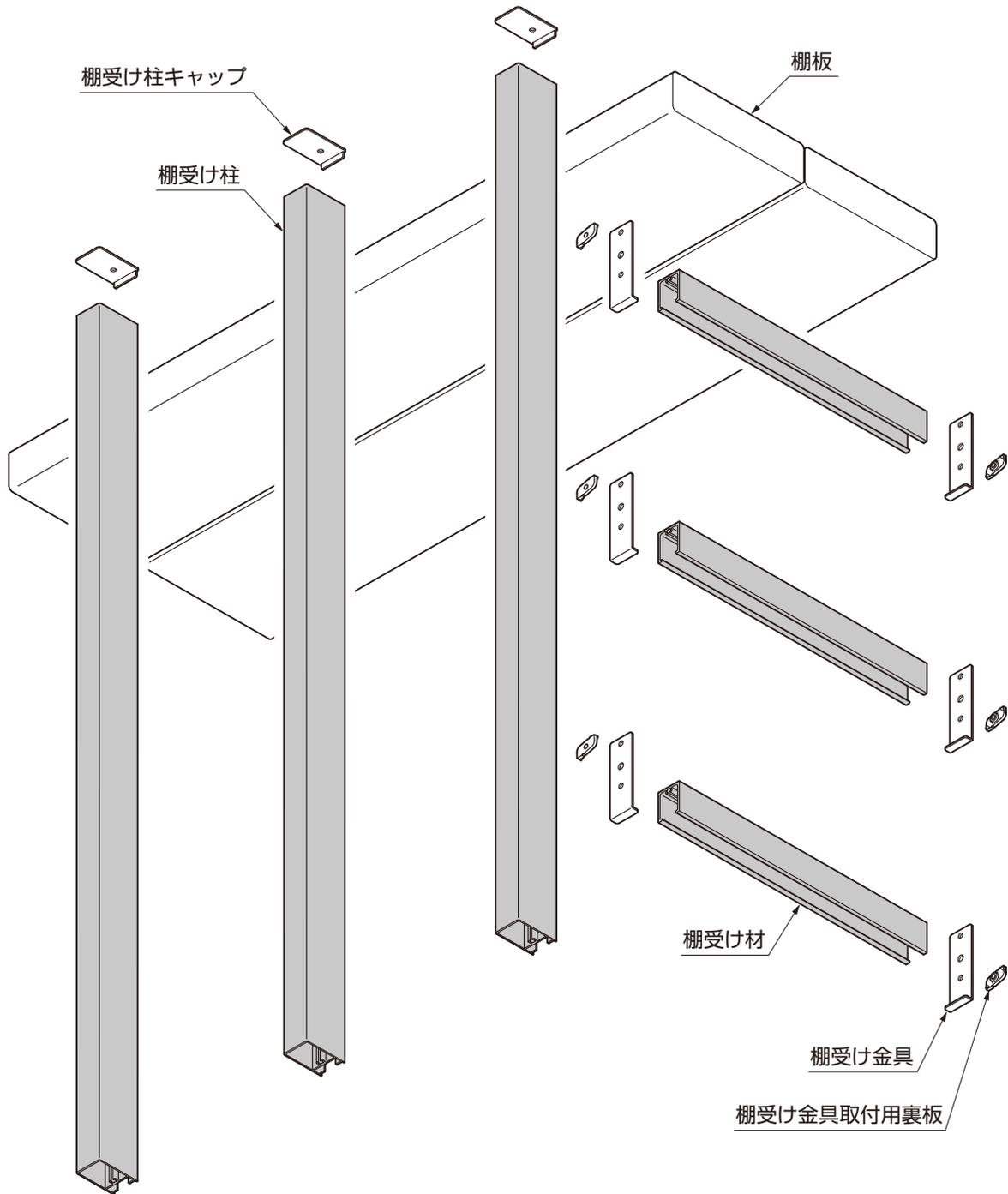
図1-2 3000タイプ (Sタイプ) の場合

①雪下ろしシールをシャッターレール内側などの見やすい箇所に貼付けてください。

# 13 棚の取付け

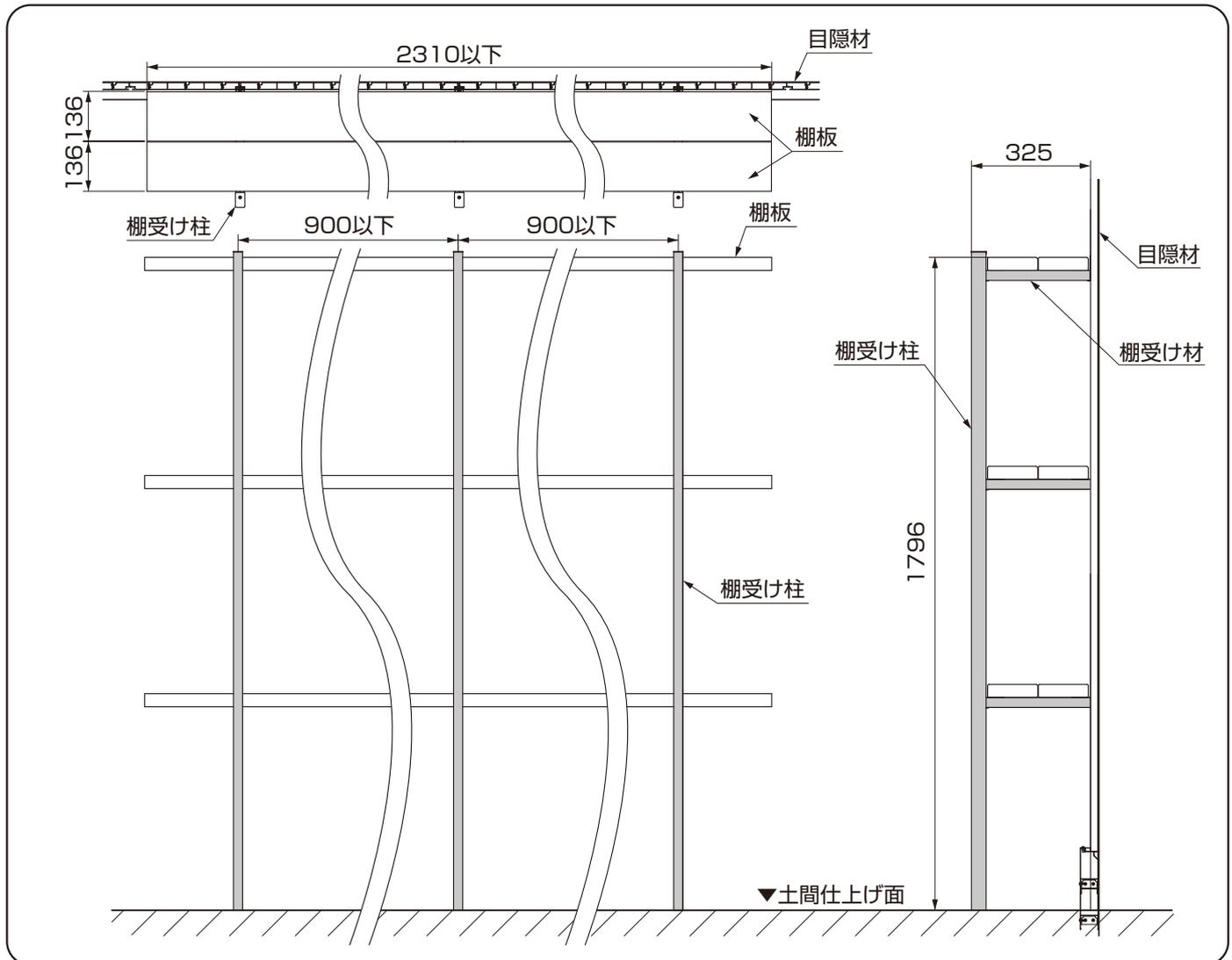
オプション

## 1. 施工前確認

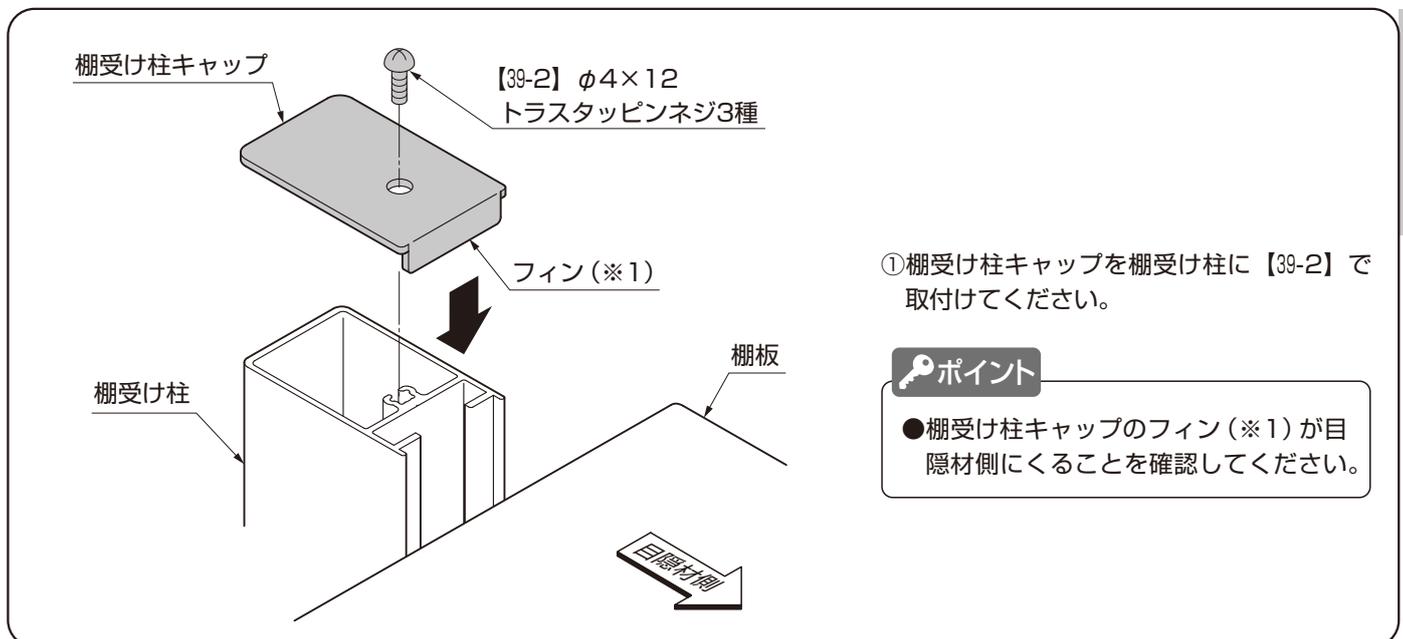


①棚の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 基本寸法図



## 3. 棚受け柱キャップの取付け



## 4. 棚受け金具の取付け

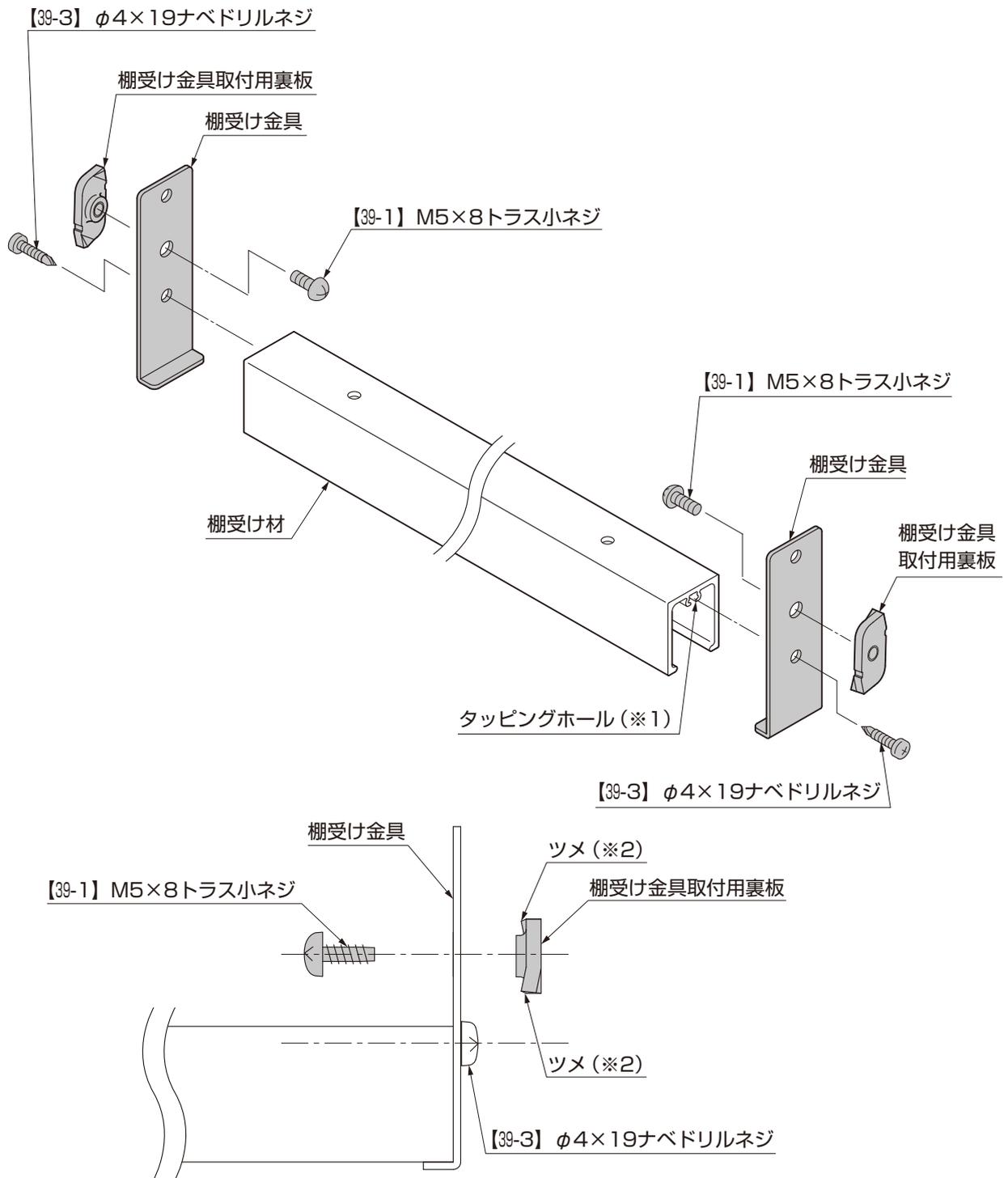


図4-1 棚受け金具の取付け

- ①棚受け金具を、棚受け材のタッピングホール(※1)に【39-3】で取付けてください。
- ②棚受け金具に棚受け金具取付用裏板を、【39-1】で反対から締付けてください。

### ポイント

- 棚受け金具取付用裏板は表裏があります。角部にツメ(※2)が立っている側を棚受け金具側に向けてください。(図4-1参照)

## 5. 棚受け材の取付け

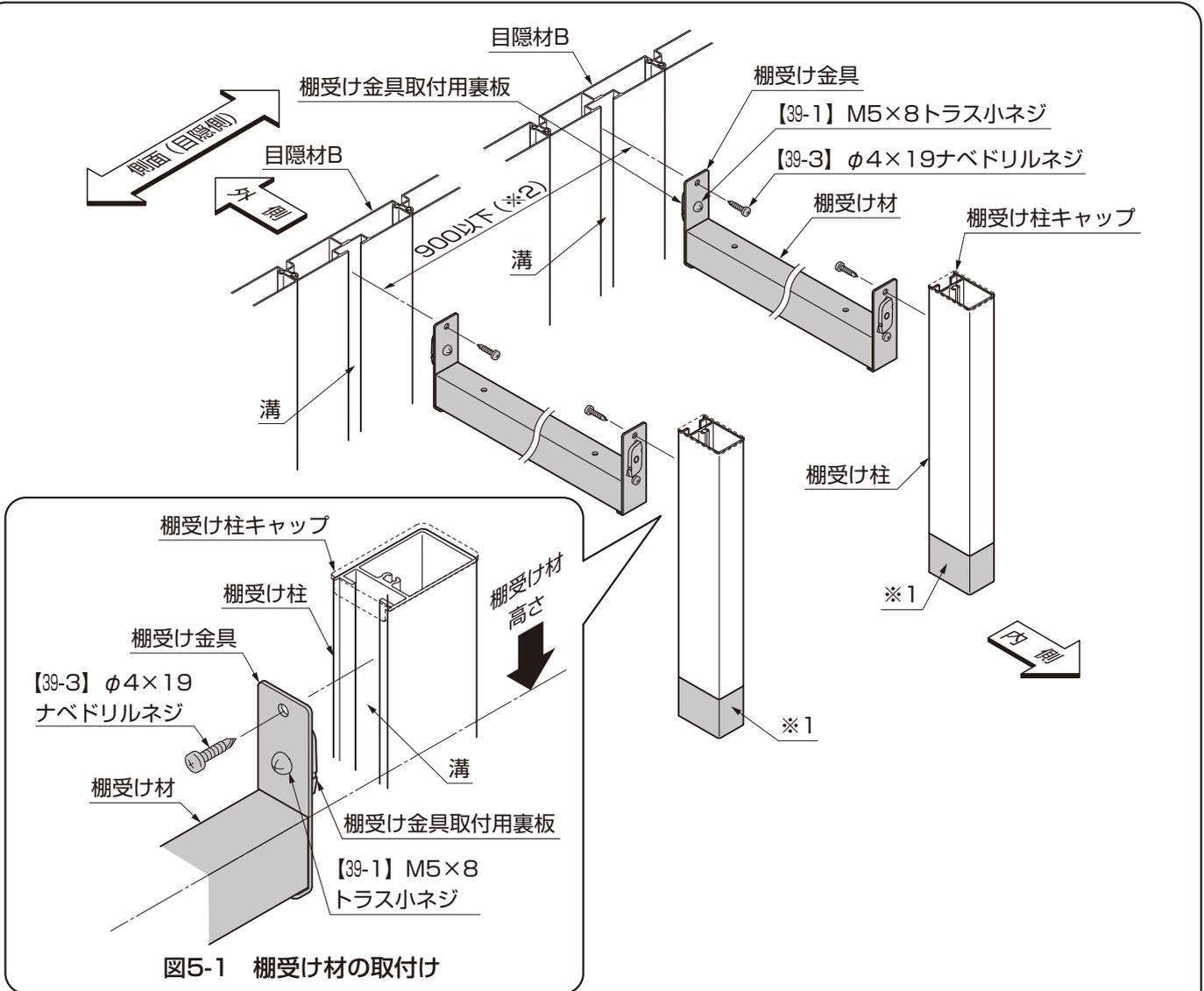


図5-1 棚受け材の取付け

- ①棚受け金具取付用裏板を、棚受け柱の溝に入れて、棚受け材を【39-3】で取付けてください。

### ポイント

- 棚受け柱キャップを上にして取付けてください。
- 棚の取付け高さを合わせて、棚受け金具の高さ調整をしてください。必要に応じて棚受け柱を切断してください。(※1)
- 棚は、棚受け柱1本につき、3段まで取付け可能です。

### 補足

- 棚受け材の高さは、土間仕上げ面より250mm~1759mmまでの位置に取付け可能です。

- ②棚受け金具取付用裏板を、目隠材Bの溝に入れて、棚受け材を【39-3】で取付けてください。

### ポイント

- 棚受け材の取付けピッチは、900mm以下にしてください。(※2)

- ③棚受け材を、目隠材Bおよび棚受け柱に、【39-3】で固定してください。

### 注意

- 棚板は確実に取付けてください。外れて事故につながりケガをするおそれがあります。

## 6. 棚板の取付け

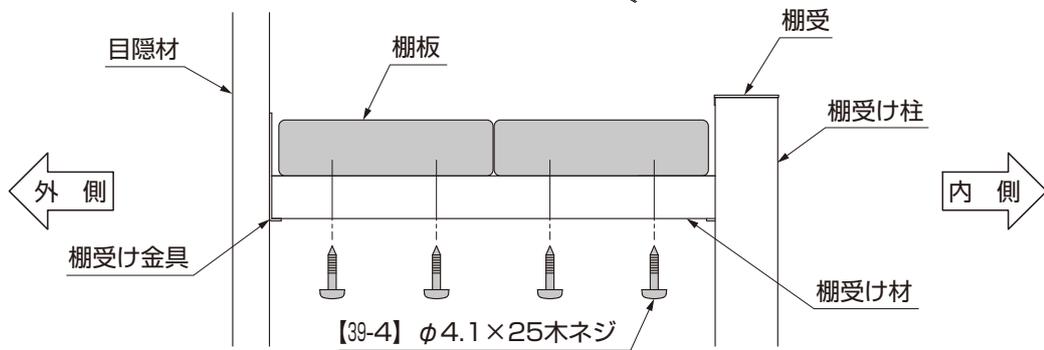
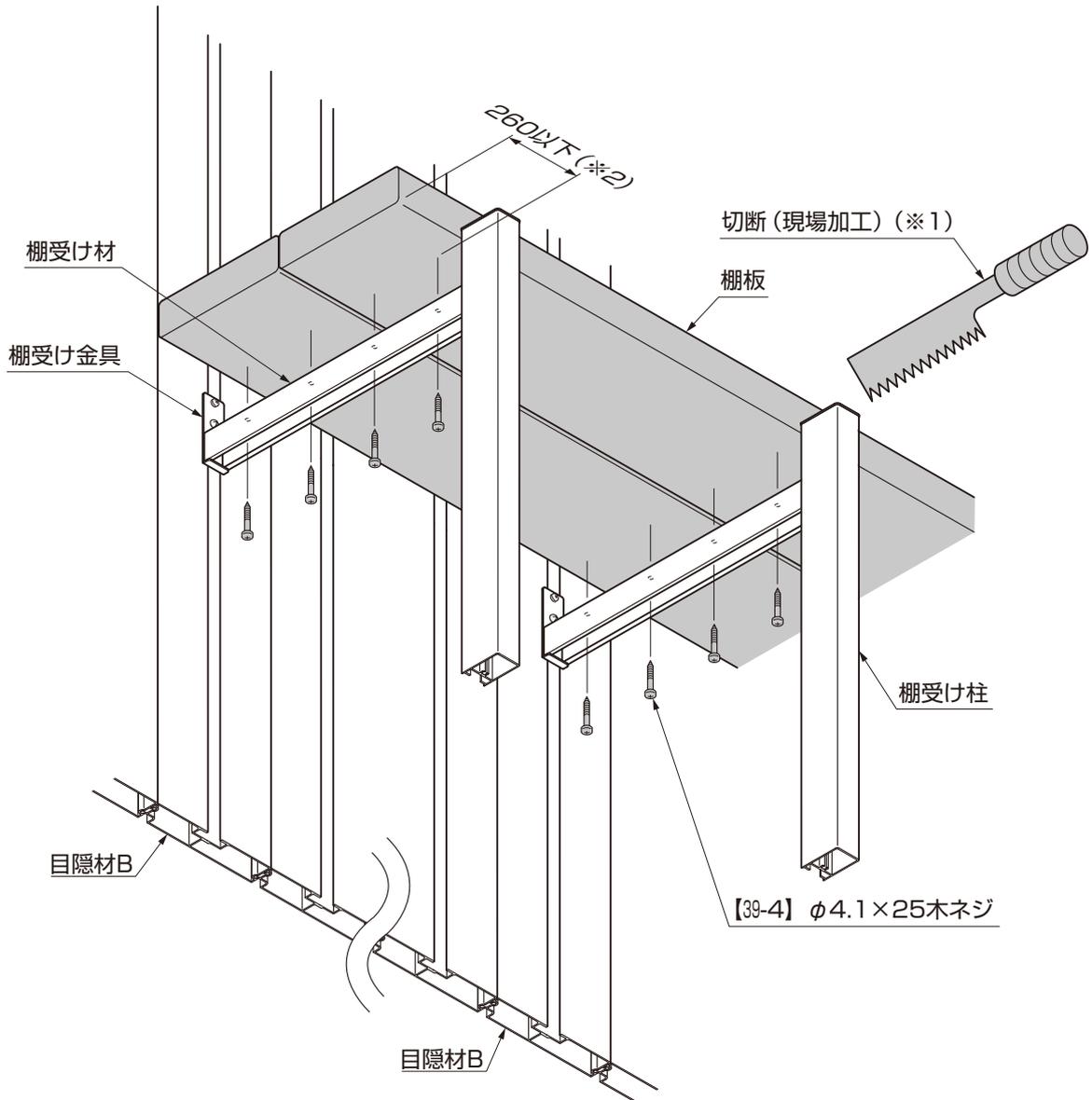


図6-1 棚板の固定

① 棚板を、【39-4】で棚受け材に固定してください。

### ポイント

- 取付け箇所・取付け幅に合わせて、棚板を切断（現場加工）（※1）してください。
- 棚受け材からの棚板の出し張り寸法は、260mm以下（※2）にしてください。

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

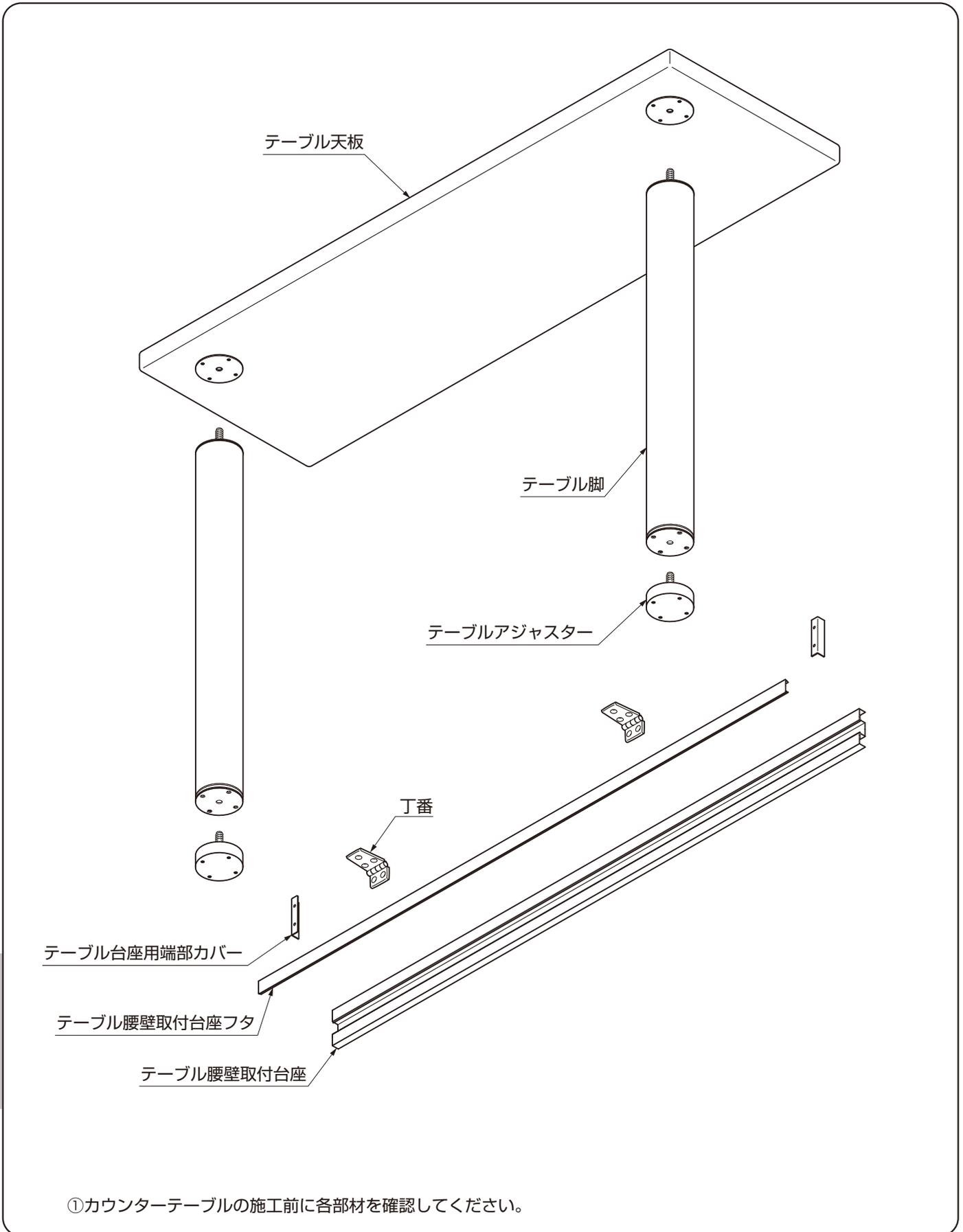
.....

.....

.....

## 14 カウンターテーブルの取付け オプション

### 1. 施工前確認



## 2. テーブル腰壁取付台座の取付け

※テーブルは、間口幅D24以上の目隠材取付部に取付けることができます。

※側面に取り付ける場合は、D24以上の目隠材取付部に取り付けることができます。ただし、土間勾配によって高さ調整が困難になる場合がありますのでご注意ください。

### 2-1 テーブル腰壁取付台座の取付け

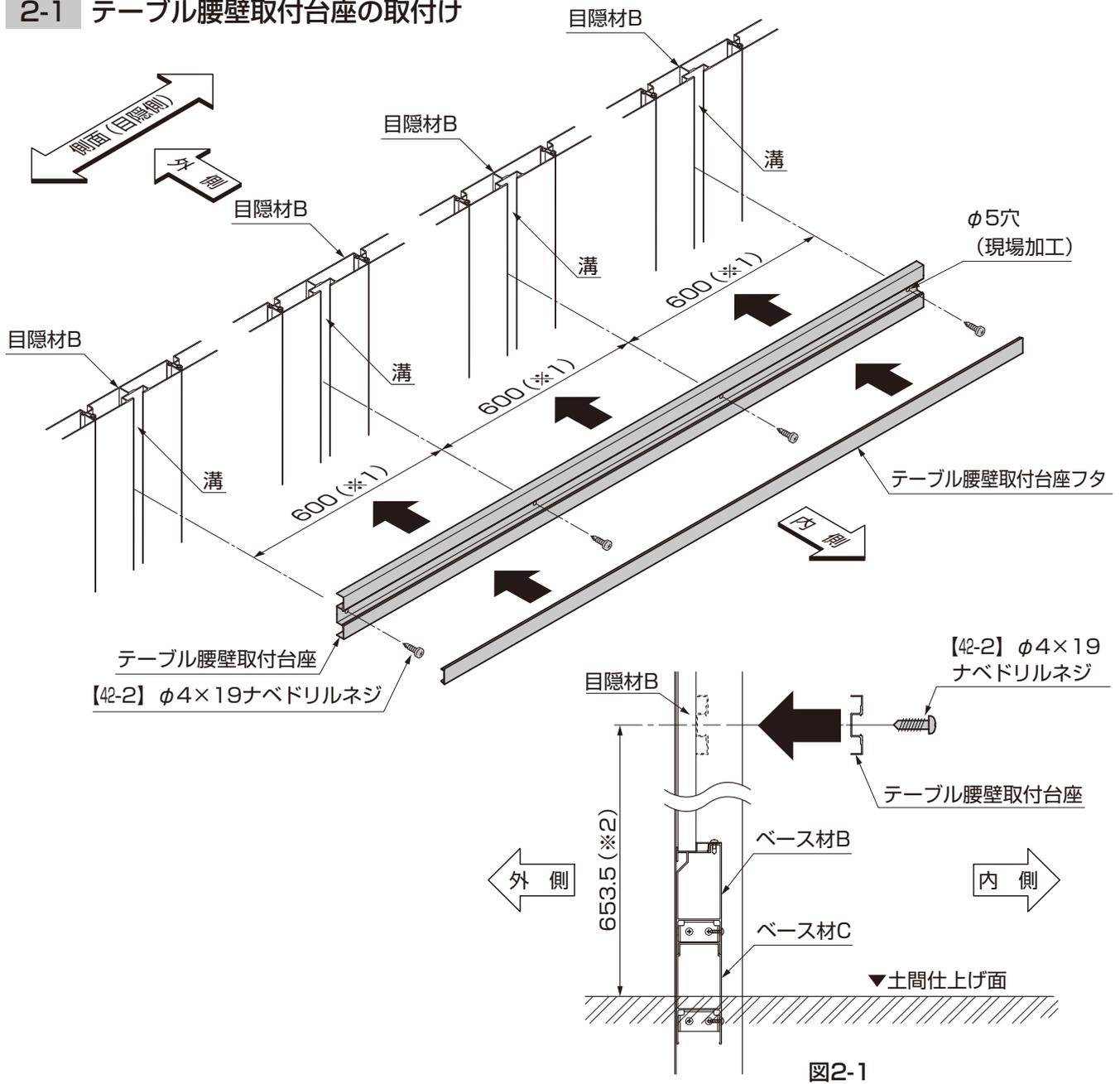


図2-1

- ①テーブル腰壁取付台座に、φ5穴(現場加工)をあけて、目隠材Bの溝に向かって【42-2】で取付けてください。

#### ポイント

- テーブル腰壁取付台座の取付けピッチは、600mmにしてください。(※1)
- テーブル腰壁取付台座の高さは、土間仕上げ面より653.5mm(※2)に取付けてください。(図2-1参照)

- ②テーブル腰壁取付台座フタを、テーブル腰壁取付台座にはめてください。

#### 注意

- テーブル腰壁取付台座は、確実に取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

## 2. (つづき)

### 2-2 丁番の取付け

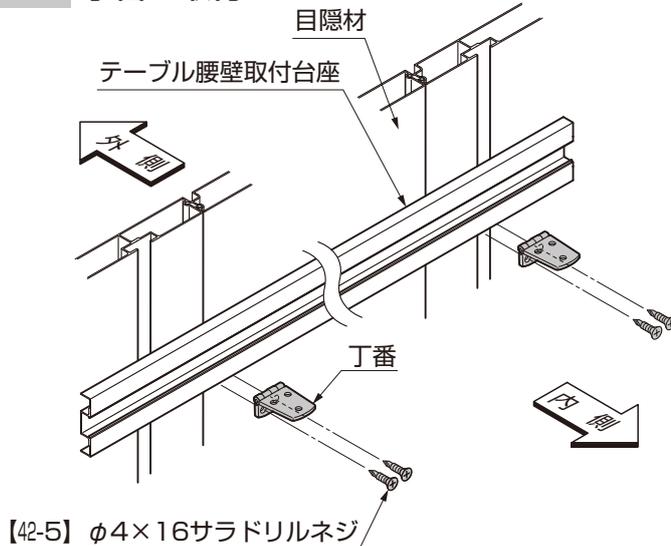


図2-2 丁番の取付け

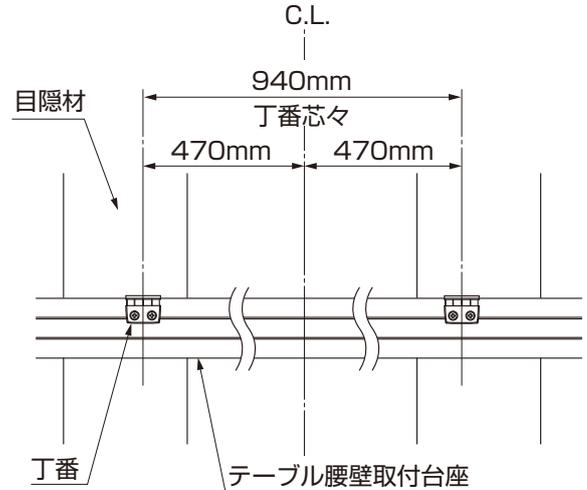


図2-3 丁番の取付け幅

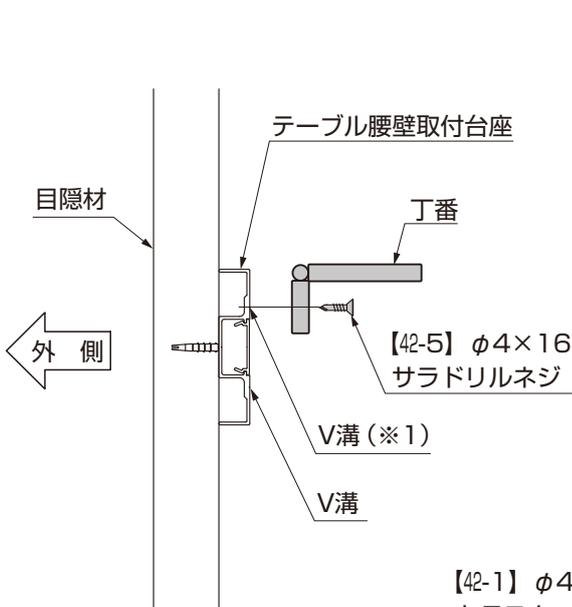


図2-4

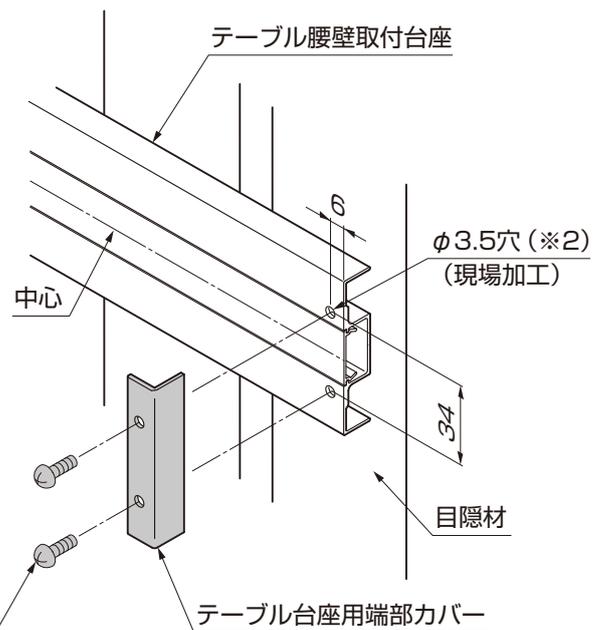


図2-5

① 丁番を、テーブル腰壁取付台座の上のV溝(※1)に合わせて、【42-5】で取付けてください。(図2-2参照)

#### ⚠ 注意

● 丁番は確実に取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

#### 🔑 ポイント

- 丁番と丁番の中心(470mm)とテーブル腰壁取付台座の中心を合わせて取付けてください。(図2-3参照)
- 水平になるように正確な位置で取付けてください。テーブルが開閉できなくなる場合があります。
- 丁番は、テーブル腰壁取付台座の上のV溝(※1)に確実に取付けてください。(図2-4参照)

② テーブル腰壁取付台座に、φ3.5の下穴(※2)をあけて、テーブル台座用端部カバーを【42-1】で取付けてください。(図2-5参照)

### 3. テーブル取付金具の取付け

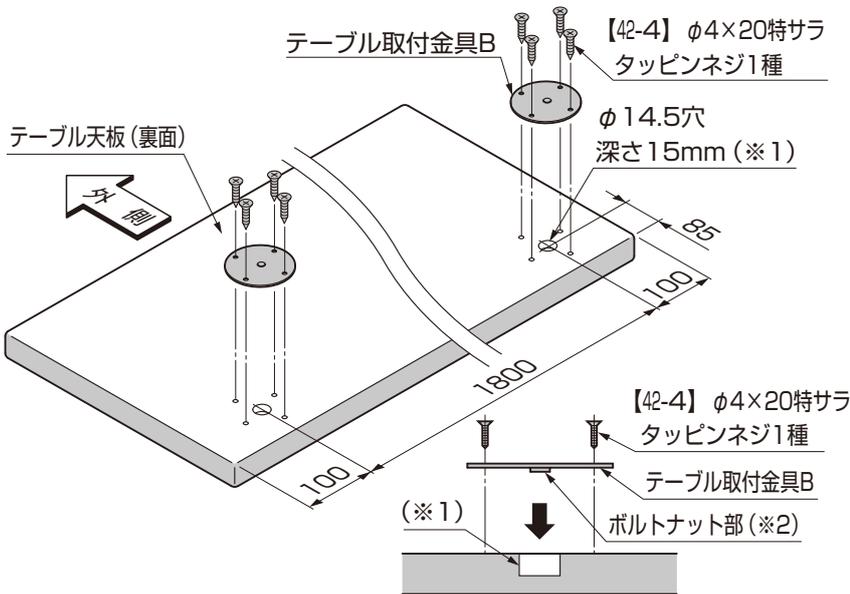


図3-1 ボルトナット部の勘合

- ① テーブル天板に、φ14.5、深さ15mmの穴加工（現場加工）（※1）をしてください。
- ② テーブル取付金具Bを、天板の裏面に【42-4】で取付けてください。

#### 注意

- テーブル取付金具Bは、しっかりと取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

#### ポイント

- テーブル取付金具Bのボルトナット部（※2）が、天板の穴（※1）に入るように取付けてください。

### 4. 天板の取付け

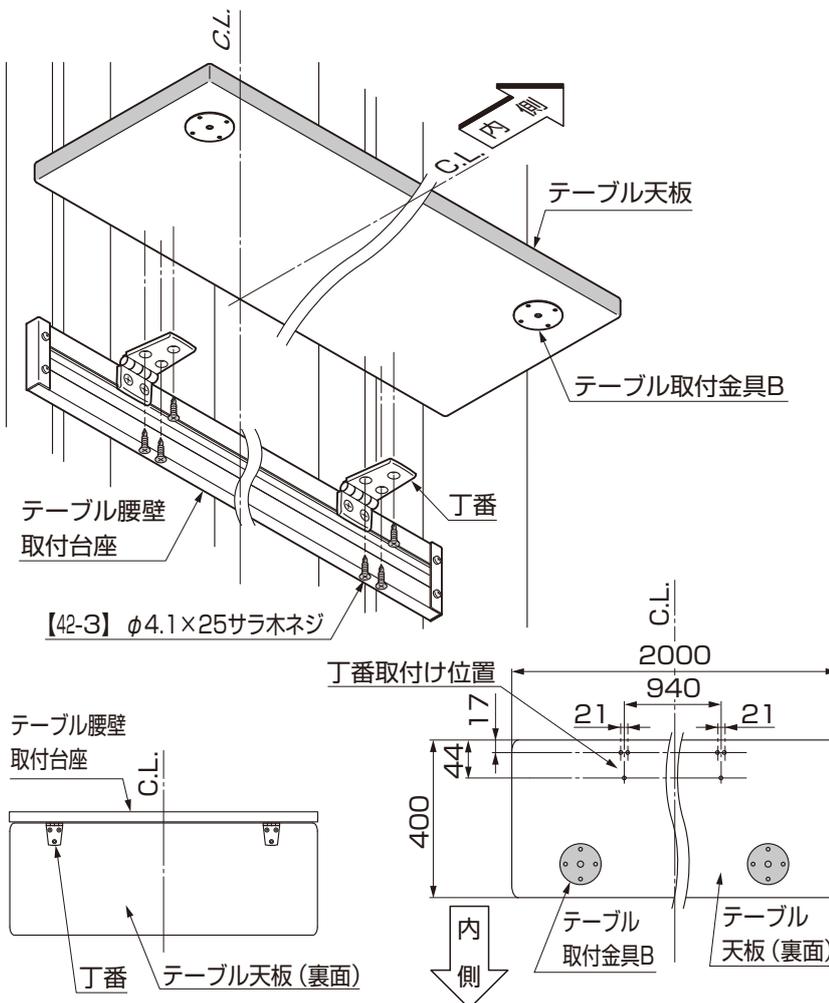


図4-1 丁番の取付け

図4-2 丁番の取付け位置

- ① テーブル天板の裏面に、丁番を【42-3】で取付けてください。

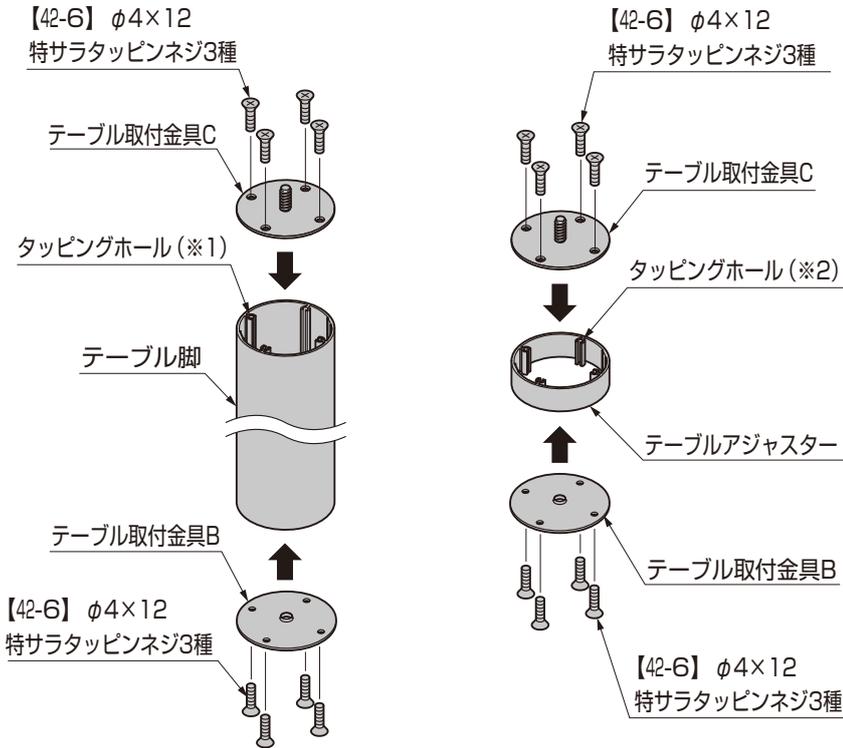
#### 注意

- テーブル天板は、しっかりと丁番と固定してください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

#### ポイント

- テーブル天板の取付け位置は、テーブル腰壁取付台座の真ん中と、テーブル天板の真ん中を合わせて、取付けてください。（図4-1参照）
- テーブル天板は、テーブル取付金具Bが付いている方を内側にしてください。（図4-2参照）
- 丁番の取付けは、テーブル天板の中心から左右対称に、ネジ止めしてください。（図4-2参照）

## 5. テーブル脚、テーブルアジャスターの組立て



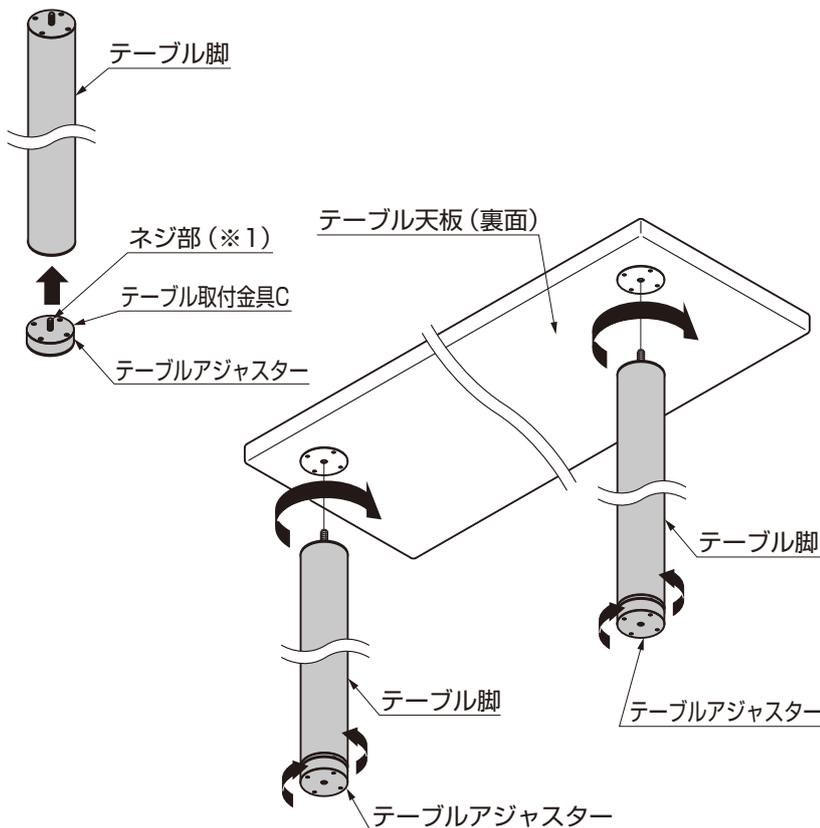
① テーブル脚のタッピングホール(※1)に、テーブル取付金具Bとテーブル取付金具Cを【42-6】で取付けてください。

② テーブルアジャスターのタッピングホール(※2)に、テーブル取付金具Bとテーブル取付金具Cを【42-6】で取付けてください。

図5-2

図5-1 テーブル脚の組立て      テーブルアジャスターの組立て

## 6. テーブル脚の取付け



① テーブルアジャスターのテーブル取付金具Cのネジ部(※1)を、テーブル脚のテーブル取付金具Bに差し込んで、回転して取付けてください。

② テーブル脚のテーブル取付金具Cのネジ部(※1)を、テーブル天板(裏面)のテーブル取付金具Bに差し込んで、回転して取付けてください。

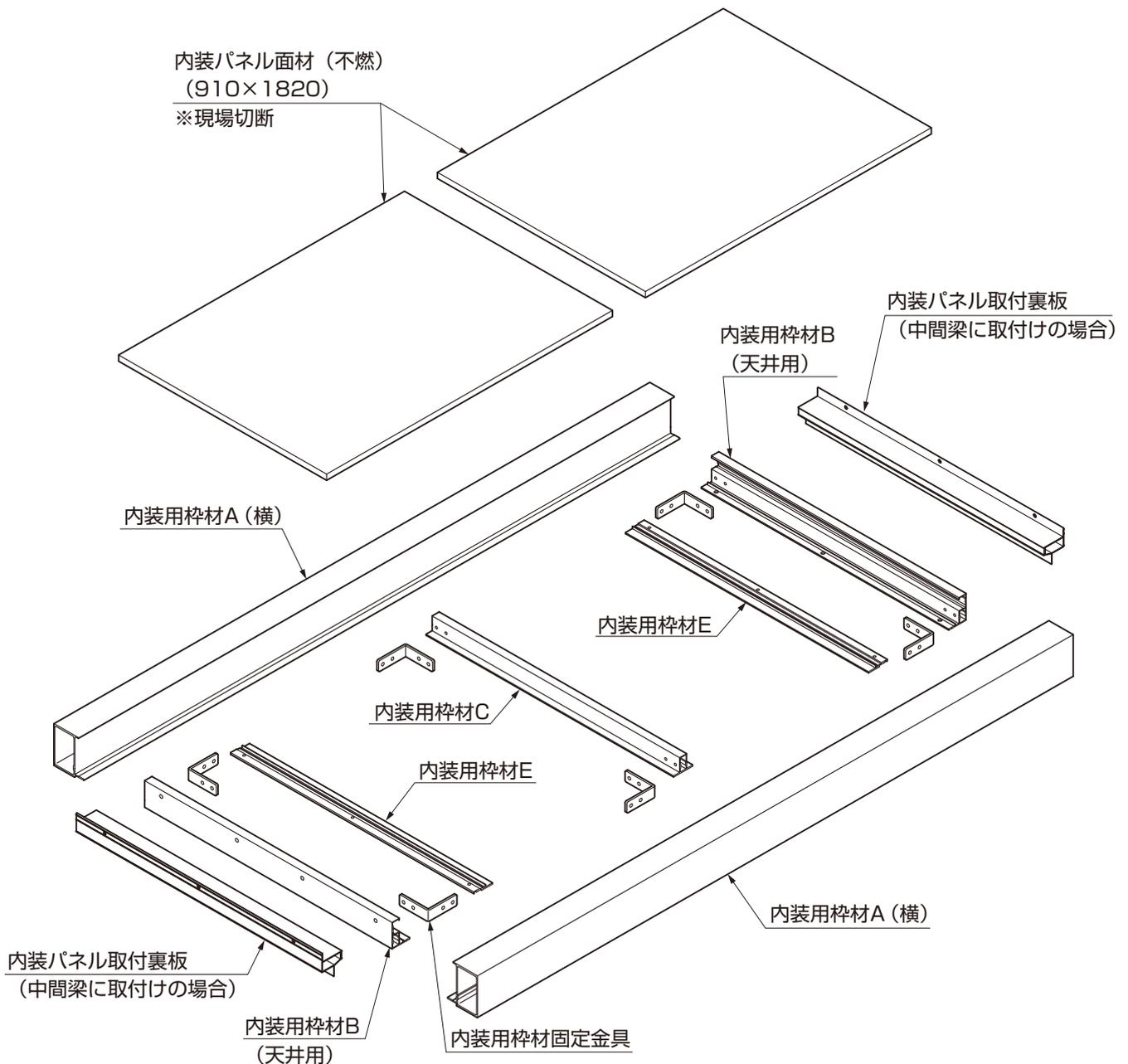
### 補足

● テーブル脚は、テーブルアジャスターで、高さ調整することができます。

15 内装パネルの取付け **オプション**

## 1. 施工前確認

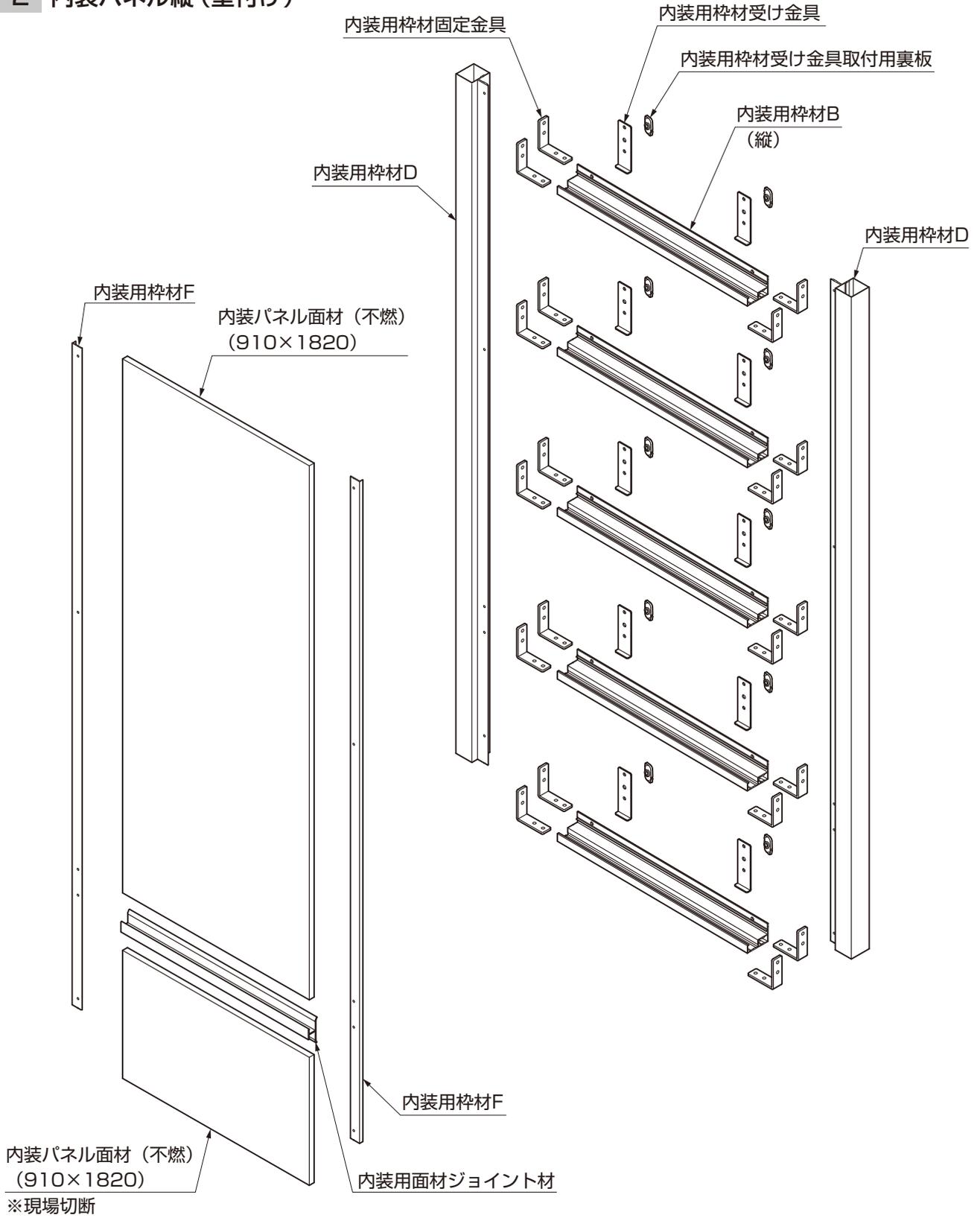
## 1-1 内装パネル横 (天井用)



①内装パネル横の施工前に各部材を確認してください。

# 1. (つづき)

## 1-2 内装パネル縦 (壁付け)



①内装パネル縦の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 基本寸法図

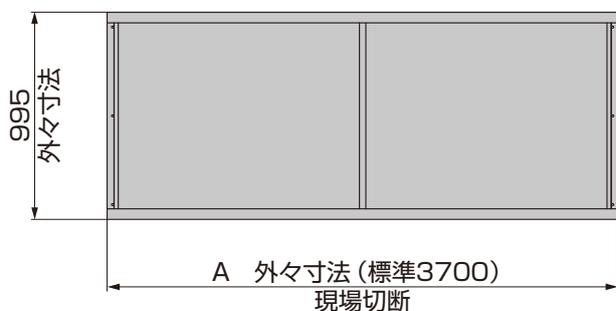


図2-1 内装パネル横（天井用）

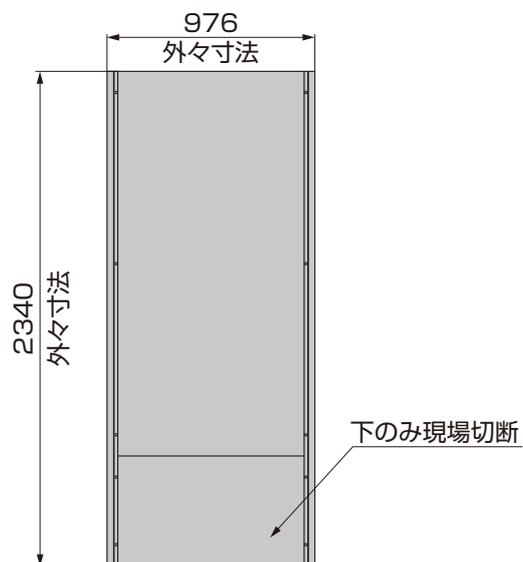
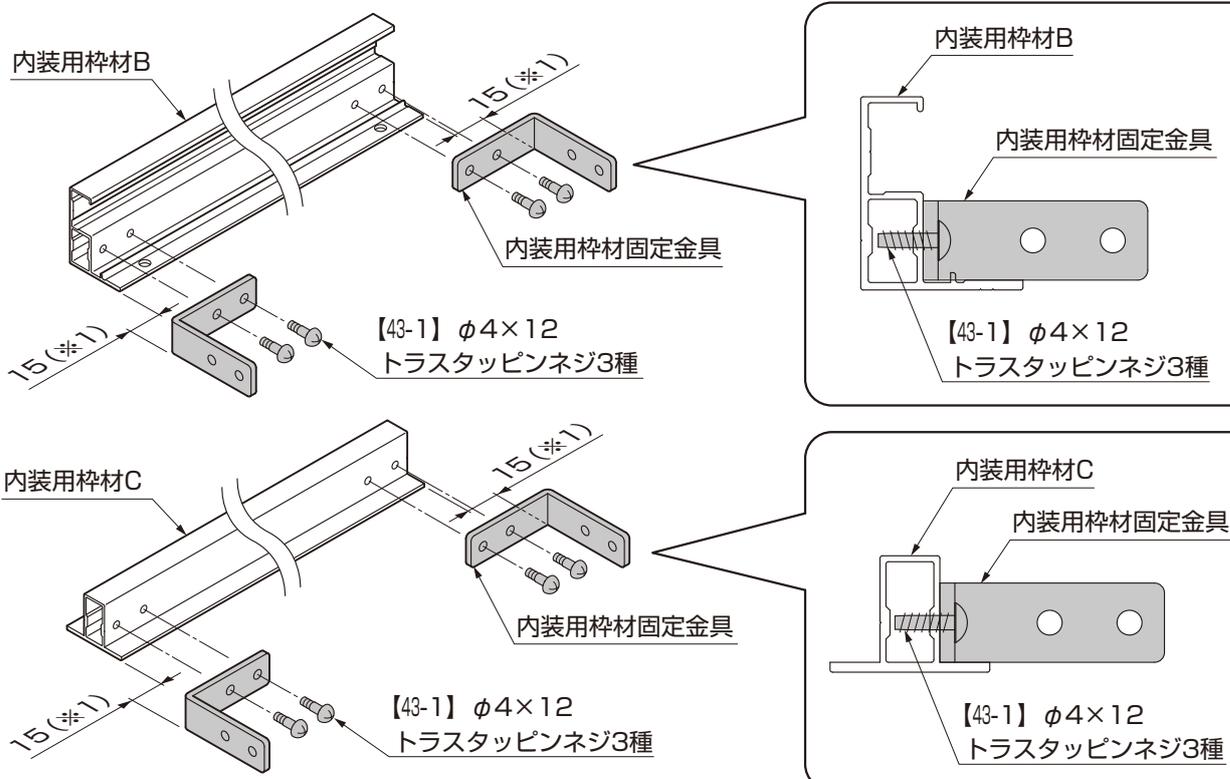


図2-2 内装パネル縦（壁付け）

## 3. 内装パネル横（天井用）の取付け

## 3-1 内装用枠材固定金具の取付け



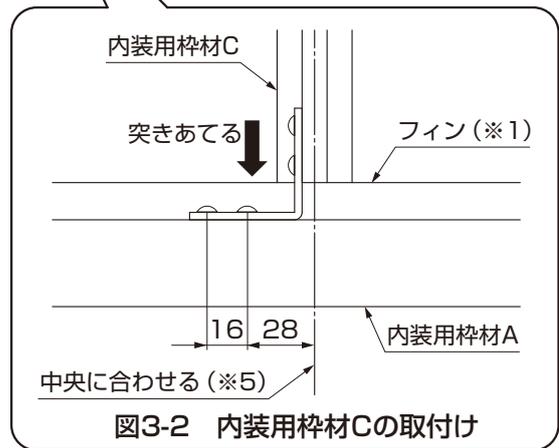
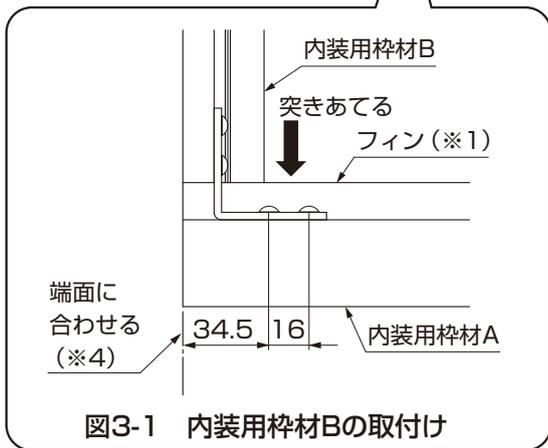
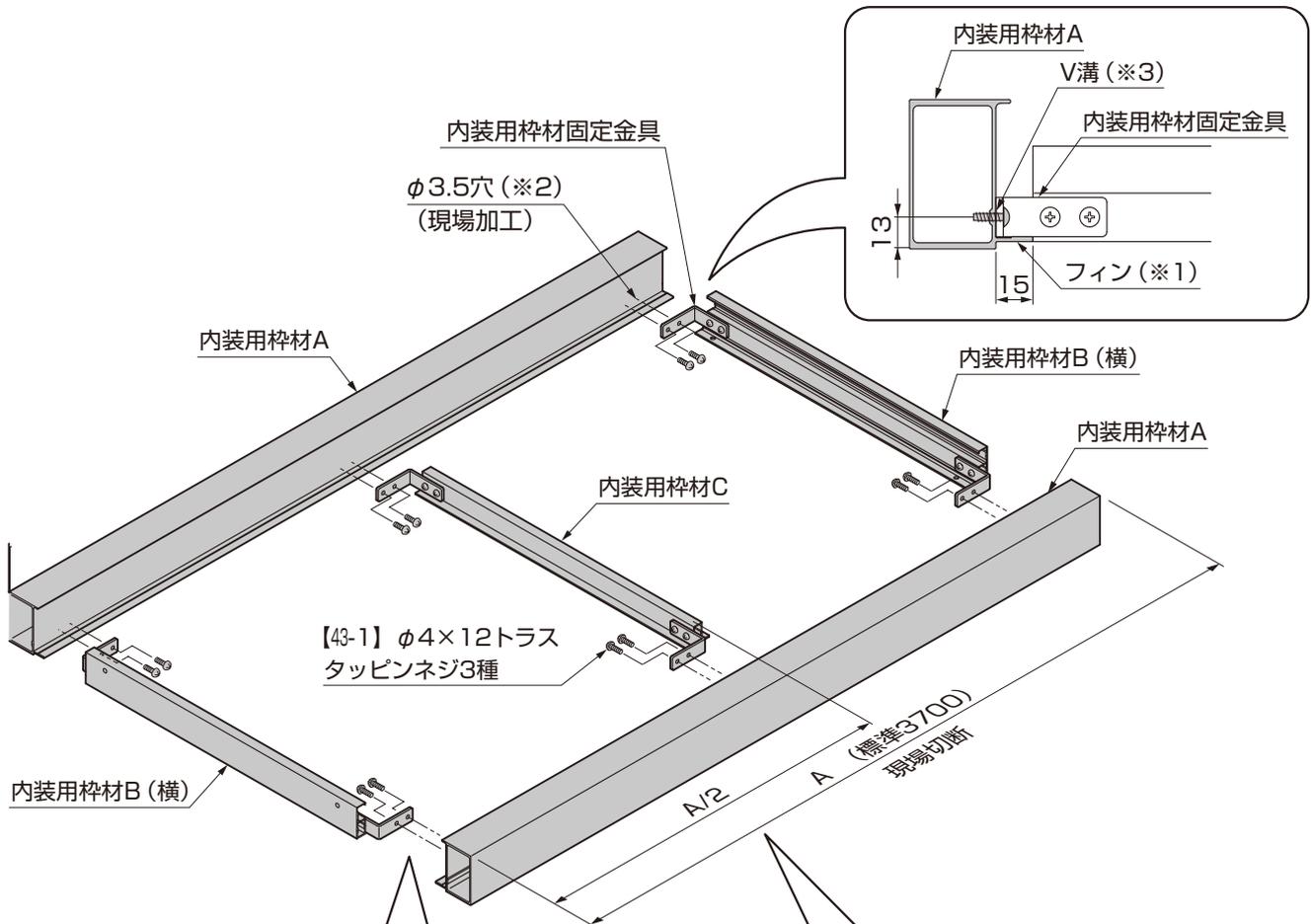
①内装用枠材Bまたは内装用枠材Cに、内装用枠材固定金具を【43-1】で取付けてください。

**ポイント**

●内装用枠材Bまたは内装用枠材Cから、内装用枠材固定金具を、15mm (※1) 出して取付けてください。

### 3. (つづき)

#### 3-2 内装用枠材の組立て



- ①取付けサイズに合わせて、内装用枠材Aを切断(現場加工)してください。(表3-1、表3-2参照)
- ②内装用枠材Aに、内装用枠材Bまたは内装用枠材Cを突き当てて、内装用枠材固定金具を当てて、φ3.5の下穴(現場加工)(※2)をあけてください。(図3-1、図3-2参照)
- ③内装用枠材Aに、内装用枠材Bと内装用枠材Cを【43-1】で取付けてください。

表3-1 桁取付けの場合

間口サイズ	A寸法
28(D26)	2600
32(D30)	3000
34(D32)	3200
38(D36)	3600
63(D30)	3000

表3-2 中間梁・前後梁取付けの場合

奥行サイズ	A寸法
54(D24)	2360
60(D30)	2960
74(D36)	3560

 注意

- A寸法許容差  
+0.0mm、-1.0mm

 ポイント

- 内装用枠材固定金具を、内装用枠材Aのフィン(※1)に乗せて取付けてください。
- 内装用枠材固定金具の穴を、内装用枠材AのV溝(※3)に合わせてφ3.5の下穴(※2)をあけてください。
- 内装用枠材Bは、内装用枠材Aの端面に合わせて(※4)取付けてください。(図3-1参照)
- 内装用枠材Cは、内装用枠材Aの中央に合わせて(※5)取付けてください。(図3-2参照)

### 3. (つづき)

#### 3-3 内装用枠材の取付け

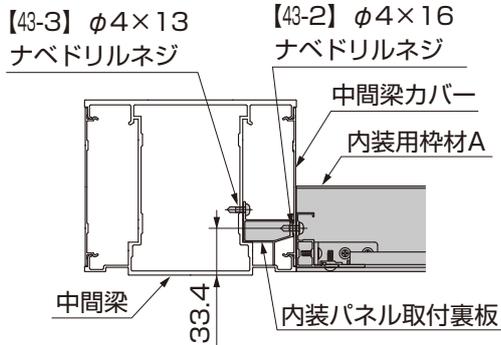
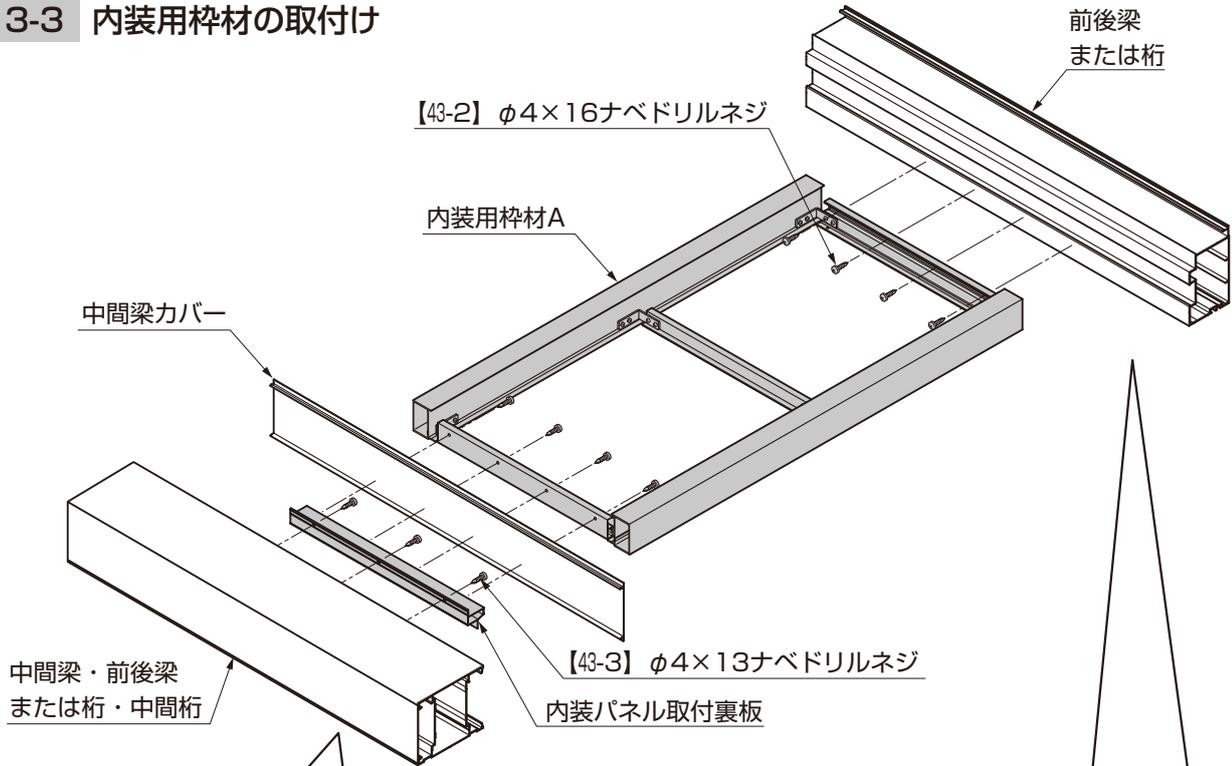


図3-3 中間梁との取合い

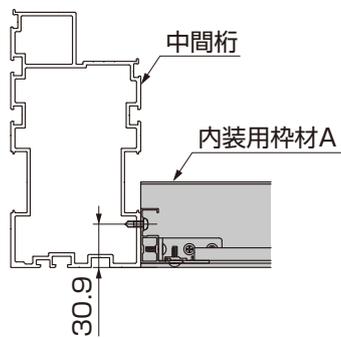


図3-4 中間桁との取合い

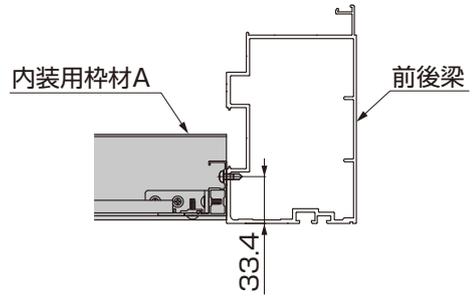


図3-5 前後梁との取合い

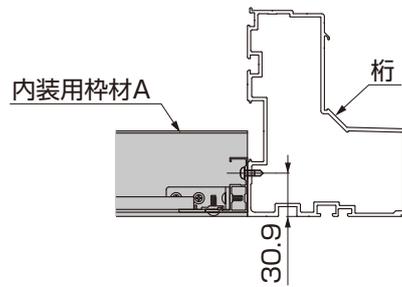
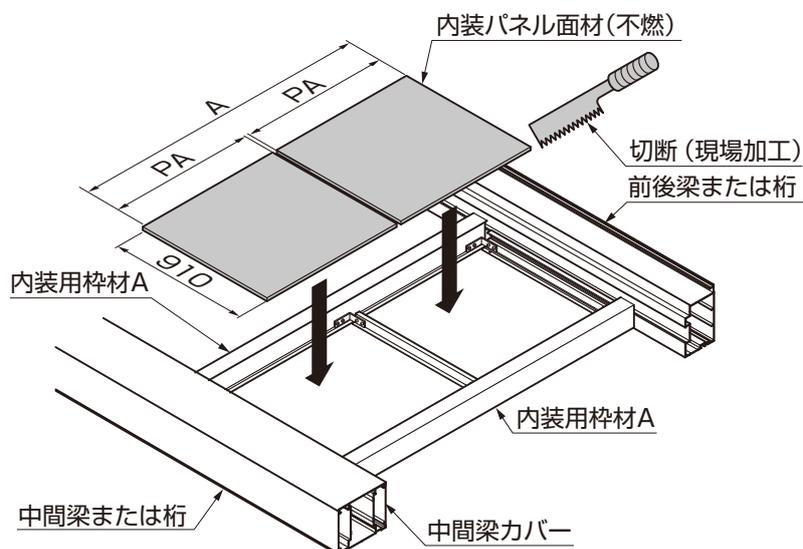


図3-5 桁との取合い

- ① 中間梁に取付ける場合、内装パネルを取付ける側の中間梁カバーを一度外してください。
- ② 内装パネル取付裏板を中間梁に【43-3】で取付けてください。
- ③ 中間梁カバーを中間梁に取付けてください。
- ④ 内装用枠材を前後梁または中間梁、もしくは桁または中間桁に【43-2】で取付けてください。

### 3-4 内装パネル面材の取付け



- ①取付けサイズに合わせて、内装パネル面材を切断(現場加工)してください。  
(表3-3、表3-4参照)
- ②内装パネル面材を、内装用枠材Aの間に落とし込んでください。

#### 注意

- 指示寸法の範囲外での加工をした場合、取付け時にパネルが落下する危険性がある為、指示寸法を必ず守って施工してください。

表3-3 桁取付けの場合

間口サイズ	PA寸法
28(D26)	1250
32(D30)	1450
34(D32)	1550
38(D36)	1750
63(D30)	1450

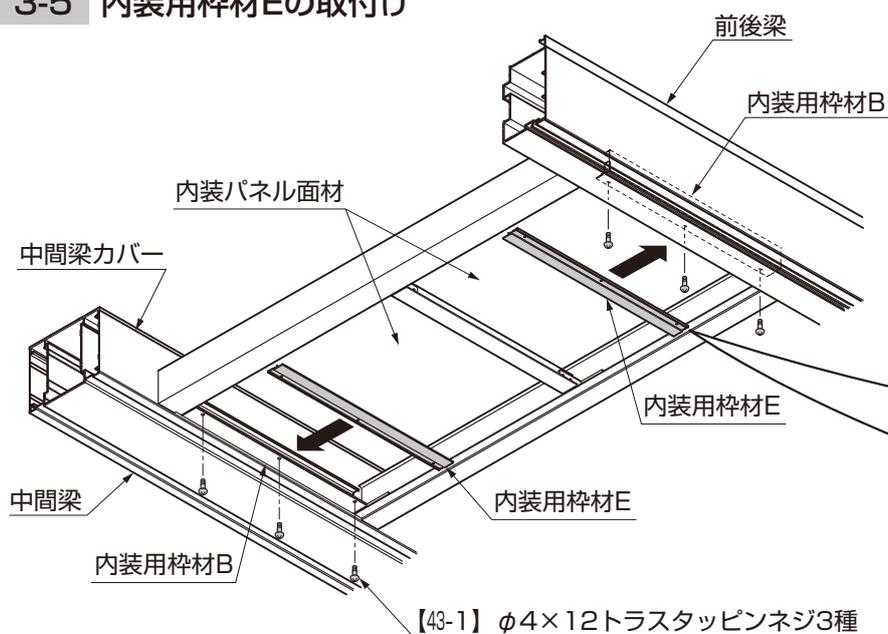
表3-4 中間梁・前後梁取付けの場合

奥行サイズ	PA寸法
54(D24)	1130
60(D30)	1430
74(D36)	1730

#### 注意

- PA寸法許容差  
+2.0mm、-0.0mm

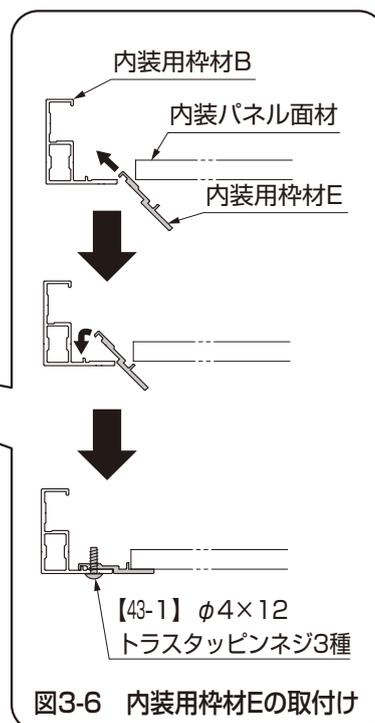
### 3-5 内装用枠材Eの取付け



- ①内装用枠材Eを、内装用枠材Bにはめ込み、【43-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 内装用枠材Eは、内装用枠材Bと内装パネル面材の間から入れてください。(図3-6参照)



## 4. 内装パネル縦（壁付け）の取付け

## 4-1 内装用枠材B（縦）の取付け

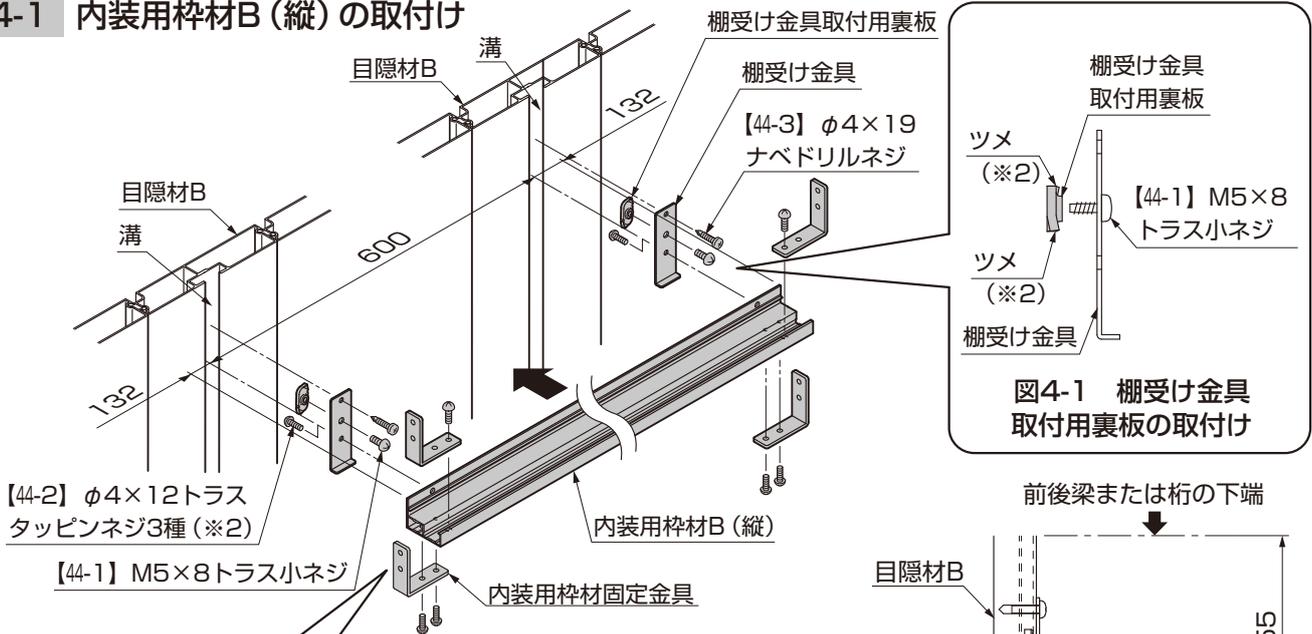


図4-1 棚受け金具取付用裏板の取付け

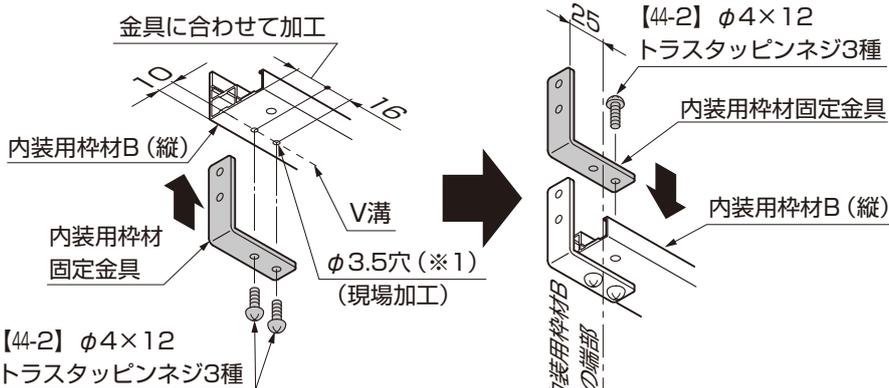


図4-2 内装用枠材固定金具の取付け

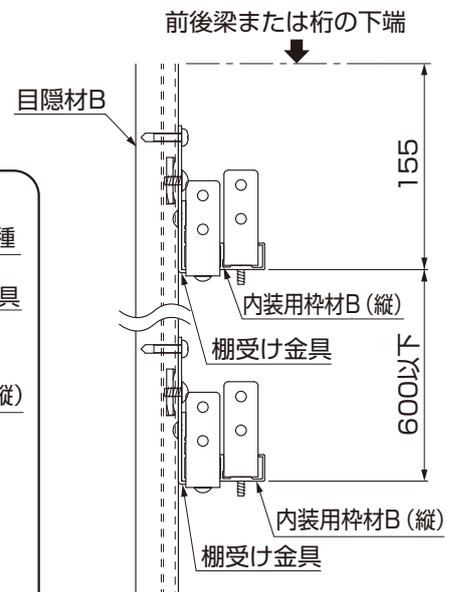


図4-3 内装用枠材Bの取付け高さ

①棚受け金具に、棚受け金具取付用裏板を【44-1】で取付けてください。

#### ポイント

●棚受け金具取付用裏板には表裏があります。角部にツメ（※2）が立っている側を、棚受け金具側に向けてください。（図4-1参照）

②内装用枠材固定金具の1つを、内装用枠材B（縦）の下から穴位置を合わせて【44-2】で取付けてください。

③もう1つの内装用固定金具を、内装用枠材B（縦）の上から穴位置を合わせて【44-2】で取付けてください。

#### ポイント

●内装用枠材B（縦）の下から取付ける内装用枠材固定金具はφ3.5の穴（※1）を現場加工して取付けてください。内装用枠材B（縦）の上から取付ける内装用枠材固定金具は内装用枠材B（縦）より25mm出して取付けてください。（図4-2参照）

④棚受け金具を、内装用枠材B（縦）に裏側から【44-2】で取付けてください。

⑤棚受け金具取付用裏板を、目隠材Bの溝に入れて、内装用枠材B（縦）を【44-3】でしっかりと固定してください。

#### ポイント

●内装用枠材B（縦）は、取付けピッチを600mm以下にしてください。（図4-3参照）

## 4-2 内装パネル面材の取付け

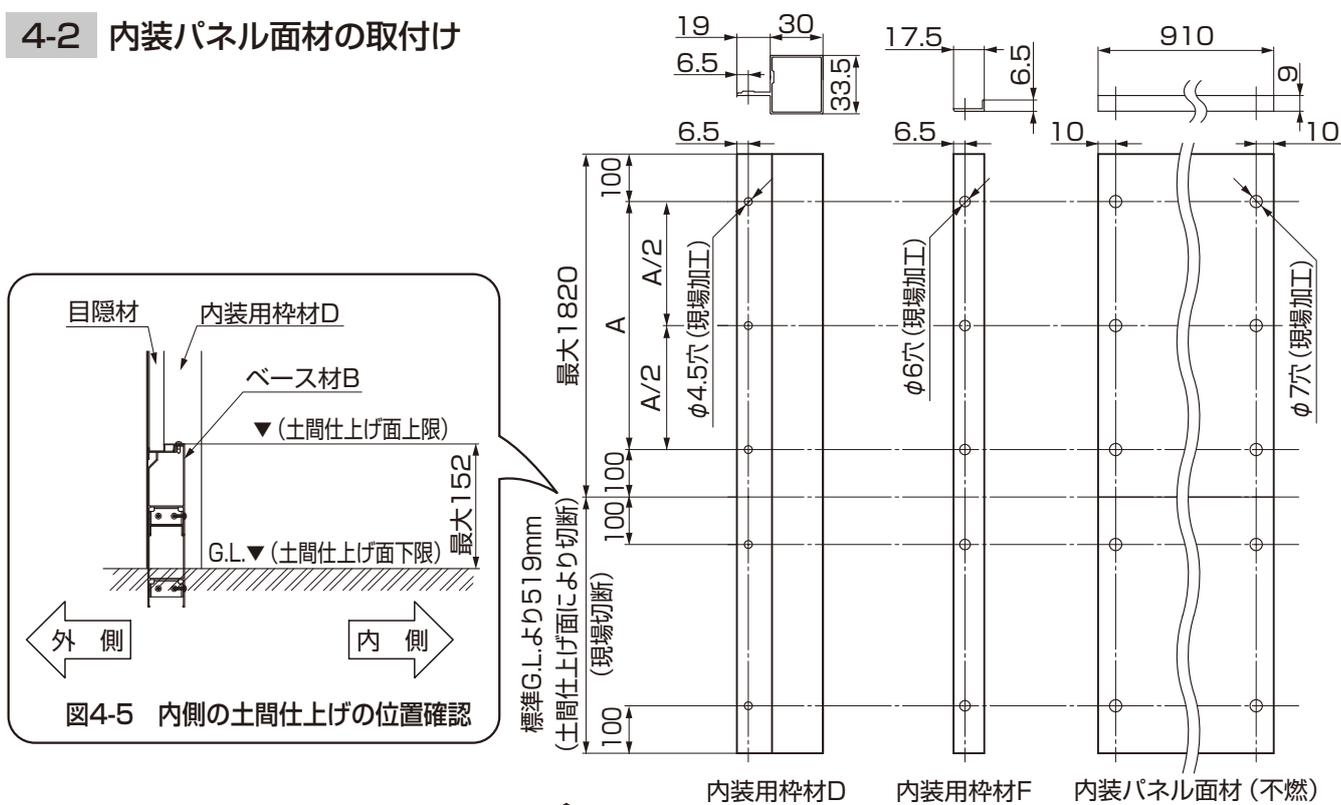


図4-4 内装パネル面材の部品の穴加工

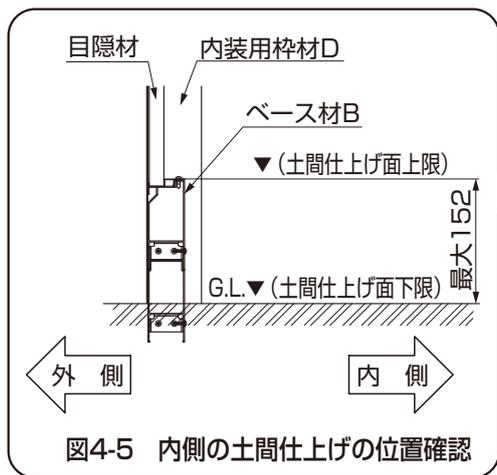


図4-5 内側の土間仕上げの位置確認

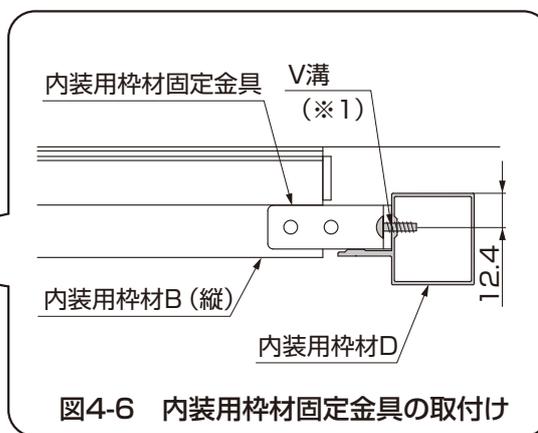
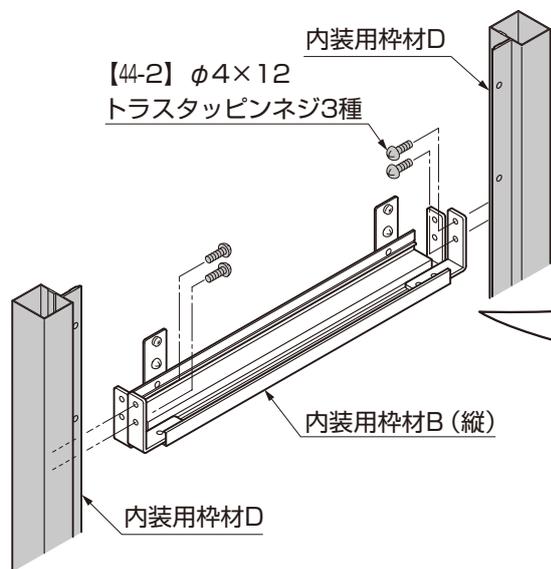


図4-6 内装用枠材固定金具の取付け

- ①土間仕上げ面に合わせて、内装用枠材D・内装用枠材F・内装パネル面材を切断して穴をあけてください。  
(図4-4、図4-5参照)

### ポイント

- カウンターテーブルと同時取付けの場合は、カウンターテーブルの上方のみの取付けになります。その場合は、内装用枠材Dをカウンターテーブル天板の上面で切断してください。(図4-5参照)

- ②内装用枠材B(縦)に内装用枠材Dを突き当て、内装用枠材固定金具の穴位置にφ3.5の穴加工をしてください。

### ポイント

- 内装用枠材DのV溝(※1)に内装用枠材固定金具を取付けてください。(図4-6参照)

- ③内装用枠材B(縦)の内装用枠材固定金具に内装用枠材Dを【44-2】で取付けてください。

## 4. (つづき)

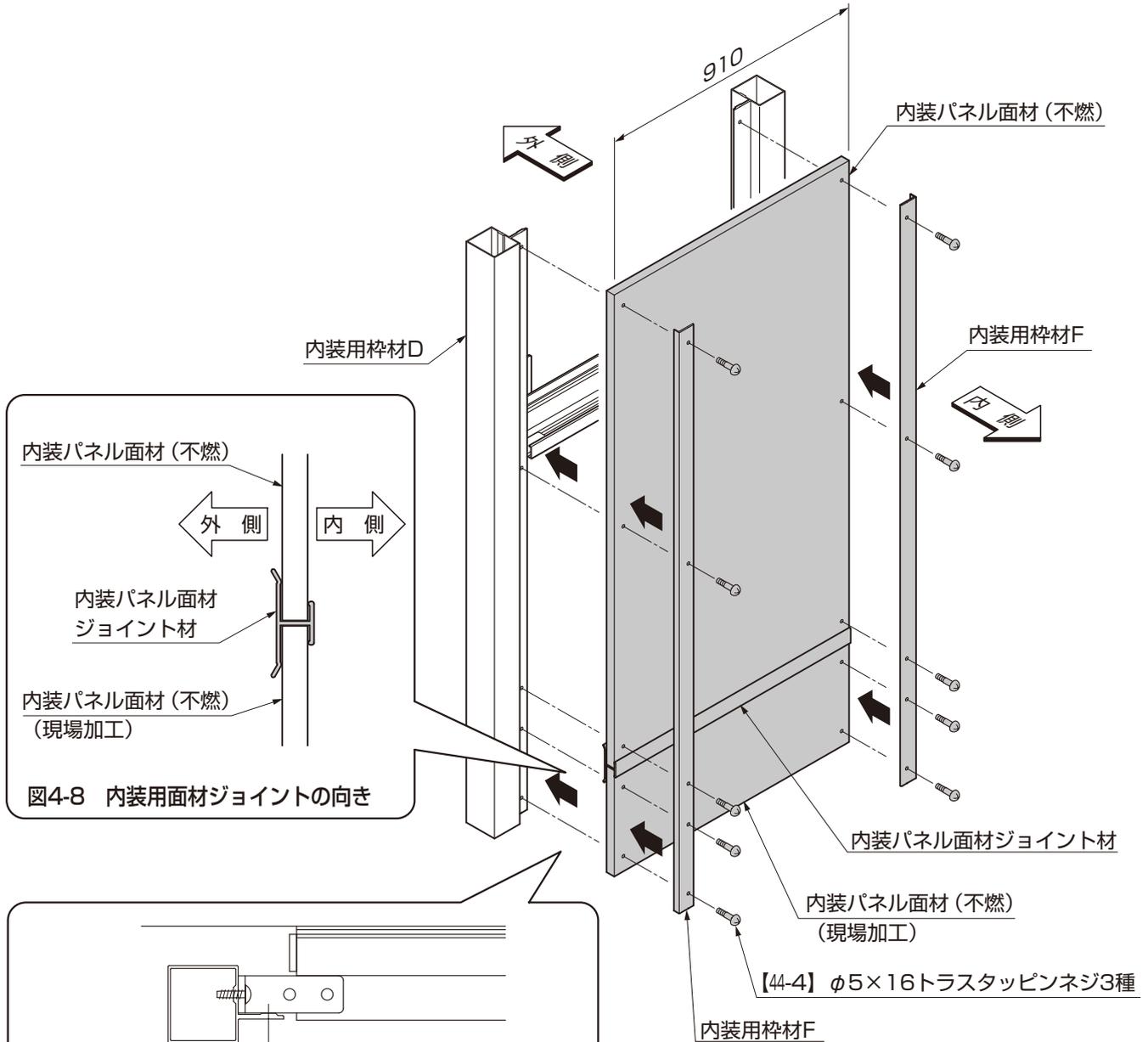


図4-8 内装用面材ジョイントの向き

図4-7 内装パネル面材と内装用枠材Fの取付け

- ④現場切断した下側の内装パネル面材を内装用枠材Dに、【44-4】で仮止めしてください。
- ⑤内装用面材ジョイント材を、下側の内装用パネル面材の上側に載せてはさんでください。
- ⑥上側の内装用パネル面材を、内装用面材ジョイント材に載せて、内装用枠材Dに【44-4】で仮止めしてください。
- ⑦左右のいずれかの仮止めのネジを外して、内装用枠材下を【44-4】で取付けてください。

### ポイント

- 内装用面材ジョイント材は、前後の向きがあります。(図4-8参照)
- 内装用面材ジョイント材は、上下の内装用パネル面材をはさみ込むように取付けてください。(図4-8参照)

## 16 配線カバーの取付け **オプション**

### 1. 桁配線カバーの取付け

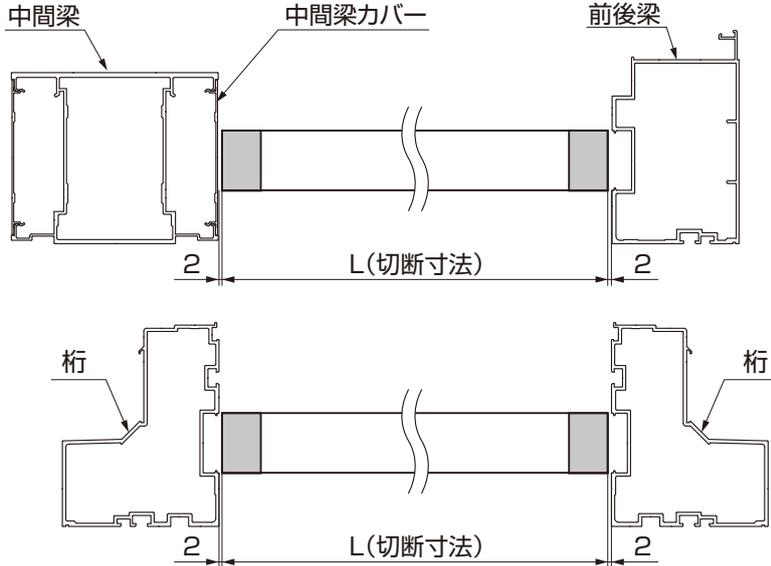
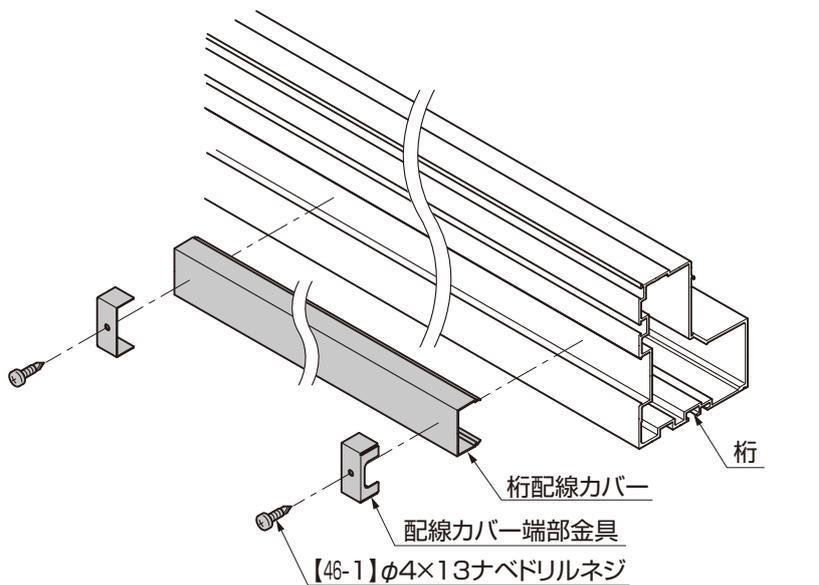


図1-1 桁配線カバーの切断

① 桁配線カバーを、適当な内々寸法に切断（現場切断）してください。

#### ポイント

● 桁配線カバーの切断（現場切断）は、必ず寸法をあたってから、必要寸法に切断してください。（図1-1参照）



② 配線カバー端部金具を、切断した桁配線カバーの両端に付けて【46-1】で桁または、前後梁に取付けてください。

#### 補足

● 配線カバーは、桁配線カバー L=4000mm 1本、配線カバー端部金具2個が同梱されています。

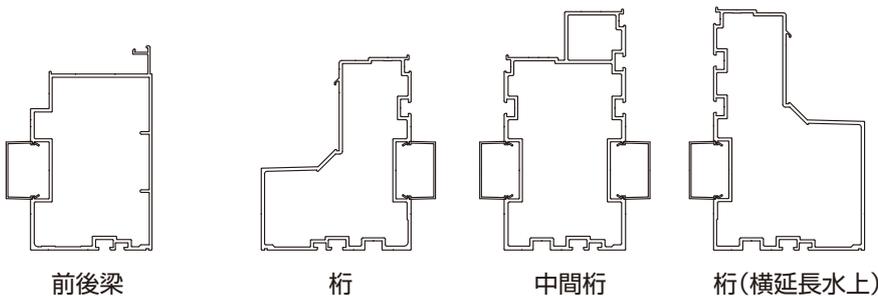


図1-2 桁配線カバーの納まり

